令　和　５　年　度
文部科学省委託研究

「公立小学校・中学校等
教員勤務実態調査研究」

調査研究報告書

令和６年３月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

第1部　調査の目的及び設計

第 1 章　調査の目的及び概要 1

第 2 章　調査設計・方法 7

第 2 部　教員の勤務実態と働き方改革に関する分析

第 3 章　教員の勤務実態に関する基本分析 41

第 4 章　教員の在校等時間の分布の変化に関する分析 56

第 5 章　教員の指導環境と業務負担との関連　―平成 28 年度調査と令和 4 年度調査の比較― 73

第 6 章　学校の働き方改革等と教諭の在校等時間の関係に関する分析 83

第 7 章　管理職による働きやすい職場づくりが 教諭の働き方に与える影響 ... 96

第3部　教員のメンタルヘルス・ストレスに関する分析

第 8 章　教員のメンタルヘルスと仕事のストレスに関する分析 107

第 9 章　教員のメンタルヘルス・仕事満足度に影響を与える業務の探索 137

第 10 章　働き方改革が教諭のメンタルヘルス等に与える影響 146

第4部　支援スタッフの配置効果に関する分析

第 11 章　支援スタッフの配置効果に関する基本分析 161

第 12 章　支援スタッフの配置と教諭の在校等時間の関係 168

第 13 章　支援スタッフの配置による副校長・教頭の勤務実態への影響 183

第5部　部活動に関する分析

第 14 章　中学校教員の部活動従事状況と他の業務時間の関係 203

第 15 章　運動部活動における部活動指導員の配置効果に関する分析 220

第 6 部　個人のパーソナリティ等と教員の勤務実態の関連

第 16 章　教員の行動経済学的特性と勤務実態・メンタルヘルスの関係 233

第 17 章　教員の育児介護負担と勤務実態・ワークライフバランス満足度の関係 255

第7部　勤務実態に関わる教員の特性の分析

第 18 章　校務分掌と在校等時間に関する基礎分析 273

第 19 章　教職の特性と空き時間に対する意識に関する分析 285

補足資料..... 295
参考資料.....311

第１部　調査の目的及び設計

第1章　調査の目的及び概要

1. 本調査の目的

平成 31 年 1 月の中央教育審議会答申※1において、働き方改革の取組の進展を把握すべく、平成 28 年度教員勤務実態調査と比較できる形で、3 年後を目途に勤務実態の調査を行うべきとされたことや、令和元年給特法案に対する附帯決議※2においても、3 年後を目途に教育職員の勤務実態調査を行った上で、給特法の抜本的な見直しに向けた検討を加え、その結果に基づき所要の措置を講ずることが求められていることを踏まえ、教師の勤務実態や働き方改革の進捗状況等を把握・分析することを目的として実施する。

※1　「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」

※2 附帯決議　抜粋　令和元年 12 月 3 日参議院文教科学委員会

十二、　三年後を目途に教育職員の勤務実態調査を行った上で、本法その他の関係法令の規定について抜本的な見直しに向けた検討を加え、その結果に基づき所要の措置を講ずること

2. 集計・分析方針

質問紙の設計は以下のような集計・分析方針を念頭において行われた。まず校種別（小学校、中学校、高等学校（参考））に集計・分析する。この理由は、小学校では学級担任制が一般的であるのに対して、中学校では教科担任制が一般的であるなど、校種毎に勤務のあり方が大きく異なるため、より正確に教員の勤務実態を把握する必要があるからである。

次に、職種別に集計・分析する。平成 18 年度文部科学省委託調査「教員勤務実態調査（小・中学校）」（以下、平成 18 年度調査）、平成 28 年度文部科学省委託調査「公立小学校・中学校等教員勤務実態調査研究」（以下、平成 28 年度調査）においては、最も勤務時間が長いのは副校長・教頭であることが明らかとなったことなどからわかるように、職種別に集計・分析することで、どの職種の負担が大きいのかを明らかにすることができる。なお、平成 19 年の学校教育法改正により、新たに「副校長」「主幹教諭」「指導教諭」の職を置くことができることとされた。この点については、平成 28 年度調査に倣い、現在の配置実態を踏まえ、「副校長」は教頭と同一カテゴリとし、「主幹教諭」「指導教諭」については、新たにカテゴリを設けた（平成 18 年度調査と比較する際には、「主幹教諭」「指導教諭」については「教諭」のカテゴリに含めている。）。

次に、個人属性である年代や性別である。これらは教員調査票によって得られる変数であり、いずれも教員個人単位の要素を示す変数となる。今回も平成 18 年度調査・平成 28 年度調査と同様に集計・分析を行う。これに加えて、学校調査票によって得られる学校単位の集計を行う。このことにより、学校単位の要素（施策の採用の有無、学校規模、タイム・マネジメントの態様）を考慮した分析が可能となる。これらの集計を行った上で、職種や性別、年代や経験年数によって

在校等時間やストレスが異なるのかといった観点からの分析が行われる。

さて、第 1 の被説明変数は在校等時間であり、1 日の在校等時間（平日平均、土日平均）、1 週間の総在校等時間という単位で集計・分析する。また、業務別の集計・分析も行う。第 2 の被説明変数はストレスの状況であり、学術的に確度の高いストレスに関する指標（BSJS、SOC、K6、AIS 等）を用いて、校種別、個人の属性や顧問の有無など業務状況別に集計する。さらに、ストレスの状況と在校等時間の長さや業務の種類との関係を分析する。

集計・分析手法については、主に単純集計、クロス集計、回帰分析を用いる。このうち、クロス集計は、二つの軸をかけあわせた集計である。例えば、性別と在校等時間のクロス集計では、性別という二つのカテゴリ（男女）と在校等時間を任意の数でカテゴリ化したものとをかけあわせる。そのことで、性別の違いと在校等時間との関係の傾向を確かめることができる。回帰分析では、被説明変数（本研究では在校等時間とストレスの状況）に影響を与えるものとして複数の説明変数を設定する。単一の説明変数を分析に投入する場合、単回帰分析と呼称するが、複数の説明変数を投入する場合は、重回帰分析と呼称する。そして、個人単位のデータと学校単位のデータを同時に考慮する分析手法として、教員個人の要素と学校単位の要素を識別できる「マルチレベル分析」を用いている。本調査における質問紙の設計にあたっては、マルチレベル分析に適した質問紙づくりを心がけている。

3. 本報告書の構成

本報告書は、以下の 7 部で構成されている。

第 1 部　調査の目的及び設計
第 2 部　教員の勤務実態と働き方改革に関する分析
第 3 部　教員のメンタルヘルス・ストレスに関する分析
第 4 部　支援スタッフの配置効果に関する分析
第 5 部　部活動に関する分析
第 6 部　個人のパーソナリティ等と教員の勤務実態の関連
第 7 部　勤務実態に関わる教員の特性の分析

第 1 部　調査の目的及び設計は、第 1、第 2 章で構成される。第 1 章「調査の目的及び概要」（本章）においては、調査の目的と簡単な概要、エグゼクティブ・サマリーを示す。第 2 章「調査設計・方法」では、調査設計及び調査方法、本報告書における集計・分析の統一ルール等を示している。

第 2 部　教員の勤務実態と働き方改革に関する分析は、第 3～第 7 章で構成される。第 3 章「教員の勤務実態に関する基本分析」では、平成 28 年度調査との比較から、公立小学校・中学校の教員の在校等時間に関する基本的な状況を把握する。第 4 章「教員の在校等時間の分布の変化に関する分析」では、学校の働き方改革が推進された平成 28 年度以降、教諭（主幹教諭、指導教諭を含む。以下、同様）の勤務状況にどのような変化があったのかを分析する。第 5 章「教員の指導環境と業務負担との関連 —平成 28 年度調査と令和 4 年度調査の比較—」では、教諭の週の総在校等時間を規定する指導環境要因について、平成 28 年度調査との比較から分析する。第 6 章「学校の働き方改革等と教諭の在校等時間の関係に関する分析」では、働き方改革におけるどの取組が、教諭の在校等時間に影響を与えているかを分析する。第 7 章「管理職による働きやすい職場づくりが 教諭の働き方に与える影響」では、校長による勤務環境改善等の行動が教諭の勤務実態に及ぼす影響について分析する。

第 3 部　教員のメンタルヘルス・ストレスに関する分析は、第 8～第 10 章で構成される。第 8 章「教員のメンタルヘルスと仕事のストレスに関する分析」では、教諭の仕事のストレスとメンタルヘルスの状況を分析する。第 9 章「教員のメンタルヘルス・仕事満足度に影響を与える業務の探索」では、教諭の業務内容別の在校等時間とストレス状況及び仕事満足度との関係を分析する。第 10 章「働き方改革が教諭のメンタルヘルス等に与える影響」では、働き方改革による教員の意識変化が、メンタルヘルス等にどのような影響を与えているかを分析する。

第 4 部　支援スタッフの配置効果に関する分析は、第 11～第 13 章で構成される。第 11 章「支援スタッフの配置効果に関する基本分析」では、支援スタッフの配置の有無による教員の働き方への影響を分析する。第 12 章「支援スタッフの配置と教諭の在校等時間の関係」では、支援スタッフの配置と教諭の在校等時間との関係を分析する。第 13 章「支援スタッフの配置による副校長・教頭の勤務実態への影響」では、支援スタッフの配置と副校長・教頭の在校等時間、学校経営に関連する業務時間との関係を分析する。

第 5 部　部活動に関する分析は、第 14、第 15 章で構成される。第 14 章「中学校教員の部活動従事状況と他の業務時間の関係」では、部活動顧問の部活動従事日数、部活動従事時間、部活動従事時間と他の業務時間との関係等を分析する。第 15 章「運動部活動における部活動指導員の配置効果に関する分析」では、運動部活動における部活動指導員の配置による教諭の働き方への影響を分析する。

第 6 部　個人のパーソナリティ等と教員の勤務実態の関連は、第 16～第 17 章で構成される。第 16 章「教員の行動経済学的特性と勤務実態・メンタルヘルスの関係」では、行動経済学研究等で用いられる意思決定の特性（時間割引率、平等配分傾向）や性格特性（ビック 5）と在校等時間やメンタルヘルスとの関係を分析する。第 17 章「教員の育児介護負担と勤務実態・ワークライフバランス満足度の関係」では、教員の学校業務と業務以外の時間配分の関係、時間配分に対する教員の意識から、教員のワークライフバランスを分析する。

第 7 部　勤務実態に関わる教員の特性の分析は、第 18～第 19 章で構成される。第 18 章「校務分掌と在校等時間に関する基礎分析」では、教務主任業務や学級担任の担当有無、学級規模が在校等時間にどのような影響を与えるかを分析する。第 19 章「教職の特性と空き時間に対する意識に関する分析」では、教員の職務の特殊性である「どこまでが職務であるのか切り分けがたい」点が、教員の休み（空き時間）に対する意識にどのような影響を与えているかを分析する。

4. エグゼクティブ・サマリー

青木栄一

教師全体の集計からは以下の 3 点が明らかになった。第 1 に、前回調査と比較して、在校等時間が全般的に減少したことである。ただし、在校等時間に関する「指針」を超えているような長時間勤務の教師は依然として多い。第 2 に、業務別には、小中学校を通じて「授業（主担当）」「朝の業務」が増加した反面、「学校行事」が減少した。第 3 に、1 週間の教諭の総在校等時間について、今回調査では小学校で「50～55 時間未満」、中学校で「55～60 時間未満」の割合が最も多い。ただし、前回調査では小学校で「55～60 時間未満」、中学校で「60～65 時間未満」が最も多かったので、今回調査では前回調査と比較して、総在校等時間は全体的に減少した。

教諭の在校等時間の学校平均値の集計からは以下の 2 点が明らかになった。第 1 に、学校間のばらつきが減少し、全体的に学校全体の在校等時間も短縮した。第 2 に、基本的には学校平均値が長いほど長時間勤務の教諭の割合が多いものの、学校平均値が短い学校にも長時間勤務の教諭が存在する。

教諭の在校等時間を個人単位で分析したところ、以下の 2 点が明らかになった。第 1 に、個人の属性によって在校等時間が長くなる教諭がいる。具体的には「年齢が若い」「6 歳未満の子供がいない」の属性をもつ教諭である。第 2 に、担当する業務によって在校等時間が長くなる教諭がいる。具体的には「担任学級児童生徒数が多い」「担当授業コマ数が多い」「教務主任」「学年主任」「校務分掌数が多い」教諭である。

管理職のマネジメントと教諭の意識、教諭の意識と在校等時間の関係について分析したところ、以下の 2 点が明らかになった。第 1 に、学校の働き方改革が取り組まれている学校ほど、教諭の時間管理意識が高い。また、管理職が働き方改革の推進にリーダーシップを発揮していると考える教諭ほど、時間管理意識が高い。第 2 に、時間管理意識が高い教諭ほど、在校等時間が短い。

長時間勤務の教諭について、長時間勤務ではない教諭と比較したところ、いくつかの業務の差が大きいことが分かった。第 1 に、小学校で「授業準備」「学校行事」の差が大きかった。第 2 に、中学校で「部活動・クラブ活動」「授業準備」「学年・学級経営」の差が大きかった。

教諭のストレス状態を左右する要素について分析したところ、以下の 2 点が明らかになった。第 1 に、ストレス状況の良い教諭については、管理職がリーダーシップを発揮する学校に所属しており、かつ自身の時間管理意識が高まったと考えている。第 2 に、ストレス状況の悪い教諭については、「在校等時間が長い」「年齢が若い」「担任する学級に長期欠席者（不登校）が在籍している」という特徴がある。

謝辞

本調査報告書が完成するに至る過程で最もお世話になったのは回答にご協力いただいた全国の教師の皆様である。思えば平成 18 年度の調査では連続した 4 週間（28 日間）の回答をそれぞれの回答者にお願いした。その後平成 28 年度の調査では回答者負担を考慮して 7 日間へ短縮した。そして、今回令和 4 年度の調査ではテクノロジーの発展をふまえてウェブ回答へ切り替えた。調

査主体としては文部科学省と協議しながら回答者負担を極力減らしつつ、なるべく多くの回答を効率的に集計できるように調査設計を行った。

全体としては調査の趣旨をご理解いただき、学校調査票、教員調査票ともにこの厳しい勤務環境の中で高い回収率を得ることができた。特に夏休みの時期に当たる 8 月調査の回収率は高かったことを付言しておきたい。今後同様の調査を国や都道府県・政令市が実施することを想定し、回収率を高める方策を、本調査をふまえて検討しておく必要がある。

質の高い政策論議を支えるのはしっかりした設計に基づいた実態把握である。ICT の活用やタイムカードによる出退勤時刻データが全国の学校で収集されるようになっている。設置者がこうしたデータを集約し、教員の勤務について日常的にモニタリングができる状況になってきたのは良い徴候である。また、本調査のように業務別時間データ（ダイアリー式のタイムユーズサーベイ）を収集する調査も一定間隔で必要であるし、将来的には同一校を対象としたパネル調査も検討されてしかるべきである。

本調査については報道機関、各種報道媒体、各種団体、個人から強い関心を寄せていただいた。本調査は、学術的な問題関心や研究蓄積をふまえて、調査票の設計から実査に至るまで慎重に検討を重ねてきたものである。本報告書においても可能な限り学術的な情報をわかりやすく記述したつもりであるが、なお不明な点があれば掲載した参考文献に当たっていただきたいと願っている。

最後に、本報告書及び本調査の実施にご協力いただいた全国の教師の皆様お一人お一人に改めてお礼申し上げるとともに、委託主体である文部科学省、調査実施に際してご協力いただいた都道府県教育委員会、市町村教育委員会、対象校の管理職の関係の皆様にもお礼申し上げる。

第2章　調査設計・方法

1.　研究会の設置

調査の設計・分析を行うため、教育行政ならびにメンタルヘルスに関する学識経験者（平成 28 年度調査参加者を中心とした）による研究会を編成した。研究会のメンバーは、以下のとおり。（敬称略）

【教育行政】

青木　栄一　　東北大学大学院教育学研究科　教授
福田　亘孝　　東北大学大学院教育学研究科　教授
小入羽秀敬　　帝京大学教育学部教育文化学科 准教授
神林　寿幸　　明星大学教育学部 准教授
佐々木周作　　大阪大学感染症総合教育研究拠点　科学情報・公共政策部門　特任准教授
濱本　真一　　日本大学文理学部社会学科　准教授
廣谷　貴明　　国立教育政策研究所　教育政策・評価研究部　研究員
李　政哲　　マウントサイナイ医科大学　研究員

【メンタルヘルス】

松崎　一葉　　筑波大学 医学医療系 産業精神医学・宇宙医学 教授
笹原信一朗　　筑波大学 医学医療系 産業精神医学・宇宙医学 准教授
道喜将太郎　　筑波大学 医学医療系 産業精神医学・宇宙医学 助教
堀　大介　　筑波大学 医学医療系 産業精神医学・宇宙医学 助教
髙橋　司　　筑波大学 医学医療系 産業精神医学・宇宙医学 助教

【事務局　（株式会社リベルタス・コンサルティング）】

上條　太郎　　専務取締役
八田　誠　　HR・市場戦略部　ゼネラルマネジャー　上席コンサルタント
佐戸川　修　　HR・市場戦略部　コンサルタント
細川　光之　　コンサルタント
吾妻 佳代子　　HR・市場戦略部　アナリスト
小島　諒也　　HR・市場戦略部　アナリスト

2. 調査内容

公立小学校・中学校の教員の勤務実態を把握するため、以下の調査研究を行った。

(1)教員の勤務内容ごとの勤務実態、労働負荷等の調査研究

公立小学校・中学校の教員の勤務実態を把握するため、正規の勤務時間の内外を問わず、教員の1週間の勤務内容ごとの従事時間や労働負荷等の調査を行った。なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対策に係る業務等が発生しているため、その状況についても定量的に把握した。

＜主な調査方法＞

✓基本的には平成28年度調査を踏襲し、教員個人調査票（教員1名につき1票回答)、教員業務調査票（教員1名につき7日分7票回答）の2種類を作成した。

✓教員の業務内容別の時間の測定方法（業務の分類）やメンタルヘルスに関する項目は、比較可能性を考慮し、平成28年度調査を踏襲した。

✓新型コロナウイルス感染症対策に係る業務等に関する項目やUWE-3（ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント等のメンタルヘルスに関する設問の追加などを行った。

(2)学校における働き方改革に向けて実施した各種施策の効果の調査研究

教員及び学校（管理職）を対象に、教員業務支援員等の支援スタッフの配置状況（人数、週当たり配置時間数等)、校務支援システムなどのICTの活用状況、業務の精選を含む各学校の働き方改革の取組状況やその公表状況等と、教員の在校等時間及び労働負荷等との関係についての調査を行った。

＜主な調査方法＞

✓調査票については、平成28年度調査を踏襲しつつ、学校調査票①、学校調査票②、教員個人調査票、教員業務調査票の4種類を作成し、各調査票で学校における働き方改革に関する項目を調査した。

✓学校調査票①で、支援スタッフ等の配置状況、校務支援システムなどのICTの活用状況等を把握し、学校調査票②において業務の精選を含む各学校の働き方改革の取組状況・公表状況、学校単位の労務管理状況等の項目で調査を行った。

3. 調査票作成にあたって

(1)試行調査の実施

今回の調査は、公立小学校・中学校等教員勤務実態調査としては、初めてすべて WEB 調査で行うこととなった。そこで、WEB 調査の実施確認及び問題点の抽出のため、本調査前に試行調査を行い、調査票作成や調査方法等の再検討材料とした。試行調査の仕様は、以下のとおり。

表 2-1　試行調査仕様

	仕様	設定条件・設定理由等
調査期間	令和 4 年 6 月 27 日（月） ～7 月 3 日（日）	・連続した 1 週間を対象とする。
調査対象	・学校数：小学校 34 校 中学校 33 校 高等学校 10 校 ・教員数：常勤教員のうち 10 名	・学校数は、都道府県・政令指定都市に 1 校ずつ以上を想定。 ・教員に対しては、各校 10 名。 ・その他は、本調査と同条件で実施することで、調査方法の妥当性、修正点を確認。
調査方法	紙による案内送付 Web による回収	・本調査と同条件で実施することで、調査方法の妥当性、修正点を確認する。

上記の調査結果について、以下の手法で調査内容・調査方法についての改善点を抽出。

- 対象校への訪問・電話ヒアリング
- 回答結果の集計値の確認
- 回答データ（個票データ）の回答状況の確認
- 調査期間における電話問い合わせ内容の精査　等

その結果、調査実施に大きな問題はないことを確認。その上で、以下の点を修正した。

・質問の多かった内容について調査画面において注意書き、定義等を付与
・WEB 調査のトップ画面に「調査の目的・方法」「よくあるご質問」等を追加
・質問の追加（有給休暇の付与日数、生活保護や就学援助を受けている児童数、部活動指導に参加している外部指導者の人数、パブリックサービスモチベーション等）
等

（2)調査票の作成

（1）の試行調査を踏まえて、研究会で検討の上調査票を確定した。調査票の設計に当たっては、平成 28 年度調査の結果との比較・分析が可能になるよう留意した。

①学校調査票

学校調査票については、平成 28 年度調査を参考にしつつ、教員業務支援員等の支援スタッフの配置状況、校務支援システムなどの ICT の活用状況、業務の精選を含む各学校の働き方改革の取組状況やその公表状況等と、教員の在校等時間及び労働負荷等との関係についての調査を行った。

具体的な項目は、以下のとおり（実際に使用した調査票は参考資料を参照のこと)。

＜学校調査票①＞

・基本情報（学校名、自治体名、学校種）
・設置学科（高等学校のみ）（普通、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉、総合学科）
・所在地域（農林漁業地域、工業地域、都市郊外の住宅地域、都市中心部の住宅地域、都市中心部の商業地域）
・学校の特徴（教育熱心な親が多い、PTA 活動がさかん、地域との交流がさかん、私立中学に進学する小学生が多い（小学校・中学校のみ））
・昨年度の卒業生のうち 4 年制大学に進学した割合
・学級数（単式学級、複式学級、特別支援学級)、児童生徒数（うち特別支援学級在籍者数)、長期欠席者、通級指導を受けている児童生徒数、特別な教育的支援が必要な児童生徒数、日本語指導が必要な児童生徒数、生活保護・就学援助を受けている児童生徒数)
・（小学校）年間総授業時数（令和 3 年度計画・実績／令和 4 年度計画／第 1 学年～第 6 学年）
・（中学校）年間総授業時数（令和 3 年度計画・実績／令和 4 年度計画／第 1 学年～第 3 学年）
・（高等学校）卒業に必要な修得単位数、卒業までに履修させる単位数、週当たりの授業時数
・教員数（正規・再任用・臨時的任用・非常勤別、フルタイム・短時間勤務別）
・短時間勤務の教員、再任用教員、非常勤講師の 1 週間の合計勤務時間
・育児休業を取得している教員数
・役割別教員数（初任者研修対象の教員、加配措置、児童生徒支援専任、特別支援教育コーディネーター専任、変形労働時間制適用）
・職員数(事務職員・栄養職員別、正規・再任用・臨時的任用・非常勤別、フルタイム・短時間勤務別)
・スタッフ数・1 週間の合計勤務時間（学校司書、用務員・技術員、ALT、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員、日本語支援員・母語支援員、観察実験スタッフ、ICT 支援員、教員業務支援員、医療ケア看護職員、地域のボランティア・企業からの派遣）
・教員業務支援員業務（資料印刷配布、採点業務補助、来客電話対応、行事式典の準備補助、データ入力集計、掲示板張替、資料整理、感染症対策清掃活動）
・部活動の設置数（中学校・高等学校のみ）
・部活動指導員数（中学校・高等学校のみ）
・部活動指導員の 1 週間の勤務時間、うち単独で指導・引率している時間数（平日・土日別）（中学校・高等学校のみ）
・学校が把握する外部指導者数（中学校・高等学校のみ）
・地域と連携・協力し練習しているか

・学校運営協議会の設置の有無、開催回数、委員の人数、委員のうち教職員の人数
・地域学校協働活動の実施の有無
・夏季休業の期間
・夏季休業以外の長期休業期間（冬季休業、春季休業）
・学校・地域交流行事の実施回数（今月）
・運営に困難をきたしている学級数
・放課後の補習・土曜日の学習指導の実施回数、時間
・校務支援システムの導入状況
・ICT 機器研修機会状況、ICT サポート体制状況
・取組の実施回数（職員会議、学校閉庁日、ノー残業デー、ノー部活デー（中学校・高等学校のみ））
・学校閉庁日
・学校で定める勤務開始時刻・勤務終了時刻
・出勤時刻・退勤時刻の管理方法
・勤務時間の電子化状況
・管理職のワークライフバランスマネジメントに関する取組
・教職員の業務分担見直し/働き方改革に向けた取組
・学校業務課題に対応するための弁護士相談の有無、事案件数

等

＜学校調査票②＞

・職員の勤務時間縮減に向けての取組
・時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の策定
・業務改善の PDCA サイクルの構築、自己点検の頻度
・学校の働き方改革や業務改善状況の公表等に関する取組
・有給休暇の年間取得目標を設定の有無
・教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しに関する取組
・一斉下校日の設定の有無、頻度
・学校経営・学年経営の効率化に関する取組
・学校行事に関する取組（精選等、準備（練習を含む）の簡素化や縮減）
・校内の職員会議（朝礼、終礼、打合せ等を含む）の効率化に関する取組
・学習評価や成績処理について、ICT を活用した負担軽減に関する取組
・授業準備について、ICT を活用した負担軽減に関する取組
・個別に支援が必要な児童生徒・家庭への対応について、専門的な人材等参画の有無
・メールや WEB アンケートフォーム等を活用したデジタル化の取組
・研修に関して取組
・校務支援システムに備わっている機能
・設置されている印刷機やコピー機（設置台数、丁合機能付き台数、丁合、ステープラー機能付き台数、管理職や事務職員以外の教員等の使用状況、理由）
・印刷室（職員室外に設けられた印刷機器を集めた部屋）の有無、職員室と印刷室との往復に要する時間、印刷機、コピー機の配置台数
・学校種
・部活動に係る活動方針等の策定の有無、活動上限時間、週当たりの休養日、例外規定の設置、学校 HP への活動方針の掲載有無（中学校・高等学校のみ）、活動計画の徹底方法
・令和元年度以降の部活動の減少状況、令和元年度設置部活動数
・部活動の地域移行状況（地域移行した部活動数、地域部活動に参加する教員数）
・部活動の顧問（教員）の負担軽減に関する取組
・回答者情報（名前、役職名、電話番号、e-mail、回答対象者数）

等

②教員調査票

教員調査票については、平成 28 年度調査を参考にしつつ、主に「教員個人調査」「教員ストレスチェック調査」「働き方改革について」の構成とした。具体的な項目は以下のとおり（実際に使用した調査票は参考資料を参照のこと）。

＜教員調査票＞

（教員個人調査）
・属性（性別、年齢、職名）
・免許状種類、所持する普通免許状種類、教科（中学校教諭免許状）、担当学科（高等学校のみ）
・1 年単位の変形労働時間制適用の有無
・雇用形態、定年退職前の職名
・教員歴・行政歴、現在校の勤務期間、民間企業等での正規雇用期間
・学級担任の有無とその学年
・児童生徒数(全児童生徒数、長期欠席者（不登校）児童生徒数、生活保護や就学援助を受けている児童生徒数、日本語指導を受けている児童生徒数、通級による指導を受けている児童生徒数)
・主任・校務分掌の状況
・勤務実態（週当たり担当授業コマ数、兼務先の学校種、兼務校での 1 週間の授業コマ数）
・専門性向上や能力開発等の自己研鑽に投じた費用の総額
・付与された有給休暇日数、取得した有給休暇日数
・通勤時間
・家庭の状況（子供の有無と一番下の子の年齢、職場の配慮の有無、育児休業取得の有無・期間、要介護家族の有無・職場の配慮、同居者、配偶者の就業状況）
（小学校のみ）
・他の学級担当との授業交換、1 週間のコマ数
・専科指導の教科・領域、授業を担当している学級の平均児童数
（中学校・高等学校のみ）
・担当教科
・1 学級当たりの平均生徒数（中学校・高等学校のみ）
・部活動顧問の状況（顧問の有無、週平均活動日数、指導可能な知識や技術の有無、担当部活動）
・部活動に係る活動方針等の内容の把握、踏まえた活動を行っているか
・部活指導員人数
・指導に参加する外部指導者人数
（教員ストレスチェック調査）
・職業性ストレス簡易尺度（BSJS）
・ストレス対処力（SOC）
・心理的ストレスの状況（K6）
・睡眠の状況（AIS）
・辞職についての状況
・仕事に関する状態（7 段階）
・勤務状況の満足度（11 段階）
・他の職と比較した年収について
・モラルジレンマについて
・自身の性格について（7 段階）

・報酬の金額について
・報酬の配分について
・社会との関わる自身について（7 段階）
・朝方か夜型か
・健康状態（身長、体重）
（働き方改革について）
・時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の内容の把握状況、業務改善方針等の効果検証状況の把握状況
・管理職による教員の勤務環境の整備状況
・勤務時間の管理方法による時間管理の意識
・仕事の優先順付けや効率化などの意識
・授業に関する業務改善についての取組
・成績処理に関する業務改善についての取組
・学年・学級運営に関する業務改善についての取組
・印刷機やコピー機、大型提示装置、学校外からの教員用端末の利用状況
・校務等に ICT を活用する能力について
・削除すべき業務時間について、削除できない理由
・学校行事について（精選等すべき行事、準備の簡素化・縮減をすべき行事、困難である理由、空いた時間の活用方法）
・教員調査に要した合計時間（分）

等

③教員業務記録

教員業務記録については、平成 18 年度調査、平成 28 年度調査の教員業務記録をベースに、1 週間の業務記録を 30 分単位で記録できる形式とした。教員 1 名につき 7 日分 7 票回答することとした。具体的な項目は以下のとおり（実際に使用した教員業務記録は参考資料を参照のこと）。

＜教員業務記録＞[1]

・勤務の種類（勤務日、年休（終日）、年休（部分）、週休日・休日）
・感染症等による臨時休業日
・昨晩寝床についた時刻と、今朝起床した時刻、眠るまでに要した時間
・疲労度について（11 段階）
・学校に出勤した時刻と学校から退勤した時刻
・勤務時間について
・高校（定時制課程、通信制課程）の教員で今日の所定の勤務時間
・割り振られている所定の勤務時間
・テレワーク等の実施の有無（出勤時刻から退勤時刻までの全ての時間、休憩時間）
・出勤時刻から退勤時刻内にとった休憩時間の合計
・出勤時刻から退勤時刻内に行った新型コロナウイルス感染症関連業務で対応した時間
・業務項目（次頁参照）に基づいて、1 週間の業務記録を 30 分単位で記録する。
・業務記録に要した 1 週間分の合計時間

[1]教員業務記録表に関する基本的な考え方については、平成 18 年度文部科学省委託調査「教員勤務実態調査（小・中学校）」（委託先：国立大学法人東京大学）の第 1 部第 4 章を参照のこと。

業務項目は以下のとおり。

児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める） ※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業
	c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など
	d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など
	e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認・コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など
	f1	生徒指導（集団 1）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導
	f2	生徒指導（集団 2）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など上記 f1 以外の指導
	g	生徒指導（個別）	個別の面談、進路指導・相談、生活相談、カウンセリング、課題を抱えた児童生徒の支援など
	h	部活動・ クラブ活動	授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導、対外試合引率（引率の移動時間を含む）など
	i	児童会・ 生徒会指導	児童会・生徒会指導、委員会活動の指導など
	j	学校行事	修学旅行、遠足、体育祭、文化祭、発表会、入学式・卒業式、始業式・終業式などの学校行事、学校行事の準備など
	k	学年・ 学級経営	学級活動（学活・ホームルーム）、連絡帳の記入、学年・学級通信作成、名簿作成、掲示物作成、動植物の世話、教室環境管理、備品整理など
学校の運営にかかわる業務	l	学校経営	校務分掌にかかわる業務、部下職員・初任者・教育実習生などの指導・面談、安全点検・校内巡視、機器点検、点検立会い、校舎環境整理、日直など
	m1	職員会議・学年会などの会議	職員会議、学年会、教科会、成績会議、学校評議会など校内の会議
	m2	個別の打ち合わせ	生徒指導等に関する校内の個別の打ち合わせ・情報交換など
	n1	事務（調査への回答）	国、教育委員会等からの調査・統計への回答 （※今回の調査の回答時間は n3 に含めてください）
	n2	事務（学納金関連）	給食費や部活動費等に関する処理や徴収などの事務
	n3	事務（その他）	業務日誌作成、資料・文書（調査統計、校長・教育委員会等への報告書、学校運営にかかわる書類、予算・費用処理にかかわる書類など）の作成など上記 n1、n2 以外の事務（※今回の調査の回答時間はここに含めてください）
	o	校内研修	校内研修、校内の勉強会・研究会、授業見学、学年研究会、校内で行う校務としての研修など（v 及び w を除く）
外部対応	p	保護者・PTA対応	学級懇談会、保護者会、保護者との面談や電話連絡、保護者対応、家庭訪問、PTA関連活動、ボランティアの対応など
	q	地域対応	町内会・地域住民への対応・会議、地域ボランティアとの連絡調整等、地域安全活動（巡回・見回りなど）、地域への協力活動、コミュニティ・スクール対応など
	r	行政・関係団体対応	教育委員会関係者など行政・関係団体、保護者・地域住民以外の学校関係者、来校者（業者、校医など）の対応など
校外	s	校務としての研修	初任者研修、校務としての研修、出張を伴う研修など
	t	会議	校外での会議・打合せ、出張を伴う会議など
その他	u	その他の校務	上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など
	v	職専免研修	職務専念義務を免除されての研修
	w	自己研鑽	正規の勤務時間外に自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽
	x	休憩・休息等	校務と関係のない雑談、休憩・休息、職専免の時間（v を除く）など

なお、業務項目については、平成 28 年度調査から主に以下の点を変更している。

f. 生徒指導（集団）
項目を 2 つに細分化し、「f1 生徒指導（集団 1）：正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導」、「f2 生徒指導（集団 2）：正規の授業時間以外に行われる次のような指導：生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など上記 f1 以外の指導」へ変更。

新たに 2 つの項目を追加。
v. 職専免研修
「職務専念義務を免除されての研修」
w. 自己研鑽
「正規の勤務時間外に自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽」

■平成 28 年度調査との対照表

【平成28年度】

業務記録	児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、朝礼、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める）
		b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、試験監督など
		b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業
		c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、総合的な学習の時間・体験学習の準備など
		d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（補習指導、個別指導など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など
		e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認、コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など
		f	生徒指導（集団）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、生活指導、全校集会、避難訓練など
		g	生徒指導（個別）	個別の面談、進路指導・相談、生活相談、カウンセリング、課題を抱えた児童生徒の支援など
		h	部活動・クラブ活動	授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導、対外試合引率（引率の移動時間を含む）など
		i	児童会・生徒会指導	児童会・生徒会指導、委員会活動の指導など
		j	学校行事	修学旅行、遠足、体育祭、文化祭、発表会、入学式・卒業式、始業式・終業式などの学校行事、学校行事の準備など
		k	学年・学級経営	学級活動（学活・ホームルーム）、連絡帳の記入、学年・学級通信作成、名簿作成、掲示物作成、動植物の世話、教室環境整理、備品整理など
	学校の運営にかかわる業務	l	学校経営	校務分掌にかかわる業務、部下職員・初任者・教育実習生などの指導・面談、安全点検・校内巡視、機器点検、点検立会い、校舎環境整理、日誌など
		m1	職員会議・学年会などの会議	職員会議、学年会、教科会、成績会議、学校評議会など校内の会議
		m2	個別の打ち合わせ	生徒指導等に関する校内の個別の打合せ・情報交換など
		n1	事務（調査への回答）	国、教育委員会等からの調査・統計への回答など（※今回の調査の回答時間はn3に含めてください）
		n2	事務（学納金関連）	給食費や部活動費等に関する処理や徴収などの事務
		n3	事務（その他）	業務日誌作成、資料・文書（校長・教育委員会等への報告書、学校運営にかかわる書類、予算・費用処理にかかわる書類など）の作成など上記n1、n2以外の事務（※今回の調査の回答時間はここに含めてください）
		o	校内研修	校内研修、校内の勉強会・研究会、授業見学、学年研究会など
	外部対応	p	保護者・ＰＴＡ対応	学級懇談会、保護者会、保護者との面談や電話連絡、保護者対応、家庭訪問、ＰＴＡ関連活動、ボランティア対応など
		q	地域対応	町内会・地域住民への対応・会議、地域安全活動（巡回・見回りなど）、地域への協力活動、地域行事への協力など
		r	行政・関係団体対応	教育委員会関係者など行政・関係団体、保護者・地域住民以外の学校関係者、来校者（業者、校医など）の対応など
	校外	s	校務としての研修	初任者研修、校務としての研修、出張を伴う研修など（免許更新講習は含めない）
		t	会議・打合せ（校外）	校外での会議・打合せ、出張を伴う会議など
	その他	u	その他の校務	上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など
		v	休憩	校務と関係のない雑談、休憩など

【令和4年度】

業務記録	児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、朝礼、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める）※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。
		b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など
		b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業
		c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など
		d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など
		e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認、コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など
		f1	生徒指導（集団1）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導
		f2	生徒指導（集団2）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など上記f1以外の指導
		g	生徒指導（個別）	個別の面談、進路指導・相談、生活相談、カウンセリング、課題を抱えた児童生徒の支援など
		h	部活動・クラブ活動	授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導、対外試合引率（引率の移動時間を含む）など
		i	児童会・生徒会指導	児童会・生徒会指導、委員会活動の指導など
		j	学校行事	修学旅行、遠足、体育祭、文化祭、発表会、入学式・卒業式、始業式・終業式などの学校行事、学校行事の準備など
		k	学年・学級経営	学級活動（学活・ホームルーム）、連絡帳の記入、学年・学級通信作成、名簿作成、掲示物作成、動植物の世話、教室環境整理、備品整理など
	学校の運営にかかわる業務	l	学校経営	校務分掌にかかわる業務、部下職員・初任者・教育実習生などの指導・面談、安全点検・校内巡視、機器点検、点検立会い、校舎環境整理、日誌など
		m1	職員会議・学年会などの会議	職員会議、学年会、教科会、成績会議、学校評議会など校内の会議
		m2	個別の打ち合わせ	生徒指導等に関する校内の個別の打合せ・情報交換など
		n1	事務（調査への回答）	国、教育委員会等からの調査・統計への回答など（※今回の調査の回答時間はn3に含めてください）
		n2	事務（学納金関連）	給食費や部活動費等に関する処理や徴収などの事務
		n3	事務（その他）	業務日誌作成、資料・文書（調査統計、校長・教育委員会等への報告書、学校運営にかかわる書類、予算・費用処理にかかわる書類など）の作成など上記n1、n2以外の事務（※今回の調査の回答時間はここに含めてください）
		o	校内研修	校内研修、校内の勉強会・研究会、授業見学、学年研究会、校内で行う校務としての研修など（v及びwを除く）
	外部対応	p	保護者・ＰＴＡ対応	学級懇談会、保護者会、保護者との面談や電話連絡、保護者対応、家庭訪問、ＰＴＡ関連活動、ボランティアの対応など
		q	地域対応	町内会・地域住民への対応・会議、地域ボランティアとの連絡調整等、地域安全活動（巡回・見回りなど）、地域への協力活動、コミュニティ・スクール対応など
		r	行政・関係団体対応	教育委員会関係者など行政・関係団体、保護者・地域住民以外の学校関係者、来校者（業者、校医など）の対応など
	校外	s	校務としての研修	初任者研修、校務としての研修、出張を伴う研修など（免許更新講習は含めない）
		t	会議・打合せ（校外）	校外での会議・打合せ、出張を伴う会議など
	その他	u	その他の校務	上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など
		v	職専免研修	職務専念義務を免除されての研修
		w	自己研鑽	正規の勤務時間外に自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽
		x	休憩・休息等	校務と関係のない雑談、休憩・休息、職専免の時間（vを除く）など

回答イメージ（WEB 調査）は、次ページのとおり。

⑬ 今日の業務記録をお答えください。正規の勤務時間外の業務や、自宅等の学校外で行った業務もお答えください。
⑦で回答した出勤時刻から退勤時刻の間（学校にいる時間）は、必ず記録をつけてください。なお、学校にいる時間以外で業務をしなかった時間帯は、選択不要です。

【年休（終日）、週休日・休日の方も、業務を行った場合はご回答ください】

▼5時00分～13時00分

				5時00分	5時30分	6時00分	6時30分	7時00分
	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める）※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。	○	○	○	○	○
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など	○	○	○	○	○
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業	○	○	○	○	○
			指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合					

▼13時00分～21時00分

				13時00分	13時30分	14時00分	14時30分	15時00分
児童生	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める）※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。	○	○	○	○	○
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など	○	○	○	○	○
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業	○	○	○	○	○
	c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など	○	○	○	○	○
	d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など	○	○	○	○	○
	e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認・コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など	○	○	○	○	○

▼21時00分～5時00分

				21時00分	21時30分	22時00分	22時30分	23時00分
児童生	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める）※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。	○	○	○	○	○
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など	○	○	○	○	○
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業	○	○	○	○	○
	c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など	○	○	○	○	○
	d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など	○	○	○	○	○
	e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認・コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など	○	○	○	○	○

4. 調査方法

研究会での検討や試行調査の結果を踏まえて本調査を行った。今回の調査では、これまでの勤務実態調査の知見を踏まえ、通常期の平均に最も近いと考えられる時期として 10 月、11 月、長期休業期間における勤務実態を把握するため 8 月を対象とした。

(1)調査仕様

調査の仕様は、以下のとおり。

表 2-2　8 月調査の仕様

	仕様	設定条件・設定理由等
調査期間	・令和 4 年 8 月の指定の 7 日間を調査	第 1 期：8 月 1 日（月）～8 月 7 日（日） 第 2 期：8 月 8 日（月）～8 月 14 日（日） 第 3 期：8 月 15 日（月）～8 月 21 日（日） 第 4 期：8 月 22 日（月）～8 月 28 日（日）
調査対象	・学校数： 小学校 400 校（100×4） 中学校 400 校（100×4） 高等学校 100 校（25×4） ・教員数：常勤教員全員	・対象校は上記の期別に抽出し、1 期当たり小学校 100 校、中学校 100 校、高等学校 25 校。 ・教員に対しては、当該校の常勤教員全員を対象とする。 ・学校リストについては、令和 3 年度学校基本調査を使用。
調査方法	紙による案内送付 Web による回収	・都道府県教育委員会に協力依頼の上、学校に回答の手引き（WEB アンケートへのアクセス方法、調査回答要領や業務項目の一覧等を記載）、調査票見本を紙で郵送送付。対象となる教員にアンケートを配布してもらう。 ・各調査は、WEB を通じて期日までに回答してもらう。
調査票	WEB アンケート	・教員 1 人 1 人に固有の ID とパスワードを発行

表 2-3　10・11 月調査の仕様

	仕様	設定条件・設定理由等
調査期間	・令和 4 年 10 月、11 月にかけての 2 ヶ月間 ・指定した月の任意の週 7 日間を調査	【10 月期】 第 1 期：10 月 3 日（月）～10 月 9 日（日） 第 2 期：10 月 17 日（月）～10 月 23 日（日） 第 3 期：10 月 24 日（月）～10 月 30 日（日） 【11 月期】 第 1 期：11 月 7 日（月）～11 月 13 日（日） 第 2 期：11 月 14 日（月）～11 月 20 日（日） （第 3 期：11 月 28 日（月）～12 月 4 日（日）） ※11 月 3 期は予備週とした。 ・運動会等の学校全体が参加する学校行事の影響の少ない期間を回答してもらい、標準的な時期の勤務時間を測定
調査対象	・学校数： 小学校 800 校（400×2） 中学校 800 校（400×2） 高等学校 200 校（100×2） ・教員数：常勤教員全員	・対象校は月別に抽出し、1 ヶ月当たり小学校 400 校、中学校 400 校、高等学校 100 校とした。 ・教員に対しては、当該校の常勤教員全員を対象とした。 ・学校リストについては、令和 3 年度学校基本調査を使用。
調査方法	紙による案内送付 WEB による回収	・都道府県教育委員会に協力依頼の上、学校に回答の手引き（WEB アンケートへのアクセス方法、調査回答要領や業務項目の一覧等を記載）、調査票見本を紙で郵送送付。対象となる教員にアンケートを配布してもらう。 ・各調査は、WEB を通じて期日までに回答してもらう。
調査票	WEB アンケート	・教員 1 人 1 人に固有の ID とパスワードを発行

表 2-4　（参考）平成 28 年度調査の調査仕様

	仕様	設定条件・設定理由等
調査期間	・平成 28 年 10 月、11 月にかけての 2 ヶ月間 ・勤務実態については、対象月の任意の 7 日間を調査	【10 月期】 10 月 17 日（月）～10 月 23 日（日） または、10 月 24 日（月）～10 月 30 日（日） （予備週：11 月　7 日（月）～11 月 13 日（日） 11 月 14 日（月）～11 月 20 日（日）） 【11 月期】 11 月 7 日（月）～11 月 13 日（日） または、11 月 14 日（月）～11 月 20 日（日） （予備週：11 月 28 日（月）～12 月　4 日（日）） ・平日 5 日に祝日のない週を選んでいる。 ・運動会等の学校全体が参加する学校行事の影響の少ない期間を回答してもらい、標準的な時期の勤務時間を測定
調査対象	・学校数： 小学校 400 校（200×2） 中学校 400 校（200×2） ・教員数：常勤教員全員	・対象校は月別に抽出し、1 ヶ月当たり小学校 200 校、中学校 200 校とする。 ・教員に対しては、当該校の常勤教員全員を対象とする。 ・学校リストについては、平成 27 年度学校基本調査を使用。
調査方法	紙調査票による 送付・回収	・所管都道府県に協力依頼の上、学校に調査票を一括で送付。教員調査票は配布・返信兼用封筒に封入の上、依頼状（趣旨説明紙）を同封し納品。 ・対象となる教員にアンケートを配布してもらう。 ・無記名式で、調査校ごとで回収・とりまとめを行い返送。 ・教員調査票については、回答の秘匿性を担保するため個別封筒より回収を行った。
調査票	OCR 形式	・OCR 形式の調査票。

(2)調査対象の抽出について

学校規模を考慮して学校単位で対象校の抽出を行った。

小学校・中学校の学校数については、平成 18 年度、平成 28 年度調査の考え方に準じている。平成 18 年度調査では、国際教育到達度評価学会（IEA）の国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）におけるわが国の調査対象校数（直近の 2011 年度調査で小学校 149 校、中学校 138 校）を参考

に、（調査実施拒否の学校もあることを踏まえ）小中学校共に 180 校とした[2]。

さらに、平成 28 年度調査では、学校単位でのクロス分析（カテゴリ別の平均値の比較）を行うことを想定し、例えば学校の状況別に 8 カテゴリでの集計を行うとして、1 カテゴリ平均 50 サンプルが存在するように、小中学校共に 400 校（10・11 月合計）を対象とした。

上記を踏まえて、今回調査では、1 か月（8 月）単独の分析においても、上記の考え方に対応できるよう小中学校共に 1 か月当たり 400 校を対象として調査を行うこととした。

また、高等学校については、学校単位の詳細な分析は行わず参考値として扱うこととし、平成 18 年度の 180 校を 1 つの基準として、（調査実施拒否の学校もあることを踏まえ）3 か月で 300 校とした。なお、学校基本調査から算出した公立高校の 1 校当たりの教員数（本務者）は約 46 名であり、例えば 8 割である 240 校から回収できた場合、1 万人以上のサンプルが想定され、統計的には十分な数であることを踏まえて決定した。

上記検討の結果、抽出学校数は、小学校 1,200 校、中学校 1,200 校、高等学校 300 校とした。

小学校	1,200 校（400×3 か月）
中学校	1,200 校（400×3 か月）
高等学校	300 校（100×3 か月）

抽出方法については、平成 18 年度調査[3]、平成 28 年度調査に準じて、確率比例抽出により抽出（教員数の多い学校には高い確率であたるように、教員数の少ない学校には低い確率であたるように抽出を行い、教員の分布が全国の分布に合うように抽出）。平成 18 年度・平成 28 年度調査にならい、令和 3 年度学校基本調査（令和 3 年 5 月 1 日現在）において単式学級が 1 以上ある本校のうち教諭（本務者）が 1 人以上いる公立学校を対象とした。

（3）配布・回収状況

アンケートの配布に当たっては、事前に都道府県・指定都市教育委員会に調査票見本を送付した上で、対象校への事前連絡をお願いしている。

アンケートの回収結果は、以下のとおり。

	学校数合計	8 月	10・11 月
小学校	1,191 校	398 校	793 校
中学校	1,186 校	397 校	789 校
高等学校	299 校	99 校	200 校

[2] 平成 28 年度調査実施時に、サンプル数の妥当性の検証として、平成 18 年度調査の回収データを母集団と見なした疑似的な抽出を行い、検定（母集団結果と標本結果との間での t 検定による平均値差の検定）を行っている。その結果、小中学校共に 180 校で、誤差はなく十分信頼できる結果が得られている。

[3] 平成 18 年度文部科学省委託調査「教員勤務実態調査（小・中学校）」（委託先：国立大学法人東京大学）の第 1 部第 3 章を参照のこと。

（4）ヒアリング調査

アンケート結果を踏まえ、研究会における有識者の参画を得て学校への訪問調査等を実施した。

表 2-5　ヒアリング調査の仕様

	仕様
対象者	・小・中学校　各 4 校
調査方法	・現地ヒアリング（1 校　オンラインによる実施） ・管理職（校長、副校長・教頭）、及び教諭 2 名程度を対象とした。
対象校選定基準	・一定規模（児童生徒数 200 名以上、各学年 1 学級以上（小学校 6 以上，中学校 3 以上））の学校 ・教諭の平均在校等時間が小学校 10 時間台前半、中学校 10 時間台後半まで（持ち帰り 30 分以内） ・K6 の平均値が 5 未満
実施時期	・令和 5 年 11 月～令和 6 年 1 月

ヒアリング項目は、以下のとおり。

（校長／副校長・教頭）

・教員の在校等時間の全体的な状況
・平成 28 年度以降に実施した働き方改革、在校等時間を削減するための取組
・平成 28 年度以降の教員の勤務状況・環境の変化の有無、内容
・働き方改革の推進のため管理職（組織のリーダー）として実施していること
・教員の時間管理や仕事効率化の意識を高めるために実施していること
・事務職員や支援スタッフの業務内容（特に教員の業務負担を減らすもの）や活用状況
・出退勤管理の方法、働き方改革につながる ICT 等の活用状況
・働き方改革達成のため、学校外（保護者、地域、教育委員会等）への対応
・部活動の実施状況（平日及び土日の部活動の実態、部活動指導員等の活用状況）
・その他、在校等時間削減のための取組について　等

（教員）

・平成 28 年度以降に取り組んだ働き方改革、そのうち効果があったと思うもの
・平成 28 年度以降の勤務状況・環境の変化の有無
・平成 28 年度以降の時間管理や仕事効率化の意識の変化等
・在校等時間が長い日と短い日の違い（業務内容等）
・在校等時間が長い教員と短い教員の差の要因、平成２８年度以降の周りの教員の変化
・業務負担低下につながっているスタッフや事務職員の活動、ICT 機器、施策等
・部活動の実施状況（平日及び土日の部活動の実態、部活動指導等の活用）

・その他、在校等時間削減のための取組について　　等

5. 集計対象について

(1)データクリーニング

①業務記録

業務記録について、回答に欠損があるものについては以下のような対応を行った。

a) 出勤時間、退勤時間について

・出勤時間、退勤時間が無回答のものは、勤務日で回答があるものについては「持ち帰りはなく、全て学校での業務扱い」とした。それ以外（年休、週休日）については、全て「持ち帰り（学校外)」の業務扱いとした。

・勤務日で、かつ出勤時間、退勤時間が学校の勤務開始／終了時刻内のものについては、勤務開始／終了時刻の範囲の時間は学内での勤務時間とみなした（それ以降については、持ち帰りとした)。

b) 勤務状態（勤務日、有給取得日、週休日）

・勤務状態が無回答で、平日、勤務記録（休憩含む）が 6 時間以上のものは、勤務日とみなした。

・勤務状態が無回答で、平日、勤務記録（休憩含む）が 6 時間未満のものは、分析対象外とした。

・勤務状態が勤務日平日で、勤務記録の記載が 5 時間未満のものは、平成 18 年度調査にあわせて、分析対象外とした。

c) 「その他」の処理

業務記録において以下の回答は、調査票の項目以外に「その他」を設けて、その他とした。

・平日・土日（勤務日）の勤務時間外に「授業（主担当)」「授業（補助)」と回答があったものは、「その他」とした。ただし、夜間中学のある中学、高等学校（定時・通信）は、この処理をしていない。

・平日・土日（勤務日）の 12 時以降に「朝の業務」と回答があったものは、「その他」とした。ただし、夜間中学のある中学、高等学校（定時・通信）は、開始時間の 4 時間以降から「その他」とした。

・持ち帰り時間の「朝の業務」「授業（主担当)」「授業（補助)」、土日（勤務日以外）の「朝の業務」「授業（主担当)」「授業（補助)」は、「その他」とした。

②その他、業務記録票

その他、業務記録票におけるデータクリーニングとして、以下のような処理を行った。

a) 休憩時間

休憩時間については、以下の対応をした。

・勤務日については、120 分超の回答は、外れ値として除外した。
・休憩時間＞在校等時間となっている回答は、休憩時間を無回答とした。
・勤務日以外で出勤していない場合は、休憩時間は 0 分とした。
・全休、休日の場合は、所定時間内の休憩を 0 分とした。

b） 睡眠時間

就寝起床時間については、以下にあてはまるものは外れ値として除外した。
・起床時間が 13 時以降
・就寝時間が 17 時以前

c） 勤務形態

土日の勤務形態については、出勤している教員については、勤務日と回答する教員と、週休日と回答する教員があった。これについては、学校ごとに土日の回答を確認し、その学校のほとんどすべての教員が出勤し、業務内容が授業や行事等であったものは「勤務日」とみなし、一方で同じ学校で特定の教員しか出勤しておらず業務内容が、部活や授業準備、成績処理であったものは「週休日」とみなした。

③学校調査票、教員調査票

外れ値と思われるものについては、学校調査については、学校基本調査との付け合わせでの確認、可能な限り学校に確認するなどの方法をとってデータの修正を行っている（確認できなかったものは無回答とする）。教員調査については、基本的には教員の回答をそのまま入力しているが、明らかに誤記と考えられる極端な数字については、無回答として処理している。

（2）集計対象

（1）のデータクリーニング後、7 日間の回答がある教員を集計・分析対象とした。

8 月調査については、学校調査の夏休み期間と突き合わせを行い、夏休み期間外の回答については、分析対象外とした。

10・11 月調査については、1 週間の総在校等時間の状況を把握することを念頭に置き、平日 5 日全てを「勤務日」としている教員を分析対象とした。1 週間の中で年休を取得した教員や、平日 5 日のうちに週休日があった教員（例えば、調査週の前の土曜日・日曜日に行事があり、調査週の月曜日が振替の週休であった、など）は、対象外とした。

このほか、職種のその他の自由記述内容を確認し、明らかに教員以外が回答をしているデータについては対象外とした。また、その他の記述内容を確認し、特定の職種に振り分けられるものは振り分けた。例えば、その他で「主任教諭」としているものは、「教諭」としている。

（3)有効回答数

（２）の方針に従い、分析対象外のサンプルを除外した。その結果、有効回答サンプル数は、以下のとおり。

		回収数	分析対象
8 月 ※日数は夏休み期間のみ	人数	小：8,532 中：9,117 高：3,488	小：6,193 中：5,800 高：2,401
	日数	小：52,129 中：53,354 高：20,724	小：40,842 中：38,217 高：15,706
10・11 月	人数	小：17,836 中：19,207 高： 8,229	小：11,569 中：11,675 高： 4,538
	日数	小：112,884 中：119,624 高： 50,003	小：80,983 中：81,725 高：31,766

6. 集計にあたっての基本的事項

(1)用語の定義

・在校等時間

在校している時間を基本とし、当該時間に以下①、②を加え、③、④を除いた時間をいう。なお、平成 28 年度調査においては、在校等時間の概念が存在しないため、②、③に相当する時間の取扱いが異なる可能性がある（①、④については、今回の調査と取扱いは同じ。）。

①校外において職務として行う研修や児童生徒の引率等の職務に従事している時間

②各地方公共団体が定めるテレワークの時間

③勤務時間外における自己研鑽及び業務外の時間（業務記録では、「v.職専免研修」「w.自己研鑽」に該当）

④休憩時間（業務記録では、「x.休息等」に該当）

※集計にあたっては、出勤時間から退勤時間の間で働いている時間(勤務記録で「a.朝の業務」～「u.その他の校務」と回答した時間、及び「その他」に該当する時間の合計となる。「v.職専免研修」「w.自己研鑽」「x.休息等」の時間は含まない。

・持ち帰り

出勤時刻以前、もしくは退勤時刻後に業務に従事している時間（土日については、出退勤時刻の記録がない場合、業務に従事した時間全て）。

・BSJS（Brief Scales for Job Stress：職業性ストレス簡易尺度）】

職業性ストレスの構造を評価する尺度で、ストレス増強要因とストレス緩和要因で構成される。計 20 項目を 4 件法で評価した。各要因の得点範囲は 0～4 点。一般的には、ストレス増強要因が低くストレス緩和要因が高いほど良好な状態である。

ストレス増強要因：量的負荷・質的負荷・対人関係の困難の三因子

ストレス緩和要因：裁量度・達成感・同僚上司の支援の三因子

（集計方法）

量的負荷= (20 －BSJS 1 ⇒教員調査票 Q19-1 －BSJS2⇒教員調査票 Q19-2 –BSJS3⇒教員調査票 Q19-3－ BSJS4⇒教員調査票 Q19-4)/4

質的負荷= (15 －BSJS5⇒教員調査票 Q19-5 －BSJS6⇒教員調査票 Q19-6 －BSJS7⇒教員調査票 Q19-7)/3

対人関係の困難=(15 －BSJS11⇒教員調査票 Q19-11 －BSJS12⇒教員調査票 Q19-12 －BSJS13⇒教員調査票 Q19-13)/3

裁量度= (15－BSJS8⇒教員調査票 Q19-8 －BSJS9⇒教員調査票 Q19-9－BSJS10⇒教員調査票 Q19-10)/3

達成感= (15 －BSJS18⇒教員調査票 Q19-18 －BSJS19⇒教員調査票 Q19-19 －BSJS20⇒教員調査票 Q19-20)/3 同僚上司の支援= (20－BSJS14⇒教員調査票 Q19-14 －BSJS15⇒教員調査票 Q19-15 －BSJS16⇒教員調査票 Q19-16－BSJS17⇒教員調査票 Q19-17)/4

・SOC（Sense of Coherence：ストレス対処力）

人生を俯瞰して柔軟にものごとを認知することにより、困難な事態にも対処できるストレス耐性を表現する尺度で、把握可能感、処理可能感、有意味感の 3 種の感覚から構成される。13 項目を 7 件法で評価した。把握可能感の得点範囲は 5～35 点、処理可能感と有意味感の得点範囲は 4~28 点。一般的には、各感覚の得点が高いほど良好な状態である。

把握可能感：状況を時系列的に把握して段取りよく対処する力

処理可能感：これまでの経験を基盤にして事態を乗り切れるかどうかを推測できる力

有意味感：今は面白みのない仕事にもそのうち意味が出てくるだろうと感じられる情緒性

（集計方法）

把握可能感=（8 －SOC2⇒教員調査票 Q20-2）＋SOC6⇒教員調査票 Q20-6
＋SOC8⇒教員調査票 Q20-8＋SOC9⇒教員調査票 Q20-9
＋SOC11⇒教員調査票 Q20-11

処理可能感=（8－SOC3⇒教員調査票 Q20-3）＋SOC5⇒教員調査票 Q20-5
＋（8 －SOC10⇒教員調査票 Q20-10）＋SOC13⇒教員調査票 Q20-13

有意味感=（8 －SOC1⇒教員調査票 Q20-1）＋SOC4⇒教員調査票 Q20-4
＋（8 －SOC7⇒教員調査票 Q20-7）＋SOC12⇒教員調査票 Q20-12

総得点＝把握可能感＋処理可能感＋有意味感

・K6（心理的ストレス）

気分障害や不安障害のスクリーニング調査として、厚生労働省「国民生活基礎調査」等、様々な調査で用いられている。抑うつ等 6 項目を 5 件法で評価した。得点範囲は 0～24 点。得点が低いほど良好な状態である。合計得点が 5 点以上で心理的ストレス反応を感じている状態、10 点以上で気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛、13 点以上で重症の気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている状態を示す。点数が高いほど精神疾患であるリスクが高く、専門家への相談が推奨される。

（集計方法）

教員調査票Q21 の総得点

・AIS（Athens Insomnia Scale：アテネ不眠尺度）

不眠症のスクリーニング調査として、様々な調査で用いられている。入眠、中途覚醒、早朝覚醒、睡眠不足感、睡眠の質、日中の気分、活動、眠気の 8 項目を 4 件法で評価する。得点範囲は 0～24 点。得点が低いほど良好な状態である。合計得点が 6 点以上だと不眠症が疑われる状態を示す。

（集計方法）

教員調査票Q22 の総得点

・睡眠時間・疲労度

調査期間中、睡眠時間や疲労度に連日の回答を得た。長時間労働は睡眠時間を圧迫し、睡眠時間が短いと生活習慣病やうつ病のリスクが高くなる。厚生労働省「健康づくりのための睡眠指針の改定に関する検討会（2023）」では、成人は少なくとも 6 時間以上の睡眠時間確保が奨励されている。

・UWE（Utrecht Work Engagement Scale：ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度）

ワーク・エンゲイジメントは以下のように定義されている。「仕事に関連するポジティブで充実した心理状態であり、活力、熱意、没頭によって特徴づけられる。エンゲイジメントは、特定の対象、出来事、個人、行動などに向けられた一時的な状態ではなく、仕事に向けられた持続的かつ全般的な感情と認知である。」活力など 3 項目を 7 件法で評価した。各項目の得点範囲は 0～6 点。一般的には、得点が高いほど良好な状態である。

・仕事や生活の満足度

内閣府「満足度・生活の質に関する調査」を基に作成した。教師としての仕事そのものやワークライフバランス等、6 項目の満足度を調査した。

「非常に満足している状態」を 10 点、「全く満足していない状態」を 0 点として、現在の状態を 10 点から 0 点までの間で選択した。

・モラル・ジレンマ

Johns Hopkins School of Nursing の研究者が開発したモラル・レジリエンス尺度を参考に、コロナのよる心理的な葛藤、つまり本来行うべき教育がコロナ禍で果たせていないことへの道徳的な葛藤を調べるために作成した。

・母集団

特徴や傾向などを知りたい集団全体

・標本

実際に調査を実施する集団の一部

・相関、相関係数

二つの変数間の関係を相関という。二つの変数の結びつきの強さを図る指標として、相関係数を用いる。－1～1 までの値をとる。1 に近づくほど、二つの変数は同じ動き（どちらかが増えればもう一方も増える）をする。相関係数がプラスであった場合は正の相関という。また、－1 に近づくほど、2 つの変数は逆の動き（どちらかが増えればもう一方は減る）をする。相関係数がマイナスであった場合、負の相関という。

・回帰分析

二つの変数に何かしらの因果関係を想定することで、値を予測する分析手法。複数の変数の関係を表す、最も適した線を作成して数式化する。

・被説明変数（従属変数、目的変数）

回帰分析を行う際の、予測したい値のことをいう。本報告書では主に在校等時間、K6 を被説明変数として扱っている。

・説明変数（独立変数、予測変数）

回帰分析を行う際の、予測するために使う値のことをいう。本報告書では、持ちコマ数、児童生徒数、校務分掌数等を説明変数に用いている。

・重回帰分析

1 つの被説明変数に対して説明変数が二つ以上の回帰分析を重回帰分析という。1 つの被説明変数に対し、複数の説明変数が互いにどの程度影響を与えているかを解明する分析手法。

・ダミー変数（ダミー）

性別や職名など数や量で測ることのできない変数をいう。データ分析を行うためには、これらの変数を数値に変換する必要がある。通常 0 と 1 に変換され、該当すれば 1、しない場合は 0 といったように置き換えられる。例えば、在校等時間を被説明変数とした回帰分析に「女性ダミー」という説明変数があった場合、女性であったときの変化量を見ることができる。

・統制変数

被説明変数と説明変数の関係を明確にするために統制する必要がある変数。重回帰分析では、統制変数の影響を取り除いても、説明変数が被説明変数に影響を与えているかを調べることとなる。

・係数（B、γ）

説明変数が増減した場合に被説明変数がどれくらい増減するかを表す。例えば、本報告書においては、小学校教諭の在校等時間を被説明変数とした重回帰分析を行った結果、年齢の係数は「-0.81」であったため、年齢が 1 歳上がるごとに在校等時間が「0.81 分」減ることを意味する。

・標準化係数

測定単位による変動を除去するため、回帰係数を標準化したもの。この数字が大きいほど、被説明変数に対する影響が大きいといえる。小学校教諭の在校等時間を被説明変数とした重回帰分析を行った結果、係数としては「教務主任」が 36.42（分）と最も大きかったが、標準化係数は「担任学級児童数」が 0.23 と最も大きいため、被説明変数に対して最も影響を与え

るのは「担任学級児童数」であると言える。

・標準誤差（S.E.：standard error.）
推定量の標準偏差であり、標本から得られる推定量そのもののばらつき（＝精度）を表すもの。

・決定係数（R2 乗、重決定 R2 乗）
回帰分析の結果求められたモデルの当てはまりの良さを示す尺度。回帰分析に用いた変数で、予測値をどれくらいの割合説明できるかを表す。例えば、第 4 章では小学校教諭の在校等時間を予測するために回帰分析を行った結果、決定係数が 0.116 であったが、これは回帰分析に用いた変数で在校等時間の「11.6%説明できる」という意味になる。この値は、社会科学における研究においては、必ずしも大きくなく、0.1～0.3 程度のものも多い。

・調整済み R2 乗（修正済み決定係数、修正済み R2 乗）
回帰分析を行う際、変数を追加することで決定係数が大きくなる傾向を踏まえて、その分を補正したもの。

・有意水準（p）
許容できる誤判断リスクの上限値といえる。その結果がたまたまである確率であったり、結果を誤ってしまう確率の水準ともいえる。一般的には 1%、5%、10%が用いられる。

・ステップワイズ法
重回帰分析における説明変数の選択法。重回帰分析モデルに投入した説明変数の中から、被説明変数に影響がある説明変数だけを抽出する方法。

・マルチレベル、マルチレベル分析
データが多層（階層）的であることをマルチレベルという。例えば、勤務実態調査では全国の学校から一部の学校を抽出した後、さらに学校の中で調査に回答する教員を選択している。このように、段階的に調査対象を抽出して得たデータは多層（階層）的であるといえる。このような個人と集団のデータを適切に扱うために行う分析のことをマルチレベル分析という。なお、報告書では第 5 章においてマルチレベル分析を行っている。

・級内相関係数（ICC）
集団内の類似性を統計的に評価した指標のこと。階層で抽出した場合、集団内の類似性が存在していると適切な評価を得ることができないため、級内相関係数（ICC）を算出し、集団内の類似の程度を評価する必要がある。・級内相関係数（ICC）は、集団と全体の分散の比率を表したものである。集団による分散（ばらつき）が小さくなれば、ICC の値が下がる。例えば、第 5 章表 9 で週の総在校等時間を被説明変数とした小学校のマルチレベル分析で ICC を

算出しており、その値は 0.202 である。これは、全体の分散を学校単位の分散と教員個人単位の分散に分けたときに、学校単位の分散が全体の 20.2%を占めていることを表す。平成 28 年度の際は、ICC が 0.306 であったので、平成 28 年度と比較すると学校単位での分散は縮小していることがわかる。

(2)留意点

- 土日については、平成 18 年度調査では、「休日」と扱っているが、平成 25 年に学校教育法施行規則が改正され、土曜日等に授業を実施することが可能であることが明確化されたことから、平成 28 年度調査及び今回調査では、「土日」と表記している。
- 今回調査の 10・11 月の土曜日・日曜日の在校等時間には、勤務日も一部含まれている。小学校教員のうち 480 人（4.1%）、中学校教員のうち 339 人（2.9%）が、土曜日・日曜日のいずれかが勤務日にあたっている。
- 特に注意書き等がない限り、集計及び分析は以下のとおり行う。
- 通常期（10・11 月）の調査期間を対象に行う。
- 断りの無い限り在校等時間を対象とした分析を行い、持ち帰り時間は分析に含まない。また、1 週間当たりの総在校等時間を用いる場合は、在校等時間から本調査の回答時間を一律で差し引いている。
- 調査対象のうち教諭については、主幹教諭、指導教諭を含んだ値となっている。
- 定義のとおり、在校等時間には、休憩時間は含まれない。
- 在校等時間等については、時間に換算する際に小数点以下を切捨てて表示している。そのため、業務の内訳ごとに算出した平均時間を合計すると合計時間の表示より少なくなる場合があるなど数値が一致しないこともある。その他、端数処理の関係で、図表の表示上の数字による和差分と実際の和差分が合わないことがあることに注意を要する。
- 教員業務記録の調査票は、平成 18 年度調査・平成 28 年度調査にならい、24 時間を 30 分単位で区切り、1 日当たり 48 マスの業務記録をつける設計としている。実際の教員の業務においては、短い時間にも複数の業務を同時にこなしていることもある。ただし同一時間帯に複数の業務を行った場合は、最も負担感の大きい業務 1 つに絞って記録するように設計している。例えば、30 分間のうち、20 分が授業、10 分が児童生徒の休み時間（業務分類上は、休み時間に行われる遊び指導等は「f 生徒指導（集団）」に該当）に従事する場合には、基本的には「授業」と回答されると考えられる。そのため、授業と生徒指導（集団）等などの関係については、授業等については比較的長く、生徒指導（集団）等は比較的短く出る可能性は存在することに留意が必要である。例えば、業務記録のうち教諭（主幹教諭・指導教諭含む）の「授業」のみを集計したところ、小学校 1 週間 1,368 分（週 30 コマ相当）、中学校 1 週間 1,100 分（週 22 コマ相当）である。これに対し、同一教員についての持ち授業数の平均（Q12）は小学校約 24 コマ、中学校約 18 コマである。
- 在校等時間等を平均値から判断する際、極端にいえば、ある業務を行った時間が 0 分の人も 1 時間の人もいるという状態をならした計算上の値であることに注意が必要である。特に、業務

内訳に関しては、例えば、部活動・クラブ活動に従事する時間が 12 分となっていても、すべての教員が毎日 12 分ずつ部活動・クラブ活動をしているわけではなく、業務にかける時間は、教員によって、また、日によって異なる。

（用語解説の参考文献等）

BSJS 参考文献：

錦戸典子、影山隆之、小林敏生、原谷隆史.簡易質問紙による職業性ストレスの評価：情報処理企業男性従業員における抑うつ度との関連.産業精神保健 2000;8:73-82.

Kageyama T, Matsuzaki I, Morita N, et al. Mental health of scientific researchers I. Characteristics of job stress among scientific researchers working at a research park in Japan. International Archives of Occupational and Environmental Health. 2001; 74: 199-205.

SOC 参考文献：

Antonovsky A. Unraveling the mystery of health: How people manage stress and stay well. San Francisco: Jossey-Bass. 1987. (山崎喜比古, 吉井清子, 監訳. 健康の謎を解く—ストレス対処と健康保持のメカニズム. 東京：有信堂高文社. 2001)

K6 参考文献：

Kessler RC, Andrews G, Colpe LJ, et al. Short screening scales to monitor population prevalances and trends in non-specific psychological distress. Psychological Medicine 2002; 32(6): 959-76.

Furukawa TA, Kawakami N, Saitoh M, et al. The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. International Journal of Methods in Psychiatric Research. 2008; 17(3): 152-8.

AIS 参考文献：

Soldatos CR, Dikeos DG, Paparrigopoulos TJ, et al. Athens Insomnia Scale: validation of an instrument based on ICD-10 criteria. Journal of Psychosomatic Research. 2000;48(6):555-60.

Okajima I, Nakajima S, Kobayashi M, et al. Development and validation of the Japanese version of the Athens Insomnia Scale. Psychiatry and Clinical Neurosciences. 2013;67(6):420-5.

UWE-3 参考文献：

Schaufeli WB, Salanova M, Gonzalez–Romá V, et al. The measurement of engagement and burnout：A two sample confirmative analytic approach. Journal of Happiness Studies. 2002;3:71–92.

Schaufeli WB, Shimazu A, Hakanen J, et al. An ultra-short measure for work engagement: The UWES-3 validation across five countries. European Journal of Psychological Assessment. 2019;35(4):577-91.

モラル・ジレンマ参考文献

Obtain the Rushton Moral Resilience Scale-16 (RMRS-16)™. https://nursing.jhu.edu/faculty-research/research/projects/obtain-rushton-moral-resilience-scale/

※ストレスの状況に関する各項目は、専門家である研究会メンバーの指導の下、既存の心理測定尺度に基づいて作成した。

その他参考文献：

「日本統計学会公式認定統計検定３級対応データの分析（日本統計学会編）」

「日本統計学会公式認定統計検定２級対応統計学基礎（日本統計学会編）」

「基本統計学（第３版）」（豊田利久ほか著）

「7 日間集中講義! Excel 統計学入門: データを見ただけで分析できるようになるために」（米谷学著）

「Excel で学ぶ実践ビジネスデータ分析」（豊田裕貴著）

「公立小・中学校等教員勤務実態調査報告書（平成 28 年度）」

株式会社 社会情報サービス WEB サイト「統計 WEB」　https://bellcurve.jp/statistics/

「個人と集団のマルチレベル分析」（清水裕士著）

補足：重回帰分析について

回帰分析は、複数の変数の関係を表す、最も適した線を作成して数式化する分析手法である。中でも、1 つの被説明変数に対し、複数の説明変数が互いにどの程度影響を与えているかを解明する分析手法として、重回帰分析がある。

重回帰分析では、さまざまな要因が被説明変数に与える影響を測定することができる。

例えば、今回の分析における回帰式は、以下のように表わすことができる。

$$Y = a + b_1X_1 + b_2X_2 + \cdots + e$$

Y：被説明変数（教諭の在校等時間など）

X_n：説明変数（性別、年齢など）

Y（教諭の在校等時間）に対し、X_1 が与える影響の大きさが b_1（係数）によって測定される。

●係数（偏回帰係数）

係数は、上で示した式の b_n（n=0, 1, 2, 3, ・・・）の推定値にあたる。定数は切片のことで、a の値を示す。例えば、表 4-4（P62）の回帰式は、

$$Y = 632.52 - 4.17 * X_1 - 0.81 * X_2 + \cdot + e$$

で表される。例えば、X_2 は年齢を表している。年齢が 1 歳上がると、教諭の平日の在校等時間が 0.81 分下がるという推計モデルとなっている。

●係数の有意性の検定

係数の有意性の検定によって、説明変数の被説明変数に対する影響が統計的に有意かどうかを表している。

●標準化係数（標準回帰係数）

上記の回帰係数は、変数 X や Y の測定単位によって変動する（例えば、X が物の重さであった場合、g でとる場合と kg でとる場合では、回帰係数は大きく異なる）。こうした測定単位による変動を除去するため、各変数を平均 0、分散 1 に標準化して求められる回帰係数を標準化係数と呼ぶ。この数字が大きいほど、被説明変数に対する影響が大きいといえる。

●決定係数（R^2）

データに対する推定された回帰式の当てはまりの良さを表す。決定係数（R^2）は、0 から 1 までの値をとり、1 に近いほど、回帰式が実際のデータにあてはまっている。決定係数は説明変数の数が増えるほど 1 に近づくという性質を持っているため、説明変数の数が多い場合には、この点を補正した「自由度調整済み決定係数（調整済み R^2）」を用いる。なお、回帰モデルを作成する際

には、ただ単に決定係数が大きくなればいいというものではなく、仮説や理論に沿った変数の投入こそが重要であることには注意が必要である。また、社会科学における研究においては、回帰モデルの決定係数（R^2）は、必ずしも大きくなく、0.1～0.3 程度のものも多い。

［参考文献］

菅民郎（2007）「らくらく図解　アンケート分析教室」オーム社

総務省統計局 WEB サイト「なるほど統計学園高等部」　http://www.stat.go.jp/koukou/index.htm

株式会社 社会情報サービス WEB サイト「統計 WEB」　https://bellcurve.jp/statistics/

7. 回答者属性

教員調査の回答者属性は、以下のとおり。サンプルの妥当性を確認するため、文部科学省「学校基本調査（令和 4 年度）」との比較を行ったところ、男女比・職種構成に大きな違いは見られなかった。

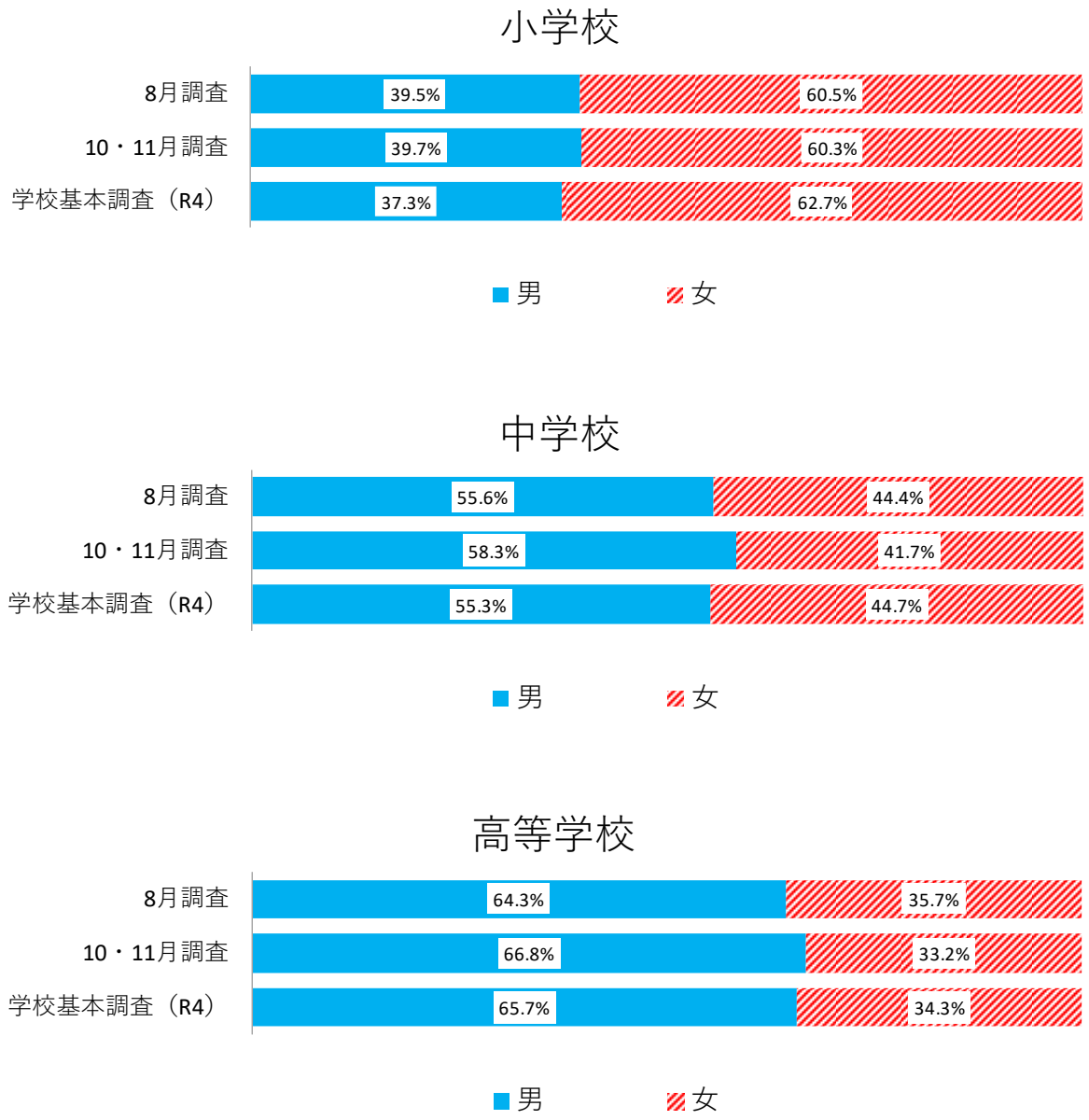


図 2-1　男女比の比較

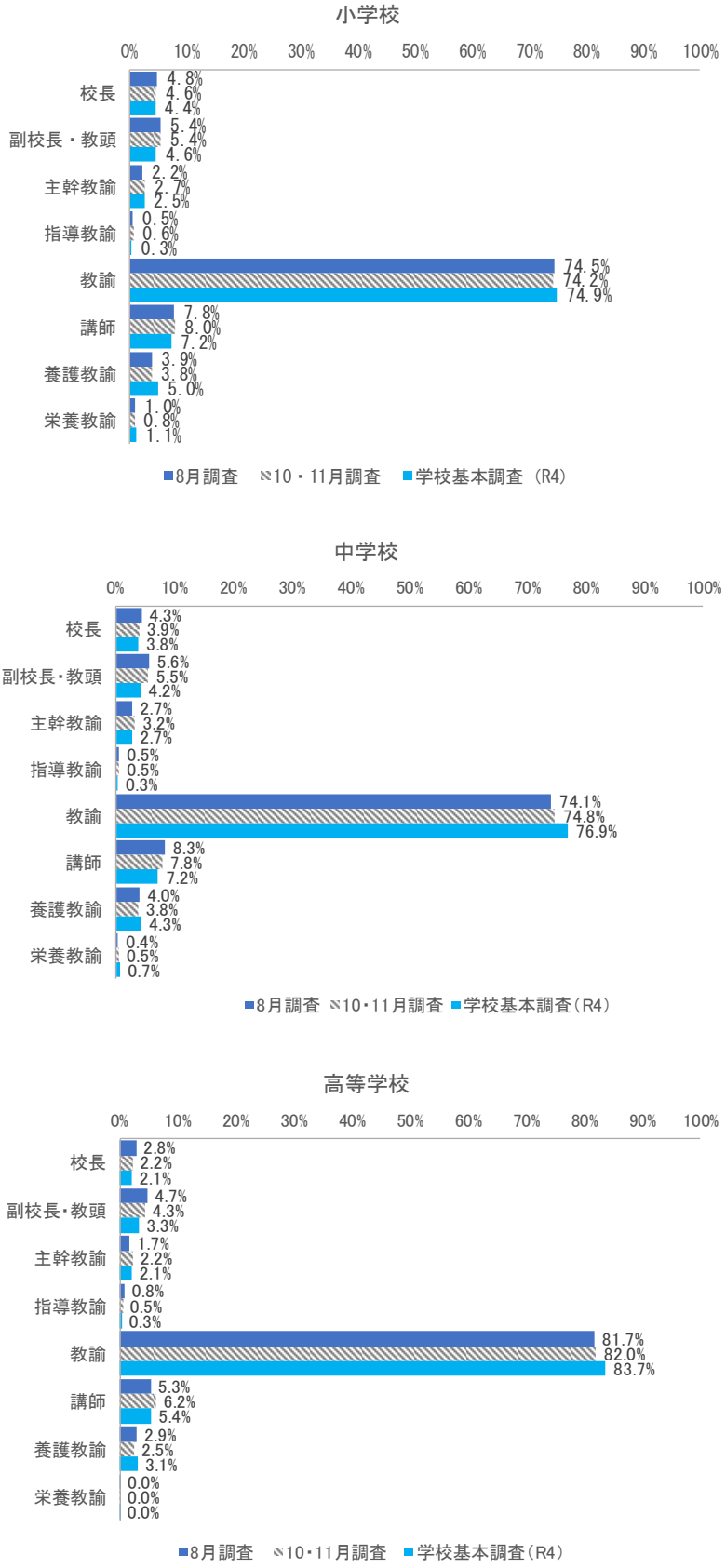

小学校
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
校長
4.8%
4.6%
4.4%
副校長・教頭
5.4%
5.4%
4.6%
主幹教諭
2.2%
2.7%
2.5%
指導教諭
0.5%
0.6%
0.3%
教諭
74.5%
74.2%
74.9%
講師
7.8%
8.0%
7.2%
養護教諭
3.9%
3.8%
5.0%
栄養教諭
1.0%
0.8%
1.1%
8月調査
10・11月調査
学校基本調査（R4）
中学校
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
校長
4.3%
3.9%
3.8%
副校長・教頭
5.6%
5.5%
4.2%
主幹教諭
2.7%
3.2%
2.7%
指導教諭
0.5%
0.5%
0.3%
教諭
74.1%
74.8%
76.9%
講師
8.3%
7.8%
7.2%
養護教諭
4.0%
3.8%
4.3%
栄養教諭
0.4%
0.5%
0.7%
8月調査
10・11月調査
学校基本調査（R4）
高等学校
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
校長
2.8%
2.2%
2.1%
副校長・教頭
4.7%
4.3%
3.3%
主幹教諭
1.7%
2.2%
2.1%
指導教諭
0.8%
0.5%
0.3%
教諭
81.7%
82.0%
83.7%
講師
5.3%
6.2%
5.4%
養護教諭
2.9%
2.5%
3.1%
栄養教諭
0.0%
0.0%
0.0%
8月調査
10・11月調査
学校基本調査（R4）

図 2-2　職種の比較

サンプルの妥当性を確認するため、教諭（主幹教諭・指導教諭を含む）の年齢構成について、「学校教員統計調査（令和元年度）」との比較を行ったが、こちらについても大きな差はみられなかった。

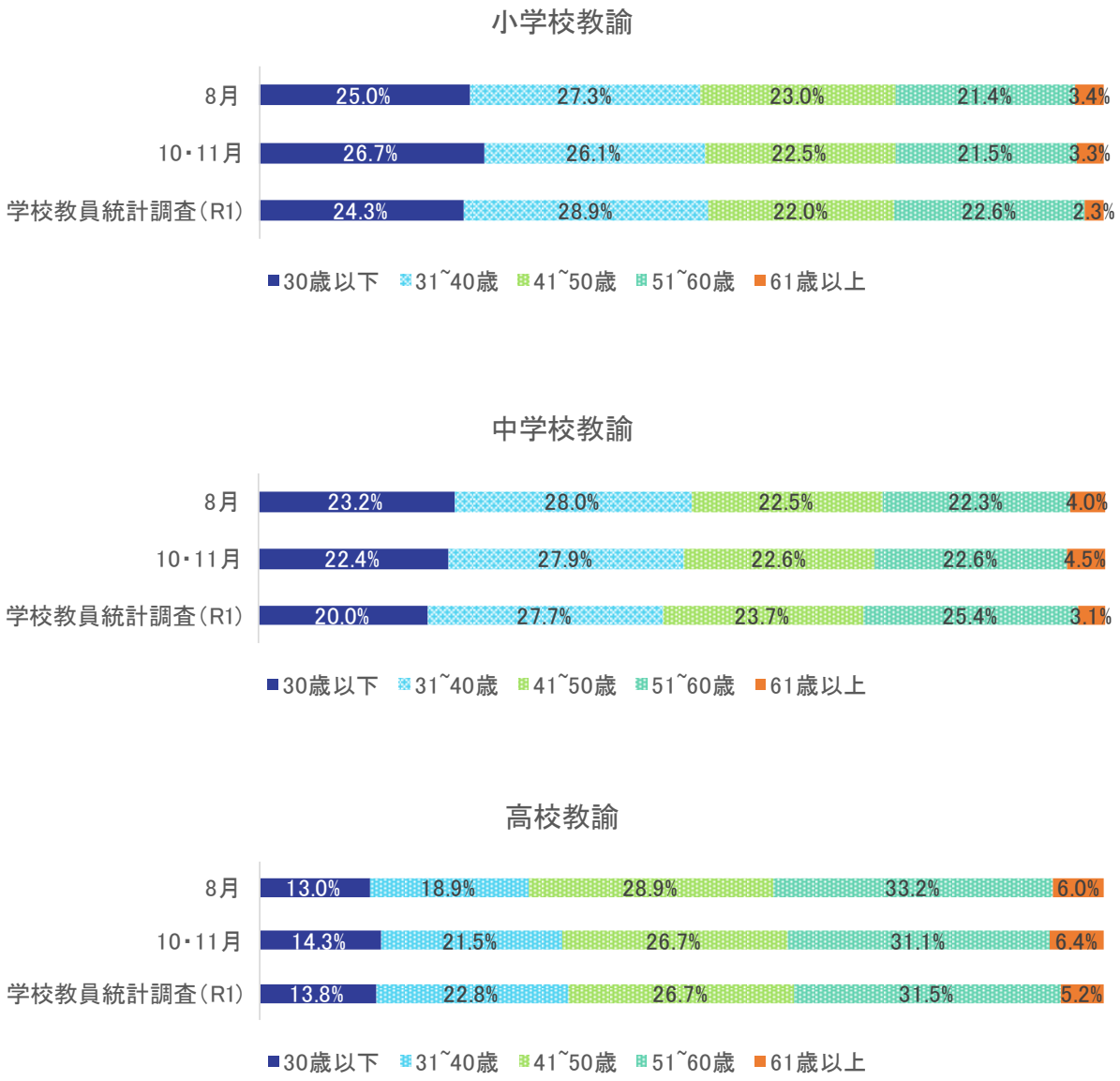


図 2-3　年齢の比較

第２部　教員の勤務実態と働き方改革に関する分析

第3章　教員の勤務実態に関する基本分析

【本章のポイント】

- 前回調査（平成 28 年度）と比較して、平日・土日共に、いずれの職種でも在校等時間が減少。
- 教諭については、1 日当たり、小学校・中学校共に平日 30 分程度、土日は小学校で 31 分、中学校で 1 時間以上の減少。年齢別では、前回調査と比較して、小学校、中学校共に、全ての年齢階層で在校等時間が減少している。特に 40 歳以下の減少幅が大きい。
- 教諭の 1 週間当たりの総在校等時間は、小学校は 50～55 時間未満、中学校は 50～55 時間未満、55～60 時間未満の者が占める割合が高い。
- 業務内容別では、平日については、主に、「授業（主担当）」、「朝の業務」、「学習指導」（小学校）の時間が増加し、「学校行事」、「成績処理」（小学校）、「学校経営」（小学校）、「校務としての研修」（小学校）、「学年・学級経営」（中学校）、「生徒指導（集団）」（中学校）の時間が減少している。
- 土日については、「学校行事」、「授業（主担当）」（小学校）、「部活動・クラブ活動」（中学校）の時間が減少している。

1.　本章の目的

本章では、公立小学校・中学校の教員に関して、在校等時間の基本的な状況を分析する。分析に当たっては、平成 28 年度調査結果との比較もあわせて行う。

2.　分析方法

教員 1 人当たりの在校等時間の平均値を職種別（校長、副校長・教頭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭）に整理する。教諭については、前回調査の報告書と同様、主幹教諭、指導教諭を含んだ数値としている。なお、平日については調査対象週の月～金の 5 日間の平均値、土日については、調査対象週の土曜日、日曜日の 2 日間の平均値である。

3. 分析結果

（1)1 日当たりの在校等時間の時系列変化

①平日

令和 4 年度の教員の平日の在校等時間は以下のとおり。職種別に平成 28 年度と比較すると、小学校・中学校共に全ての職種で在校等時間が減少している。このうち、「教諭」は、小学校・中学校共に 30 分程度減少している。

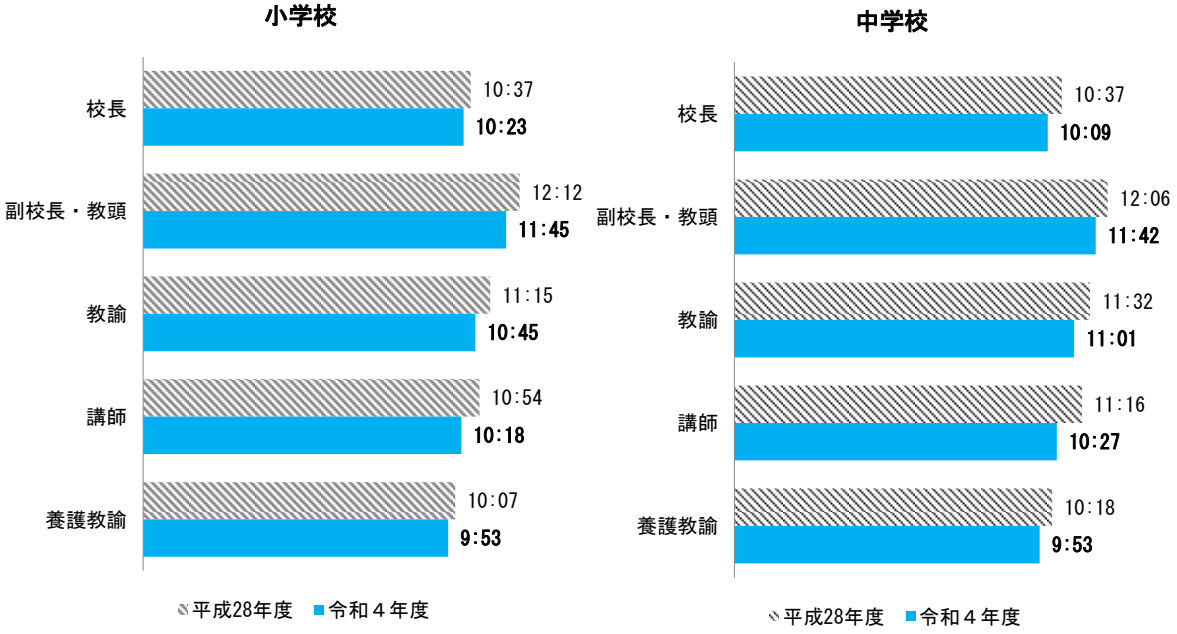


図 3-1　職種別教員の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）

（平日　時間：分）

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」は、主幹教諭・指導教諭を含む。

②土日

土日の在校等時間について職種別に平成 28 年度と比較すると、全ての職種で在校等時間が減少している。特に、中学校の「教諭」、「講師」は、1 時間以上減少している。

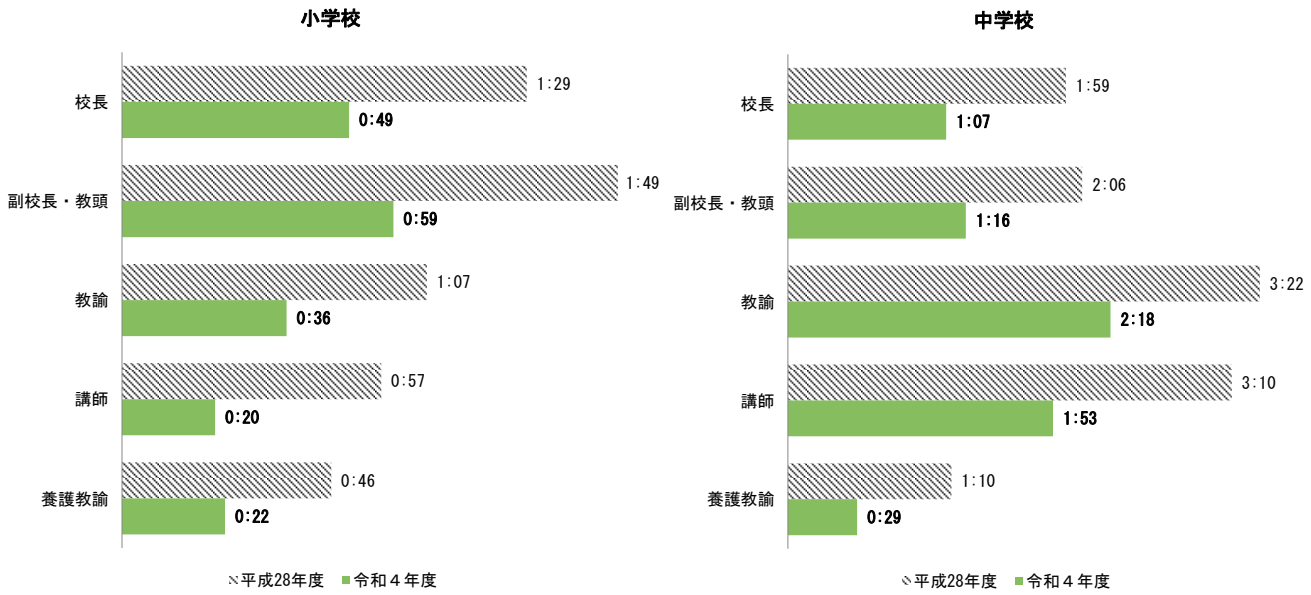


図 3-2　職種別教員の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）
（土日　時間：分）

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

③年齢階層別（平日）

「教諭」の平日の在校等時間について、年齢別に平成 28 年度と比較すると、小学校、中学校共に、全ての年齢階層で在校等時間が減少している。特に 40 歳以下の減少幅が大きい。

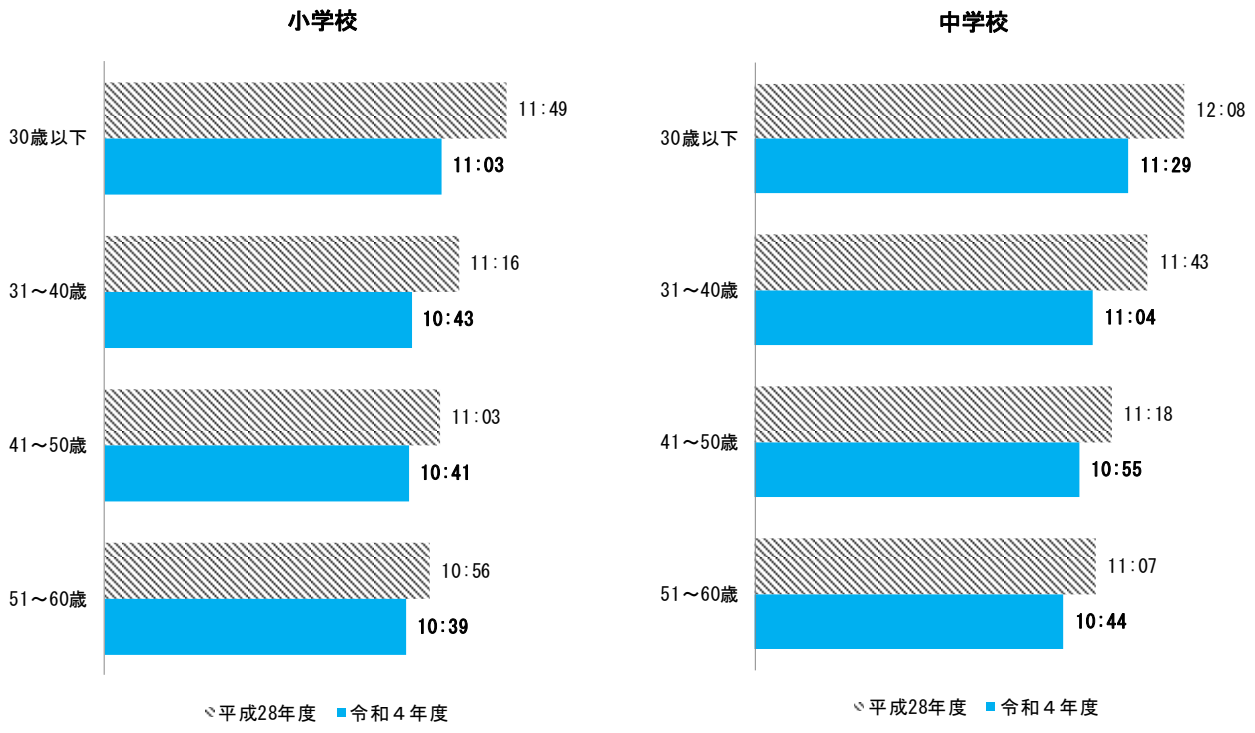


図 3-3　教諭・年齢階層別教諭の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）
（平日　時間：分）

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」は、主幹教諭・指導教諭を含む。

④年齢階層別（土日）

「教諭」の土日の在校等時間について、年齢別に平成 28 年度と比較すると、小学校、中学校共に、全ての年齢階層で在校等時間が減少している。特に 40 歳以下の減少幅が大きい。

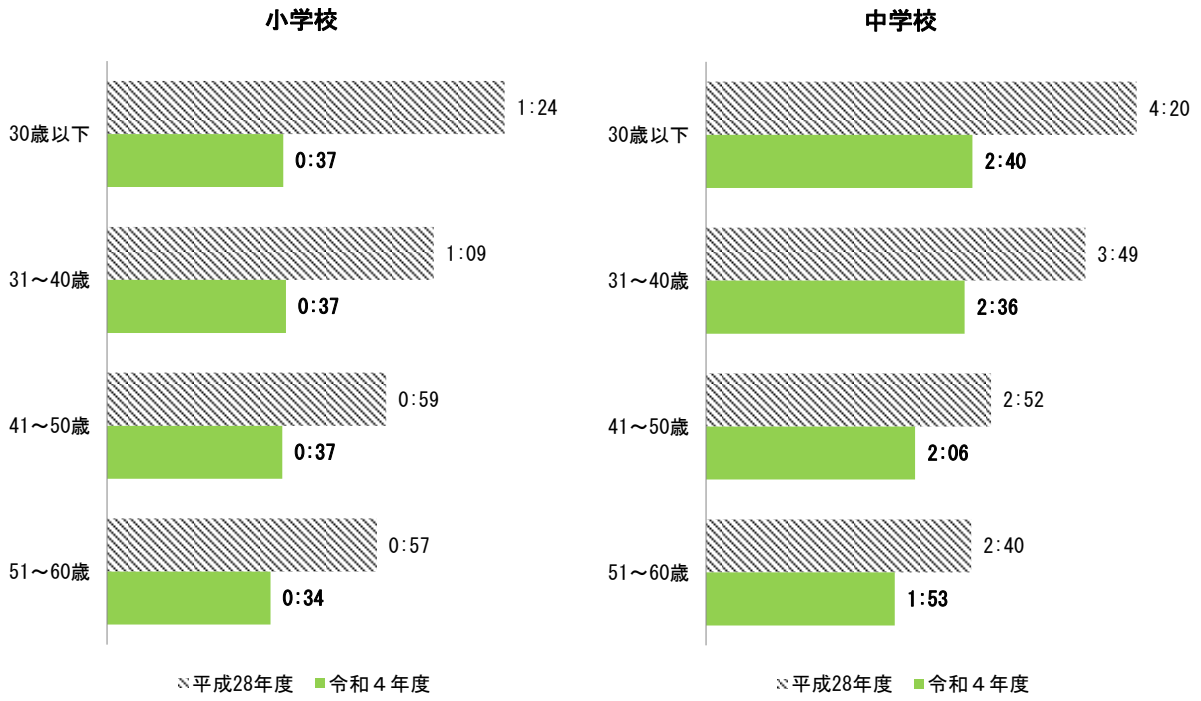


図 3-4　教諭・年齢階層別教諭の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）
（土日　時間：分）

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

（2)1 週間当たりの総在校等時間

①職種別

1 週間当たりの総在校等時間について、職種別に平成 28 年度と比較すると、全ての職種で総在校等時間が減少している。

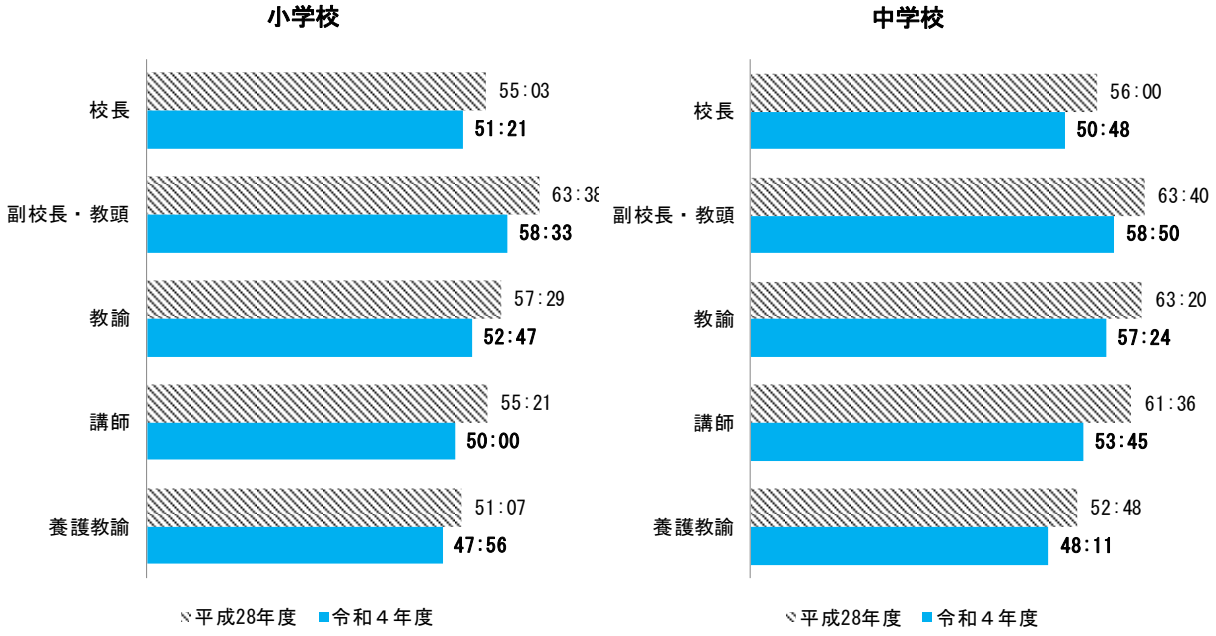


図 3-5　職種別教員の 1 週間当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）

（時間：分）

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※上記グラフは、在校等時間から本調査の回答を一律で差し引いている。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。

②教諭

1 週間当たりの「教諭」の総在校等時間について、令和 4 年度は、小学校は 50～55 時間未満、中学校は 50～55 時間未満、55～60 時間未満の者が占める割合が高い。

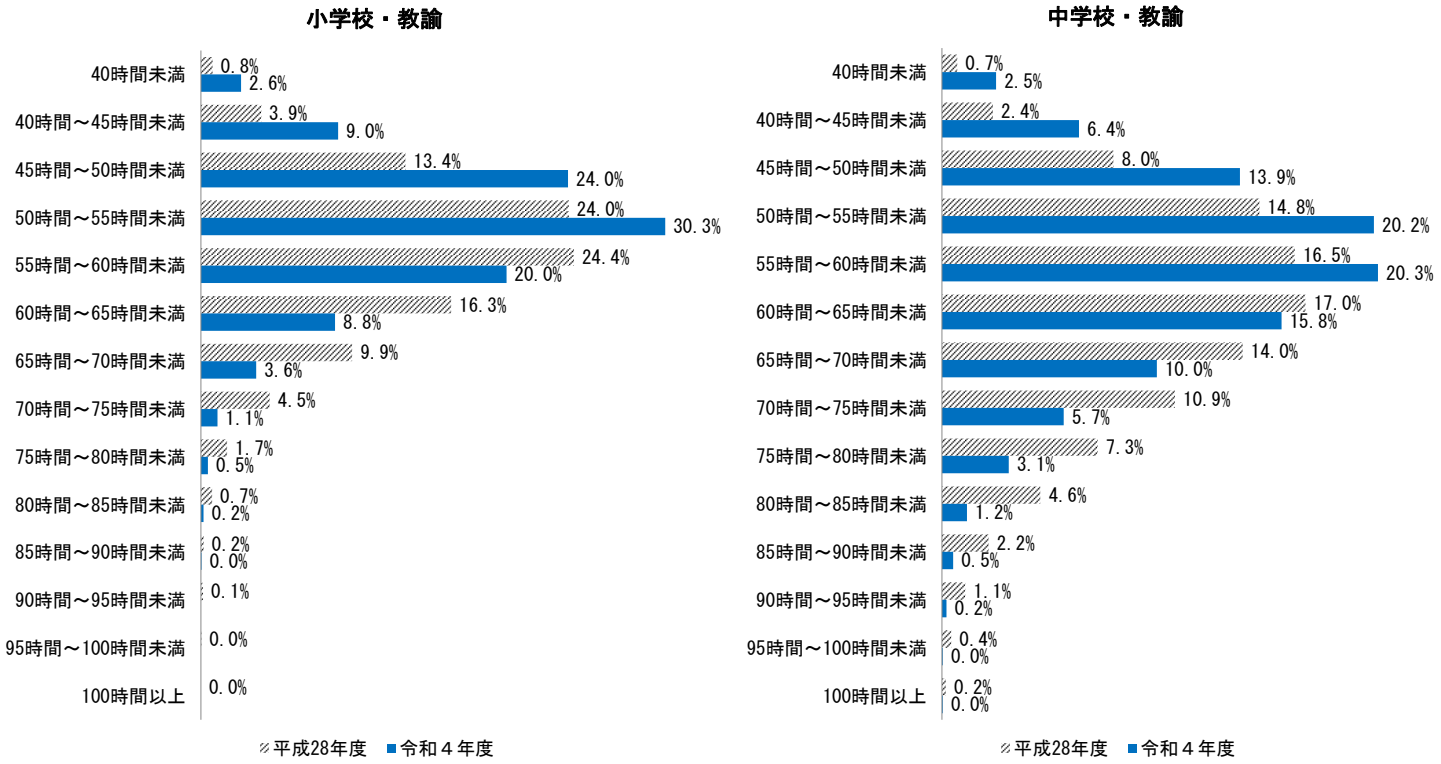


図 3-6　教諭　1 週間の総在校等時間分布（持ち帰り時間は含まない）

※1 週間当たりの正規の勤務時間は 38 時間 45 分。
※上記グラフは、在校等時間から本調査の回答時間を一律で差し引いている。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。

（3）1 日の在校等時間の内訳

①全体

教諭について平成 28 年度と比較すると、平日の在校等時間は減少している一方、持ち帰り時間は若干増加している。土日は、在校等時間、持ち帰り時間共に減少している。

平日、土日共に在校等時間及び持ち帰り時間の合計時間は減少している。

表 3-1　教諭の 1 日当たりの在校等時間・持ち帰り業務時間

時間：分

	平日						土日					
	在校等時間		持ち帰り時間		在校等時間及び持ち帰り時間の計		在校等時間		持ち帰り時間		在校等時間及び持ち帰り時間の計	
	平成28年度	**令和４年度**	平成28年度	**令和４年度**	平成28年度	**令和４年度**	平成28年度	**令和４年度**	平成28年度	**令和４年度**	平成28年度	**令和４年度**
小学校	11:15	**10:45**	0:29	**0:37**	11:45	**11:23**	1:07	**0:36**	1:08	**0:36**	2:15	**1:12**
中学校	11:32	**11:01**	0:20	**0:32**	11:52	**11:33**	3:22	**2:18**	1:10	**0:49**	4:33	**3:07**

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

②性別・年齢別

教諭について性別・年齢別で整理すると、男女共に、30 歳以下の「教諭」の平日の在校等時間が長い。

持ち帰り時間については同年代（31 歳以上）で男女を比較すると、女性の方が若干長い。

表 3-2　教諭の 1 日当たりの在校等時間・持ち帰り時間（小学校）

時間：分

	平日			土日		
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間及び持ち帰り時間の計	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間及び持ち帰り時間の計
男性・30歳以下	11:08	0:36	11:44	0:37	0:24	1:01
男性・31～40歳	10:47	0:38	11:25	0:35	0:26	1:01
男性・41～50歳	10:50	0:32	11:23	0:37	0:30	1:07
男性・51～60歳	10:24	0:30	10:55	0:32	0:36	1:08
男性・61歳以上	9:30	0:22	9:53	0:14	0:18	0:33
女性・30歳以下	11:00	0:34	11:35	0:37	0:30	1:07
女性・31～40歳	10:39	0:43	11:22	0:39	0:40	1:20
女性・41～50歳	10:37	0:43	11:21	0:36	0:48	1:24
女性・51～60歳	10:44	0:35	11:19	0:35	0:45	1:21
女性・61歳以上	10:14	0:26	10:40	0:25	0:30	0:55

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

表 3-3　教諭の 1 日当たりの在校等時間・持ち帰り時間（中学校）

時間：分

	平日			土日		
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間及び持ち帰り時間の計	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間及び持ち帰り時間の計
男性・30歳以下	11:34	0:29	12:04	2:51	0:41	3:33
男性・31～40歳	11:11	0:32	11:44	2:51	0:41	3:32
男性・41～50歳	10:59	0:30	11:30	2:28	0:53	3:21
男性・51～60歳	10:36	0:25	11:01	2:07	0:44	2:52
男性・61歳以上	10:03	0:20	10:23	1:43	0:34	2:18
女性・30歳以下	11:21	0:32	11:53	2:23	0:46	3:09
女性・31～40歳	10:51	0:40	11:31	2:04	0:58	3:03
女性・41～50歳	10:50	0:39	11:30	1:42	1:06	2:48
女性・51～60歳	10:52	0:32	11:25	1:41	0:56	2:38
女性・61歳以上	10:15	0:25	10:41	1:01	0:52	1:53

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

（4）業務内容別の在校等時間

①教諭

「教諭」の平日の在校等時間について業務内容別に整理すると、小学校、中学校共に「授業（主担当）」の時間が最も長く、次いで「授業準備」「生徒指導（集団 1）」の時間が長い。

土日の在校等時間については、中学校において「部活動・クラブ活動」の時間が長い。

表 3-4　教諭の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）の内訳

時間：分

	平日		土日	
	小学校	中学校	小学校	中学校
朝の業務	0:41	0:44	0:00	0:00
授業（主担当）	4:13	3:16	0:02	0:01
授業（補助）	0:20	0:23	0:00	0:00
授業準備	1:16	1:23	0:10	0:11
学習指導	0:21	0:13	0:00	0:00
成績処理	0:25	0:36	0:04	0:12
生徒指導（集団1）	0:56	0:49	0:00	0:00
生徒指導（集団2）	0:02	0:05	0:00	0:00
生徒指導（個別）	0:04	0:14	0:00	0:00
部活動・クラブ活動	0:03	0:37	0:01	1:29
児童会・生徒会指導	0:02	0:05	0:00	0:00
学校行事	0:15	0:15	0:04	0:03
学年・学級経営	0:19	0:27	0:01	0:02
学校経営	0:17	0:17	0:02	0:02
職員会議・学年会などの会議	0:19	0:18	0:00	0:00
個別の打ち合わせ	0:05	0:06	0:00	0:00
事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:00	0:00
事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:00
事務（その他）	0:15	0:17	0:02	0:03
校内研修	0:09	0:04	0:00	0:00
保護者・PTA対応	0:06	0:09	0:00	0:00
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:00
校務としての研修	0:08	0:09	0:00	0:00
会議	0:03	0:05	0:00	0:00
その他の校務	0:08	0:09	0:00	0:02
総計	10:45	11:01	0:36	2:18

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※棒グラフは、当該校種における全体に占める割合を示す。
※「教諭」には主幹教諭・指導教諭を含む。
※「土日」には、土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

②時系列変化：教諭・平日

「教諭」の平日の在校等時間について、業務内容別に平成 28 年度と比較すると、主に、「授業（主担当）」、「朝の業務」、「学習指導」（小学校）の時間が増加し、「学校行事」、「成績処理」（小学校）、「学校経営」（小学校）、「校務としての研修」（小学校）、「学年・学級経営」（中学校）、「生徒指導（集団）」（中学校）の時間が減少している。

表 3-5　教諭の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）の内訳（平日）

時間：分

平日（教諭のみ）	小学校			中学校		
	平成28年度	令和４年度	増減	平成28年度	令和４年度	増減
朝の業務	0:35	0:41	+0:06	0:37	0:44	+0:07
授業（主担当）	4:06	4:13	+0:07	3:05	3:16	+0:11
授業（補助）	0:19	0:20	+0:01	0:21	0:23	+0:02
授業準備	1:17	1:16	-0:01	1:26	1:23	-0:03
学習指導	0:15	0:21	+0:06	0:09	0:13	+0:04
成績処理	0:33	0:25	-0:08	0:38	0:36	-0:02
生徒指導（集団）	1:00	0:59	-0:01	1:02	0:54	-0:08
うち、生徒指導（集団1）	―	0:56	―	―	0:49	―
うち、生徒指導（集団2）	―	0:02	―	―	0:05	―
生徒指導（個別）	0:05	0:04	-0:01	0:18	0:14	-0:04
部活動・クラブ活動	0:07	0:03	-0:04	0:41	0:37	-0:04
児童会・生徒会指導	0:03	0:02	-0:01	0:06	0:05	-0:01
学校行事	0:26	0:15	-0:11	0:27	0:15	-0:12
学年・学級経営	0:23	0:19	-0:04	0:37	0:27	-0:10
学校経営	0:22	0:17	-0:05	0:21	0:17	-0:04
職員会議・学年会などの会議	0:20	0:19	-0:01	0:19	0:18	-0:01
個別の打ち合わせ	0:04	0:05	+0:01	0:06	0:06	±0:00
事務（調査への回答）	0:01	0:04	+0:03	0:01	0:04	+0:03
事務（学納金関連）	0:01	0:01	±0:00	0:01	0:01	±0:00
事務（その他）	0:15	0:15	±0:00	0:17	0:17	±0:00
校内研修	0:13	0:09	-0:04	0:06	0:04	-0:02
保護者・ＰＴＡ対応	0:07	0:06	-0:01	0:10	0:09	-0:01
地域対応	0:01	0:00	-0:01	0:01	0:00	-0:01
行政・関係団体対応	0:02	0:01	-0:01	0:01	0:01	±0:00
校務としての研修	0:13	0:08	-0:05	0:12	0:09	-0:03
会議	0:05	0:03	-0:02	0:07	0:05	-0:02
その他の校務	0:11	0:08	-0:03	0:10	0:09	-0:01
総計	11:15	10:45	-0:30	11:32	11:01	-0:31

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」について、主幹教諭・指導教諭を含む。

③時系列変化：教諭・土日

教諭の土日の在校等時間について、業務内容別に平成 28 年度と比較すると、主に、「学校行事」、「授業（主担当）」（小学校）、「部活動・クラブ活動」（中学校）の時間が減少している。

表 3-6　教諭の 1 日当たりの在校等時間（持ち帰り時間は含まない）の内訳（土日）

時間：分

土日（教諭のみ）	小学校			中学校		
	平成28年度	令和４年度	増減	平成28年度	令和４年度	増減
朝の業務	0:02	0:00	-0:02	0:01	0:00	-0:01
授業（主担当）	0:07	0:02	-0:05	0:03	0:01	-0:02
授業（補助）	0:01	0:00	-0:01	0:00	0:00	±0:00
授業準備	0:13	0:10	-0:03	0:13	0:11	-0:02
学習指導	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
成績処理	0:05	0:04	-0:01	0:13	0:12	-0:01
生徒指導（集団）	0:02	0:00	-0:02	0:01	0:00	-0:01
うち、生徒指導（集団1）	―	0:00	―	―	0:00	―
うち、生徒指導（集団2）	―	0:00	―	―	0:00	―
生徒指導（個別）	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
部活動・クラブ活動	0:04	0:01	-0:03	2:09	1:29	-0:40
児童会・生徒会指導	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
学校行事	0:09	0:04	-0:05	0:11	0:03	-0:08
学年・学級経営	0:03	0:01	-0:02	0:04	0:02	-0:02
学校経営	0:03	0:02	-0:01	0:03	0:02	-0:01
職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
個別の打ち合わせ	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（調査への回答）	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（学納金関連）	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（その他）	0:02	0:02	±0:00	0:02	0:03	+0:01
校内研修	0:01	0:00	-0:01	0:00	0:00	±0:00
保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:00	-0:03	0:03	0:00	-0:03
地域対応	0:02	0:00	-0:02	0:01	0:00	-0:01
行政・関係団体対応	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
校務としての研修	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
会議	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
その他の校務	0:01	0:00	-0:01	0:04	0:02	-0:02
総計	1:07	0:36	-0:31	3:22	2:18	-1:04

※在校等時間については、小数点以下を切り捨てて表示。
※「教諭」については、主幹教諭・指導教諭を含む。
※土曜日、日曜日のいずれかが勤務日に該当している者を含む。

（5)終業から始業までの休息時間

就業から始業までの休息時間として、月曜日の夜～火曜日の朝、火曜日夜～水曜日朝、水曜日夜～木曜日朝、木曜日夜～金曜日朝の 4 回分の在校等時間以外の時間の平均値を算出した。

その結果、教諭は、小学校平均 12 時間 54 分、中学校平均 12 時間 34 分の終業から始業までの休息時間を確保している。また、校長については、小学校平均 12 時間 57 分、中学校平均 13 時間 5 分、副校長・教頭については、小学校平均 11 時間 39 分、中学校平均 11 時間 42 分である。

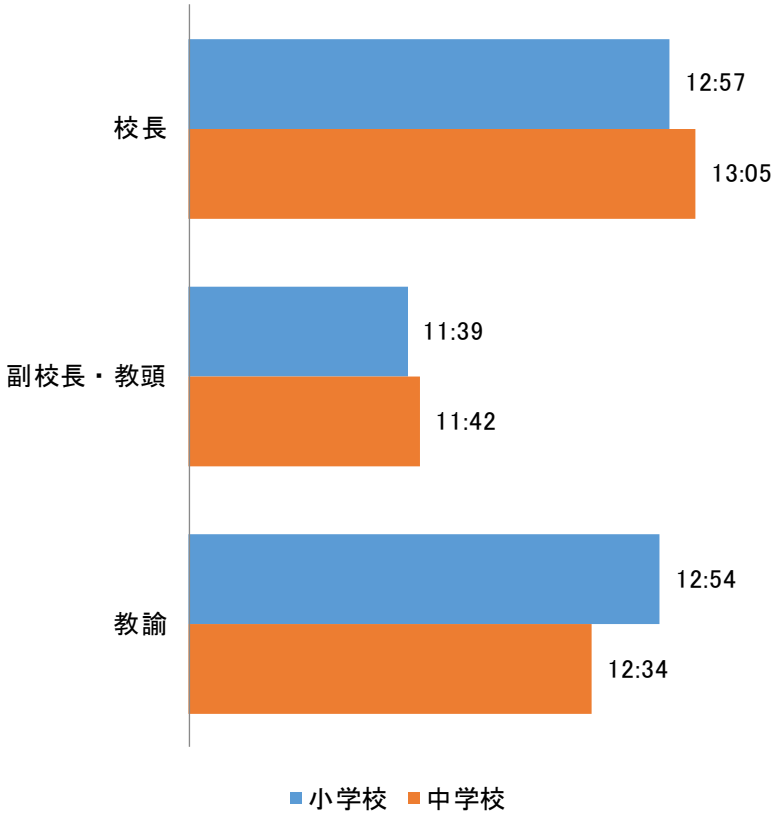


図 3-7　平日 4 回分の終業から始業までの休息時間の平均時間

次に、終業から始業までの休息時間が 11 時間未満である者の割合をみると、教諭は小学校 5.8%、中学校 11.8%となっている。また、校長については、小学校 5.5%、中学校 3.3%、副校長・教頭については、小学校 27.5%、中学校 26.5%である。

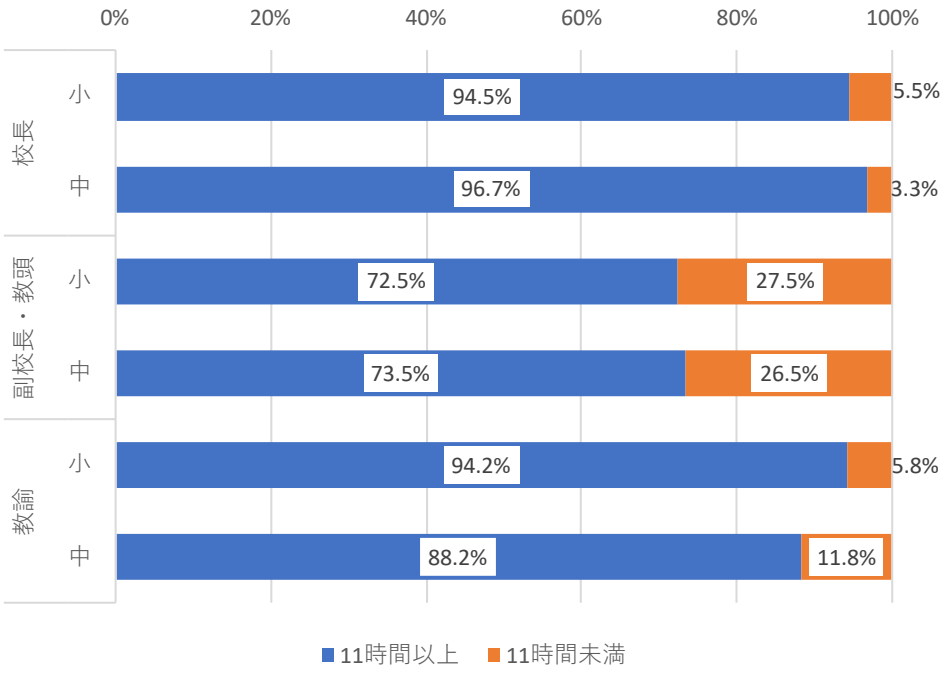


図 3-8　終業から始業までの休息時間の取得割合

4. 考察

本章の分析結果から、前回調査（平成 28 年度）と比較して、平日・土日共に、いずれの職種でも在校等時間が減少したことがわかった。このうち、教諭については、前回調査（平成 28 年度）と比べ、平日 1 日当たり小学校・中学校共に 30 分程度、土日 1 日当たり小学校は 31 分、中学校は 1 時間以上の減少となっている。年齢階層別では、小学校、中学校共に、全ての年齢階層で在校等時間が減少しており、特に 40 歳以下の減少幅が大きい。また、教諭の在校等時間を業務内容別にみたところ、平日については、主に、「授業（主担当）」、「朝の業務」、「学習指導」（小学校）の時間が増加し、「学校行事」、「成績処理」（小学校）、「学校経営」（小学校）、「校務としての研修」（小学校）、「学年・学級経営」（中学校）、「生徒指導（集団）」（中学校）の時間が減少している。土日については、「学校行事」、「授業（主担当）」（小学校）、「部活動・クラブ活動」（中学校）の時間が減少していた。

前回調査（平成 28 年度）と比較して、長時間勤務の教員は依然として存在するものの、上記の結果から、働き方改革の一定の効果があったといえる。特に、教諭については、40 歳以下の減少幅が大きく、また、業務内訳では児童生徒に対応する業務以外の時間を中心に時間が減少している。また、中学校では、土日の部活動が減少しており、部活動改革の効果があったことも考えられる。

一方で、副校長・教頭については、終業から始業までの休息時間が 11 時間未満である者の割合が 2 割以上あるなど、更なる働き方改革を推進し十分な休息時間を確保していくことが必要といえる。

第4章 教員の在校等時間の分布の変化に関する分析

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- 教諭の在校等時間の分布を整理すると、週 60 時間以上の在校等時間の教諭の割合は、平成 28 年度と比べて小・中共に約 2 割減少。また、学校全体で在校等時間が長い学校が減少している。
- 学校内の教諭の在校等時間の分布を整理すると、同じ学校内でも、教諭 1 人 1 人の在校等時間にばらつきがあり、在校等時間が「長い学校」と「短い学校」という学校単位の要因よりも、1 つの学校の中でも在校等時間の「長い教員」と「短い教員」のばらつきがあるという状況。さらに、教諭個人の在校等時間は、平成 28 年度と比べ、性年齢といった属性要因の影響度が低くなっている。
- 業務内容別の在校等時間を整理すると、在校等時間の長い教諭と短い教諭では、「授業準備」「成績処理」「部活動（中学校）」「学年・学級経営（中学校）」などで差がみられる。これらの業務については、各教員が、効率的・効果的な業務を行えるような環境整備が必要といえる。また、「職員会議・学年会などの会議」「学校行事」などは、学校単位で業務時間が長くなる傾向にあるため、学校全体で改革に取り組むことが有効である。
- 学校単位で働き方改革を考えた場合、全教員を対象とした施策や呼びかけを行うことに加え、在校等時間が長い教諭に対して個別に対策を行うことが必要。また、属性や校務等以外の部分（例えば、仕事の優先順位付けや効率化をはじめとした教師の時間管理意識や本人の気質など。詳しくは、次章以降でみていく）にも配慮が必要。

1. 本章の目的

平成 28 年度（前回調査）以降、学校の働き方改革が推進されてきた。平成 28 年度以降、教員の勤務状況にどのような変化があったのかを明らかにする。

2. 分析方法

平成 28 年度（前回調査）以降の教諭（主幹、指導含む。以下同様）の在校等時間の状況を明らかにするため、本章では、以下 2 つの分析を実施した。

①前回調査時と比較して、教諭の在校等時間の分布がどのように変化したのかを分析。

②業務項目別にみて、どの業務において教諭の業務時間に差があるかを分析。

3. 分析結果

（1）教諭個人の働き方と学校の関係

まずは、教諭の在校等時間の分布の時系列変化を確認した。その結果、在校等時間が週 60 時間以上の教諭が全体に占める割合は、平成 28 年度と比べて小・中共に約 2 割減少していることがわかった。

表 4-1　1 週間当たりの総在校等時間の分布（教諭）

	週60時間以上		週60時間未満	
	平成28年度	令和4年度	平成28年度	令和4年度
小学校	1,822	1,267	3,612	7,691
	33.5%	14.1%	66.5%	85.9%
中学校	3,699	3,361	2,721	5,803
	57.6%	36.7%	42.4%	63.3%

次に、学校単位で教諭の在校等時間の平均を算出し、その分布が平成 28 年度からどう変化したのかを整理した。

教諭の在校等時間の学校平均の分布は、図 4-1 のとおり。このような学校平均の分布からも教諭の在校等時間が減少したことがわかる。また、分布のピークが、小中共に在校等時間が短い方に移動していることに加えて、10 時間 30 分以上の学校が減少する形で分布が集中しており、学校による在校等時間のばらつきも小さくなっていることから、学校全体で在校等時間の長い学校が減少していることが伺える。

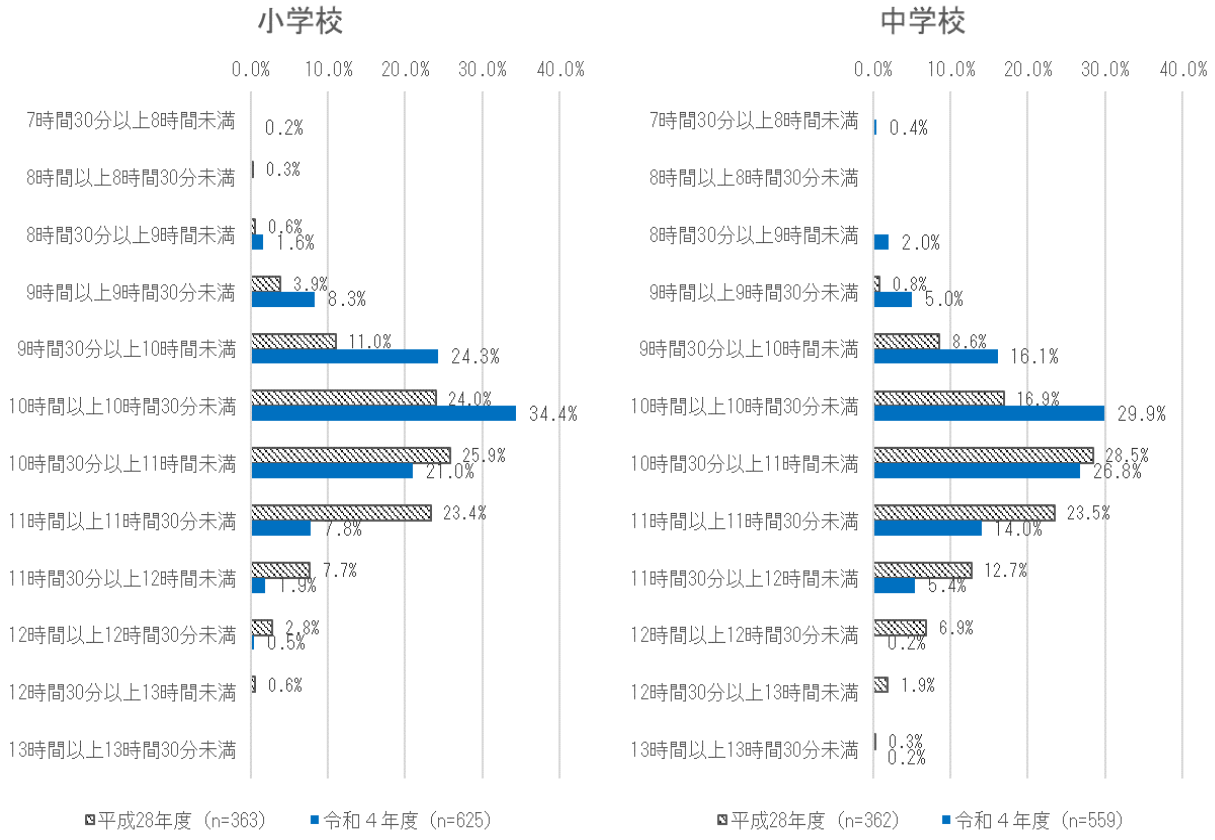
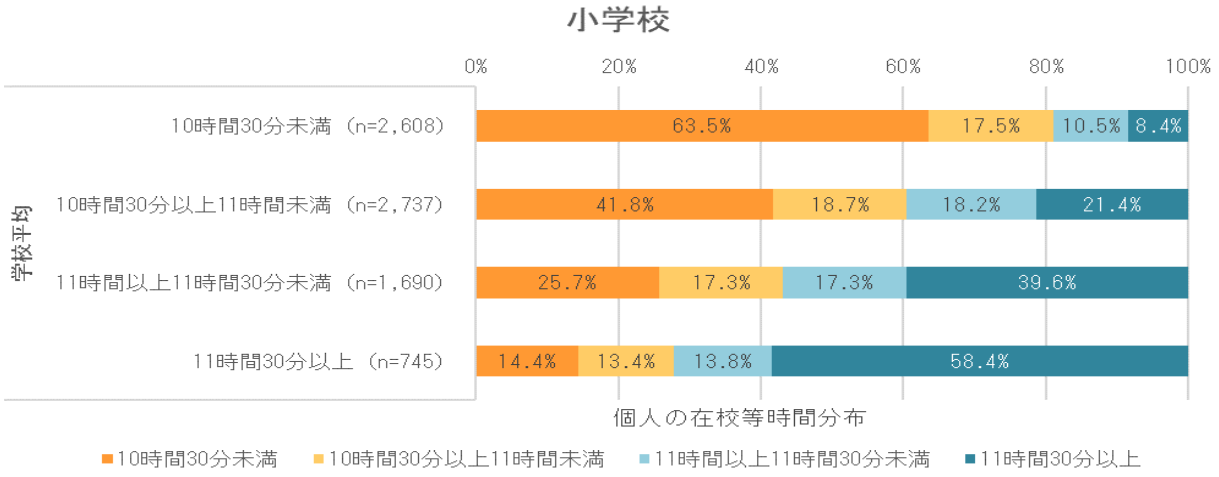


図 4-1　在校等時間（教諭、平日）の学校平均分布
（教員調査回収率 50%以上の学校のみ）

最後に、教諭の在校等時間（平日）の学校平均別に、教諭個人の在校等時間（平日）の分布を確認した。

その結果、在校等時間の学校平均が短い学校（10 時間 30 分未満）と長い学校（11 時間 30 分以上）は、個々の教員の在校等時間も、同時間帯（10 時間 30 分未満/11 時間 30 分以上）となる割合が高い。一方で、学校平均が中間層（10 時間 30 分～11 時間 30 分）の学校は、教諭の在校等時間も 10 時間 30 分～11 時間 30 分の割合が高いわけではない。在校等時間が 10 時間 30 分未満の教諭と 11 時間 30 分以上の教諭の構成比が変わることにより、学校平均が変化している。教諭個人の在校等時間が 10 時間 30 分～11 時間 30 分の構成比は、学校平均が異なっても、大きな違いはみられない。

すなわち、在校等時間の学校平均は、在校等時間が短い教諭、長い教諭がどれだけいるかによって決まっているといえる。学校平均で在校等時間が短い学校でも、一定数、在校等時間が長い教諭が存在している。学校単位で働き方改革を考えた場合、全教員を対象とした施策や呼びかけを行うことに加え、在校等時間が長い教諭に対して個別に対策を行うことが必要といえる。



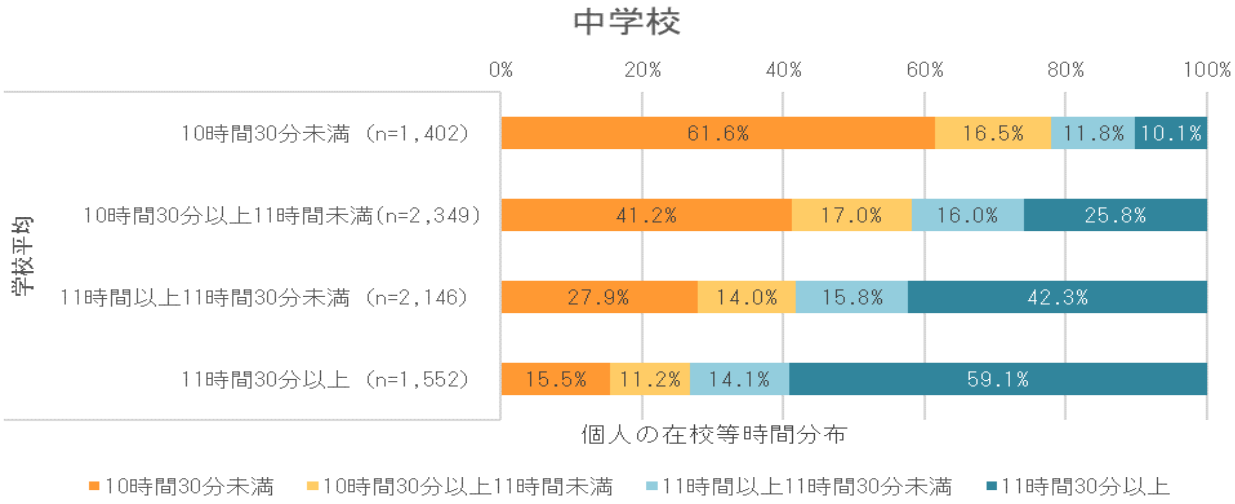


図 4-2　教諭の在校等時間（平日）　学校平均と個人の関係
（教員調査回収率 50%以上のみ）

（2）個人の働き方の規定要因

平成 28 年度調査報告書（第 4 章）において実施した教諭個人の在校等時間を被説明変数とした回帰分析と同様の重回帰分析を実施し、個人の働き方の規定要因を探る。

記述統計量は、以下のとおり。

表 4-2　教諭（個人単位）での重回帰分析に用いる変数の記述統計量（小学校）

小学校		令和4年度（n=7,877）		平成28年度（n=5,084）		差分	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
勤務時間	平日在校等時間(分)	646.49	73.76	676.53	77.20	-30.04	-3.44
	土日在校等時間(分)	36.34	80.30	67.55	115.07	-31.20	-34.77
属性	Q1性別(男性1　女性2)	1.61	0.49	1.62	0.49	-0.01	0.00
	Q2年齢	40.16	11.68	40.79	11.47	-0.63	0.21
	Q3-2正規任用ダミー	0.92	0.27	0.94	0.23	-0.02	0.04
	Q4-2現在校勤務期間通算年	2.60	2.44	2.57	2.61	0.04	-0.17
	Q6-2担任学級児童生徒数(担任なしは0)	20.70	13.25	22.52	13.04	-1.82	0.21
	Q12一週間の担当授業コマ数	23.88	4.95	25.04	6.60	-1.16	-1.65
	土日勤務なし	0.96	0.20	1.88	0.33	-0.92	-0.13
家庭状況	Q15通勤時間(分)	26.80	16.93	27.30	17.24	-0.51	-0.31
	Q16-1　6歳児未満子ども有	0.17	0.37	0.15	0.36	0.02	0.01
	Q17-1_1自宅介護有	0.04	0.20	0.05	0.21	-0.01	-0.01
	Q17-1_2自宅外介護有	0.11	0.32	0.12	0.33	-0.01	-0.01
主任	Q10_1教務主任	0.06	0.24	0.05	0.23	0.01	0.01
	Q10_2生徒指導主事	0.05	0.23	0.05	0.22	0.00	0.00
	Q10_3進路指導主事	0.00	0.04	0.00	0.05	-0.00	-0.01
	Q10_4保健主事	0.03	0.18	0.03	0.17	0.00	0.01
	Q10_5研究主事	0.05	0.21	0.05	0.22	-0.01	-0.01
	Q10_7庶務主任	0.00	0.05	0.00	0.07	-0.00	-0.02
	Q10_8学年主任	0.29	0.45	0.27	0.45	0.01	0.01
	Q10_9教科主任	0.33	0.47	0.32	0.47	0.01	0.00
校務分掌	Q11_1教務	0.12	0.33	0.13	0.34	-0.01	-0.01
	Q11_2生活・生徒指導(教育相談含む)	0.15	0.35	0.18	0.39	-0.04	-0.03
	Q11_3進路指導	0.01	0.08	0.01	0.08	-0.00	-0.01
	Q11_4保健・環境	0.08	0.27	0.14	0.35	-0.06	-0.08
	Q11_5研修・研究	0.15	0.36	0.21	0.41	-0.06	-0.05
	Q11_6庶務・会計	0.06	0.25	0.10	0.29	-0.03	-0.05
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	0.08	0.27	0.07	0.26	0.01	0.01
	Q11_8児童会・生徒会	0.11	0.31	0.15	0.35	-0.03	-0.04
	Q11_9広報	0.02	0.15	0.04	0.19	-0.01	-0.03
	Q11_10渉外・地域連携	0.04	0.20	0.06	0.23	-0.02	-0.03
	校務分掌数	1.37	0.89	1.37	0.89	0.00	0.00

表 4-3　教諭（個人単位）での重回帰分析に用いる変数の記述統計量（中学校）

中学校		令和4年度（n=8,089）		平成28年度（n=6,076）		差分	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
勤務時間	平日在校等時間(分)	662.36	84.53	693.18	85.22	-30.82	-0.69
	土日在校等時間(分)	139.42	156.86	204.27	201.30	-64.85	-44.44
属性	Q1性別(男性1　女性2)	1.41	0.49	1.41	0.49	-0.01	-0.00
	Q2年齢	41.24	11.64	41.23	11.33	0.02	0.31
	Q3-2正規任用ダミー	0.91	0.28	0.95	0.22	-0.03	0.06
	Q4-2現在校勤務期間通算年	2.77	2.63	2.66	2.70	0.11	-0.07
	Q6-2担任学級児童生徒数(担任なしは0)	17.85	16.58	18.92	16.71	-1.07	-0.13
	Q8-2担当部活週平均活動日数(顧問なしは0)	4.16	1.59	5.08	1.97	-0.92	-0.37
	Q12一週間の担当授業コマ数	18.08	4.00	19.12	7.58	-1.04	-3.58
	土日勤務なし	0.97	0.17	1.91	0.28	-0.94	-0.12
家庭状況	Q15通勤時間(分)	29.16	18.50	29.03	18.44	0.14	0.05
	Q16-1　6歳児未満子ども有	0.16	0.37	0.15	0.36	0.01	0.01
	Q17-1_1自宅介護有	0.04	0.20	0.05	0.22	-0.01	-0.02
	Q17-1_2自宅外介護有	0.12	0.33	0.13	0.34	-0.01	-0.01
主任	Q10_1教務主任	0.06	0.24	0.04	0.21	0.02	0.03
	Q10_2生徒指導主事	0.05	0.22	0.04	0.21	0.00	0.01
	Q10_3進路指導主事	0.05	0.22	0.04	0.21	0.01	0.01
	Q10_4保健主事	0.01	0.12	0.01	0.12	-0.00	-0.00
	Q10_5研究主事	0.04	0.19	0.04	0.20	-0.00	-0.01
	Q10_7庶務主任	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.01
	Q10_8学年主任	0.15	0.36	0.14	0.34	0.01	0.01
	Q10_9教科主任	0.30	0.46	0.29	0.46	0.01	0.00
校務分掌	Q11_1教務	0.16	0.37	0.15	0.36	0.01	0.01
	Q11_2生活・生徒指導(教育相談含む)	0.22	0.42	0.25	0.43	-0.02	-0.02
	Q11_3進路指導	0.10	0.30	0.10	0.30	-0.00	-0.00
	Q11_4保健・環境	0.08	0.27	0.12	0.32	-0.04	-0.06
	Q11_5研修・研究	0.11	0.32	0.14	0.35	-0.03	-0.03
	Q11_6庶務・会計	0.07	0.26	0.11	0.31	-0.03	-0.05
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	0.05	0.23	0.05	0.21	0.01	0.01
	Q11_8児童会・生徒会	0.14	0.35	0.17	0.38	-0.03	-0.03
	Q11_9広報	0.04	0.19	0.05	0.21	-0.01	-0.02
	Q11_10渉外・地域連携	0.05	0.22	0.07	0.25	-0.02	-0.03
	校務分掌数	1.50	0.94	1.44	0.86	0.06	0.08

重回帰分析の結果、平成 28 年度と比較した変化や特徴として次のことがあげられる。①小学校土日以外は決定係数（調整済み R2 乗）が小さくなっている。②性年齢の影響度が低くなっている（標準化係数の絶対値が、平成 28 年度より小さい）。③小学校土日は、土日勤務なしの影響が大きくなっている（すなわち、土日授業など出勤日以外での出勤が減少していることがうかがえる）。④学級担任や部活動顧問、主任、校務分掌等の影響は、大きな変化はみられない。

これらの結果より、教諭の在校等時間は、平成 28 年度と比較して、本モデルに含まれない属性や校務等以外の要因の影響が高くなっているものと予想され、例えば、働き改革への取り組み方や個々人の働き方・考え方・性格などが在校等時間に影響しているものと推測される（詳細は第 6 章参照）。働き方改革を推進していくためには、属性や校務等以外の働き方や考え方にも配慮をしていくことが必要だといえる。

表 4-4　教諭の在校等時間を被説明変数とする重回帰分析（小学校）

小学校・教諭・平日（いずれも持ち帰りはなし）

説明変数		令和4年度			平成28年度		
		係数	*	標準化係数	係数		標準化係数
属性	Q1性別（男性1　女性2）	-4.17	**	-0.03	-10.07	***	-0.06
	Q2年齢	-0.81	***	-0.13	-1.78	***	-0.26
	Q3-2正規任用ダミー	13.77	***	0.05	10.63	**	0.03
	Q4-2現在校勤務期間通算年	-0.36		-0.01	-1.13	***	-0.04
	Q5-2担任学級児童数（担任なしは0）	1.27	***	0.23	1.38	***	0.23
	Q12一週間の担当授業コマ数	0.36	**	0.02	0.05		0.00
	土日勤務なし	2.40		0.01	-8.14	**	-0.03
家庭状況	Q15通勤時間（分）	-0.14	***	-0.03	-0.29	***	-0.06
	Q16-1　6歳児未満子ども有	-31.63	***	-0.16	-41.78	***	-0.19
	Q17-1_1自宅介護有	-1.57		0.00	-1.95		-0.01
	Q17-1_2自宅外介護有	0.49		0.00	-0.83		0.00
主任	Q10_1教務主任	36.42	***	0.12	32.60	***	0.10
	Q10_2生徒指導主事	8.39	*	0.03	5.65		0.02
	Q10_3進路指導主事	34.95		0.02	-21.03		-0.01
	Q10_4保健主事	10.75	**	0.03	5.49		0.01
	Q10_5研究主事	7.79	*	0.02	1.57		0.00
	Q10_7庶務主任	7.39		0.01	12.24		0.01
	Q10_8学年主任	9.85	***	0.06	10.63	***	0.06
	Q10_9教科主任	6.05	***	0.04	7.38	***	0.04
校務分掌	Q11_1教務	-4.30		-0.02	-1.22		-0.01
	Q11_2生活・生徒指導（教育相談含む）	-7.71	***	-0.04	-9.86	***	-0.05
	Q11_3進路指導	0.04		0.00	23.44	*	0.03
	Q11_4保健・環境	-4.37		-0.02	-5.38		-0.02
	Q11_5研修・研究	-0.47		0.00	-2.85		-0.02
	Q11_6庶務・会計	6.23	*	0.02	3.80		0.01
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	19.88	***	0.07	15.52	***	0.05
	Q11_8児童会・生徒会	1.06		0.00	3.46		0.02
	Q11_9広報	0.99		0.00	-6.42		-0.02
	Q11_10渉外・地域連携	11.36	***	0.03	5.45		0.02
	校務分掌数	3.41	**	0.04	6.22	***	0.07
	（定数）	632.52	***		741.22	***	
	調整済み R2 乗	0.116			0.181		
	N数	7,877			5,084		

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

小学校・教諭・土日（いずれも持ち帰りはなし）

説明変数		令和4年度			平成28年度		
		係数	*	標準化係数	係数		標準化係数
属性	Q1性別（男性1　女性2）	4.03	**	0.02	-9.23	***	-0.04
	Q2年齢	-0.13		-0.02	-0.72	***	-0.07
	Q3-2正規任用ダミー	3.76		0.01	-9.80		-0.02
	Q4-2現在校勤務期間通算年	0.54	*	0.02	0.03		0.00
	Q5-2担任学級児童数（担任なしは0）	0.33	***	0.05	0.38	***	0.04
	Q12一週間の担当授業コマ数	0.01		0.00	-0.33		-0.02
	土日勤務なし	-212.27	***	-0.54	-147.11	***	-0.34
家庭状況	Q15通勤時間（分）	-0.09	*	-0.02	-0.15		-0.02
	Q16-1　6歳児未満子ども有	-8.24	***	-0.04	-19.84	***	-0.06
	Q17-1_1自宅介護有	6.46		0.02	-1.02		0.00
	Q17-1_2自宅外介護有	5.15	**	0.02	-5.22		-0.01
主任	Q10_1教務主任	18.17	***	0.05	27.21	***	0.05
	Q10_2生徒指導主事	-1.28		0.00	7.63		0.01
	Q10_3進路指導主事	52.00	**	0.03	-24.57		-0.01
	Q10_4保健主事	-2.70		-0.01	-3.45		-0.01
	Q10_5研究主事	6.25		0.02	6.15		0.01
	Q10_7庶務主任	13.04		0.01	10.22		0.01
	Q10_8学年主任	1.98		0.01	2.67		0.01
	Q10_9教科主任	3.39	**	0.02	11.28	***	0.05
校務分掌	Q11_1教務	-4.86		-0.02	-1.86		-0.01
	Q11_2生活・生徒指導（教育相談含む）	-0.48		0.00	-9.65	*	-0.03
	Q11_3進路指導	-15.99		-0.02	-24.32		-0.02
	Q11_4保健・環境	-4.18		-0.01	-4.24		-0.01
	Q11_5研修・研究	2.44		0.01	-2.65		-0.01
	Q11_6庶務・会計	-2.35		-0.01	-7.63		-0.02
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	-2.20		-0.01	-4.95		-0.01
	Q11_8児童会・生徒会	-0.19		0.00	1.35		0.00
	Q11_9広報	-2.30		0.00	1.63		0.00
	Q11_10渉外・地域連携	11.52	***	0.03	-4.23		-0.01
	校務分掌数	2.88	**	0.03	7.83	**	0.06
	（定数）	222.66	***		399.09	***	
	調整済み R2 乗	0.297			0.128		
	N数	7,877			5,084		

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

表 4-5　教諭の在校等時間を被説明変数とする重回帰分析（中学校）

中学校・教諭・平日（いずれも持ち帰りはなし）

説明変数		令和4年度			平成28年度		
		係数	*	標準化係数	係数		標準化係数
属性	Q1性別（男性1　女性2）	-4.00	**	-0.02	-11.05	***	-0.06
	Q2年齢	-1.19	***	-0.16	-2.10	***	-0.28
	Q3-2正規任用ダミー	11.83	***	0.04	18.32	***	0.05
	Q4-2現在校勤務期間通算年	-0.18		-0.01	1.29	***	0.04
	Q6-2担任学級生徒数（担任なしは0）	0.88	***	0.17	0.88	***	0.17
	Q8-2担当部活週平均活動日数（顧問なしは0）	6.65	***	0.13	4.59	***	0.11
	Q12一週間の担当授業コマ数	1.26	***	0.06	0.11		0.01
	土日勤務なし	-2.55		-0.01	-10.58	**	-0.02
家庭状況	Q15通勤時間（分）	-0.17	***	-0.04	-0.25	***	-0.05
	Q16-1　6歳児未満子ども有	-32.05	***	-0.14	-29.08	***	-0.12
	Q17-1_1自宅介護有	-1.76		0.00	1.44		0.00
	Q17-1_2自宅外介護有	4.02		0.02	1.07		0.00
主任	Q10_1教務主任	34.42	***	0.10	18.29	***	0.04
	Q10_2生徒指導主事	0.05		0.00	20.10	***	0.05
	Q10_3進路指導主事	18.62	***	0.05	20.51	***	0.05
	Q10_4保健主事	-2.76		0.00	-4.64		-0.01
	Q10_5研究主事	-1.22		0.00	3.10		0.01
	Q10_7庶務主任	4.70		0.00	-7.11		0.00
	Q10_8学年主任	20.58	***	0.09	23.17	***	0.09
	Q10_9教科主任	1.88		0.01	0.75		0.00
校務分掌	Q11_1教務	-5.33		-0.02	-4.50		-0.02
	Q11_2生活・生徒指導（教育相談含む）	-1.57		-0.01	-9.48	***	-0.05
	Q11_3進路指導	0.20		0.00	-0.31		0.00
	Q11_4保健・環境	-11.38	***	-0.04	-8.40	**	-0.03
	Q11_5研修・研究	0.25		0.00	4.08		0.02
	Q11_6庶務・会計	0.85		0.00	0.27		0.00
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	-7.18	*	-0.02	-4.69		-0.01
	Q11_8児童会・生徒会	2.57		0.01	3.87		0.02
	Q11_9広報	-4.91		-0.01	-12.34	**	-0.03
	Q11_10渉外・地域連携	-0.08		0.00	6.25		0.02
	校務分掌数	5.89	***	0.07	5.76	***	0.06
	（定数）	639.80	***		753.32	***	
	調整済み R2 乗	0.126			0.164		
	N数	8,089			6,076		

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

中学校・教諭・土日（いずれも持ち帰りはなし）

説明変数		令和4年度			平成28年度		
		係数	*	標準化係数	係数		標準化係数
属性	Q1性別（男性1　女性2）	-24.60	***	-0.08	-42.46	***	-0.10
	Q2年齢	-1.04	***	-0.08	-2.84	***	-0.16
	Q3-2正規任用ダミー	3.69		0.01	18.97	*	0.02
	Q4-2現在校勤務期間通算年	1.24	*	0.02	3.38	***	0.05
	Q6-2担任学級生徒数（担任なしは0）	0.58	***	0.06	0.54	***	0.04
	Q8-2担当部活週平均活動日数（顧問なしは0）	23.55	***	0.24	23.98	***	0.23
	Q12一週間の担当授業コマ数	0.03		0.00	0.54	*	0.02
	土日勤務なし	-185.31	***	-0.20	-211.99	***	-0.21
家庭状況	Q15通勤時間（分）	-0.19	**	-0.02	-0.44	***	-0.04
	Q16-1　6歳児未満子ども有	-14.22	***	-0.03	-28.10	***	-0.05
	Q17-1_1自宅介護有	13.45		0.02	-3.50		0.00
	Q17-1_2自宅外介護有	0.09		0.00	0.40		0.00
主任	Q10_1教務主任	-4.01		-0.01	32.96	**	0.03
	Q10_2生徒指導主事	4.32		0.01	33.97	***	0.03
	Q10_3進路指導主事	24.37	**	0.03	29.60	**	0.03
	Q10_4保健主事	-8.72		-0.01	-18.11		-0.01
	Q10_5研究主事	16.57	*	0.02	-14.71		-0.01
	Q10_7庶務主任	29.61		0.01	69.02		0.02
	Q10_8学年主任	19.20	***	0.04	24.53	***	0.04
	Q10_9教科主任	0.52		0.00	8.30		0.02
校務分掌	Q11_1教務	9.89		0.02	-14.51		-0.03
	Q11_2生活・生徒指導（教育相談含む）	0.25		0.00	9.27		0.02
	Q11_3進路指導	0.38		0.00	-8.70		-0.01
	Q11_4保健・環境	-13.05	*	-0.02	-1.45		0.00
	Q11_5研修・研究	-3.67		-0.01	10.85		0.02
	Q11_6庶務・会計	-1.23		0.00	-6.20		-0.01
	Q11_7特別支援教育コーディネーター	1.51		0.00	-28.69	**	-0.03
	Q11_8児童会・生徒会	-1.50		0.00	7.48		0.01
	Q11_9広報	3.18		0.00	-12.35		-0.01
	Q11_10渉外・地域連携	8.89		0.01	7.66		0.01
	校務分掌数	5.26	*	0.03	5.14		0.02
	（定数）	275.89	***		627.51	***	
	調整済み R2 乗	0.131			0.182		
	N数	8,089			6,076		

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

（3)在校等時間の差が大きい業務

在校等時間の区分別に業務内訳の集計を行った。その結果は表 4-6 のとおり。

【小学校】

小学校は、在校等時間が長い教諭ほど「授業準備」にかけている時間も長い傾向がみられる。

在校等時間が 11 時間半未満の教諭と 11 時間半以上の教諭では、「学校行事」「成績処理」「学校経営」にかける時間に差が大きい。このうち、「学校行事」「学校経営」については、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担の見直しを図るなど管理職による勤務環境の整備が期待される。

また、総在校等時間が 10 時間半未満の教諭とそれ以上の教諭の内訳の差をみると、給食指導や清掃指導などの「生徒指導（集団 1）[4]」の時間の差が大きくなっている。また、「授業（主担当)」も 10 時間半未満とそれ以上の教諭で差が大きくなっており、在校等時間が 10 時間半未満とそれ以上の教諭の差は、学級担任かどうかが要因として大きいと想定される。

【中学校】

中学校は、在校等時間が長い教諭ほど「授業準備」にかけている時間が長い傾向がみられる。また、「授業」の差も大きく、担当コマ数による差が生じていると考えられる。

在校等時間が 11 時間半未満の教諭と 11 時間半以上の教諭では、「成績処理」の差が大きい。

また、総在校等時間が 10 時間半未満の教諭とそれ以上の教諭の内訳の差をみると、「部活動」の時間の差が大きい。また、小学校と同様に「生徒指導（集団 1)」の時間の差が大きく、学級担任かどうかで差が生じていると想定される。

	在校等時間が長いほどかけている時間も長い業務（効率的・効果的な業務を行えるような環境整備が必要）	在校等時間が長い教諭が長い業務（管理職による業務分担等の見直しを検討すべき業務/効率的・効果的な業務を行えるような環境整備が必要）	在校等時間が短い教諭で特に短い業務（学級担任かどうかで差が生じる業務/減らすことでより在校等時間がより短くなる可能性のある業務）
小	授業準備	学校行事、学校経営/成績処理	生徒指導（集団）
中	授業準備、学年・学級経営	成績処理	生徒指導（集団)、部活動

なお、本分析では、平日の在校等時間を分析しているが、小中共に平日の在校等時間が長いほど土日の在校等時間も長いといった傾向もみられる。

[4] 正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間)、児童生徒の休み時間における指導

表 4-6　在校等時間（平日）別　業務時間（平日）内訳（教諭）

平日　　（時間：分）　　差分（分）

小学校（教諭）	① 10時間半未満	② 10時間半～11時間未満	③ 11時間～11時間半未満	④ 11時間半以上	②-①	③-②	④-③	④-①
回答数	3852	1536	1334	2236				
a 朝の業務	0:36	0:44	0:44	0:46	8	0	1	10
b1 授業（主担当）	4:04	4:18	4:20	4:20	13	2	1	16
b2 授業（補助）	0:23	0:18	0:19	0:16	-5	0	-2	-7
c 授業準備	1:02	1:12	1:22	1:38	10	10	16	36
d 学習指導	0:20	0:20	0:20	0:22	1	-0	2	2
e 成績処理	0:20	0:24	0:27	0:35	5	2	9	16
f1 生徒指導（集団１）	0:48	1:00	1:01	1:04	12	1	3	17
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:03	0:03	0:02	0	-0	-0	0
g 生徒指導（個別）	0:03	0:05	0:04	0:05	2	-0	1	3
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:02	0:03	0:03	0	0	0	1
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:02	0:02	0:02	-0	0	0	0
j 学校行事	0:10	0:14	0:15	0:25	4	1	10	14
k 学年・学級経営	0:14	0:19	0:22	0:27	5	3	5	14
l 学校経営	0:12	0:14	0:18	0:25	2	3	7	12
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:20	0:21	0:23	3	1	2	7
m2 個別の打ち合わせ	0:04	0:06	0:06	0:07	1	0	2	3
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:04	0:04	0	-0	-0	0
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:01	0:01	0	-0	1	1
n3 事務（その他）	0:13	0:15	0:17	0:18	1	3	1	5
o 校内研修	0:08	0:09	0:10	0:11	1	1	1	3
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:04	0:06	0:07	0:09	3	1	2	5
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0	0	-0	0
r 行政・関係団体対応	0:00	0:01	0:00	0:01	0	-0	0	0
s 校務としての研修	0:09	0:07	0:08	0:08	-1	1	-1	-1
t 会議	0:03	0:03	0:03	0:03	-0	0	-0	-0
u その他の校務	0:05	0:05	0:05	0:06	-0	0	0	0
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	-1	-0	-0	-1
w 自己研鑽	0:01	0:00	0:00	0:00	-1	-0	0	-1
x 休憩・休息等	0:04	0:02	0:01	0:01	-2	-1	-0	-3
y その他	0:01	0:02	0:02	0:02	1	0	0	1
合計	9:40	10:47	11:17	12:18	68	30	62	159
土日合計	0:24	0:28	0:38	1:00	5	9	23	37

※合計はv職専免研修、w自己研鑽、x休憩休息等除く。

平日　　（時間：分）　　差分（分）

中学校（教諭）	① 10時間半未満	② 10時間半～11時間未満	③ 11時間～11時間半未満	④ 11時間半以上	②-①	③-②	④-③	④-①
回答数	3306	1352	1312	3193				
a 朝の業務	0:40	0:45	0:46	0:47	5	1	1	7
b1 授業（主担当）	3:06	3:12	3:20	3:27	6	8	6	21
b2 授業（補助）	0:27	0:24	0:21	0:20	-3	-3	-1	-7
c 授業準備	1:12	1:21	1:23	1:37	9	2	14	25
d 学習指導	0:13	0:13	0:13	0:14	0	-0	1	1
e 成績処理	0:26	0:35	0:35	0:47	8	1	12	20
f1 生徒指導（集団１）	0:41	0:51	0:53	0:54	9	2	1	13
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:05	0:05	0:06	1	0	1	2
g 生徒指導（個別）	0:10	0:13	0:16	0:19	4	2	4	10
h 部活動・クラブ活動	0:27	0:37	0:41	0:44	10	4	4	17
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:04	0:05	0:06	1	1	1	3
j 学校行事	0:11	0:13	0:13	0:20	2	0	6	9
k 学年・学級経営	0:17	0:24	0:28	0:37	7	4	9	20
l 学校経営	0:13	0:14	0:19	0:22	0	5	4	9
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:19	0:20	0:20	3	1	1	5
m2 個別の打ち合わせ	0:04	0:06	0:06	0:08	2	0	2	4
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:04	0:04	0	-1	0	0
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:01	0:01	0	-0	-0	-0
n3 事務（その他）	0:14	0:17	0:18	0:20	3	1	2	6
o 校内研修	0:04	0:04	0:04	0:05	0	-0	1	1
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:08	0:09	0:14	2	2	4	8
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0	0	-0	0
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:01	0:01	0	0	0	1
s 校務としての研修	0:09	0:09	0:10	0:08	-0	1	-1	-1
t 会議	0:05	0:06	0:05	0:04	1	-1	-1	-1
u その他の校務	0:06	0:08	0:07	0:08	1	-1	1	2
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00	-1	-0	-0	-1
w 自己研鑽	0:01	0:00	0:00	0:00	-1	-0	-0	-1
x 休憩・休息等	0:07	0:04	0:03	0:02	-2	-1	-1	-4
y その他	0:01	0:01	0:02	0:02	0	0	0	1
合計	9:34	10:48	11:18	12:29	74	30	71	175
土日合計	1:31	2:02	2:21	3:10	31	19	49	99

※合計はv職専免研修、w自己研鑽、x休憩休息等除く。

また、教諭について、1 週間当たりの総在校等時間が「週 50 時間未満」、「週 50 時間以上 60 時間未満」、「週 60 時間以上」の 3 グループに分けて、業務内容別の在校等時間（平日）を比較したところ、小学校では、「授業準備」、「学校行事」において差が大きい。中学校では、「部活動・クラブ活動」、「授業準備」、「学年・学級経営」において差が大きい。

表 4-7　在校等時間（1 週間当たり）別　業務内容別の在校等時間（平日）内訳（教諭）
小学校

小学校	週50時間未満	週50時間以上60時間未満		週60時間以上	
	a	b	差分(b-a)	c	差分(c-a)
朝の業務	0:35	0:44	0:08	0:44	0:08
授業(主担当)	4:02	4:19	0:16	4:18	0:15
授業(補助)	0:24	0:18	-0:05	0:17	-0:07
授業準備	1:01	1:20	0:19	1:39	0:38
学習指導	0:19	0:21	0:01	0:22	0:03
成績処理	0:19	0:27	0:08	0:35	0:16
生徒指導(集団1)	0:47	1:01	0:13	1:04	0:16
生徒指導(集団2)	0:02	0:02	0:00	0:03	0:00
生徒指導(個別)	0:03	0:04	0:01	0:06	0:03
部活動・クラブ活動	0:02	0:03	0:00	0:03	0:01
児童会・生徒会指導	0:02	0:02	0:00	0:03	0:00
学校行事	0:10	0:15	0:05	0:31	0:21
学年・学級経営	0:13	0:21	0:08	0:28	0:15
学校経営	0:13	0:16	0:03	0:27	0:14
職員会議・学年会などの会議	0:16	0:20	0:04	0:24	0:08
個別の打ち合わせ	0:04	0:06	0:01	0:08	0:03
事務(調査への回答)	0:04	0:04	0:00	0:04	0:00
事務(学納金関連)	0:00	0:01	0:00	0:01	0:00
事務(その他)	0:13	0:16	0:02	0:20	0:06
校内研修	0:08	0:10	0:02	0:10	0:02
保護者・PTA対応	0:04	0:07	0:02	0:10	0:06
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
校務としての研修	0:08	0:08	-0:00	0:08	-0:00
会議	0:03	0:02	-0:00	0:03	0:00
その他の校務	0:08	0:08	0:00	0:09	0:01
在校等時間の計	9:33	11:07	1:34	12:30	2:57

表 4-8　在校等時間（1 週間当たり）別　業務内容別の在校等時間（平日）内訳（教諭）
中学校

中学校	週50時間未満	週50時間以上60時間未満		週60時間以上	
	d	e	差分(e-d)	f	差分(f-d)
朝の業務	0:40	0:45	0:05	0:46	0:06
授業(主担当)	3:06	3:14	0:07	3:25	0:19
授業(補助)	0:28	0:23	-0:04	0:20	-0:08
授業準備	1:12	1:21	0:09	1:33	0:20
学習指導	0:13	0:14	0:00	0:13	0:00
成績処理	0:25	0:35	0:10	0:44	0:19
生徒指導(集団1)	0:40	0:51	0:10	0:53	0:12
生徒指導(集団2)	0:04	0:05	0:01	0:06	0:02
生徒指導(個別)	0:09	0:14	0:05	0:18	0:08
部活動・クラブ活動	0:21	0:35	0:13	0:48	0:26
児童会・生徒会指導	0:03	0:04	0:01	0:06	0:02
学校行事	0:10	0:14	0:03	0:20	0:09
学年・学級経営	0:15	0:25	0:09	0:36	0:21
学校経営	0:13	0:17	0:03	0:21	0:07
職員会議・学年会などの会議	0:14	0:19	0:04	0:20	0:05
個別の打ち合わせ	0:04	0:06	0:02	0:07	0:03
事務(調査への回答)	0:04	0:04	0:00	0:04	0:00
事務(学納金関連)	0:01	0:01	-0:00	0:01	-0:00
事務(その他)	0:13	0:17	0:04	0:19	0:06
校内研修	0:04	0:04	-0:00	0:05	0:00
保護者・PTA対応	0:05	0:09	0:03	0:13	0:07
地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:01	0:00
校務としての研修	0:09	0:08	-0:00	0:09	0:00
会議	0:04	0:06	0:01	0:05	0:00
その他の校務	0:08	0:09	0:01	0:10	0:02
在校等時間の計	9:17	10:53	1:35	12:14	2:56

（4）学校間での業務時間の分散が大きい業務

前節では、教員個人の業務内容の差を整理した。次に、学校間での業務時間の分散が大きい業務（学校単位での改善可能性が高い業務）を調べるため、業務別の級内相関係数（ICC）[5]を算出した。その上で、平均時間との分布図をマッピングした[6]。

横軸を業務時間（分）、縦軸を級内相関係数とし、右上にマッピングされた業務が学校単位で業務時間が長くなる傾向にある業務であり、学校単位での改善可能性が高い業務であるといえる。

その結果、「職員会議・学年会などの会議」「学校行事」「成績処理（中学校）」「部活動（中学校）」に関わる業務は、級内相関係数が高く業務時間も長い。すなわち、学校単位で業務時間が長くなっている項目であり、学校単位での改善余地があるといえる（ただし、学校行事、成績処理はアンケート実施時期が要因の可能性もある）。

小学校	業務内容別の時間（平日）	級内相関係数
a 朝の業務	41.59	0.05
b1 授業（主担当）	253.42	0.05
b2 授業（補助）	20.33	0.04
c 授業準備	76.23	0.05
d 学習指導	21.04	0.01
e 成績処理	25.93	0.08
f1 生徒指導（集団１）	56.64	0.09
f2 生徒指導（集団２）	2.93	0.01
g 生徒指導（個別）	4.43	0.06
h 部活動・クラブ活動	3.09	0.23
i 児童会・生徒会指導	2.60	0.12
j 学校行事	15.84	0.19
k 学年・学級経営	19.80	0.03
l 学校経営	17.10	0.00
m1 職員会議・学年会などの会議	19.82	0.20
m2 個別の打ち合わせ	5.97	0.04
n1 事務（調査への回答）	4.49	0.04
n2 事務（学納金関連）	1.10	0.02
n3 事務（その他）	15.85	0.01
o 校内研修	9.60	0.26
p 保護者・ＰＴＡ対応	6.65	0.08
q 地域対応	0.53	0.04
r 行政・関係団体対応	1.00	0.10
s 校務としての研修	8.56	0.10
t 会議	3.06	0.03
u その他の校務	5.82	0.01
v 職専免研修	0.52	0.02
w 自己研鑽	0.96	0.01
x 休憩・休息等	3.16	0.07
y その他	2.43	0.02

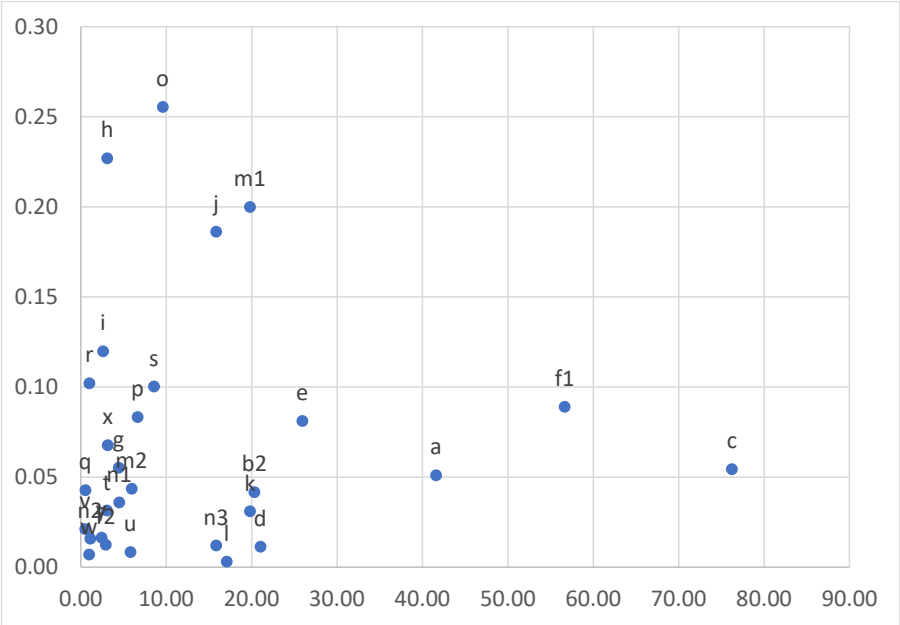


図 4-3　教諭の平均各業務時間（平日）と学校間の分散の関係
（教員調査回収率 50%以上のみ）（小学校）
横軸：業務内容別の時間（分）　縦軸：級内相関係数

---

[5] 級内相関係数は、集団内（ここでは学校）の類似性を表す指標である。最大値は 1、最小値は 0 である。 ICC の値が 1 に近いほど所属集団の影響が大きい。

[6] なお、「b1　授業（主担当）」は時間が長く分布から外れるため、この図には表示されていない。

中学校	業務内容別の時間（平日）	級内相関係数
a 朝の業務	44.87	0.06
b1 授業（主担当）	196.74	0.10
b2 授業（補助）	23.42	0.06
c 授業準備	83.81	0.07
d 学習指導	13.70	0.02
e 成績処理	36.50	0.25
f1 生徒指導（集団１）	49.47	0.10
f2 生徒指導（集団２）	5.46	0.04
g 生徒指導（個別）	14.96	0.11
h 部活動・クラブ活動	37.08	0.19
i 児童会・生徒会指導	5.30	0.08
j 学校行事	15.41	0.34
k 学年・学級経営	27.20	0.04
l 学校経営	17.83	0.00
m1 職員会議・学年会などの会議	18.67	0.24
m2 個別の打ち合わせ	6.46	0.04
n1 事務（調査への回答）	4.52	0.02
n2 事務（学納金関連）	1.22	0.00
n3 事務（その他）	17.51	0.01
o 校内研修	4.91	0.27
p 保護者・ＰＴＡ対応	9.79	0.12
q 地域対応	0.64	0.03
r 行政・関係団体対応	1.37	0.00
s 校務としての研修	9.23	0.06
t 会議	5.43	0.03
u その他の校務	7.67	0.02
v 職専免研修	0.75	0.01
w 自己研鑽	1.18	0.01
x 休憩・休息等	4.67	0.04
y その他	1.92	0.00

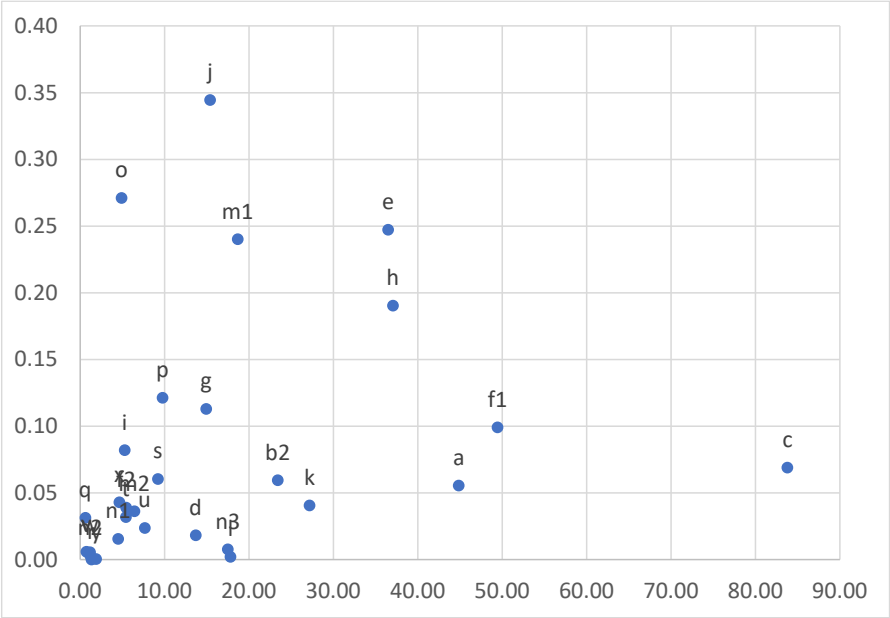


図 4-4　教諭の平均各業務時間（平日）と学校間の分散の関係

（教員調査回収率 50%以上のみ）（中学校）

横軸：業務内容別の時間（分）　縦軸：級内相関係数

4. 考察

平成 28 年度以降、学校における働き方改革が推進されてきたが、その中で教諭の勤務状況にどのような変化があったのかを確認した。

その結果、1 週間当たりの総在校等時間が週 60 時間以上である長時間勤務の教諭の割合は、平成 28 年度と比べて小・中共に約 2 割減少していることが分かった。また、学校単位で整理すると、図 4-1 で示したように、平成 28 年度と比較し、分布が小中共に在校等時間の短い方に移動し、ばらつきも小さくなっていることから、学校全体で在校等時間の長い学校が減少していることが伺えた。

学校平均値と教諭個人の在校等時間の分布をみると、平均在校等時間が中間程度（10 時間半～11 時間半）の学校は、教諭 1 人 1 人の在校等時間にばらつきがあり、同じ学校内で 10 時間半未満と少ない教員もいれば 11 時間半以上の長い教員もいることがわかった。すなわち、在校等時間が「長い学校」と「短い学校」という学校単位による要因よりも、1 つの学校の中でも在校等時間が「長い教員」と「短い教員」のばらつきがあるという状況が伺えた。加えて、平成 28 年度と比べて、教諭個人の在校等時間は、性年齢の影響は小さくなっている。

次に、在校等時間別に業務時間の内訳をみると、在校等時間の長い教諭と短い教諭では、「授業準備」「成績処理（在校等時間が長い教諭で長い傾向）」、中学校の「学年・学級経営」「部活動（在校等時間が短い教諭で短い傾向）」の業務時間に差がみられた。これらの業務については、各教員が、効率的・効果的な業務を行えるような環境整備が必要といえる。また、「職員会議」「学校行事」「成績処理（中学校）」「部活動（中学校）」などは、学校間での業務時間にばらつきが大きく、これらの業務は学校全体での改革を取り組むことが必要である。

まとめると、学校単位で働き方改革を考えた場合、全教員を対象とした施策や呼びかけを行うことに加え、在校等時間が長い教諭に対して個別に対策を行うことも必要といえる。また、属性や校務等以外の部分（例えば、仕事の優先順位付けや効率化をはじめとした教師の時間管理意識や本人の気質など）にも配慮をしていくことが必要だといえる。

第5章 教員の指導環境と業務負担との関連

—平成 28 年度調査と令和 4 年度調査の比較—

神林寿幸

【本章のポイント】

- 記述統計量から、前回の平成 28 年度調査以降、学校の働き方改革が普及し、その成果も観察された。例えば、平成 28 年度調査と比べて令和 4 年度調査では、小・中学校教諭の週の総在校等時間が短かった。また、年間の学校閉庁日数の平均値も平成 28 年度調査よりも令和 4 年度調査の方が大きかった。
- 平成 28 年度と令和 4 年度で共通する点として、小・中学校共に、担任をする学級の規模が大きくなるほど、教諭の週の総在校等時間が長かった。また、小学校では給食費の公会計化が導入されている教諭の方が週の総在校等時間は短かった。中学校については統計的な有意差は確認できなかったが、少なくとも本調査対象教諭について同様の結果が得られた。教諭の総在校等時間縮減に向けて、学級規模縮小と給食費等の学校徴収金の公会計化の効果が期待できる。
- 他方、平成 28 年度から令和 4 年度にかけて、同一学校に勤務する教諭の間で、週総在校等時間の分散が拡大したことから、働き方の多様化が示唆される。教諭の週総在校等時間について、級内相関係数を算出すると、小・中学校共に平成 28 年度よりも令和 4 年度のものが小さかった。

1. 本章の目的

前回の平成 28 年度教員勤務実態調査の研究報告書（神林 2018 : 76-91）で、筆者は平成 28 年度教員勤務実態調査データを用いて、公立小・中学校教員（教諭）の指導環境と業務負担（週の学内勤務時間）との関連を分析した。本章では令和 4 年度教員勤務実態調査データで同様の分析を再現する。そして、平成 28 年度と令和 4 年度の各データ分析の結果を比較し、公立小・中学校教諭の週の総在校等時間を規定する指導環境要因について、両年度に共通するものと、令和 4 年度の特徴を明らかにする。

ただし、あらかじめ本分析の限界を述べておきたい。平成 28 年度と令和 4 年度で、調査項目を変えたこともあり、令和 4 年度調査データでは、平成 28 年度調査データの分析で用いた変数のすべてを用いた分析モデルを構築することができない。そのため、平成 28 年度と令和 4 年度の分析結果について、厳密な比較を行うことができない。

その上で、本分析では、平成 28 年度調査の分析で用いた変数と同一の変数及び完全に同一のものができないが類似の変数については今回の令和 4 年度調査の分析でも使用し、平成 28 年度調査の分析に組み込んだものの、令和 4 年度調査の項目から除外された変数については、今回の令和 4 年度調査データ分析に組み込むことはできない。以上の点に留意しながら、本章では分析を進め、結果の解釈を行なう。

2. 分析方法

(1)分析項目

①被説明変数：週の総在校等時間

前回報告書と同様に、週の総在校等時間は、1 週間の当該教員が学校で行なった勤務の合計時間を指す。平成 28 年度調査では、勤務日 1 日当たりの平均学内勤務時間を 5 倍した値と休日 1 日当たりの平均学内勤務時間を 2 倍した値を足したものを用いた（神林 2018：78)。令和 4 年度調査では、平日 1 日当たりの在校等時間を 5 倍した値と土日 1 日当たりの在校等時間を 2 倍した値を足したものを「週の総在校等時間」として分析に使用する。

②説明変数

主任ダミー

主任職を務めていない場合には 0 を、主任職を務めている場合には 1 をとるダミー変数である。

児童生徒数（担当学級）

担当する学級の児童生徒数である。

不登校児童生徒比率（担当学級・中心化）

担当学級の児童生徒数のうち、不登校児童生徒が占める割合である。なお、分析には各学校平均で中心化した値を用いる。これによって、同一の学校に勤務する他の教員が担当する学級と比べて、自分が担当する学級での不登校児童生徒比率が高いか低いかによって、その教員の週の総在校等時間が変動するかを明らかにすることができる。

特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率（担当学級・中心化）

平成 28 年度調査では、担任学級の全児童生徒数のうち、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒数」をたずねた。特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率（担当学級）には、この「特別な教育的支援を必要とする児童生徒数」を担当学級の児童生徒数で割った値を使用した。

だが、令和 4 年度調査では、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒数」ではなく、「通級による指導を受けている児童生徒数」をたずねた。そのため、令和 4 年度調査での特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率（学級）には、担当学級で通級による指導を受けている児童生徒数を担任学級の全児童生徒数で割った値を用いる。なお、本変数も各学校平均で中心化した値を使用する。

日本語指導を要する児童生徒比率（担当学級・中心化）

平成 28 年度調査、令和 4 年度調査共に、担当学級で日本語指導を受けている児童生徒数を担任学級の全児童生徒数で割った値を用いる。なお、本変数も各学校平均で中心化した値を使用する。

部活動顧問ダミー（中学校のみ）

部活動顧問を担当していない場合には 0 を、部活動顧問を担当している場合には 1 をとるダミー変数である。中学校の分析のみに使用する。

校務の複数担当制実施ダミー（平成 28 年度調査のみ）

平成 28 年度調査の項目にあるが、令和 4 年度調査の項目にはないものである。教職員の在校等時間縮減に向けて、「校務を複数人で担当する」取り組みを行なっていない場合には 0 を、行なっている場合には 1 をとるダミー変数である（神林 2018：79)。

学校行事の精選ダミー

平成 28 年度調査では、教職員の勤務時間縮減に向けて、「学校行事の精選」を行なっていない場合は 0 を、行なっている場合は 1 をとるダミー変数であった（神林 2018：79）。

令和 4 年度調査では、令和元年度以降の学校行事に関する取組状況として、「新たに精選等や準備の簡素化・縮減を実施している行事はない」という選択肢がある。令和 4 年度調査での学校行事の精選ダミーでは、この質問に「該当する」と答えた場合には 0、「該当しない」と回答した場合には 1 をとるように変換した。

学校閉庁日数

平成 28 年度調査（神林 2018：79）と令和 4 年度調査共に、学校閉庁日の年間実施数回数を使用する。

ノー残業デー数

平成 28 年度調査（神林 2018：79）、令和 4 年度調査共に、学校閉庁日の年間実施数回数を使用する。

客観的退勤管理実施ダミー

平成 28 年度調査では、勤務校で教員の退勤時刻管理の方法として、タイムカード等で退勤時刻を記録している場合は 1 を、それ以外の場合は 0 をとるダミー変数であった（神林 2018：79）。

令和 4 年度調査では、勤務校で教員の毎日の出退勤時刻の管理の方法として、「IC カード、タイムカード、パソコンの使用時間等による客観的な方法で把握している」に該当する場合には 1、それ以外の場合には 0 をとるダミー変数である。

ノー部活動デー数（中学校のみ）

平成 28 年度調査（神林 2018：80）、令和 4 年度調査共に、月当たりのノー部活動デーの実施回数を使用する。

校務支援システム導入状況

平成 28 年度調査では、1=導入していない、2=導入から 1 年未満、3=導入から 1～2 年未満、4=導入から 2 年以上の 4 値をとる変数を使用した（神林 2018：79）。

令和 4 年度調査では、調査時点で校務支援システムを導入している場合は 1 を、導入していない場合は 0 をとるダミー変数である。

教員の校務用コンピュータ整備率・普通教室 LAN 整備率（平成 28 年度調査のみ）

平成 28 年度調査では、調査対象校の教員の校務用コンピュータ整備率と普通教室の LAN 整備率をたずねた（神林 2018：79）。令和 4 年度調査ではこれら 2 つについては質問項目に設定されなかった。そのため、令和 4 年度調査の分析にはこれら 2 つの変数は使用しない。

専門スタッフの配置状況（外国語指導助手、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員、部活動指導員〔中学校のみ〕）

平成 28 年度調査（神林 2018：79-80）、令和 4 年度調査共に、各専門スタッフの配置人数を分析に使用する。

主幹教諭配置ダミー

平成 28 年度調査では、勤務校に主幹教諭が配置されている場合には 1、配置されていない場合には 0 をとるダミー変数であった（神林 2018：79）。

令和 4 年度調査では、学校単位の集計でその学校に主幹教諭がいる場合には 1、いない場合には 0 をとるダミー変数とした。

学校事務の共同実施ダミー

平成 28 年度調査、令和 4 年度調査共に、勤務校で学校事務の共同実施をしている場合には 1 を、していない場合には 0 をとるダミー変数を使用する。

研究指定校ダミー（平成 28 年度調査のみ）

平成 28 年度調査の項目にあるが、令和 4 年度調査の項目にはないものである。勤務校が研究指定校である場合には 1 を、そうでない場合には 0 をとるダミー変数であった（神林 2018：79）。

コミュニティ・スクールダミー

平成 28 年度調査、令和 4 年度調査共に、勤務校に学校運営協議会が設置されている場合には 1 を、していない場合には 0 をとるダミー変数を使用する。

地域学校協働本部設置ダミー

平成 28 年度調査では学校支援地域本部が設置されている場合には 1、そうでない場合には 0 をとるダミー変数を使用した。

令和 4 年度調査では、「地域学校協働活動（地域と学校が連携・協働して行う活動）が実施されていますか」という質問に対して、「実施されている」と回答した場合には 1 を、「実施されていない」と回答した場合には 0 をとるダミー変数を使用する。

給食費の公会計化ダミー

平成 28 年度調査では、給食費の公会計化を行なっている場合は 1 を、そうでない場合には 0 をとるダミー変数であった。

令和 4 年度調査では、令和元年度以降の学校行事に関する取組状況として、「学校徴収金（給食費を含む）の徴収・管理は、教職員が関与しない方法で徴収・管理又は地方公共団体や教育委員会が徴収・管理等を行っている」か否かをたずねる質問がある。令和 4 年度調査での給食費の公会計化ダミーでは、この質問に「該当する」と答えた場合には 1、「該当しない」と回答した場合には 0 をとるように設定する。

（2）分析方法

まず、平成 28 年度調査と令和 4 年度調査のそれぞれの標本について、共通する変数の記述統計量を算出する。平成 28 年度との単純比較ではあるが、これによって令和 4 年度の教員をめぐる特徴を記述する。

次に、週の総在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析を小学校、中学校それぞれについて行う。ここでは、平成 28 年度調査の分析結果と令和 4 年度調査の分析結果で共通する事柄を中心に明らかにする。

3. 分析結果

(1)記述統計量

小学校教諭については表 5-1、中学校教諭については表 5-2 のような結果が得られた。

表 5-1 と表 5-2 から読み取れるように、小・中学校共に、2016（平成 28）年度と比べて、2022（令和 4）年度の教諭の総在校等時間が短かった。

また、学校の働き方改革関連施策の浸透も確認できた。例えば、年間の学校閉庁日の平均日数は、小学校で 2016（平成 28）年度が 3.095 日であったものが、2022（令和 4）年度が 5.247 日であった。中学校で 2016（平成 28）年度が 3.698 日であったものが、2022（令和 4）年度が 5.318 日であった。

表 5-1　記述統計量（小学校）

	2016年度				2022年度			
	Mean	SD	Min	Max	Mean	SD	Min	Max
総在校等時間	59.695	8.054	33	99	56.129	6.852	31	90
主任ダミー	.724	.447	0	1	.722	.448	0	1
児童生徒数(担当学級)	29.444	6.314	1	43	28.714	6.302	1	42
不登校児童生徒比率(担当学級・中心化)	-.173	1.237	-5.253	10.979	-.526	2.744	-19.899	80.101
特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率(担当学級・中心化)	-.011	5.930	-23.333	51.798	-.062	5.795	-50.000	90.501
日本語指導を要する児童生徒比率(担当学級・中心化)	.004	1.535	-7.500	36.735	-.040	1.765	-17.243	28.204
部活動顧問ダミー								
校務の複数担当制実施ダミー	.565	.496	0	1				
学校行事の精選ダミー	.591	.492	0	1	.988	.109	0	1
学校閉庁日数	3.095	3.573	0	21	5.247	2.546	0	24
ノー残業デー数	1.977	2.672	0	24	2.431	2.367	0	18
客観的退勤管理実施ダミー	.269	.444	0	1	.784	.411	0	1
ノー部活動デー数								
校務支援システム導入状況	2.895	1.376	1	4	.930	.255	0	1
教員の校務用コンピュータ整備率	96.629	14.035	10	131				
普通教室LAN整備率	83.635	36.387	0	100				
専門スタッフの配置状況(外国語指導助手)	.809	.601	0	3	1.006	.564	0	3
専門スタッフの配置状況(スクールカウンセラー)	.617	.591	0	3	.934	.518	0	3
専門スタッフの配置状況(特別支援教育支援員)	1.793	2.105	0	19	2.255	2.193	0	13
専門スタッフの配置状況(部活動指導員)								
学校のマネジメント機能(主幹教諭配置ダミー)	.442	.497	0	1	.343	.475	0	1
学校のマネジメント機能(学校事務の共同実施ダミー)	.614	.487	0	1	.618	.486	0	1
施策の導入状況(研究指定校ダミー)	.315	.465	0	1				
施策の導入状況(コミュニティ・スクールダミー)	.114	.317	0	1	.661	.473	0	1
施策の導入状況(地域学校協働本部設置ダミー)	.366	.482	0	1	.681	.466	0	1
施策の導入状況(給食費の公会計化ダミー)	.365	.482	0	1	.186	.389	0	1
女性ダミー	.641	.480	0	1	.609	.488	0	1
年齢	4.184	2.253	1	9	3.905	2.243	1	9
未就学児ダミー	.174	.379	0	1	.202	.402	0	1
要介護者ダミー	.153	.360	0	1	.126	.332	0	1
標本数	2,650				4,791			

(注)
1. Mean:平均値、SD:標準偏差、Min:最小値、Max:最大値。
2. 橙色の網掛けがある変数は年度で質問項目が異なるものを使用。

表 5-2　記述統計量（中学校）

	2016年度				2022年度			
	Mean	SD	Min	Max	Mean	SD	Min	Max
総在校等時間	66.895	11.275	34	113	61.884	9.702	26	101
主任ダミー	.553	.497	0	1	.574	.495	0	1
児童生徒数(担当学級)	33.457	4.969	3	42	33.023	5.856	1	44
不登校児童生徒比率(担当学級・中心化)	-.789	3.081	-29.948	26.414	-1.254	4.823	-48.000	78.950
特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率(担当学級・中心化)	-.041	5.816	-21.815	91.359	-.028	7.009	-45.050	93.930
日本語指導を要する児童生徒比率(担当学級・中心化)	-.001	2.699	-10.958	89.042	-.007	2.603	-24.210	90.910
部活動顧問ダミー	.961	.193	.00	1.00	.949	.220	.00	1.00
校務の複数担当制実施ダミー	.599	.490	0	1				
学校行事の精選ダミー	.591	.492	0	1	.944	.231	0	1
学校閉庁日数	3.698	4.439	0	48	5.318	2.891	0	19
ノー残業デー数	1.325	2.656	0	24	1.935	2.088	0	20
客観的退勤管理実施ダミー	.256	.436	0	1	.777	.417	0	1
ノー部活動デー数	2.539	3.139	0	20	4.339	3.461	.00	16.00
校務支援システム導入状況	2.947	1.340	1	4	.906	.293	0	1
教員の校務用コンピュータ整備率	96.392	13.600	0	100				
普通教室LAN整備率	76.477	41.742	0	100				
専門スタッフの配置状況(外国語指導助手)	.940	.535	0	4	1.050	.670	0	11
専門スタッフの配置状況(スクールカウンセラー)	1.053	.411	0	3	1.130	.488	0	5
専門スタッフの配置状況(特別支援教育支援員)	.983	1.164	0	7	1.280	1.377	0	8
専門スタッフの配置状況(部活動指導員)	1.358	3.210	0	21	2.070	4.105	.00	38.00
学校のマネジメント機能(主幹教諭配置ダミー)	.468	.499	0	1	.380	.485	0	1
学校のマネジメント機能(学校事務の共同実施ダミー)	.542	.498	0	1	.651	.477	0	1
施策の導入状況(研究指定校ダミー)	.339	.473	0	1				
施策の導入状況(コミュニティ・スクールダミー)	.153	.360	0	1	.571	.495	0	1
施策の導入状況(地域学校協働本部設置ダミー)	.366	.482	0	1	.583	.493	0	1
施策の導入状況(給食費の公会計化ダミー)	.282	.450	0	1	.178	.382	0	1
女性ダミー	.428	.495	0	1	.402	.490	0	1
年齢	3.844	2.049	1	9	3.680	1.974	1	9
未就学児ダミー	.195	.396	0	1	.216	.412	0	1
要介護者ダミー	.135	.342	0	1	.111	.314	0	1
標本数	2,154				3,829			

(注)
1. Mean:平均値、SD:標準偏差、Min:最小値、Max:最大値。
2. 橙色の網掛けがある変数は年度で質問項目が異なるものを使用。

(2)週の総在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析

小学校教諭については表 5-3、中学校教諭については表 5-4 のような結果が得られた。小・中学校で共通して、学級規模が大きくなると、教諭の週の総在校等時間が長くなる傾向が確認できた。また、学校の働き方改革関連施策について、2016（平成 28）年度調査と 2022（令和 4）年度調査で共通する傾向として、給食費の公会計化が行われる小学校で勤務する教諭の方が、週の総在校等時間が短かった。

ここで、小学校で週の在校等時間を減少させる効果が確認された給食費の公会計化について、2022（令和 4）年度調査データより算出された具体的な削減効果を紹介したい。図 5-1 は、学校徴収金の管理・徴収を教職員が関与しない小学校と小学校の全体平均との間で、教諭の平日の在校等時間の集計結果を比較したものである。小学校教諭全体の平日 1 日の在校等時間が平均 10 時間 57 分であった。これに対して、学校徴収金の管理・徴収を教職員が関与しない小学校の教諭では、平日 1 日の在校等時間は平均 10 時間 49 分であった。このように、特に小学校で公会計化等を進めることにより、在校等時間が減少することが期待できる。

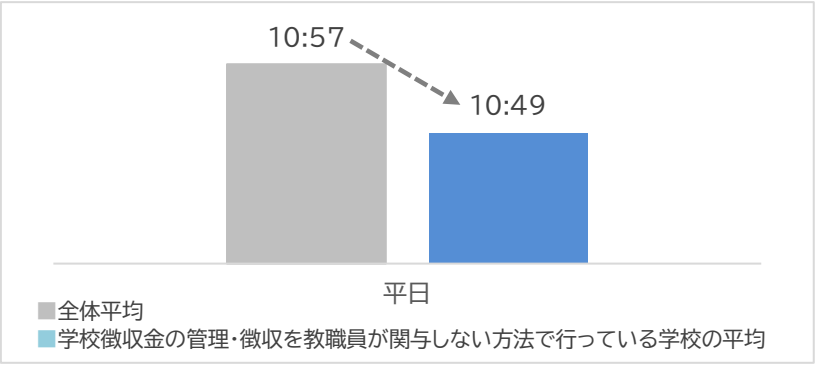


図 5-1　学校徴収金の徴収・管理状況別教諭の在校等時間（時間：分）（小学校）

さて、2016（平成 28）年度調査と 2022（令和 4）年度調査の比較に戻る。他方、2016（平成 28）年度調査と 2022（令和 4）年度調査で異なる点として、ICC（級内相関係数）が指摘できる。小・中学校共に、2016（平成 28）年度調査と比べて、2022（令和 4）年度調査の方が、ICC が小さかった。これは、2022（令和 4）年度調査の方が、同一学校内に勤務する教諭の間で、週の総在校等時間をめぐる分散は大きいことを意味する。

表 5-3　週の総在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析（小学校）

	2016年度			2022年度		
	γ		SE	γ		SE
切片	57.910	**	2.551	55.935	***	1.574
女性ダミー	-1.199	**	.275	-.449	*	.193
年齢	-.794	**	.065	-.282	***	.045
未就学児ダミー	-3.687	**	.352	-2.614	***	.235
要介護者ダミー	.031		.373	-.152		.285
主任ダミー	.553	†	.316	.609	*	.222
児童生徒数(担当学級)	.129	**	.028	.078	***	.018
不登校児童生徒比率(担当学級・中心化)	.121		.106	.127	***	.034
特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率(担当学級・中心化)	.066	**	.021	.000		.015
日本語指導を要する児童生徒比率(担当学級・中心化)	.112		.080	-.023		.053
部活動顧問ダミー						
校務の複数担当制実施ダミー	-.560		.572			
学校行事の精選ダミー	-.067		.583	-1.437		1.286
学校閉庁日数	.067		.084	.071		.057
ノー残業デー数	-.195	†	.101	-.086		.063
客観的退勤管理実施ダミー	-1.175	†	.647	-.090		.367
ノー部活動デー数						
校務支援システム導入状況	.162		.212	.322		.568
教員の校務用コンピュータ整備率	.008		.022			
普通教室LAN整備率	.004		.008			
専門スタッフの配置状況(外国語指導助手)	.699		.507	.158		.282
専門スタッフの配置状況(スクールカウンセラー)	.720		.516	.177		.305
専門スタッフの配置状況(特別支援教育支援員)	.181		.146	.060		.070
専門スタッフの配置状況(部活動指導員)						
学校のマネジメント機能(主幹教諭配置ダミー)	.060		.620	.298		.342
学校のマネジメント機能(学校事務の共同実施ダミー)	1.008		.631	-.128		.321
施策の導入状況(研究指定校ダミー)	1.503	*	.627			
施策の導入状況(コミュニティ・スクールダミー)	-1.802	*	.915	.253		.330
施策の導入状況(地域学校協働本部設置ダミー)	-.407		.602	.160		.333
施策の導入状況(給食費の公会計化ダミー)	-1.361	*	.607	-1.104	*	.389
学校内分散	38.640	**	1.127	35.845	***	.792
学校間分散	17.053	**	1.852	9.061	***	.833
ICC	.306			,202		
-2LL	17651.370			31405.985		
BIC	17879.957			31617.848		
N(教員数)	2,650			4,791		
N(学校数)	304			714		

(注)γ:非標準化偏回帰係数、SE:標準誤差、**:p<.01、*:p<.05、†:p<.10。
ICC(Intraclass Correlation Coefficients:級内相関係数)、
-2LL(-2 Log Likelihood:-2対数尤度)、
BIC(Schwarz's Bayesian Information Criterian:シュワルツのベイジアン情報量規準)。

表 5-4　週の総在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析（中学校）

	2016年度			2022年度		
	γ		SE	γ		SE
切片	61.944	**	3.579	56.895	***	1.852
女性ダミー	-3.279	**	.455	-1.957	***	.317
年齢	-1.275	**	.112	-.667	***	.081
未就学児ダミー	-3.280	**	.557	-3.240	***	.373
要介護者ダミー	-.913		.641	.517		.482
主任ダミー	1.001	*	.441	1.242	***	.306
児童生徒数（担当学級）	.199	**	.055	.169	***	.030
不登校児童生徒比率（担当学級・中心化）	.021		.074	.052		.032
特別な教育的支援を必要とする児童生徒比率（担当学級・中心化）	.087	*	.036	-.008		.020
日本語指導を要する児童生徒比率（担当学級・中心化）	-.109		.077	-.088		.055
部活動顧問ダミー	6.238	**	1.181	3.350	***	.704
校務の複数担当制実施ダミー	-.676		.732			
学校行事の精選ダミー	-.702		.730	-1.387		.897
学校閉庁日数	.071		.076	-.103		.070
ノー残業デー数	.097		.141	-.002		.098
客観的退勤管理実施ダミー	-.587		.804	-.322		.497
ノー部活動デー数	.050		.122	.025		.062
校務支援システム導入状況	.134		.261	.928		.683
教員の校務用コンピュータ整備率	-.011		.025			
普通教室LAN整備率	.003		.008			
専門スタッフの配置状況（外国語指導助手）	.031		.698	.600	†	.318
専門スタッフの配置状況（スクールカウンセラー）	-1.426		.883	-.598		.425
専門スタッフの配置状況（特別支援教育支援員）	-.553	†	.308	.524	***	.154
専門スタッフの配置状況（部活動指導員）	.110		.118	-.116	*	.054
学校のマネジメント機能（主幹教諭配置ダミー）	.493		.761	-.336		.464
学校のマネジメント機能（学校事務の共同実施ダミー）	.327		.731	.405		.457
施策の導入状況（研究指定校ダミー）	.743		.758			
施策の導入状況（コミュニティ・スクールダミー）	1.714	†	.957	.552		.431
施策の導入状況（地域学校協働本部設置ダミー）	-.014		.729	-.218		.430
施策の導入状況（給食費の公会計化ダミー）	1.932	*	.789	-.359		.536
学校内分散	87.596	**	2.863	74.861	***	1.864
学校間分散	19.222	**	2.751	11.537	***	1.439
ICC	.180			.134		
-2LL	16012.861			27787.207		
BIC	16258.464			28018.217		
N（教員数）	2,154			3,829		
N（学校数）	295			676		

（注）γ：非標準化偏回帰係数、SE：標準誤差、**：p<.01、*：p<.05、†：p<.10。
ICC（Intraclass Correlation Coefficients：級内相関係数）、
-2LL（-2 Log Likelihood：-2対数尤度）、
BIC（Schwarz's Bayesian Information Criterian：シュワルツのベイジアン情報量規準）。

4. 考察

分析項目が異なるため、厳密な比較ではないものの、平成 28 年度調査と令和 4 年度調査との間で、教員の指導環境と業務負担との関連について比較を行った。

まず、記述統計量から、平成 28 年度と比べて令和 4 年度では、小・中学校教諭の週の総在校等時間が短かった。この間に学校の働き方改革が進められ、実際の改革の成果が現れたと考えられる。実際に、年間の学校閉庁日数の平均値も平成 28 年度調査よりも令和 4 年度調査の方が大きかった。

次に、週の総在校等時間を規定する教員の指導環境についてマルチレベル分析を行った。年度を超えてかつ小・中学校で共通する特徴として、担任をする学級の規模が大きくなると、週の総在校等時間が長くなることが確認できた。学級規模を縮小することは、教諭の総在校等時間を減少させるうえで一定の効果が期待できる。

加えて、小学校では両年度共に給食費の公会計化が導入されている教諭の方が週の総在校等時間は短かった。他方、中学校では同様の結果が得られなかった。その理由を保護者対応の負担に注目して考察する。先行調査によれば、中学校と比べて小学校では、学校に苦情や要望を申し出た経験のある保護者の割合が高かった（佐藤 2011：9)。そのため、中学校よりも小学校で、教員が保護者対応にあたるケースが多く、保護者対応の中には学校徴収金に関わるものもある。こうした状況の中で、給食費を含む学校徴収金が公会計化されることで、特に小学校で学校徴収金関連の保護者対応に費やす時間が軽減され、週総在校等時間の減少につながると考えられる。

中学校については、平成 28 年度調査では給食費の公会計化に取り組む学校の教諭ほど、週の総在校等時間が長かった。これは長時間労働対策として給食費の公会計化に取り組むという逆因果だと推察される。他方、令和 4 年度調査では統計的に有意な関連が得られなかったものの、少なくとも本調査対象教諭で、給食費の公会計化に取り組む学校ほど、教諭の週総在校等時間が短かった。

他方、平成 28 年度から令和 4 年度にかけて、同一学校の教諭の間で週総在校等時間の分散が拡大したこと、つまり教諭の働き方が多様化したことが示唆される。教諭の週総在校等時間について、級内相関係数を算出すると、小・中学校共に平成 28 年度よりも令和 4 年度のものが小さかった。これは学校間の分散が縮小した一方で、上述のように同一学校の教諭の間で在校等時間の分散が拡大していることを意味しており、同一学校内で教員の働き方が多様化する中で、これをどのように管理職がマネジメントをするのかという点が今後一層重要になる。

引用文献

神林寿幸（2018)「第 5 章　教員の指導環境と業務負担との関連」株式会社リベルタス・コンサルティング編『「公立小学校・中学校等教員勤務実態調査研究」調査研究報告書』（平成 29 年度文部科学省委託研究報告書)、76-91.

佐藤晴雄（2011)「学校における保護者対応について」（文部科学省平成 22 年度学校マネジメント支援推進協議会講演資料）（入手先 URL：https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2011/02/21/1301966_01.pdf、最終閲覧日：2024 年 1 月 10 日）.

第6章 学校の働き方改革等と教諭の在校等時間の関係に関する分析

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- **働き方改革の取組により、時間管理等の意識が高まった教諭が多い学校は、在校等時間が短い傾向にある。さらに、管理職がリーダーシップを発揮し働き方改革を推進している学校において、教諭の意識が高まっている。**
- **また、学校全体で働き方改革に関する目標設定・公表などを行うことで、教諭の時間管理の意識が高まっており、これらの取組は在校等時間の短縮に有効な可能性がある。**
- **このほか、学校全体の取組としては、小学校では「一斉下校日」「1 日当たりのコマ数の工夫」、中学校では「ノー残業デー」「部活動顧問の輪番制」が在校等時間短縮に効果。**
- **教員 1 人当たりの児童生徒数が、在校等時間に強い影響を与えており、人員体制の充実は、在校等時間の減少に向けた有効な手段である。**

1. 本章の目的

平成 28 年度（前回調査）公表以降、学校の働き方改革が推進されてきた。本章では、働き方改革におけるどのような取組が、教諭の在校等時間に影響を与えているかを分析する。特に、教諭の時間管理等の意識変化に着目して分析を行う。

2. 分析方法

働き方改革におけるどの取組が、教諭個人及び学校全体の在校等時間に影響を及ぼしているかを分析する。

具体的には、①学校の働き方改革による教諭の意識変化と在校等時間の関係分析、②学校の働き方改革の各取組と在校等時間の関係分析、③管理職のリーダーシップや PDCA に関する取組と教諭の意識変化の関係分析、を実施する。また、④ヒアリング結果から、管理職による教員への意識付けの事例、個々の教員の在校等時間の短縮のための工夫を整理する。

なお、教諭における学校の働き方改革による意識変化については、教員調査票の問 36，37 の項目を使用する。

教員調査 問 36	労働安全衛生法等に基づき、ICT 等の客観的な方法によって労働時間を把握することが求められています。また、働き方改革に向けて、令和元年に給特法の一部改正が行われ、在校等時間の上限などを定める指針が策定されました。これを踏まえたあなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか。
問 37	あなたの学校における勤務時間の管理方法により、あなたの仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まりましたか。

3. 分析結果

（1)働き方改革による意識変化と在校等時間

教諭の学校の働き方改革による意識変化と、在校等時間の関係をみる。その結果、働き方改革による意識変化が起きている教諭は、在校等時間が短い傾向にあった。

①時間管理の意識向上（教員調査問 36）

「あなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか」という質問については、時間管理の意識が高まった教諭の方が、在校等時間が短い傾向にある。「まったくそう思わない」教諭に比べ「そう思う」教諭は、小学校では平日 33 分・土日 19 分、中学校では平日 49 分・土日 42 分、在校校等時間が短い。

表 6-1　時間管理の意識向上別　在校等時間
（教諭（主幹、指導含む）のみ）

	小学校			中学校		
	n	平日	土日	n	平日	土日
そう思う	1,137	10:29	0:28	918	10:35	1:59
どちらかといえばそう思う	4,245	10:39	0:32	4,060	10:52	2:08
どちらかといえばそう思わない	2,070	10:55	0:41	2,204	11:06	2:21
まったくそう思わない	1,470	11:02	0:47	1,936	11:24	2:42

②仕事の優先順付けや効率化などの意識向上（教員調査問 37）

「あなたの学校における勤務時間の管理方法により、あなたの仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まりましたか」という質問についても、仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まった教諭の方が、在校等時間が短い傾向にある。「まったくそう思わない」教諭に比べ「そう思う」教諭は、小学校では平日 36 分・土日 11 分、中学校では平日 45 分・土日 1 時間 52 分、在校校等時間が短い。

表 6-2　仕事の優先順付けや効率化などの意識向上別　在校等時間
（教諭（主幹、指導含む）のみ）

	小学校			中学校		
	n	平日	土日	n	平日	土日
そう思う	808	10:25	0:26	588	10:34	1:48
どちらかといえばそう思う	4,040	10:40	0:31	3,591	10:49	2:06
どちらかといえばそう思わない	2,533	10:51	0:39	2,860	11:07	2:21
まったくそう思わない	1,539	11:01	0:47	2,078	11:19	2:40

（2)学校の働き方改革の取組と在校等時間

次に、学校の働き方改革の各取組が、在校等時間にどのような影響を及ぼしているかを整理する。各学校では、働き方改革に関する様々な取組が数多く行われており、各学校の条件が異なる中で、1つ1つの取組の効果を全て詳細にみていくのは難しい。そこで、重回帰分析を用いて、どの学校においても、ある程度、同等の効果がみられる取組は何かについて探索を行う。

ここでは、学校単位（1つの学校を1サンプルとする）で、教諭の平均在校等時間（平日）を被説明変数、学校の働き方改革の各取組を説明変数（学校調査票①・②に関する各設問)、教諭の特性と学校規模を統制変数として重回帰分析を実施した。変数が多い中で有効な変数を抽出するために、学校調査票①・②の学校の働き方改革の取組に関する設問等はステップワイズ法（有意確率10%を基準）を用いて分析を行った。なお、週5日勤務していない教員が多いなど分析対象となる教員数が教員全体の5割を下回る学校は、分析対象から除外した。

学校の働き方改革の取組として投入した全変数は、以下のとおり。このほか、3（1）で検証を行った教諭の学校の働き方改革による意識変化についても、各学校の教諭の平均点を変数として投入した。

表 6-3　統制変数

●教諭の特性
・男性比
・平均年齢
・正規任用比率
・学級担任割合
・通勤時間(分)
・子供あり率
●学校規模
・教員1人当たり児童生徒数
・単式学級数

表 6-4　学校の働き方改革の取り組みに関する変数（学校調査①)

11)-2　部活動指導員の人数(中学のみ)

11）-3　すべての部活動指導員の1週間の勤務時間を足しあげた合計時間（中学のみ)

11)-5　直近1年間で学校が把握している外部指導者の人数(中学のみ)
11)-6　地域クラブと連携して合同で練習を行ったり、地域の指導者に実技指導は任せたりするなど、地域と連携・協力して練習(中学のみ)
18)学校閉庁日日数
18)ノー残業デーの調査週中の日数
18)ノー部活デーの調査週中の日数(中学のみ)

表 6-5　学校の働き方改革の取り組みに関する変数（学校調査②)

1）　貴校では、職員の勤務時間縮減に向けて以下の取組を行っていますか。(複数回答可)
1. 登下校時の対応は、学校以外の主体(地方公共団体、教育委員会、保護者、スクールガード・リーダー、地域人材等)が中心に対応している
2. 放課後から夜間等における見回り、児童生徒が補導された時の対応は、学校以外の主体(地方公共団体、教育委員会、保護者・地域人材等)が中心に対応している
3. 学校徴収金(給食費を含む)の徴収・管理は、教職員が関与しない方法で徴収・管理又は地方公共団体や教育委員会が徴収・管理等を行っている
4. 地域人材等との連絡調整は、窓口となる学校職員が直接行うのではなく、地域学校協働活動推進員(社会教育法第9条の7)等の学校以外の主体が中心的に行うよう、地方公共団体や教育委員会等において必要な取組を実施している
5. 学校における調査・統計への回答等は、教育課程の編成・実施や生徒指導など教師の専門性に関わるもの以外の調査については、事務職員等が中心となって回答している
6. 児童生徒の休み時間における対応は、地域人材等の協力を得ている

7. 校内清掃は、地域人材の協力を得ることや民間委託等をしている
8. 部活動について、部活動指導員や外部の人材の参画を図っている
9. 給食時は、栄養教諭等と連携するほか、地域人材の協力を得ている
10. 授業準備について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている
11. 学習評価や成績処理の補助的業務について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている
12. 進路指導のうち、就職先の情報収集等について、事務職員や支援スタッフ等の参画・協力を進めている
13. 教師の業務の負担を軽減するために、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）をはじめとした支援スタッフの参画を図っている
14. 教師の業務の負担を軽減するために、TT（Team Teaching）や習熟度別学習、放課後の補習、不登校児童生徒への支援等を行う支援スタッフの参画を図っている
15. 勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせ等に備えた留守番電話の設置やメールによる連絡対応の体制を整備している
16. 学校事務の共同実施をしている
17. 労働安全衛生法に定められているストレスチェックを実施している

2） 貴校では、学校の働き方改革又は業務改善に関して、時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等を策定していますか。
1. 学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている
2. 業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている
3. 勤務時間数等の定量的な目標を設定している　4. 定性的な目標を設定している　5. 策定していない

3） 貴校では、学校における業務改善の取組の促進にかかる定量的なフォローアップを実施し、業務改善のPDCAサイクルを構築していますか。

4） 貴校では、学校の働き方改革や業務改善状況の公表等に関する以下の取組を実施していますか。
1. 業務改善状況を公表している　2. 在校等時間等について公表している
3. 保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している

5） 貴校では、有給休暇の取得促進のため、有給休暇の年間取得目標を設定していますか。
1. はい　2. いいえ

6） 貴校では、教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しに関する以下の取組を実施していますか。
1. 教科に係る一コマの時間（単位時間）を工夫している
2. 一日当たりのコマ数を工夫している
3. 教科以外の日課の時間削減（掃除時間等の縮減）を図っている
4. 定期テストの回数を縮減している
5. 二学期制を採用している

7） 貴校では、一斉下校日の設定をしていますか。

8） 貴校では、学校経営・学年経営の効率化に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1. 校務分掌の見直しを図っている
2. 共有カレンダー（デジタル）を用いてタスクを共有している
3. 学校日誌をデジタル化している
4. 学級通信の見直し（学級だより・学年だよりを学年だより・学校だより等に整理・統合するなど）を行っている

10） 貴校では、校内の職員会議（朝礼、終礼、打合せ等を含む）の効率化に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1. 会議、打合せを精選している
2. 会議、打合せをオンライン化している
3. 連絡掲示板、グループウェア等のオンラインでの伝達事項の共有による会議、打合せ回数の縮減を行っている
4. 会議、打合せ資料のペーパーレス化を行っている

11） 貴校では、学習評価や成績処理について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1. 校務支援システムを活用した成績処理（名簿の共有化など）
2. 指導要録の電子化
3. 自動採点システムの活用

12） 貴校では、授業準備について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。
1. 教材や指導案をクラウド等で共有している
2. 授業等でクラウド等を活用した資料配付・課題提出を行っている
3. 週案や学校日誌をデジタル化している

13） 貴校では、個別に支援が必要な児童生徒・家庭への対応について、以下の専門的な人材等の参画を図っていますか。
1. スクールカウンセラーによる支援
2. スクールソーシャルワーカーによる支援
3. 特別支援教育に関する専門人材による支援
4. 日本語指導ができる支援員による支援

14） 貴校では、学校と保護者等間における連絡手段について、メールや Web アンケートフォーム等を活用した以下のデジタル化の取組を実施していますか。

1. 欠席・遅刻連絡をデジタル化している
2. 保護者向けアンケートをデジタル化している
3. 学校からのお便りをデジタル化している
15） 貴校では、研修に関して以下の取組を実施していますか。
1. 校内研修を精選している
2. 教育委員会等による研修がオンラインで行われている
19）各学校における部活動に係る活動方針等を策定
19）-4大会前などは、ガイドラインを超えて活動することを容認するような例外規定を設けていますか。
19）-5 学校のホームページに掲載する等、活動方針を公表していますか。
19）-6 活動計画（ガイドライン）をどのようにして徹底させていますか。
1. 各部活動の練習計画の確認及びガイドラインに沿った練習計画の作成を行わせた
2. 前月のうちに部活動計画書を顧問に提出させ、管理職が点検する
3. 年間を通し、効果的な練習方法を取り入れ、ゆとりある部活動を計画的に実施する
22） 貴校では、部活動の顧問（教員）の負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。
1. 合同トレーニングまたは合同部活動の実施により指導にあたる顧問数を限定している
2. 複数の顧問が輪番で部活動指導にあたっている
3. 部活動内の連絡においてグループウェア等を活用している

重回帰分析の結果、小学校では、「教員１人当たりの児童生徒数」が、モデルに最も影響を与えている[7]。中学校でも、「教員１人当たりの児童生徒数」の影響が大きく、１人当たり児童生徒数が少ない方が、平均在校等時間が短いことがわかる。このほか、統制変数の影響を確認すると、「通勤時間」が長い、「子どもあり」の割合が高い、「平均年齢」が高いと在校等時間が短い傾向にある。中学校では、「部活動顧問割合」「正規任用比率」が高いと平均在校等時間が長い。

次に、どの学校でも在校等時間に効果がある学校の働き方改革の取組について整理する。（１）で整理したように、小学校・中学校共に「働き方改革による意識変化」がなされている教諭の割合が高いと平均在校等時間が短く、重回帰分析の結果でも小学校・中学校共に標準化係数の値も大きく、モデルへの影響が大きいことがわかった。

さらに、小学校では、「１日当たりのコマ数の工夫」などが在校等時間短縮に影響している。ただし、「一斉下校」は、多い方が在校等時間に長くなっている。中学校では「ノー残業デー」「部活動顧問の輪番制」が在校等時間の短縮に影響していることがわかる。このほか、ICT 関連の取組については、在校等時間の短縮に影響を与えるものとそうでないものの両方がみられる。例えば、学校へのヒアリングを行う中では、ICT 機器等の保守や故障などにより、在校等時間が長くなることもあるという意見があった。また、学校によってシステムが異なることも多く、異動の度にシステムの使い方を覚えなおす必要があることも課題としてあげられた。ICT 支援員の増強など、ICT 導入・活用をスムーズに行うための取組が必要といえる。

[7] 標準化係数の値（絶対値）が大きいほど、回帰モデルへの影響が大きい。

表 6-6　教諭の在校等時間（平日）を被説明変数とする重回帰分析（分析単位：学校　小学校）

	小学校	在校等時間(平日) 係数	*	有意確率	標準化係数	記述統計量 平均値	標準偏差
教諭の特性	教諭 男性比	2.38		0.822	0.01	0.39	0.14
	教諭 平均年齢	-0.80	**	0.041	-0.10	40.47	4.33
	教諭 正規任用比率	13.31		0.396	0.03	0.93	0.09
	教諭 学級担任割合	-3.55		0.791	-0.01	0.85	0.11
	教諭 通勤時間(分)	-0.69	***	0.000	-0.17	26.20	8.97
	教諭 子供あり率	-32.48	***	0.001	-0.14	0.53	0.16
学校規模	教員1人あたり児童生徒数	1.36	***	0.001	0.20	16.21	5.30
	単式学級数	-0.43		0.155	-0.08	13.59	7.15
働き方改革取組等	個人Q36時間管理意識 平均点(3～0点)	-14.31	**	0.020	-0.16	1.60	0.41
	個人Q37効率化意識 平均点(3～0点)	-12.76	**	0.044	-0.14	1.49	0.39
	一斉下校日の頻度(1ヶ月に●日)	1.13	**	0.049	0.08	1.99	2.50
	1日当たりのコマ数を工夫している【調査②6－2】	-7.33	**	0.042	-0.08	0.20	0.40
	会議・打合せを精選している【調査②10－1】	7.33	**	0.043	0.08	0.81	0.39
	授業等でクラウド等を活用した資料配付・課題【調査②12-2】	-6.33	**	0.034	-0.08	0.62	0.49
	保護者向けアンケートをデジタル化している【調査②14-2】	5.44	*	0.089	0.07	0.72	0.45
	放課後から夜間等における見回り等を学校外が対応【調査②1-2】	-9.23	**	0.037	-0.08	0.11	0.32
	(定数)	722.35	***	0.000			
	調整済み R2 乗	0.187					
	N数	564					

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

表 6-7　教諭の在校等時間（平日）を被説明変数とする重回帰分析（分析単位：学校　中学校）

	中学校	在校等時間(平日) 係数	*	有意確率	標準化係数	記述統計量 平均値	標準偏差
教諭の特性	教諭 男性比	7.25		0.580	0.02	0.58	0.13
	教諭 平均年齢	-0.80	*	0.073	-0.09	41.65	4.48
	教諭 正規任用比率	31.45	*	0.081	0.07	0.92	0.10
	教諭 学級担任割合	0.07		0.996	0.00	0.62	0.14
	教諭 部活動顧問割合	34.66	***	0.009	0.11	0.91	0.13
	教諭 通勤時間(分)	-0.89	***	0.000	-0.23	28.71	10.62
	教諭 子供あり率	-28.89	**	0.016	-0.12	0.51	0.16
学校規模	教員1人あたり児童生徒数	1.60	***	0.005	0.18	13.62	4.44
	単式学級数	0.42		0.296	0.06	11.11	6.04
働き方改革取組等	個人Q36時間管理意識 平均点(3～0点)	-27.49	***	0.000	-0.25	1.48	0.37
	ノー残業デー日数(調査週中)【調査①18－1】	-6.89	**	0.022	-0.10	0.45	0.57
	複数の顧問が輪番で部活動指導にあたっている【調査②22-2】	-7.53	**	0.028	-0.09	0.49	0.50
	授業等でクラウド等を活用した資料配付・課題【調査②12-2】	-7.37	**	0.037	-0.09	0.65	0.48
	会議、打合せ資料のペーパーレス化を行っている【調査②10-4】	-6.95	*	0.064	-0.08	0.70	0.46
	保護者向けアンケートをデジタル化している【調査②14-2】	9.14	**	0.019	0.10	0.71	0.46
	学校からのお便りをデジタル化している【調査②14-3】	7.61	**	0.036	0.09	0.37	0.48
	部活動内の連絡においてグループウェア等を活用【調査②22-3】	6.85	*	0.089	0.07	0.24	0.43
	(定数)	685.86	***	0.000			
	調整済み R2 乗	0.292					
	N数	438					

***は1%水準で有意、**は5%水準で有意、*は10%水準で有意

（3）教諭の時間管理等の意識を高める施策

これまでの分析では、教諭の「働き方改革による意識変化」が在校等時間の短縮に強い影響があることが明らかになった。そこで、管理職のリーダーシップや PDCA に関する取組が、教諭の意識面に影響を与えている可能性があると考え、これらの関係について整理する。

①管理職のリーダーシップ

各教諭の「あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか」という質問の回答状況によって、働き方改革による意識変化がどのように異なっているかを確認する。

時間管理の意識向上についてみると、管理職がリーダーシップを発揮し働き方改革を進めていると認識している教諭ほど、時間管理の意識が向上している割合が高い。同様に、仕事の優先順付けや効率化などの意識についても、管理職がリーダーシップを発揮し働き方改革を進めていると認識している教諭ほど向上している割合が高い。管理職がリーダーシップを発揮し働き方改革を進めることで、教諭の意識変化を及ぼし、在校等時間の短縮につながるといえる。

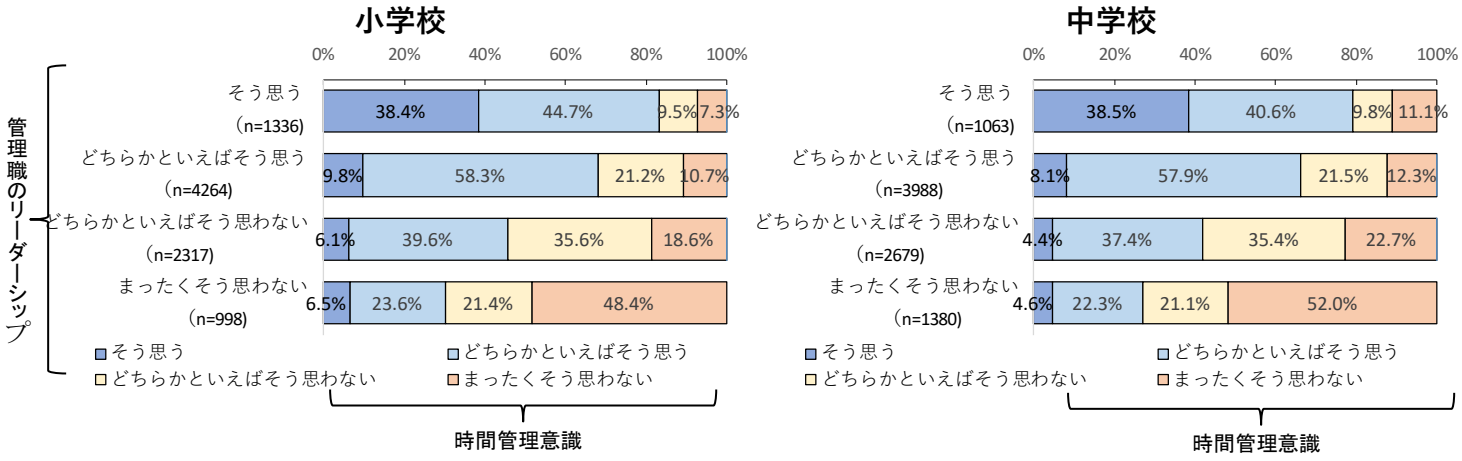


図 6-1　管理職のリーダーシップ別　時間管理の意識向上（教諭（主幹、指導含む））

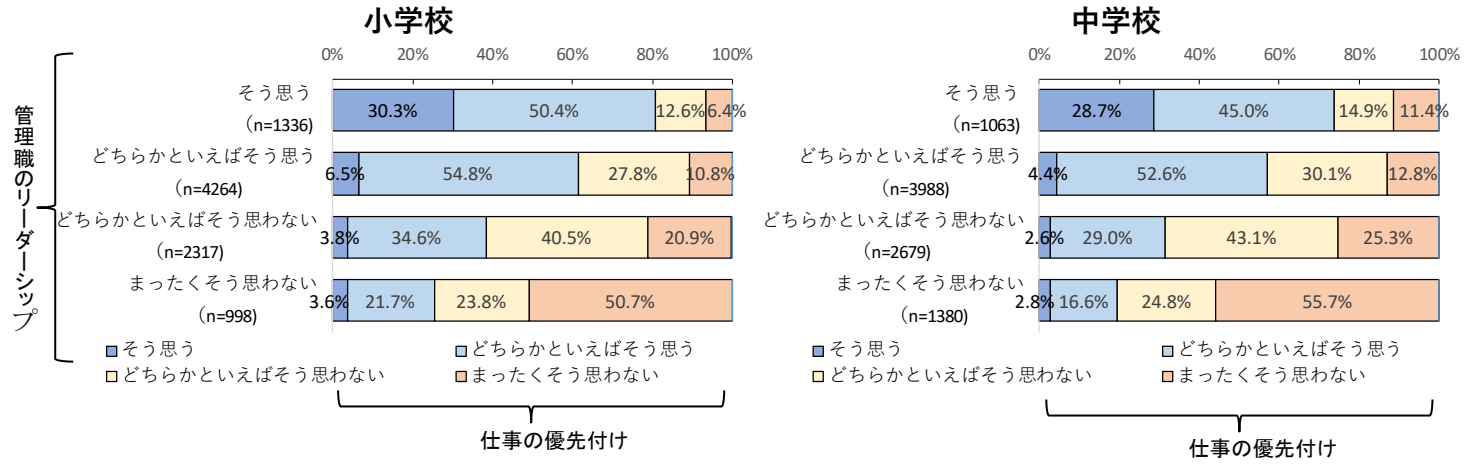


図 6-2　管理職のリーダーシップ別　仕事の優先順付け・効率化の意識向上（教諭（主幹、指導含む））

②学校の働き方改革に関する PDCA

次に、学校の働き方改革等の PDCA に関する取組状況と、教諭の時間管理意識等との関係について確認する。具体的には、教諭の「働き方改革による意識変化」に関する調査項目を得点化し、学校別に算出する。その上で、その意識変化の得点について、学校調査票における学校の働き方改革等の PDCA に関する取組の実施状況別に整理した。

その結果、学校の働き方改革等の PDCA に関する各取組を実施している学校の方が、教諭の「働き方改革による意識変化」の得点も高く、かつ検定の結果も有意となっている。特に、「学校における業務改善の取組の促進にかかる定量的なフォローアップを実施し、業務改善のＰＤＣＡサイクルを構築し、自己点検を１年に２回以上実施」していることは、小学校・中学校共に影響を及ぼしている。

このほか、小学校では「学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている」「業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている」「勤務時間数等の定量的な目標を設定している」かどうかで、教諭の時間管理意識・効率化意識の両方の得点の差が大きく開いている。中学校では、「定性的な目標を設定している」「在校等時間等について公表している」かどうかで、教諭の時間管理意識・効率化意識の両方の得点差が大きくなる。

学校の働き方改革・業務改善の PDCA に関する取組は、教諭の意識変化を通じて、間接的に在校等時間の縮減に寄与しているといえる。

表 6-8　学校の働き方改革等の PDCA に関する取組別　教諭の意識変化得点
（分析単位：学校　小学校）

小学校		Q36）時間管理意識			Q37）効率化意識		
		平均点（そう思う3点～まったくそう思わない0点）	差	*	平均点（そう思う3点～まったくそう思わない0点）	差	*
Q2-1. 学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている	実施あり	1.64	0.13	***	1.52	0.11	***
	実施なし	1.51			1.41		
Q2-2. 業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている	実施あり	1.67	0.14	***	1.56	0.13	***
	実施なし	1.53			1.43		
Q2-3. 勤務時間数等の定量的な目標を設定している	実施あり	1.67	0.16	***	1.55	0.15	***
	実施なし	1.51			1.40		
Q2-4. 定性的な目標を設定している	実施あり	1.66	0.07	*	1.57	0.10	**
	実施なし	1.59			1.47		
Q3）PDCAサイクル構築有無及び自己点検頻度（自己点検1年に2回以上）	実施あり	1.68	0.13	***	1.56	0.12	***
	実施なし	1.55			1.44		
Q4-1. 業務改善状況を公表している	実施あり	1.68	0.09	*	1.55	0.07	
	実施なし	1.59			1.48		
Q4-2. 在校等時間等について公表している	実施あり	1.69	0.10	**	1.57	0.09	*
	実施なし	1.59			1.48		
Q4-3. 保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している	実施あり	1.63	0.09	***	1.51	0.06	*
	実施なし	1.54			1.45		

※得点差が 0.1 以上のものに網掛け。

表 6-9　学校の働き方改革等の PDCA に関する取組別　教諭の意識変化得点
（分析単位：学校　中学校）

中学校		Q36）時間管理意識			Q37）効率化意識		
		平均点（そう思う3点～まったくそう思わない0点）	差	*	平均点（そう思う3点～まったくそう思わない0点）	差	*
Q2-1. 学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている	実施あり	1.49	0.07	**	1.34	0.07	**
	実施なし	1.42			1.27		
Q2-2. 業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている	実施あり	1.51	0.08	**	1.35	0.06	*
	実施なし	1.43			1.29		
Q2-3. 勤務時間数等の定量的な目標を設定している	実施あり	1.53	0.13	***	1.36	0.09	***
	実施なし	1.40			1.27		
Q2-4. 定性的な目標を設定している	実施あり	1.59	0.15	***	1.41	0.12	***
	実施なし	1.44			1.29		
Q3）PDCAサイクル構築有無及び自己点検頻度（自己点検1年に2回以上）	実施あり	1.54	0.12	***	1.38	0.10	***
	実施なし	1.42			1.28		
Q4-1. 業務改善状況を公表している	実施あり	1.58	0.12	**	1.41	0.10	*
	実施なし	1.46			1.31		
Q4-2. 在校等時間等について公表している	実施あり	1.59	0.14	***	1.41	0.11	**
	実施なし	1.45			1.30		
Q4-3. 保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している	実施あり	1.49	0.07	**	1.34	0.07	**
	実施なし	1.42			1.27		

※得点差が 0.1 以上のものに網掛け。

（4）ヒアリングからみた働き方改革に向けた教員の意識付けの例

（1）～（3）では、教員の時間管理等の意識付けが在校等時間の短縮には重要であり、管理職のリーダーシップや PDCA に関する取組が教諭の意識面に影響を与えている可能性を明らかにした。ヒアリング対象校において行われていた管理職による教員への意識識付けの例や具体的な取組を以下に紹介する。

●意識づけの例

・校長は、「WLB（ワークライフバランス）休暇」と名付けて、平日の有給休暇取得を呼びかけている。校長から、教員に心のリフレッシュが必要だと呼びかけるようにしている。WLB 休暇で先生が休むときは、校長が代替担任として授業を行うこともある。
・教員の業務環境を整えるのが管理職の役目だと考えている。仕事の先を見通して、この業務を早めにやっておいた方がいいよということを教員に声かけしている。
・早く帰る雰囲気づくりで 1 番効果的なのは、主幹教諭からの声がけである。現在の主幹教諭の人望によるところも大きいが、「主幹教諭が帰るなら私も」という雰囲気になる。早く帰ることを否定的に捉える空気はない。
・管理職が遅く残っている教員に帰り際、声をかけるようにしている。「何時に帰る予定か」を聞いて、切り上げ時を確認している。ただし、「早く帰りなさい」というだけではプレッシャーになってしまうこともあるので、「何をやっているのか？」をあわせて確認するようにしている。早く帰ることが目的化しないようにしている。

・残業時間を教員が自分で意識できるように、教頭先生が、個々の教員の勤務状況を A4 用紙 1 枚にまとめ月末に渡している。月の残業時間がどの程度か一目でわかるようにし、教員の意識改革に活用している。
・管理職は、教員同士が仲良く仕事ができるように、雑談などにも時には参加している。この時、単に雑談するだけでなく、情報交換の場になるように意識している。また、働き方改革に関する国や県の方針なども、雑談に混ぜながら伝えている。
・校長は、「生徒の前に出る時は元気でいなさい」ということを常に言っている。そのためには、教員も体調管理が重要で、リフレッシュが必要となる。「今日やるべきこと、明日以降で良いことを切り分けよう」ということを自分のペースでしっかりやるように言っている。
・残業時間が多い教員に対しては、見直すべきポイントなどを伝えるようにしている。見直しのポイントとしては、例えば教科において、授業の教材などを各教員が個別に用意するのではなく、共有化した方かよい、といったことを伝える。皆でより良いものを 1 つ作った方が、生徒への公平さも担保できる。声掛けは、例えば学年に関係することであれば学年主任、教科に関係することであれば教科主任を通じて行う。また、ミドル層の教員は仕事を抱えこみがちになるので、若手教員に仕事を振ることも覚えてもらう。
・校長が率先して「なくすものはなくす」という判断をしていった。必要最小限の労力で、最大の効果を得ようという考えのもと作業を効率化していった。「目の前の生徒には、精一杯接する」という考えで、業務に濃淡をつけた。一方で「生徒がいない時の業務（文章作成など）」は、内容を精選しても大丈夫なものを削減する方針とした。やめていい取組は管理職から通達を行い、教員間で止める取組の共通理解が図られた。現場の教員からも「管理職がどこをスリム化すべきかを示してくれたこと、さらには、どうして残すのか・減らすのかの考え方まで示してくれていることは良い。これにより、どのような考え方で業務削減すればいいのか、自分たちでも考えることができる。」といった意見があがっている。
・働き方改革の指導などを教員に行う際は、高圧的にならないように気を付けている。個々の教員の立場もあるので、その立場を尊重しながら勤務時間を減らしてもらうようにコミュニケーションするように心がけている。市の目標である月の残業時間「週 80 時間」「45 時間」についても、数字で画一的に切るようなことはしないようにしている。
・校長が、教員とのコミュニケーションを良く行ってくれている。雑談も多いし、教員に対して、よくアドバイスをしてくれる。そのアドバイスのおかげで、生徒指導などの問題を未然に防ぐことができる。
・副校長先生が、働き方改革に関するお便りを教員に配布している。働き方改革のこつなどを教えている。

●取組例

（定時退勤、有休促進等）
・月 4 日、各教員が定時退勤の日を決めて、その日は定時で帰るようにしている。どの日を定時退勤の日にするかは各教員が決める。周りの先生も定時退勤の日だとわかっているので、その先生が帰っていない時は、帰るように促している。

・月 1 回（1 時間でもいいので）休みをとる、週 1 日残業しないで帰る、というのを呼び掛けている。いつ休むかは、表に書いて教員に回覧する。その回覧をみて、教員同士で休む日を調整してくれている。例えば、「今日の帰りの会は、●●先生お願いします」というように時間給をとる。
・月曜日は「家庭学習の日」としてノー部活デーとした。生徒が早く下校するため、教員も早く帰ることができる。週 1 回、そのような日があることで、教員も気持ちが楽になる。その時間で授業準備を進めたり、下校時間を早めたりできる。また、会議のある日は、授業時間を 5 時間目までにしている。勤務時間内に会議が終わるように設定している。

（業務の見直し）
・「学級経営」の考え方を変えた。以前は、学級通信や掲示物など生徒の前では行わない資料作成なども時間をかけて行っていた。だが、今は「生徒が目の前にいるその場、その場でしっかり伝えていくことが大事」という方針に切り替えた。生徒がいる時の時間を重視し、それ以外の業務を効率化するようした。学級通信や掲示物は、必要最低限に減らしている。
・技能教科の定期テストを廃止し、授業時間内での小テストで対応している。1 人の教員が 400 人分を採点することになるが、この方法であれば、勤務時間内で十分に評価できる。
・コロナの影響で削減となった行事については、そのまま削減している。特に、運動会は、半日開催となり、練習や準備、企画の時間も含め削減になった。

（時間割等の見直し）
・時間割の見直しを行った。月曜日と水曜日は朝活動 15 分と給食後の清掃 20 分を行わないで、その分、放課後の業務時間を 35 分長くした。これにより、教員は学級事務などの時間を長く取れるようになる。また、児童も、給食後に清掃を挟まず昼休みを取れるなど気持ちのゆとりができた。
・業務時間確保のために、学期末に事務処理日を 3 日間設けた。この日は、授業を 2 コマ減らして 4 時間授業とし、14 時頃～16 時 50 分を事務処理（成績付け）に当てることができるようにした。この日があるため、教員は持ち帰りをして成績をつけることがなくなった。
・市全体で週 3 日は 5 時間授業とすることした。週 29 時間から 2 コマ分減らす必要があるため、同校では①15 分のモジュール化を行い朝の時間に実施、②総合の時間の一部を夏の家庭学習の時間に振り分け、という対応を行った。また、清掃を毎日行うのを止め、昼休みの日、清掃の日を交互に配置するようにした。その分、下校時間を早めることができた。

（会議の精選）
・職員会議は、内容を「協議事項（前年から変えることなど）」と「連絡事項」に分け、「協議事項」のみを会議で話すようにした。連絡事項は、校務支援システムの連絡掲示板に掲載するようにした。また、会議は 1 時間で終了するようにした。終了時間を設定し、過ぎたら次回や週 1 回開催している 10 分程度の打ち合わせに持ち越すようにしている。
・学年会議や分掌会議の頻度を減らした。例えば学年会議の場合、1 週間に 1 度の時間割の提出

に合わせて週に一度行っていたが、現在は時間割の提出頻度を半分に減らし、学年会議も 2 週間に 1 回とした。

（その他）

・高学年の担任を持っている教員も業務過多となる傾向にある。そこで、高学年の担任は教務主任としないようにしてバランスをとっている。
・トラブル予防として、生徒指導の先生が中心となって、校内や他校のケースを元にした事例研修を行っている。対応の仕方を共有化している。また、何か問題が起きたら、保護者に対しては、全て電話で済ますのではなく、自宅に行くなど、必要に応じて切り替えて対応をしている。
・職員室の動線を変えて動きやすくした。今までの動線は、コピー、裁断、ごみ捨てなどで行ったり来たりの無駄が発生していたので、これを近くに配置した。また、人が歩くスペースが狭くごみが良く落ちていたので、掃除しやすいようにスペースを作った。
・副校長として、教員からの提出書類の確認・承認などは最優先で処理するようにしている。副校長のところで書類が止まってしまうと、教員の待ち時間が発生してしまう。できる限り教員がスムーズに働けるように心がけている。

また、個々の教員で、在校等時間の短縮のために、以下のような工夫が行われていた。多くの教員が計画性をもって業務に取り組むようになっていた。また、際限なく業務を行うのではなく、「業務を切り上げる」ということを意識していた。

・独身時代は時間が無限大だったが、今は子供の保育園の送り迎えなど、時間は限られている。その中で、どの仕事をするのが重要か考え、取捨選択をするようになった。
・今までは、教員の仕事は終わりがないので帰りにくく、一つの仕事が終わっても次もやっていこうという意識が強かった。今は、明日でも良い仕事は明日に行うなど、早く帰れるように仕事を計画的に考えるようにしている。期限までに行えば大丈夫という意識を持つようになった
・今は時間を意識している。優先順位をつけ、自分がしなくていい仕事はスクールサポートスタッフにお願いするようになった。雑談はするが適度になった。
・勤務経験が長くなり、授業準備にストックができたことが在校等時間の短縮につながっている。また、年間を通して、この時期に何をやるのか先の見通しが立つようになったので、計画的に業務を行うようにしている。また、働き方改革によって、時間内にやろうという意識もついてきた。教材研究なども、際限なく行うのではなく、ここまでで良いと区切れるようになった
・提出書類などは、〆切は 1 か月先でもすぐにやるようにしている。また、1 日の仕事量を決めている。1 日 6 つまでとし、それ以上あっても、その日はそこで帰る。授業準備については、同じ教科担当内で共有することで効率化を図れる。
・空きコマを使って上手くやりくりしている。空きコマで何の仕事をするかを計画立てて行っている。業務の優先順位を意識している。放課後は、生徒指導や保護者対応が発生することもあるので計画には入れないようにしている。また、今は、学校全体の共有フォルダに過去の教材研究の資料などが入っているので、それらを活用することで時間削減につながっている。

4. 考察

本章では、働き方改革におけるどのような取組が、教諭の在校等時間に影響を与えているかを分析した。

その結果、働き方改革の取組により、時間管理や仕事の優先順付け・効率化の意識が高まった教諭において、在校等時間が短い傾向にあることがわかった。さらに、管理職がリーダーシップを発揮し働き方改革を推進することや、学校全体で働き方改革に関する目標設定・公表を行うことが、教諭の時間管理や仕事の優先順付け・効率化の意識を高めていることが分かった。

このように、教員の時間管理の意識によって在校等時間に差が生じており、管理職がリーダーシップを発揮し勤務環境を整え、個々の教員の時間管理等の意識付けを行うことが重要だといえる。その際、学校全体で働き方改革に関する目標を設定することや、定期的に定量的なフォローアップを行うことなどは、有効な手段の１つとなっている。

このほか、学校全体の働き方改革の取組等としては、小学校では「１日当たりのコマ数の工夫」、中学校では「ノー残業デー」「部活動顧問の輪番制」なども在校等時間短縮に効果がみられた（なお、ICT 関連の取組については、在校等時間の短縮に影響を与えるものとそうでないものの両方がみられた。その他、モデルに対して統計的に有意ではない働き方改革に関する取組もあり、これらの取組は実施環境や取組方法によって効果に差があると想定される。取組においては実効性を高めるための工夫が必要であり、更なる検証が必要だといえる）。

また、ヒアリング結果からは、働き方改革が進んでいる学校の多くの教員が、計画性をもって業務に取り組むようにしていることがわかった。また、際限なく業務を行うのではなく、「業務を切り上げる」ということも意識していることがわかった。

なお、教員１人当たりの児童生徒数は、在校等時間への影響が大きく、児童生徒数が少ないと平均在校等時間が短い。この結果は、平成 28 年度調査と変わらず、人員体制の充実は、在校等時間の減少に向けた有効な手段である。

第7章 管理職による働きやすい職場づくりが

教諭の働き方に与える影響

神林寿幸

【本章のポイント】

- **職場のワークライフバランスの実現や勤務環境整備といった管理職による働きやすい職場環境づくりは、教諭に認識されると、実際に教諭の在校等時間も削減される。**
- **小学校と中学校で、働きやすい職場づくりで功をなす校長の行動は異なる。中学校では職場のワークライフバランス実現に向けて行動しているという校長の場合、教諭の在校等時間は短かった。他方、小学校では、職場のワークライフバランス実現に向けて行動していないと回答する校長の場合、教諭の在校等時間は短かった。**

1. 本章の目的

本章では、公立小・中学校の校長による勤務環境や職場のワークライフバランス実現に向けた行動が教諭の勤務実態に及ぼす影響を明らかにする。校長による働きやすい職場づくりによって、その校長の下で働く教員の在校等時間が短くなるのか否かを検証する。

2. 分析方法

(1)分析項目

①平日１日の平均在校等時間

調査対象週の月曜日から金曜日までの平日 5 日間の平均在校等時間を使用する。本章の分析では単位を時間にしたものを使用する。

②土日１日の平均在校等時間

調査対象週の土曜日・日曜日の 2 日間の平均在校等時間を使用する。本章の分析では単位を時間にしたものを使用する。

③管理職の勤務環境整備状況

「教員調査票」で各教員にたずねた「あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか」という項目を用いる。値は「まったくそう思わない」(1)、「どちらかといえばそう思わない」(2)、「どちらかといえばそう思う」(3)、「そう思う」(4) のいずれかをとる。

なお、管理職の勤務環境整備状況については、学校平均で中心化した変数（個人レベル変数、以下「管理職の勤務環境整備状況（個人)」という。）と学校ごとの平均値（学校レベル変数、以下「管理職の勤務環境整備状況（学校)」という。）の 2 つを用いる。学校平均で中心化した変数を用いることで、同一の学校の中で管理職の勤務環境整備について肯定的に感じる教員の在校等時

間はどうであるかという解釈が可能になる。また、学校ごとの平均値を用いることで、教員から勤務環境整備を積極的に行なっていると評価された校長の下で働く教員の在校等時間はどうであるかについて分析結果が得られる。

④職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動（Hammer et al. 2013）

Hammer et al.(2013) は従業員のワークライフバランスを支援する管理職の行動特性に関する尺度の短縮版（Family Supportive Supervisor Behavior Short-Form: FSSB-SF）を開発した。この尺度は「情緒的支援」「道具的支援」「ロールモデル」「ワークファミリーマネジメント」の 4 因子から構成され、各因子は 1 項目より構成される[8]。

これに基づいて、校長等の管理職が回答する「学校調査票」に当該項目を設定した。具体的には「情緒的支援」として「同僚教員が仕事や仕事以外の悩みも気軽に相談できるようにしている」、「道具的支援」として「同僚教員に仕事以外で問題が発生した時に、その教員の業務遂行を支援できるようにしている」を、「ロールモデル」として「仕事だけでなく仕事以外の生活を大切にしていることを同僚教員に示している」を、「ワークファミリーマネジメント」として「同僚教員の利益と学校教育目標をうまく合致させるために、職場をどう組織化すればよいか考えている」という項目を設定した。各項目は「まったくあてはまらない」（1）「どちらかというとあてはまらない」（2）、「どちらともいえない」（3）、「どちらかというとあてはまる」（4）、「あてはまる」（5）のいずれかをとる。

本分析には、FSSB-SF の 4 項目を主成分分析で合成した得点を用いる。本分析対象について FSSB-SF に関する主成分分析を行ったところ、表 7-1 のような結果が得られた。

表 7-1　職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動に関する主成分分析

	小学校	中学校
情緒的支援	.52	.53
道具的支援	.51	.49
ワークファミリーマネジメント	.52	.52
ロールモデル	.45	.45
寄与率	61.81%	60.04%
α係数	.79	.78
n	8,729	8,845

⑤統制変数

統制変数には性別（男性、女性）、年齢（30 歳以下、31-40 歳、41-50 歳、51-60 歳、61 歳以上）職名（主幹教諭、指導教諭、教諭）、担任担当状況（単式学級担任、複式学級担任、特別支援学級担任、専科指導担当、通級・日本語指導担当、いずれも担当なし）、学校規模（50 人以下、51-100 人、101-150 人、151-200 人、201-250 人、251-300 人、301-350 人、351-400 人、401-450 人、451-500 人、501-550 人、551-600 人、601-650 人、651-700 人、701-750 人、751-800 人、801-850 人、851-900 人、901 人以上）を設定する。

[8] Hammer らの研究を参照して、構成員のワークライフバランスにつながる管理職の行動特性を明らかにした国内の研究として、高村（2018）がある。

(2)分析方法

小学校と中学校に分けて、平日 1 日の平均在校等時間と土日 1 日の平均在校等時間それぞれを被説明変数としたマルチレベル分析を行う。説明変数には管理職の勤務環境整備状況、職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動、両者の交互作用項を設定する。それぞれのマルチレベル分析では 3 つの分析モデルを設定する。Model.1 は、説明変数のうち、管理職の勤務環境整備状況を投入したものである。Model.2 は、職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動を投入したものである。Model.3 は、管理職の勤務環境整備状況、職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動、管理職の勤務環境整備状況と職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動の交互作用項を投入したものである。

なお、分析対象は分析項目について有効回答が得られた 769 校の小学校に勤務する教諭 8,729 人、758 校の中学校に勤務する教諭 8,845 人である。

3. 分析結果

本分析に用いる項目の記述統計量として、小学校で表 7-2、中学校で表 7-3 のような結果が得られた。

表 7-2 記述統計量（小学校）

勤務実態	Mean	SD
1日の平均在校等時間(平日)	10.77	1.23
1日の平均在校等時間(土日)	.61	1.34
性別	**n**	**%**
男性	3,322	38.06
女性	5,314	60.88
回答しない	93	1.07
年齢	**n**	**%**
30歳以下	2,329	26.68
31-40歳	2,273	26.04
41-50歳	1,966	22.52
51-60歳	1,880	21.54
61歳以上	281	3.22
職名	**n**	**%**
主幹教諭	303	3.47
指導教諭	66	.76
教諭	8,360	95.77
担任担当状況	**n**	**%**
単式学級担任	5,945	68.11
複式学級担任	89	1.02
特別支援学級担任	1,305	14.95
専科指導	784	8.98
通級・日本語指導	305	3.49
いずれにも非該当	301	3.45

学校規模	n	%
50人以下	71	.81
51-100人	401	4.59
101-150人	355	4.07
151-200人	263	3.01
201-250人	369	4.23
251-300人	416	4.77
301-350人	587	6.72
351-400人	764	8.75
401-450人	509	5.83
451-500人	521	5.97
501-550人	754	8.64
551-600人	729	8.35
601-650人	595	6.82
651-700人	596	6.83
701-750人	275	3.15
751-800人	301	3.45
801-850人	250	2.86
851-900人	311	3.56
901人以上	662	7.58
管理職の勤務環境整備状況	**n**	**%**
まったくそう思わない	977	11.19
どちらかといえばそう思わない	2,269	25.99
どちらかといえばそう思う	4,177	47.85
そう思う	1,306	14.96

職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動	Mean	SD
主成分得点	.00	1.57
情緒的支援	**n**	**%**
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	32	0.37
どちらともいえない	583	6.68
どちらかというとあてはまる	4,656	53.34
あてはまる	3,458	39.62
道具的支援		
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	37	0.42
どちらともいえない	311	3.56
どちらかというとあてはまる	3,565	40.84
あてはまる	4,816	55.17
ワークファミリーマネジメント		
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	65	.74
どちらともいえない	806	9.23
どちらかというとあてはまる	4,340	49.72
あてはまる	3,518	40.30
ロールモデル		
まったくあてはまらない	8	0.09
どちらかというとあてはまらない	188	2.15
どちらともいえない	1,404	16.08
どちらかというとあてはまる	3,736	42.80
あてはまる	3,393	38.87

注:n=8,729.

表 7-3　記述統計量（中学校）

勤務実態	Mean	SD
1日の平均在校等時間(平日)	11.02	1.41
1日の平均在校等時間(土日)	2.31	2.61
性別	**n**	**%**
男性	5,137	58.08
女性	3,599	40.69
回答しない	109	1.23
年齢	**n**	**%**
30歳以下	1,992	22.52
31-40歳	2,480	28.04
41-50歳	1,984	22.43
51-60歳	2,002	22.63
61歳以上	387	4.38
職名	**n**	**%**
主幹教諭	352	3.98
指導教諭	59	.67
教諭	8,434	95.35
担任担当状況	**n**	**%**
単式学級担任	4,578	51.76
複式学級担任	30	.34
特別支援学級担任	886	10.02
専科指導	2,438	27.56
通級・日本語指導	120	1.36
いずれにも非該当	793	8.97

部活動顧問担当状況	n	%
顧問をしている	8,140	92.03
顧問をしていない	705	7.97
学校規模	**n**	**%**
50人以下	174	1.97
51~100人	220	2.49
101~150人	312	3.53
151~200人	383	4.33
201~250人	391	4.42
251~300人	607	6.86
301~350人	745	8.42
351~400人	812	9.18
401~450人	863	9.76
451~500人	631	7.13
501~550人	856	9.68
551~600人	523	5.91
601~650人	378	4.27
651~700人	603	6.82
701~750人	363	4.1
751~800人	340	3.84
801~850人	107	1.21
851~900人	118	1.33
901人以上	419	4.74
管理職の勤務環境整備状況	**n**	**%**
まったくそう思わない	1337	15.12
どちらかといえばそう思わない	2,595	29.34
どちらかといえばそう思う	3,876	43.82
そう思う	1,037	11.72

職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動	Mean	SD
主成分得点	**.00**	**1.55**
情緒的支援	**n**	**%**
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	12	.14
どちらともいえない	788	8.91
どちらかというとあてはまる	4,878	55.15
あてはまる	3,167	35.81
道具的支援		
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	80	.90
どちらともいえない	513	5.80
どちらかというとあてはまる	4,035	45.62
あてはまる	4,217	47.68
ワークファミリーマネジメント		
まったくあてはまらない	0	.00
どちらかというとあてはまらない	86	.97
どちらともいえない	958	10.83
どちらかというとあてはまる	4,533	51.25
あてはまる	3,268	36.95
ロールモデル		
まったくあてはまらない	7	.08
どちらかというとあてはまらない	389	4.40
どちらともいえない	1,320	14.92
どちらかというとあてはまる	4,276	48.34
あてはまる	2,853	32.26

注:n=8,845.

(3)平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析（小学校）

小学校教諭について、平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析を行なったところ、表 7-4 のような結果が得られた。

表 7-4 より、管理職の勤務環境整備状況（個人）が平日・土日 1 日双方の平均在校等時間に対して負の効果を有していた。つまり、同じ学校の教諭で比べると、管理職が学校の働き方改革を進めるために勤務環境を整備していると感じる小学校教諭ほど、平日と土日共に 1 日の平均在校等時間が短かった。加えて、平日 1 日の平均在校等時間に対して管理職の勤務環境整備状況（学校）には、在校等時間の削減効果が認められた。つまり、自身の管理職は勤務環境整備を進めていると感じる教諭の多い小学校に勤務する教諭ほど、平日 1 日の平均在校等時間が短かった。

職場のワークライフバランスの実現に向けた管理職の行動は、平日・土日 1 日の平均在校等時間に対する単独の効果は確認できなかった。ただし、土日 1 日の平均在校等時間に対する、管理職の勤務環境整備状況（個人）と職場のワークライフバランスの実現に向けた管理職の行動の交互作用で正の効果が確認された。この交互作用を図示したものが、図 7-1 である。図 7-1 が示すように、校長自身は職場のワークライフバランスの実現に向けて行動していないと考えているが、他方で教諭が管理職の勤務環境整備をしていると感じる場合に、特に教諭の土日 1 日の在校等時間が短かった。

表 7-4　平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析の結果（小学校）

	1日の平均在校等時間(平日)									1日の平均在校等時間(土日)								
	Model.1			Model.2			Model.3			Model.1			Model.2			Model.3		
	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE
性別(ref.男性)																		
女性	-.05	*	.03	-.05	†	.03	-.05	*	.03	.04	†	.03	.05	†	.03	.04	†	.03
回答しない	-.07		.12	-.06		.12	-.07		.12	.07		.12	.08		.12	.07		.12
年齢(ref.30歳以下)																		
31-40歳	-.28	***	.03	-.27	***	.03	-.28	***	.03	.02		.03	.03		.03	.02		.03
41-50歳	-.23	***	.04	-.23	***	.04	-.23	***	.04	.00		.04	.00		.04	.00		.04
51-60歳	-.18	***	.04	-.19	***	.04	-.18	***	.04	.02		.04	.01		.04	.02		.04
61歳以上	-.79	***	.07	-.80	***	.07	-.79	***	.07	-.16	*	.07	-.16	*	.07	-.16	*	.07
職名(ref.主幹教諭)																		
指導教諭	-.28	†	.15	-.28	†	.15	-.28	†	.15	-.02		.15	-.02		.15	-.02		.15
教諭	-.40	***	.07	-.39	***	.07	-.40	***	.07	-.09		.07	-.08		.07	-.09		.07
担任担当状況(ref.単式学級担任)																		
複式学級担任	-.16		.13	-.17		.13	-.16		.13	.15		.13	.14		.13	.15		.13
特別支援学級担任	-.36	***	.03	-.36	***	.03	-.36	***	.03	-.16	***	.04	-.16	***	.04	-.16	***	.04
専科指導	-.78	***	.04	-.79	***	.04	-.78	***	.04	-.08	†	.04	-.08	†	.04	-.08	†	.04
通級・日本語指導	-1.03	***	.07	-1.04	***	.07	-1.03	***	.07	-.25	***	.07	-.25	***	.07	-.25	***	.07
いずれにも非該当	-.32	***	.07	-.33	***	.07	-.32	***	.07	-.01		.07	-.02		.07	-.01		.07
学校規模(ref.50人以下)																		
51-100人	-.10		.19	-.07		.19	-.10		.19	.22		.25	.24		.25	.23		.25
101-150人	.22		.19	.27		.19	.22		.19	.14		.25	.16		.25	.12		.25
151-200人	.46	*	.20	.49	*	.20	.46	*	.20	.22		.26	.23		.26	.20		.26
201-250人	.26		.19	.31		.20	.26		.19	.10		.26	.12		.26	.08		.26
251-300人	.20		.19	.25		.20	.19		.19	.14		.26	.16		.26	.13		.26
301-350人	.19		.19	.23		.19	.19		.19	-.01		.25	.01		.25	-.03		.25
351-400人	.15		.19	.21		.19	.15		.19	.01		.25	.04		.25	-.01		.25
401-450人	.32	†	.19	.37	†	.19	.32	†	.19	-.03		.25	-.01		.25	-.03		.25
451-500人	.40	*	.19	.44	*	.19	.40	*	.19	.00		.26	.01		.26	-.01		.26
501-550人	.33	†	.19	.39	*	.19	.33	†	.19	.23		.25	.26		.25	.21		.25
551-600人	.28		.19	.36	†	.19	.28		.19	.21		.25	.25		.25	.19		.25
601-650人	.19		.19	.27		.19	.19		.19	.04		.26	.08		.26	.03		.26
651-700人	.31		.19	.40	*	.19	.31		.19	.50	†	.26	.53	*	.26	.48	†	.26
701-750人	.22		.21	.25		.21	.22		.21	.19		.29	.20		.29	.16		.29
751-800人	.10		.21	.24		.22	.10		.22	.21		.30	.27		.30	.19		.30
801-850人	.29		.22	.39	†	.22	.30		.22	-.06		.31	-.01		.30	-.09		.31
851-900人	.35		.21	.45	*	.21	.35	†	.21	.36		.29	.40		.29	.34		.29
901人以上	.14		.19	.20		.20	.13		.20	.08		.27	.11		.27	.06		.27
管理職の勤務環境整備状況(個人)	-.07	***	.02				-.07	***	.02	-.05	**	.02				-.05	**	.02
管理職の勤務環境整備状況(学校)	-.24	***	.05				-.24	***	.05	-.11		.07				-.11		.07
職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動				-.02		.01	-.02		.08				-.01		.02	.14		.12
管理職の勤務環境整備状況(個人)×職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動							-.01		.01							.02	†	.01
管理職の勤務環境整備状況(学校)×職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動							.00		.03							-.06		.04
定数項	11.96	***	.23	11.24	***	0.19	11.94	***	0.24	.86	**	.31	.53	*	.24	.87	**	.31
分散																		
学校	.20		.02	.21		.02	.20		.02	.57		.04	.57		.04	.57		.04
個人	1.17		.02	1.17		.019	1.17		.018	1.21		.02	1.21		.02	1.21		.02
ICC	.14		.01	.151		.011	.145		.011	.32		.01	.32		.01	.32		.01
BIC	27220.39			27252.3			27246.19			28085.39			28088.91			28108.17		

注:n(教員数)=8,729, n(学校数)=769. ***p<.001, **p<.01, *p<.05, †p<.1

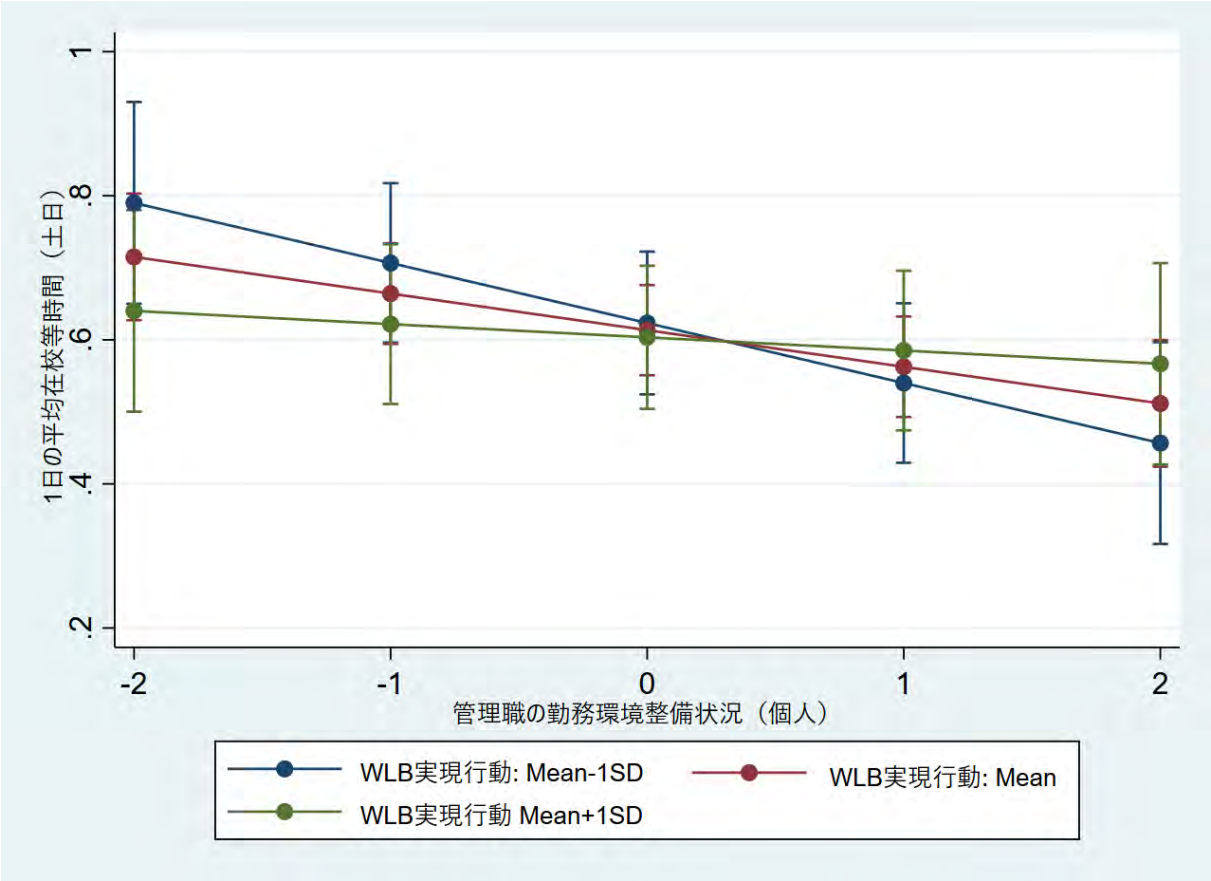


図 7-1　管理職の勤務環境整備状況（個人）と職場のワークライフバランス実現行動の交互作用（小学校）

（4）平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析（中学校）

中学校教諭について、平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析を行なったところ、表 7-5 のような結果が得られた。

表 7-5 より、管理職の勤務環境整備状況（個人）、管理職の勤務環境整備状況（学校）共に、平日・土日 1 日双方の平均在校等時間を削減する効果が観察された。同じ学校の教諭で比べると、管理職が学校の働き方改革を進めるために勤務環境を整備していると感じる中学校教諭ほど、平日と土日共に 1 日の平均在校等時間が短かった。また、管理職が勤務環境整備を進めていると感じる教諭の多い中学校に勤務する教諭ほど、平日と土日共に 1 日の平均在校等時間が短かった。

他方、校長が回答した職場のワークライフバランスの実現に向けた管理職の行動は、平日・土日 1 日の平均在校等時間に対する単独の効果は確認できなかった。

ただ、平日 1 日の平均在校等時間に対して、管理職の勤務環境整備状況（学校）と職場のワークライフバランス実現に向けた管理職行動の交互作用が認められた。この交互作用を図示したものが、図 7-2 である。図 7-2 が示すように、校長自身が職場のワークライフバランス実現に向けて行動していると感じ、かつ同様の認識を多くの教諭が持っている学校で、特に教諭の平日 1 日の在校等時間を短縮する効果が大きかった。

表 7-5　平日・土日 1 日の平均在校等時間を被説明変数としたマルチレベル分析の結果（中学校）

	1日の平均在校等時間(平日)									1日の平均在校等時間(土日)								
	Model.1			Model.2			Model.3			Model.1			Model.2			Model.3		
	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE	γ		SE
性別(ref.男性)																		
女性	-.07	**	.03	-.07	.018	.03	-.08	**	.03	-.57	***	.05	-.56	***	.05	-.57	***	.05
回答しない	-.07		.12	-.03		.12	-.08		.12	-.44	†	.24	-.39		.24	-.43	†	.24
年齢(ref.30歳以下)																		
31-40歳	-.36	***	.04	-.35	***	.04	-.36	***	.04	-.09		.07	-.07		.07	-.09		.07
41-50歳	-.39	***	.04	-.39	***	.04	-.39	***	.04	-.40	***	.08	-.40	***	.08	-.40	***	.08
51-60歳	-.48	***	.04	-.48	***	.04	-.48	***	.04	-.48	***	.08	-.48	***	.08	-.49	***	.08
61歳以上	-.98	***	.07	-1.00	***	.07	-.98	***	.07	-.80	***	.14	-.82	***	.14	-.80	***	.14
職名(ref.主幹教諭)																		
指導教諭	-.04		.18	-.05		.18	-.04		.18	-.19		.34	-.21		.34	-.20		.34
教諭	-.30	***	.07	-.28	***	.07	-.30	***	.07	-.31	*	.14	-.30	*	.14	-.32	*	.14
担任担当状況(ref.単式学級担任)																		
複式学級担任	-.21		.23	-.23		.24	-.21		.23	-.66		.45	-.67		.45	-.65		.45
特別支援学級担任	-.60	***	.05	-.62	***	.05	-.60	***	.05	-.45	***	.09	-.46	***	.09	-.45	***	.09
専科指導	-.33	***	.03	-.35	***	.03	-.34	***	.03	-.22	**	.07	-.23	***	.07	-.22	*	.07
通級・日本語指導	-1.04	***	.12	-1.06	***	.12	-1.04	***	.12	-.49	*	.23	-.51	*	.23	-.50	*	.23
いずれにも非該当	-.39	***	.05	-.41	***	.05	-.38	***	.05	-.14		.10	-.16	†	.10	-.14		.10
部活動顧問担当状況(ref.担当)																		
非担当	-.47	***	.05	-.48	***	.05	-.47	***	.05	-1.19	***	.10	-1.19	***	.10	-1.19	***	.10
学校規模(ref.50人以下)																		
51-100人	.81	***	.17	.77	***	.17	.82	***	.17	.63	*	.31	.55	†	.32	.62	*	.32
101-150人	.85	***	.16	.84	***	.16	.85	***	.16	.94	**	.29	.92	**	.30	.94	**	.29
151-200人	.69	***	.15	.68	***	.16	.69	***	.15	.75	*	.29	.73	*	.29	.74	*	.29
201-250人	1.02	***	.16	1.03	***	.16	1.03	***	.15	1.04	***	.29	1.05	***	.29	1.04	***	.29
251-300人	.84	***	.15	.84	***	.15	.83	***	.15	.58	*	.27	.58	*	.28	.57	*	.27
301-350人	.91	***	.14	.93	***	.14	.91	***	.14	.95	***	.27	.97	***	.27	.94	***	.27
351-400人	.98	***	.14	1.00	***	.14	.99	***	.14	.59	*	.27	.62	*	.27	.59	*	.27
401-450人	1.02	***	.14	1.02	***	.14	1.01	***	.14	.62	*	.27	.62	*	.27	.61	*	.27
451-500人	.98	***	.15	.99	***	.15	.98	***	.15	.72	*	.28	.71	*	.28	.70	*	.28
501-550人	1.07	***	.14	1.08	***	.14	1.07	***	.14	.68	*	.27	.69	*	.27	.68	*	.27
551-600人	1.00	***	.16	1.04	***	.16	.99	***	.16	1.00	**	.29	1.05	***	.30	.98	**	.29
601-650人	1.06	***	.17	1.11	***	.17	1.05	***	.17	.95	**	.31	1.01	**	.31	.93	**	.31
651-700人	.93	***	.15	.97	***	.16	.92	***	.15	.74	*	.29	.79	**	.29	.71	*	.29
701-750人	.83	***	.17	.85	***	.18	.83	***	.17	1.07	**	.33	1.11	**	.33	1.07	**	.33
751-800人	.90	***	.18	.92	***	.18	.91	***	.18	1.29	***	.33	1.33	***	.34	1.31	***	.33
801-850人	1.07	***	.25	1.13	***	.25	1.11	***	.25	.36		.47	.44		.47	.39		.47
851-900人	1.13	***	.25	1.16	***	.26	1.14	***	.25	.76		.47	.77		.48	.74		.47
901人以上	.76	***	.18	.79	***	.18	.74	***	.18	.38		.33	.41		.33	.35		.33
管理職の勤務環境整備状況(個人)	-.13	***	.02				-.13	***	.02	-.13	***	.03				-.13	***	.03
管理職の勤務環境整備状況(学校)	-.23	***	.06				-.25	***	.06	-.34	**	.10				-.34	**	.11
職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動				.00		.01	.23	*	.09				-.03		.03	.21		.17
管理職の勤務環境整備状況(個人)×職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動							-.01		.01							.00		.02
管理職の勤務環境整備状況(学校)×職場のワークライフバランス実現に向けた管理職の行動							-.09	*	.04							-.09		.07
定数項	11.56	***	.20	10.96	***	.15	11.63	***	.21	3.43	***	.39	2.54	***	.28	3.45	***	.39
分散																		
学校	.22		.02	.23		.02	.22		.02	.76		.07	.78		.07	.76		.07
個人	1.54		.02	1.55		.02	1.54		.02	5.59		.09	5.60		.09	5.59		.09
ICC	.13		.01	.13		.01	.12		.01	.12		.01	.12		.01	.12		.01
BIC	29960.44			30026.66			29979.04			41339.19			41356.5			41364.29		

注:n(教員数)=8,845, n(学校数)=758. ***p<.001, **p<.01, *p<.05, †p<.1

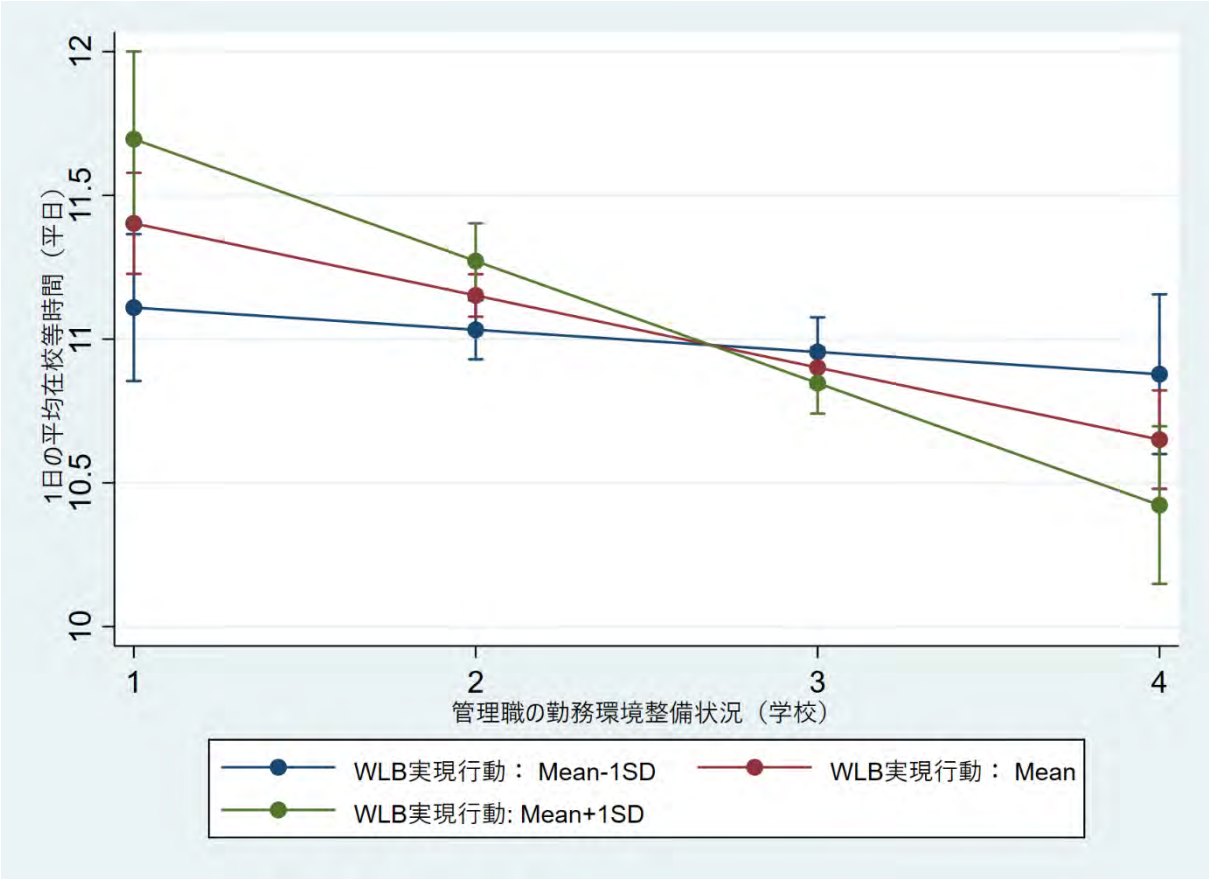


図 7-2　管理職の勤務環境整備状況（学校）と職場のワークライフバランス実現行動の交互作用（中学校）

4.　考察

本章の目的は、公立小・中学校の校長による勤務環境整備と職場のワークライフバランス実現にむけた行動が教諭の勤務実態に及ぼす影響を明らかにすることであった。

分析の結果、小・中学校共に、自分の勤務校の管理職が学校の働き方改革推進に向けて勤務環境整備を行っていると感じている教諭は実際の平日・土日双方の在校等時間が短かった。他方、職場のワークライフバランス実現に向けて行動していると管理職自身が思っている小・中学校の教諭では、在校等時間が必ずしも短いわけではなかった。職場のワークライフバランスの実現や勤務環境整備という管理職による働きやすい職場づくりのための行動が、教諭に認識されなければ、教諭の在校等時間を減らすことは難しいことが示唆される。

さらに、職場のワークライフバランスの実現に向けた校長の行動と、管理職が勤務環境整備に取り組んでいるという教諭の意識の組み合わせによって、教諭の在校等時間が異なることも明らかになった。小学校では、職場のワークライフバランス実現に向けた行動をしていないと校長は思うものの、他方でその校長の下で勤務する教諭が自身の管理職は勤務環境整備を行っていると感じる場合に、当該教諭の土日の在校等時間は短かった。他方、中学校では職場のワークライフバランス実現に向けた行動をしていると校長自身が感じ、かつその校長の下で働く多くの教諭が管理職は勤務環境整備をしていると感じる場合に、教諭の平日の在校等時間が特に縮減された。

このように、小・中学校で異なる分析結果が得られた理由として、小学校と中学校で功をなす校長のマネジメントやリーダーシップが異なることが考えられる。中学校では校長主導によるマネジメントやリーダーシップが発揮されやすいが、他方で小学校ではそれが機能しにくい可能性がある。この点は推察の域を出ないので、今後さらなる検討を進めたい。

引用文献

高村静（2018）「構成員のワーク・ライフ・バランスにつながる管理職の行動特性」『日本労働研究雑誌』60、67-81.

Hammer, L. B., Ernst Kossek, E., Bodner, T., & Crain, T. (2013). Measurement Development and Validation of the Family Supportive Supervisor Behavior Short-Form (FSSB-SF). *Journal Occupational Health Psychology, 18*(3), 285-296.

第３部　教員のメンタルヘルス・ストレスと働き方改革に関する分析

第8章　教員のメンタルヘルスと仕事のストレスに関する分析

執筆者名　松崎一葉、笹原信一朗、道喜将太郎、堀大介、髙橋司

※執筆に当たって大学院生（博士課程）の塚田武尊、内田聡、林田稔也の助力を得た。

【本章のポイント】

- 教諭の仕事のストレスは、平成 28 年度調査と比べると量的負荷に改善を認めたが、同僚上司の支援等のストレス緩和因子が低下した。心理的ストレスの状況（うつ病・不安障害に関するスクリーニング調査の得点）は、平成 28 年度調査と比べて悪化した。
- 総在校等時間が長かったり、年齢が若かったり、担任する学級に長期欠席者（不登校）が在籍している教諭ほど、心理的ストレスの状況が悪かった。
- 総在校等時間が長かった者ほど、年収に満足していない割合が高かった。
- 所属校の時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の内容を把握している者、管理職が働き方改革を進めていたり、時間管理の意識が高まったりしたと思っていた者は、そうでない者と比べて心理的ストレスの状況が良好であった。所属する学校の部活動の活動方針を把握していた中学校教諭は、そうでない者と比べて心理的ストレスの状況が良好であった。
- 事務関係の業務は、やりがいや重要度を感じにくい割には負担感が高く、高ストレスの業務となっている可能性がある。

1.　本章の目的

前回（平成 28 年度）の調査報告書に続き、本章では教諭の仕事のストレスとメンタルヘルスの状況を明らかにすることを目的として分析を行った。

2.　分析方法

（1）分析項目

教員のストレスに関する分析を行うに当たり、NIOSH（National Institute of Occupational Safety and Health：アメリカ国立労働安全衛生研究所）の職業性ストレスモデルを参考とし、分析を実施することとした。NIOSH の職業性ストレスモデルは、職場のストレス分析に当たり広く普及しているモデルである。

本章では NIOSH の職業性ストレスモデルの中でも、①仕事のストレス要因、②個人要因、③緩衝要因、④ストレス反応に特に着目し、教員のストレスの状況を明らかにすることとした。NIOSH の職業性ストレスモデルに従って、各指標を以下のように分類した。各指標に該当する質問紙については、先行研究において信頼性・妥当性が検討されているものを可能な限り選定した。各指標の詳細については第 2 章を参照されたい。

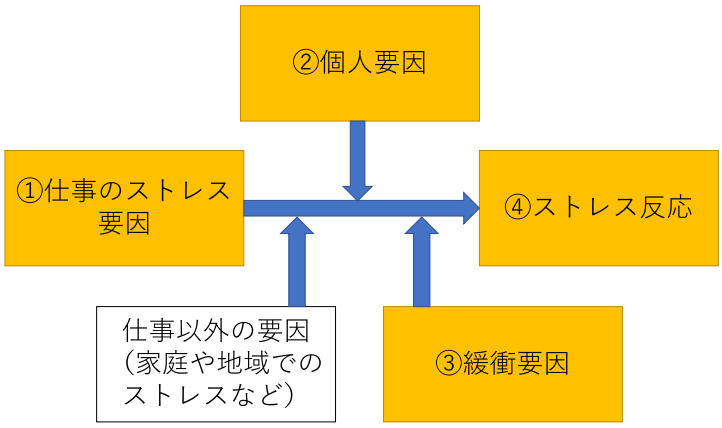


図 8-1　NIOSH の職業性ストレスモデル

① 仕事のストレス要因 …総在校等時間
BSJS ストレス増強要因（量的負荷・質的負荷・人間関係の困難）
モラル・ジレンマ
② 個人要因 …SOC、睡眠時間、疲労度
③ 緩衝要因 …BSJS ストレス緩和要因（裁量度・達成感・同僚上司の支援）
ワーク・エンゲイジメント
年収の満足度
④ ストレス反応 …K6
AIS

※裁量度や達成感の低さは、①仕事のストレス要因に位置づけられることもある。

（2）分析結果の構成

本章の分析結果の構成は以下のとおりである。

①平成 28 年度調査（10 - 11 月）と令和 4 年度調査（8 月、10 - 11 月）の結果の推移

平成28年度の報告書に準じる形で、職種を6 群（校長、副校長・教頭、教諭（主幹教諭・指導教諭含む。以下同様）、講師、養護教諭、栄養教諭）に分類し、職種別にBSJSストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AISの平均値の推移を検討した。

②教諭が置かれた環境によるストレス状況の比較

以降の分析は教諭を抜粋して行った。教諭の置かれた環境（年代、総在校等時間、モラル・ジレンマを感じた頻度、担任する学級に長期欠席者（不登校）の児童が在籍しているか）による BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS の平均値の差異を検討した。

③教諭と他の職種の心理的ストレスの比較

他の職種（別の調査結果によるもの）と比較して教諭の K6 得点がどの程度なのかを検討した。

④教諭の総在校等時間とストレスやメンタルヘルスに関わる要因

総在校等時間の長さによって、ストレスやメンタルヘルスに関わる要因（BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS、1 日の平均睡眠時間や疲労度、ワーク・エンゲイジメント、年収の満足度）に差があるのか検討した。

⑤働き方改革の把握状況や勤務時間管理意識等の意識の向上と心理的ストレス

所属校の働き方改革（業務改善方針、業務改善状況、管理職による勤務環境の整備、部活動方針）の把握状況や、教員個人の勤務時間管理や仕事の優先順位付けや効率化などの意識の向上によって、K6 得点に差があるのか検討した。

⑥教諭の各業務項目へのやりがい、重要度、負担の分布

各業務項目（26 種）に対し、やりがい、重要度、負担の評価を図示し、ストレスが特に高いと感じられる業務はどの業務かを検討した。やりがいや重要度が低く、負担が高いと感じられる業務ほど、ストレスが高いと想定した。

なお本章の結果は、特に断りがない限り、令和 4 年度教員勤務実態調査研究 10・11 月実施分のデータから算出したものである。教諭には主幹教諭・指導教諭・教諭と回答した者を含む。性別が不詳の個票、年齢が不詳もしくは 60 歳以上の個票は集計から除外した。総在校等時間は月曜から日曜日までの 1 週間の在校時間からアンケート回答時間を引いた時間を指し、持ち帰り時間は含まない。心理的ストレスの状況を示す代表的な指標として K6 を用いた。

3. 分析結果

(1)平成 28 年度調査（10 - 11 月）と令和 4 年度調査（8 月、10 - 11 月）の結果の推移

表 8-1　職種別の BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS
（調査年月別、小中学校別、60 歳未満、男女計）

小学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC 総得点	下位項目			K6	AIS
職種	調査年月	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
校長	H28.10-11月 (n=289～294)	2.36	2.32	1.67	3.32	3.52	3.06	66.1	24.5	19.0	22.6	3.59	4.27
	R4.8月 (n=277～285)	2.22	2.44	1.70	3.19	3.36	2.93	65.0	23.8	18.7	22.3	3.79	4.65
	R4.10－11月 (n=478～490)	2.15	2.32	1.71	3.04	3.21	2.83	65.0	23.9	19.1	22.1	4.15	4.93
副校長・教頭	H28.10-11月 (n=323～334)	2.97	2.52	1.76	2.82	3.10	2.97	62.9	23.8	18.4	20.8	4.47	5.18
	R4.8月 (n=315～326)	2.93	2.57	1.78	2.54	2.90	2.85	60.0	22.2	17.8	20.1	5.02	5.06
	R4.10-11月 (n=603～619)	2.85	2.52	1.86	2.55	2.81	2.75	60.1	22.4	17.6	20.0	5.39	5.80
教諭	H28.10-11月 (n=5,119～5,260)	3.04	2.51	1.84	2.76	3.14	3.07	58.4	21.4	17.2	19.8	5.51	5.34
	R4.8月 (n=4,316～4,421)	2.88	2.56	1.82	2.60	2.90	2.89	56.9	20.9	17.0	19.0	5.67	5.52
	R4.10-11月 (n=8,159～8,312)	2.95	2.59	1.87	2.61	2.89	2.90	56.6	20.9	16.9	18.8	6.24	5.96
講師	H28.10-11月 (n=523～540)	2.60	2.32	1.69	2.65	3.15	3.13	57.7	21.2	16.9	19.6	5.33	4.91
	R4.8月 (n=374～386)	2.54	2.42	1.70	2.60	2.96	2.99	57.5	21.0	17.1	19.3	5.33	5.33
	R4.10-11月 (n=702～726)	2.54	2.41	1.74	2.59	2.91	2.92	57.1	21.1	16.9	19.0	5.50	5.35
養護教諭	H28.10-11月 (n=266～274)	2.49	2.29	1.85	3.01	3.01	2.99	58.5	21.4	17.1	20.1	5.39	5.00
	R4.8月 (n=218～226)	2.52	2.36	1.87	2.82	2.88	2.89	57.8	21.0	17.2	19.5	5.83	5.43
	R4.10-11月 (n=400～410)	2.32	2.29	1.83	2.83	2.89	2.81	58.1	21.4	17.1	19.6	5.70	5.15
栄養教諭	H28.10-11月 (n=64～66)	2.72	2.33	1.87	3.07	3.15	2.95	58.0	21.7	16.5	19.8	5.39	4.89
	R4.8月 (n=55～56)	2.56	2.15	1.89	2.88	2.84	2.78	56.0	20.5	16.8	18.8	5.44	5.59
	R4.10-11月 (n=79～85)	2.81	2.41	2.03	2.94	2.88	2.75	54.4	20.3	15.9	18.3	6.93	5.81

中学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC 総得点	下位項目			K6	AIS
職種	調査年月	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
校長	H28.10-11月 (n=263～268)	2.36	2.30	1.72	3.30	3.49	3.09	66.2	24.8	19.0	22.3	3.71	4.40
	R4.8月 (n=223～228)	2.05	2.25	1.71	3.05	3.18	2.91	66.2	25.0	19.3	21.8	3.69	4.42
	R4.10-11月 (n=386～398)	2.10	2.28	1.76	3.07	3.17	2.85	64.5	23.9	18.9	21.6	4.06	4.76
副校長・教頭	H28.10-11月 (n=307～317)	2.98	2.56	1.80	2.80	3.00	2.94	62.2	23.4	18.3	20.5	4.42	5.09
	R4.8月 (n=311～319)	2.79	2.45	1.76	2.56	2.87	2.83	61.2	23.0	18.2	19.9	4.56	5.10
	R4.10-11月 (n=604～619)	2.73	2.48	1.86	2.55	2.83	2.76	61.9	23.3	18.3	20.2	4.65	5.13
教諭	H28.10-11月 (n=6,056～6,208)	2.99	2.50	1.91	2.69	3.06	2.95	57.9	21.6	17.0	19.4	5.71	5.72
	R4.8月 (n=3,997～4,083)	2.86	2.53	1.91	2.58	2.91	2.84	57.0	21.2	16.9	18.8	5.77	5.57
	R4.10-11月 (n=8,177～8,352)	2.91	2.52	1.97	2.55	2.90	2.82	56.7	21.2	16.8	18.7	6.24	6.07
講師	H28.10-11月 (n=618～631)	2.57	2.33	1.86	2.65	3.12	3.06	57.3	21.0	16.9	19.4	5.35	5.18
	R4.8月 (n=379～393)	2.42	2.33	1.75	2.58	2.96	2.91	57.5	21.3	17.1	19.1	5.59	5.36
	R4.10-11月 (n=723～747)	2.50	2.36	1.89	2.55	2.96	2.89	56.6	20.9	16.9	18.8	5.80	5.81
養護教諭	H28.10-11月 (n=263～270)	2.43	2.33	1.92	2.99	3.05	2.91	58.6	21.5	17.0	20.1	4.97	4.72
	R4.8月 (n=206～214)	2.42	2.36	1.85	2.78	2.81	2.73	56.4	20.7	16.7	18.9	6.23	5.74
	R4.10-11月 (n=397～408)	2.22	2.27	1.92	2.84	2.89	2.81	58.3	21.7	17.1	19.5	5.45	5.20
栄養教諭	H28.10-11月 (n=26～29)	2.86	2.49	2.10	2.91	2.86	2.47	52.8	19.1	15.0	18.7	6.62	4.65
	R4.8月 (n=22～23)	2.20	2.00	1.88	2.80	2.90	2.67	55.4	20.6	16.5	18.3	6.65	5.22
	R4.10-11月 (n=51～52)	2.72	2.28	1.80	2.94	2.81	2.74	56.1	20.6	17.0	18.7	6.61	5.45

※各項目で回答に欠損があった個票は除外して集計した。

平成 28 年 10 - 11 月と令和 4 年同時期の平均値を比較すると、中学校の栄養教諭を除き、K6 得点や AIS 得点が全体的に上昇した（悪化した）。

教諭に注目すると、量的負荷が低下した（改善した）が、同僚上司の支援等のストレス緩和因子が低下した（悪化した）。また、SOC が低下した（悪化した）。さらに、K6 得点と AIS 得点共に上昇した（悪化した）。令和 4 年 8 月と同年 10 - 11 月の平均値を比較すると、前者（夏休み期間）の方が量的負荷、K6 得点、AIS 得点共に低かった（良好な状態だった）。

(2)教諭が置かれた環境によるストレス状況の比較

表 8-2　教諭の BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS
（年代別、小中学校別、60 歳未満、男女計）

小学校	年代	BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC総得点	下位項目			K6	AIS
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	20～29歳 (n=2,057～2,105)	2.98	2.74	1.90	2.60	2.84	3.03	54.51	19.85	16.75	17.94	6.66	5.77
	30～39歳 (n=2,261～2,309)	3.03	2.64	1.95	2.61	2.90	2.92	55.90	20.59	16.77	18.48	6.62	6.07
	40～49歳 (n=1,948～1,992)	2.92	2.51	1.83	2.61	2.92	2.84	57.90	21.37	17.05	19.50	5.81	5.93
	50～59歳 (n=1,878～1,916)	2.85	2.46	1.77	2.62	2.88	2.78	58.51	21.89	17.11	19.50	5.77	6.07

中学校	年代	BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC総得点	下位項目			K6	AIS
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	20～29歳 (n=1,716～1,758)	3.01	2.73	2.00	2.56	2.94	3.01	54.97	19.98	16.75	18.18	6.98	6.04
	30～39歳 (n=2,483～2,532)	2.99	2.56	2.06	2.56	2.91	2.84	55.95	20.89	16.64	18.41	6.45	6.05
	40～49歳 (n=1,977～2,026)	2.88	2.46	1.93	2.53	2.91	2.79	57.59	21.69	16.91	18.94	5.91	5.91
	50～59歳 (n=1,994～2,039)	2.78	2.36	1.89	2.54	2.84	2.67	58.42	22.20	17.09	19.10	5.66	6.28

※各項目で回答に欠損があった個票は除外して集計した。

本頁以降は教諭に注目して解析を行う。年代による差異を比較すると、20 歳台や 30 歳台の教諭は、40 歳以上の教諭と比べ、量的負荷等のストレス増強要因を強く感じていた。一方で、同僚上司の支援等のストレス緩和因子も強く感じていた。SOC は年代が上がるにつれ高い数値となった。K6 得点は年代が若いほど高く、20 歳台で最も高かった。

表 8-3　教諭の BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS
（週当たり在校等時間別、小中学校別、60 歳未満、男女計）

小学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC 総得点	下位項目			K6	AIS
週当たり在校等時間		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	週50時間未満　(n=2,777～2,852)	2.72	2.46	1.84	2.63	2.88	2.87	58.09	21.56	17.36	19.14	5.57	5.54
	週50～60時間未満　(n=4,178～4,250)	3.00	2.62	1.87	2.61	2.89	2.91	56.27	20.69	16.80	18.77	6.32	5.96
	週60時間以上　(n=1,196～1,217)	3.30	2.82	1.94	2.55	2.89	2.91	54.51	20.04	16.21	18.24	7.53	6.96

中学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC 総得点	下位項目			K6	AIS
週当たり在校等時間		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	週50時間未満　(n=1,758～1,797)	2.60	2.33	1.95	2.53	2.83	2.76	58.28	21.93	17.26	19.05	5.53	5.53
	週50～60時間未満　(n=3,293～3,374)	2.88	2.49	1.97	2.56	2.89	2.82	56.78	21.25	16.89	18.62	6.12	5.84
	週60時間以上　(n=3,115～3,185)	3.13	2.66	2.00	2.54	2.95	2.86	55.83	20.77	16.55	18.48	6.77	6.61

※各項目で回答に欠損があった個票は除外して集計した。

週当たり在校等時間が比較的短かった教諭と比べ、週 60 時間以上在校していた教諭は量的負荷等のストレス増強要因を強く感じていた。中学校においては、同僚上司の支援等のストレス緩和因子も強く感じていた。週当たり在校等時間が上がるにつれ SOC は低い数値となった。K6 得点や AIS 得点は週当たり在校等時間が長くなるほど高かった。

表 8-4　教諭の BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS
（モラル・ジレンマを感じた頻度別、小中学校別、60 歳未満、男女計）

小学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC	下位項目			K6	AIS
	コロナ禍以降に モラル・ジレンマを感じた頻度	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	全くなかった　(n=384～393)	2.80	2.51	1.79	2.72	2.91	3.04	59.26	22.37	18.27	18.55	4.90	4.97
	ほとんどなかった　(n=1,179～1,213)	2.78	2.46	1.75	2.66	2.88	2.95	58.27	21.68	17.82	18.79	5.49	5.26
	ときどきあった　(n=4,841～4,929)	2.91	2.54	1.83	2.62	2.90	2.90	57.10	21.05	17.02	19.01	6.06	5.80
	いつもあった　(n=1,738～1,772)	3.21	2.84	2.06	2.52	2.87	2.82	53.64	19.57	15.69	18.38	7.56	7.11

中学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC	下位項目			K6	AIS
	コロナ禍以降に モラル・ジレンマを感じた頻度	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	全くなかった　(n=561～578)	2.85	2.43	1.88	2.58	2.87	2.93	58.56	22.25	17.88	18.43	5.02	5.33
	ほとんどなかった　(n=1,526～1,557)	2.78	2.41	1.87	2.59	2.89	2.86	58.29	21.97	17.57	18.72	5.65	5.43
	ときどきあった　(n=4,740～4,836)	2.90	2.51	1.95	2.55	2.91	2.81	57.13	21.31	16.92	18.88	6.06	5.96
	いつもあった　(n=1,342～1,375)	3.17	2.76	2.22	2.48	2.88	2.76	52.84	19.57	15.31	17.92	8.03	7.45

※問：コロナ禍において、医療従事者が本来提供するべき医療が提供できないのではないかとのモラル・ジレンマ（道徳的葛藤）を抱えることが報告されています。あなたもコロナ禍以降、本来提供すべき教育が提供できないのではないかとのモラル・ジレンマを感じたことはありましたか。

※各項目で回答に欠損があった個票は除外して集計した。

コロナ禍以降にモラル・ジレンマを感じる頻度が少なかった教諭と比べ、モラル・ジレンマを感じる頻度が多かった教諭は、量的負荷等のストレス増強要因を強く感じていた。また、同僚上司の支援等のストレス緩和因子をあまり感じられていなかった。モラル・ジレンマを感じる頻度が高くなるにつれ SOC は低い数値となった。K6 得点や AIS 得点はモラル・ジレンマを感じる頻度が多いほど高かった。

表 8-5　学級担任（単式）である教諭の BSJS ストレス増強要因及び緩和要因、SOC、K6、AIS （長期欠席者（不登校）の児童の在籍別、小中学校別、60 歳未満、男女計）

小学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC総得点	下位項目			K6	AIS
	学級担任（単式）をしている学級における、長期欠席者（不登校）の児童	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	在籍無し（n=3,548～3,625）	3.03	2.61	1.83	2.61	2.89	2.93	56.59	20.80	16.96	18.83	6.23	5.84
	在籍有り（n=1,417～1,446）	3.07	2.67	1.89	2.61	2.90	2.94	56.36	20.94	16.90	18.48	6.69	6.19

中学校		BSJSストレス増強要因			BSJSストレス緩和要因			SOC総得点	下位項目			K6	AIS
	学級担任（単式）をしている学級における、長期欠席者（不登校）の児童	量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援		把握可能感	処理可能感	有意味感		
教諭	在籍無し（n=789～810）	2.98	2.55	1.97	2.56	2.97	2.88	56.76	21.44	16.73	18.52	6.11	5.93
	在籍有り（n=3,370～3,449）	3.04	2.60	1.99	2.54	2.92	2.87	56.26	20.90	16.84	18.47	6.48	6.07

※複式学級の担任、特別支援学級の担任、学級担任をしていない者の個票は除外して集計した。

※各項目で回答に欠損があった個票は除外して集計した。

担任をしている学級に不登校児童生徒がいなかった教諭と比べ、不登校児童生徒がいた教諭は K6 得点や AIS 得点が高かった。

(3)教諭と他の職種の心理的ストレスの比較

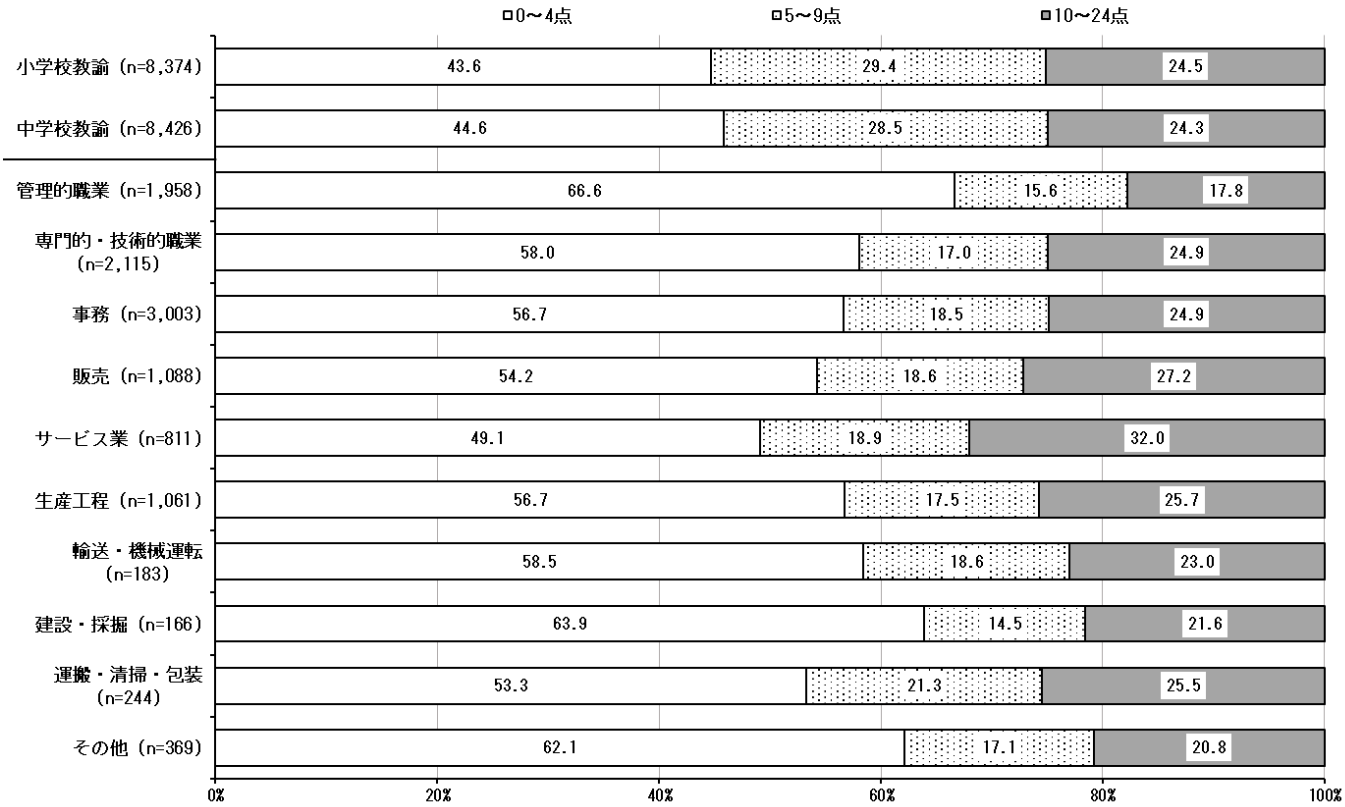


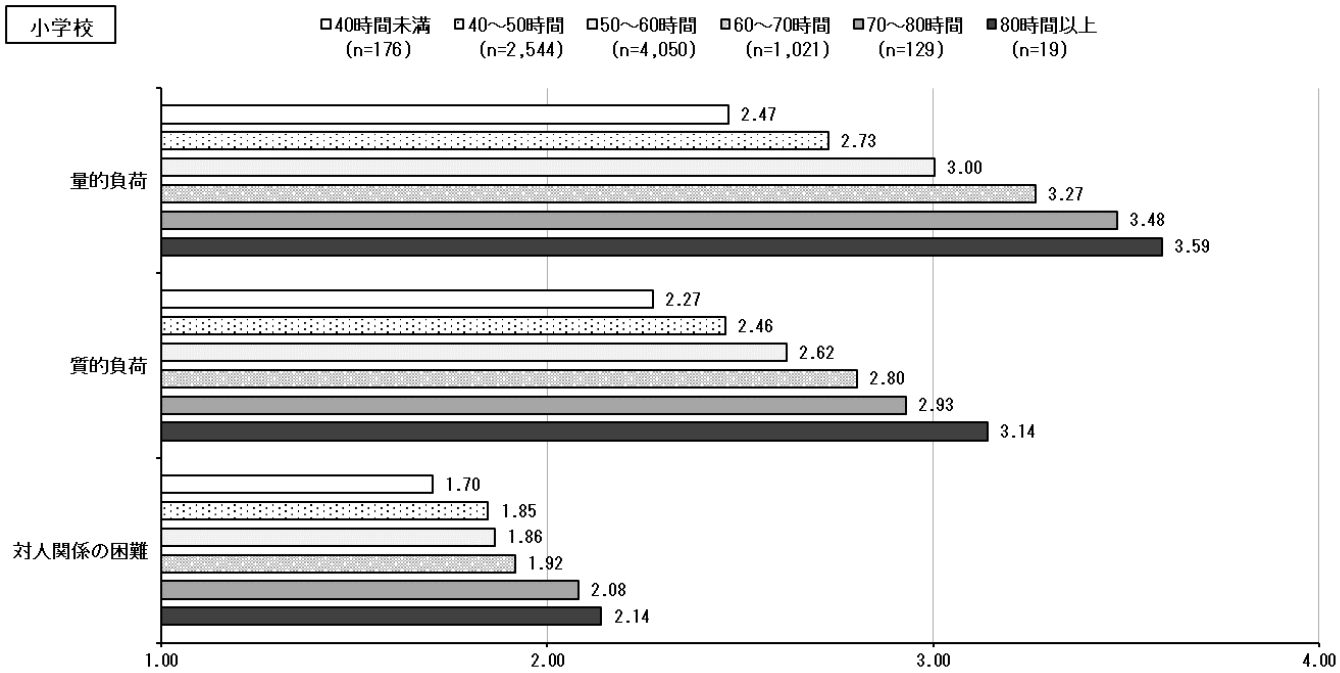
図 8-2　職種ごとの K6 得点（他の調査結果との比較）

※「小学校教諭」と「中学校教諭」の数値は、令和 4 年度教員勤務実態調査研究 10，11 月実施分から、60 歳未満、男女計の値を算出した。「管理的職業」から「その他」までの数値は、独立行政法人 労働政策研究・研修機構の「働く人の仕事と健康、管理職の職場マネジメントに関する調査結果. JILPT 調査シリーズ. 2022;222:84-85.」 から引用・編集した。同調査は、調査会社が保有する個人登録モニターであり、日本国内で収入を得る仕事を有する自営業者等を除く 20～65 歳で、週所定労働時間が 35 時間以上である者を対象に、令和 2 年 11，12 月に実施された。同調査と教員勤務実態調査研究とでは、対象者や調査方法や実施年度が異なっているため、単純な比較や解釈は難しいことに留意されたい。

「小学校教諭」や「中学校教諭」では、心理的ストレス反応相当とされる K6 得点 5 点以上（10 点以上を含む）である割合が他の職種と比較して高かった。

（4）教諭の総在校等時間とストレスやメンタルヘルスに関わる要因

①BSJS（職業性ストレス簡易評価尺度）　ストレス増強要因



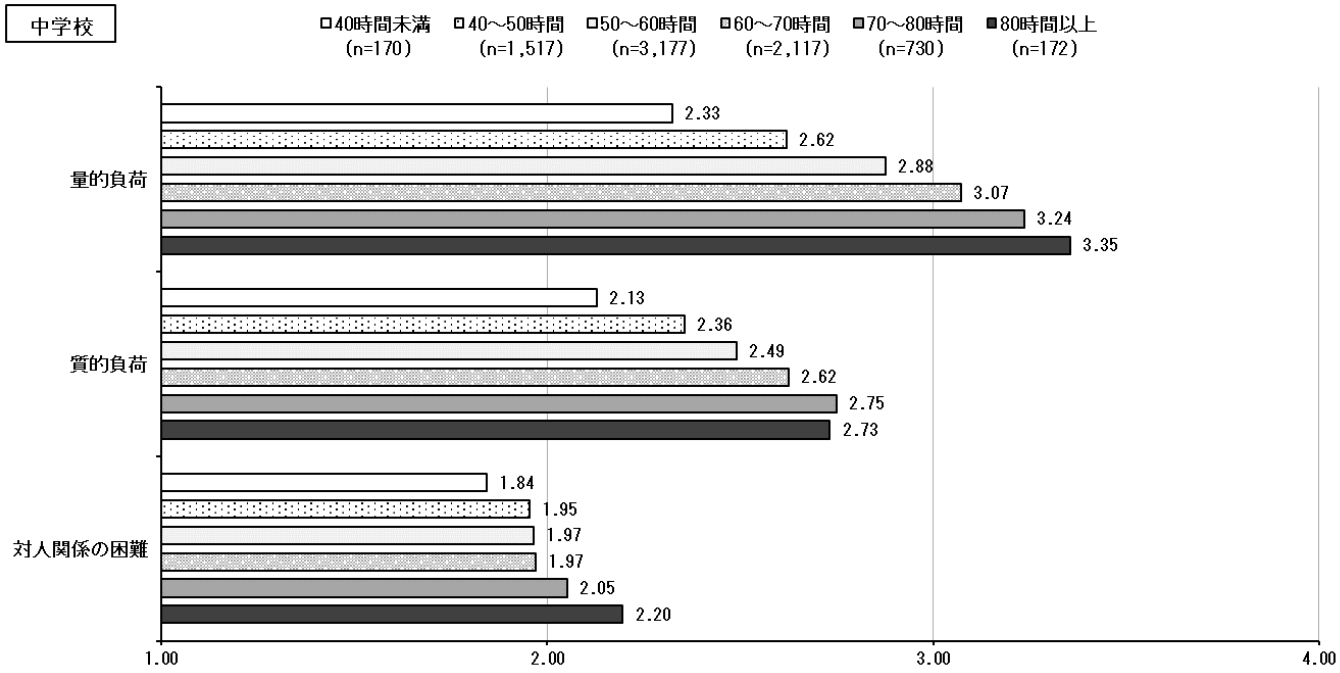


図 8-3　総在校等時間ごとの BSJS ストレス増強要因得点

（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※得点範囲は 1～4 点。一般的には、低いほど良好な状態である。

総在校等時間が長かった者ほど、量的負荷、質的負荷、対人関係の困難がおおむね高かった。

②BSJS（職業性ストレス簡易評価尺度）　ストレス緩和要因

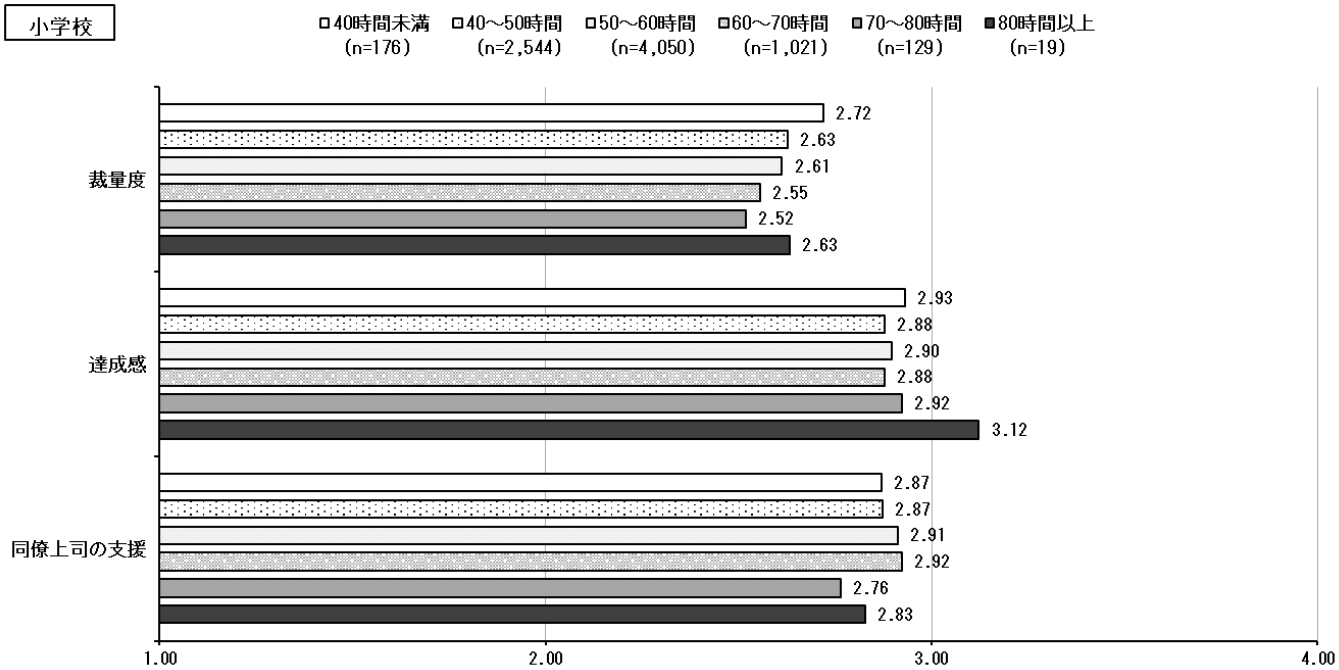
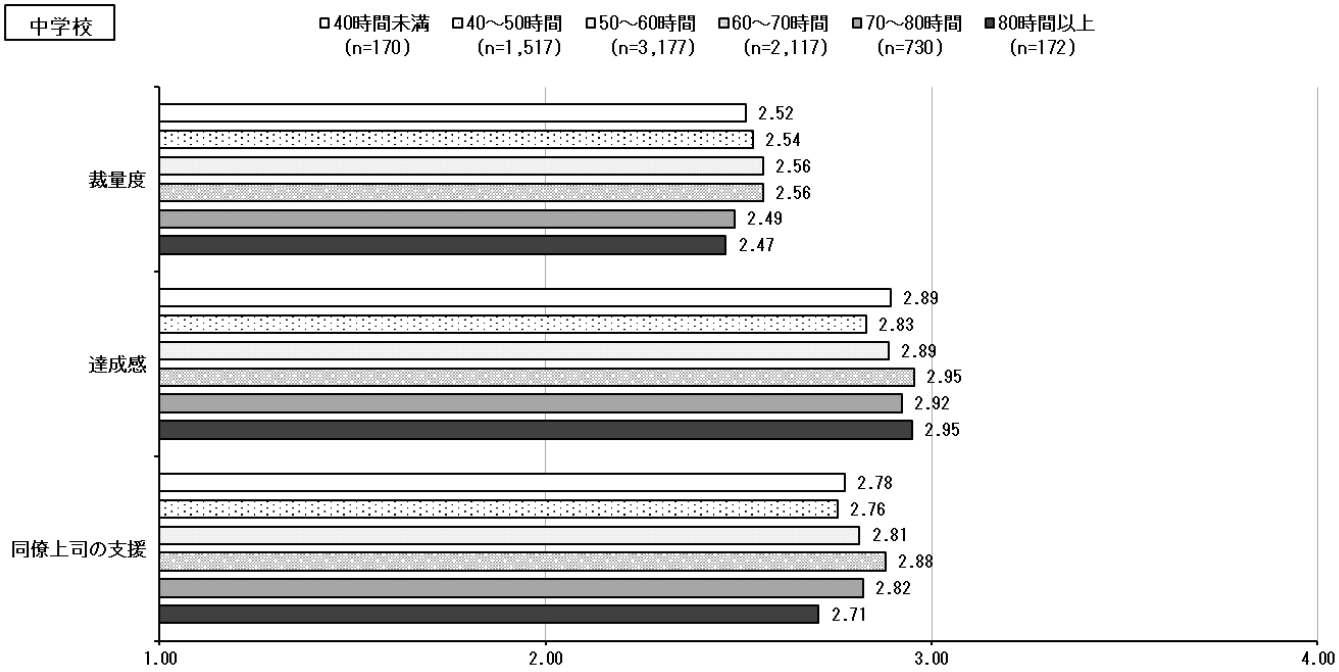


図 8-4　総在校等時間ごとの BSJS ストレス緩和要因得点



（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※得点範囲は 1～4 点。一般的には、高いほど良好な状態である。

総在校等時間の長さによるストレス緩和要因の高低には明確な傾向を認めなかった。小学校教諭では「80 時間以上」の者で達成感が最も高くなったが、該当者数が少ない点には注意が必要である。

③SOC（首尾一貫感覚）

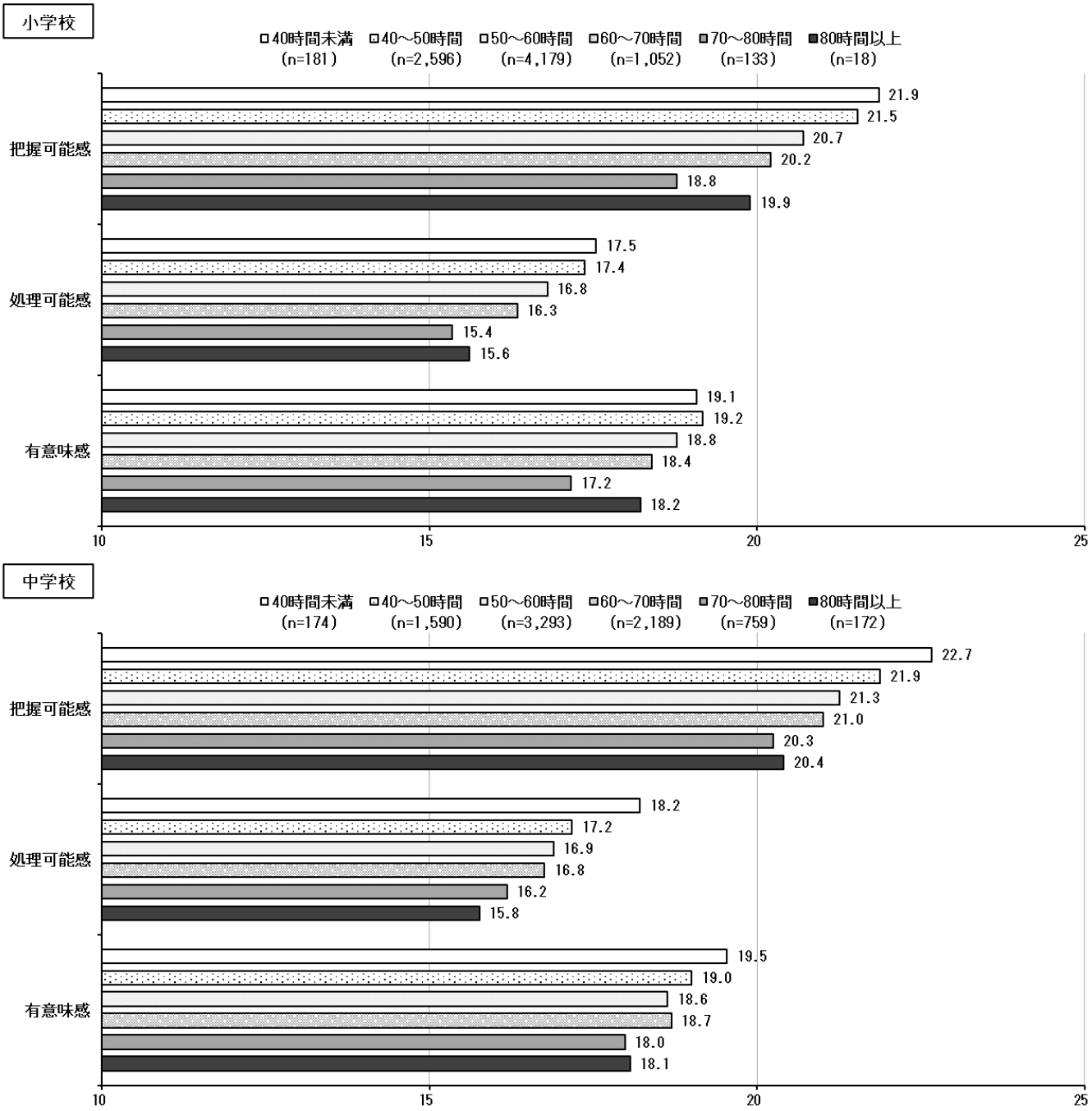
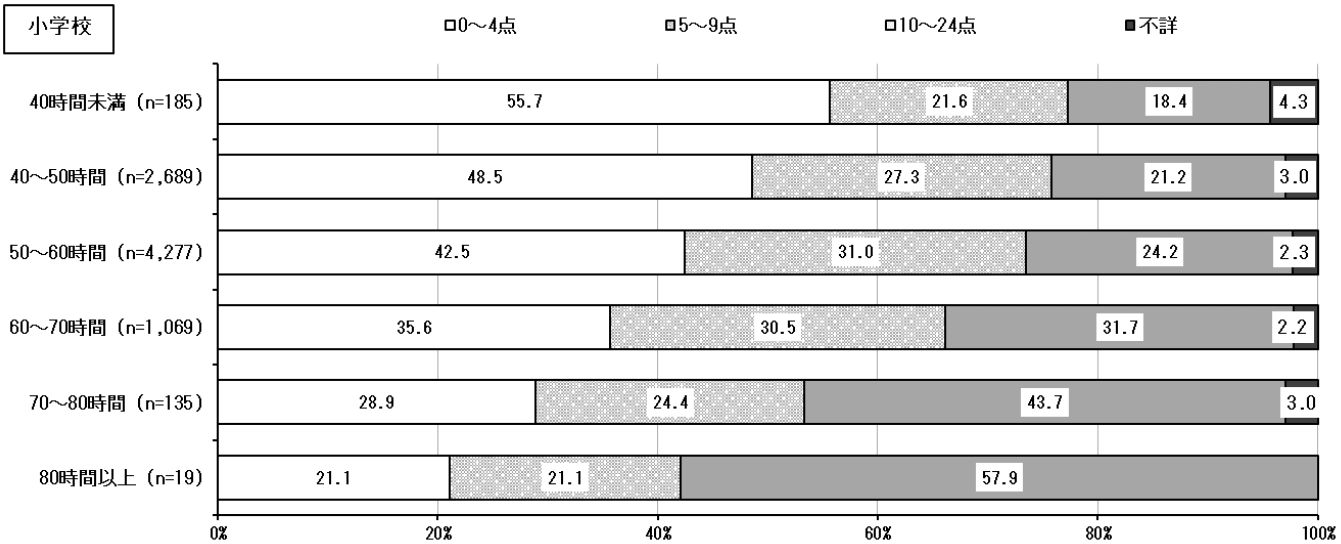


図 8-5　総在校等時間ごとの SOC 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※把握可能感の得点範囲は 5～35 点。処理可能感の得点範囲は 4～28 点。有意味感の得点範囲は 4～28 点。
一般的には、高いほど良好な状態である。

総在校等時間が長かった者ほど、把握可能感、処理可能感、有意味感がおおむね低かった。小学校教諭では「80 時間以上」の者で「70～80 時間」の者と 3 つの感覚の得点に逆転が認められたが、「80 時間以上」の該当者数が少ない点には注意が必要である。

④K6



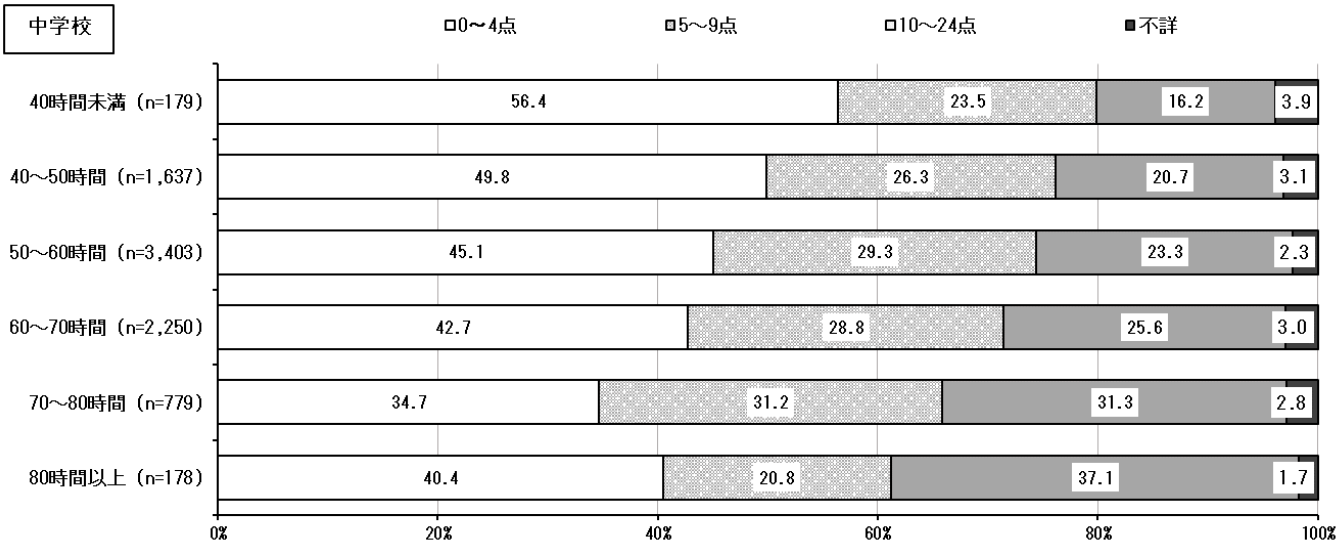
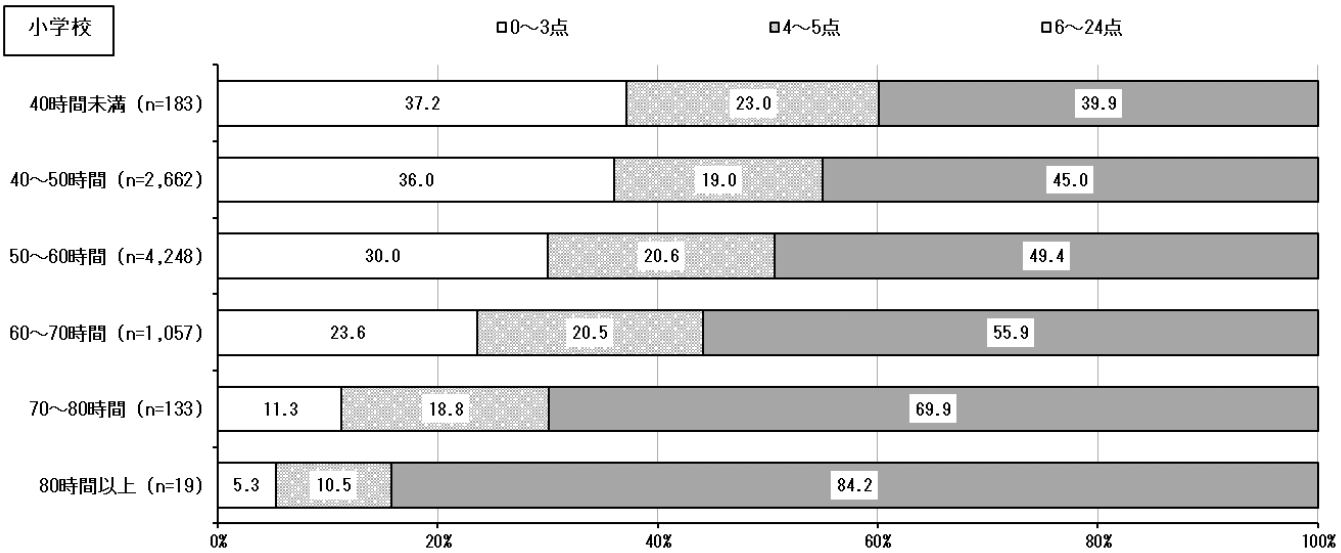


図 8-6　総在校等時間ごとの K6 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※得点範囲は 0～24 点。低いほど良好な状態である。

総在校等時間が長かった者ほど、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者（K6 得点 10 点以上）の割合が高かった。

⑤AIS（アテネ不眠症尺度）



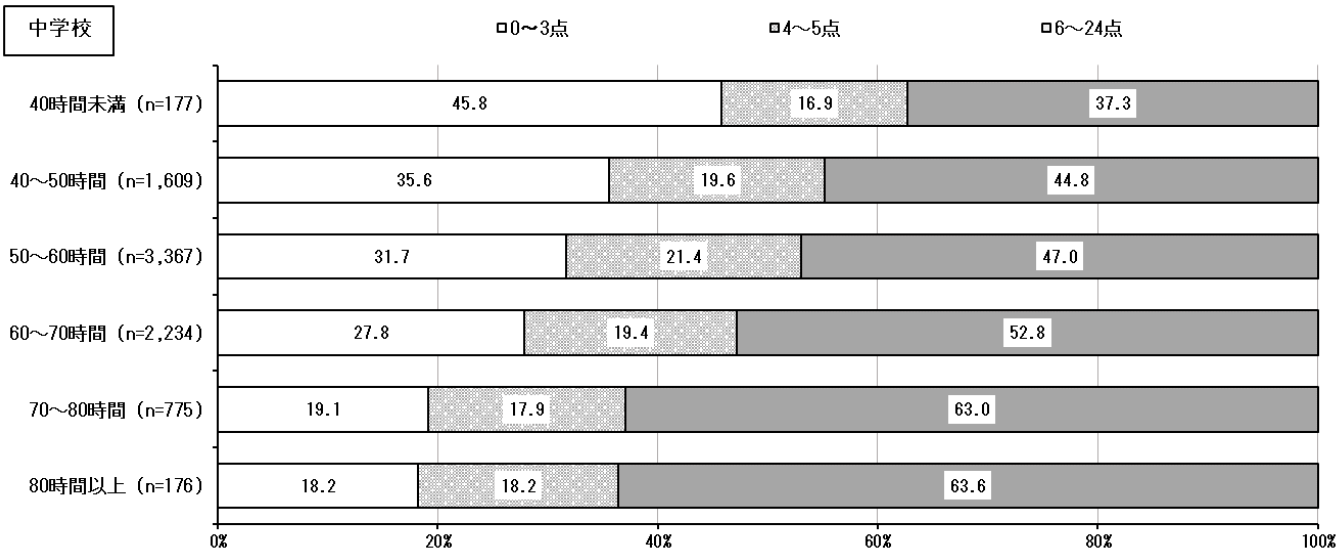
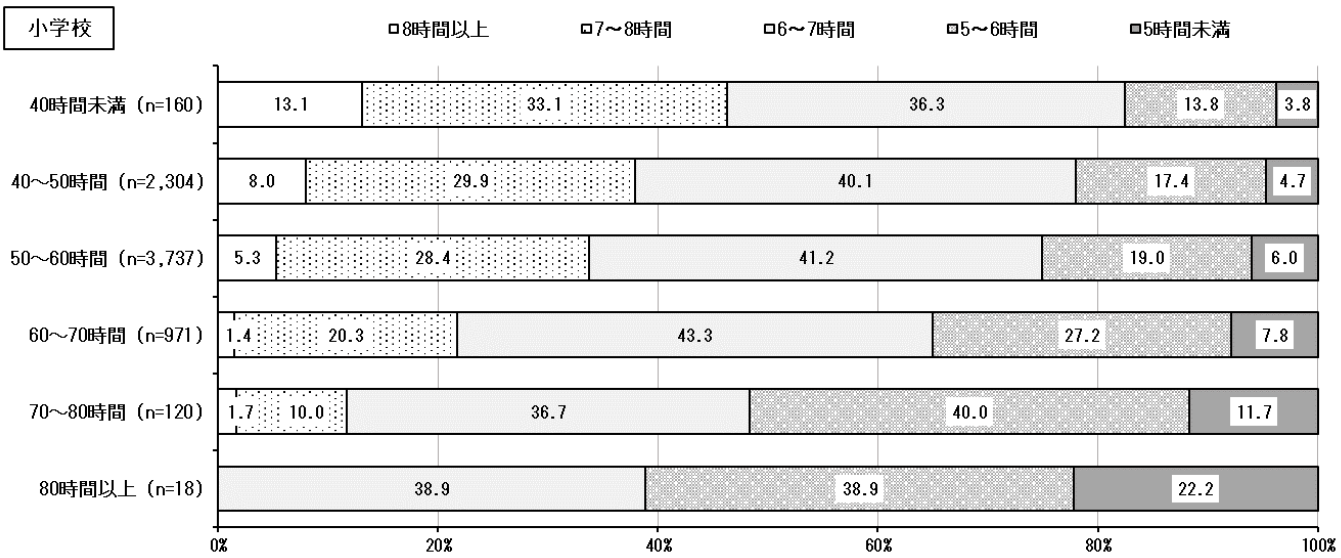


図 8-7　総在校等時間ごとの AIS 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※得点範囲は 0～24 点。低いほど良好な状態である。

総在校等時間が長かった者ほど、不眠症が疑われる者（AIS 得点 6 点以上）の割合が高かった。

⑥1 日の平均睡眠時間



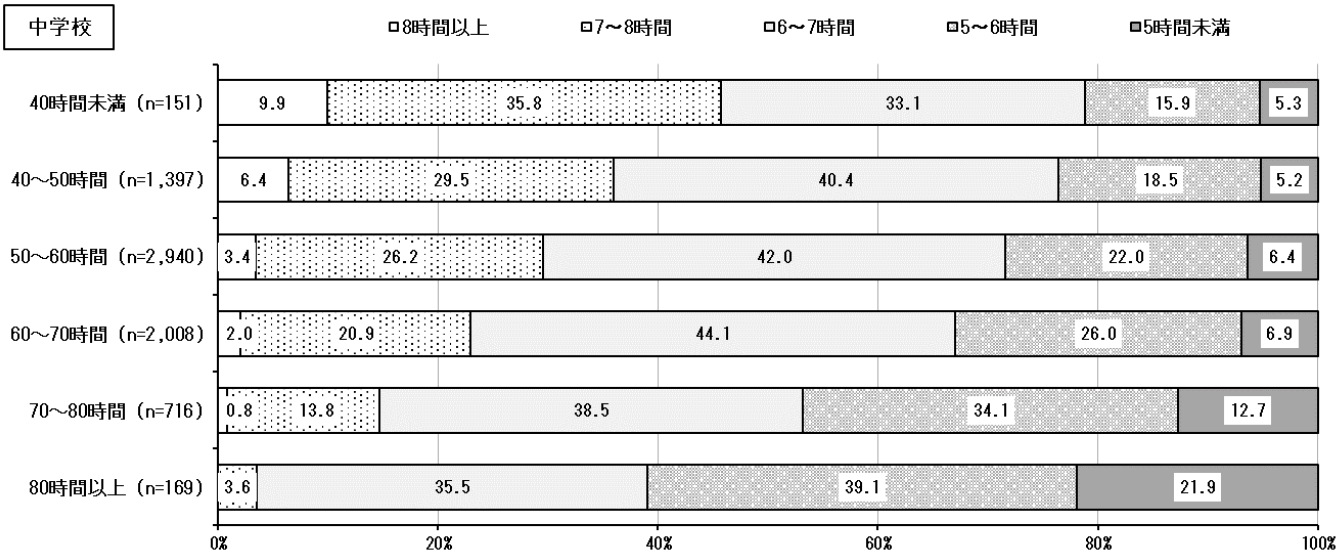
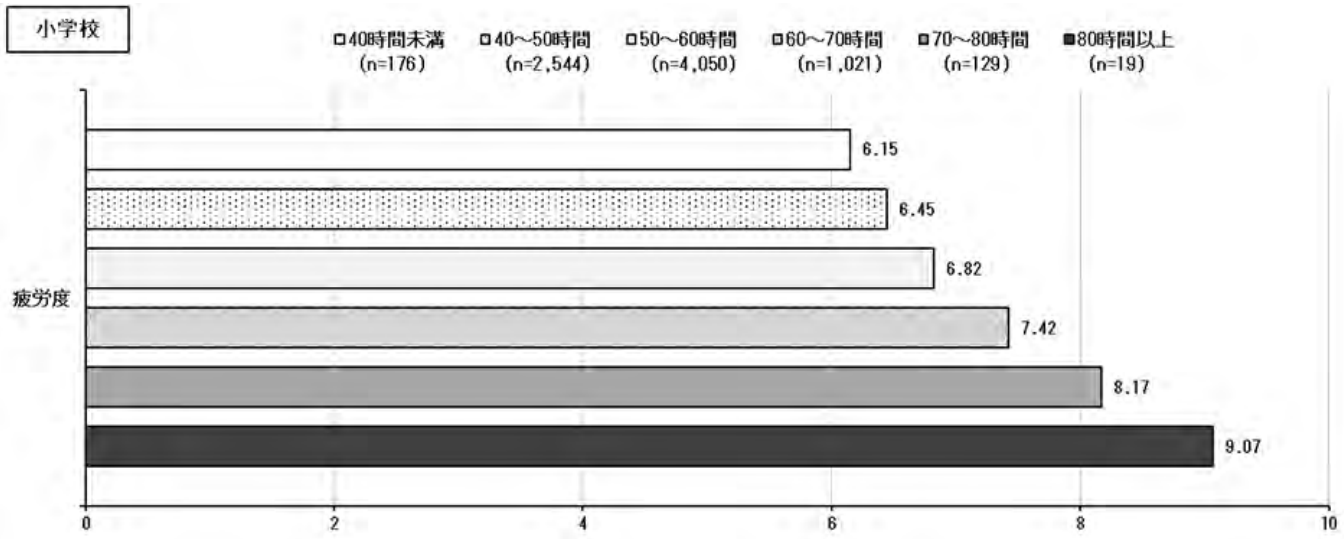


図 8-8　総在校等時間ごとの 1 日の平均睡眠時間（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※月曜から日曜までの 7 日間に記録された、就寝時刻、起床時刻、眠るまでに要した時間から 1 日当たりの平均睡眠時間を算出した。

総在校等時間が長かった者ほど、1 日の平均睡眠時間が短い者の割合が高かった。

⑦1 日の平均疲労度



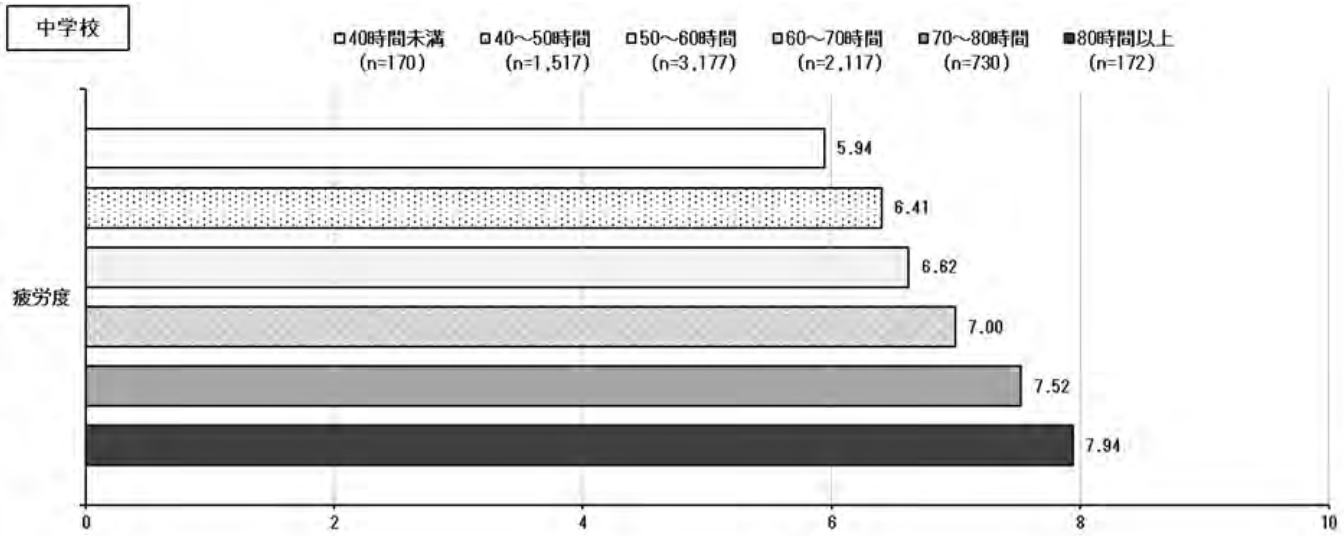
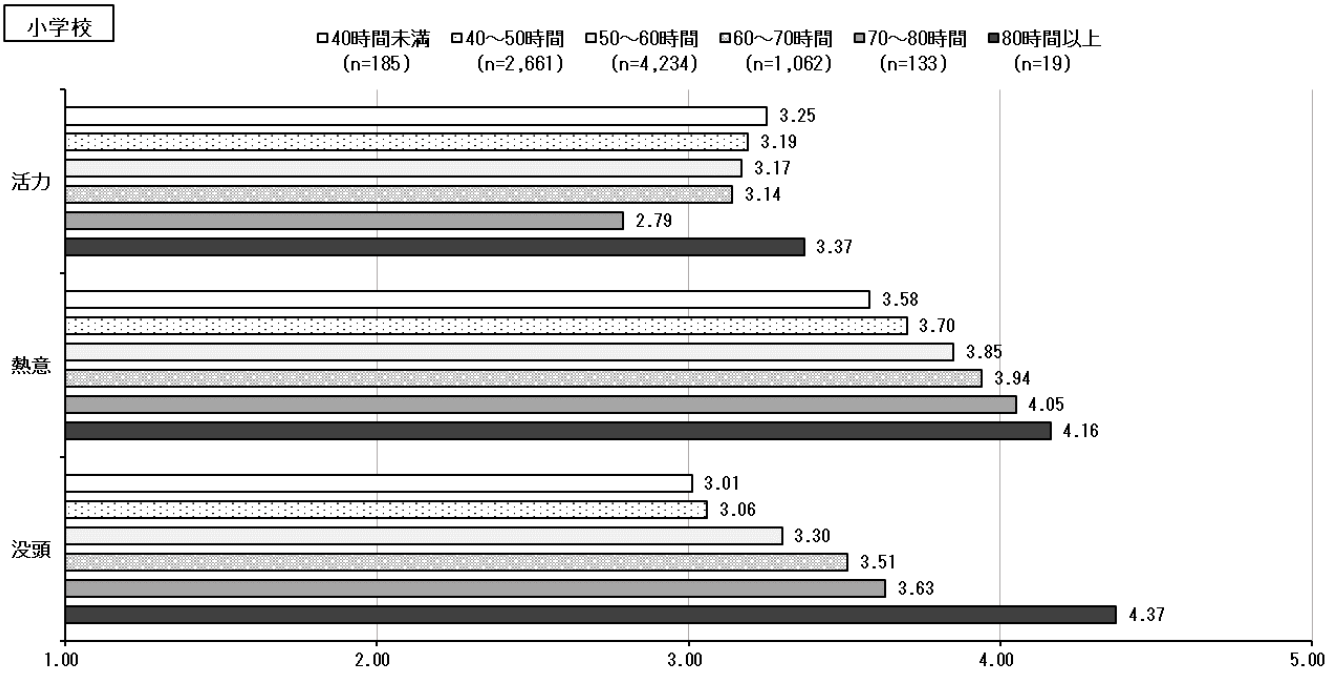


図 8-9　総在校等時間ごとの疲労度平均（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※回答者は月曜から日曜までの 7 日間、疲労度を「全く感じない」状態を 0 点、「これまで経験した中で最も強く感じる」状態を 10 点として回答した。7 日間の平均値を算出した。得点範囲は 0 点～10 点。7 日間の回答が得られなかった場合は集計から除外した。

総在校等時間が長かった者ほど、1 日の平均疲労度が高かった。

⑧ワーク・エンゲイジメント



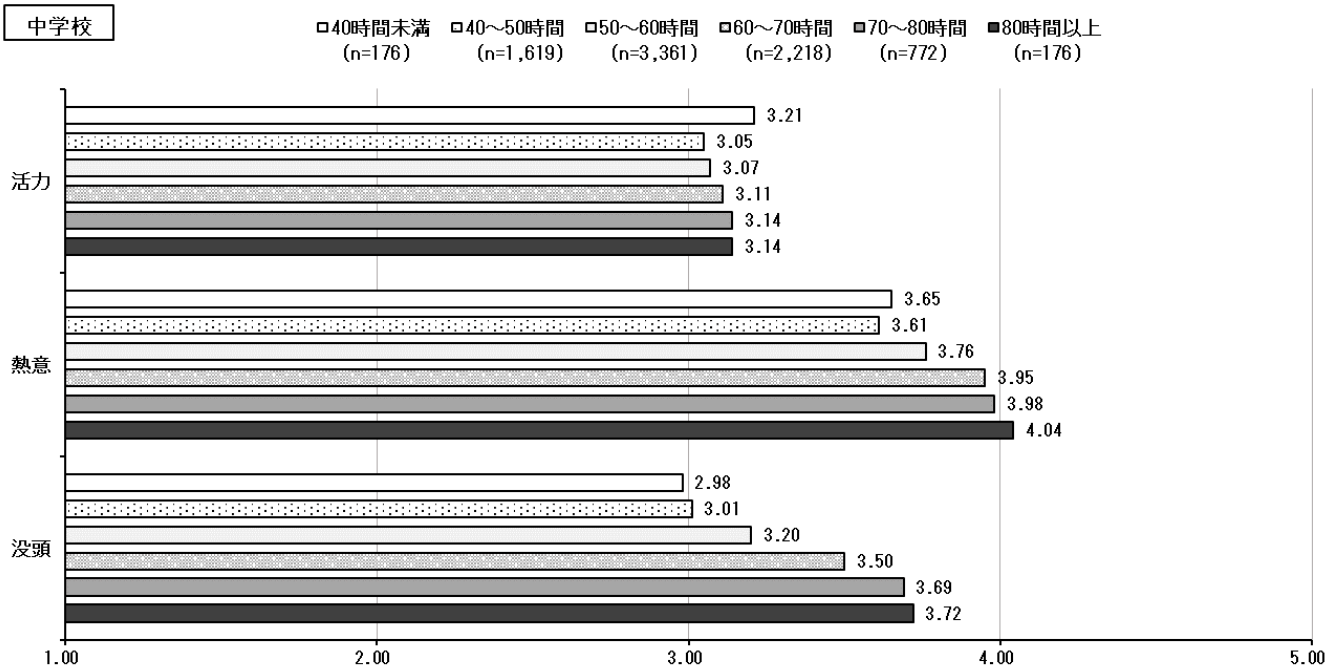
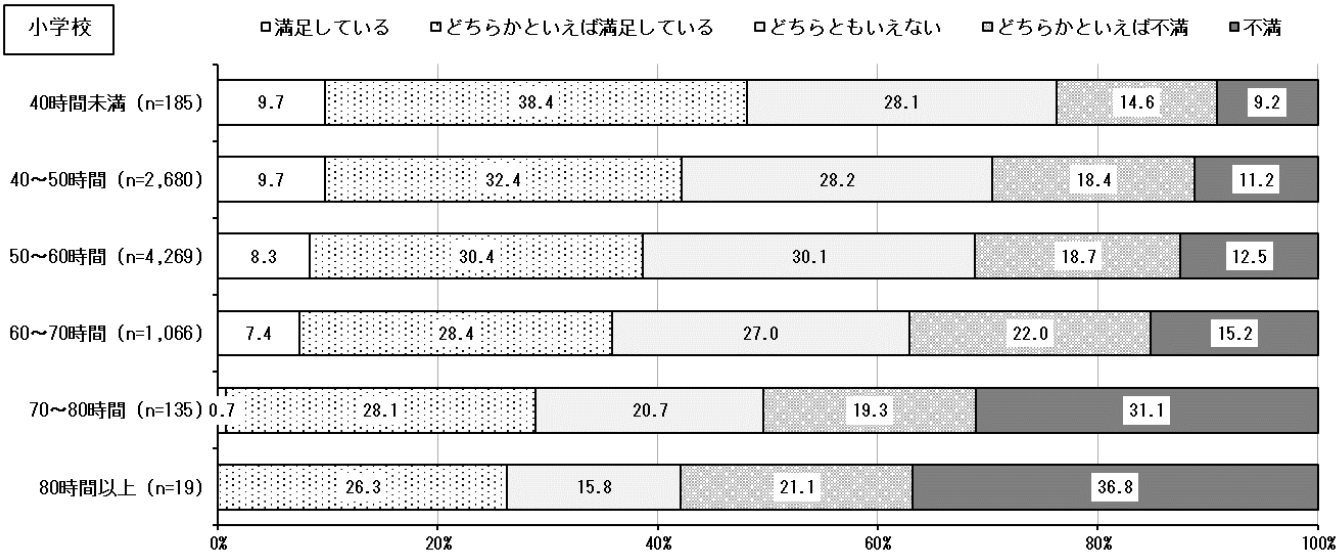


図 8-10　総在校等時間とワーク・エンゲイジメント得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※それぞれの得点範囲は 0～6 点。一般的には、高いほど良好な状態である。

「活力」得点では小学校と中学校で異なる傾向が見られた。総在校等時間は「熱意」や「没頭」得点が高いものほどおおむね長かった。

⑨年収の満足度



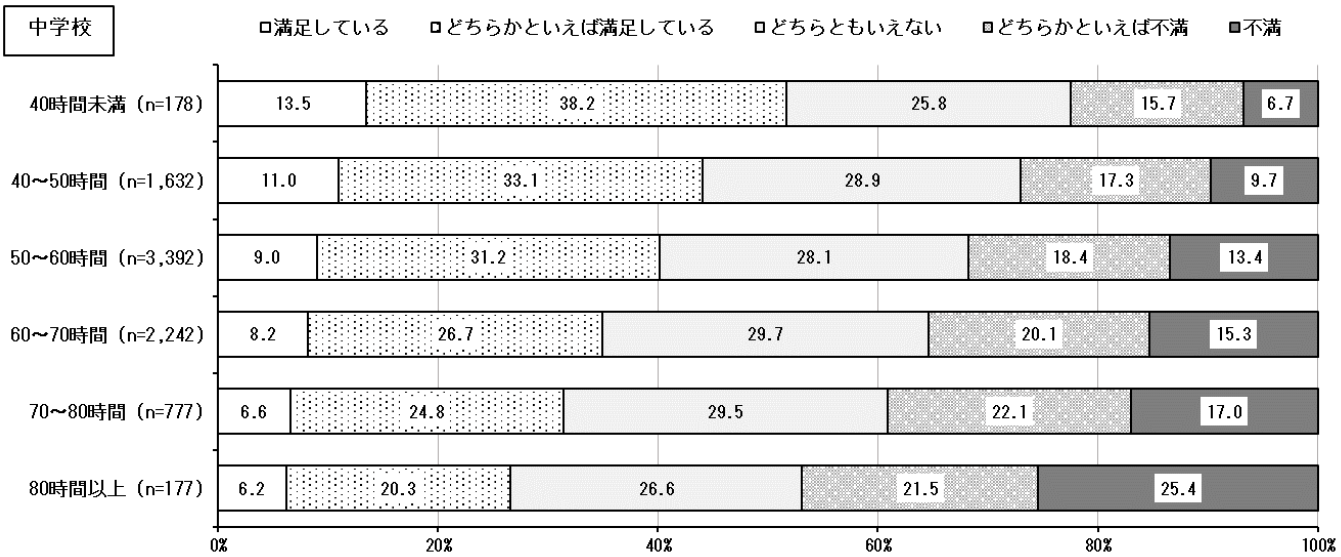


図 8-11　総在校等時間と年収の満足度（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※問：あなたは、現在の年収について、あなたがクラス地域の他の職と比較して、どう感じていますか。

総在校等時間が長かった者ほど、年収に満足していない割合が高かった。

（5）働き方改革の把握状況や勤務時間管理意識等の意識の向上と心理的ストレス

①業務改善方針の把握

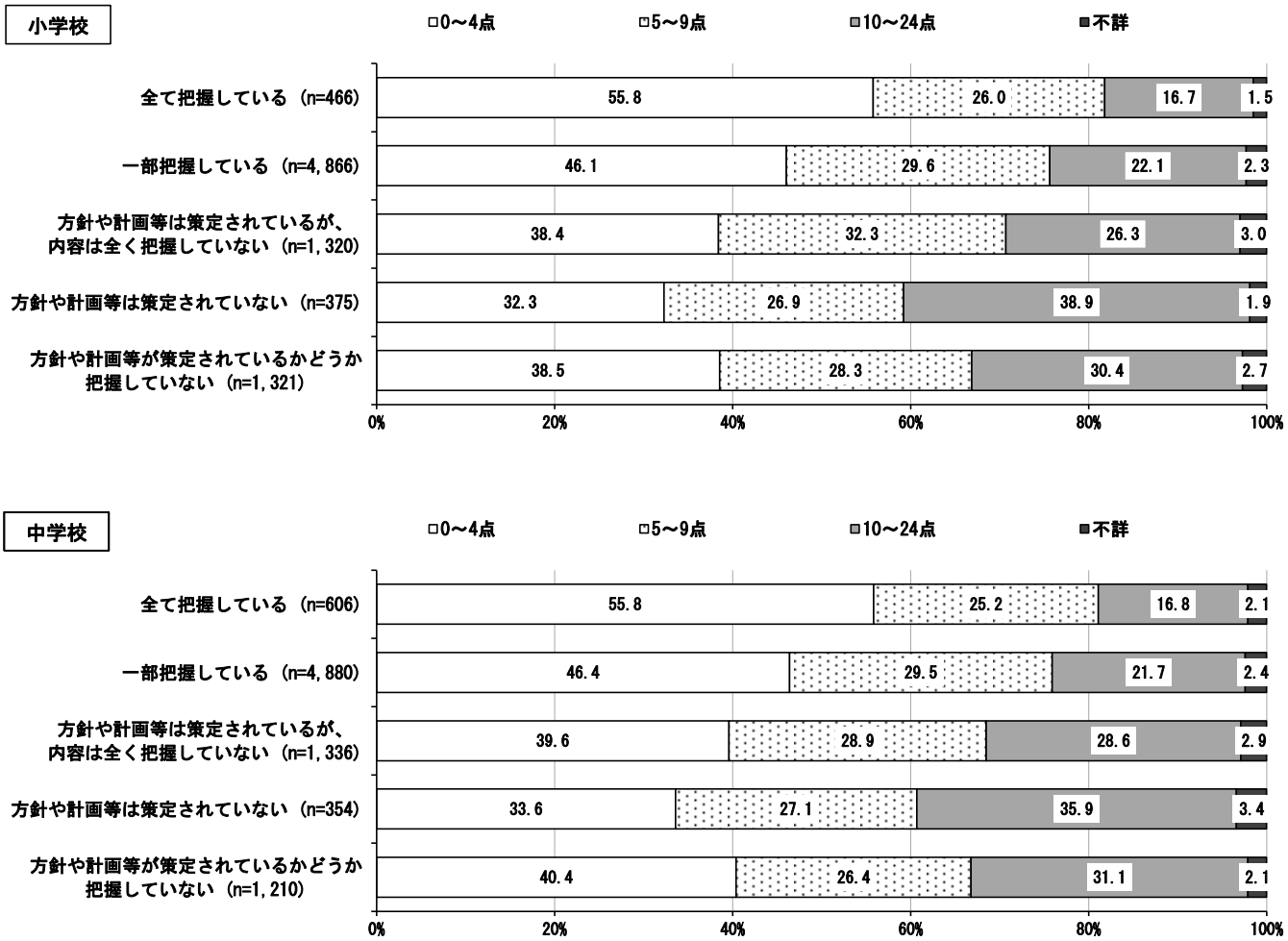
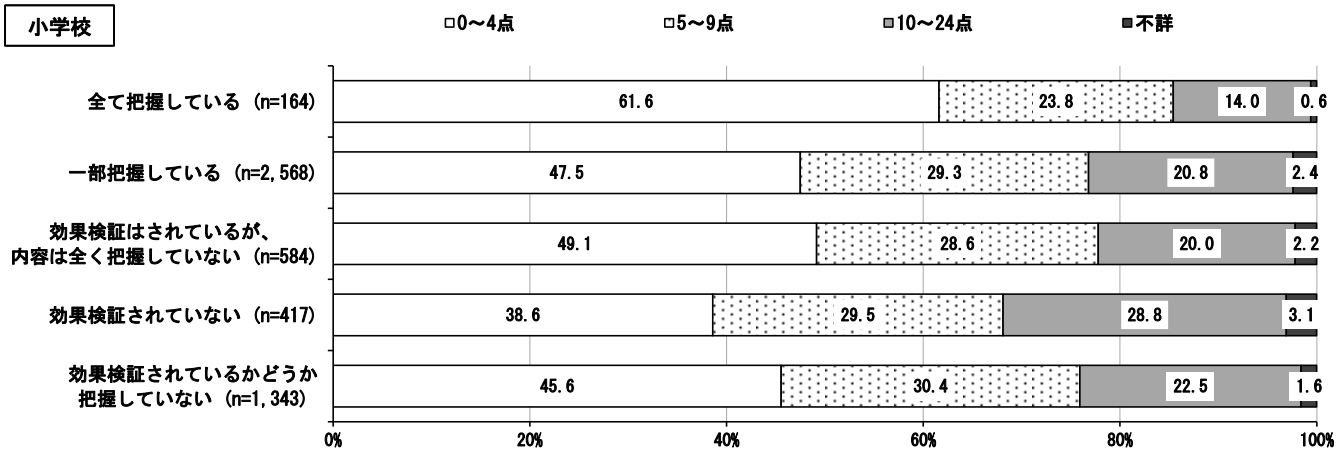


図 8-12　業務改善方針の把握による K6 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※問：あなたは学校の働き方改革又は業務改善に関して、所属する学校の時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の内容を把握していますか。

小学校・中学校のいずれにおいても、業務改善方針を「すべて把握している」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が最も低かった。一方で、「方針や計画は策定されていない」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を示す割合が特に高かった。

②業務改善状況の把握



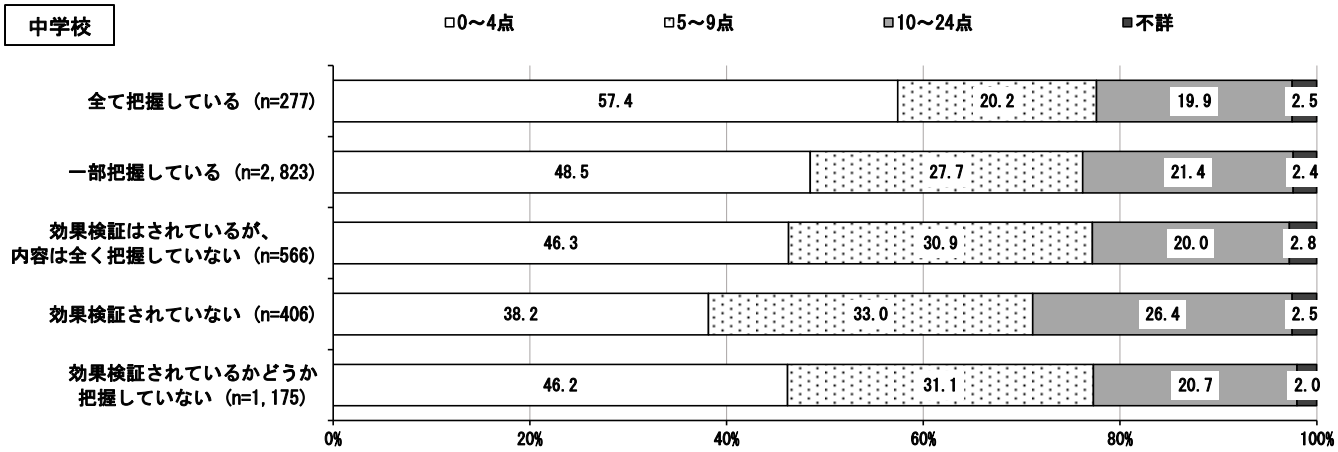


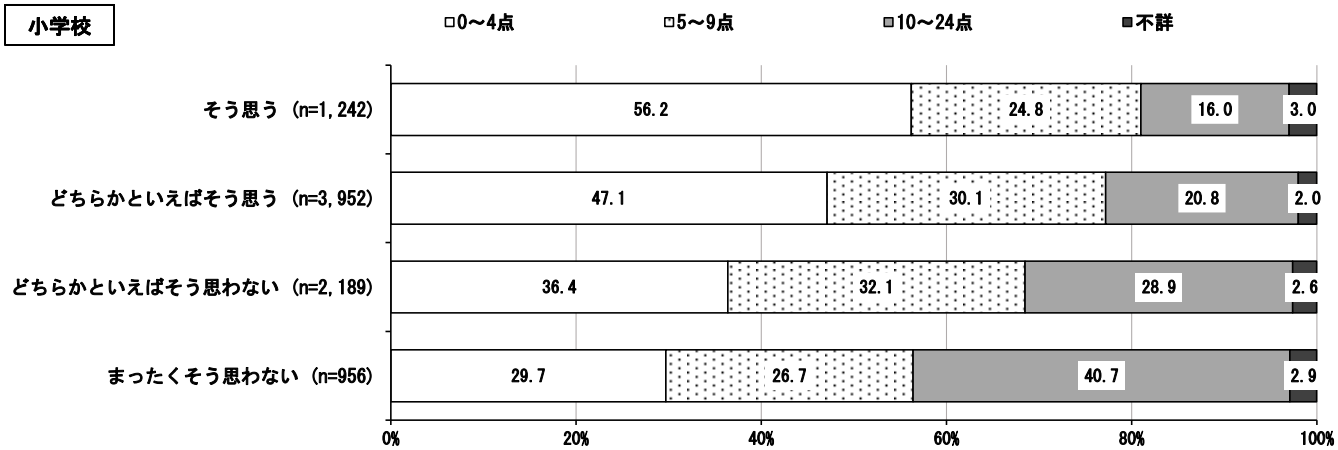
図 8-13　業務改善方針等の効果検証状況の把握と K6 得点
（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※前問で「全て把握している」もしくは「一部把握している」と回答した者のみから回答を得た。

※問：所属する学校の業務改善方針等の効果検証状況を把握していますか。

小学校・中学校のいずれにおいても、業務改善状況を「すべて把握している」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）の該当割合が最も低かった。一方で、「効果検証されていない」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合が特に高かった。

③管理職による勤務環境の整備状況



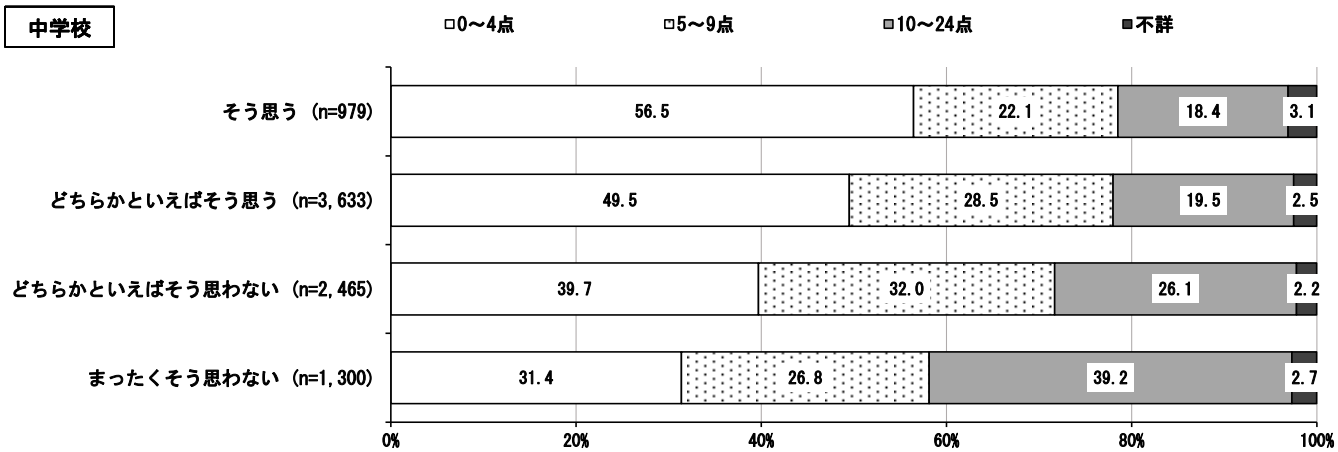
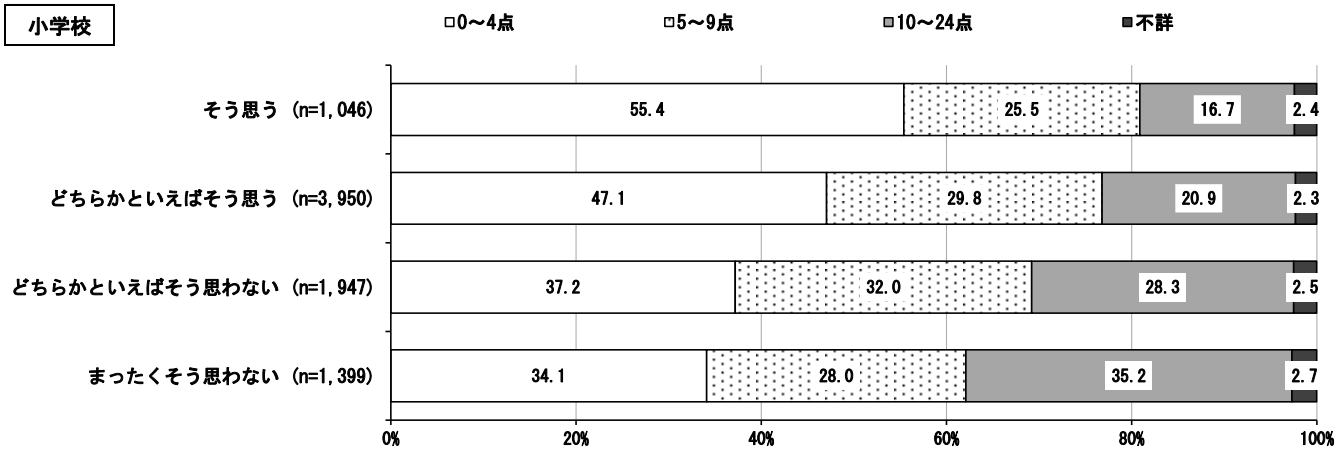


図 8-14　管理職による勤務環境の整備と K6 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※問：あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか。

「そう思う」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が最も低かった。一方で、「まったくそう思わない」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を示す割合が特に高かった。

④勤務時間管理意識の向上



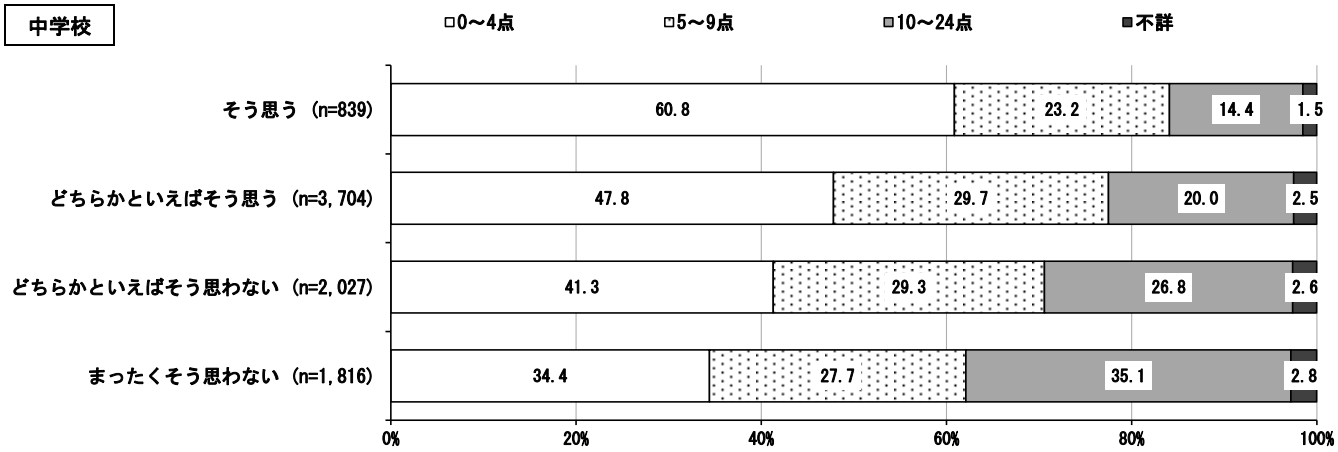
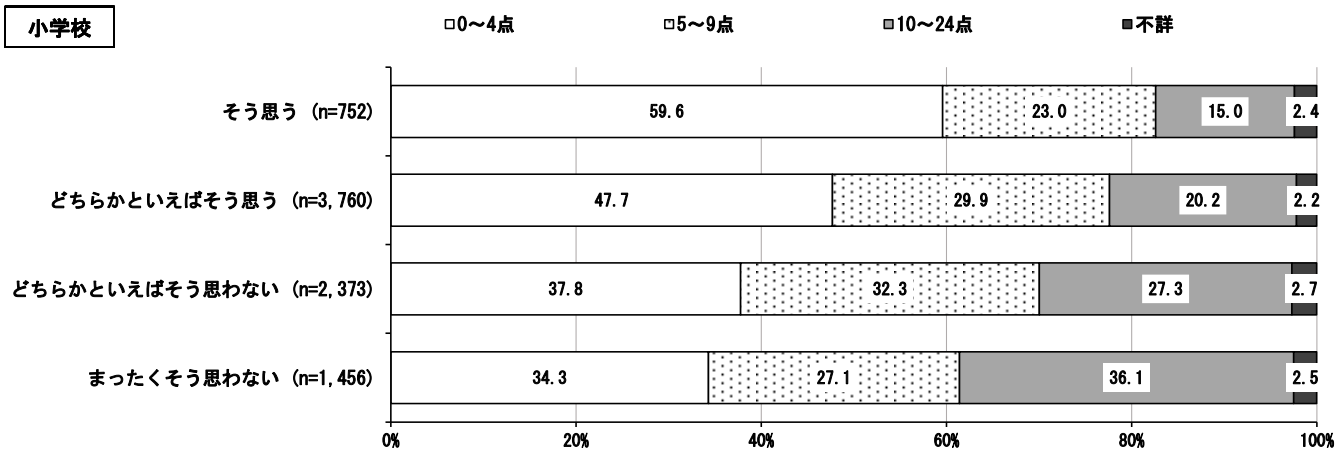


図 8-15　勤務時間管理意識の向上と K6 得点（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※問：労働安全衛生法等に基づき、ICT 等の客観的な方法によって労働時間を把握することが求められています。また、働き方改革に向けて、令和元年に給特法の一部改正が行われ、在校等時間の上限などを定める指針が策定されました。これを踏まえたあなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか。

「そう思う」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が最も低かった。一方で、「まったくそう思わない」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を示す割合が特に高かった。

⑤仕事の優先順位付けや効率化などの意識の向上



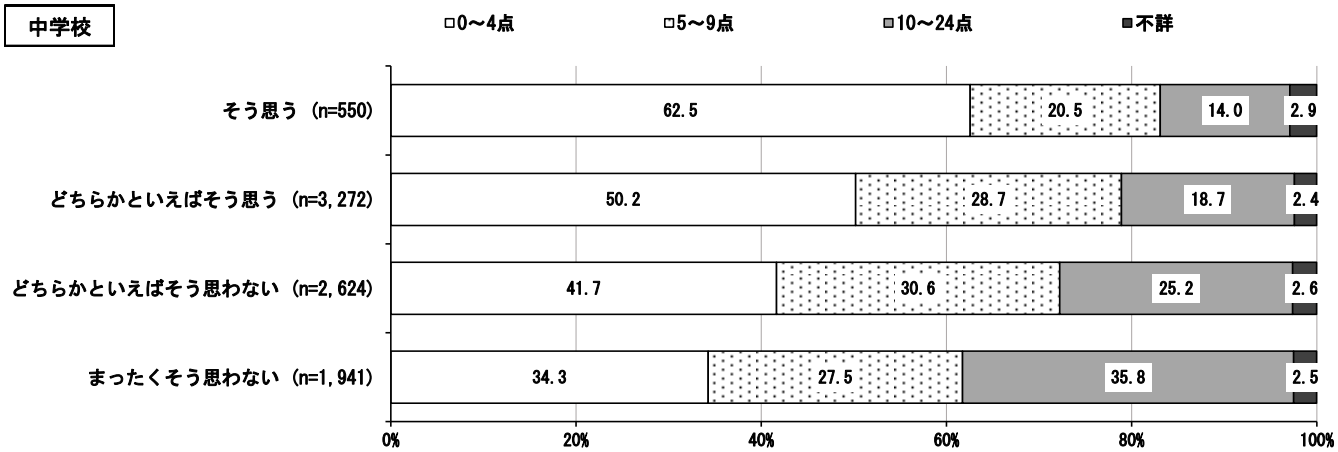


図 8-16　仕事の優先順位付けや効率化などの意識の向上と K6 得点
（小中学校別、教諭、60 歳未満、男女計）

※問：あなたの学校における勤務時間の管理方法により、あなたの仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まりましたか。

「そう思う」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が最も低かった。一方で、「まったくそう思わない」と回答した教諭は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を示す割合が高かった。

⑥部活動顧問をしている中学校教諭における、部活動方針の把握状況

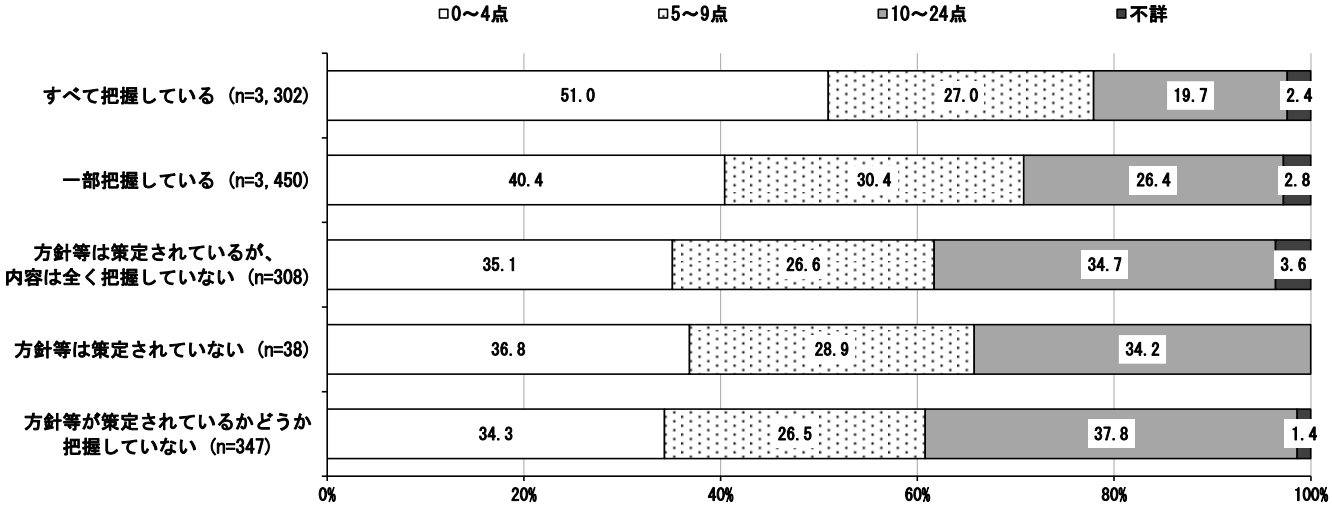


図 8-17　部活動方針の把握状況による K6 得点
（中学校、部活動顧問をしている教諭、60 歳未満、男女計）

※問：あなたの学校における部活動に係る活動方針等の内容を把握していますか。

部活動方針を「すべて把握している」、「一部把握している」と回答した者は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が低かった。

⑦部活動方針を踏まえた活動状況

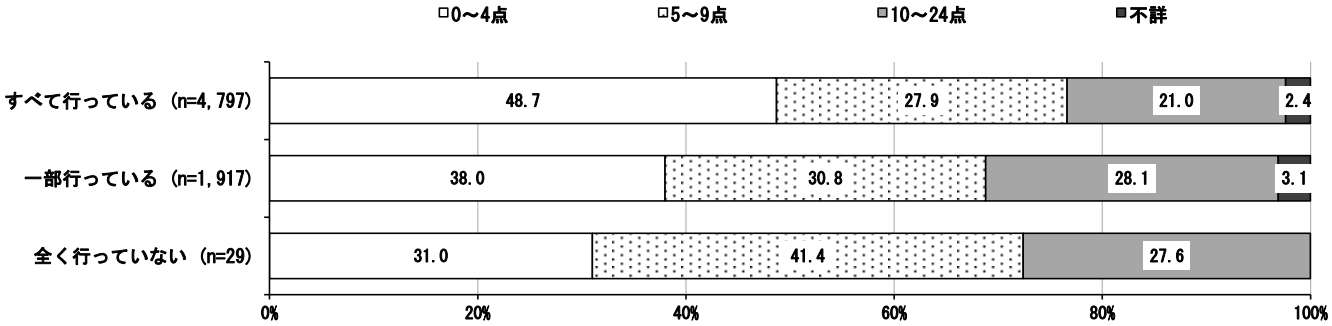


図 8-18　部活動方針を踏まえた活動状況による K6 得点
（中学校、部活動顧問をしている教諭、60 歳未満、男女計）

※前問で、「すべて把握している」もしくは「一部把握している」と回答した者のみから回答を得た。

※問：あなたは、あなたが顧問をしている部活動において、学校における部活動に係る活動方針等を踏まえた活動を行っていますか。

部活動方針を踏まえた活動について、「すべて行っている」と回答した者は、気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛（K6 得点 10 点以上）を示す割合が低かった。

（6）教諭の各業務項目へのやりがい、重要度、負担の分布

業務項目は以下のとおり（再掲）。

児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める） ※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業
	c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など
	d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など
	e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認・コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など
	f1	生徒指導（集団 1）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導
	f2	生徒指導（集団 2）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など上記 f1 以外の指導
	g	生徒指導（個別）	個別の面談、進路指導・相談、生活相談、カウンセリング、課題を抱えた児童生徒の支援など
	h	部活動・ クラブ活動	授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導、対外試合引率（引率の移動時間を含む）など
	i	児童会・ 生徒会指導	児童会・生徒会指導、委員会活動の指導など
	j	学校行事	修学旅行、遠足、体育祭、文化祭、発表会、入学式・卒業式、始業式・終業式などの学校行事、学校行事の準備など
	k	学年・ 学級経営	学級活動（学活・ホームルーム）、連絡帳の記入、学年・学級通信作成、名簿作成、掲示物作成、動植物の世話、教室環境管理、備品整理など
学校の運営にかかわる業務	l	学校経営	校務分掌にかかわる業務、部下職員・初任者・教育実習生などの指導・面談、安全点検・校内巡視、機器点検、点検立会い、校舎環境整理、日直など
	m1	職員会議・学年会などの会議	職員会議、学年会、教科会、成績会議、学校評議会など校内の会議
	m2	個別の打ち合わせ	生徒指導等に関する校内の個別の打ち合わせ・情報交換など
	n1	事務（調査への回答）	国、教育委員会等からの調査・統計への回答 （※今回の調査の回答時間は n3 に含めてください）
	n2	事務（学納金関連）	給食費や部活動費等に関する処理や徴収などの事務
	n3	事務（その他）	業務日誌作成、資料・文書（調査統計、校長・教育委員会等への報告書、学校運営にかかわる書類、予算・費用処理にかかわる書類など）の作成など上記 n1、n2 以外の事務（※今回の調査の回答時間はここに含めてください）
	o	校内研修	校内研修、校内の勉強会・研究会、授業見学、学年研究会、校内で行う校務としての研修など（v 及び w を除く）
外部対応	p	保護者・PTA対応	学級懇談会、保護者会、保護者との面談や電話連絡、保護者対応、家庭訪問、PTA関連活動、ボランティアの対応など
	q	地域対応	町内会・地域住民への対応・会議、地域ボランティアとの連絡調整等、地域安全活動（巡回・見回りなど）、地域への協力活動、コミュニティ・スクール対応など
	r	行政・関係団体対応	教育委員会関係者など行政・関係団体、保護者・地域住民以外の学校関係者、来校者（業者、校医など）の対応など
校外	s	校務としての研修	初任者研修、校務としての研修、出張を伴う研修など
	t	会議	校外での会議・打合せ、出張を伴う会議など
その他	u	その他の校務	上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など
	v	職専免研修	職務専念義務を免除されての研修
	w	自己研鑽	正規の勤務時間外に自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽
	x	休憩・休息等	校務と関係のない雑談、休憩・休息、職専免の時間（v を除く）など

①小学校

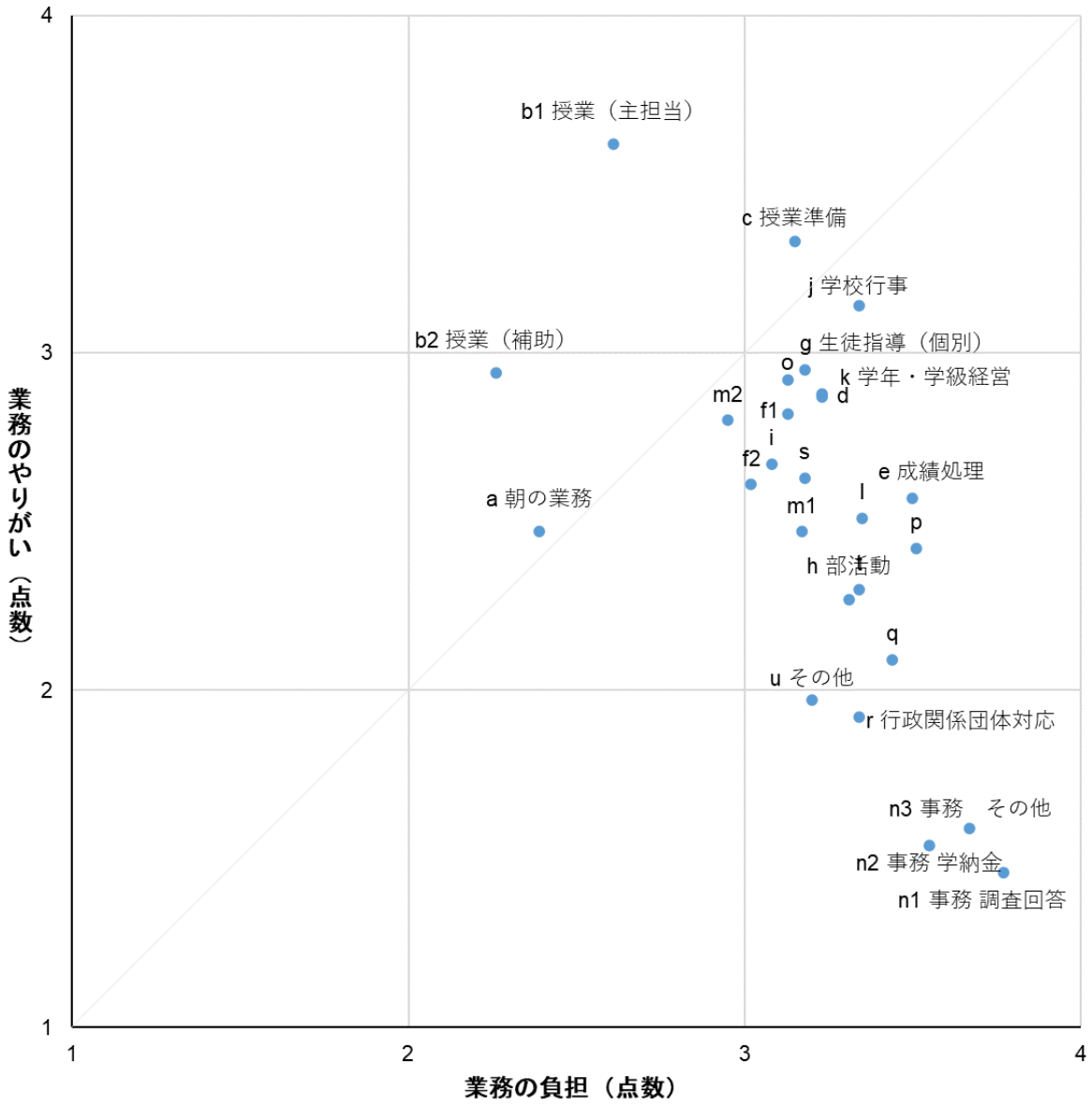


図 8-19　各業務のやりがいと負担の得点分布（小学校、教諭、60 歳未満、男女計）

※回答者は各業務項目（計 26 種）に対し、「この業務は負担である」、「この業務はやりがいがある」、「この業務は負担である」の 3 つの問いに回答した。選択肢は、そうである：4 点、どちらかといえばそうである：3 点、どちらかといえばそうでない：2 点、全くそうでない：1 点である、の 4 択とした。各業務項目で回答に欠損があった個票は除外した。3,345 人～3,952 人の回答の平均点を図に示す。

最もやりがい得点が高いのは「b1 授業（主担当）」であり、負担感は比較的低かった。やりがい得点と負担得点の両方が高かったのは「c 授業準備」や「j 学校行事」であった。やりがい得点が低く負担得点が高かったのは、「n1 事務（調査への回答）」、「n2 事務（学納金関連）」、「n3 事務（その他）」であった。

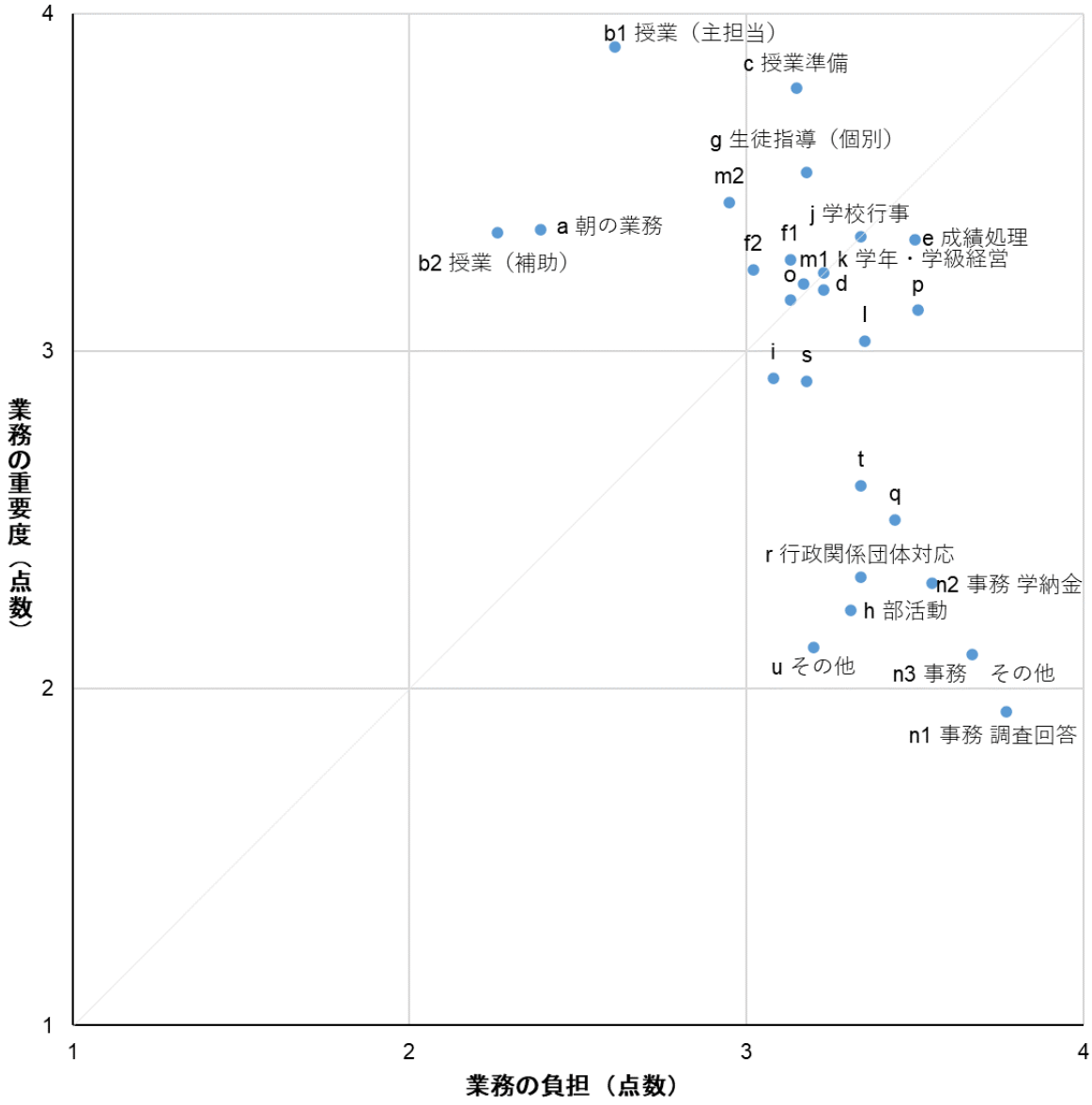


図 8-20　各業務の重要度と負担の点数分布（小学校、教諭、60 歳未満、男女計）

※回答者は各業務項目（計 26 種）に対し、「この業務は負担である」、「この業務はやりがいがある」、「この業務は負担である」の 3 つの問いに回答した。選択肢は、そうである：4 点、どちらかといえばそうである：3 点、どちらかといえばそうでない：2 点、全くそうでない：1 点である、の 4 択とした。各業務項目で回答に欠損があった個票は除外した。3,345 人～3,952 人の回答の平均点を図に示す。

最も重要度得点が高いのは「b1 授業（主担当）」であり、負担感は比較的低かった。重要度得点と負担得点の両方が高かったのは「c 授業準備」、「e 成績処理」、「g 生徒指導（個別）」、「j 学校行事」等であった。重要度得点が最も低かったのは、「n1 事務（調査への回答）」であった。

②中学校

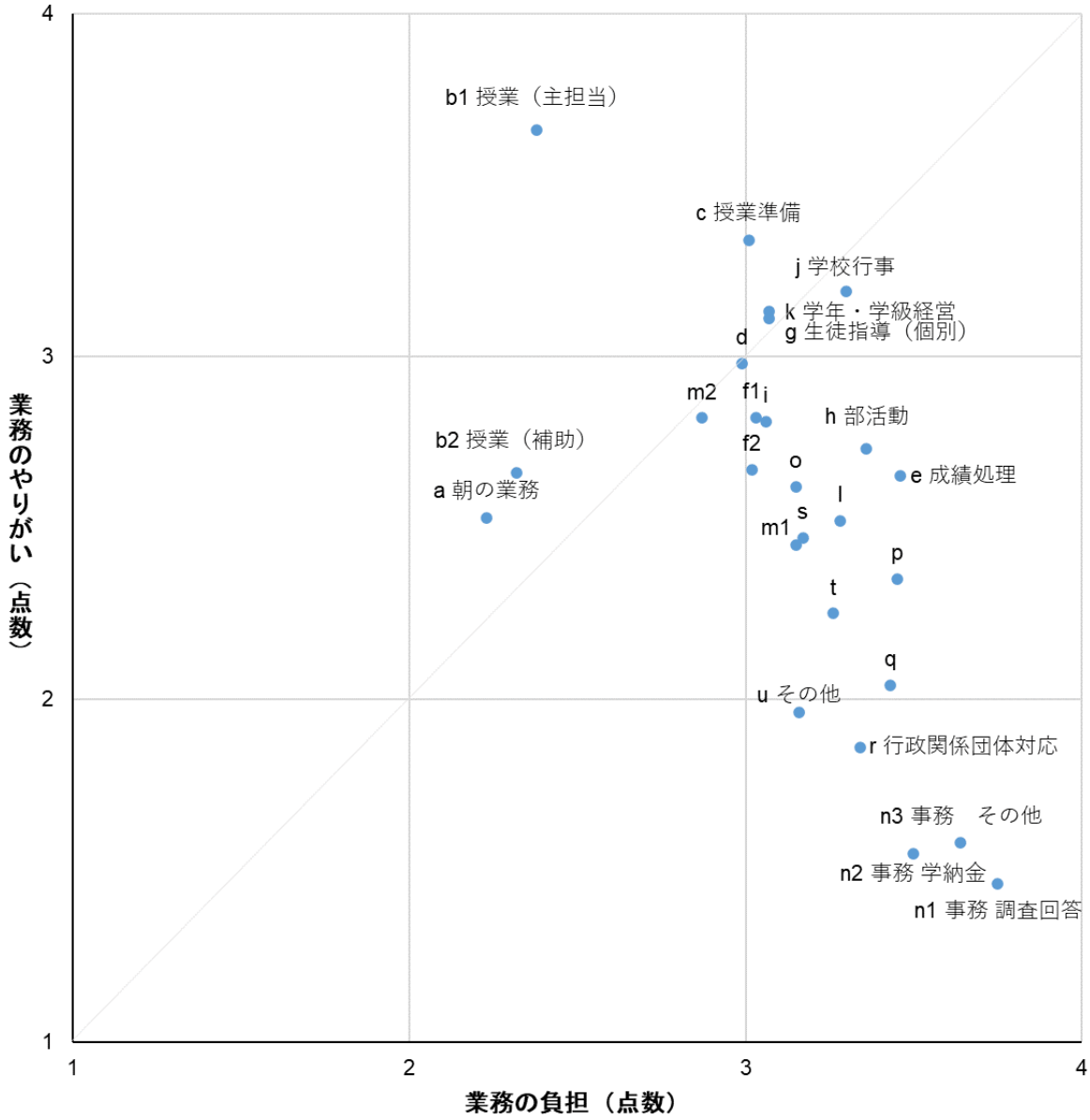


図 8-21　各業務のやりがいと負担の点数分布（中学校、教諭、60 歳未満、男女計）

※回答者は各業務項目（計 26 種）に対し、「この業務は負担である」、「この業務はやりがいがある」、「この業務は負担である」の 3 つの問いに回答した。選択肢は、そうである：4 点、どちらかといえばそうである：3 点、どちらかといえばそうでない：2 点、全くそうでない：1 点である、の 4 択とした。各業務項目で回答に欠損があった個票は除外した。3,598 人～4,220 人の回答の平均点を図に示す。

最もやりがい得点が高いのは「b1 授業（主担当）」であり、負担感は比較的低かった。やりがい得点と負担得点の両方が高かったのは「c 授業準備」、「g 生徒指導（個別）」、「j 学校行事」、「k 学年・学級経営」であった。やりがい得点が低く負担得点が高かったのは、「n1 事務（調査への回答）」、「n2 事務（学納金関連）」、「n3 事務（その他）」、「r 行政・関係団体対応」であった。

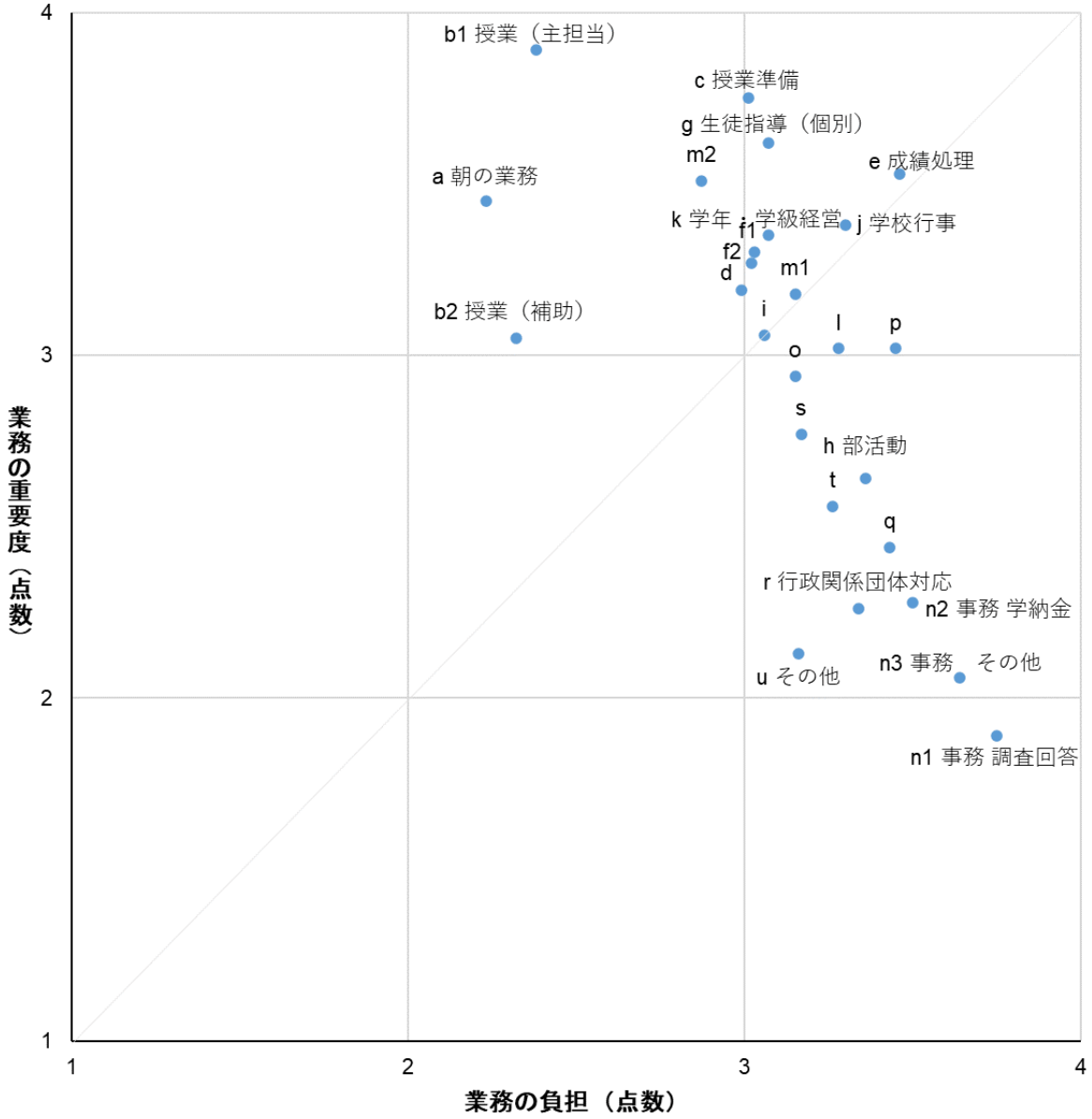


図 8-22　各業務の重要度と負担の点数分布（中学校、教諭、60 歳未満、男女計）

※回答者は各業務項目（計 26 種）に対し、「この業務は負担である」、「この業務はやりがいがある」、「この業務は負担である」の 3 つの問いに回答した。選択肢は、そうである：4 点、どちらかといえばそうである：3 点、どちらかといえばそうでない：2 点、全くそうでない：1 点である、の 4 択とした。各業務項目で回答に欠損があった個票は除外した。3,598 人～4,220 人の回答の平均点を図に示す。

最も重要度得点が高いのは「b1 授業（主担当）」であり、負担感は比較的低かった。重要度得点と負担得点の両方が高かったのは「c 授業準備」、「e 成績処理」、「g 生徒指導（個別）」、「j 学校行事」等であった。重要度得点が最も低かったのは、「n1 事務（調査への回答）」であった。

4. 考察

(1)平成 28 年度調査（10 - 11 月）と令和 4 年度調査（8 月、10 - 11 月）の結果の推移

平成 28 年度調査と令和 4 年度調査（共に 10-11 月）の結果を比べると、改善したと考えられる点もあれば、悪化したと考えられる点もある。量的負荷の得点の低下は、働き方改革による在校等時間の縮減を反映したものと考えられる。他方、心理的ストレスを示す得点は上昇していた。その原因を本調査結果から詳らかにすることは困難だが、在校等時間以外の要素の変化が関与した可能性がある。

教諭のメンタルヘルスの状態を平均値で見てみると、心理的ストレス反応を感じている状態（K6 得点が 5 点以上）かつ、不眠症が疑われる状態（AIS 得点が 6 点以上）の境界線に近い得点であった。ただ、本調査で用いた手法はあくまでスクリーニングであり、専門的治療が必要な状態にあるか否かはケースごとに判断される必要がある。

(2)教諭が置かれた環境によるストレス状況の比較

総じて言うと、総在校等時間が長く、年齢が若く、担任する学級に長期欠席者（不登校）が在籍していた教諭ほど、ストレスの状況が悪い傾向にあった。相対的にストレス状況が悪い若年教員への支援や、多様な児童生徒への対応等の負担軽減が重要であると示唆された。

(3)教諭と他の職種の心理的ストレスの比較

教諭は他の職種と比べ、心理的ストレス反応相当（K6 得点が 5 点以上）に該当する割合が高かった。働き方改革の推進と併せ、メンタルヘルス不調の防止に向けた取組の必要性が示唆された。

(4)教諭の総在校等時間とストレスやメンタルヘルスに関わる要因

総在校等時間が長い教諭ほど、ストレスの状況が悪いことが明らかになった。また、総在校等時間が長い者ほど、睡眠時間が短く、疲労度が高かった。働き方改革の推進により平均的な在校時間は短縮している一方で、依然として在校等時間が長いグループが存在している。このグループが在校時間が長くなってしまう要因を明らかにし、支援していく必要性が示唆された。

(5)働き方改革の把握状況や勤務時間管理意識等の意識の向上と心理的ストレス

所属校の働き方改革の状況を把握していた者や、勤務時間管理意識等の意識が向上した者ほど、心理的ストレスの状況が良好であった。管理職のリーダーシップの発揮や教師自身の意識の向上を一体的に図っていくことによって、心理的ストレスの状況を改善できる可能性が示唆された。

(6)教諭の各業務項目へのやりがい、重要度、負担の分布

教諭は授業や授業準備といった業務にはやりがいを感じられることが明らかになった。一方で事務的な業務は、ストレスが特に高い業務であることが示唆された。事務的な業務は必ずしも多くの時間を占有しているわけではないものの（第 3 章）、教職本来の業務により専心できるような環境の整備がストレス低減に繋がる可能性が示唆された。

第9章 教員のメンタルヘルス・仕事満足度に影響を与える業務の探索

廣谷貴明

【本章のポイント】

- 小学校教諭は特に事務的業務や児童会指導、授業時間外における生徒指導にかける時間が長いとストレス状況が良くない。中学校教諭は特に生徒会指導や学習指導、個別の打ち合わせ、校内研修にかける時間が長いとストレス状況が良くない。
- 仕事満足度に関して、小中学校共に職員会議・学年会などの会議、授業時間外における生徒指導、保護者・PTA 対応にかける時間が長い教諭は仕事満足度が低い。このほか、中学校は、事務的業務や学校行事にかける時間が長い教諭は仕事満足度が低い。
- ストレス状況の悪化や仕事満足度の低下と関連する業務について、教職員定数の増加や教員業務支援員等の支援スタッフの配置といった人的資源の充実化、校務 DX を通じた会議におけるペーパーレス化や事前の議題共有、または資料の保存先の指定を通じた資料参照の効率化を通じて、業務の負担感の軽減を図ることが手段の例として考えられる。

1. 本章の目的

本章の目的は、教諭（主幹教諭・指導教諭含む、以下同じ）の業務内容別の在校等時間とストレス状況及び仕事満足度との関係を明らかにすることである。得られた分析結果から、教員にとって負荷の大きい業務は何かを示し、どの業務に対してどのような施策的介入が可能か検討するための知見を提示する。

2. 分析方法

以下の変数を使用した重回帰分析を行う。被説明変数として、①ストレス状況に関する指標、②仕事満足度に関する指標の 2 つを設定する。①のストレス状況に関する指標として、具体的には K6（Kesseler et al.　2002）を用いる。②の仕事満足度は「全く満足していない」を 0、「非常に満足している」を 10 とした、数値が高くなるほど仕事満足度が高いことを示す 11 段階の指標である。

説明変数には、①業務内容別の 1 週間の総在校等時間（単位：分）、②女性を 1、男性を 0 とした女性ダミー、③年代ダミー、④学級担任ダミー、⑤部活動顧問をしている場合を 1、していない場合を 0 とした部活動顧問ダミー、⑥学校規模（児童生徒数）、⑦家庭に子どもがいる場合を 1、いない場合を 0 とした子ども有ダミー、⑧家庭に要介護者がいる場合を 1、いない場合を 0 とした要介護者有ダミー、⑨SOC（Sense of Coherence）総得点（Anotovsky 1987=2001、山崎・戸ケ里・坂野編 2008）の 10 個の変数を設定する。

各分析で対象となる教諭の属性は表 9-1、表 9-2、使用する連続変数の記述統計量は表 9-3、表 9-4 に示した。

表 9-1　分析対象となる教諭の属性（K6 の分析）

	小学校（N=8337）		中学校（N=8474）	
	N	%	N	%
性別				
男性	3159	37.9%	4899	57.8%
女性	5087	61.0%	3474	41.0%
回答しない	91	1.1%	101	1.2%
年代				
～30歳	2220	26.6%	1911	22.6%
31～40歳	2174	26.1%	2379	28.1%
41～50歳	1863	22.3%	1906	22.5%
51～60歳	1808	21.7%	1899	22.4%
61歳～	272	3.3%	379	4.5%
学級担任				
学級担任（単式）	5682	68.2%	4380	51.7%
複式学級	85	1.0%	30	0.4%
特別支援学級	1240	14.9%	857	10.1%
専科指導	748	9.0%	2326	27.4%
通級指導または日本語指導	294	3.5%	115	1.4%
学級担任をしていない	288	3.5%	766	9.0%
部活動顧問				
顧問をしている			7803	92.1%
顧問をしていない			671	7.9%
子どもの有無				
いる	4453	53.4%	4334	51.1%
いない	3884	46.6%	4140	48.9%
要介護者の有無				
いる	1324	15.9%	1413	16.7%
いない	7013	84.1%	7061	83.3%

表 9-2　分析対象となる教諭の属性（仕事満足度の分析）

	小学校（N=8522）		中学校（N=8679）	
	N	%	N	%
性別				
男性	3237	38.0%	5034	58.0%
女性	5193	60.9%	3540	40.8%
回答しない	92	1.1%	105	1.2%
年代				
～30歳	2272	26.7%	1966	22.7%
31～40歳	2229	26.2%	2435	28.1%
41～50歳	1911	22.4%	1952	22.5%
51～60歳	1836	21.5%	1941	22.4%
61歳～	274	3.2%	385	4.4%
学級担任				
学級担任（単式）	5815	68.2%	4487	51.7%
複式学級	85	1.0%	30	0.3%
特別支援学級	1270	14.9%	872	10.0%
専科指導	760	8.9%	2391	27.5%
通級指導または日本語指導	297	3.5%	116	1.3%
学級担任をしていない	295	3.5%	783	9.0%
部活動顧問				
顧問をしている			7996	92.1%
顧問をしていない			683	7.9%
子どもの有無				
いる	4548	53.4%	4436	51.1%
いない	3974	46.6%	4243	48.9%
要介護者の有無				
いる	1358	15.9%	1445	16.6%
いない	7164	84.1%	7234	83.4%

表 9-3　使用変数の記述統計量（K6 の分析）

	小学校					中学校				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
K6	8337	6.14	5.18	0	24	8474	6.12	5.37	0	24
1週間の総在校等時間（単位：分）										
朝の業務	8337	209.72	115.55	0	1050	8474	226.17	113.68	0	1050
授業（主担当）	8337	1272.94	441.29	0	3000	8474	988.58	375.85	0	2760
授業（補助）	8337	101.90	192.30	0	2760	8474	117.44	176.79	0	2100
授業準備	8337	402.16	310.95	0	2640	8474	440.33	333.65	0	3150
学習指導	8337	105.28	220.70	0	2670	8474	68.98	147.63	0	2310
成績処理	8337	137.81	180.55	0	1860	8474	205.75	300.89	0	3060
生徒指導（集団1）	8337	285.44	186.84	0	1590	8474	249.27	165.48	0	2160
生徒指導（集団2）	8337	14.76	46.86	0	1860	8474	27.26	62.32	0	1440
生徒指導（個別）	8337	22.74	72.83	0	1470	8474	75.31	163.26	0	2640
部活動・クラブ活動	8337	18.01	65.54	0	960	8474	367.25	373.87	0	3540
児童会・生徒会指導	8337	13.47	36.62	0	750	8474	28.45	73.25	0	1080
学校行事	8337	88.75	210.01	0	3150	8474	85.00	210.23	0	2430
学年・学級経営	8337	103.76	153.96	0	1530	8474	142.14	204.43	0	2370
学校経営	8337	90.76	261.81	0	3600	8474	94.71	260.82	0	2940
職員会議・学年会などの会議	8337	100.70	105.29	0	1230	8474	93.48	99.14	0	780
個別の打ち合わせ	8337	30.34	67.29	0	810	8474	32.90	81.95	0	1950
事務（調査への回答）	8337	23.40	55.46	0	1320	8474	23.67	54.90	0	1470
事務（学納金関連）	8337	5.71	27.74	0	930	8474	6.49	31.16	0	750
事務（その他）	8337	84.02	183.47	0	3840	8474	94.18	179.83	0	2160
校内研修	8337	48.43	97.52	0	2520	8474	25.09	70.78	0	2130
保護者・PTA対応	8337	35.21	75.22	0	1020	8474	50.94	119.36	0	1470
地域対応	8337	4.06	29.24	0	1200	8474	4.82	29.38	0	960
行政・関係団体対応	8337	5.38	34.68	0	1320	8474	7.26	41.37	0	1080
校務としての研修	8337	42.35	113.72	0	2010	8474	47.27	139.65	0	2730
会議（校外）	8337	15.77	63.46	0	2010	8474	28.47	93.59	0	1740
学校規模	8337	508.19	252.81	5	1223	8474	467.08	227.33	1	1270
SOC総得点	8337	56.47	10.73	15	88	8474	56.31	11.05	18	88

（注）生徒指導（集団 1）は「正規の授業時間以外に行われる給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導」を示し、生徒指導（集団 2）は「正規の授業時間以外に行われる生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など生徒指導（集団 1）以外の指導」を示す。

表 9-4　使用変数の記述統計量（仕事満足度の分析）

	小学校					中学校				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
仕事満足度	8522	5.47	2.4	0	10	8679	5.43	2.47	0	10
1週間の総在校等時間（単位：分）										
総在校等時間	8522	3304.70	431.19	1500	5460	8679	3584.40	598.60	1500	6780
朝の業務	8522	209.83	115.62	0	1050	8679	226.04	113.68	0	1050
授業（主担当）	8522	1274.15	442.04	0	3000	8679	987.72	376.15	0	2760
授業（補助）	8522	101.70	191.24	0	2760	8679	117.76	176.81	0	2100
授業準備	8522	402.49	311.19	0	2640	8679	440.73	333.93	0	3150
学習指導	8522	105.60	221.05	0	2670	8679	69.56	149.25	0	2310
成績処理	8522	138.11	180.91	0	1860	8679	206.14	300.41	0	3060
生徒指導（集団1）	8522	284.73	186.81	0	1590	8679	249.18	165.62	0	2160
生徒指導（集団2）	8522	14.73	46.68	0	1860	8679	27.22	62.03	0	1440
生徒指導（個別）	8522	22.56	72.28	0	1470	8679	75.37	163.34	0	2640
部活動・クラブ活動	8522	17.93	65.28	0	960	8679	367.42	374.87	0	3540
児童会・生徒会指導	8522	13.43	36.44	0	750	8679	28.28	72.74	0	1080
学校行事	8522	89.12	211.92	0	3150	8679	84.80	209.97	0	2430
学年・学級経営	8522	103.20	152.74	0	1530	8679	142.11	206.16	0	2640
学校経営	8522	90.71	262.22	0	3600	8679	95.16	263.21	0	2940
職員会議・学年会などの会議	8522	100.11	104.88	0	1230	8679	93.56	99.43	0	780
個別の打ち合わせ	8522	30.15	66.91	0	810	8679	32.81	82.08	0	1950
事務（調査への回答）	8522	23.30	55.32	0	1320	8679	23.59	54.70	0	1470
事務（学納金関連）	8522	5.66	27.63	0	930	8679	6.52	31.41	0	750
事務（その他）	8522	83.80	182.63	0	3840	8679	93.86	179.75	0	2160
校内研修	8522	48.63	98.72	0	2520	8679	24.92	70.28	0	2130
保護者・PTA対応	8522	35.10	74.96	0	1020	8679	50.96	119.70	0	1470
地域対応	8522	4.10	29.54	0	1200	8679	4.83	29.42	0	960
行政・関係団体対応	8522	5.28	34.28	0	1320	8679	7.47	42.59	0	1080
校務としての研修	8522	42.45	114.57	0	2010	8679	46.87	138.74	0	2730
会議（校外）	8522	15.63	62.91	0	2010	8679	28.44	93.16	0	1740
学校規模	8522	508.07	252.68	5	1223	8679	466.86	227.26	1	1270
SOC総得点	8522	56.42	10.74	15	88	8679	56.28	11.06	18	88

（注）生徒指導（集団 1）は「正規の授業時間以外に行われる給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導」を示し、生徒指導（集団 2）は「正規の授業時間以外に行われる生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など生徒指導（集団 1）以外の指導」を示す。

3. 分析結果

(1)K6 を被説明変数とした分析

K6 を被説明変数とした分析結果が表 9-5 である。表 9-5 から、小中学校とも各業務にかける時間の長さに関する係数の符号の多くがプラスであることから、各業務に従事する時間が長い教諭は K6 が高いことがわかる。係数の大小関係に着目して、特に K6 の増加と関連している業務を抽出すると、小学校においては「生徒指導（集団 2)」「事務（学納金関連)」「生徒指導（個別)」「児童会・生徒会指導」と K6 の関連性がこの順に大きく、中学校においては「児童会・生徒会指導」「学習指導」「個別の打ち合わせ」「校内研修」との関連性が大きい。

このほか、小学校においては「授業（主担当)」「授業（補助)」「授業準備」「学習指導」「成績処理」「生徒指導（集団 1)」「学校行事」「学年・学級経営」「学校経営」「職員会議・学年会などの会議」「事務（調査への回答)」「事務（その他)」「校内研修」「保護者・PTA 対応」「校務としての研修」にかける時間が長い教諭は K6 が高く、中学校においては「授業（主担当)」「授業（補助)」「授業準備」「成績処理」「生徒指導（個別)」「学校行事」「学校経営」「事務（その他)」「保護者・PTA 対応」「会議（校外)」にかける時間が長い教諭は K6 が高いことも指摘できる。

(2)仕事満足度を被説明変数とした分析

仕事満足度を被説明変数とした分析結果が表 9-6 ある。小中学校共に各業務にかける時間の長さに関する係数の符号の多くがマイナスであることから、各業務に従事する時間が長い教諭は仕事満足度が低いことがわかる。係数の大小関係に着目して、特に仕事満足度の低下と関連している業務を抽出すると、小学校においては「保護者・PTA 対応」「生徒指導（個別)」「職員会議・学年会などの会議」「生徒指導（集団 1)」との関連性が大きく、中学校においては「職員会議・学年会などの会議」「保護者・PTA 対応」「生徒指導（個別)」「学校行事」「事務（その他)」との関連性が大きい。

このほか、小学校においては「授業（主担当)」「授業準備」「学習指導」「成績処理」「学校行事」「学年・学級経営」「学校経営」「事務（その他)」にかける時間が長い教諭は仕事満足度が低く、中学校においては「授業（主担当)」「成績処理」「学校経営」にかける時間が長い教諭は仕事満足度が低いことも指摘できる。

表 9-5　1週間の各業務にかける在校等時間と K6 の関係に関する重回帰分析の結果

	小学校		中学校	
	B	S.E.	B	S.E.
1週間の総在校等時間（単位：分）				
朝の業務	-0.00002	0.0004	0.0002	0.0004
授業（主担当）	0.0008 ***	0.0002	0.0011 ***	0.0001
授業（補助）	0.0011 ***	0.0003	0.0008 ***	0.0003
授業準備	0.0006 ***	0.0001	0.0006 ***	0.0001
学習指導	0.0009 ***	0.0002	0.0014 ***	0.0003
成績処理	0.0008 ***	0.0002	0.0005 ***	0.0001
生徒指導（集団1）	0.0010 ***	0.0003	-0.0001	0.0003
生徒指導（集団2）	0.0036 ***	0.0009	0.0005	0.0007
生徒指導（個別）	0.0021 ***	0.0006	0.0009 ***	0.0003
部活動・クラブ活動	0.0004	0.0006	-0.00004	0.0001
児童会・生徒会指導	0.0020 *	0.0011	0.0016 ***	0.0006
学校行事	0.0008 ***	0.0002	0.0006 ***	0.0002
学年・学級経営	0.0008 ***	0.0003	0.0003	0.0002
学校経営	0.0005 ***	0.0002	0.0006 ***	0.0002
職員会議・学年会などの会議	0.0009 **	0.0004	0.0006	0.0004
個別の打ち合わせ	0.0008	0.0006	0.0013 **	0.0005
事務（調査への回答）	0.0016 **	0.0008	0.0012	0.0008
事務（学納金関連）	0.0032 **	0.0015	-0.0006	0.0013
事務（その他）	0.0006 **	0.0003	0.0008 ***	0.0002
校内研修	0.0008 *	0.0004	0.0012 **	0.0006
保護者・PTA対応	0.0015 ***	0.0006	0.0009 **	0.0004
地域対応	-0.0001	0.0014	0.0009	0.0014
行政・関係団体対応	-0.0009	0.0012	-0.00009	0.0010
校務としての研修	0.0011 ***	0.0004	0.0003	0.0003
会議（校外）	0.0006	0.0007	0.0008 *	0.0005
性別（ref：男性）				
女性	0.2130 **	0.0894	0.1979 **	0.0903
回答しない	0.8061 **	0.4015	0.7471 *	0.3852
年代（ref：～30歳）				
31～40歳	0.4757 ***	0.1250	-0.0230	0.1249
41～50歳	0.2024	0.1396	-0.1314	0.1423
51～60歳	0.2274	0.1484	-0.3155 **	0.1514
61歳～	-0.0311	0.2653	-0.4946 **	0.2392
学級担任（ref：単式）				
複式学級	-0.7757 *	0.4122	0.4247	0.6989
特別支援学級	-0.1679	0.1292	0.0358	0.1547
専科指導	0.0035	0.1731	-0.0168	0.1150
通級指導または日本語指導	0.1942	0.2493	-0.5760	0.3721
学級担任をしていない	-0.1994	0.2910	0.1087	0.1657
部活動顧問（ref：顧問をしていない）				
顧問をしている			-0.1357	0.1614
学校規模	0.0002	0.0002	0.0000	0.0002
子どもの有無（ref：いない）				
いる	-0.2034 **	0.1015	-0.2161 **	0.0978
要介護者の有無（ref：いない）				
いる	0.5382 ***	0.1199	0.4898 ***	0.1181
SOC総得点	-0.3237 ***	0.0039	-0.3337 ***	0.0038
定数項	21.3997 ***	0.4796	22.8901 ***	0.4388
N	8337		8474	
R^2	0.4775		0.5019	
F	189.56 ***		207.21 ***	

（注 1）*：p<.10、**：p<.05、***：p<.01

表 9-6　1週間の各業務にかける在校等時間と仕事満足度の関係性に関する重回帰分析の結果

	小学校		中学校	
	B	S.E.	B	S.E.
1週間の総在校等時間（単位：分）				
朝の業務	0.00007	0.00020	0.00016	0.00019
授業（主担当）	-0.00025 ***	0.00009	-0.00022 ***	0.00008
授業（補助）	-0.00017	0.00014	-0.00009	0.000142
授業準備	-0.00015 **	0.00008	-0.00006	0.00007
学習指導	-0.00030 **	0.00012	0.00019	0.00015
成績処理	-0.00026 **	0.00013	-0.00020 **	0.00008
生徒指導（集団1）	-0.00049 ***	0.00014	-0.00010	0.00014
生徒指導（集団2）	-0.00049	0.00047	-0.00029	0.00035
生徒指導（個別）	-0.00084 ***	0.00031	-0.00039 ***	0.00014
部活動・クラブ活動	-0.00014	0.00033	-0.00008	0.00006
児童会・生徒会指導	-0.00045	0.00059	-0.00015	0.00030
学校行事	-0.00038 ***	0.00011	-0.00036 ***	0.00011
学年・学級経営	-0.00030 **	0.00015	-0.00005	0.000111
学校経営	-0.00022 **	0.00010	-0.00025 ***	0.00009
職員会議・学年会などの会議	-0.00052 **	0.00021	-0.00062 ***	0.00022
個別の打ち合わせ	0.00043	0.00034	-0.00022	0.00027
事務（調査への回答）	-0.00013	0.00039	-0.00048	0.00040
事務（学納金関連）	-0.00028	0.00078	-0.00103	0.00069
事務（その他）	-0.00032 **	0.00013	-0.00031 **	0.00013
校内研修	-0.00007	0.00022	-0.00035	0.00031
保護者・PTA対応	-0.00097 ***	0.00029	-0.00040 **	0.00019
地域対応	-0.00041	0.00073	0.00097	0.00074
行政・関係団体対応	-0.00034	0.00063	0.00074	0.00051
校務としての研修	-0.00009	0.00020	-0.00010	0.00016
会議（校外）	0.00021	0.00035	-0.00008	0.000237
性別（ref：男性）				
女性	0.07644 *	0.04622	0.07581	0.04691
回答しない	-0.73600 ***	0.20881	-0.23745	0.19866
年代（ref：～30歳）				
31～40歳	-0.02483	0.06469	-0.02240	0.06482
41～50歳	0.17628 **	0.07223	0.07083	0.07382
51～60歳	0.23415 ***	0.07694	0.03293	0.07869
61歳～	0.46464 ***	0.13809	0.16204	0.12443
学級担任（ref：単式）				
複式学級	0.24415	0.21556	0.20868	0.36726
特別支援学級	0.06450	0.06681	0.10656	0.08050
専科指導	0.13498	0.08951	0.14836 **	0.05969
通級指導または日本語指導	0.41797 ***	0.12949	0.51428 ***	0.19453
学級担任をしていない	0.09147	0.15124	0.15745 *	0.08610
部活動顧問（ref：顧問をしていない）				
顧問をしている			0.12056	0.08402
学校規模	-0.00023 ***	0.00009	-0.00009	0.00010
子どもの有無（ref：いない）				
いる	-0.01652	0.05260	0.05013	0.05078
要介護者の有無（ref：いない）				
いる	-0.23842 ***	0.06190	-0.17420 ***	0.06142
SOC総得点	0.12387 ***	0.00203	0.12860 ***	0.00199
定数項	-0.70045 ***	0.24815	-1.44754 ***	0.22781
N	8522		8679	
R^2	0.3378		0.3504	
F	108.17 ***		113.61 ***	

（注）*：p<.10、**：p<.05、***：p<.01

4. 考察

ここまでどのような業務がストレス状況の悪化や仕事満足度の低下につながりうるのかを検討してきた。ストレス状況の悪化や仕事満足度の低下と特に関連すると確認された業務のうち事務的な業務（調査への回答、学納金関連等）や学校経営に必要な業務（学校行事、学校経営）については、事務職員との連携や教員業務支援員等の支援スタッフの配置・活用を通じて、各業務に係る負担を軽減することが可能であると考えられる。職員会議などの会議や個別の打ち合わせにかける時間の長さもストレス状況の悪化や仕事満足度の低下と関連していたことから、会議や打ち合わせを行う際には、校務 DX を通じた議題の精選や事前の資料共有、ペーパーレス化、指定のフォルダへの資料の保存を通じた資料参照の効率化等の取組を継続的に実施して、会議や打ち合わせ時間の短縮化を図ることが有効になると考えられる。

一方で授業や学習指導、生徒指導、児童会・生徒会指導といった、教員に本来的に求められる子どもと向き合う時間の長さもストレス状況の悪化や仕事満足度の低下につながっていることが示された。これらの背景として、教員数の不足に伴う負担の増大や多様な児童生徒のニーズに応えることの必要性が考えられる。心理的な負担を小さくし、かつ教員が子どもに向き合うことができる環境を整備するために、予備時数の削減や教科担任制等による持ちコマ数の縮減、教職員定数の改善を図ることや支援スタッフの配置を通じた多様なニーズへの対応等を図っていくことが 1 つの手段として考えられるだろう。

参考文献

山崎喜比古・戸ケ里泰典・坂野純子編（2008）『ストレス対処能力 SOC』有信堂高文社。

Antonovsky, A. (1987) Unraveling the Mystery of Health: How People Manage Stress and Stay Well, San Francisco: Jossey-Bass（山崎喜比古・吉井清子[監訳]（2001）『健康の謎を解く―ストレス対処と健康保持のメカニズム―』有信堂高文社）.

Kessler, R. C., Andrews, G., Colpe, L. J., Hiripi, E., Mroczek, D. K., Normand, S. L. T., Walters, E. E. & Zaslavsky, A. M. (2002) “Short Screening Scales to Monitor Population Prevalences and Trends in Non-Specific Psychological Distress”, *Psychological Medicine*, 32(6), pp.152-158.

第10章　働き方改革が教諭のメンタルヘルス等に与える影響

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- 働き方改革による教員の意識変化が、メンタルヘルス等にどのような影響を与えているかを分析。働き方改革により、時間管理が高まった教諭の方が、うつ傾向が低い。また、ワーク・エンゲイジメント（仕事に関連するポジティブで充実した心理状態：熱意・没頭・活力）については、働き方の意識が高まった教諭の方が、「活力」をもって仕事に取り組んでいる。働き方の意識が高まった教諭の方が、「仕事と仕事以外の生活とのバランス」に対する満足度も高い。
- ただし、これらのメンタルに関しては、教員個人の時間管理意識だけでなく、職場環境整備も重要。例えば、「時間管理が高まった」教諭でも、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」がなされていない場合は、うつ傾向が強め（K6 は高い）。逆に、時間管理意識、リーダーシップによる勤務環境整備の両方を達成している場合は、平成 28 年度調査平均より K6 が低い。
- 働き方改革により教員個々の時間管理を高めることは、教員のメンタルヘルスの面からも有効。加えて、教員個々の意識だけでなく、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」を行うことが、教員のメンタルヘルスには重要。

1.　本章の目的

働き方改革による教員の意識変化が、メンタルヘルス等にどのような影響を与えているかを明らかにする。

2.　分析方法

教諭（主幹、指導含む）を対象に、働き方改革による時間管理に関する意識（教員調査問 36）によって、K6 等のメンタルヘルスに関わる指標に違いがあるかを分析する。

さらに、働き方改革による勤務環境整備によって K6 等のメンタルヘルスに関わる指標に違いがあるかをアンケート及びヒアリング結果から分析した。

なお、分析においては、第 8 章と同様に、教諭には主幹教諭・指導教諭・教諭と回答した者を含む。性別が不詳の個票、年齢が不詳もしくは 60 歳以上の個票は集計から除外した。

（参考）

教員調査問 36	労働安全衛生法等に基づき、ICT 等の客観的な方法によって労働時間を把握することが求められています。また、働き方改革に向けて、令和元年に給特法の一部改正が行われ、在校等時間の上限などを定める指針が策定されました。これを踏まえたあなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか。

3. 分析結果

（1）働き方の意識とうつ傾向（K6）との関係

教諭の働き方の時間管理意識別に、教諭のうつ傾向（K6 得点）をみると、働き方の時間管理意識が高まったと思う教諭の方が、うつ傾向が低い。

特に、働き方の時間管理意識が高まったかとの設問に「そう思う」と回答した教諭の K6 は、小学校で 55.4%が、中学校で 60.8%が、0-4 点の範囲となっており、得点が低く抑えられている。

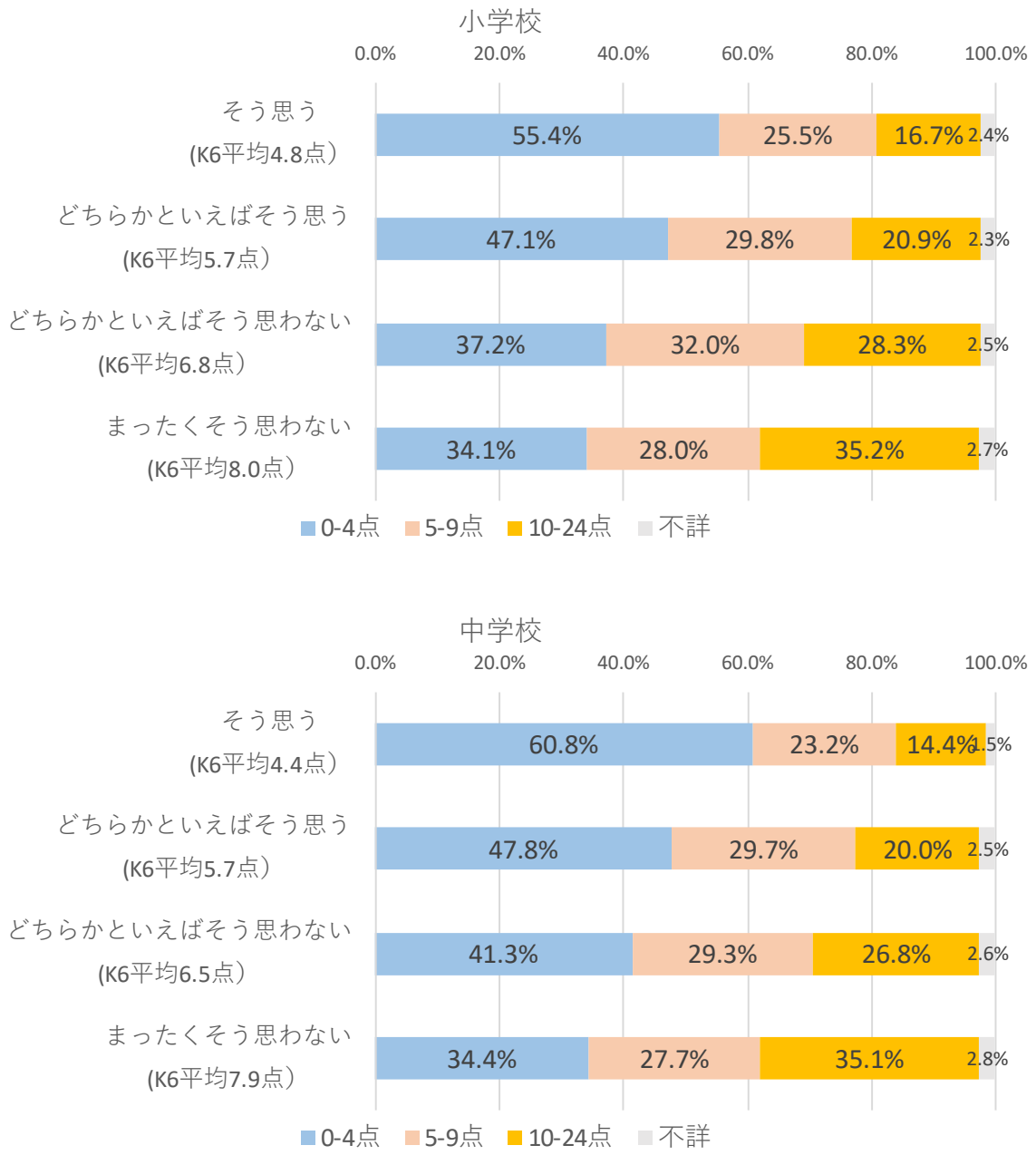
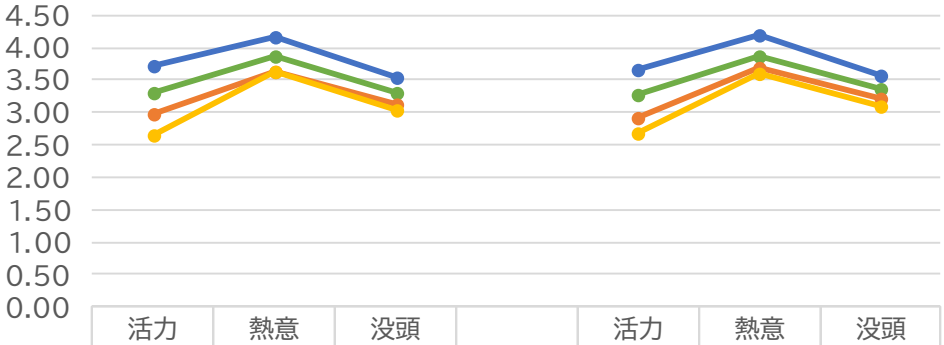


図 10-1　時間管理意識別　うつ傾向（K6 得点）（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（2）ワーク・エンゲイジメント

教諭の働き方の時間管理意識別に、ワーク・エンゲイジメント（仕事に関連するポジティブで充実した心理状態：活力・熱意・没頭）の得点をみた。結果、働き方の意識が高まった教諭の方が、仕事にポジティブな心理状態となっている。特に、「活力」について、時間管理意識が高まったに「そう思う」教諭と「そう思わない」教諭での得点の差が大きい。

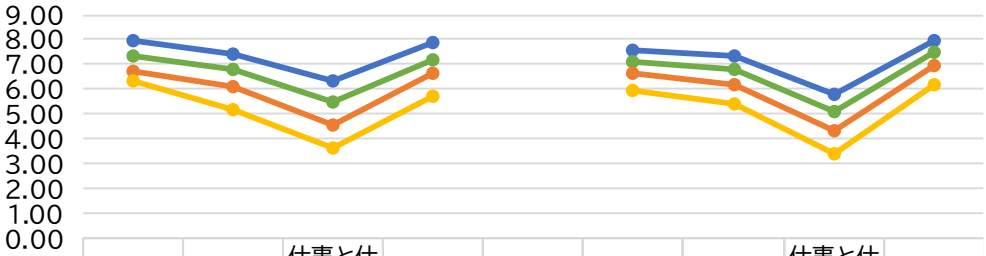


	小学校 活力	小学校 熱意	小学校 没頭		中学校 活力	中学校 熱意	中学校 没頭
そう思う	3.72	4.16	3.53		3.66	4.19	3.56
どちらかといえばそう思う	3.30	3.87	3.31		3.26	3.88	3.38
どちらかといえばそう思わない	2.97	3.63	3.13		2.93	3.70	3.22
まったくそう思わない	2.66	3.63	3.05		2.67	3.60	3.09

図 10-2　時間管理意識別　ワーク・エンゲイジメント得点（0～6 点）
（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（3）仕事等の満足度

教諭の働き方の時間管理意識別に、各種満足度（生活、仕事、仕事と仕事以外の生活とのバランス、教師としての仕事そのもの）の得点をみると、働き方の意識が高まった教諭の方が、各種項目の満足度が高くなっている。特に、「仕事と仕事以外の生活とのバランス」について、時間管理意識が高まったに「そう思う」教諭と「そう思わない」教諭での差が大きい。



	小学校					中学校			
	生活	仕事	仕事と仕事以外の生活とのバランス	教師としての仕事そのもの		生活	仕事	仕事と仕事以外の生活とのバランス	教師としての仕事そのもの
そう思う	7.96	7.40	6.36	7.89		7.60	7.34	5.80	7.98
どちらかといえばそう思う	7.31	6.80	5.47	7.20		7.08	6.77	5.12	7.46
どちらかといえばそう思わない	6.75	6.08	4.60	6.61		6.67	6.21	4.36	6.92
まったくそう思わない	6.30	5.20	3.61	5.73		5.96	5.39	3.38	6.19

図 10-3　時間管理意識別　満足度得点（0～10 点）（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（4）管理職のリーダーシップとの関係

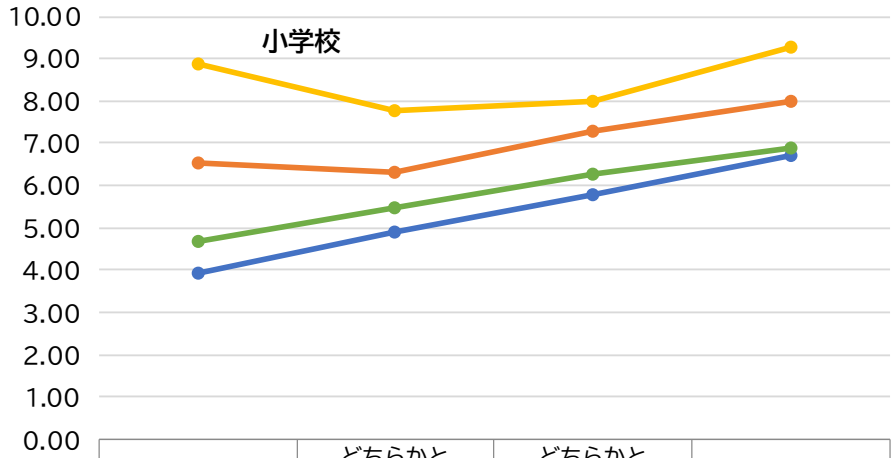
第 6 章、第 7 章でみたように、働き方改革の推進には、教員個々人の意識改革と共に、学校全体をけん引する管理職の役目が重要である。これを踏まえて、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備（教員調査問 35）」と「教諭個人の働き方の時間管理意識」の組み合わせにより、教諭のメンタルヘルス等にどのような違いがあるかをみる。

（参考）

教員調査問 35	あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか。

「時間管理意識が高まった」が「そう思う」教諭のうち、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」がなされていると考える教諭は、K6 の平均得点が 4 点台以下となっている。この値は、前回調査（平成 28 年度調査）よりも低い値である[9]。一方で、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」がなされていないと考える教諭は、「時間管理意識が高まった」について「そう思う」と回答した教諭でも K6 の平均得点は高く、この傾向は小学校で顕著である。

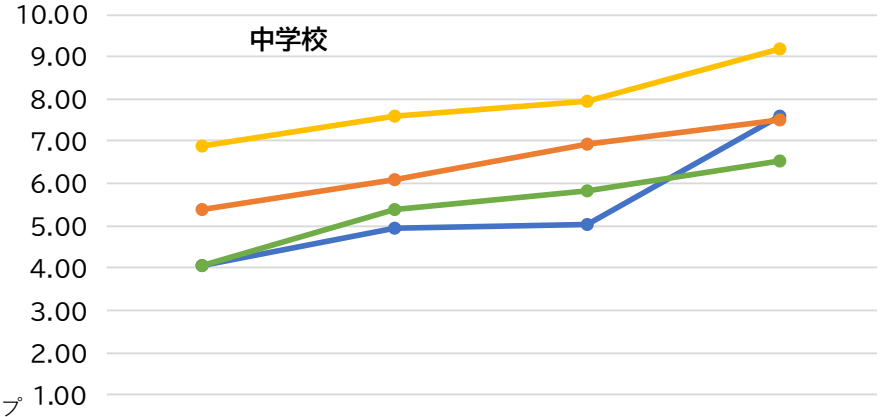
教諭個人のメンタルヘルスには、教員個人の「働き方の時間管理意識」だけでなく、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」が影響していることが伺える。



リーダーシップによる勤務環境 ＼ 個人の時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	3.94	4.89	5.80	6.70
どちらかといえばそう思う	4.65	5.46	6.29	6.89
どちらかといえばそう思わない	6.55	6.30	7.30	7.99
まったくそう思わない	8.85	7.79	8.00	9.28

図 10-4　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　K6 得点（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校

[9] 平成 28 年度調査の教諭の K6 平均値は、小学校 5.49、中学校 5.69 である。

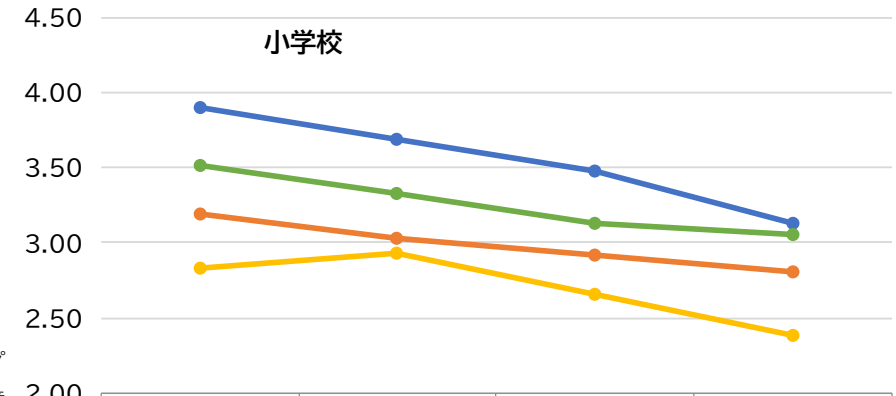


時間管理意識 ＼ リーダーシップによる勤務環境	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
高まった	4.07	4.96	5.01	7.59
どちらかというと高まった	4.05	5.36	5.80	6.52
どちらかというと高まっていない	5.37	6.08	6.92	7.52
高まっていない	6.90	7.61	7.97	9.19

図 10-5　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・働き方の意識別　K6 得点
（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校

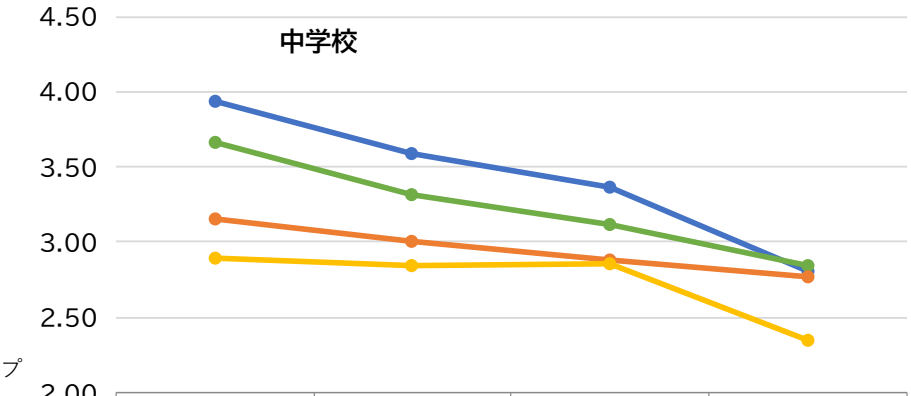
①ワーク・エンゲイジメント

管理職のリーダーシップによる勤務環境整備別・時間管理意識別の教諭のワーク・エンゲイジメントを整理すると、特に「活力」及び中学校の「熱意」「没頭」については、教員個人の「時間管理意識」だけでなく「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」も影響していることがわかる。



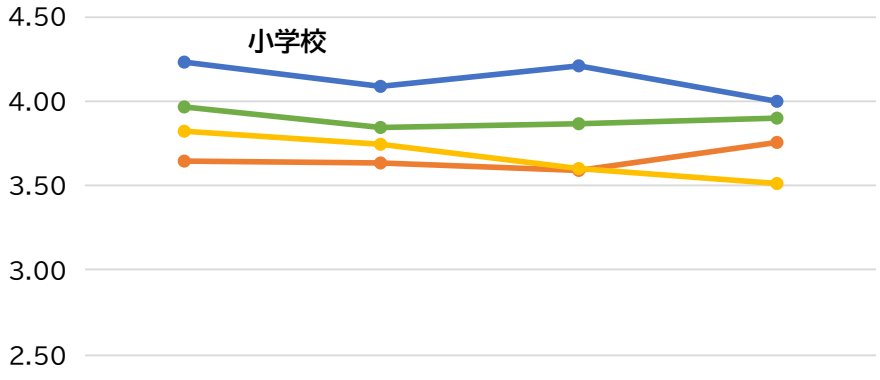
時間管理意識 ＼ リーダーシップによる勤務環境	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	3.90	3.69	3.47	3.13
どちらかといえばそう思う	3.51	3.33	3.13	3.05
どちらかといえばそう思わない	3.19	3.03	2.92	2.80
まったくそう思わない	2.83	2.93	2.66	2.38

図 10-6　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　活力
（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校



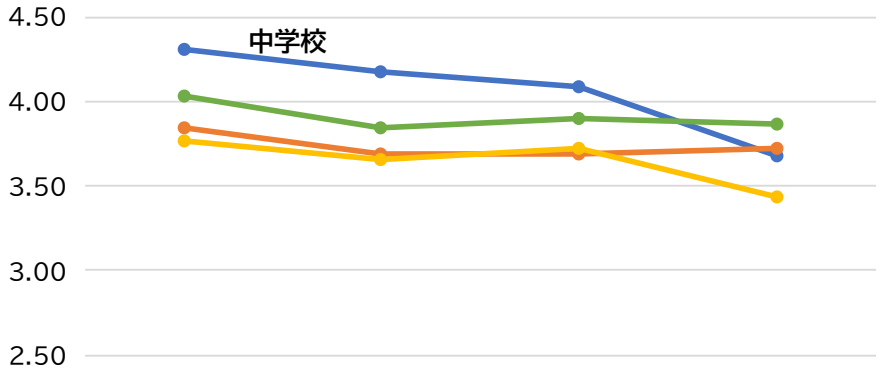
時間管理意識 ＼ リーダーシップによる勤務環境	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	3.94	3.58	3.37	2.80
どちらかといえばそう思う	3.66	3.31	3.12	2.84
どちらかといえばそう思わない	3.15	3.00	2.88	2.77
まったくそう思わない	2.89	2.85	2.85	2.34

図 10-7　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　活力
（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校



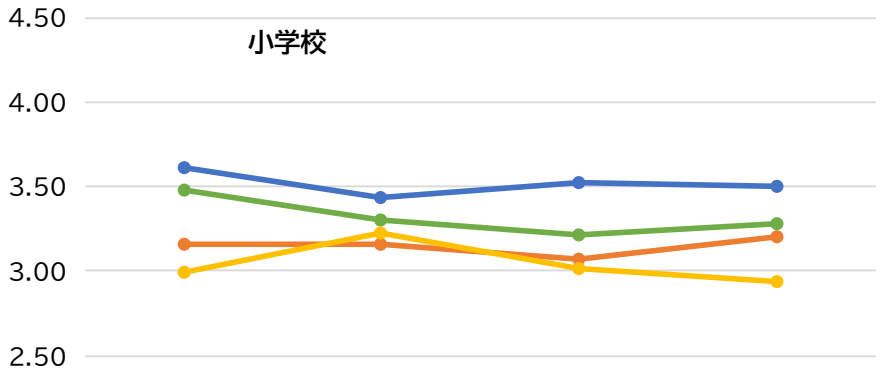
リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	4.23	4.09	4.21	4.00
どちらかといえばそう思う	3.97	3.84	3.86	3.90
どちらかといえばそう思わない	3.65	3.64	3.59	3.75
まったくそう思わない	3.82	3.74	3.60	3.51

図 10-8　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　熱意
（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校



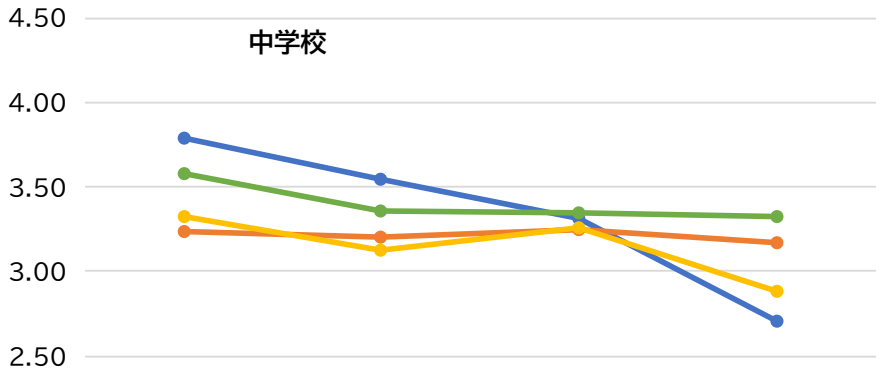
リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	4.31	4.18	4.09	3.67
どちらかといえばそう思う	4.03	3.84	3.90	3.86
どちらかといえばそう思わない	3.84	3.69	3.68	3.72
まったくそう思わない	3.77	3.66	3.72	3.43

図 10-9　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　熱意
（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校



リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	3.61	3.43	3.52	3.50
どちらかといえばそう思う	3.48	3.30	3.21	3.28
どちらかといえばそう思わない	3.16	3.16	3.06	3.21
まったくそう思わない	2.99	3.22	3.01	2.94

図 10-10　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　教頭（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校

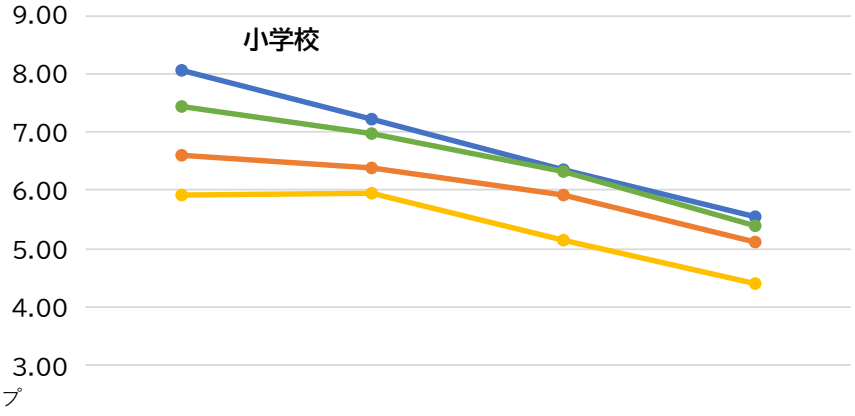


リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	3.78	3.54	3.32	2.70
どちらかといえばそう思う	3.57	3.36	3.35	3.33
どちらかといえばそう思わない	3.23	3.20	3.25	3.17
まったくそう思わない	3.32	3.13	3.26	2.88

図 10-11　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別　教頭（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校

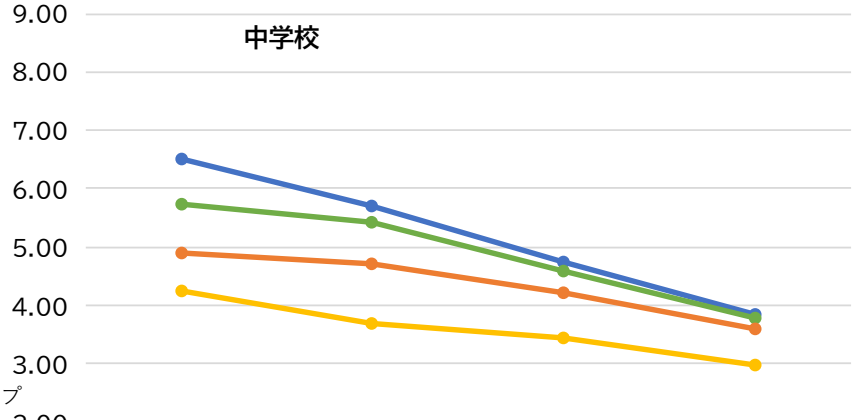
②満足度

管理職のリーダーシップによる勤務環境整備別・働き方の意識（時間管理・効率化）別の教諭の満足度を整理すると、「仕事と仕事以外の生活とのバランス」「仕事」のいずれにおいても、教員個人の「時間管理意識」だけでなく「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」も影響していることがわかる。



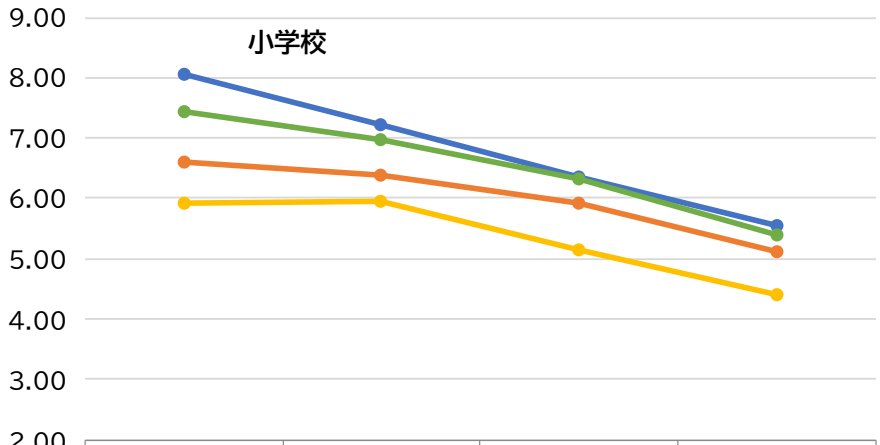
時間管理意識 ＼ リーダーシップによる勤務環境	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	8.07	7.22	6.35	5.56
どちらかといえばそう思う	7.44	6.97	6.31	5.40
どちらかといえばそう思わない	6.60	6.39	5.92	5.11
まったくそう思わない	5.92	5.95	5.16	4.42

図 10-12　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別
仕事と仕事以外の生活とのバランスの満足度（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校



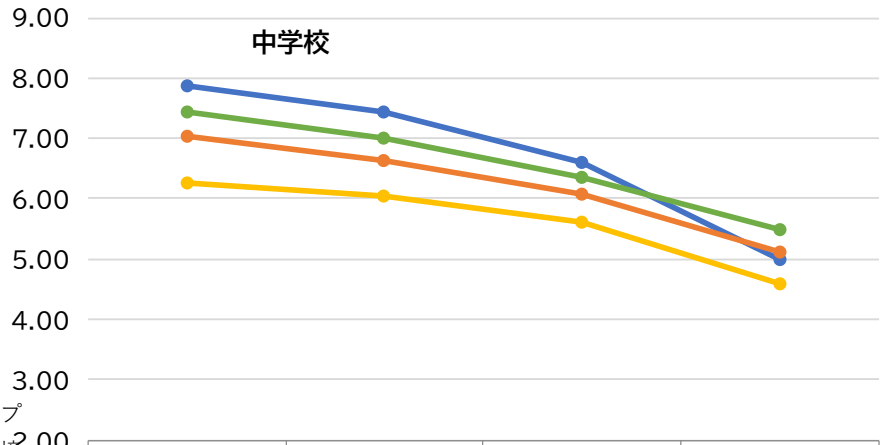
時間管理意識 ＼ リーダーシップによる勤務環境	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	6.51	5.71	4.75	3.84
どちらかといえばそう思う	5.72	5.43	4.58	3.78
どちらかといえばそう思わない	4.91	4.71	4.22	3.60
まったくそう思わない	4.25	3.70	3.44	2.98

図 10-13　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・働き方の意識別
仕事と仕事以外の生活とのバランスの満足度（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校



リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	8.07	7.22	6.35	5.56
どちらかといえばそう思う	7.44	6.97	6.31	5.40
どちらかといえばそう思わない	6.60	6.39	5.92	5.11
まったくそう思わない	5.92	5.95	5.16	4.42

図 10-14　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別
仕事満足度（教諭（主幹、指導含む）のみ）　小学校



リーダーシップによる勤務環境 ＼ 時間管理意識	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない
そう思う	7.86	7.43	6.59	5.00
どちらかといえばそう思う	7.43	7.02	6.34	5.49
どちらかといえばそう思わない	7.02	6.65	6.06	5.13
まったくそう思わない	6.25	6.04	5.62	4.61

図 10-15　管理職のリーダーシップによる勤務環境整備・時間管理意識別
仕事満足度（教諭（主幹、指導含む）のみ）　中学校

(5)ヒアリングからみたストレスの少ない学校の特徴

ヒアリング結果から、ストレスが少ない職場環境の要因についての意見を整理した。今回ヒアリングをした全ての学校で、ストレスが少ない要因として、教員間のコミュニケーションが緊密であり、情報交換が頻繁になされていることがあげられた。さらに、管理職等も積極的に教員に声がけをして、教員が相談しやすい雰囲気を作っていた。

さらに、教員間の連絡が密で児童生徒の情報が共有されているため、トラブル等を未然に防ぎやすく、大きな問題が起きにくいため、その結果、ストレスの減少につながっていた。

- 40 歳台の中堅の教員が数名おり、彼らが全体を目配りしてくれている。若手に声をかける、相談にのるなど、風通しの良い職場にしてくれている。相談しやすい環境になっており、悩みなども教員 1 人で抱え込んだりしなくて済むようになっている。
- 教員間の仲がいいと、業務でわからない時相談できたり、他の先生のやり方を聞いたりできるため仕事がしやすくなる。逆に、誰かと誰かが争っている職場だと、殺伐とした雰囲気になり、当事者でなくても周りはストレスになる。
- 職員室の雰囲気を明るくすることが重要。若手教員は「何を聞いていいかわからない」ところもあるので、質問しやすい雰囲気になるようにしている。例えば、若手と 40 歳台の席を隣にするなど、職員室の配置にも配慮している。
- ベテランの教員たちが、若い教員に話かけている。若手も相談しやすい雰囲気がある。そのような先生が何人かいると職員室も上手くまわる。
- 教員同士が相談しあい、よくコミュニケーションをしている。同僚や先輩に相談する姿をよく見かける。みんながカバーしあう文化がある。年齢が近い先生が多く、話しやすいのかもしれない。これが教員のストレスが少ない要因かもしれない。
- 職員室の雰囲気が明るい。笑い声も多い。校長先生も明るい方で、職員を引っ張っていってくれる。校長先生は頻繁に職員室に顔を出しているし、教員も校長室に相談しに行くことが多い。気楽に話せる雰囲気がある。
- 帰宅時間が早まったことで、職員室の雰囲気が明るくなったように感じる。働き方改革の効果を感じて、職員もみな、働くのが楽しくなっているように感じる。また、気軽に相談しやすい雰囲気がある。何か問題が起こると、すぐみんなが把握し、校長にも伝わる。
- 職員同士が職員室でよく会話していることが多く、情報交換も頻繁に行われている。年齢関係なく教員同士が話している。雰囲気がよく楽しくやっている感じがする。教頭先生が、教員の話を聞いてくれることも大きく、相談するとアドバイスがもらえる。また、教員間で生徒の細かな情報共有を行っており、きめ細やかな指導を行えるようにしている。そのため、大きなトラブルが発生しにくい。
- 各学年の先生間で、良くコミュニケーションをとっている。空き時間で、生徒の情報交換を行っている。その場面で情報交換ができているので、あえて会議を行わなくても大丈夫である。

4. 考察

本章では、働き方改革が教諭のメンタルヘルスにどのような影響を与えているかを分析した。その結果、働き方改革により、時間管理意識が高まった教諭の方が、うつ傾向が低かった（K6 得点 0-4 点の割合が、5～6 割）。

さらに、仕事に関連するポジティブで充実した心理状態を表す指標であるワーク・エンゲイジメントについては、時間管理意識が高まった教諭の方が、「活力」をもって仕事に取り組んでいることがわかった。また、時間管理意識が高まった教諭の方が、「仕事と仕事以外の生活とのバランス」に対する満足度も高かった。

ただし、メンタルヘルスに関しては、教員個人の意識だけでなく、職場環境整備の影響も大きいことがわかった。例えば、「時間管理意識が高まった」教諭でも、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」がなされていない場合は、うつ傾向が強め（K6 は高い）。一方で、時間管理意識、リーダーシップによる勤務環境整備の両方を達成している場合は、平成 28 年度調査の K6 平均値より K6 が低くなっている。

また、ヒアリングからは、教員のストレスの少ない学校（平均の K6 値が低い学校）は、職場雰囲気が良く、教員間のコミュニケーションが活発に行われていた。さらに、児童生徒の情報も共有できるため、生徒の問題が未然に防げており、ストレス軽減にもつながっていた。

働き方改革により教員個々の働き方の意識（時間管理・効率化）を高めることは、教員のメンタルヘルスの面からも有効であった。加えて、教員個々の意識だけでなく、「管理職のリーダーシップによる勤務環境整備」を行うことが、教員のメンタルヘルスには重要だといえる。第 8 章でみたように、各教員が働き改革を進めるためには、計画性をもって業務を行うことが求められる。計画性をもって業務を行うことが苦手な教員、あるいは仕事を早めに切り上げることに抵抗感がある教員などには、働き改革を進めることでストレスがかかる可能性もある。このように、働き方の意識が高めることができていない教員に対しては、管理職の個別のフォローも求められる。

第４部　支援スタッフの配置効果に関する分析

第11章　支援スタッフの配置効果に関する基本分析

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- **教員業務支援員を一定時間以上（週 30 時間以上）配置している学校は、支援員がいない学校に比べて、「学校経営」「事務その他」の時間が短い。**
- **長期欠席者が 1 名以上いる学級の担任のうち、スクールカウンセラー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭よりも、K6 の平均値が低い（抑うつ傾向が抑えられている）。**
- **運営に困難をきたしている学級がある学校において、スクールソーシャルワーカー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭よりも K6 の平均値が低い（抑うつ傾向が抑えられている）。**

1.　本章の目的

支援スタッフ（教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）の配置の有無で、教員の働き方にどのような影響があるかを明らかにする。

2.　分析方法

支援スタッフのうち、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の有無によって、教員の在校等時間やメンタルヘルスに違いがあるかを分析する。

比較の際は、各支援スタッフの配置目的を念頭に置いた上で、比較対象や比較項目を検討する。具体的には、スクールカウンセラーについては、不登校児童生徒の増加など児童生徒の心の在り様と関わる様々な問題が生じていることを背景に配置されていることから、「担任をしている学級に長期欠席者が 1 名以上いる教諭（主幹、指導含む）」を対象に配置効果をみていく。

スクールソーシャルワーカーは、児童生徒の問題行動等に対して、社会福祉の専門性を持ち、問題を抱えている児童・生徒が置かれている環境に働きかける役割であることから、その役割が期待される「運営に困難をきたしている学級が 1 学級以上ある学校」において配置効果をみる。

また、教員業務支援員の支援効果は、教諭だけでなく管理職を含む学校全体に及ぶため、在校等時間の比較を行う際には、教員全て（全職種）を対象に分析を行う。

メンタルヘルス（K6）に関する分析については、第 8 章と同様に、性別が不詳の個票、年齢が不詳もしくは 60 歳以上の個票は集計から除外した。

3. 分析結果

(1)教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）

教員の負担軽減を図るための教員の業務支援を行う「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ)」の業務内容は、以下のとおり。教員業務支援員を配置している学校のうち、小学校87.1%、中学校 85.3%で「資料の印刷、配布準備」を行っている。

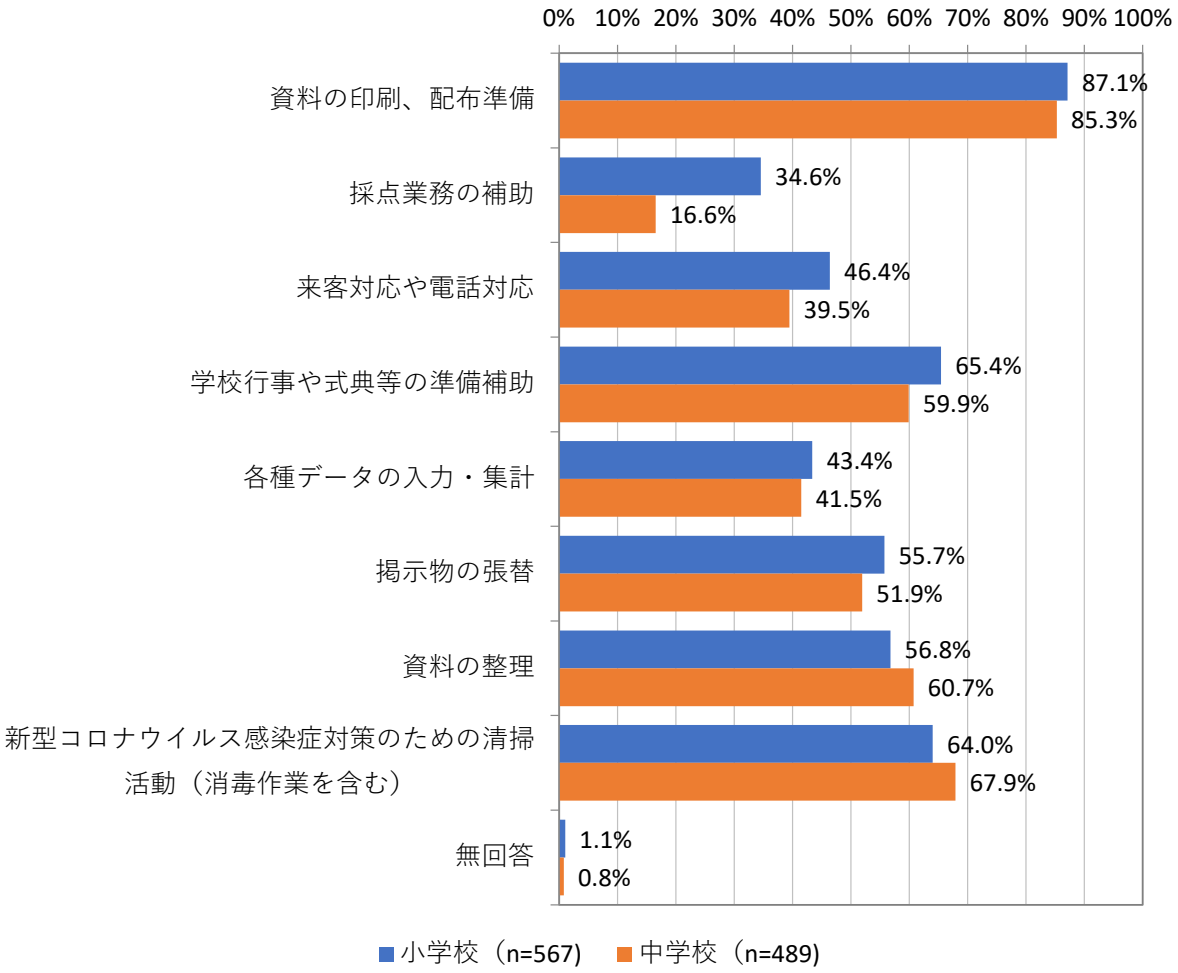


図 11-1 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）が担っている業務（教員業務支援配置校のみ）

次に、教員業務支援員の配置効果を測るために、配置していない学校と週 30 時間以上（1 日 6 時間×週 5 日間）配置している学校の教員全員の平均在校等時間（平日）の内訳を比較した。

その結果、教員業務支援員を一定時間以上配置している学校は、支援員がいない学校に比べて、「学校経営」「事務その他」の時間が短いことがわかった。

表 11-1　教員業務支援員の配置状況別　教員の平均在校等時間内訳
（教員には、校長、副校長・教頭、講師等全ての職種を含む）
学校当たり平均値（回答率 50%以上の学校のみを対象）

小学校

小学校（分）	教員業務支援員配置状況別		
	配置なし	30時間以上	差
学校数	176	98	-
1朝の業務	39.1	39.6	-0.4
2授業主担当	206.2	217.4	-11.2
3授業補助	21.4	19.9	1.5
4授業準備	61.5	68.6	-7.1
5学習指導	17.9	18.9	-1.0
6成績処理	17.0	21.5	-4.5
7生徒指導集団1	53.4	48.8	4.6
8生徒指導集団2	8.9	10.1	-1.2
9生徒指導個別	5.9	5.7	0.2
10部活動・クラブ活動	3.7	3.3	0.3
11児童会・生徒会指導	2.6	2.7	-0.1
12学校行事	14.8	20.4	-5.6
13学年・学級経営	16.9	16.6	0.3
14学校経営	43.5	36.0	7.4
15職員会議・学年会などの会議	16.3	19.0	-2.6
16個別の打ち合わせ	7.9	7.7	0.2
17事務調査への回答	7.8	6.7	1.1
18事務学納金関連	1.4	1.2	0.3
19事務その他	38.5	31.1	7.4
20校内研修	10.8	8.3	2.5
21保護者・ＰＴＡ対応	7.7	8.5	-0.8
22地域対応	1.9	1.2	0.7
23行政・関係団体対応	2.8	3.2	-0.4
24校務としての研修	9.9	9.4	0.5
25会議	6.3	4.6	1.7
26その他の校務	11.2	9.3	1.9
３１その他	2.2	2.0	0.2
勤務時間平日（合計）	637.6	641.7	-4.1

中学校

中学校（分）	教員業務支援員配置状況別		
	配置なし	30時間以上	差
学校数	211	59	-
1朝の業務	42.5	43.2	-0.7
2授業主担当	157.9	171.8	-13.8
3授業補助	21.5	25.0	-3.4
4授業準備	76.2	76.1	0.1
5学習指導	13.0	13.7	-0.8
6成績処理	24.3	25.7	-1.4
7生徒指導集団1	44.7	43.1	1.6
8生徒指導集団2	9.8	11.3	-1.5
9生徒指導個別	14.0	16.3	-2.3
10部活動・クラブ活動	34.0	33.1	0.9
11児童会・生徒会指導	5.1	5.5	-0.4
12学校行事	15.9	14.0	2.0
13学年・学級経営	22.6	21.1	1.6
14学校経営	37.7	28.9	8.8
15職員会議・学年会などの会議	17.4	21.2	-3.8
16個別の打ち合わせ	8.4	10.2	-1.8
17事務調査への回答	7.3	7.6	-0.3
18事務学納金関連	1.7	1.4	0.3
19事務その他	39.8	31.6	8.1
20校内研修	5.8	5.5	0.3
21保護者・ＰＴＡ対応	8.5	10.3	-1.8
22地域対応	1.3	1.6	-0.3
23行政・関係団体対応	3.2	3.2	-0.0
24校務としての研修	10.0	9.3	0.7
25会議	8.4	7.5	0.9
26その他の校務	14.0	10.7	3.3
３１その他	1.5	1.9	-0.4
勤務時間平日（合計）	646.7	650.8	-4.2

前頁の表 11-1 は、教員 1 人当たりの在校等時間内訳を表した結果となっている。この結果を踏まえて、教員業務支援員を一定時間以上配置することで、学校全体の「学校経営」「事務その他」の時間がどの程度、短縮されているのかを推計する。今回の調査（10・11 月調査）では、小学校平均 24 名、中学校平均 27 名のフルタイム教員が所属していた。前頁で算出した教員 1 人当たりの削減時間に、学校全体の人数を乗じることで、学校全体で「学校経営」「事務その他」の時間がどの程度削減されているかを推計する。

その結果、教員業務支援員を一定時間以上配置することで、小学校では 1 日当たり約 6 時間、中学校では 1 日当たり約 7 時間 30 分の教員の事務作業等の削減につながっていると推計された。なお、削減された時間を、教員は授業や授業準備等の時間に割り当てている可能性が推察される（第 19 章参照）。

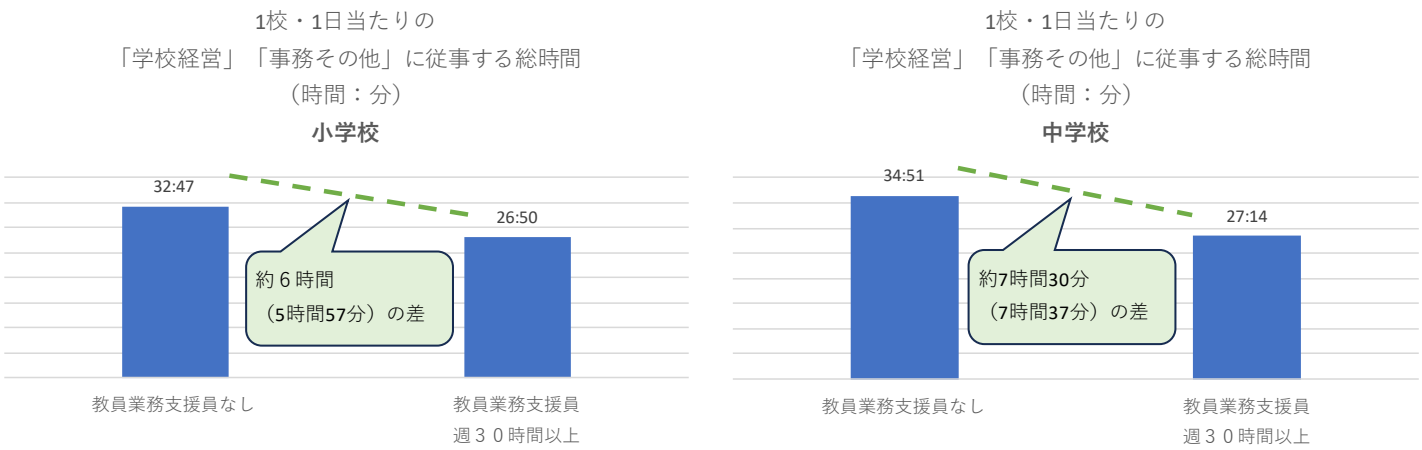


図 11-2　教員業務支援員配置による事務時間等の削減状況

このほか、ヒアリングにおいて「個別対応が必要な児童生徒への対応」「休みをとっている教員の自習時間における教室の確認」など、従来は空きコマの教員がやっていた業務を代わりに担ってもらえることが助かるという意見が多くあがった。他にも、教員の空きコマ時間を突発的な業務対応にあてなくて済むようになり、計画的に業務を行うことができる（結果的に、働き方改革の推進につながる）という意見があった。

（2)スクールカウンセラー

スクールカウンセラーの配置効果について、抑うつ傾向（K6）をみていく。担任をしている学級に長期欠席者が 1 名以上いる教諭を対象に、学校のスクールカウンセラー配置有無別に K6 をみた。

その結果、学級に長期欠席者が 1 名以上いる教諭は、全体的に K6 が高い傾向にあるものの、スクールカウンセラー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭より、K6 の平均値が低かった（抑うつ傾向が抑えられている)。

スクールカウンセラーの配置が、教員の長期欠席児童生徒への対応の心理的負担を一定程度軽減していることが伺える。

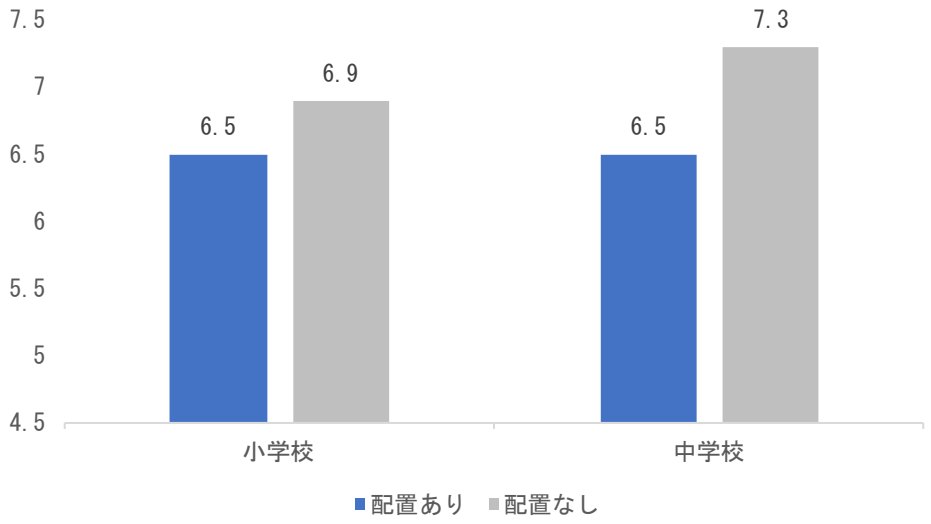


図 11-3　スクールカウンセラーの配置状況別　K6

教諭（主幹・指導含む。担任をしている学級に長期欠席者が 1 名以上いる教諭のみ）

（3）スクールソーシャルワーカー

スクールソーシャルワーカーの配置効果について、抑うつ傾向（K6）をみていく。運営に困難をきたしている学級が 1 学級以上ある学校について、教諭（主幹、指導含む）の K6 をみた。

その結果、スクールソーシャルワーカー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭より、K6 の平均値が低かった（抑うつ傾向が抑えられている）[10]。

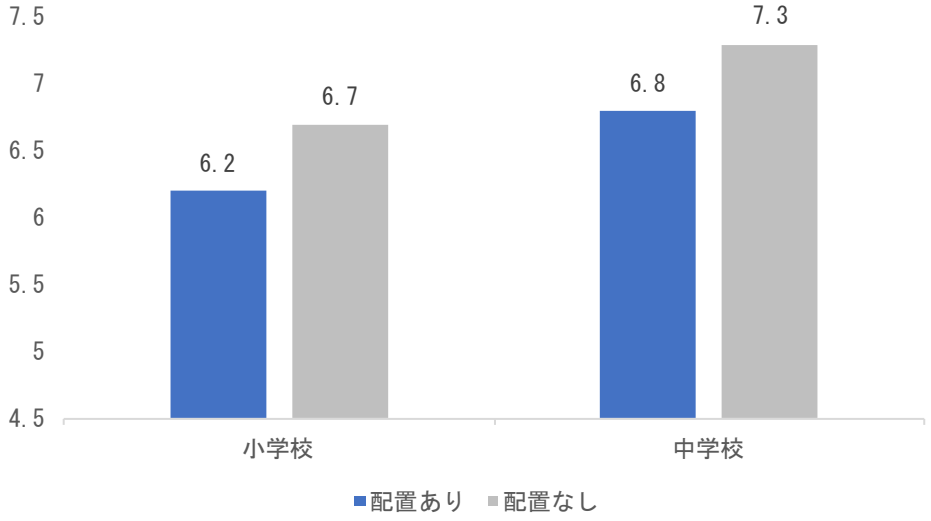


図 11-4　スクールソーシャルワーカーの配置状況別　教員の K6
（教員には、校長、副校長・教頭、講師等も含む）
学校当たり平均値（回答率 50%以上の学校。運営に困難をきたしている学級がある学校のみ）

10 なお、本調査では、「運営に困難をきたしている学級がある学校」の出現率が（特に、中学校において）低かった。本分析は、限られたサンプルにおいての分析結果だということに注意を要する。

4. 考察

教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置効果として以下が確認された。

教員業務支援員については、教員業務支援員を一定時間以上（週 30 時間以上）配置している学校は、支援員がいない学校に比べて、「学校経営」「事務その他」の時間が短い。このほか、ヒアリングにおいて「個別対応が必要な児童生徒への対応」「休みをとっている教員の自習時間における教室の確認」など、従来は空きコマの教員がやっていた業務を、代わりに担ってもらえることが助かるという意見が多くあがった。

スクールカウンセラーについては、長期欠席者が 1 名以上いる学級担任についてみると、スクールカウンセラー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭より、K6 の平均値が低い（抑うつ傾向が抑えられている）。

スクールソーシャルワーカーは、運営に困難をきたしている学級がある学校において、スクールソーシャルワーカー配置校の教諭は、配置されていない学校の教諭より K6 の平均値が低い（抑うつ傾向が抑えられている）。

第12章 支援スタッフの配置と教諭の在校等時間の関係

神林寿幸

【本章のポイント】

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら、教育面での支援や配慮が必要な児童生徒とその保護者に関わる業務に、教諭がより多くの時間を確保しようとする実態が観察された。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務時間が長い学校は、不登校による長期欠席児童生徒数や要保護・準要保護世帯の児童生徒数が多いものの、これらの学校に勤める教員の在校等時間が特段長いわけではなかった。このことから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによって、教員の負担が一定程度抑制されている可能性が示唆される。
- 教員業務支援員の配置により、教諭がより授業準備等により多くの時間を費やすことができている実態が観察された。

1. 本章の目的

本章では、近年学校への配置が進められてきたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員に焦点を当て、これらの 3 つの支援スタッフの配置と小・中学校教諭の在校等時間との関係を分析する。これによって、上記支援スタッフの配置が小・中学校教諭の働き方にもたらす効果を考察する。

2010 年代後半以降、教員の勤務負担を軽減し、教員が児童生徒への教育指導により多くの時間を費やせるよう支援スタッフの配置が進められてきた。例えば、2015（平成 27）年 12 月の中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」では、今後の授業改善に向けて、スタッフとの連携による次のような「教員の業務の見直し」を提言した（中央教育審議会 2015 : 24-25)。「教員に加え、専門スタッフ、地域人材等が連携・分担することで、より効果を上げることができる業務」に、「カウンセリング」「部活動指導」「外国語指導」「教員以外の知見を入れることで学びが豊かになる教育（キャリア教育、体験活動など)」「地域との連携推進」「保護者対応」を挙げた。また、「教員以外の職員が連携・分担することが効果的な業務」に「事務業務」「学校図書館業務」「ICT 活用支援業務」を、「多様な経験等を有する地域人材等が担う業務」に「指導補助業務」をそれぞれ位置づけた。

さらに、2019（平成 31）年 1 月の中央教育審議会答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」では、「学校及び教師が担う業務の明確化・適正化」として、次のような学校や教員の業務の見直しを提言した（中央教育審議会 2019 : 28-29)。教員以外の職員・スタッフとの連携が期待されるものとして「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」に「調査・統計等への回答等」「児童生徒の休み時間における対応」「校内清掃」「部活動」が、「教師の業務だが、負担軽減が可

能な業務」として、「給食時の対応」「授業準備」「学習評価や成績処理」「学校行事の準備・運営」「進路指導」「支援が必要な児童生徒・家庭への対応」が提示された。

以上の中央教育審議会答申を踏まえて、関連の法令改正も進められてきた。例えば、2017（平成 29）年の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」によって、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員の職務が定められた。さらに、2021（令和 3）年には教員業務支援員等の新たに 4 つの職員について職務が規定された。

本章では、この間に学校への配置が進められてきた支援スタッフのうち、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員に焦点を当て、これらの支援スタッフの配置が小・中学校教諭の働き方にどのような効果をもたらすのかを明らかにする[11]。具体的には、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員それぞれの週当たり合計勤務時間と小中学校教諭の平日・土日の在校等時間の関係を分析する。

加えて、上記の支援スタッフとの連携が政策上で期待される個別の業務についても分析する。ここで分析対象となる業務は、先述した 2 つの中央教育審議会答申と当該業務の平日・土日の従事状況を踏まえて、表 12-1 のとおりとした。

表 12-1　本分析対象となる個別の業務

平日の分析	土日の分析
朝の業務	授業準備
授業準備	成績処理
学習指導	学校行事
成績処理	学年･学級経営
生徒指導(集団 1)	学校経営
生徒指導(個別)	事務(その他)
学校行事	
学年･学級経営	
学校経営	
職員会議･学年会などの会議	
個別の打ち合わせ	
事務(調査への回答)	
事務(その他)	
保護者･PTA 対応	

2.　分析方法

(1)分析項目

支援スタッフの週合計勤務時間　各学校でのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員それぞれ全員の週合計勤務時間を使用する[12]。各支援スタッフの勤務時間の分布をもとに、各支援スタッフの週合計勤務時間は次の 3 群に分けて分析する。スクールカウンセラーは「なし」「0 時間超-10 時間未満」「10 時間以上」、スクールソーシャルワーカーは「なし」「0 時間超-5 時間未満」「5 時間以上」、教員業務支援員は「なし」「0 時間超-30 時間未満」「30 時間以上」である。

[11]　部活動指導員の配置と教諭の在校等時間の関係に関する分析は、本報告書第 15 章で行う。

[12]　例えば、学校にスクールカウンセラーが 2 人配置されている場合、スクールカウンセラー2 人の合計勤務時間となる。

平日・土日の在校等時間　調査対象週の月曜日から金曜日までの平日 5 日間の平均値と、土日 2 日間の平均値を使用する。

平日・土日の業務時間　表 12-1 に記した業務について、項目別の平均業務時間を使用する。

統制変数　性別、年齢、担任担当状況、部活動顧問担当状況（中学校のみ）、学校規模を用いる[13]。

(2)分析方法

小学校と中学校に分けて、平日及び土日の在校等時間と平日及び土日の業務時間それぞれを被説明変数、支援スタッフの週合計勤務時間を説明変数としたマルチレベル分析を行う。分析に関わる変数の記述統計量は章末の付表を参照されたい。

[13] 性別には「男性」「女性」「回答しない」の 3 群を設定する。年齢には「30 歳以下」「31-40 歳」「41-50 歳」「51-60 歳」「61 歳以上」の 5 群を設定する。職名には「主幹教諭」「指導教諭」「教諭」の 3 群を設定する。担任担当状況は「単式学級担任」「複式学級担任」「特別支援学級担任」「専科指導担当」「通級・日本語指導担当」「いずれも担当なし」の 6 群を設定する。「部活動顧問担当状況」には「担当」「非担当」の 2 群を設定する。学校規模には「50 人以下」「51-100 人」「101-150 人」「151-200 人」「201-250 人」「251-300 人」「301-350 人」「351-400 人」「401-450 人」「451-500 人」「501-550 人」「551-600 人」「601-650 人」「651-700 人」「701-750 人」「751-800 人」「801-850 人」「851-900 人」「901 人以上」のカテゴリを設定する。

3. 分析結果

(1)小学校

まず、平日の在校等時間・業務時間として、表 12-2 のような結果が得られた。スクールカウンセラーが週当たり 10 時間以上勤務する学校で、朝の業務、生徒指導（集団 1)、事務（調査への回答）に費やす時間が短かった。他方、学校行事や保護者・PTA 対応に費やす時間が長かった。

スクールソーシャルワーカーに関して、週 5 時間以上勤務する学校で、学校経営に費やす時間が短かった。他方、生徒指導（個別)、職員会議・学年会等の会議、個別の打ち合わせに費やす時間が長かった。また、週 0 時間から 5 時間未満勤務する学校で、朝の業務時間が長かった。

教員業務支援員に関して、週 30 時間以上勤務する学校で、生徒指導（集団 1）に費やす時間が短かった。他方、学校行事に費やす時間は長かった。

表 12-2　平日の在校等時間・業務時間に関する分析結果（小学校）

	在校等時間			朝の業務			授業準備			学習指導			成績処理		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	-.05	†	.03	-.01		.01	-.07	**	.02	.03	†	.02	.08	***	.01
回答しない	-.08		.12	-.06		.04	-.06		.10	-.01		.08	.14	*	.06
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	-.27	***	.03	-.04	**	.01	-.19	***	.03	.07	**	.02	-.02		.02
41-50歳	-.23	***	.04	-.06	***	.01	-.29	***	.03	.13	***	.02	.03	†	.02
51-60歳	-.19	***	.04	-.05	***	.01	-.27	***	.03	.17	***	.02	.12	***	.02
61歳以上	-.79	***	.07	-.09	***	.02	-.26	***	.06	.19	***	.05	.13	***	.03
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	-.30	†	.15	-.03		.05	.11		.13	-.03		.10	-.01		.07
教諭	-.39	***	.07	-.05	*	.02	.25	***	.06	-.04		.04	.05		.03
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	-.18		.13	-.06		.04	.15		.11	-.02		.08	-.08		.06
特別支援学級担任	-.37	***	.04	-.03	*	.01	-.17	***	.03	-.11	***	.02	-.40	***	.02
専科指導	-.79	***	.04	-.33	***	.01	.22	***	.04	-.07	*	.03	-.10	***	.02
通級・日本語指導	-1.01	***	.07	-.32	***	.02	.34	***	.06	.00		.04	-.22	***	.03
いずれにも非該当	-.33	***	.07	-.18	***	.02	-.56	***	.06	-.17	***	.04	-.38	***	.03
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	-.07		.19	.03		.05	-.07		.14	.09		.10	.03		.08
101-150人	.22		.20	.09		.05	.02		.14	.13		.10	.11		.08
151-200人	.50	*	.20	.05		.06	.02		.15	.17	†	.10	.16	†	.09
201-250人	.33	†	.20	.05		.05	-.07		.14	.13		.10	.19	*	.08
251-300人	.28		.20	.06		.05	.03		.14	.10		.10	.17	*	.08
301-350人	.26		.19	.07		.05	.00		.14	.05		.10	.16	†	.08
351-400人	.23		.19	.10	*	.05	-.02		.14	.09		.10	.21	*	.08
401-450人	.39	*	.20	.10	*	.05	-.03		.14	.09		.10	.22	**	.08
451-500人	.45	*	.20	.12	*	.05	-.04		.14	.09		.10	.19	*	.08
501-550人	.42	*	.19	.07		.05	.07		.14	.09		.10	.22	**	.08
551-600人	.38	*	.19	.12	*	.05	-.03		.14	.06		.10	.19	*	.08
601-650人	.29		.20	.08		.05	-.07		.14	.03		.10	.26	**	.08
651-700人	.43	*	.20	.10	†	.05	-.02		.14	.10		.10	.28	**	.08
701-750人	.28		.22	.10	†	.06	.03		.15	.15		.10	.29	**	.09
751-800人	.27		.22	.10	†	.06	-.09		.15	.13		.10	.28	**	.09
801-850人	.43	†	.23	.09		.06	.03		.16	.01		.10	.24	*	.09
851-900人	.47	*	.22	.11	*	.06	.06		.15	.18	†	.10	.25	**	.09
901人以上	.24		.20	.09	†	.05	-.07		.14	.05		.10	.20	*	.08
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	.04		.06	.00		.01	-.03		.04	-.01		.02	.03		.02
10時間以上	-.07		.10	-.06	**	.02	-.04		.06	-.02		.04	.00		.04
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	.03		.06	.03	*	.01	-.04		.04	.04		.02	-.01		.02
5時間以上	.02		.08	-.02		.02	-.02		.05	.02		.03	-.02		.03
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	-.01		.05	-.01		.01	.02		.03	.01		.02	.03		.02
30時間以上	.02		.07	.00		.02	.05		.04	.00		.03	.00		.03
切片	11.19	***	.20	.75	***	.06	1.29	***	.15	.21	*	.10	.15	†	.09
分散															
学校	.21		.02	.01		.00	.05		.01	.00		.00	.02		.00
個人	1.17		.02	.12		.00	.85		.01	.51		.01	.27		.00
ICC	.15		.01	.05		.01	.06		.01	.01		.00	.08		.01
BIC	26923.90			7197.22			23706.72			19009.64			13955.80		

(続き)

	生徒指導(集団1)			生徒指導(個別)			学校行事			学年・学級経営			学校経営		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	.11	***	.01	.01	*	.01	.01		.01	.03	*	.01	-.09	***	.02
回答しない	.01		.06	.02		.02	-.03		.06	.07		.05	-.11		.08
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	.01		.02	.01		.01	-.02		.02	.00		.01	.01		.02
41-50歳	.02		.02	.02	*	.01	-.05	*	.02	-.01		.02	.07	**	.02
51-60歳	.04	†	.02	.01		.01	-.05	*	.02	.02		.02	.04	†	.02
61歳以上	-.04		.04	-.03	*	.02	-.10	**	.04	.01		.03	-.17	***	.05
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	.00		.08	-.04		.03	-.13		.08	-.05		.07	-.47	***	.10
教諭	-.02		.04	-.01		.01	-.10	**	.04	-.02		.03	-.54	***	.05
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	-.02		.07	-.02		.03	-.09		.07	-.04		.05	.00		.08
特別支援学級担任	.05	**	.02	.00		.01	-.01		.02	-.09	***	.02	.06	*	.02
専科指導	-.40	***	.02	.01		.01	.09	***	.02	-.32	***	.02	.45	***	.03
通級・日本語指導	-.55	***	.04	.03	*	.01	-.05		.04	-.22	***	.03	.11	*	.04
いずれにも非該当	-.32	***	.04	.20	***	.01	.07	†	.04	-.28	***	.03	1.81	***	.05
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	.07		.09	-.01		.03	.08		.11	.05		.07	-.03		.10
101-150人	.03		.09	.01		.03	.08		.11	.07		.07	-.18	†	.10
151-200人	.07		.09	.01		.04	.21	†	.11	.10		.07	-.12		.10
201-250人	.14		.09	.00		.03	.07		.11	.05		.07	-.12		.10
251-300人	.06		.09	.02		.03	.01		.11	.03		.07	-.07		.10
301-350人	.03		.09	.00		.03	.08		.11	.06		.07	-.18	†	.10
351-400人	.07		.09	.01		.03	.01		.11	.07		.07	-.18	†	.10
401-450人	.09		.09	.04		.03	.06		.11	.08		.07	-.15		.10
451-500人	.10		.09	.00		.03	.03		.11	.08		.07	-.14		.10
501-550人	-.01		.09	-.01		.03	.07		.11	.05		.07	-.19	†	.10
551-600人	.06		.09	.02		.03	.02		.11	.04		.07	-.18	†	.10
601-650人	.01		.09	.02		.03	.00		.11	.06		.07	-.21	*	.10
651-700人	.04		.09	.03		.03	.13		.11	.07		.07	-.19	†	.10
701-750人	.02		.10	.00		.04	-.02		.12	-.07		.07	-.28	**	.11
751-800人	.03		.10	.00		.04	.07		.13	.02		.07	-.27	*	.11
801-850人	.09		.10	.01		.04	.04		.13	.04		.07	-.20	†	.11
851-900人	.03		.10	.04		.04	.13		.12	.03		.07	-.19	†	.10
901人以上	-.01		.09	.02		.03	.00		.11	.05		.07	-.22	*	.10
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	.01		.02	.01		.01	.03		.03	.01		.02	.02		.02
10時間以上	-.10	*	.04	.01		.02	.21	***	.06	.02		.03	.01		.04
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	-.01		.03	.00		.01	.03		.03	.02		.02	-.02		.02
5時間以上	-.01		.03	.03	**	.01	.05		.04	.01		.02	-.08	**	.03
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	-.03		.02	-.01		.01	.02		.03	.01		.02	.02		.02
30時間以上	-.07	*	.03	-.01		.01	.08	*	.04	.00		.02	.03		.03
切片	.92	***	.09	.04		.04	.25	*	.11	.32	***	.07	.88	***	.11
分散															
学校	.03		.00	.00		.00	.07		.01	.01		.00	.01		.00
個人	.32		.01	.05		.00	.33		.01	.23		.00	.53		.01
ICC	.08		.01	.05		.01	.18		.01	.03		.01	.01		.01
BIC	15565.33			-265.58			16181.07			12219.38			19414.09		

(続き)

	職員会議等			個別の打ち合わせ			事務(調査への回答)			事務(その他)			保護者・PTA対応		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	.02	**	.01	.02	***	.00	.00		.00	-.06	***	.01	.02	**	.01
回答しない	.04		.03	.01		.02	.03	†	.02	-.05		.06	.03		.02
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	.03	**	.01	.02	*	.01	.00		.01	-.02		.02	.00		.01
41-50歳	.06	***	.01	.04	***	.01	.02	**	.01	.06	**	.02	.01	†	.01
51-60歳	.05	***	.01	.00		.01	.03	***	.01	.05	**	.02	.00		.01
61歳以上	.04	*	.02	-.04	**	.01	.03	**	.01	-.10	**	.04	-.03	†	.02
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	-.10	*	.04	-.02		.03	-.02		.02	-.03		.08	.01		.03
教諭	-.06	**	.02	-.07	***	.01	-.03	**	.01	-.25	***	.03	-.04	**	.01
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	.00		.04	.01		.02	-.02		.02	.02		.06	-.01		.03
特別支援学級担任	-.01		.01	.05	***	.01	.02	**	.01	.12	***	.02	-.01		.01
専科指導	-.09	***	.01	.01		.01	.02	**	.01	.27	***	.02	-.05	***	.01
通級・日本語指導	-.04	*	.02	.16	***	.01	.01		.01	.31	***	.03	.00		.01
いずれにも非該当	-.08	***	.02	.13	***	.01	.05	***	.01	.90	***	.03	.05	**	.01
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	-.08		.06	.03		.03	-.02		.02	-.15	*	.08	.00		.04
101-150人	-.07		.06	.04		.03	-.01		.03	-.11		.08	.06		.04
151-200人	-.04		.06	.05	†	.03	-.01		.03	-.13		.08	.04		.04
201-250人	-.03		.06	.04		.03	-.03		.03	-.11		.08	.02		.04
251-300人	-.03		.06	.08	*	.03	-.03		.02	-.21	**	.08	.07	†	.04
301-350人	.01		.06	.06	*	.03	.00		.02	-.18	*	.07	.04		.04
351-400人	.01		.06	.05		.03	-.01		.02	-.21	**	.07	.05		.04
401-450人	.03		.06	.07	*	.03	-.03		.02	-.24	**	.08	.05		.04
451-500人	.05		.06	.07	*	.03	-.03		.02	-.19	*	.08	.02		.04
501-550人	.08		.06	.05		.03	-.03		.02	-.22	**	.07	.05		.04
551-600人	.11	†	.06	.05	†	.03	-.03		.02	-.20	**	.07	.04		.04
601-650人	.06		.06	.06	*	.03	-.03		.02	-.18	*	.08	.06	†	.04
651-700人	.11	†	.06	.05	†	.03	-.03		.02	-.23	**	.08	.06	†	.04
701-750人	.06		.06	.03		.03	-.04		.03	-.22	**	.08	.05		.04
751-800人	.15	*	.06	.08	*	.03	-.04		.03	-.19	*	.08	.02		.04
801-850人	.17	**	.07	.07	*	.03	-.03		.03	-.22	**	.08	.04		.04
851-900人	.13	*	.06	.04		.03	-.02		.03	-.25	**	.08	.04		.04
901人以上	.19	**	.06	.05	†	.03	-.02		.02	-.17	*	.08	.07	*	.04
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	.00		.02	.01	†	.01	.00		.01	.02		.02	.02	†	.01
10時間以上	.02		.03	.02		.01	-.02	*	.01	-.03		.03	.05	**	.02
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	.02		.02	.00		.01	.01		.01	-.01		.02	.00		.01
5時間以上	.08	**	.02	.02	*	.01	-.01		.01	-.03		.02	-.01		.01
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	.01		.02	-.01		.01	.00		.01	-.02		.02	-.01		.01
30時間以上	.00		.02	-.01		.01	.00		.01	-.02		.02	.00		.01
切片	.29	***	.06	.06	†	.03	.11	***	.03	.65	***	.08	.08	*	.04
分散															
学校	.02		.00	.00		.00	.00		.00	.00		.00	.00		.00
個人	.10		.00	.04		.00	.03		.00	.30		.00	.05		.00
ICC	.16		.01	.03		.01	.03		.01	.01		.00	.08		.01
BIC	5388.13			-1735.98			-5193.46			14522.81			-231.48		

注:観測数(教員)=8,600, 観測数(学校)=753.

次に、土日の在校等時間・業務時間として、表 12-3 のような結果が得られた。スクールカウンセラーに関して、0 時間超から 10 時間未満勤務する学校で、事務（その他）に費やす時間が短かった。他方、10 時間以上勤務する学校では、成績処理に費やす時間が長かった。

スクールソーシャルワーカーに関して、週 5 時間以上勤務する学校では、学年・学級経営に費やす時間が長かった。また週 0 時間超から 5 時間未満勤務する学校では、事務（その他）に費やす時間が長かった。

教員業務支援員に関して、週 0 時間超から 30 時間未満勤務する学校では、授業準備に費やす時間が短かった。他方、週 30 時間以上勤務する学校では、学年・学級経営に費やす時間が長かった。

表 12-3　土日の在校等時間・業務時間に関する分析結果（小学校）

	在校等時間			授業準備			成績処理			学校行事		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)												
女性	.05	†	.03	.02	†	.01	.02	**	.01	-.01		.01
回答しない	.08		.12	.06		.06	.03		.04	-.01		.04
年齢(ref.30歳以下)												
31-40歳	.02		.03	-.01		.02	.02	†	.01	-.01		.01
41-50歳	.00		.04	-.04	*	.02	.02	*	.01	-.01		.01
51-60歳	.01		.04	-.03		.02	.02		.01	.00		.01
61歳以上	-.16	*	.08	-.08	*	.04	.02		.02	.00		.03
職名(ref.主幹教諭)												
指導教諭	.00		.16	-.01		.08	-.02		.05	.10	†	.06
教諭	-.08		.07	.08	*	.04	.00		.02	-.01		.03
担任担当状況(ref.単式学級担任)												
複式学級担任	.15		.13	.04		.07	.02		.04	-.02		.05
特別支援学級担任	-.17	***	.04	-.07	***	.02	-.06	***	.01	-.01		.01
専科指導	-.08	†	.04	-.08	**	.02	-.04	**	.01	.02		.02
通級・日本語指導	-.25	***	.07	-.10	**	.04	-.08	***	.02	-.03		.02
いずれにも非該当	-.01		.07	-.06	†	.04	-.07	**	.02	-.01		.03
学校規模(ref.50人以下)												
51-100人	.20		.25	.00		.09	.05		.05	.09		.09
101-150人	.12		.26	.00		.09	.03		.05	.07		.09
151-200人	.20		.27	.07		.09	.06		.05	.08		.09
201-250人	.10		.26	.06		.09	.05		.05	.03		.09
251-300人	.13		.26	.02		.09	.05		.05	.05		.09
301-350人	-.02		.25	-.02		.09	.06		.05	.01		.09
351-400人	.01		.25	.00		.09	.06		.05	.02		.09
401-450人	-.06		.26	.01		.09	.05		.05	.02		.09
451-500人	-.02		.26	.00		.09	.06		.05	.00		.09
501-550人	.17		.26	.04		.09	.09	†	.05	.02		.09
551-600人	.17		.26	.07		.09	.06		.05	.07		.09
601-650人	-.01		.27	.04		.09	.07		.05	.02		.09
651-700人	.48	†	.26	.09		.09	.12	*	.05	.23	*	.09
701-750人	.16		.30	.06		.10	.15	**	.05	.11		.10
751-800人	.25		.31	-.02		.10	.07		.05	.16		.11
801-850人	-.07		.31	.02		.10	.08		.06	.00		.11
851-900人	.31		.30	.16		.10	.06		.05	.07		.11
901人以上	.08		.27	-.02		.09	.07		.05	.06		.10
専門スタッフの合計勤務時間												
スクールカウンセラー(ref. なし)												
0時間超-10時間未満	-.07		.08	-.01		.02	.01		.01	-.02		.03
10時間以上	.19		.15	-.03		.04	.06	*	.02	.07		.05
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)												
0時間超-5時間未満	-.02		.08	.00		.02	-.01		.01	-.03		.03
5時間以上	.04		.11	.03		.03	.02		.02	.01		.04
教員業務支援員(ref. なし)												
0時間超-30時間未満	.00		.08	-.04	†	.02	.00		.01	.03		.03
30時間以上	.08		.10	.02		.03	.00		.02	.01		.04
切片	.61	*	.25	.13		.09	-.02		.05	.02		.09
分散												
学校	.57		.04	.02		.00	.01		.00	.07		.00
個人	1.21		.02	.33		.01	.11		.00	.15		.00
ICC	.32		.01	.06		.01	.05		.01	.32		.01
BIC	27730.50			15739.27			6374.53			9843.29		

(続き)

	学年・学級経営			学校経営			事務(その他)		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)									
女性	.00		.00	-.01		.01	.00		.00
回答しない	-.01		.02	-.01		.03	-.01		.02
年齢(ref.30歳以下)									
31-40歳	.01	*	.01	.01		.01	.01		.01
41-50歳	.02	**	.01	.02	*	.01	.01	†	.01
51-60歳	.01	†	.01	.01		.01	.02	**	.01
61歳以上	-.01		.01	-.01		.02	-.01		.01
職名(ref.主幹教諭)									
指導教諭	-.01		.02	-.08	*	.04	.08	**	.03
教諭	-.02		.01	-.11	***	.02	-.02		.01
担任担当状況(ref.単式学級担任)									
複式学級担任	-.01		.02	.00		.03	.00		.02
特別支援学級担任	-.01	*	.01	.01		.01	.02	**	.01
専科指導	-.03	***	.01	.06	***	.01	*		.01
通級・日本語指導	-.02	†	.01	.03		.02	*		.01
いずれにも非該当	-.04	**	.01	.08	***	.02	.04	**	.01
学校規模(ref.50人以下)									
51-100人	.01		.03	.05		.04	.02		.03
101-150人	.01		.03	.02		.04	.02		.03
151-200人	.03		.03	-.01		.04	.03		.03
201-250人	.02		.03	.00		.04	.03		.03
251-300人	.02		.03	.03		.04	.02		.03
301-350人	.00		.02	.01		.04	.01		.03
351-400人	.02		.02	.00		.03	.03		.03
401-450人	.01		.03	-.01		.04	.01		.03
451-500人	.01		.03	-.01		.04	.03		.03
501-550人	.01		.02	-.02		.03	.02		.03
551-600人	.01		.02	-.01		.04	.02		.03
601-650人	.01		.03	.01		.04	.01		.03
651-700人	.04		.03	.01		.04	.03		.03
701-750人	-.01		.03	.00		.04	.01		.03
751-800人	.01		.03	-.01		.04	.05		.03
801-850人	.01		.03	.00		.04	.03		.03
851-900人	.01		.03	.00		.04	.02		.03
901人以上	.01		.03	.00		.04	.02		.03
専門スタッフの合計勤務時間									
スクールカウンセラー(ref. なし)									
0時間超-10時間未満	.01		.01	.00		.01	-.02	*	.01
10時間以上	.01		.01	-.01		.01	-.01		.01
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)									
0時間超-5時間未満	.00		.01	-.01		.01	.01	†	.01
5時間以上	.02	*	.01	-.01		.01	.00		.01
教員業務支援員(ref. なし)									
0時間超-30時間未満	.01		.01	.00		.01	.00		.01
30時間以上	.02	*	.01	-.01		.01	-.01		.01
切片	.01		.03	.13	**	.04	.03		.03
分散									
学校	.00		.00	.00		.00	.00		.00
個人	.03		.00	.07		.00	.04		.00
ICC	.03		.01	.01		.01	.01		.01
BIC	-4868.48			1511.63			-1897.89		

注:観測数(教員)=8,600, 観測数(学校)=753.

(2)中学校

まず、平日の在校等時間・業務時間として、表 12-4 のような結果が得られた。スクールカウンセラーについて、週の勤務時間が長い学校ほど教諭の学校経営に費やす時間が短かった。また、週 0 時間超から 10 時間未満勤務する学校では保護者・PTA 対応に費やす時間が、週 10 時間以上の学校では生徒指導（集団 1）に費やす時間がそれぞれ短かった。他方、スクールカウンセラーの勤務時間が長い学校の教諭ほど、成績処理に費やす時間が長かった。

スクールソーシャルワーカーについて、週 0 時間超から 5 時間未満勤務する学校では、教諭の生徒指導（個別）に費やす時間が短かった。他方、事務（調査への回答）の時間は長かった。

教員業務支援員について、週 30 時間以上勤務する学校の教諭は、朝の業務、生徒指導（集団 1）、学年・学級経営、学校経営に費やす時間が短かった。他方、授業準備に充てる時間が長かった。また、週 0 時間超から 30 時間未満の学校では教諭の学習指導の時間が短かった。他方、生徒指導

（個別）に費やす時間が長かった。

表 12-4　平日の在校等時間・業務時間に関する分析結果（中学校）

	在校等時間			朝の業務			授業準備			学習指導			成績処理		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	-.06	*	.03	.01		.01	-.03		.02	.04	***	.01	.11	***	.02
回答しない	-.03		.12	-.01		.04	.06		.10	.04		.05	-.03		.08
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	-.35	***	.04	-.04	***	.01	-.30	***	.03	.01		.01	-.08	***	.02
41-50歳	-.39	***	.04	-.03	*	.01	-.43	***	.03	.07	***	.02	-.01		.03
51-60歳	-.48	***	.04	-.03	*	.01	-.30	***	.04	.07	***	.02	.01		.03
61歳以上	-1.00	***	.08	-.06	**	.02	-.21	**	.06	.06	*	.03	.09	*	.05
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	-.09		.18	-.03		.05	.24		.15	.04		.07	-.22	*	.11
教諭	-.27	***	.07	-.01		.02	.13	*	.06	.04		.03	-.02		.04
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	-.14		.24	-.09		.07	-.01		.19	-.04		.09	-.02		.15
特別支援学級担任	-.63	***	.05	-.04	***	.01	-.19	***	.04	.01		.02	-.31	***	.03
専科指導	-.34	***	.03	-.13	***	.01	.11	***	.03	.00		.01	.00		.02
通級・日本語指導	-1.08	***	.12	-.17	***	.04	.23	*	.10	.08	†	.05	-.24	**	.08
いずれにも非該当	-.43	***	.05	-.12	***	.01	-.16	***	.04	-.03		.02	-.12	***	.03
部活動顧問担当状況(ref. 担当)															
非担当	-.48	***	.05	.00		.02	.05		.04	.05	*	.02	-.02		.03
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	.77	***	.17	.06		.04	.00		.12	-.01		.05	.28	*	.12
101-150人	.84	***	.16	.10	*	.04	-.10		.11	-.07		.05	.15		.12
151-200人	.68	***	.16	.06		.04	-.22	*	.11	-.04		.05	.24	*	.12
201-250人	1.01	***	.16	.10	*	.04	-.23	*	.11	-.01		.05	.21	†	.12
251-300人	.87	***	.15	.11	**	.04	-.28	**	.10	-.07		.05	.22	*	.11
301-350人	.93	***	.15	.13	***	.04	-.34	**	.10	-.07	†	.04	.24	*	.11
351-400人	1.00	***	.15	.11	**	.04	-.22	*	.10	-.01		.04	.21	†	.11
401-450人	1.00	***	.15	.13	***	.04	-.44	***	.10	-.04		.04	.29	**	.11
451-500人	.99	***	.16	.10	**	.04	-.42	***	.11	-.05		.05	.19		.12
501-550人	1.07	***	.15	.14	***	.04	-.31	**	.10	-.08	†	.04	.42	***	.11
551-600人	1.07	***	.16	.08	*	.04	-.26	*	.11	-.11	*	.05	.25	*	.12
601-650人	1.12	***	.17	.12	**	.04	-.45	***	.12	-.05		.05	.48	***	.13
651-700人	.96	***	.16	.10	**	.04	-.45	***	.11	-.06		.05	.42	***	.12
701-750人	.87	***	.18	.12	**	.04	-.47	***	.12	-.02		.05	.46	**	.14
751-800人	.91	***	.18	.10	*	.04	-.41	**	.12	-.07		.05	.38	**	.14
801-850人	1.17	***	.26	.11	†	.06	-.58	***	.16	-.11	†	.07	.46	*	.20
851-900人	1.15	***	.24	.09	†	.05	-.45	**	.15	-.08		.06	.31	†	.19
901人以上	.81	***	.18	.18	***	.04	-.48	***	.12	-.06		.05	.18		.14
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	-.01		.11	-.01		.03	.05		.07	.03		.03	.14	†	.08
10時間以上	-.08		.12	.02		.03	-.07		.08	.04		.03	.24	*	.10
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	-.06		.06	-.01		.01	-.05		.04	.01		.02	.05		.05
5時間以上	.10		.06	-.01		.01	-.01		.04	.00		.02	-.01		.05
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	.04		.05	-.01		.01	.04		.03	-.03	*	.01	.05		.04
30時間以上	-.07		.08	-.04	*	.02	.10	†	.05	.00		.02	-.02		.06
切片	10.94	***	.16	.73	***	.04	1.82	***	.12	.17	**	.05	.19		.12
分散															
学校	.23		.02	.01		.00	.06		.01	.00		.00	.17		.01
個人	1.55		.02	.13		.00	1.01		.02	.24		.00	.57		.01
ICC	.13		.01	.05		.01	.06		.01	.01		.01	.23		.01
BIC	29698.64			7634.13			25624.54			12776.45			21267.36		

（続き）

	生徒指導(集団1)			生徒指導(個別)			学校行事			学年・学級経営			学校経営		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	.10	***	.01	.04	**	.01	.00		.01	.04	**	.01	-.13	***	.02
回答しない	.03		.05	.11	*	.05	.02		.05	-.01		.06	-.27	***	.08
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	.03	*	.02	.03	*	.02	-.02		.02	.01		.02	.04	†	.02
41-50歳	.05	**	.02	.02		.02	-.04	*	.02	.02		.02	.17	***	.03
51-60歳	.06	**	.02	-.01		.02	-.06	**	.02	.05	*	.02	.00		.03
61歳以上	.06	*	.03	-.05	†	.03	-.10	**	.03	-.04		.04	-.15	**	.05
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	.01		.08	-.10		.07	-.03		.08	.00		.09	-.02		.11
教諭	.07	*	.03	.02		.03	.02		.03	.03		.04	-.38	***	.04
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	-.05		.10	-.08		.10	-.03		.10	-.25	*	.12	.12		.15
特別支援学級担任	-.04	*	.02	-.13	***	.02	.00		.02	-.30	***	.02	.03		.03
専科指導	-.11	***	.01	-.16	***	.01	.01		.01	-.35	***	.02	.34	***	.02
通級・日本語指導	-.44	***	.05	-.18	***	.05	-.16	**	.05	-.46	***	.06	.02		.07
いずれにも非該当	-.18	***	.02	-.07	***	.02	-.01		.02	-.33	***	.03	.40	***	.03
部活動顧問担当状況(ref. 担当)															
非担当	-.05	*	.02	.04		.02	-.03		.02	-.03		.03	.14	***	.03
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	.07		.07	.07		.07	-.33	**	.10	.13	†	.07	.13		.08
101-150人	.08		.06	.04		.06	-.15		.09	.08		.07	.06		.08
151-200人	.05		.06	.09		.06	-.26	**	.10	.09		.06	.04		.07
201-250人	.17	**	.06	.10		.06	-.24	*	.10	.11	†	.07	.00		.07
251-300人	.15	*	.06	.14	*	.06	-.30	**	.09	.13	*	.06	-.03		.07
301-350人	.15	*	.06	.16	**	.06	-.20	*	.09	.09		.06	-.02		.07
351-400人	.07		.06	.11	†	.06	-.20	*	.09	.06		.06	.01		.07
401-450人	.10	†	.06	.11	*	.06	-.16	†	.09	.11	†	.06	.00		.07
451-500人	.10	†	.06	.15	*	.06	-.14		.10	.07		.06	-.04		.07
501-550人	.11	*	.06	.11	*	.06	-.22	*	.09	.08		.06	.01		.07
551-600人	.09		.06	.02		.06	-.16		.10	.03		.06	.05		.07
601-650人	.08		.07	.08		.07	-.16		.11	.13	†	.07	-.07		.08
651-700人	.13	*	.06	.07		.06	-.23	*	.10	.04		.06	-.02		.07
701-750人	.11	†	.07	.06		.07	-.23	†	.12	.09		.07	.01		.08
751-800人	.09		.07	.12	†	.07	-.29	*	.12	.03		.07	.04		.08
801-850人	.07		.10	.23	*	.10	-.13		.17	.05		.09	.07		.10
851-900人	.16	†	.09	.13		.09	-.32	*	.16	-.02		.09	.10		.09
901人以上	.12	†	.07	.17	*	.07	-.21	†	.12	.05		.07	.00		.07
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	-.01		.04	-.02		.04	-.01		.07	.02		.04	-.09	*	.05
10時間以上	-.09	†	.05	.05		.05	.02		.08	.05		.05	-.13	**	.05
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	.03		.02	-.04	†	.02	.00		.04	-.02		.02	.02		.02
5時間以上	.00		.02	.01		.02	-.01		.04	.00		.02	-.01		.02
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	-.01		.02	.03	†	.02	-.05		.03	.02		.02	-.03		.02
30時間以上	-.06	*	.03	.04		.03	-.04		.05	-.05	†	.03	-.07	*	.03
切片	.66	***	.06	.15	*	.06	.52	***	.09	.45	***	.07	.64	***	.08
分散															
学校	.03		.00	.03		.00	.14		.01	.02		.00	.00		.00
個人	.26		.00	.25		.00	.27		.00	.38		.01	.61		.01
ICC	.10		.01	.11		.01	.33		.02	.04		.01	.00		.00
BIC	14012.93			13754.31			15184.55			16996.58			20841.58		

（続き）

	職員会議等			個別の打ち合わせ			事務(調査への回答)			事務(その他)			保護者・PTA対応		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)															
女性	-.01	†	.01	.02	*	.01	.00		.00	-.04	***	.01	.01		.01
回答しない	-.04		.03	.01		.03	-.02		.02	-.05		.05	-.01		.03
年齢(ref.30歳以下)															
31-40歳	.05	***	.01	.03	**	.01	.00		.01	.02		.02	-.01		.01
41-50歳	.07	***	.01	.03	**	.01	.01	*	.01	.07	***	.02	.01		.01
51-60歳	.06	***	.01	-.01		.01	.02	***	.01	.08	***	.02	-.01		.01
61歳以上	-.02		.02	-.02		.02	.02	*	.01	.00		.03	-.04	†	.02
職名(ref.主幹教諭)															
指導教諭	-.07	†	.04	.11	**	.04	-.03		.03	-.10		.08	-.03		.05
教諭	-.08	***	.02	-.05	**	.02	-.01		.01	-.23	***	.03	-.02		.02
担任担当状況(ref.単式学級担任)															
複式学級担任	.01		.06	.08		.05	.02		.03	.00		.10	-.01		.07
特別支援学級担任	.04	***	.01	.04	***	.01	.02	***	.01	.09	***	.02	-.13	***	.01
専科指導	.07	***	.01	.04	***	.01	.02	***	.00	.11	***	.02	-.16	***	.01
通級・日本語指導	-.04		.03	.23	***	.03	.01		.02	.36	***	.05	-.12	**	.03
いずれにも非該当	.10	***	.01	.10	***	.01	.03	***	.01	.22	***	.02	-.15	***	.01
部活動顧問担当状況(ref. 担当)															
非担当	-.02		.01	.01		.01	-.01		.01	.00		.02	-.01		.02
学校規模(ref.50人以下)															
51-100人	.00		.05	.04		.03	-.03		.02	-.07		.06	.10	*	.05
101-150人	.04		.04	.01		.03	-.01		.02	-.01		.05	.09	†	.04
151-200人	.03		.04	.02		.03	-.02		.02	-.09	†	.05	.09	*	.04
201-250人	.09	†	.05	.06	*	.03	-.01		.02	-.08		.05	.09	†	.04
251-300人	.06		.04	.04		.03	-.01		.02	-.09	†	.05	.10	*	.04
301-350人	.08	†	.04	.02		.02	-.02		.02	-.04		.05	.10	*	.04
351-400人	.07		.04	.03		.03	-.02		.02	-.07		.05	.10	*	.04
401-450人	.11	*	.04	.03		.02	-.02		.02	-.06		.05	.13	**	.04
451-500人	.08	†	.04	.02		.03	-.02		.02	-.07		.05	.09	*	.04
501-550人	.08	†	.04	.04		.02	-.02		.02	-.04		.05	.11	**	.04
551-600人	.08		.05	.02		.03	-.01		.02	-.04		.05	.07	†	.05
601-650人	.12	*	.05	.05	†	.03	-.05	**	.02	-.07		.05	.08		.05
651-700人	.12	**	.05	.01		.03	-.02		.02	-.07		.05	.08	†	.04
701-750人	.08		.05	.02		.03	-.04	*	.02	-.05		.05	.05		.05
751-800人	.22	***	.05	.04		.03	-.03		.02	-.06		.05	.09	†	.05
801-850人	.06		.08	.04		.04	-.04		.02	-.03		.07	.09		.07
851-900人	.01		.07	.07	*	.04	-.01		.02	-.03		.07	.09		.07
901人以上	.07		.05	.02		.03	-.03		.02	-.08		.05	.12	*	.05
専門スタッフの合計勤務時間															
スクールカウンセラー(ref. なし)															
0時間超-10時間未満	-.01		.03	.01		.02	.00		.01	-.02		.03	-.06	*	.03
10時間以上	.00		.04	.01		.02	-.01		.01	-.03		.04	-.03		.03
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)															
0時間超-5時間未満	.01		.02	.00		.01	.01	*	.01	-.01		.02	-.01		.02
5時間以上	-.03		.02	.01		.01	.01		.01	-.01		.02	.00		.02
教員業務支援員(ref. なし)															
0時間超-30時間未満	.00		.02	.01		.01	.01		.00	-.01		.01	.02		.01
30時間以上	.04	†	.02	.01		.01	.00		.01	-.03		.02	.01		.02
切片	.24	***	.04	.07	*	.03	.09	***	.02	.52	***	.06	.21	***	.05
分散															
学校	.03		.00	.00		.00	.00		.00	.00		.00	.02		.00
個人	.08		.00	.07		.00	.03		.00	.31		.00	.12		.00
ICC	.24		.01	.03		.01	.01		.00	.01		.00	.12		.01
BIC	4324.21			1862.50			-5178.19			14946.58			7601.84		

注：観測数(教員)=8,742, 観測数(学校)=745.

次に、土日の在校等時間・個別業務時間として、表 12-5 のような結果が得られた。スクールカウンセラーについて、週 10 時間以上勤務する学校では総在校等時間が平均で約 0.43 時間（25 分）短く、分析対象の個別業務では学校経営が平均で約 0.04 時間短かった。他方、成績処理の時間が長かった。また、週 0 時間超から 10 時間未満の学校では事務（その他）に費やす時間が短かった。

スクールソーシャルワーカーについて、週 5 時間以上勤務する学校では総在校等時間が平均 0.34 時間（約 20 分）長かった。分析対象の個別業務では授業準備が平均で 0.05 時間長かった。

教員業務支援員について、週 0 時間超から 30 時間未満勤務する学校では、学校行事の時間が短かった。他方、週 30 時間以上勤務の学校では、教諭の授業準備に費やす時間が長かった。

表 12-5　土日の在校等時間・業務時間に関する分析結果（中学校）

	在校等時間			授業準備			成績処理			学校行事		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)												
女性	-.57	***	.05	.02		.01	.05	**	.02	.00		.01
回答しない	-.41	†	.24	.01		.06	.01		.07	.06		.04
年齢(ref.30歳以下)												
31-40歳	-.07		.07	-.05	*	.02	-.02		.02	-.02		.01
41-50歳	-.39	***	.08	-.06	**	.02	-.02		.03	-.02		.01
51-60歳	-.49	***	.09	-.07	**	.02	.02		.03	-.02		.01
61歳以上	-.84	***	.14	-.10	**	.04	-.01		.04	-.07	**	.02
職名(ref.主幹教諭)												
指導教諭	-.20		.35	.03		.09	-.08		.11	.03		.06
教諭	-.30	*	.14	.01		.03	.00		.04	.03		.02
担任担当状況(ref.単式学級担任)												
複式学級担任	-.62		.46	.01		.11	.05		.14	-.01		.08
特別支援学級担任	-.47	***	.09	-.09	***	.02	-.14	***	.03	.02		.02
専科指導	-.23	**	.07	-.03	†	.02	-.02		.02	.01		.01
通級・日本語指導	-.53	*	.24	-.10	†	.06	-.16	*	.07	-.01		.04
いずれにも非該当	-.19	†	.10	-.08	**	.02	-.05		.03	.00		.02
部活動顧問担当状況(ref. 担当)												
非担当	-1.20	***	.10	-.04	†	.03	-.07	*	.03	.00		.02
学校規模(ref.50人以下)												
51-100人	.63	*	.32	.04		.07	.03		.09	-.13		.09
101-150人	.97	**	.30	-.01		.06	.09		.08	.08		.08
151-200人	.80	**	.30	.04		.06	.13		.08	-.09		.08
201-250人	1.19	***	.30	-.01		.06	.08		.08	-.11		.09
251-300人	.69	*	.28	-.01		.06	.09		.08	-.08		.08
301-350人	1.10	***	.28	.01		.06	.14	†	.08	.04		.08
351-400人	.78	***	.28	.05		.06	.09		.08	-.12		.08
401-450人	.70	*	.28	.00		.06	.18	*	.08	-.12		.08
451-500人	.82	**	.29	.03		.06	.10		.08	-.13		.09
501-550人	.79	**	.28	-.02		.06	.13	†	.08	-.09		.08
551-600人	1.21	***	.30	.02		.06	.09		.08	-.12		.09
601-650人	1.18	***	.32	.05		.06	.25	**	.09	-.11		.10
651-700人	.94	**	.30	-.03		.06	.20	*	.08	-.11		.09
701-750人	1.24	***	.34	.03		.07	.20	*	.09	-.07		.11
751-800人	1.36	***	.34	.10		.07	.29	**	.09	-.01		.11
801-850人	.48		.47	-.02		.09	.13		.12	-.11		.15
851-900人	.86	†	.45	.03		.08	.09		.12	-.09		.14
901人以上	.51		.34	-.09		.06	.03		.09	-.12		.11
専門スタッフの合計勤務時間												
スクールカウンセラー(ref. なし)												
0時間超-10時間未満	-.25		.20	-.06		.04	.08		.05	.02		.06
10時間以上	-.43	†	.23	.00		.04	.14	*	.06	.03		.07
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)												
0時間超-5時間未満	.01		.12	-.03		.02	.02		.03	.00		.04
5時間以上	.34	**	.12	.05	*	.02	.00		.03	-.02		.04
教員業務支援員(ref. なし)												
0時間超-30時間未満	-.12		.10	-.01		.02	.01		.02	-.08	*	.03
30時間以上	.02		.14	.06	*	.03	-.03		.04	.02		.05
切片	2.73	***	.31	.28	***	.07	.00		.09	.14	†	.08
分散												
学校	.74		.07	.01		.00	.03		.00	.12		.01
個人	5.68		.09	.36		.01	.55		.01	.16		.00
ICC	.12		.01	.03		.01	.06		.01	.43		.02
BIC	41020.420			16367.570			20364.610			10522.240		

(続き)

	学年・学級経営			学校経営			事務(その他)		
	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差	回帰係数		標準誤差
性別(ref.男性)									
女性	.01		.01	-.02	*	.01	-.01		.01
回答しない	-.01		.03	.03		.03	.00		.03
年齢(ref.30歳以下)									
31-40歳	.01		.01	.01		.01	.02	*	.01
41-50歳	.02	*	.01	.02	†	.01	.03	**	.01
51-60歳	.01		.01	.02	†	.01	.02	*	.01
61歳以上	.03	†	.02	-.02		.02	.03	†	.02
職名(ref.主幹教諭)									
指導教諭	-.03		.04	.06		.04	-.08	*	.04
教諭	.01		.02	-.06	***	.02	-.03	*	.02
担任担当状況(ref.単式学級担任)									
複式学級担任	.01		.05	-.03		.06	.03		.05
特別支援学級担任	-.05	***	.01	-.01		.01	-.01		.01
専科指導	-.02	**	.01	.03	***	.01	.00		.01
通級・日本語指導	-.03		.03	-.02		.03	.03		.03
いずれにも非該当	-.02	*	.01	.02		.01	.00		.01
部活動顧問担当状況(ref. 担当)									
非担当	-.02	†	.01	-.01		.01	-.01		.01
学校規模(ref.50人以下)									
51-100人	.02		.03	.03		.03	.00		.03
101-150人	.02		.03	.01		.03	.04		.03
151-200人	.03		.03	.00		.03	.00		.03
201-250人	.01		.03	.00		.03	.01		.03
251-300人	.02		.02	.03		.03	.01		.03
301-350人	.02		.02	.03		.03	.02		.02
351-400人	.03		.02	.05	†	.03	.00		.02
401-450人	.01		.02	.01		.03	.01		.02
451-500人	.01		.02	-.01		.03	.01		.03
501-550人	.02		.02	.03		.03	.01		.02
551-600人	.03		.03	.03		.03	.01		.03
601-650人	.04		.03	.02		.03	.03		.03
651-700人	.01		.03	.01		.03	-.01		.03
701-750人	.02		.03	.00		.03	.02		.03
751-800人	.07	**	.03	.01		.03	.03		.03
801-850人	.06	†	.04	-.01		.04	.00		.04
851-900人	.03		.03	.02		.04	-.02		.03
901人以上	.02		.03	.02		.03	-.01		.03
専門スタッフの合計勤務時間									
スクールカウンセラー(ref. なし)									
0時間超-10時間未満	.01		.02	-.02		.02	-.04	*	.02
10時間以上	.01		.02	-.04	†	.02	-.03		.02
スクールソーシャルワーカー(ref. なし)									
0時間超-5時間未満	.00		.01	.00		.01	-.01		.01
5時間以上	.01		.01	.01		.01	.00		.01
教員業務支援員(ref. なし)									
0時間超-30時間未満	-.01		.01	.00		.01	.00		.01
30時間以上	-.01		.01	.00		.01	-.02		.01
切片	.00		.03	.09	**	.03	.10	**	.03
分散									
学校	.00		.00	.00		.00	.00		.00
個人	.07		.00	.09		.00	.08		.00
ICC	.02		.01	.00		.00	.01		.01
BIC	2143.631			4391.700			2945.547		

注:観測数(教員)=8,742, 観測数(学校)=745.

4. 考察

以上の分析結果より明らかになったこととして、次の 3 点を指摘する。

第 1 に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら、教育面での支援や配慮が必要な児童生徒とその保護者に関わる業務に、教諭がより多くの時間を確保していた。スクールカウンセラーの週勤務時間が長い小学校の教諭で、平日に給食・栄養指導、清掃指導といった集団指導、調査・統計に回答する時間を少なくし、他方で学校行事や保護者対応に多くの時間を充てていた。また、スクールソーシャルワーカーの勤務時間が長い学校では、学校経営に関する業務時間を縮減し、個別の生徒指導や会議に費やす時間をより充てる傾向が読み取れた。さらに、中学校でも、スクールカウンセラーの勤務時間が長い学校の教諭は平日の学校経営に費やす時間が短く、他方で成績処理に多くの時間を充てることが観察された。

特に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務時間が長い学校とは、児童生徒に対する支援や配慮がより求められる。本調査でもスクールカウンセラーやスクールソーシ

ャルワーカーの勤務時間が長い小・中学校では、不登校による長期欠席児童生徒や準要保護の児童生徒数が多かった[14]。こうした児童生徒に対する支援・配慮が求められる小・中学校で、教諭はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら、支援・配慮が必要な児童生徒やその保護者に関わる業務に注力する現状がうかがえた。

第 2 に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの連携によって、支援・配慮が必要な児童生徒・保護者への対応に伴う教員の負担が一定程度抑制されている可能性である。先行研究の知見（神林 2017）を踏まえると、こうした児童生徒からの支援ニーズが高まると、教員の時間的負担が増大することが予想される。たしかに、本分析では一部でスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務時間が長い場合、教諭の在校等時間が長いところも見受けられた。しかし、大半はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務時間が長い学校に勤めている場合であっても、他の学校に勤める場合と同程度の在校等時間であった。

第 3 に、教員業務支援員の配置によって、教諭がより教育指導に専念できるようになる可能性である。特に中学校では、教員業務支援員が週 30 時間以上勤務する場合、平日 1 日の朝の業務、学年・学級経営、学校経営に費やす時間が縮減され、他方で授業準備に費やす時間が長かった。教員業務支援員の配置により、教員が教育指導とそれに付随する業務に専念できる体制が構築できる可能性がうかがえる。

引用文献・資料

神林寿幸（2017）『公立使用・中学校教員の業務負担』大学教育出版.

中央教育審議会（2015）「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」（入手先 URL：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/__icsFiles/afieldfile/2016/02/05/1365657_00.pdf、最終閲覧日：2024 年 1 月 21 日）.

中央教育審議会（2019）「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（入手先 URL：https://ww

[14] 本分析対象となった小学校と中学校それぞれについて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員の週合計勤務時間と不登校による長期欠席児童生徒数、特別な教育的支援が必要な児童生徒数、要保護世帯の児童生徒数、準要保護世帯の児童生徒数の相関係数を算出したところ、以下のような結果が得られた。

【小学校】

		1	2	3	4	5	6	7
1	週合計勤務時間(スクールカウンセラー)	1.00						
2	週合計勤務時間(スクールソーシャルワーカー)	.14	1.00					
3	週合計勤務時間(教員業務支援員)	.21	.08	1.00				
4	児童数(長期欠席者・不登校)	.11	.15	.14	1.00			
5	児童数(特別な教育的支援が必要)	.05	.01	.05	.21	1.00		
6	児童数(要保護)	.05	.10	.06	.18	-.03	1.00	
7	児童数(準要保護)	.16	.08	.13	.45	.18	.07	1.00

【中学校】

		1	2	3	4	5	6	7
1	週合計勤務時間(スクールカウンセラー)	1.00						
2	週合計勤務時間(スクールソーシャルワーカー)	.05	1.00					
3	週合計勤務時間(教員業務支援員)	.14	.01	1.00				
4	生徒数(長期欠席者・不登校)	.06	.15	.13	1.00			
5	生徒数(特別な教育的支援が必要)	-.03	-.02	.04	.20	1.00		
6	生徒数(要保護)	.06	.04	.08	.27	.04	1.00	
7	生徒数数(準要保護)	.13	.13	.18	.57	.21	.20	1.00

w.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2019/03/08/1412993_1_1.pdf、最終閲覧日：2024 年 1 月 21 日）.

付表　記述統計量

小学校

在校等時間	平均値	標準偏差
平日		
全体	10.77	1.23
朝の業務	.69	.38
授業準備	1.27	.97
学習指導	.35	.72
成績処理	.43	.57
生徒指導(集団1)	.94	.62
生徒指導(個別)	.07	.24
学校行事	.27	.64
学年・学級経営	.33	.50
学校経営	.29	.83
職員会議等の会議	.33	.35
個別の打合せ	.10	.22
事務(調査への回答)	.07	.18
事務(その他)	.26	.59
保護者・PTA対応	.11	.24
土日		
全体	.60	1.34
授業準備	.18	.60
成績処理	.07	.35
学校行事	.08	.50
学年・学級経営	.03	.18
学校経営	.03	.26
事務(その他)	.04	.21

性別	度数	割合
男性	3,269	38.01
女性	5,238	60.91
回答しない	93	1.08
年齢	**度数**	**割合**
30歳以下	2,295	26.69
31-40歳	2,232	25.95
41-50歳	1,943	22.59
51-60歳	1,856	21.58
61歳以上	274	3.19
職名	**度数**	**割合**
主幹教諭	300	3.49
指導教諭	63	.73
教諭	8,237	95.78
担任担当状況	**度数**	**割合**
単式学級担任	5,854	68.07
複式学級担任	87	1.01
特別支援学級担任	1293	15.03
専科指導	773	8.99
通級・日本語指導	297	3.45
いずれにも非該当	296	3.44

学校規模	度数	割合
50人以下	69	.80
51-100人	371	4.31
101-150人	339	3.94
151-200人	266	3.09
201-250人	371	4.31
251-300人	417	4.85
301-350人	590	6.86
351-400人	729	8.48
401-450人	512	5.95
451-500人	523	6.08
501-550人	738	8.58
551-600人	732	8.51
601-650人	597	6.94
651-700人	599	6.97
701-750人	278	3.23
751-800人	284	3.30
801-850人	246	2.86
851-900人	313	3.64
901人以上	626	7.28

専門スタッフの合計勤務時間(週換算)

スクールカウンセラー	度数	割合
なし	1,635	19.01
0時間超-10時間未満	6,316	73.44
10時間以上	649	7.55

スクールソーシャルワーカー	度数	割合
なし	6,264	72.84
0時間超-5時間未満	1508	17.53
5時間以上	828	9.63

教員業務支援員	度数	割合
なし	2,089	24.29
0時間超-30時間未満	4924	57.26
30時間以上	1,587	18.45

(注)n=8,600.

中学校

在校等時間	平均値	標準偏差
平日		
全体	11.02	1.41
朝の業務	.75	.38
授業準備	1.40	1.06
学習指導	.23	.50
成績処理	.60	.87
生徒指導(集団1)	.82	.55
生徒指導(個別)	.25	.54
学校行事	.26	.64
学年・学級経営	.45	.65
学校経営	.29	.82
職員会議等の会議	.31	.33
個別の打合せ	.11	.27
事務(調査への回答)	.08	.18
事務(その他)	.29	.57
保護者・PTA対応	.16	.39
土日		
全体	2.33	2.62
授業準備	.19	.61
成績処理	.20	.77
学校行事	.06	.50
学年・学級経営	.05	.27
学校経営	.04	.31
事務(その他)	.05	.28

性別	度数	割合
男性	5,062	57.9
女性	3,570	40.84
回答しない	110	1.26
年齢	**度数**	**割合**
30歳以下	1,973	22.57
31-40歳	2,455	28.08
41-50歳	1,959	22.41
51-60歳	1,974	22.58
61歳以上	381	4.36
職名	**度数**	**割合**
主幹教諭	347	3.97
指導教諭	56	0.64
教諭	8,339	95.39
担任担当状況	**度数**	**割合**
単式学級担任	4,519	51.69
複式学級担任	29	0.33
特別支援学級担任	884	10.11
専科指導	2,412	27.59
通級・日本語指導	115	1.32
いずれにも非該当	783	8.96
部活動顧問担当状況	**度数**	**割合**
担当	8,058	92.18
非担当	684	7.82

学校規模	度数	割合
50人以下	175	2.00
51-100人	222	2.54
101-150人	313	3.58
151-200人	383	4.38
201-250人	383	4.38
251-300人	591	6.76
301-350人	727	8.32
351-400人	783	8.96
401-450人	861	9.85
451-500人	606	6.93
501-550人	868	9.93
551-600人	528	6.04
601-650人	370	4.23
651-700人	570	6.52
701-750人	358	4.1
751-800人	340	3.89
801-850人	108	1.24
851-900人	134	1.53
901人以上	422	4.83

専門スタッフの合計勤務時間(週換算)

スクールカウンセラー	度数	割合
なし	367	4.20
0時間超-10時間未満	6,996	80.03
10時間以上	1,379	15.77

スクールソーシャルワーカー	度数	割合
なし	5,701	65.21
0時間超-5時間未満	1,570	17.96
5時間以上	1,471	16.83

教員業務支援員	度数	割合
なし	2,902	33.2
0時間超-30時間未満	4,667	53.39
30時間以上	1,173	13.42

(注)n=8,742.

第13章　支援スタッフの配置による副校長・教頭の勤務実態への影響

廣谷貴明

【本章のポイント】

- **スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの週勤務時間が長い学校の副校長・教頭は平日の保護者・PTA 対応、地域対応といった、学校の外部への対応にかける時間が短い。**
- **教員業務支援員の週勤務時間が長い学校の副校長・教頭は生徒指導、事務に関連する業務にかける時間が短い。**
- **これらの分析結果は、各支援スタッフが配置されており、十分な勤務時間が確保されている学校では、副校長・教頭が各支援スタッフにそれぞれ担うことが期待される業務を委任することができており、副校長・教頭の在校等時間を短縮できていることを示す。**

1. 本章の目的

本章では支援スタッフの配置と副校長・教頭の 1 日当たりの在校等時間及び学校経営に関連する業務時間との関係を明らかにすることを目的とする。具体的な専門スタッフとしてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員に特に着目する。

2. 分析方法

次の変数を使用した重回帰分析15を行う。被説明変数には、平日・土日それぞれの在校等時間、学校経営に関連する業務時間を用いる（以下、「業務時間等」という）。学校経営に関連する業務内容として、具体的には①学校経営、②職員会議・学年会などの会議、③個別の打ち合わせ、④事務（調査への回答）、⑤事務（学納金関連）、⑥事務（その他）、⑦保護者・PTA 対応、⑧地域対応、⑨行政・関係団体対応、⑩会議（校外）の 10 の業務に着目する。

説明変数には、①女性を 1、男性を 0 とした女性ダミー、②51 歳以上を 1、50 歳以下を 0 とした 51 歳以上ダミー、③学級担任をしている場合を 1、していない場合を 0 とした学級担任ダミー、④部活動顧問をしている場合を 1、していない場合を 0 とした部活動顧問ダミー（中学校のみ）、⑤学校規模、⑥スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教員業務支援員の 1 週間当たりの勤務時間（第 12 章と同じ）を用いる。

分析結果を解釈する際には、回帰モデルに対する F 検定16の結果、統計的有意性が認められ、投入した説明変数によって被説明変数が説明されるものに特に着目する。

分析対象となった副校長・教頭の属性及び勤務する学校の規模を示した度数分布表が表 13-1、及び連続変数で表される変数の記述統計量を示したものが表 13-2 である。

---

15 副校長・教頭は学校内に 1 人や 2 人等、少人数しか配置されていないため、学校内における副校長・教頭の在校等時間の分散がうまく観察できない。そのため、副校長・教頭を対象とした分析ではマルチレベル分析ではなく、重回帰分析を用いる。

16 帰無仮説を「全ての説明変数の係数が 0 である」、対立仮説を「少なくとも 1 つの説明変数の係数が 0 ではない」とし、回帰モデルの有意性を検定するもの。F 検定の結果、統計的有意性が認められた場合は対立仮説が採択され、分析結果の解釈を行うことができるが、逆に統計的有意性が認められなかった場合、分析に投入された説明変数では被説明変数を説明できないため、解釈ができない。

表 13-1　分析対象となる副校長・教頭の属性と勤務する学校規模

	小学校（N=602）		中学校（N=602）	
	N	%	N	%
性別				
男性	411	68.3%	513	85.2%
女性	191	31.7%	89	14.8%
年代				
～50歳	245	40.7%	235	39.0%
51歳～	357	59.3%	367	61.0%
学級担任				
担任をしている	70	11.6%	92	15.3%
担任をしていない	532	88.4%	510	84.7%
部活動顧問				
顧問をしている			45	7.5%
顧問をしていない			557	92.5%
学校規模				
50人以下	15	2.5%	38	6.3%
51人以上100人以下	56	9.3%	29	4.8%
101人以上150人以下	38	6.3%	41	6.8%
151人以上200人以下	32	5.3%	31	5.1%
201人以上250人以下	34	5.6%	32	5.3%
251人以上300人以下	30	5.0%	43	7.1%
301人以上350人以下	43	7.1%	48	8.0%
351人以上400人以下	47	7.8%	48	8.0%
401人以上450人以下	35	5.8%	54	9.0%
451人以上500人以下	37	6.1%	39	6.5%
501人以上550人以下	40	6.6%	54	9.0%
551人以上600人以下	35	5.8%	31	5.1%
601人以上650人以下	24	4.0%	16	2.7%
651人以上700人以下	32	5.3%	29	4.8%
701人以上750人以下	18	3.0%	20	3.3%
751人以上800人以下	18	3.0%	14	2.3%
801人以上850人以下	16	2.7%	7	1.2%
851人以上900人以下	17	2.8%	6	1.0%
901人以上	35	5.8%	22	3.7%
SC週勤務時間				
0時間	126	20.9%	41	6.8%
0時間超-10時間未満	438	72.8%	474	78.7%
10時間超-	38	6.3%	87	14.5%
SSW週勤務時間				
0時間	449	74.6%	403	66.9%
0時間超-5時間未満	105	17.4%	104	17.3%
5時間以上-	48	8.0%	95	15.8%
教員業務支援員週勤務時間				
0時間	168	27.9%	226	37.5%
0時間超-30時間未満	329	54.7%	307	51.0%
30時間超-	105	17.4%	69	11.5%

表 13-2　使用変数の記述統計量

	小学校					中学校				
	N	平均	標準偏差	最小値	最大値	N	平均	標準偏差	最小値	最大値
1日当たりの在校等時間・業務時間（平日）										
在校等時間	602	705.60	79.00	420	966	602	703.93	80.71	474	996
学校経営	602	175.94	163.42	0	720	602	163.22	165.27	0	786
職員会議・学年会などの会議	602	21.28	24.50	0	294	602	26.62	25.07	0	150
個別の打ち合わせ	602	25.13	36.10	0	228	602	28.12	47.04	0	696
事務（調査への回答）	602	32.90	44.33	0	252	602	39.83	53.41	0	324
事務（学納金関連）	602	4.83	13.72	0	150	602	5.96	16.93	0	186
事務（その他）	602	166.06	134.35	0	684	602	199.39	159.75	0	846
保護者・PTA対応	602	35.71	39.81	0	240	602	23.64	31.78	0	258
地域対応	602	10.78	18.07	0	120	602	7.50	16.78	0	168
行政・関係団体対応	602	14.96	23.81	0	180	602	17.99	33.32	0	408
会議（校外）	602	10.60	21.56	0	186	602	16.01	28.92	0	222
1日当たりの在校等時間・業務時間（土日）										
在校等時間	602	58.95	103.56	0	630	602	75.37	115.56	0	690
学校経営	602	7.30	27.52	0	300	602	9.64	33.44	0	390
職員会議・学年会などの会議	602	0.35	3.22	0	45	602	0.27	2.65	0	30
個別の打ち合わせ	602	0.45	5.03	0	105	602	0.97	7.20	0	75
事務（調査への回答）	602	2.84	13.96	0	120	602	1.77	10.54	0	120
事務（学納金関連）	602	0.27	3.28	0	60	602	0.50	5.02	0	75
事務（その他）	602	19.16	49.04	0	420	602	21.93	56.04	0	390
保護者・PTA対応	602	4.98	25.43	0	300	602	5.88	25.43	0	225
地域対応	602	8.67	34.82	0	300	602	8.20	32.90	0	300
行政・関係団体対応	602	0.95	10.94	0	240	602	3.29	37.75	0	690
会議（校外）	602	1.02	12.21	0	195	602	0.47	7.40	0	135

3.　分析結果

(1)小学校（平日）の業務内容別の時間等の分析

支援スタッフの週勤務時間と副校長・教頭の業務内容別の時間等との関係に統計的有意性が認められ、かつ F 検定の結果、回帰モデルの統計的有意性が認められた業務は、個別の打ち合わせ、保護者・PTA 対応、行政・関係団体対応の 3 つであった（在校等時間及びその他の業務時間を分析したものは付表 1 参照)。

表 13-3 から次の 2 点が指摘できる。第 1 にスクールソーシャルワーカーの週勤務時間が 0 時間の学校に比べ、5 時間以上の小学校では副校長・教頭の保護者・PTA 対応にかける時間が短く、0 時間以上 5 時間未満の小学校では行政・関係団体対応にかける時間が長いこと、第 2 に教員業務支援員の週勤務時間が 0 時間の小学校に比べ、30 時間以上の小学校では副校長・教頭の個別の打ち合わせにかける時間が長いことである。

表 13-3　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（小学校・平日）

	個別の打ち合わせ		保護者・PTA対応		行政・関係団体対応	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）						
女性	13.54 ***	3.19	12.91 ***	3.52	-4.45 **	2.14
年代（ref：～50歳）						
～51歳	-10.22 ***	3.01	-7.26 **	3.33	-1.03	2.02
学級担任（ref：担任をしていない）						
担任をしている	-9.45 **	4.62	-7.19	5.11	-6.42 **	3.10
学校規模（ref：50人以下）						
51人以上100人以下	15.56	10.26	10.51	11.34	1.01	6.89
101人以上150人以下	13.57	10.84	13.90	11.99	4.87	7.28
151人以上200人以下	8.12	11.23	4.48	12.42	12.28	7.54
201人以上250人以下	25.95 **	11.02	20.37 *	12.18	7.90	7.40
251人以上300人以下	8.93	11.28	25.98 **	12.47	7.89	7.58
301人以上350人以下	19.77 *	10.76	24.62 **	11.90	2.61	7.23
351人以上400人以下	16.16	10.78	23.71 **	11.92	15.27 **	7.24
401人以上450人以下	29.81 ***	11.06	22.90 *	12.23	8.76	7.43
451人以上500人以下	21.90 **	11.11	22.15 *	12.28	15.32 **	7.46
501人以上550人以下	29.98 ***	10.95	19.02	12.11	6.15	7.36
551人以上600人以下	21.76 *	11.10	15.38	12.28	16.19 **	7.46
601人以上650人以下	22.06 *	11.83	23.77 *	13.08	7.57	7.95
651人以上700人以下	23.58 **	11.34	28.36 **	12.54	1.55	7.62
701人以上750人以下	15.02	12.57	27.10 *	13.89	6.36	8.44
751人以上800人以下	20.84	12.64	21.31	13.97	0.17	8.49
801人以上850人以下	25.90 **	13.04	13.13	14.42	-2.22	8.76
851人以上900人以下	22.72 *	12.78	35.67 **	14.12	7.05	8.58
901人以上	23.50 **	11.22	38.06 ***	12.41	6.34	7.54
SC（ref：0時間）						
0時間超-10時間未満	3.71	3.91	6.94	4.33	-0.95	2.63
10時間超-	-1.31	6.89	-7.37	7.62	-2.06	4.63
SSW（ref：0時間）						
0時間超-5時間未満	3.18	3.99	-5.73	4.41	4.69 *	2.68
5時間超-	-4.70	5.51	-11.43 *	6.09	5.70	3.70
教員業務支援員（ref：0時間）						
0時間超-30時間未満	0.44	3.50	1.07	3.87	-1.82	2.35
30時間超-	7.92 *	4.57	7.67	5.05	0.28	3.07
定数項	4.02	9.62	11.69	10.63	11.07 *	6.46
N	602		602		602	
R^2	0.11		0.10		0.10	
F	2.50 ***		2.37 ***		2.37 ***	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

(2)小学校（土日）の業務内容別の時間等の分析

支援スタッフの週勤務時間と小学校の副校長・教頭の土日の業務時間等との関係に統計的有意性が認められた業務はなかった（付表２参照)。

(3)中学校（平日）の業務内容別の時間等の分析

中学校の副校長・教頭の勤務時間に関して、支援スタッフとの週勤務時間との関係に統計的有意性が認められたものは平日の在校等時間、事務（その他)、地域対応、会議（校外）の４つであった。

表 13-4 から具体的に次の 3 点が指摘できる。第 1 にスクールカウンセラーの週勤務時間が 0 時間の中学校に比べ、0 時間以上 10 時間未満及び 10 時間以上の中学校では、副校長・教頭が地域対応にかける時間が短いこと、第 2 にスクールソーシャルワーカーの週勤務時間が 0 時間の中学校に比べ、0 時間以上 5 時間未満の中学校では、副校長の平日 1 日当たりの在校等時間が短く、会議（校外）にかける時間が長いこと、5 時間以上の中学校では地域対応にかける時間が短いこと、第 3 に教員業務支援員の週勤務時間が 0 時間の中学校に比べ、0 時間以上 30 時間未満の中学校では、副校長・教頭が事務（その他）にかける時間が短いことである（その他の業務時間を分析したものは付表３参照)。

(4)中学校（土日）の業務内容別の時間等の分析

土日の分析結果に関しては、スクールソーシャルワーカーの週勤務時間が 0 時間の中学校に比べ、0 時間以上 5 時間未満の中学校では、副校長・教頭が個別の打ち合わせにかける時間が長いという結果が得られた（表 13-5）（その他の業務時間を分析したものは付表４参照)。

表 13-4　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（中学校・平日）

	在校等時間		事務（その他）		地域対応		会議（校外）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	-4.30	9.43	-21.76	18.60	2.62	1.95	-4.58	3.39
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-14.10 **	6.84	4.15	13.51	-2.50 *	1.42	0.56	2.46
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	16.75 *	9.30	-53.43 ***	18.34	-4.03 **	1.93	-1.10	3.35
部活動（ref：顧問をしていない）								
顧問をしている	5.21	12.71	-14.28	25.08	-3.78	2.63	7.12	4.57
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	37.06 *	19.88	-41.48	39.23	-0.61	4.12	12.82 *	7.15
101人以上150人以下	21.39	18.28	-14.11	36.07	-6.65 *	3.79	-3.57	6.58
151人以上200人以下	47.69 **	19.89	-7.60	39.24	-5.35	4.12	-10.35	7.16
201人以上250人以下	48.34 **	19.85	-50.04	39.17	7.10 *	4.11	-6.56	7.14
251人以上300人以下	32.00 *	18.48	-28.30	36.47	0.93	3.83	-1.07	6.65
301人以上350人以下	36.79 **	18.08	-23.89	35.68	-0.37	3.75	5.54	6.51
351人以上400人以下	45.78 **	18.36	-27.75	36.23	-2.96	3.80	-8.53	6.61
401人以上450人以下	33.53 *	17.75	-11.57	35.03	-1.79	3.68	-5.23	6.39
451人以上500人以下	34.47 *	18.97	3.30	37.44	-1.59	3.93	2.78	6.83
501人以上550人以下	38.55 **	17.94	-42.62	35.40	-5.57	3.72	-3.77	6.46
551人以上600人以下	61.90 ***	20.20	23.34	39.86	-1.42	4.19	-15.51 **	7.27
601人以上650人以下	34.41	24.67	14.03	48.69	4.87	5.11	-10.23	8.88
651人以上700人以下	83.92 ***	20.38	-70.76 *	40.21	-4.13	4.22	-8.46	7.33
701人以上750人以下	48.77 **	22.99	-24.19	45.37	-2.34	4.76	-11.62	8.27
751人以上800人以下	25.61	25.39	-105.04 **	50.10	-8.08	5.26	-1.41	9.14
801人以上850人以下	9.91	33.62	142.69 **	66.34	-7.04	6.97	9.18	12.10
851人以上900人以下	90.00 **	35.82	49.02	70.68	-4.16	7.42	-17.29	12.89
901人以上	44.77 **	22.38	17.31	44.17	0.32	4.64	-7.23	8.05
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	0.49	14.05	-10.96	27.73	-5.17 *	2.91	4.35	5.06
10時間超-	-18.93	16.57	-41.13	32.70	-5.68 *	3.43	9.20	5.96
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	-19.25 **	8.98	-27.77	17.73	-2.44	1.86	5.69 *	3.23
5時間超-	2.84	9.41	26.64	18.56	-4.10 **	1.95	-0.27	3.38
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	1.53	7.34	-28.77 **	14.49	0.90	1.52	1.47	2.64
30時間超-	-6.49	11.61	-22.09	22.90	-0.24	2.40	-0.60	4.18
定数項	676.56	16.61	260.77 ***	32.79	16.93 ***	3.44	13.28 **	5.98
N	602		602		602		602	
R^2	0.07		0.08		0.08		0.09	
F	1.58 **		1.71 **		1.72 **		1.39 *	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

表 13-5　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（中学校・土日）

	個別の打ち合わせ	
	B	S.E.
性別（ref：男性）		
女性	0.89	0.84
年代（ref：～50歳）		
～51歳	-0.56	0.61
学級担任（ref：担任をしていない）		
担任をしている	-0.56	0.83
部活動（ref：顧問をしていない）		
顧問をしている	-1.35	1.14
学校規模（ref：50人以下）		
51人以上100人以下	0.33	1.78
101人以上150人以下	1.88	1.63
151人以上200人以下	1.69	1.78
201人以上250人以下	2.68	1.77
251人以上300人以下	0.19	1.65
301人以上350人以下	1.55	1.62
351人以上400人以下	0.56	1.64
401人以上450人以下	1.05	1.59
451人以上500人以下	1.16	1.70
501人以上550人以下	0.81	1.60
551人以上600人以下	0.58	1.80
601人以上650人以下	0.32	2.20
651人以上700人以下	3.61 **	1.82
701人以上750人以下	0.21	2.05
751人以上800人以下	6.21 ***	2.27
801人以上850人以下	0.66	3.00
851人以上900人以下	13.01 ***	3.20
901人以上	-0.07	2.00
SC（ref：0時間）		
0時間超-10時間未満	-1.44	1.26
10時間超-	-0.77	1.48
SSW（ref：0時間）		
0時間超-5時間未満	1.43 *	0.80
5時間超-	0.62	0.84
教員業務支援員（ref：0時間）		
0時間超-30時間未満	-0.43	0.66
30時間超-	0.65	1.04
定数項	1.12	1.48
N	602	
R^2	0.07	
F	1.51 **	

（注）＊：p<.10、**：p<.05、***：p<.01

4. 考察

業務内容によっては支援スタッフの週勤務時間が長い学校の副校長・教頭の方が、支援スタッフの週勤務時間が短い学校の副校長・教頭に比べて在校等時間が長かったが、同時に支援スタッフの配置により業務時間が減少する業務内容もあった。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの週勤務時間が長い学校では、副校長・教頭が保護者・PTA 対応、地域対応にかける時間が減少することは、支援スタッフ配置による効果を示すものであろう。

教員業務支援員に関しても、週勤務時間が長い学校では、中学校の副校長・教頭の事務（その他）にかける時間が減少するという結果は、副校長・教頭の文書作成等の事務の負担軽減を示すものと考えられる。

以上のことから、支援スタッフの配置は、副校長・教頭の勤務環境を改善するうえで、大きな役割をもつことが考えられる。

5. 補足

表 13-3～13-5 に示された業務以外の分析結果は次の付表 1～付表 4 のとおりである。これらの業務時間の分析は回帰モデルの統計的有意性が認められなかった、または認められたとしても支援スタッフの配置による業務時間への影響が観察されなかったものである。

付表１　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（小学校・平日）

	在校等時間		学校経営		職員会議・学年会などの会議		事務（調査への回答）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	13.37 *	7.18	-20.63	14.87	2.71	2.24	-6.57	4.07
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-14.86 **	6.79	-14.76	14.06	-2.15	2.12	-3.57	3.85
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-9.00	10.42	-41.71 *	21.57	0.37	3.25	-10.89 *	5.90
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	33.61	23.13	17.54	47.88	-5.74	7.20	11.77	13.10
101人以上150人以下	34.84	24.45	76.53	50.62	-5.20	7.62	13.51	13.85
151人以上200人以下	46.44 *	25.33	25.40	52.43	-6.57	7.89	8.37	14.35
201人以上250人以下	61.09 **	24.85	38.88	51.45	-4.76	7.74	19.03	14.08
251人以上300人以下	45.84 *	25.45	56.33	52.68	-2.45	7.93	12.21	14.42
301人以上350人以下	54.83 **	24.27	28.00	50.24	-3.82	7.56	16.05	13.75
351人以上400人以下	35.81	24.31	39.40	50.32	2.41	7.57	11.43	13.77
401人以上450人以下	56.04 **	24.95	46.75	51.64	-9.34	7.77	6.88	14.13
451人以上500人以下	44.06 *	25.06	44.22	51.87	-10.12	7.80	14.09	14.19
501人以上550人以下	54.92 **	24.70	37.68	51.14	-1.64	7.69	18.41	13.99
551人以上600人以下	52.10 **	25.04	80.05	51.84	-10.00	7.80	7.46	14.19
601人以上650人以下	65.39 **	26.68	62.34	55.23	-6.27	8.31	5.10	15.11
651人以上700人以下	75.89 ***	25.58	97.64 *	52.95	-9.17	7.97	14.71	14.49
701人以上750人以下	47.34 *	28.34	59.70	58.67	9.81	8.83	0.25	16.05
751人以上800人以下	51.41 *	28.50	-10.25	59.00	-1.92	8.88	12.07	16.14
801人以上850人以下	50.47 *	29.42	37.91	60.90	3.22	9.16	18.17	16.66
851人以上900人以下	58.69 **	28.81	53.62	59.64	-8.74	8.97	23.15	16.32
901人以上	43.92 *	25.31	30.95	52.39	-11.31	7.88	9.06	14.34
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	-3.08	8.82	-36.74 **	18.26	0.05	2.75	-5.88	5.00
10時間超-	-23.88	15.55	-76.04 **	32.19	2.40	4.84	-3.85	8.81
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	2.12	9.00	-8.31	18.63	1.33	2.80	1.86	5.10
5時間超-	-8.55	12.42	7.24	25.72	-0.67	3.87	-7.38	7.04
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	4.86	7.89	20.49	16.32	-1.39	2.46	-0.18	4.47
30時間超-	5.82	10.31	29.45	21.34	1.53	3.21	5.14	5.84
定数項	663.58 ***	21.69	168.19 ***	44.89	26.64 ***	6.75	30.30 **	12.29
N	602		602		602		602	
R^2	0.05		0.05		0.04		0.03	
F	1.10		1.07		0.92		0.68	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

（続き）

	事務（学納金関連）		事務（その他）		地域対応		会議（校外）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	1.46	1.25	-28.12 **	12.18	1.54	1.64	-0.74	1.97
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-0.62	1.18	18.73	11.51	-1.68	1.55	-1.20	1.86
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-2.04	1.82	-42.98 **	17.67	-2.72	2.38	-3.44	2.86
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	1.16	4.03	5.70	39.22	-5.65	5.28	-6.08	6.34
101人以上150人以下	4.88	4.26	-12.98	41.46	-9.64	5.58	-7.35	6.70
151人以上200人以下	4.48	4.41	29.66	42.94	-2.19	5.78	0.64	6.94
201人以上250人以下	4.64	4.33	25.18	42.14	-6.67	5.67	-3.47	6.81
251人以上300人以下	1.98	4.43	-4.12	43.15	-10.12	5.81	-4.08	6.97
301人以上350人以下	1.00	4.23	10.89	41.15	-6.67	5.54	-0.46	6.65
351人以上400人以下	0.44	4.24	-17.72	41.22	-5.09	5.55	-4.49	6.66
401人以上450人以下	4.26	4.35	17.81	42.30	-3.87	5.69	0.11	6.84
451人以上500人以下	1.27	4.37	0.94	42.49	0.62	5.72	2.14	6.87
501人以上550人以下	-1.72	4.30	-29.85	41.89	-8.22	5.64	4.43	6.77
551人以上600人以下	3.45	4.36	-18.22	42.46	-6.39	5.71	-0.72	6.86
601人以上650人以下	-0.03	4.65	-11.43	45.24	-6.12	6.09	-5.96	7.31
651人以上700人以下	-0.46	4.46	-32.24	43.37	-8.78	5.84	-5.17	7.01
701人以上750人以下	6.88	4.94	-10.26	48.05	-8.62	6.47	-7.99	7.77
751人以上800人以下	4.22	4.97	-21.37	48.33	-3.15	6.50	-1.15	7.81
801人以上850人以下	-1.85	5.13	26.94	49.88	-13.05	6.71	-3.04	8.06
851人以上900人以下	0.41	5.02	5.18	48.85	-8.46	6.57	-1.31	7.90
901人以上	-0.61	4.41	27.28	42.92	-4.68	5.78	-2.36	6.94
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	2.05	1.54	19.28	14.96	5.32	2.01	-3.01	2.42
10時間超-	0.06	2.71	53.01 **	26.37	3.05	3.55	-3.34	4.26
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	1.99	1.57	-3.03	15.26	0.55	2.05	5.91	2.47
5時間超-	-0.85	2.16	12.84	21.07	-4.42	2.84	-0.05 **	3.40
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	1.27	1.37	-26.64 **	13.37	0.81	1.80	2.81	2.16
30時間超-	0.84	1.80	-38.44 **	17.48	-0.52	2.35	-0.28	2.83
定数項	0.59	3.78	172.98 ***	36.77	13.48	4.95	14.27 **	5.94
N	602		602		602		602	
R^2	0.04		0.06		0.05		0.04	
F	0.97		1.24		1.21		0.92	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

付表２　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（小学校・土日）

	在校等時間		学校経営		職員会議・学年会などの会議		個別の打ち合わせ	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	17.27 *	9.50	4.44 *	2.50	0.76 ***	0.29	0.23	0.46
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-5.80	8.98	-1.73	2.36	0.24	0.27	-0.60	0.44
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-3.88	13.79	0.18	3.63	0.51	0.42	-0.58	0.67
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	-5.43	30.60	-5.89	8.05	-0.13	0.94	-0.38	1.48
101人以上150人以下	7.24	32.35	7.45	8.51	-0.08	0.99	-0.96	1.57
151人以上200人以下	8.57	33.51	2.34	8.81	1.08	1.03	0.20	1.63
201人以上250人以下	-1.71	32.88	-0.23	8.65	-0.17	1.01	-1.06	1.60
251人以上300人以下	-5.29	33.67	-3.42	8.86	0.33	1.03	-1.01	1.63
301人以上350人以下	-22.69	32.11	-6.11	8.45	1.67 *	0.98	-1.12	1.56
351人以上400人以下	-10.17	32.16	-6.36	8.46	-0.34	0.98	-1.05	1.56
401人以上450人以下	17.01	33.00	7.07	8.68	-0.19	1.01	-1.09	1.60
451人以上500人以下	-8.03	33.15	-5.72	8.72	-0.41	1.01	-0.18	1.61
501人以上550人以下	7.48	32.68	-0.81	8.60	1.40	1.00	-0.73	1.59
551人以上600人以下	20.12	33.13	-0.98	8.72	-0.21	1.01	-0.24	1.61
601人以上650人以下	-0.20	35.30	10.30	9.28	-0.29	1.08	-1.01	1.71
651人以上700人以下	17.44	33.84	7.02	8.90	-0.27	1.04	2.02	1.64
701人以上750人以下	25.35	37.49	-3.92	9.86	-0.15	1.15	-1.12	1.82
751人以上800人以下	23.41	37.71	-4.25	9.92	-0.04	1.15	-1.26	1.83
801人以上850人以下	19.95	38.92	1.55	10.24	-0.44	1.19	-1.12	1.89
851人以上900人以下	-36.84	38.12	-4.13	10.03	-0.29	1.17	-0.93	1.85
901人以上	4.16	33.49	-4.08	8.81	0.24	1.02	-1.08	1.62
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	1.21	11.67	-4.12	3.07	0.17	0.36	-0.10	0.57
10時間超-	22.38	20.57	-6.46	5.41	0.79	0.63	-0.27	1.00
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	6.74	11.91	-2.00	3.13	0.29	0.36	0.34	0.58
5時間超-	-10.67	16.44	-3.86	4.32	0.04	0.50	-0.39	0.80
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	-3.60	10.43	-2.91	2.74	0.47	0.32	0.38	0.51
30時間超-	8.36	13.64	0.78	3.59	0.53	0.42	-0.19	0.66
定数項	53.35 *	28.69	13.31 *	7.55	-0.82	0.88	1.31	1.39
N	602		602		602		602	
R^2	0.03		0.05		0.06		0.03	
F	0.70		1.14		1.39 *		0.7	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

（続き）

	事務（調査への回答）		事務（学納金関連）		事務（その他）		保護者・PTA対応	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	2.31 *	1.27	0.32	0.30	12.98 ***	4.48	-1.67	2.30
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-1.00	1.20	0.46	0.28	-6.67	4.24	2.04	2.17
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-2.16	1.84	0.68	0.43	-8.92	6.50	0.38	3.34
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	-6.51	4.09	-2.12 **	0.96	5.55	14.43	-1.64	7.41
101人以上150人以下	-8.28 *	4.33	-2.11 **	1.01	-0.06	15.26	1.93	7.83
151人以上200人以下	-5.93	4.48	-2.04 *	1.05	10.18	15.80	-0.69	8.11
201人以上250人以下	-6.24	4.40	-2.04 **	1.03	6.39	15.51	9.04	7.96
251人以上300人以下	-9.01 **	4.50	-0.13	1.05	-5.69	15.88	-1.84	8.15
301人以上350人以下	-7.59 *	4.29	-1.95 *	1.01	-8.93	15.14	2.60	7.77
351人以上400人以下	-8.05 *	4.30	-1.52	1.01	-1.99	15.17	-3.05	7.78
401人以上450人以下	0.25	4.41	-2.09 **	1.03	4.95	15.57	-0.62	7.99
451人以上500人以下	-5.24	4.43	-2.22 **	1.04	-3.00	15.64	4.66	8.02
501人以上550人以下	-7.39 *	4.37	-2.02 **	1.02	-2.83	15.41	3.10	7.91
551人以上600人以下	-6.24	4.43	-2.08 **	1.04	-5.46	15.63	11.43	8.02
601人以上650人以下	-9.42 **	4.72	-2.11 *	1.11	-3.56	16.65	-1.75	8.54
651人以上700人以下	-9.14 **	4.53	-1.49	1.06	-2.64	15.96	-1.41	8.19
701人以上750人以下	-0.76	5.01	-0.41	1.17	3.55	17.68	-1.96	9.07
751人以上800人以下	-3.59	5.04	-1.84	1.18	4.18	17.78	0.51	9.13
801人以上850人以下	-9.89 *	5.20	-2.28 *	1.22	6.56	18.36	1.62	9.42
851人以上900人以下	-9.07 *	5.10	-2.32 *	1.19	-3.13	17.98	-2.20	9.23
901人以上	-4.51	4.48	-2.15 **	1.05	-10.88	15.79	17.77	8.10
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	0.41	1.56	0.13	0.37	4.21	5.51	0.38	2.83
10時間超-	1.61	2.75	-0.10	0.64	4.00	9.70	-5.02	4.98
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	0.49	1.59	0.16	0.37	0.23	5.62	4.18	2.88
5時間超-	-1.36	2.20	1.17 **	0.51	3.63	7.75	-2.09	3.98
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	0.42	1.40	0.05	0.33	-1.42	4.92	4.16	2.53
30時間超-	1.27	1.82	0.54	0.43	8.46	6.43	0.31	3.30
定数項	8.47 **	3.84	1.31	0.90	16.35	13.53	-0.84	6.94
N	602		602		602		602	
R^2	0.05		0.06		0.04		0.06	
F	1.05		1.25		0.87		1.35	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

（続き）

	地域対応		行政・関係団体対応		会議（校外）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）						
女性	-0.07	3.20	-0.28	1.00	0.64	1.11
年代（ref：～50歳）						
～51歳	-3.02	3.02	-0.45	0.95	-0.50	1.05
学級担任（ref：担任をしていない）						
担任をしている	3.37	4.64	-0.85	1.45	-1.45	1.61
学校規模（ref：50人以下）						
51人以上100人以下	2.72	10.30	-3.07	3.22	-0.19	3.58
101人以上150人以下	-2.83	10.89	4.41	3.41	2.73	3.78
151人以上200人以下	-7.27	11.28	-3.69	3.53	-0.52	3.92
201人以上250人以下	-5.69	11.07	-3.40	3.46	-0.43	3.84
251人以上300人以下	2.08	11.33	-3.51	3.55	-0.22	3.93
301人以上350人以下	0.57	10.81	-3.04	3.38	-0.57	3.75
351人以上400人以下	7.07	10.83	-3.28	3.39	-0.45	3.76
401人以上450人以下	-0.25	11.11	-2.24	3.48	-0.25	3.86
451人以上500人以下	5.80	11.16	-3.40	3.49	-0.74	3.87
501人以上550人以下	1.39	11.00	-3.59	3.44	2.33	3.82
551人以上600人以下	-4.21	11.15	-2.52	3.49	9.36 **	3.87
601人以上650人以下	5.77	11.88	-3.50	3.72	-0.36	4.12
651人以上700人以下	-5.93	11.39	-3.86	3.56	-1.00	3.95
701人以上750人以下	6.14	12.62	0.39	3.95	-0.54	4.38
751人以上800人以下	-5.07	12.69	-1.60	3.97	-1.00	4.41
801人以上850人以下	-8.00	13.10	-3.34	4.10	-0.61	4.55
851人以上900人以下	-7.74	12.83	-3.18	4.01	-0.51	4.45
901人以上	-2.16	11.27	-3.36	3.53	0.50	3.91
SC（ref：0時間）						
0時間超-10時間未満	4.28	3.93	0.15	1.23	0.94	1.36
10時間超-	6.82	6.92	0.24	2.17	3.68	2.40
SSW（ref：0時間）						
0時間超-5時間未満	6.00	4.01	-1.41	1.25	-0.92	1.39
5時間超-	-1.34	5.53	-1.43	1.73	-1.97	1.92
教員業務支援員（ref：0時間）						
0時間超-30時間未満	-1.06	3.51	1.09	1.10	-0.64	1.22
30時間超-	0.89	4.59	0.26	1.44	-2.00	1.59
定数項	6.39	9.66	3.51	3.02	0.84	3.35
N	602		602		602	
R^2	0.03		0.04		0.05	
F	0.65		0.83		1.10	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

付表３　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（中学校・平日）

	学校経営		職員会議・学年会などの会議		個別の打ち合わせ		事務（調査への回答）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	-24.75	19.55	0.11	2.96	13.37 **	5.51	-5.32	6.33
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-6.96	14.19	-2.33	2.15	-8.28 **	4.00	3.08	4.60
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-6.55	19.28	2.89	2.92	-4.14	5.44	-12.55 **	6.24
部活動（ref：顧問をしていない）								
顧問をしている	-3.95	26.35	-3.59	3.99	-2.31	7.43	6.50	8.54
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	-2.22	41.23	-2.42	6.24	8.91	11.63	-10.10	13.36
101人以上150人以下	-11.02	37.90	-0.76	5.74	5.35	10.69	-3.91	12.28
151人以上200人以下	29.16	41.23	1.71	6.24	-1.53	11.63	-11.04	13.36
201人以上250人以下	33.11	41.16	12.10 *	6.23	13.75	11.61	-13.73	13.33
251人以上300人以下	-8.56	38.32	11.13 *	5.80	18.84 *	10.81	1.42	12.41
301人以上350人以下	16.51	37.50	8.80	5.68	5.25	10.57	0.52	12.15
351人以上400人以下	-2.21	38.07	8.44	5.76	19.41 *	10.74	2.14	12.33
401人以上450人以下	18.75	36.81	6.26	5.57	4.94	10.38	-5.87	11.92
451人以上500人以下	-14.89	39.34	7.47	5.96	14.80	11.09	-3.79	12.74
501人以上550人以下	40.32	37.20	6.04	5.63	2.05	10.49	-10.52	12.05
551人以上600人以下	20.17	41.88	13.84 **	6.34	17.03	11.81	-6.65	13.57
601人以上650人以下	-23.41	51.16	1.90	7.75	49.66 ***	14.43	16.13	16.57
651人以上700人以下	58.10	42.25	15.63 **	6.40	25.18 **	11.92	1.61	13.69
701人以上750人以下	-8.33	47.68	4.79	7.22	6.53	13.45	5.37	15.44
751人以上800人以下	60.44	52.64	14.02 *	7.97	4.47	14.85	-27.29	17.05
801人以上850人以下	-118.59 *	69.71	8.51	10.55	1.42	19.66	-2.23	22.58
851人以上900人以下	59.99	74.28	21.44 *	11.25	15.27	20.95	-23.47	24.06
901人以上	-43.11	46.41	-3.41	7.03	7.71	13.09	-4.79	15.03
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	-3.59	29.14	2.22	4.41	4.11	8.22	1.46	9.44
10時間超-	-10.22	34.36	4.19	5.20	3.53	9.69	12.80	11.13
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	24.02	18.63	-1.50	2.82	-5.90	5.25	2.81	6.03
5時間超-	3.47	19.51	0.86	2.95	3.40	5.50	1.33	6.32
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	37.67 **	15.23	-3.05	2.31	1.80	4.29	2.92	4.93
30時間超-	28.19	24.07	-2.73	3.64	-1.10	6.79	11.35	7.80
定数項	140.32 ***	34.45	20.98 ***	5.22	17.42 *	9.72	37.86 ***	11.16
N	602		602		602		602	
R^2	0.05		0.05		0.07		0.04	
F	1.03		1.12		1.43 *		0.93	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

（続き）

	事務（学納金関連）		保護者・PTA対応		行政・関係団体対応	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）						
女性	2.34	2.00	10.90 ***	3.74	6.62 *	3.94
年代（ref：～50歳）						
～51歳	-0.92	1.45	0.51	2.71	-1.56	2.86
学級担任（ref：担任をしていない）						
担任をしている	-1.22	1.97	-4.37	3.68	6.12	3.88
部活動（ref：顧問をしていない）						
顧問をしている	-4.57 *	2.70	-3.57	5.04	7.70	5.31
学校規模（ref：50人以下）						
51人以上100人以下	6.95	4.22	9.59	7.88	-2.21	8.30
101人以上150人以下	3.71	3.88	5.06	7.24	5.29	7.63
151人以上200人以下	2.75	4.22	9.68	7.88	-3.79	8.31
201人以上250人以下	4.44	4.21	6.44	7.87	-0.91	8.29
251人以上300人以下	2.80	3.92	11.40	7.32	0.18	7.72
301人以上350人以下	4.01	3.84	12.39 *	7.17	12.65 *	7.55
351人以上400人以下	6.21	3.90	17.32 **	7.28	-5.75	7.67
401人以上450人以下	5.56	3.77	4.03	7.03	-2.41	7.41
451人以上500人以下	5.91	4.03	17.94 **	7.52	4.96	7.92
501人以上550人以下	6.90 *	3.81	10.44	7.11	0.66	7.49
551人以上600人以下	5.22	4.29	21.01 ***	8.00	-8.71	8.44
601人以上650人以下	10.16 *	5.23	11.11	9.78	-1.92	10.31
651人以上700人以下	11.77 ***	4.32	12.56	8.07	8.58	8.51
701人以上750人以下	3.14	4.88	19.59 **	9.11	-0.52	9.60
751人以上800人以下	-0.19	5.39	10.53	10.06	-5.95	10.60
801人以上850人以下	11.94 *	7.13	8.94	13.32	-3.24	14.04
851人以上900人以下	6.83	7.60	23.44 *	14.20	-16.63	14.96
901人以上	9.44 **	4.75	12.79	8.87	2.11	9.35
SC（ref：0時間）						
0時間超-10時間未満	-0.98	2.98	1.12	5.57	7.23	5.87
10時間超-	3.29	3.52	-0.89	6.57	11.58 *	6.92
SSW（ref：0時間）						
0時間超-5時間未満	2.47	1.91	-4.11	3.56	1.31	3.75
5時間超-	-2.56	2.00	-5.22	3.73	1.72	3.93
教員業務支援員（ref：0時間）						
0時間超-30時間未満	-2.83 *	1.56	3.53	2.91	4.28	3.07
30時間超-	-2.44	2.46	1.14	4.60	1.24	4.85
定数項	3.46	3.53	10.53	6.58	5.90	6.94
N	602		602		602	
R^2	0.05		0.06		0.05	
F	1.07		1.29		1.06	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

付表４　副校長・教頭の業務内容別の時間等を被説明変数とした分析結果（中学校・土日）

	在校等時間		学校経営		職員会議・学年会などの会議		事務（調査への回答）	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	-0.81	13.57	8.06 **	3.95	0.45	0.31	-0.87	1.24
年代（ref：～50歳）								
～51歳	-14.03	9.85	-2.60	2.87	-0.27	0.23	0.18	0.90
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-20.43	13.38	3.87	3.90	-0.23	0.31	-0.39	1.22
部活動（ref：顧問をしていない）								
顧問をしている	44.62 **	18.30	5.20	5.33	-0.37	0.42	0.09	1.67
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	19.28	28.62	4.23	8.33	0.62	0.66	-0.37	2.62
101人以上150人以下	-18.30	26.31	0.09	7.66	0.16	0.61	1.01	2.41
151人以上200人以下	10.34	28.63	2.65	8.33	0.12	0.66	7.50 ***	2.62
201人以上250人以下	36.92	28.58	-1.85	8.32	0.48	0.66	3.21	2.61
251人以上300人以下	13.37	26.60	7.09	7.74	0.70	0.61	1.47	2.43
301人以上350人以下	12.94	26.03	7.13	7.58	0.74	0.60	0.40	2.38
351人以上400人以下	-6.57	26.43	4.49	7.69	0.10	0.61	0.59	2.42
401人以上450人以下	-8.05	25.55	-0.44	7.44	0.51	0.59	3.32	2.34
451人以上500人以下	9.09	27.31	-2.05	7.95	0.21	0.63	2.32	2.50
501人以上550人以下	-1.66	25.83	14.81 **	7.52	0.21	0.60	4.74 **	2.36
551人以上600人以下	43.91	29.08	2.83	8.46	0.01	0.67	5.38 **	2.66
601人以上650人以下	8.41	35.52	1.27	10.34	1.97 **	0.82	1.03	3.25
651人以上700人以下	12.83	29.33	2.71	8.54	1.22 *	0.68	0.56	2.68
701人以上750人以下	4.60	33.10	-1.21	9.63	-0.06	0.76	1.00	3.03
751人以上800人以下	55.61	36.55	17.79 *	10.64	0.00	0.84	0.42	3.34
801人以上850人以下	-8.21	48.40	8.13	14.09	0.18	1.12	0.48	4.43
851人以上900人以下	86.33 *	51.57	29.65 **	15.01	0.07	1.19	0.56	4.72
901人以上	0.53	32.22	-3.73	9.38	-0.16	0.74	0.93	2.95
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	-32.31	20.23	-8.42	5.89	-0.44	0.47	-2.42	1.85
10時間超-	-59.81 **	23.85	-10.82	6.94	0.53	0.55	-3.41	2.18
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	4.47	12.93	0.27	3.76	0.36	0.30	-2.09 *	1.18
5時間超-	20.58	13.54	4.96	3.94	-0.19	0.31	-1.81	1.24
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	-1.72	10.57	0.16	3.08	-0.23	0.24	-2.13 **	0.97
30時間超-	1.64	16.71	0.00	4.86	-0.04	0.39	-1.65	1.53
定数項	105.89 ***	23.92	12.57 *	6.96	0.42	0.55	4.07 *	2.19
N	602		602		602		602	
R^2	0.06		0.05		0.05		0.06	
F	1.34		1.08		1.09		1.22	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

	事務（学納金関連）		事務（その他）		保護者・PTA対応		地域対応	
	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）								
女性	1.16 *	0.59	3.01	6.62	-1.78	3.00	0.71	3.87
年代（ref：～50歳）								
～51歳	0.13	0.43	-1.14	4.81	-4.89	2.18	-3.14	2.81
学級担任（ref：担任をしていない）								
担任をしている	-0.64	0.58	-8.65	6.53	-0.58	2.96	-2.07	3.82
部活動（ref：顧問をしていない）								
顧問をしている	0.68	0.80	2.26	8.93	1.48	4.05	5.86	5.22
学校規模（ref：50人以下）								
51人以上100人以下	-0.04	1.25	22.49	13.97	5.01	6.34	-7.28	8.16
101人以上150人以下	0.11	1.15	3.03	12.84	3.65	5.83	-7.03	7.50
151人以上200人以下	-0.10	1.25	9.97	13.97	3.76	6.34	-6.71	8.16
201人以上250人以下	0.85	1.25	18.01	13.95	13.39	6.33	-10.67	8.15
251人以上300人以下	0.13	1.16	18.24	12.98	14.94	5.89	-7.43	7.59
301人以上350人以下	0.16	1.14	21.27	12.71	9.09	5.76	-14.89 **	7.42
351人以上400人以下	0.15	1.15	8.17	12.90	5.31	5.85	-9.75	7.54
401人以上450人以下	-0.01	1.11	25.25 **	12.47	10.91	5.66	-17.30 **	7.29
451人以上500人以下	1.03	1.19	16.18	13.33	3.59	6.05	-13.95 *	7.79
501人以上550人以下	2.27 **	1.13	8.93	12.61	4.43	5.72	-10.06	7.36
551人以上600人以下	3.49 ***	1.27	23.83 *	14.19	14.49	6.44	5.29	8.29
601人以上650人以下	0.16	1.55	20.44	17.34	8.43	7.86	6.76	10.13
651人以上700人以下	-0.18	1.28	5.05	14.32	15.78	6.49	-6.39	8.36
701人以上750人以下	0.10	1.44	30.50 *	16.16	7.27	7.33	-13.62	9.44
751人以上800人以下	-0.32	1.59	26.01	17.84	7.25	8.09	-4.04	10.42
801人以上850人以下	0.25	2.11	-3.36	23.62	4.74	10.71	-2.62	13.80
851人以上900人以下	-0.41	2.25	68.38 ***	25.17	23.03	11.42	0.00	14.70
901人以上	0.00	1.41	17.96	15.73	5.50	7.13	-2.77	9.19
SC（ref：0時間）								
0時間超-10時間未満	0.23	0.88	-12.01	9.87	-3.99	4.48	3.39	5.77
10時間超-	-0.04	1.04	-21.93 *	11.64	-9.20	5.28	-2.71	6.80
SSW（ref：0時間）								
0時間超-5時間未満	-0.70	0.56	-9.28	6.31	2.45	2.86	-1.84	3.69
5時間超-	0.79	0.59	6.23	6.61	-0.33	3.00	-4.82	3.86
教員業務支援員（ref：0時間）								
0時間超-30時間未満	-0.15	0.46	-5.60	5.16	-0.47	2.34	4.79	3.01
30時間超-	-0.74	0.73	-7.32	8.16	-1.57	3.70	14.83 ***	4.76
定数項	-0.24	1.04	24.81 **	11.67	5.78	5.29	12.68 *	6.82
N	602		602		602		602	
R^2	0.05		0.05		0.05		0.06	
F	1.18		1.06		1.08		1.27	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

（続き）

	行政・関係団体対応		会議（校外）	
	B	S.E.	B	S.E.
性別（ref：男性）				
女性	-4.05	4.50	1.29	0.88
年代（ref：～50歳）				
～51歳	-1.96	3.27	-0.14	0.64
学級担任（ref：担任をしていない）				
担任をしている	-2.55	4.44	-0.62	0.87
部活動（ref：顧問をしていない）				
顧問をしている	0.13	6.07	-0.30	1.19
学校規模（ref：50人以下）				
51人以上100人以下	0.54	9.50	-2.70	1.86
101人以上150人以下	1.24	8.73	-2.70	1.71
151人以上200人以下	2.99	9.50	1.82	1.86
201人以上250人以下	2.38	9.48	-2.54	1.86
251人以上300人以下	-0.84	8.83	-2.07	1.73
301人以上350人以下	14.86 *	8.64	-2.34	1.69
351人以上400人以下	-0.09	8.77	-2.27	1.72
401人以上450人以下	-1.66	8.48	-2.32	1.66
451人以上500人以下	11.91	9.06	-2.02	1.77
501人以上550人以下	-2.40	8.57	-2.27	1.68
551人以上600人以下	-2.82	9.65	-2.50	1.89
601人以上650人以下	-3.77	11.79	-2.14	2.31
651人以上700人以下	2.31	9.73	-2.45	1.91
701人以上750人以下	-2.99	10.99	-2.18	2.15
751人以上800人以下	-1.68	12.13	-2.61	2.37
801人以上850人以下	-0.95	16.06	-2.14	3.14
851人以上900人以下	-1.65	17.11	-2.64	3.35
901人以上	-1.71	10.69	-2.20	2.09
SC（ref：0時間）				
0時間超-10時間未満	1.27	6.71	-2.07	1.31
10時間超-	-1.72	7.92	-2.13	1.55
SSW（ref：0時間）				
0時間超-5時間未満	4.99	4.29	-0.28	0.84
5時間超-	1.98	4.49	-0.55	0.88
教員業務支援員（ref：0時間）				
0時間超-30時間未満	5.72	3.51	0.10	0.69
30時間超-	-0.23	5.55	-0.17	1.09
定数項	-0.90	7.94	4.51 ***	1.55
N	602		602	
R^2	0.03		0.04	
F	0.66		0.75	

（注）＊：p<.10、＊＊：p<.05、＊＊＊：p<.01

第５部　部活動に関する分析

第14章　中学校教員の部活動従事状況と他の業務時間の関係

小入羽秀敬

【本章のポイント】

- 本章では、部活動顧問の部活動従事日数の現状を確認した上で、部活動従事時間の状況、部活動従事時間と他の業務時間との関係を検討した。
- 顧問全体の一週間当たりの従事日数は5日が最も多く、顧問の約56%を占めている。また、部活動ガイドラインの基準となっている5日を超えて従事している顧問は6.9%である。一週間当たりの従事日数が多い顧問は一日当たりの在校等時間が長い傾向にあり、特に週7日従事する顧問は他の従事日数の顧問よりも在校等時間が長い。
- 部活動の従事日数では、運動部顧問の平日の部活動従事日数は3日か4日間となっている顧問が大半であることが推測できるため、平日に部活動を実施しない日がある顧問の割合が高いといえる。
- 部活動従事時間を平成28年度調査と比較すると、運動部顧問と文化部顧問の双方で全体として長時間部活動に従事する顧問が平成28年度調査よりも減少傾向にあることが明らかになった。
- 外部指導者及び部活動指導員の配属によって運動部顧問の部活動従事時間に差が発生している。配属されている顧問の部活動従事時間は短く、その傾向は特に土日において大きくなっている。
- 部活動従事時間と他の業務時間との関係では、平日は運動部及び文化部に共通して部活動従事時間が短い顧問は教科指導及び生徒指導に従事する時間が長かった。土日は、運動部では平日と同様に部活動従事時間が短い顧問は教科指導の従事時間が長かった。

1. 本章の目的

本章では、部活動顧問の部活動従事日数の現状を確認した上で、部活動従事時間の状況、部活動従事時間と他の業務時間との関係を検討する。部活動従事日数は、顧問が出勤から退勤までの間に部活動に従事したことのある日数を意味する。部活動従事時間の状況は平成28年度調査との比較から明らかにし、部活動指導員や外部指導員などの施策と部活動従事時間の関係性を分析する。最後に顧問の部活動従事時間別にみた業務内容別の時間への従事状況を明らかにする。

2. 分析方法

顧問を運動部顧問と文化部顧問に分けて分析を行う。顧問は教諭に限定しているが、教諭については主幹教諭、指導教諭を含んだ数値となっている。なお、平日については調査対象週の月～金の5日間の平均値、土日については、調査対象週の土曜日、日曜日の2日間の平均値である。

3. 分析結果

(1)顧問の 1 週間当たりの従事日数

図 14-1 は部活動顧問（運動部・文化部）の週当たり従事日数をグラフ化したものである。週 5 日部活動に従事する顧問は全体の 56.4%となっており、最も多い割合となっている。部活動ガイドラインでは週 5 日を基準としているが、それを超えて従事している顧問は全体の 6.9%となっている。

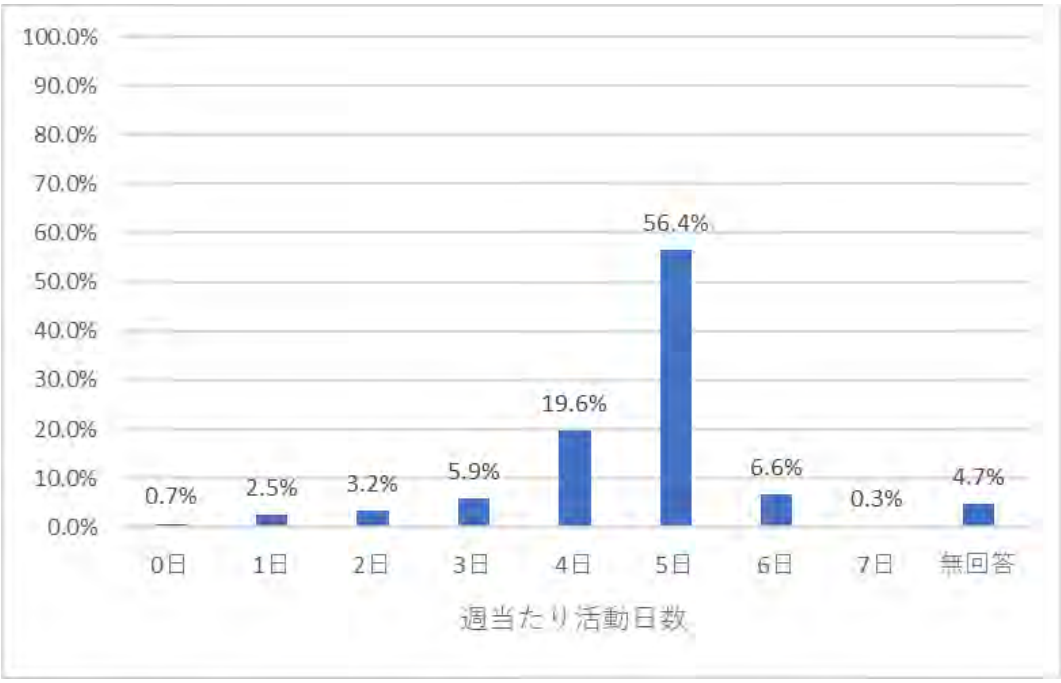


図 14-1　部活動顧問の週当たり従事日数

部活動顧問の週当たりの従事日数による教諭の一日当たり在校等時間をグラフ化したのが図 14-2 と図 14-3 である。図 14-2 は平日の在校等時間を示している。部活動に従事する日数が多い顧問は、在校等時間が長い傾向にある。特に週 7 日間部活動に従事している顧問は 1 日当たりの在校等時間が 12 時間 4 分となっており、週 5 日部活動に従事している顧問よりも 1 時間程度在校等時間が長くなっている。

図 14-3 は土日の在校等時間を示したものである。土日であっても、週当たりの部活動従事日数が多い顧問は在校等時間が長い。週 7 日間部活動に従事している顧問の在校等時間は 4 時間 34 分と最も長くなっており、週 5 日従事する顧問と比べると約 1 時間 50 分在校等時間が長くなっている。

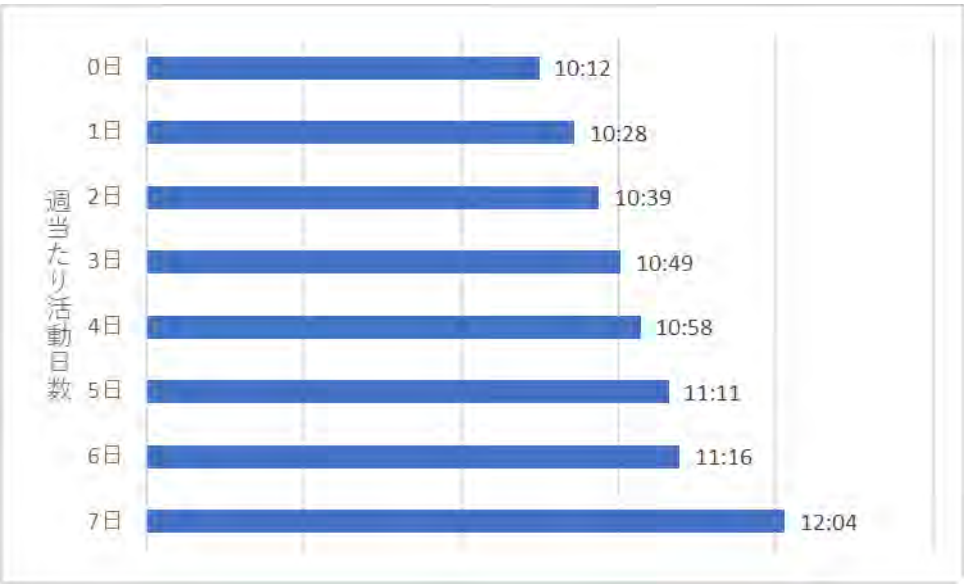


図 14-2　週当たり従事日数別　教諭の一日当たり在校等時間（平日）

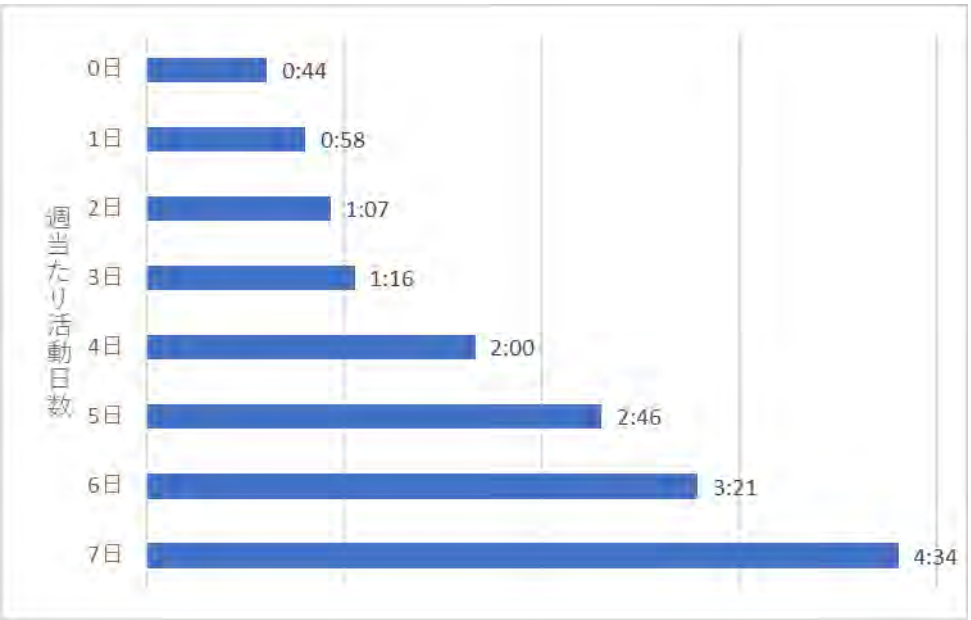


図 14-3　週当たり従事日数別　教諭の一日当たり在校等時間（土日）

次に、運動部と文化部に分けて従事日数を検討する。図 14-4 は顧問の 1 週間当たりの部活動平均従事日数をグラフ化したものである。運動部では、1 週間当たり 5 日間部活動に従事する顧問が最も多く、約 66%となっている。次に多い従事日数は 4 日間で約 19%である。週 6 日従事する顧問は約 8%、7 日従事する顧問は 0.3%と少ない状況である。3 日以下の従事日数の顧問も運動部ではそれぞれ 5%未満となっており、少ない。文化部も運動部と同様に週 5 日が最も多く、4 日と続いている。割合は運動部と異なっており、週 5 日従事する顧問は約 36%、週 4 日従事する顧問は約 28%となっている。従事日数が 2 日、3 日の顧問もそれぞれ約 10%、約 15%となっており、従事日数が少ない文化部顧問も一定数確認できる。また、週 6 日の顧問は約 4%、週 7 日

の顧問は 0.2%と運動部同様に少ない傾向にある。

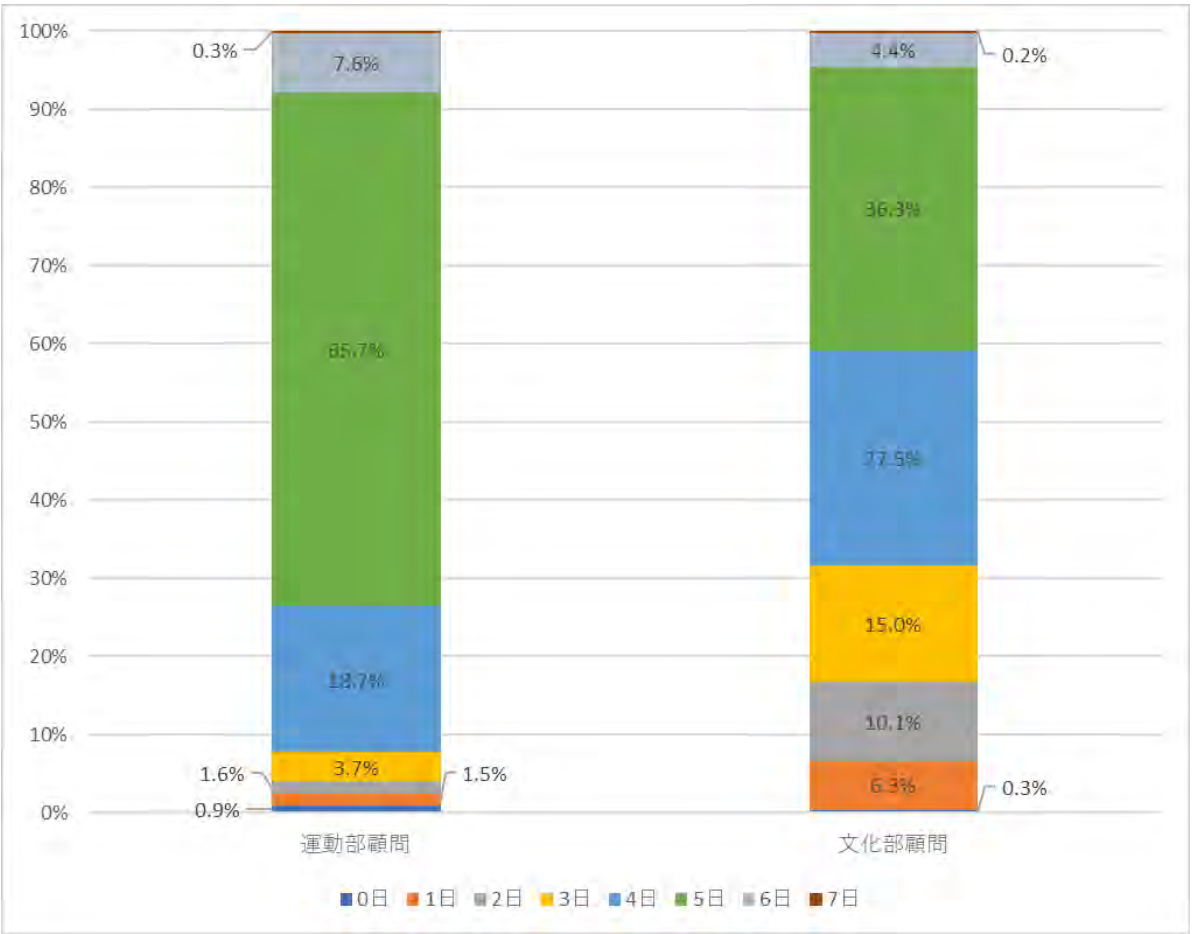


図 14-4　部活動顧問の 1 週間当たりの部活動従事日数（平均）

図 14-5 は部活動顧問の 1 週間当たりの部活動従事日数のうち、土日の従事日数をグラフ化したものである。土日の従事状況は運動部顧問と文化部顧問で大きく異なる。運動部では約 92%の顧問が土日のうち 1 日部活動に従事している。土日に部活動に従事しない顧問は約 4%、2 日とも部活動に従事する顧問は約 5%とどちらも少ない。図 14-1 の結果と合わせて考えると、週 4～5 日間部活動に従事する運動部顧問が多い中で、そのうち土日のいずれかを部活動に従事する顧問が 9 割いるため、平日は 1 日、もしくは 2 日は部活動に従事していない日があることを示している。文化部は土日のいずれかに 1 日部活動に従事している顧問は約 45%である。土日のいずれも部活動に従事しない顧問は 54%となっている。

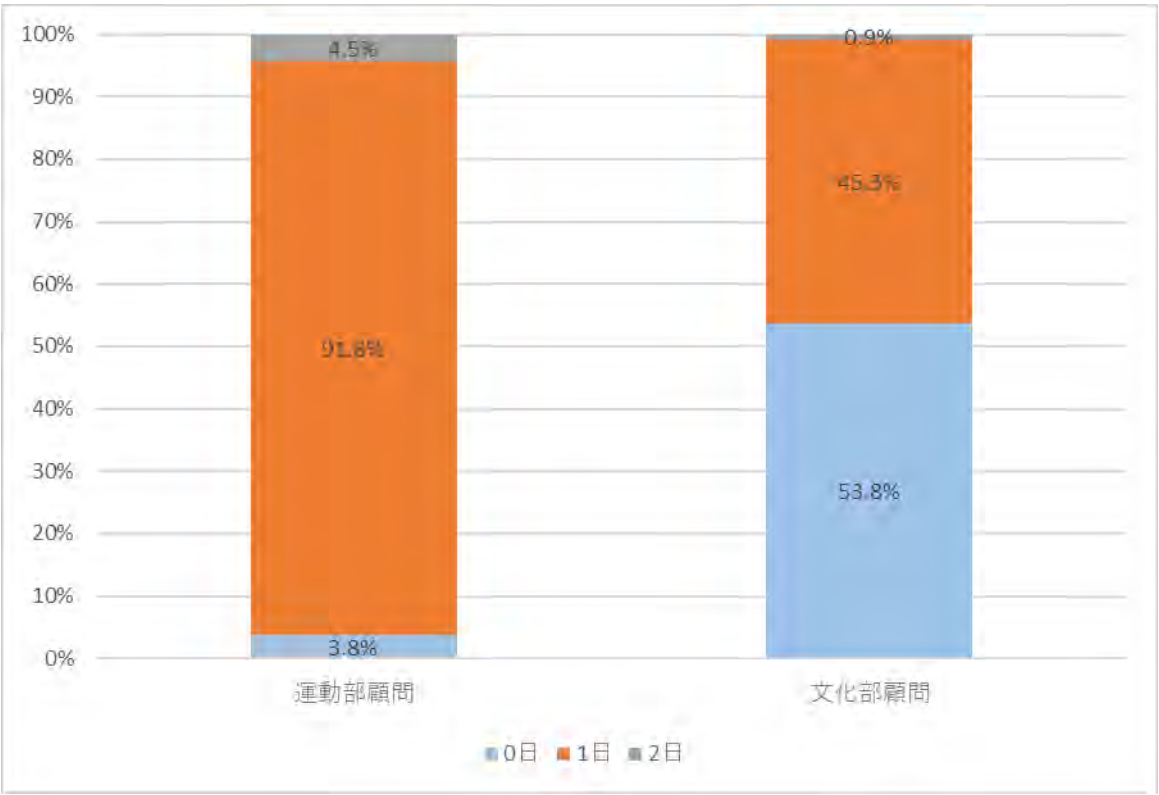


図 14-5　部活動顧問の 1 週間当たりの部活動従事日数のうち、土日の従事日数（平均）

(2)顧問の 1 日当たりの部活動従事時間

部活動顧問の一日当たりの活動について、運動部顧問と文化部顧問に分けて平成 28 年度調査と比較検討する。ここでは中学校の教諭で顧問を持っている教員に限定した分析を行う。顧問全体の中での 1 日当たりの従事時間の平均値を算出し、従事時間ごとの顧問の割合をグラフ化した。

①運動部

図 14-6 は平日における 1 日当たりの部活動従事時間である。全体的な傾向として、1 時間 30 分以上の長時間部活動に従事する顧問の人数は平成 28 年度時と比較して減少している。顧問ではあるが調査期間の 1 週間で活動をしなかった、従事時間 0 時間の顧問は前回調査よりも 2%ほど増加しており、22.0%であった。30 分～1 時間 30 分未満の従事時間の顧問は前回調査時よりも微増している一方で、1 時間 30 分以上部活動を行う顧問は微減傾向にあることが読み取れる。

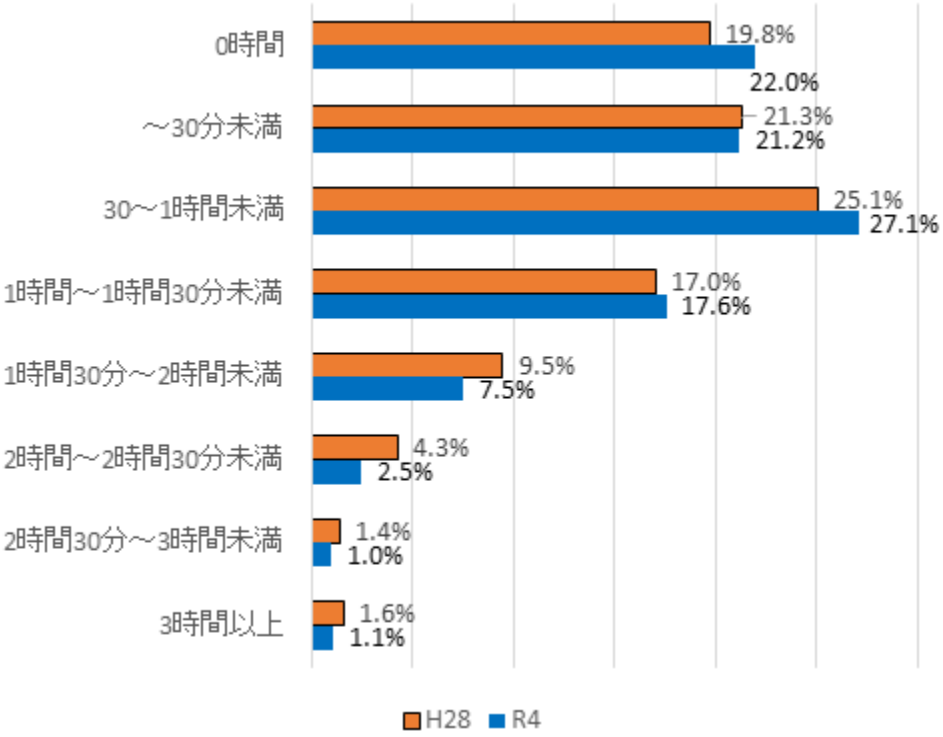


図 14-6　運動部顧問の平日 1 日当たりの部活動従事時間

図 14-7 は土日における 1 日当たりの部活動従事時間である。土日に長時間部活動に従事する顧問は全体として減少傾向にある。従事時間 0 時間の顧問の割合は前回調査時よりも 2%増加して 42.4%となっており、土日に部活動に従事する顧問が減少していることが示唆される。一方で、土日に部活動を実施している顧問の従事時間は前回調査時よりも減少傾向にあるといえ、1 日の従事時間 4 時間未満の顧問が増加している。特に 1～2 時間未満、2～3 時間未満の顧問は約 5～7%増加している。4 時間以上活動している顧問は減少傾向にあり、例えば一日 7 時間～8 時間未満部活動を実施する顧問は 1%台まで減少した。

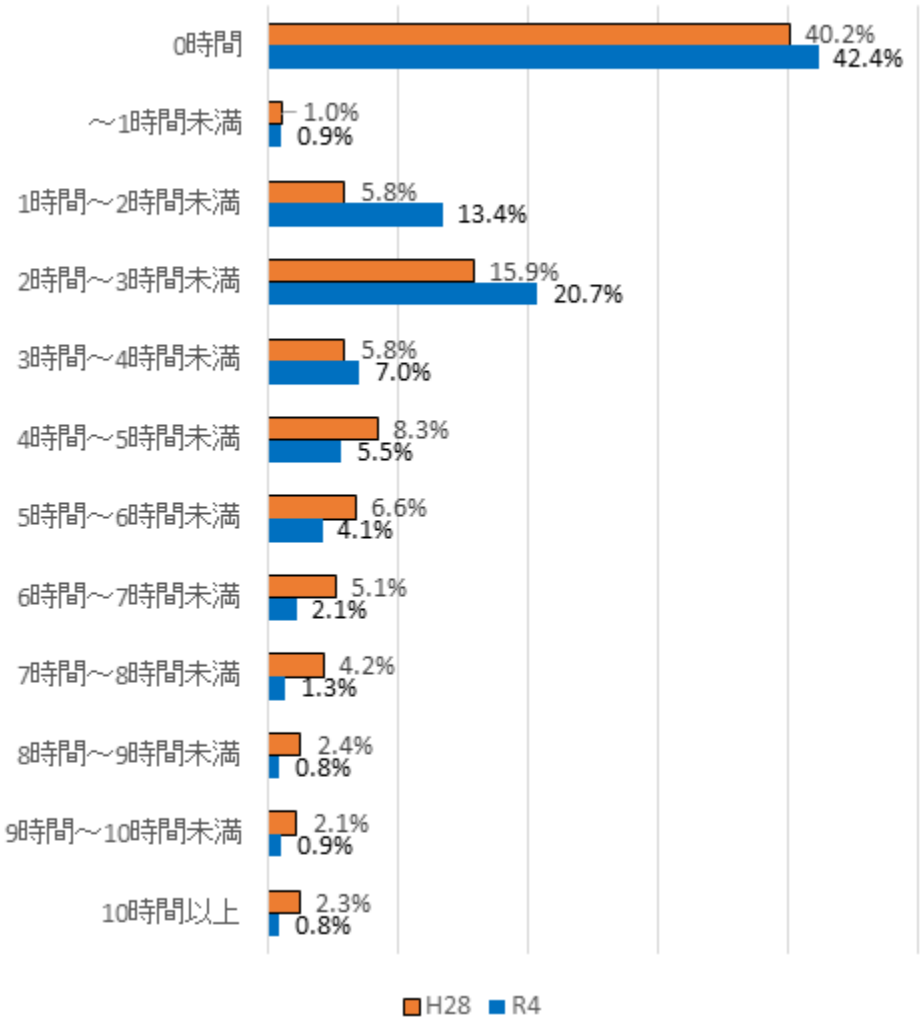


図 14-7　運動部顧問の土日 1 日当たりの部活動従事時間

②文化部

次に文化部顧問を検討する。図 14-8 は平日における 1 日当たりの部活動従事時間である。従事時間が 0 時間の顧問は前回調査時とほぼ変わらない 26.1%となっている。傾向は前回調査時と大きく変わらない。従事時間が短い顧問が多く、30 分未満が 26%、30～1 時間未満が 25.8%となっている。

図 14-9 は土日における 1 日当たりの部活動従事時間である。土日の文化部顧問は 71.6%が従事時間 0 時間となっており、これは前回調査時とより約 3%増加している。土日に活動している顧問の傾向として、3 時間未満の従事時間の顧問の割合が増加し、4 時間以上の部活動を実施している顧問の割合が減少している点が挙げられる。数としては少ないものの、土日の部活動に長時間従事する顧問は運動部同様減少傾向にあることが読み取れる。

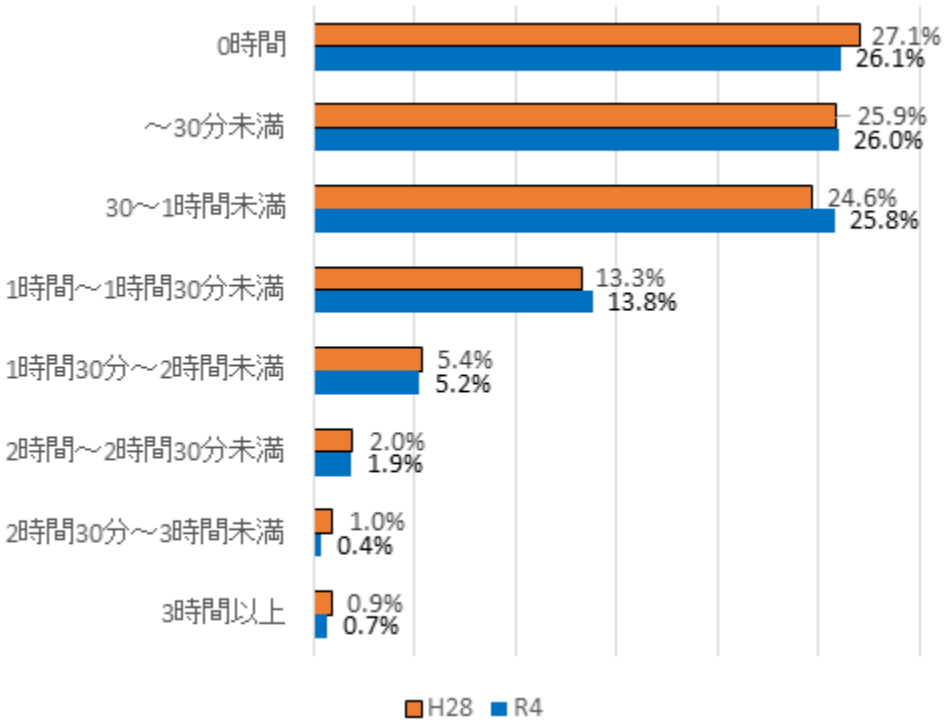


図 14-8　文化部顧問の平日 1 日当たりの部活動従事時間

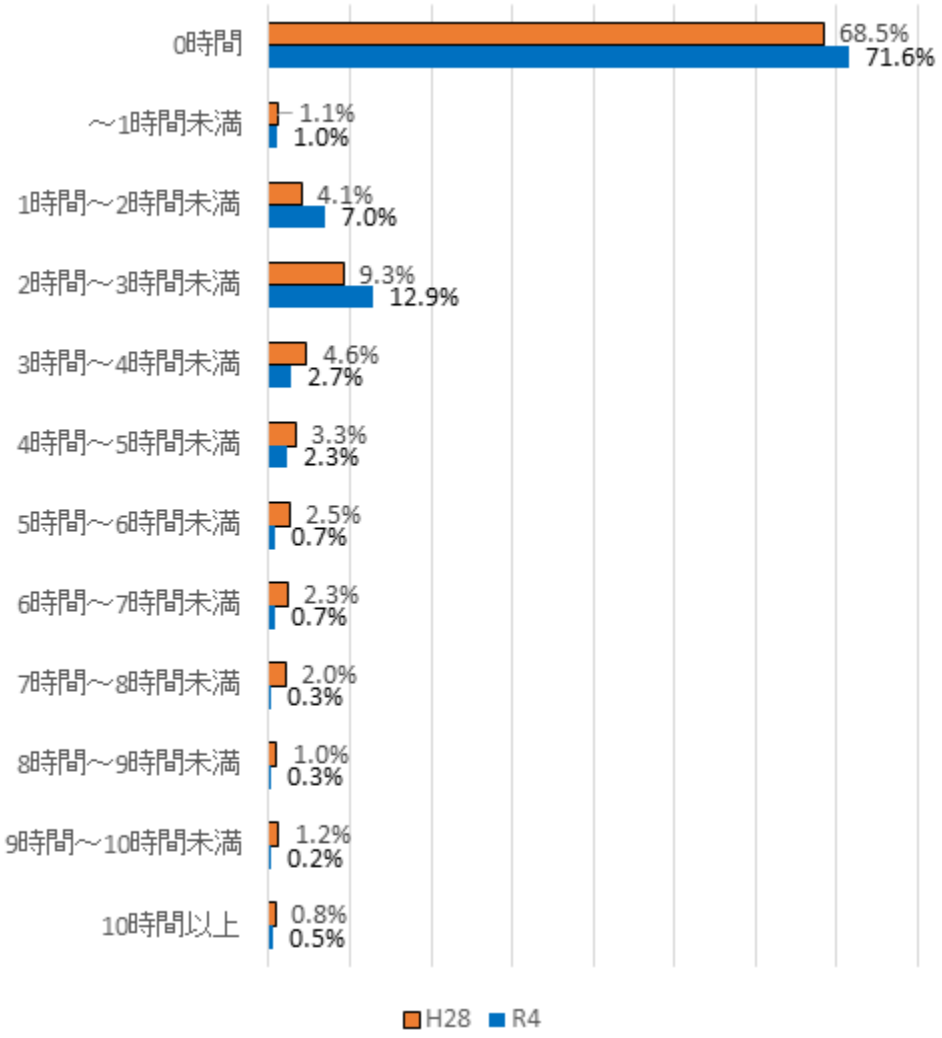


図 14-9　文化部顧問の土日 1 日当たりの部活動従事時間

(3)外部指導者・部活動指導員の有無と運動部活動従事時間

①外部指導者

外部指導者の配属有無と運動部顧問の部活動従事時間の関係性について検討した。ここでは、外部指導者がいない状態（0 人）と指導者の人数別に分けて、それぞれの平均部活動従事時間を算出している。外部指導者がいない顧問は 4,369 名、外部指導者が 1 名配属されている顧問は 1,401 名、外部指導者が 2 名以上配属されている顧問は 450 名となっている。

a)　平日

図 14-10 は、外部指導者の人数別にみた運動部顧問の平日における部活動従事時間である。外部指導者を配属している顧問の部活動従事時間は、配属されていない顧問よりも短い。外部指導者がいない運動部顧問の部活動従事時間は 43.51 分となっている。1 人のときは約 39 分となっており、2 人以上配属されている部活動顧問の場合は、部活動従事時間が 32.5 分となっており、外部指導者がいない顧問よりも約 10 分程度従事時間が短くなっていることが示されている。

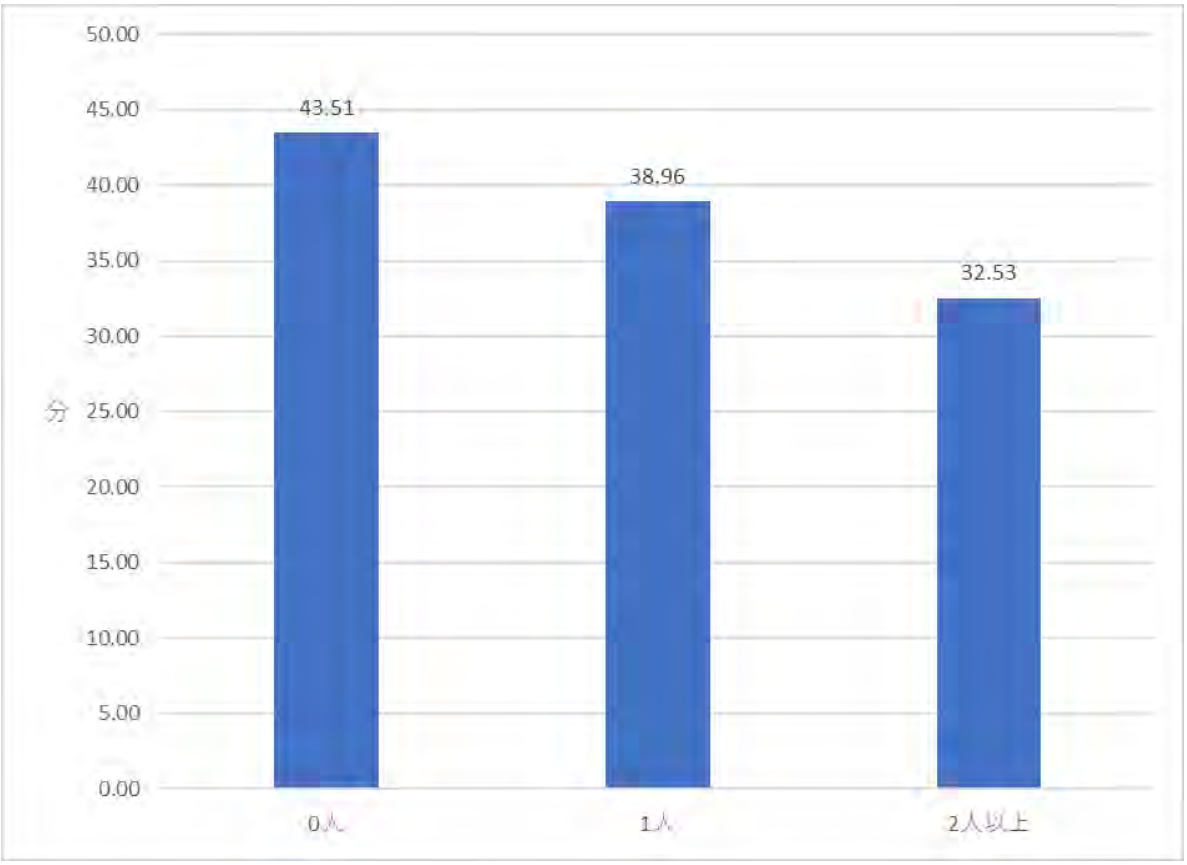


図 14-10　外部指導者の人数別にみた運動部顧問の部活動従事時間（平日）

b）土日

図 14-11 は外部指導者の人数別にみた運動部顧問の土日における部活動従事時間である。平日と同様に、外部指導者を配属している顧問の部活動従事時間は、配属されていない顧問よりも短い。土日の場合、外部指導者が配属されていない運動部顧問の部活動従事時間は 116.24 分となっている。1 人配属されると約 16 分減少して 100.24 分となり、2 人以上配属されていると 91.03 分となっている。外部指導員の配属人数が多い顧問は、部活動の従事時間が短いことが読み取れる。外部指導員がいない状況と比較すると、最大で約 20 分の差があることが示されている。

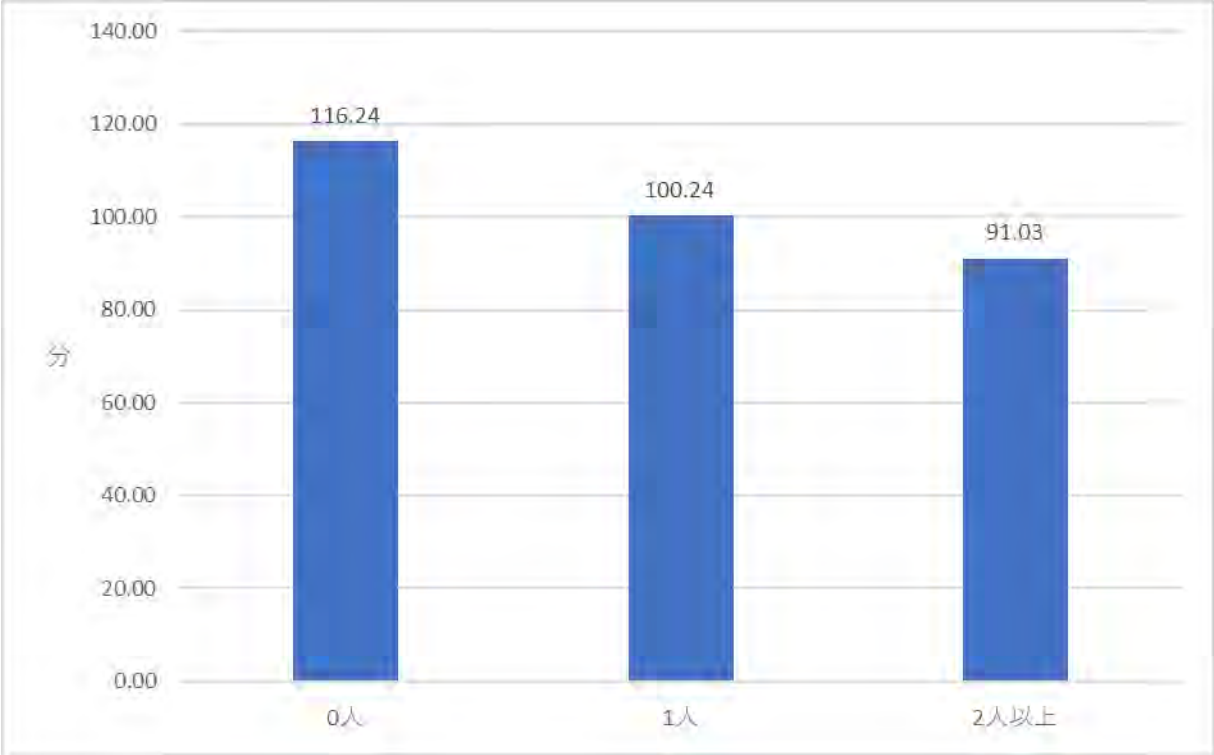


図 14-11　外部指導者の人数別にみた運動部顧問の部活動従事時間（土日）

②部活動指導員

部活動指導員の有無と運動部顧問の部活動従事時間の関係性について分析する。部活動指導員の配属人数（0 人、1 人、2 人以上）に分けて、それぞれの部活動従事時間を平日・土日に分けて分析した。部活動指導員の配属人数が 0 人の顧問は 4,246 名、1 人の顧問は 500 名、2 人以上の顧問は 431 名である。

a）平日

図 14-12 は部活動指導員の人数別にみた運動部顧問の平日における部活動従事時間である。部活動指導員を配属している顧問の部活動従事時間は、配属されていない顧問よりも短い。部活動指導員がいない運動部顧問の部活動従事時間は 42.27 分であった。部活動指導員が 1 名の時は 38.53 分、2 名以上の時は 37.46 分となっており、部活動指導員の導入による従事時間の減少はおおよそ 3～5 分であった。

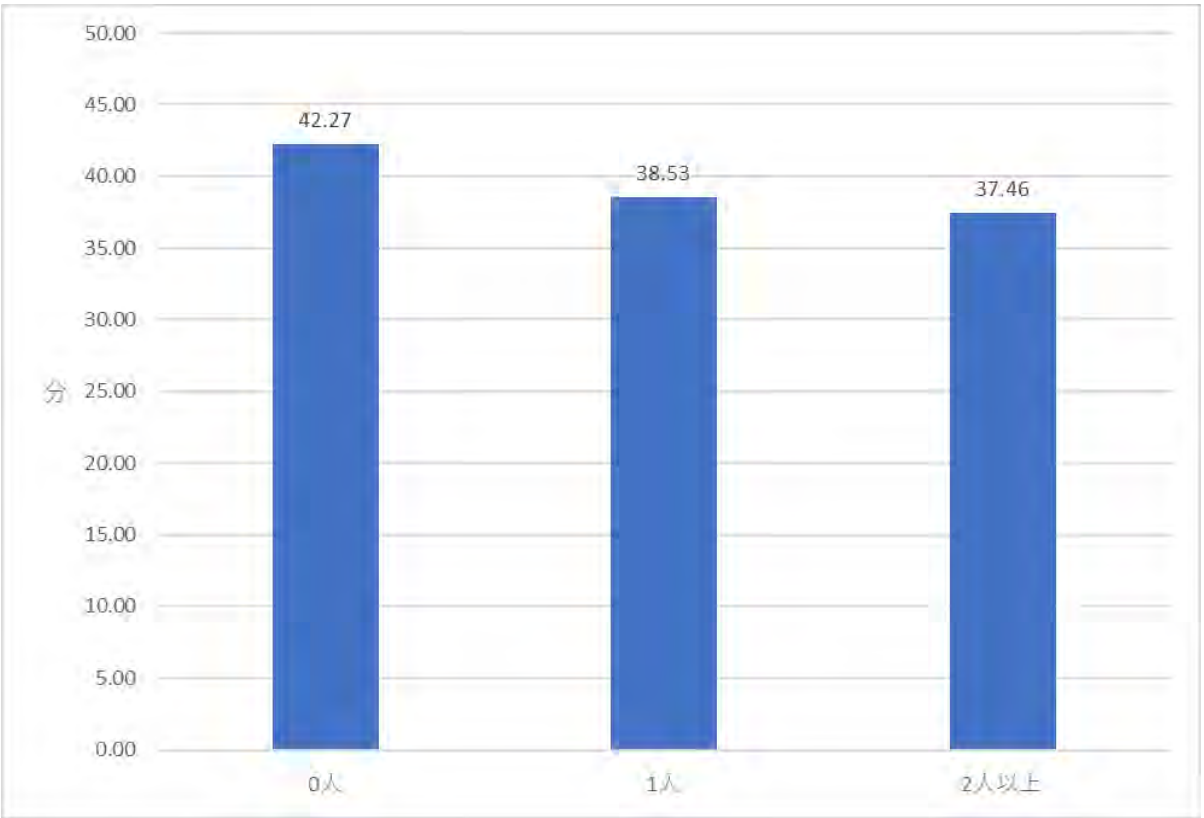


図 14-12　部活動指導員の人数別にみた運動部顧問の部活動従事時間（平日）

b）土日

図 14-13 は部活動指導員の人数別にみた運動部顧問の土日における部活動従事時間である。平日と同様に、部活動指導員を配属している顧問の部活動従事時間は、配属されていない顧問よりも短い傾向にある。土日では、部活動指導員が 0 人の運動部顧問の部活動従事時間は 115.26 分となっている。部活動指導員が 1 人配属されている顧問の従事時間は 98.91 分、2 人以上配属されている顧問の従事時間は 101.24 分となっている。指導員が配属されていない顧問と比較すると 7 分から 15 分ほど短くなっている。

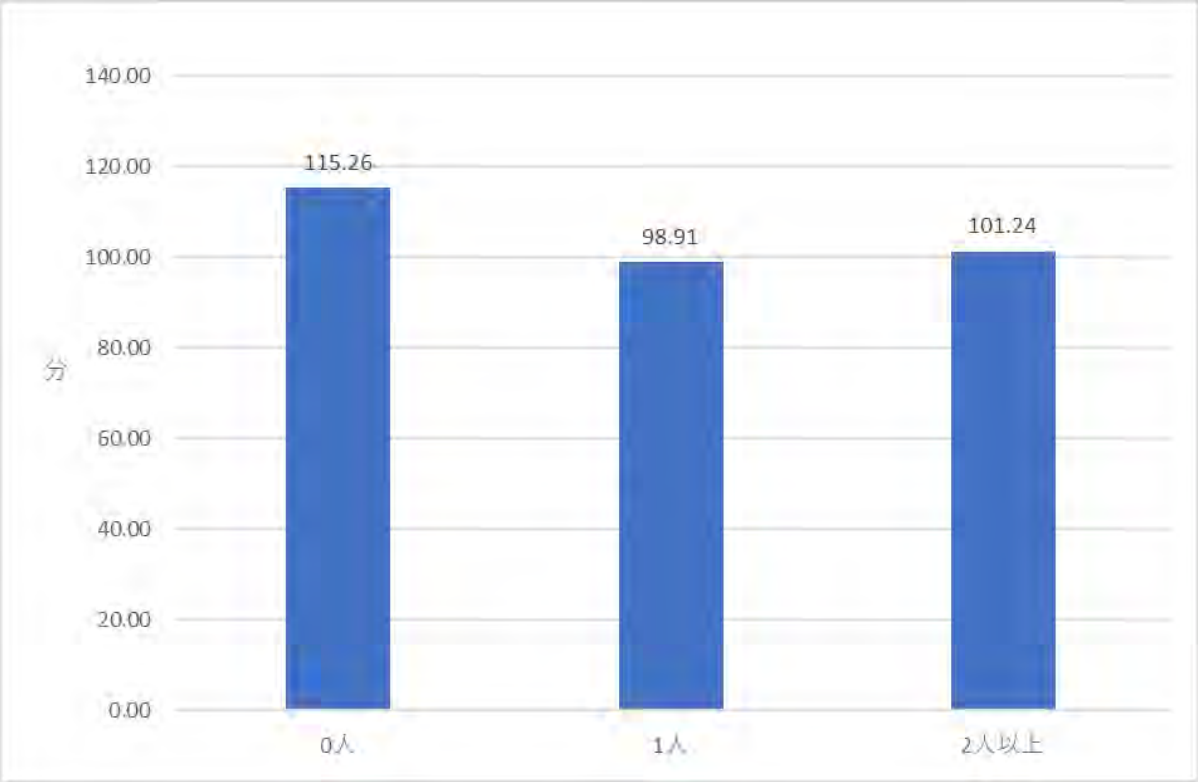


図 14-13　部活動指導員の人数別にみた運動部顧問の部活動従事時間（土日）

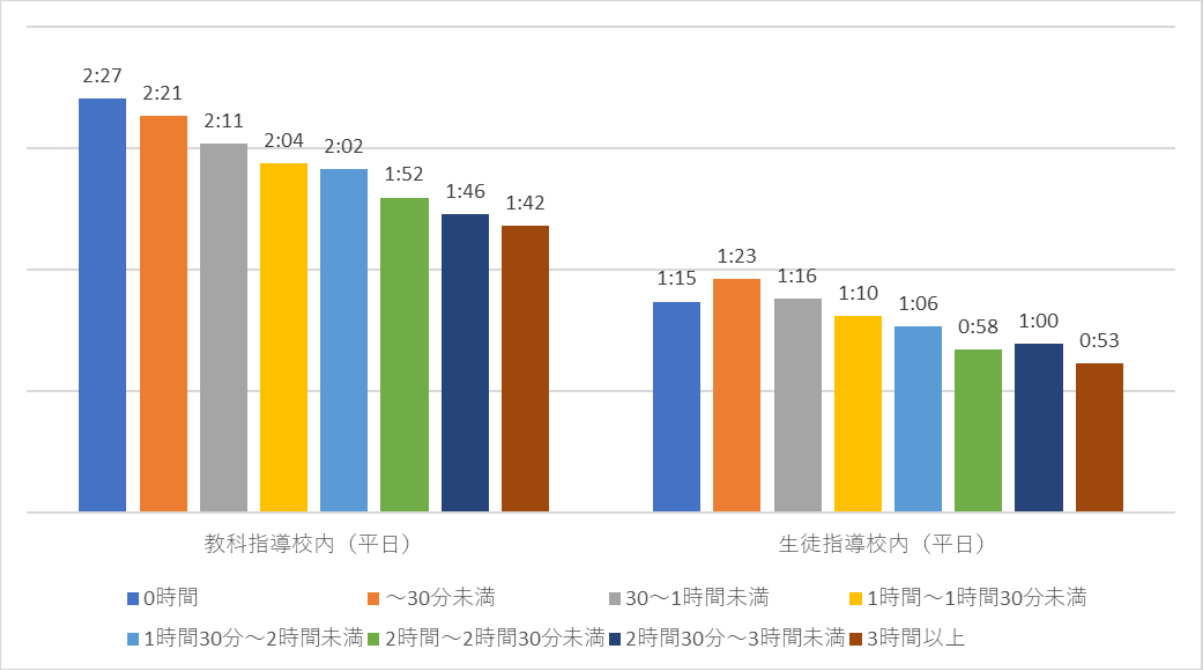
(4)他業務との関係

部活動顧問として活動する時間は教科指導や生徒指導の時間とどのような関係があるのかについて検討する。ここでは、教科指導への従事状況を以下のように算出した。アンケートにおける「c 授業準備」「d 学習指導」「e 成績処理」それぞれの 1 日当たり平均値の和を顧問ごとに算出した。生徒指導については、同様の処理を「f1 生徒指導（集団 1)」「f2 生徒指導（集団 2)」「g 生徒指導（個別)」「i 児童会・生徒会指導」に対して行った。教科指導、生徒指導それぞれにおいて平日と土日で分けた。学校内で実施している業務の集計であるため、「校内」という表記を用いた。

以下では、前項において扱った部活動の従事時間の分布を用いて、部活動従事時間の多寡によって他業務に従事する時間との関係がどのように異なるのかをグラフ化している。

①運動部

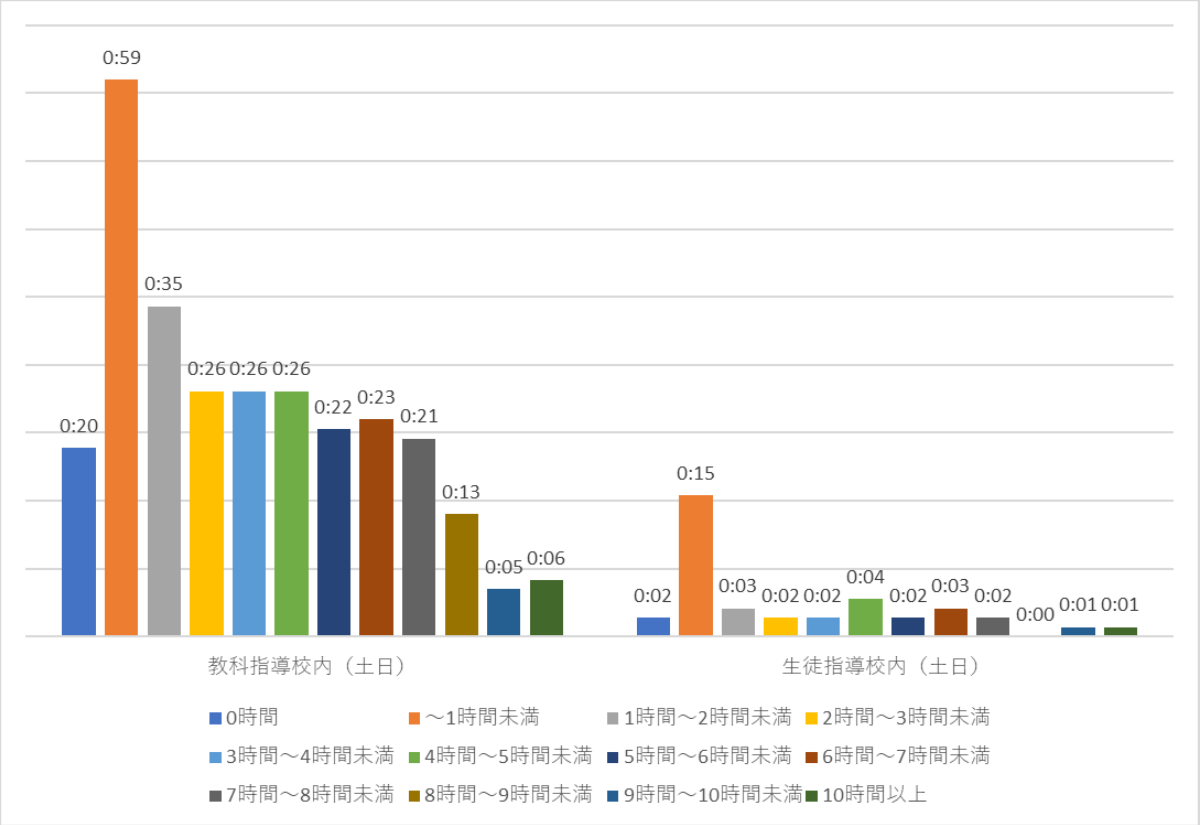
図 14-14 は運動部顧問の平日における部活動従事時間と他業務従事時間の関係を示したものである。部活動の従事時間が短い顧問ほど教科指導や生徒指導にかける時間が長いことが読み取れる。従事時間が 0 時間の顧問と 30 分未満の顧問では教科指導や生徒指導に従事する時間で大きな差はない一方で、例えば教科指導では 30 分未満の顧問と 2 時間 30 分～3 時間未満の顧問では 1 日当たり 40 分の差がある。顧問の有無よりも従事時間の多寡が影響している可能性が示唆される。



（単位）時間：分

図 14-14　部活動従事時間と他業務従事時間との関係（運動部・平日）

図 14-15 は運動部顧問の土日における部活動従事時間と他業務従事時間の関係を示したものである。土日であるという特性上、生徒指導に従事する時間は平日と比較すると大幅に短い。教科指導に従事する時間は土日においても観察され、平日と同様に部活動従事時間が短い顧問ほど教科指導に従事する傾向にある。また、部活動従事時間が 1 時間未満の顧問については、教科指導の従事時間が約 1 時間、生徒指導の従事時間が約 15 分となっており、他の顧問と比べても高い。



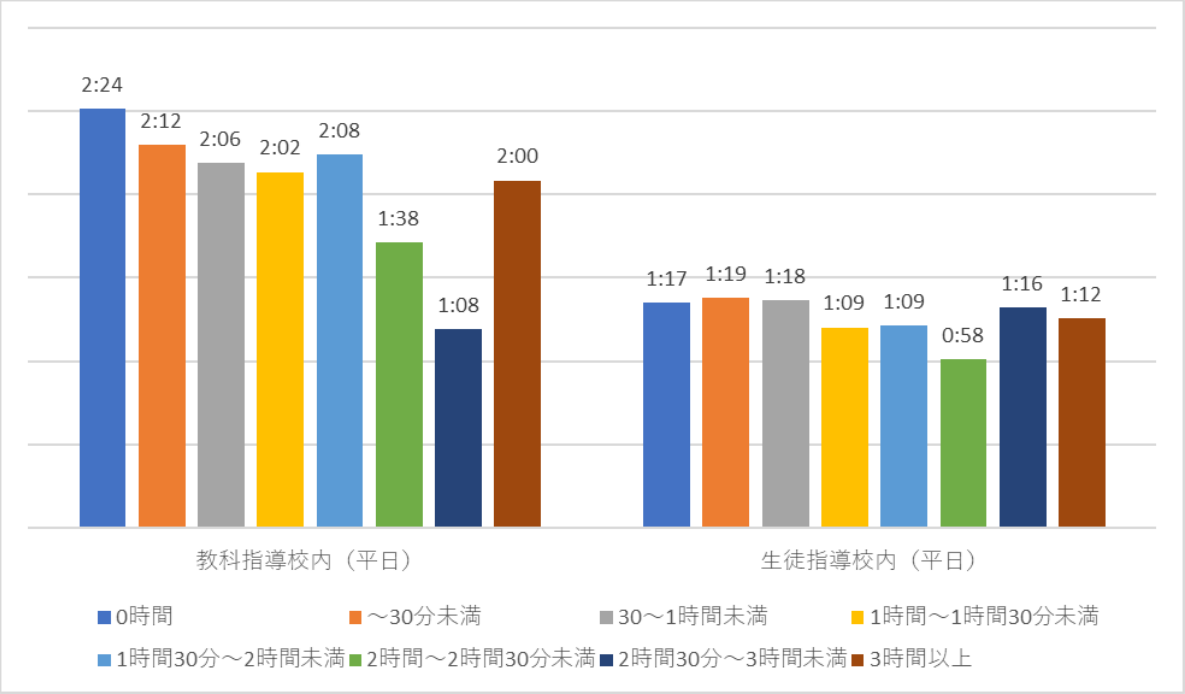
（単位）時間：分

図 14-15　部活動従事時間と他業務従事時間との関係（運動部・土日）

②文化部

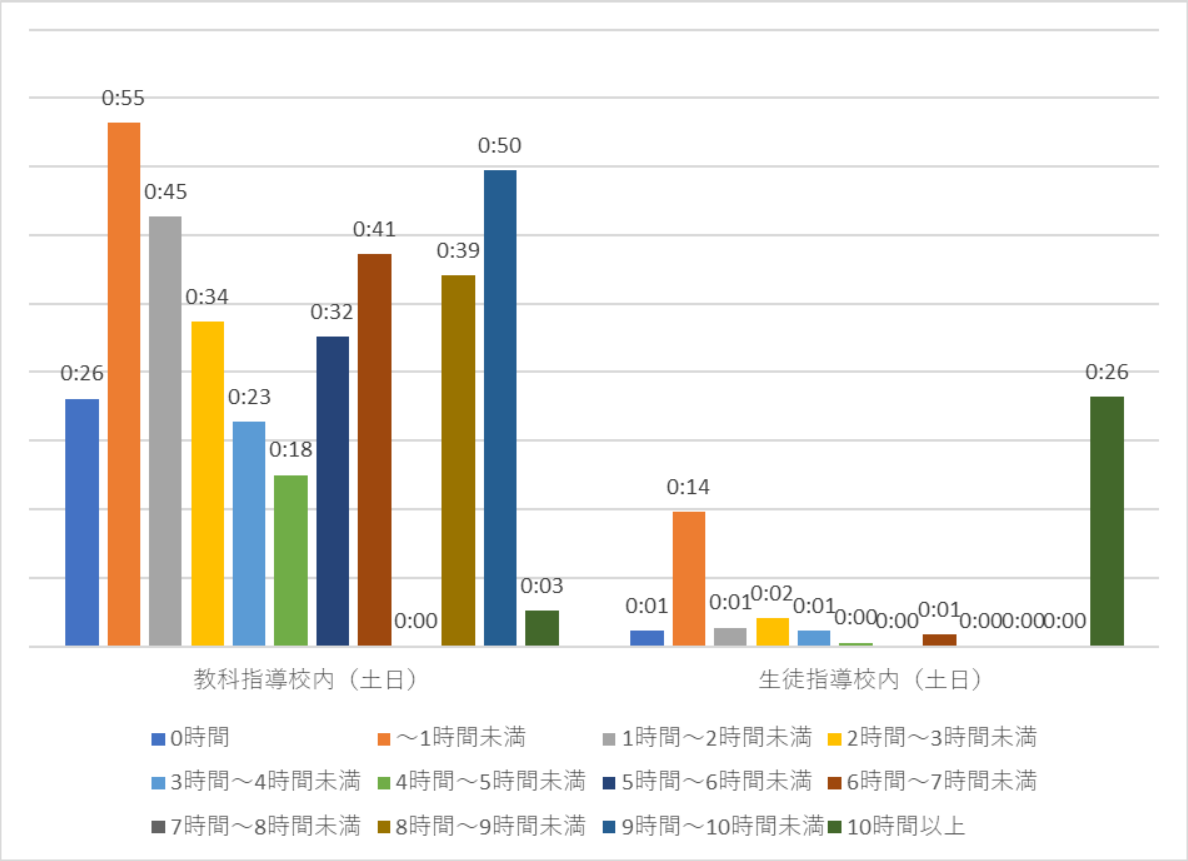
図 14-16は文化部顧問の平日における部活動従事時間と他業務従事時間の関係を示したものである。文化部顧問も運動部と同様部活動の従事時間が短いほど教科指導や生徒指導の従事時間が長いことが読み取れる。従事時間 2 時間未満の顧問は、長い部活動従事時間の顧問よりも教科指導に従事する時間が長い。

図 14-17は文化部顧問の土日における部活動従事時間と他業務従事時間の関係を示したものである。運動部顧問と同様に、2 時間未満の部活動従事時間の顧問は教科指導で部活動従事時間が長い顧問よりも従事する時間が長い傾向にある。



（単位）時間：分

図 14-16　部活動従事時間と他業務従事時間との関係（文化部・平日）



（単位）時間：分

図 14-17　部活動従事時間と他業務従事時間との関係（文化部・土日）

4. 考察

（1） 顧問の一週間当たりの部活動従事日数について

・運動部顧問では、1 週間当たり週 5 日間部活動に従事する顧問が最も多く、週 4 日従事する顧問と続いている。そのうち土日のいずれか 1 日に部活動に従事している顧問は約 90%確認できる。以上から、平日の部活動従事日数は 3 日か 4 日間の運動部顧問が大半であることが推測できる。

・文化部顧問は、運動部と同様に 1 週間当たり週 5 日の従事が最も多く、週 4 日と続くが、週 2 日、週 3 日間従事する顧問も一定数いる。土日も土日のいずれか 1 日部活動に従事している顧問は 50%を切っており、運動部と比較すると平日、土日共に従事日数が少ない顧問が多い傾向にある。

（2） 顧問の 1 日当たりの部活動従事時間について

・運動部顧問では従事時間 0 分の顧問が平日・土日共に平成 28 年度調査と比較して増加している。全体として長時間部活動に従事する顧問が平成 28 年度調査と比較しても減少傾向にある。

・文化部顧問については平日に従事時間 0 分の顧問が平成 28 年度調査と比較するとほぼ変化していない一方で、土日は 3%増加している。

・平成 30 年の『部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』では、一日の活動時間を長くとも平日は 2 時間程度、土日は 3 時間程度としている。このガイドラインで定められた時間以内の従事時間とする顧問の割合が運動部・文化部で増加したといえる。

（3） 外部指導者と部活動指導員の配属と部活動従事時間の関係（運動部）

・外部指導者の配属有無によって運動部顧問の部活動従事時間は差が発生している。平日以上に土日の差が大きく、2 人以上配属している運動部顧問はしていない顧問よりも従事時間が 20 分程度少なかった。

・部活動指導員の配属有無でも運動部顧問の部活動従事時間に差は表れており、部活動指導員の配属による従事時間の減少が確認できた。外部指導者の配属時ほどの差は見られない理由としては、部活動指導員の人数は外部指導者と比較すると少ないという点、外部指導者は技術指導の補助が主たる業務のため、技術指導に加えて土日の引率等が可能となる部活動指導員との単純比較が難しくなっている点が考えられる。

（4） 部活動従事時間と他業務従事時間との関係

・平日は運動部、文化部に共通して部活動従事時間が短い顧問は教科指導及び生徒指導に従事する時間が長かった。

・土日は運動部では平日と同様に部活動従事時間が短い顧問は教科指導の従事時間が長かった。土日に学校に出勤して短い時間で部活動を終わらせた場合、その後に学校で教科指導に該当する授業準備等を実施していると考えられる。生徒指導は土日の従事時間が少ない傾向にあるが、その中でも部活動従事時間 1 時間未満の顧問は他の顧問と比較して長かった。

・土日の文化部は 2 時間未満までの従事時間である顧問の教科指導の従事時間は長く、5 時間以上部活動に従事する顧問の教科指導従事時間も長くなっている。

第15章　運動部活動における部活動指導員の配置効果に関する分析

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- 運動部活動において、部活動指導員を配置することで、教諭の働き方にどのような影響があったかを分析。部活動指導員を活用している教諭の方が、部活動従事時間が短い。同じ学校でも、部活動指導員を活用している教諭は、活用していない教諭より部活動従事時間が短い。
- 特に、単独で指導・引率を行う部活動指導員を活用している場合、指導員なしと比べて、平日で 5 分、土日で 20 分、部活動従事時間が短い。土日は、総在校等時間も短い。
- 競技別では、野球部、サッカー部、剣道部、ソフトボール部などにおいて部活動従事時間が短い。
- 部活動の指導知識・技術の有無別で、部活動指導員等の働き方への効果が異なる。部活動の指導知識・技術が「ある程度備わっている」「どちらともいえない」「あまり備えていない」教諭は、部活動指導員、外部指導者いずれの配置でも、部活動時間が短く、うつ傾向が小さいなど指導員の配置効果が大きい。この傾向は、「どちらともいえない」教諭で顕著である。また、部活動の指導知識・技術が「十分備わっている」教諭は、部活動指導員、外部指導者いずれの配置でも、部活動時間が短いなど時間面で指導員の効果が大きい。

1.　本章の目的

運動部活動において、部活動指導員を配置することで、教諭の働き方にどのような影響があったかを分析した。

2.　分析方法

本章では、中学校教諭（主幹教諭、指導教諭を含む）のうち運動部顧問を対象に、部活動指導員の活用有無（教員調査 9-3）別の勤務状況を分析する。

3. 分析結果

（1）部活動指導員の活用状況と在校等時間の関係

中学校の運動部活動の顧問（教諭（主幹、指導含む））が、部活動指導員を活用している割合は1割強である。

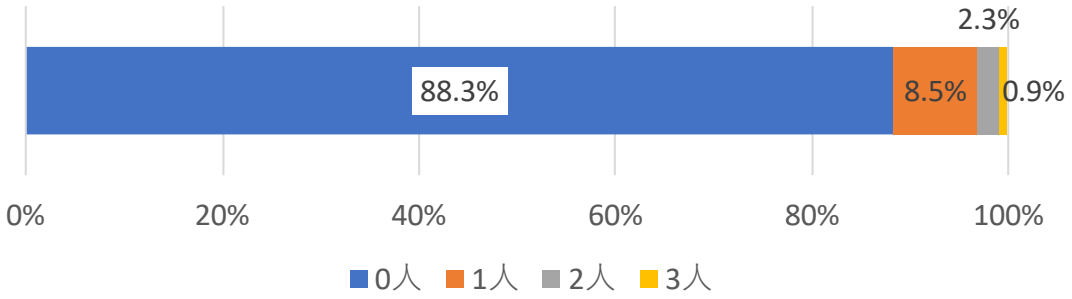


図 15-1　顧問をしている部活動で活用している部活動指導員の人数
（中学校教諭（主幹・指導含む）　運動部顧問のみ（n=4,809））

運動部活動の顧問（教諭（主幹、指導含む））の在校等時間の内訳について、部活動指導員の活用有無別にみる（表 15-1）。

その結果、部活動指導員を活用している教諭の方が、平日で約 3 分、土日で約 14 分、部活動従事時間が短い。さらに、土日においては、部活動指導員を活用している教諭は、活用していない教諭より在校等時間が約 21 分短い。部活動指導員を活用することで、顧問が出勤しなくなったため、その結果、在校等時間も短くなっていると考えられる。

表 15-1　部活動指導員人数別　教諭の在校等時間内訳（運動部顧問のみ）

Q9 部活動指導員人数別

平日

（時間：分）

教諭（統合） 運動部顧問のみ	0人（n=4246）	1人以上（n=563）	1人（n=410）	2人（n=110）	3人（n=43）	1人以上 - 0人
a 朝の業務	0:45	0:45	0:45	0:46	0:47	0.22
b1 授業（主担当）	3:18	3:17	3:20	3:09	3:13	-0.96
b2 授業（補助）	0:20	0:25	0:22	0:30	0:32	4.30
c 授業準備	1:23	1:28	1:27	1:27	1:34	4.53
d 学習指導	0:12	0:14	0:13	0:17	0:12	1.64
e 成績処理	0:37	0:33	0:34	0:33	0:29	-3.25
f1 生徒指導（集団１）	0:50	0:47	0:49	0:47	0:40	-2.74
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:06	0:06	0:06	0:02	0.78
g 生徒指導（個別）	0:15	0:14	0:16	0:12	0:09	-0.10
h 部活動・クラブ活動	0:42	0:38	0:39	0:38	0:31	-3.61
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:05	0:05	0:05	0:06	-0.38
j 学校行事	0:15	0:14	0:14	0:10	0:28	-1.13
k 学年・学級経営	0:29	0:29	0:31	0:24	0:20	-0.60
l 学校経営	0:18	0:16	0:17	0:14	0:19	-1.58
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:20	0:19	0:22	0:18	1.18
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:07	0:07	0:08	0:03	0.34
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:04	0:05	0:03	-0.05
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:01	0:01	0:00	0.23
n3 事務（その他）	0:18	0:16	0:18	0:13	0:06	-1.67
o 校内研修	0:05	0:04	0:04	0:07	0:02	-0.25
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:10	0:08	0:08	0:08	0:05	-2.21
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.19
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	-0.08
s 校務としての研修	0:10	0:07	0:07	0:08	0:04	-2.34
t 会議	0:05	0:06	0:06	0:06	0:07	1.21
u その他の校務	0:07	0:07	0:07	0:08	0:04	-0.27
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.30
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01	0:01	0:01	0.25
x 休憩・休息等	0:04	0:05	0:05	0:04	0:06	0.73
y その他	0:01	0:01	0:01	0:01	0:02	-0.26
合計	11:12	11:05	11:11	10:57	10:29	-7.24

※合計はv職専免研修、w自己研鑽、x休憩休息等除く。

土日

（時間：分）

教諭（統合） 運動部顧問のみ	0人（n=4246）	1人以上（n=563）	1人（n=410）	2人（n=110）	3人（n=43）	1人以上 - 0人
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.23
b1 授業（主担当）	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	-0.47
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.13
c 授業準備	0:11	0:08	0:08	0:12	0:01	-2.68
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.21
e 成績処理	0:12	0:13	0:15	0:09	0:03	0.55
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:01	0:00	0:00	0:03	0.39
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.01
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.38
h 部活動・クラブ活動	1:55	1:40	1:42	1:34	1:40	-14.63
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.36
j 学校行事	0:03	0:02	0:03	0:00	0:05	-0.70
k 学年・学級経営	0:03	0:02	0:03	0:02	0:01	-0.33
l 学校経営	0:02	0:03	0:03	0:03	0:00	0.57
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.19
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.17
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.31
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0.18
n3 事務（その他）	0:03	0:03	0:03	0:02	0:00	-0.49
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.19
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.65
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0.20
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.33
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.65
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.86
u その他の校務	0:03	0:02	0:03	0:00	0:00	-0.59
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.07
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.54
x 休憩・休息等	0:01	0:01	0:01	0:02	0:00	0.08
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	-0.03
合計	2:45	2:23	2:29	2:13	1:56	-21.63

※合計はv職専免研修、w自己研鑽、x休憩休息等除く。

部活動指導員がいる学校の教諭だけを抜き出して、部活動指導員配置有無別の教諭の部活動時間、在校等時間の違いをみる。

その結果、部活動指導員が配置されている学校をみても、指導員を活用している教諭は活用していない教諭と比べて、平日で 3 分、土日で約 20 分、部活動従事時間が短い。

また、部活動指導員が配置されている学校でどのような教諭が指導員を活用しているかをみると、部活動知識技術が備わっていない教諭が活用している傾向にある。

表 15-2　部活動指導員の配置有無別　教諭の部活動・在校等時間（教諭　運動部顧問のみ）

平日		n	部活動・クラブ活動	総在校等時間
学校配置なし		1772	0:43	11:09
学校配置あり	部活動指導員なし	2345	0:41	11:14
	部活動指導員あり	546	0:38	11:05

土日			部活動・クラブ活動	総在校等時間
学校配置なし		1772	1:50	2:40
学校配置あり	部活動指導員なし	2345	2:00	2:50
	部活動指導員あり	546	1:41	2:24

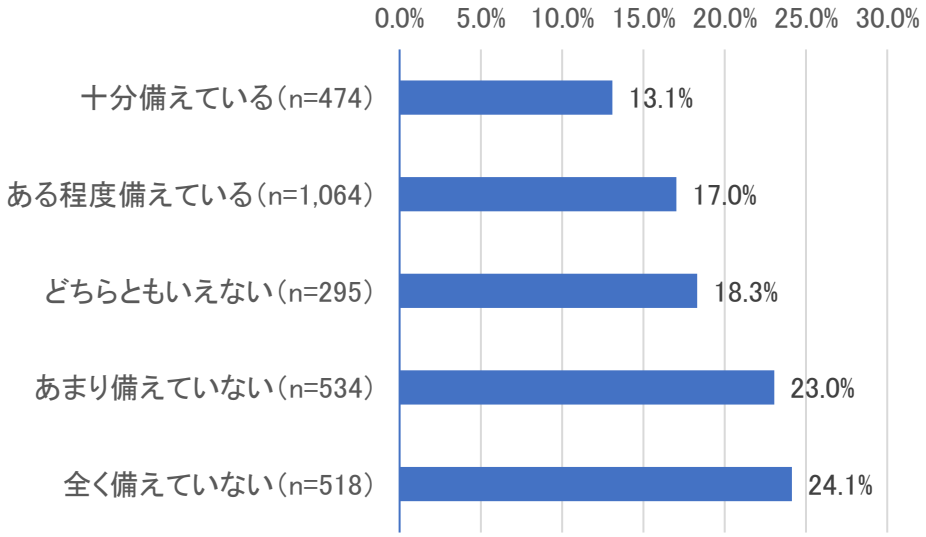


図 15-2　部活動指導員の配置校における部活動知識技術別の指導員配置割合
（教諭　運動部顧問のみ）

（2)部活動指導員の活用方法による違い

「部活動指導員が、教員を伴わず単独で指導・引率を行っているか（学校調査①11-4)」による教諭の部活動時間、在校等時間の違いをみる。

その結果、単独で指導・引率を行う部活動指導員を活用している場合、指導員なしと比べて、平日で 5 分、土日で 20 分、部活動従事時間が短い。土日は、部活動指導員を活用している教諭の方が約 30 分、総在校等時間が短い。

表 15-3　部活動指導員の単独指導有無別　教諭の部活動・在校等時間（教諭　運動部顧問のみ)

平日		n	部活動・クラブ活動	総在校等時間
部活動指導員なし		4031	0:42	11:12
部活動指導員あり	単独指導なし	308	0:40	11:11
	単独指導あり	227	0:37	10:59

土日			部活動・クラブ活動	総在校等時間
部活動指導員なし		4023	1:55	2:46
部活動指導員あり	単独指導なし	346	1:44	2:30
	単独指導あり	191	1:35	2:14

（3）部活の種類別

部活動の競技別（教員調査 8-4）に教諭の部活動時間、在校等時間の違いをみる。

その結果、土日では、指導員なしと比べて、野球部（約 45 分）、サッカー部（約 26 分）、剣道部（約 24 分）、ソフトボール部（約 64 分　※ただしサンプルが少ないことに留意）などにおいて部活動従事時間が短い。

表 15-4　競技別・部活動指導員有無別　教諭の部活動・在校等時間（教諭　運動部顧問のみ）

平日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
野球部	457	32	0:45	0:49	4.6	11:09	10:41	-27.7
サッカー部	369	50	0:40	0:39	-0.5	11:09	11:02	-7.5
バレーボール部	520	63	0:42	0:36	-6.2	11:12	10:46	-26.7
バスケットボール部	652	67	0:45	0:46	1.0	11:18	10:57	-20.4
陸上部	322	51	0:55	0:45	-9.9	11:18	11:20	1.4
卓球部	436	59	0:37	0:35	-1.7	11:13	11:08	-5.0
テニス部（硬式・軟式）	644	91	0:39	0:35	-3.4	11:15	11:09	-5.1
柔道部	82	22	0:53	0:45	-8.2	11:10	10:53	-16.4
剣道部	196	47	0:40	0:31	-9.5	10:59	10:51	-7.6
バドミントン部	239	28	0:35	0:39	3.5	11:11	11:25	14.9
ソフトボール部	113	8	0:37	0:13	-24.1	11:10	11:36	25.3
水泳部	76	13	0:30	0:22	-8.6	11:03	11:36	33.4
その他運動部	140	32	0:37	0:35	-2.0	11:03	11:34	30.6

土日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
野球部	457	32	2:18	1:33	-45.4	3:00	2:13	-47.6
サッカー部	369	50	1:58	1:31	-26.4	2:44	1:53	-51.8
バレーボール部	520	63	2:03	1:58	-5.0	2:56	2:37	-18.9
バスケットボール部	652	67	2:09	2:02	-7.1	2:59	2:40	-18.8
陸上部	322	51	1:33	1:18	-14.8	2:27	2:06	-21.0
卓球部	436	59	1:30	1:25	-4.9	2:19	2:18	-1.4
テニス部（硬式・軟式）	644	91	2:00	1:57	-3.7	2:50	2:38	-11.6
柔道部	82	22	1:52	1:57	5.5	2:41	2:15	-26.0
剣道部	196	47	1:46	1:22	-24.4	2:42	2:15	-27.2
バドミントン部	239	28	1:39	2:13	34.5	2:33	3:07	34.0
ソフトボール部	113	8	2:32	1:28	-64.0	3:13	3:01	-12.1
水泳部	76	13	0:41	0:40	-1.3	1:53	2:02	9.0
その他運動部	140	32	1:27	1:11	-16.6	2:22	1:54	-27.2

（4）1 週間の部活動日数別

1 週間の部活動日数別に、部活動指導員の活用効果をみる。サンプルの少ない部活動 1，2，7 日を除くと、3～6 日の範囲では、部活動日数が多くなると、部活動指導員を活用している教諭の方が活用していない教諭よりも部活動従事時間が短い傾向にある。

表 15-5　部活動日数別・部活動指導員有無別　教諭の部活動・在校等時間
（教諭　運動部顧問のみ）

平日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
1日	55	10	0:07	0:01	-5.8	10:34	11:05	30.9
2日	53	18	0:13	0:07	-6.3	11:10	10:57	-13.3
3日	147	33	0:19	0:22	3.0	11:05	10:58	-6.8
4日	734	107	0:33	0:35	2.3	11:03	10:59	-3.7
5日	2887	346	0:46	0:42	-3.8	11:15	11:07	-8.1
6日	324	42	0:51	0:51	-0.4	11:17	11:14	-2.7
7日	11	2	0:46	1:45	58.1	12:04	13:30	85.6

土日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
1日	55	10	0:33	0:09	-24.0	1:06	1:01	-4.5
2日	53	18	0:41	0:45	4.8	1:31	1:27	-3.6
3日	147	33	1:03	1:01	-2.1	1:38	2:01	22.8
4日	734	107	1:35	1:34	-0.4	2:24	2:27	2.7
5日	2887	346	2:02	1:48	-14.1	2:53	2:24	-29.6
6日	324	42	2:33	2:08	-24.1	3:26	3:18	-7.2
7日	11	2	3:54	5:22	88.0	4:35	6:30	114.5

（5）部活動の知識・技術別

部活動の指導知識・技術の有無別[17]に教諭の部活動時間、在校等時間の違いをみる。

平日は、部活動の指導知識・技術を「あまり備えていない」～「ある程度備えている」教諭は、部活動指導員を活用している教諭の方が部活動従事時間が短い。土日は、部活動の指導知識・技術が「あまり備えていない」～「十分備えている」教諭は、部活動指導員を活用している教諭の方が、部活動従事時間が短い。この傾向は、部活動の指導知識・技術が「どちらともいえない」教諭で顕著である。

一方で、部活動の指導知識・技術を「全く備えていない」教諭は、部活動指導員を活用している教諭の方が、部活動従事時間が長い。この傾向は、土日において顕著である。

表 15-6　部活動知識技術別・部活動指導員有無別　教諭の部活動・在校等時間
（教諭　運動部顧問のみ）

平日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
十分備えている	744	64	0:49	0:51	1.7	11:08	10:42	-25.6
ある程度備えている	1584	186	0:46	0:46	-0.3	11:11	11:01	-10.2
どちらともいえない	430	56	0:44	0:32	-12.1	11:16	10:58	-18.8
あまり備えていない	776	128	0:36	0:31	-4.9	11:20	11:04	-15.8
全く備えていない	706	128	0:29	0:31	1.4	11:08	11:26	18.3

土日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
部活動指導員	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
十分備えている	744	64	2:19	2:06	-13.3	3:05	2:39	-26.7
ある程度備えている	1584	186	2:09	1:46	-23.2	2:56	2:29	-27.1
どちらともいえない	430	56	1:52	1:11	-41.2	2:44	1:44	-60.6
あまり備えていない	776	128	1:36	1:34	-1.4	2:33	2:14	-18.2
全く備えていない	706	128	1:19	1:33	14.1	2:13	2:30	17.5

[17] 教員調査 8-3

同様に、外部指導者の有無別に、部活動の指導知識・技術の有無別の教諭の部活動時間、在校等時間の違いをみる。

その結果、部活動の指導知識・技術が「全く備えていない」～「十分備えている」教諭は、外部指導者を活用している方が、部活動従事時間が短い。

表 15-7　部活動知識技術別・外部指導者有無別　教諭の部活動・在校等時間
（教諭　運動部顧問のみ）

平日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
外部指導者	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
十分備えている	760	236	0:49	0:48	-0.7	11:05	10:52	-12.8
ある程度備えている	1754	534	0:48	0:42	-6.4	11:10	11:06	-3.1
どちらともいえない	452	185	0:43	0:40	-3.0	11:14	11:09	-5.5
あまり備えていない	764	421	0:36	0:32	-4.0	11:12	11:11	-1.4
全く備えていない	631	474	0:30	0:29	-0.8	11:07	11:03	-4.3

土日	n		部活動・クラブ活動			総在校等時間		
外部指導者	なし	あり	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
十分備えている	760	236	2:20	2:05	-15.4	3:08	2:42	-25.7
ある程度備えている	1754	534	2:07	1:54	-12.6	2:52	2:44	-7.9
どちらともいえない	452	185	1:55	1:25	-29.4	2:43	2:29	-14.2
あまり備えていない	764	421	1:31	1:32	1.0	2:25	2:33	7.6
全く備えていない	631	474	1:25	1:13	-12.0	2:16	2:04	-12.4

（6）抑うつ傾向との関係

部活動指導員、外部指導者の配置と、教諭の抑うつ傾向（K6）の関係についてみる。

まず、前回調査（平成 28 年度調査）同様に、部活動の指導知識・技術が備わっていないと、K6 が大きい（抑うつ傾向が強い）ことがわかる。

その上で、部活動の指導知識・技術が「どちらともいえない」教諭は、部活動指導員、外部指導者のいずれを活用している教諭の方が活用していない教諭より K6 が低い。

部活動の指導知識・技術が「十分備えている」か「全く備えていない」教諭は、部活動指導員を活用している教諭において K6 が高く、外部指導者を活用している教諭において K6 が低い。

表 15-8　部活動知識技術別　教諭の K6（教諭　運動部顧問のみ）

	部活動指導員			外部指導者		
	なし	あり	あり-なし	なし	あり	あり-なし
十分備えている	4.8	5.3	0.5	4.9	4.6	-0.3
ある程度備えている	5.6	5.6	-0.1	5.6	5.9	0.3
どちらともいえない	6.5	5.1	-1.4	6.8	5.6	-1.1
あまり備えていない	6.0	5.9	-0.2	6.1	6.1	-0.1
全く備えていない	7.3	8.1	0.8	7.6	7.2	-0.4

4. 考察

部活動指導員の活用による運動部顧問教諭の負担軽減効果について検証を行った。

その結果、部活動指導員を活用している教諭の方が、していない教諭より部活動従事時間が短い。この結果は、部活動指導員の配置がある学校だけで比較しても同様であり、部活動指導員を活用している教諭は、活用していない教諭より部活動従事時間が短かった。

さらに、部活動指導員が「単独で指導・引率を行う」場合、この効果は顕著であり、部活動指導員なしの運動部顧問教諭と比べて、平日で 5 分、土日で 20 分、部活動従事時間が短い。さらに、土日は、在校等時間も短くなっている。これは、部活動の指導・引率がないため、学校に出勤しなくなるためだと考えられる。

競技別では、野球部、サッカー部、剣道部、ソフトボール部などにおいて、部活動指導員を活用している教諭の部活動従事時間が、同じ競技の部活動指導員を活用していない教諭より短い。

さらに、部活動の指導知識・技術の有無別で、部活動指導員等の働き方への効果が異なる。特に、部活動の指導知識・技術が「どちらともいえない」教諭は、部活動指導員、外部指導者いずれの配置でも、部活動時間が短く、抑うつ傾向が小さい。また、部活動の指導知識・技術が「十分備わっている」教諭は、部活動指導員、外部指導者いずれの配置でも、部活動時間が短いが、メンタル面では効果はみられない。教諭の部活動技術にあわせて、適切な部活動指導員、外部指導者の配置が求められる。

第６部　個人のパーソナリティ等と教員の勤務実態の関連

第16章　教員の行動経済学的特性と勤務実態・メンタルヘルスの関係

佐々木周作

【本章のポイント】

- 中長期的な利益よりも短期的な利益を優先する傾向（時間割引率）が大きい中学校副校長・教頭ほど在校等時間が長い。
- 均等配分を好む傾向のある小学校教諭・中学校教諭ほど在校等時間が短い。
- 性格特性のうち冷静で気分が安定している（神経症傾向の低い）小学校教諭・中学校教諭ほど在校等時間が短い。
- 職階を問わず中長期的な利益よりも短期的な利益を優先する傾向（時間割引率）が大きい小学校教員・中学校教員ほどメンタルヘルスの状態が悪化している。
- 均等配分を好む傾向のある小学校教諭・中学校教諭ほどメンタルヘルスの状態が良好である。
- 性格特性のうち冷静で気分が安定している傾向のある（神経症傾向の低い）小学校教諭・中学校教諭ほどメンタルヘルスの状態が良好である。

1. 本章の目的

本章では、令和 4 年度教員勤務実態調査のデータを使い、行動経済学研究で着目されることの多い「時間割引率」や「平等配分傾向」と呼ばれる意思決定の特性や、心理学研究で着目されることの多い「ビッグ 5」と呼ばれる性格特性の回答分布を確認する。また、それらの特性が在校等時間やメンタルヘルスとどう関係しているのかを検証する。

先行研究は、これらの特性が勤務実態と相関することを報告してきた。例えば、黒川・佐々木・大竹（2017）は、日本国内の民間企業の協力の下、その社員を対象に様々な行動経済学的・心理的特性に関する質問を含んだ独自調査を行い、その個票データと企業より提供を受けた残業時間に関するデータと組み合わせて、長時間労働をする社員の特性を明らかにした。統計解析の結果、時間割引率に関する特性として、先延ばし傾向の強い社員の深夜残業時間が長いことが分かった。また、平等配分傾向に関する特性として、完全平等な配分を好む社員の総残業時間が長いことが分かった。さらに、ビッグ 5 の性格特性の内、誠実性が高い社員の深夜残業時間は短い一方で、総残業時間は長くなっていることが分かった。

2. 分析方法

時間割引率は、異時点間の意思決定に関する特性である時間選好の一つで、せっかちさに相当する指標である。平等配分傾向は、他者配慮に関する行動経済学的特性である社会選好の一つである。ビッグ 5 は、性格の 5 つの次元（外向性・協調性・誠実性・神経症傾向・開放性）を計測したものである。令和 4 年度教員勤務実態調査には、これらの特性を測定するための質問を設定した。

3. 分析結果

(1)時間割引率の定義と分布

時間割引率は、近い将来の選択肢と遠い将来の選択肢を比較する、異時点間の意思決定に関する特性である時間選好の一つであり、「せっかちさ（impatience)」に相当する指標として使用される。

例えば、「1ヶ月後に、1万円をもらう」「13カ月後に、1万1,000円を受け取る」というお金の受け取り方に関する二つの選択肢を提示したときに、前者の選択肢を希望する人は、より近い将来に1万円を受け取るために1,000円分の追加利得を放棄するせっかちな人であり、このような好みを、時間割引率が大きいと表現する。割引という表現は、遠い将来の価値を割り引いて評価することに対応している。

個人の時間割引率の水準は、遠い将来までお金の受取りを待つために要求する主観的な金利として計算される。例えば、1ヶ月後に1万円受け取ることを我慢して13ヶ月後まで待つまでに、少なくとも1万1,000円以上の金額を要求する人の時間割引率は10%となる。

令和4年度教員勤務実態調査に以下の質問を設定して、回答者の時間割引率を把握した。選択した数字の「金利（年表示)」の値が、各回答者の時間割引率となる。この質問は、慶應義塾大学が主催して実施している「日本家計パネル調査（JHPS/KHPS)」内に設定された時間割引率の質問に基づいている。

質問　*あなたは1ヶ月後に1万円もらう代わりに、**13カ月後に最低いくら貰えれば**満足できますか？　次の1～8に指定した金額から一つ選んでください。*

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8
金額	9,500円	10,000円	10,200円	10,400円	10,600円	11,000円	12,000円	14,000円
金利（年表示）	－5%	0%	2%	4%	6%	10%	20%	40%

①時間割引率の分布

小学校教員の回答者（n=11,467）の平均時間割引率は、20.55%であった。この結果は、回答した小学校教員は、1 ヶ月後に 1 万円受け取ることを我慢して 13 ヶ月後まで待つためには、平均的に 1 万 2,055 円以上の金額を要求することを意味する。ここからは一定程度せっかちな傾向がうかがえる。

中学校教員の回答者（n=11,561）の平均時間割引率は、21.54%であった。この結果は、回答した中学校教員は、1 ヶ月後に 1 万円受け取ることを我慢して 13 ヶ月後まで待つためには、平均的に 1 万 2,154 円以上の金額を要求することを意味する。ここからも一定程度せっかちな傾向がうかがえる。中学校教員の時間割引率の方が小学校教員のものより 1%程高く、その差は 1%水準で統計的に有意である。

下図には、回答者の個別の時間割引率を小学校・中学校毎に示した。これを見ると、時間割引率が 40%の回答者が占める割合が高くなっており、小学校教員で 38.0%、中学校教員で 41.2%である。これは、1 ヶ月後に 1 万円受け取ることを我慢して 13 ヶ月後まで待つまでに、少なくとも 1 万 4,000 円以上の金額を要求する回答者が多いということを意味する。

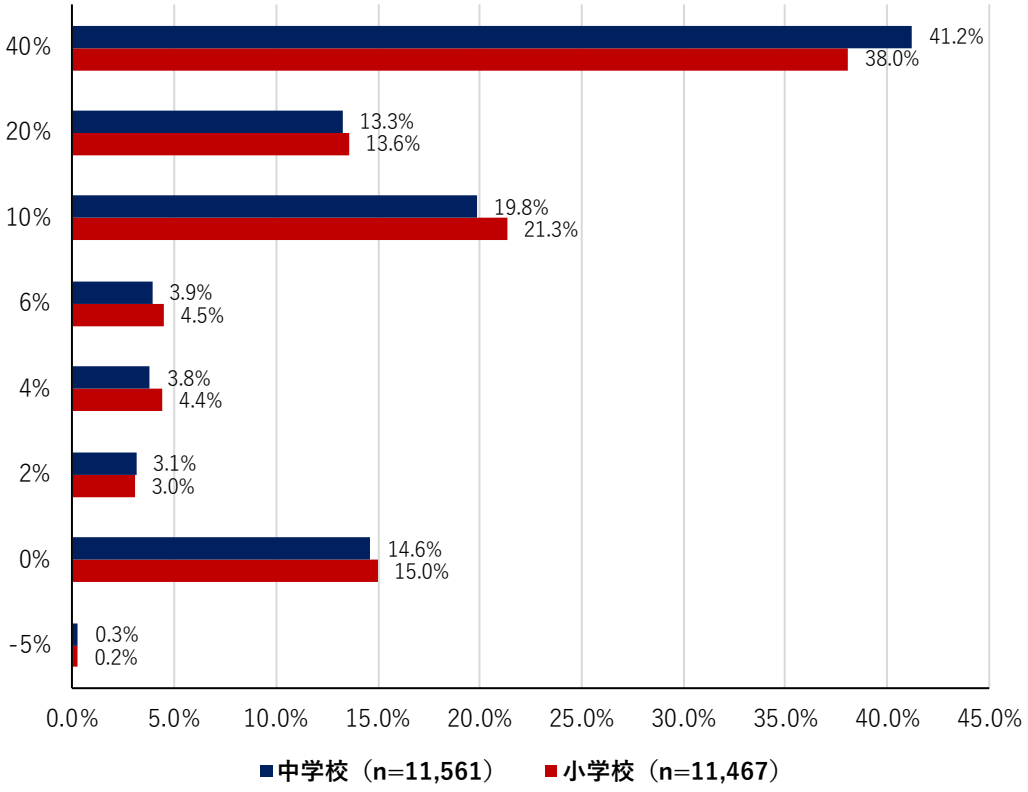


図 16-1　時間割引率の分布

②職階別の時間割引率の分布

小学校教員の回答者の平均時間割引率を職階別に計算すると、それぞれ校長（n=527）は 16.95%、副校長・教頭（n=626）は 18.55%、教諭（主幹・指導教諭含む，以下同様。n=8,872）は 21.24%であった。時間割引率は教諭が最も高く、職階が上がるにつれて低くなっている。具体的には、教諭の時間割引率は校長のものより 4.29%高く、この差は 1%水準で統計的に有意である。職階が上がるにつれて時間割引率が下がる傾向は、以下のグラフからもうかがえる。

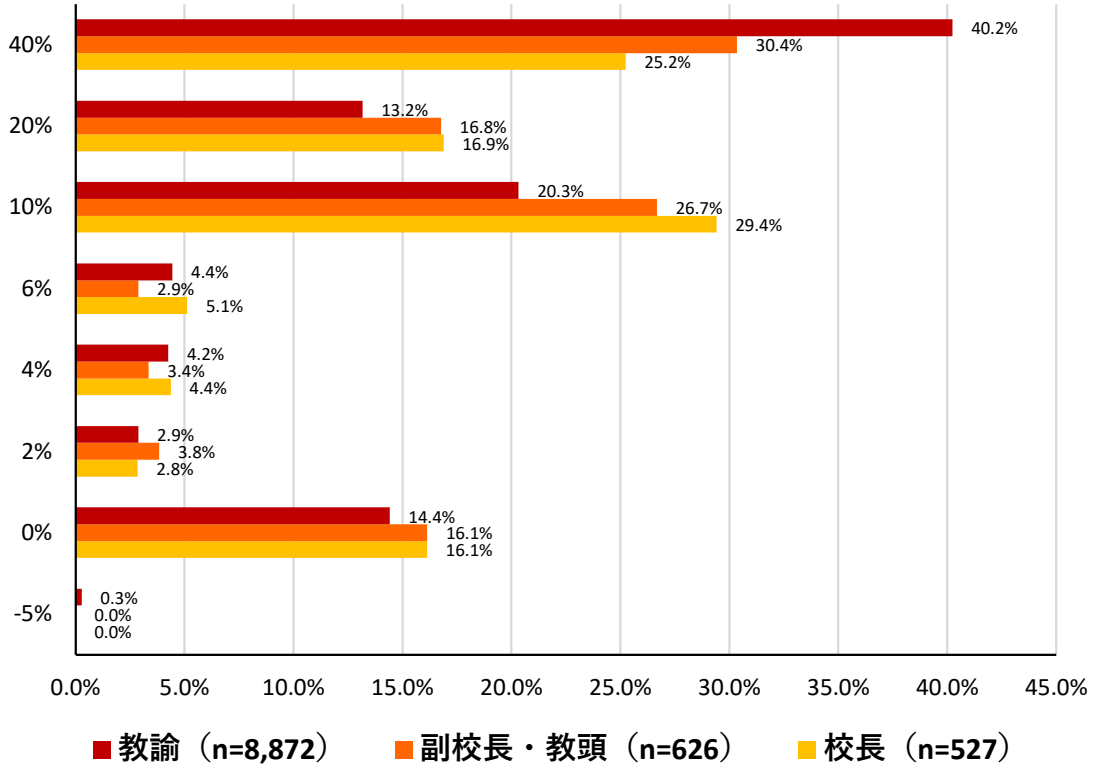


図 16-2　職階別の時間割引率の分布（小学校）

中学校教員の回答者の平均時間割引率を職階別に計算すると、それぞれ校長（n=455）は 17.39%、副校長・教頭（n=640）は 19.60%、教諭（n=9,078）は 22.17%であった。小学校と同様に中学校でも時間割引率は教諭が最も高く、職階が上がるにつれて低くなっている。具体的には、教諭の時間割引率は校長のものより 4.78%高く、この差は 1%水準で統計的に有意である。職階が上がるにつれて時間割引率が下がる傾向は、以下のグラフからもうかがえる。

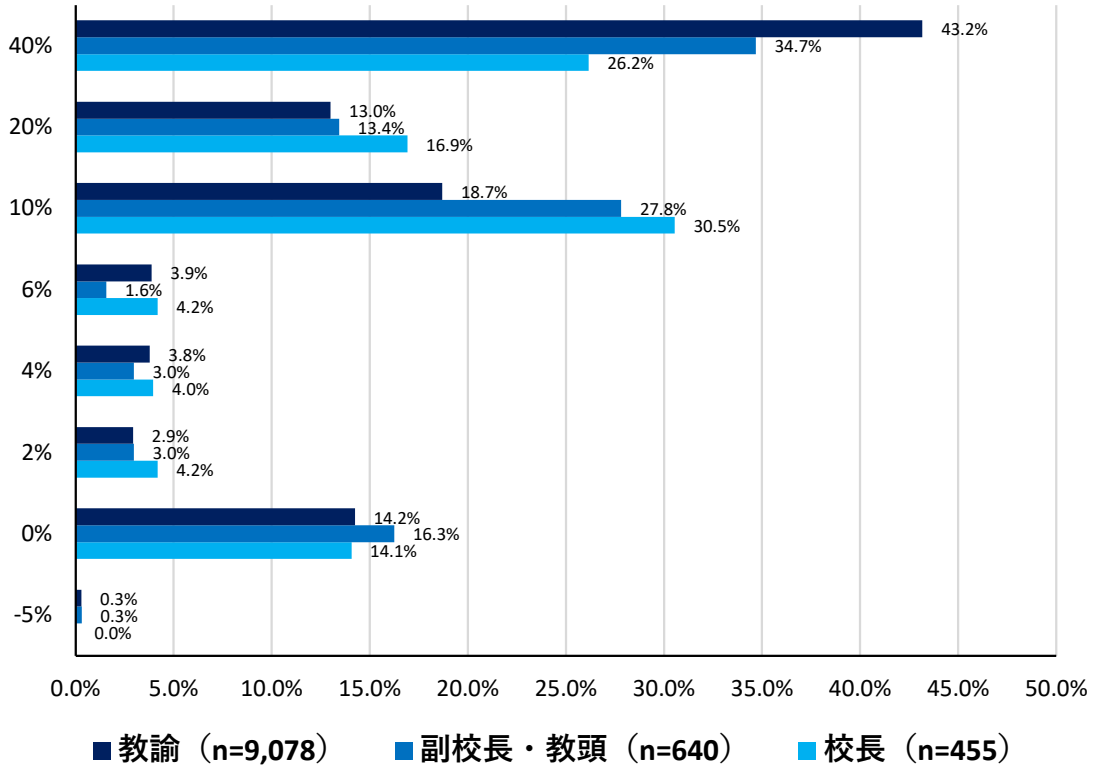


図 16-3　職階別の時間割引率の分布（中学校）

(２)平等配分傾向の定義と分布

平等配分傾向は、他者配慮に関する行動経済学的特性である社会選好の一つである。社会選好には、他人の喜びを自分の喜びとして感じる利他性や、他人が自分に好意的なら好意的に振る舞い、敵対的なら敵対的に振る舞う互酬性などが含まれる。平等傾向は、他人と自分の間に不平等（格差）があることを好まない特性であり、不平等回避とも呼ばれる。

令和 4 年度教員勤務実態調査に以下の質問を設定して、回答者がどのような種類の不平等（格差）を好まないのかを把握した。この質問は Bartling et al. (2009) に基づくもので、大阪大学の「くらしの好みと満足度についてアンケート（JHPS-CPS)」でも採用されている。

質問 *あなたと見ず知らずの他人が、お金をもらえることになりました。ただし、もらえるお金の金額には、A と B の 2 つのパターンがあります。どちらの配分のパターンを選ぶかは、あなたが決定でき、かつその配分を相手は知らないとします。この時、あなたは A と B のどちらを選びますか。それぞれのケースについて選んでください。*

	選択肢 A	A	B	選択肢 B
(1)	あなたも他人も 1 万円			あなたは 1 万円で、他人は 6 千円
(2)	あなたも他人も 1 万円			あなたは 1 万 6 千円で、他人は 4 千円
(3)	あなたも他人も 1 万円			あなたは 1 万円で、他人は 1 万 8 千円
(4)	あなたも他人も 1 万円			あなたは 1 万 1 千円で、他人は 1 万 9 千円

上記の 4 つのケースについて、選択肢 A ではなく選択肢 B を選んだ場合には、それぞれ以下のような意味合いを持つ。

（1B）自分は 1 万円もらい、他人は 6 千円もらう（Prosociality）
（2B）自分は 1 万 6 千円もらい、他人は 4 千円もらう（Costly prosociality）
（3B）自分は 1 万円もらい、他人は 1 万 8 千円もらう（Envy）
（4B）自分は 1 万 1 千円もらい、他人は 1 万 9 千円もらう（Costly envy）

すべてのケースにおいて、平等配分である選択肢 A（自分も他人も 1 万円もらう）の方がよいと回答した人を、完全平等主義者（Egalitarian）と定義する。（1）と（2）のケースにおいて平等配分の方がよいと回答した人を向社会的（Prosocial）と定義し、（3）と（4）のケースにおいては平等配分の方がよいと回答した人を Envy と定義する（向社会的の定義では（3）（4）の回答を条件付けせず、Envy の定義では（1）（2）の回答を条件付けしない)。向社会的な人は自分だけ得をすることを嫌う人であり、Envy な人は自分だけ損することを嫌う人である。

①平等配分傾向の分布

下図より、小学校教員の回答者（n=10,895）において、すべてのケースで平等配分を好む完全

平等主義者の割合は、75.9%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 81.9%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 86.7%であった。ここから、自分だけ得をすることは気にならないが、自分だけ損することを嫌う人が若干ではあるが多いことが分かる。

中学校教員の回答者（n=10,883）においても同様の傾向が観察された。すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、72.0%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 79.0%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 86.7%であった。

下図からは、平等配分を好む傾向が中学校教員よりも小学校教員で強い可能性もうかがえる。例えば、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、小学校教員（75.9%）の方が中学校教員（72.0%）より 3.9%高く、この差は 1%水準で統計的に有意である。

参考情報として、大阪大学「くらしの好みと満足度についてアンケート（JHPS-CPS）」で日本全国に居住する一般の人々5,386 名の調査結果は次のとおりである。すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は 59%、向社会的な配分を好む回答者の割合は 62%、Envy な配分を好む回答者の割合は 84%であった。完全平等主義者の割合と向社会的な配分を好む回答者の割合は、教員回答者の方が高いことが分かる。

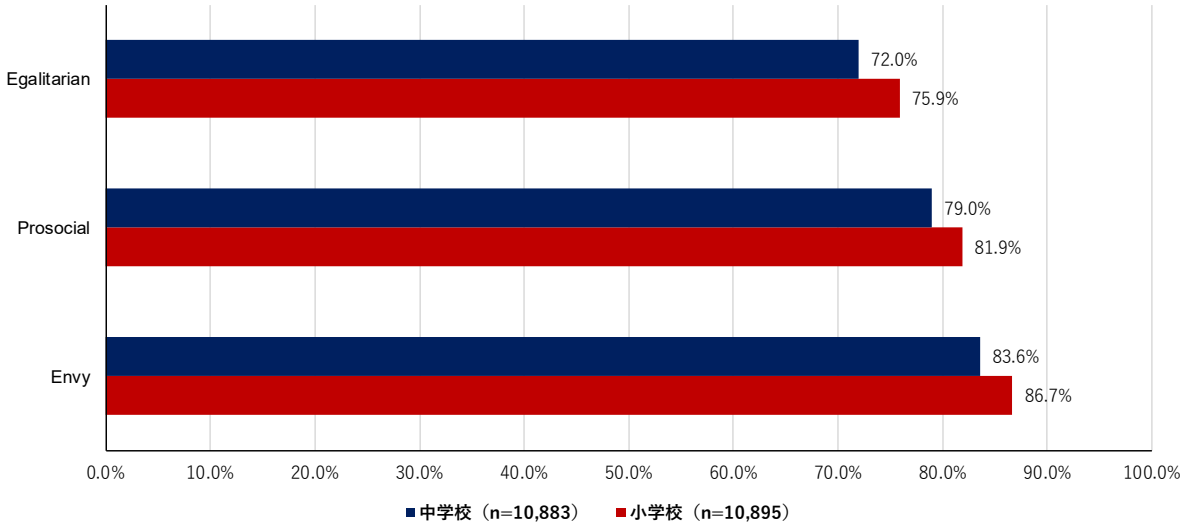


図 16-4　平等配分傾向の分布

②職階別の平等配分傾向の分布

小学校教員の職階別に見ると、校長の回答者（n=517）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、82.2%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 89.2%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 88.6%であった。

副校長・教頭の回答者（n=604）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、79.1%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 84.6%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 89.2%であった。

教諭の回答者（n=8,409）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、74.9%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 80.9%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 86.1%であった。

ここから、職階が上がるにつれて平等配分を好む傾向は強くなる傾向が観察される。例えば、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、校長（82.2%）の方が教諭（74.9%）より 7.3%高く、この差は 1%水準で統計的に有意である。

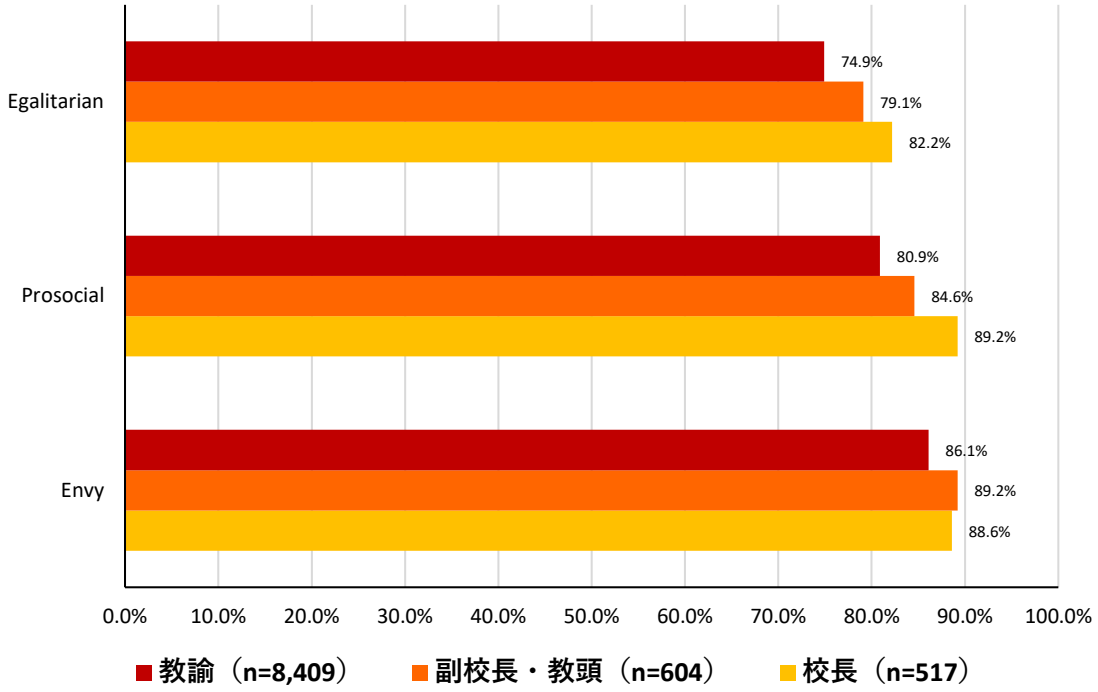


図 16-5　職階別の平等配分傾向の分布（小学校）

中学校教員の職階別に見ると、校長の回答者（n=442）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、81.7%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 86.9%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 90.7%であった。

副校長・教頭の回答者（n=614）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、77.9%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 85.8%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 88.1%であった。

教諭の回答者（n=8,537）では、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、70.8%であった。また、向社会的な配分を好む回答者の割合は 77.9%で、Envy な配分を好む回答者の割合は 82.4%であった。

ここから、職階が上がるにつれて平等配分を好む傾向は強くなる傾向が観察される。例えば、すべてのケースで平等配分を好む完全平等主義者の割合は、校長（81.7%）の方が教諭（70.8%）より 10.9%高く、この差は 1%水準で統計的に有意である。

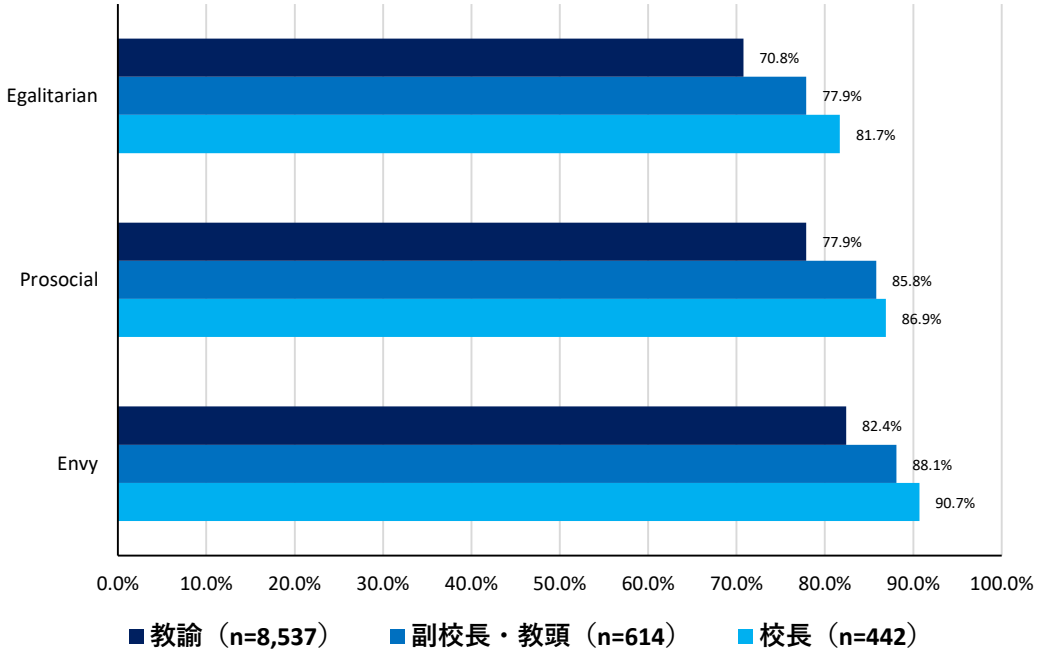


図 16-6　職階別の平等配分傾向の分布（中学校）

(３)性格特性（ビッグ 5）の定義と分布

本調査では、心理学研究でよく使用される日本語版 Ten Item Personality Inventory（TIPI）（Gosling et al. 2003; 小塩ら 2012）に基づき、回答者の性格特性を把握する。TIPI では、以下の質問の 10 項目からビッグ 5 と呼ばれる性格の 5 つの次元（外向性・協調性・誠実性・神経症傾向・開放性）を計測する。

質問 *(A) から（J）までのことばがあなた自身にどのくらい当てはまるかについて、文章全体を総合的にみて、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。それぞれ「全く違うと思う」から「強くそう思う」までの 7 段階のうち、当てはまるものを一つお選びください。*

		全く違うと思う	おおよそ違うと思う	少し違うと思う	どちらでもない	少しそう思う	まあまあそう思う	強くそう思う
(A)	活発で、外向的だと思う（外向性）	1	2	3	4	5	6	7
(B)	他人に不満を持ち、もめごとを起こしやすいと思う（協調性）	1	2	3	4	5	6	7
(C)	しっかりしていて、自分に厳しいと思う（誠実性）	1	2	3	4	5	6	7
(D)	心配性で、うろたえやすいと思う（神経症傾向）	1	2	3	4	5	6	7
(E)	新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う（開放性）	1	2	3	4	5	6	7
(F)	ひかえめで、おとなしいと思う（外向性）	1	2	3	4	5	6	7
(G)	人に気をつかう、やさしい人間だと思う（協調性）	1	2	3	4	5	6	7
(H)	だらしなく、うっかりしていると思う（誠実性）	1	2	3	4	5	6	7
(I)	冷静で、気分が安定していると思う（神経症傾向）	1	2	3	4	5	6	7
(J)	発想力に欠けた、平凡な人間だと思う（開放性）	1	2	3	4	5	6	7

TIPI のスコアリングは、以下の手順で行う：

- 負方向で尋ねた項目を正方向の指標に転換する（選択肢 7 の場合は 1、選択肢 6 の場合は 2、選択肢 5 の場合は 3 など）。負方向で尋ねた項目は、B・D・F・H・J である。

- 各次元に対応する 2 項目（正方向の項目と、正方向に転換後の負方向の項目）の平均をとることで、各次元の尺度を作成する。

①性格特性（ビッグ 5）の分布

下図には、5 つの次元の平均値を示した。ここから、小学校教員の回答者（n=11,390~11,474）・中学校教員の回答者（n=11,480~11,571）どちらにおいても、協調性の水準が相対的に高いことが分かる。

参考情報として、大阪大学「くらしの好みと満足度についてアンケート（JHPS-CPS）」で日本全国に居住する一般の人々4,588 名の調査結果は次のとおりである。外向性は 4.07、協調性は 5.02、誠実性は 4.06、神経症傾向は 3.97、開放性は 3.90 であった。協調性の水準が相対的に高くなる傾向は一般の人々の間でも観察されることが分かる。

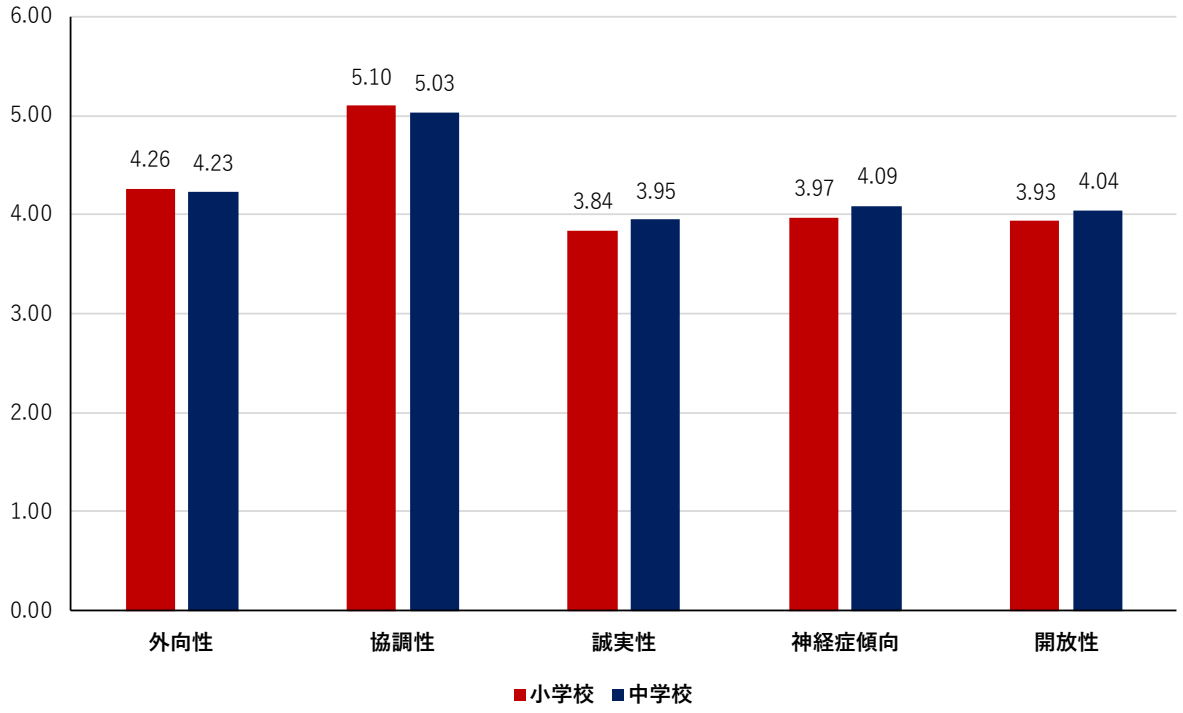


図 16-7　性格特性（ビッグ 5）の分布

②職階別の性格特性（ビッグ 5）の分布

小学校教員の職階別に見たときには、5 つの次元いずれについても、職階が上がるにつれて当てはまる度合いが強くなっていることが分かる。職階内で 5 つの次元の平均値を比較したときには、いずれの職階においても、全体の傾向と同様に、協調性の水準が相対的に高いことが分かる。

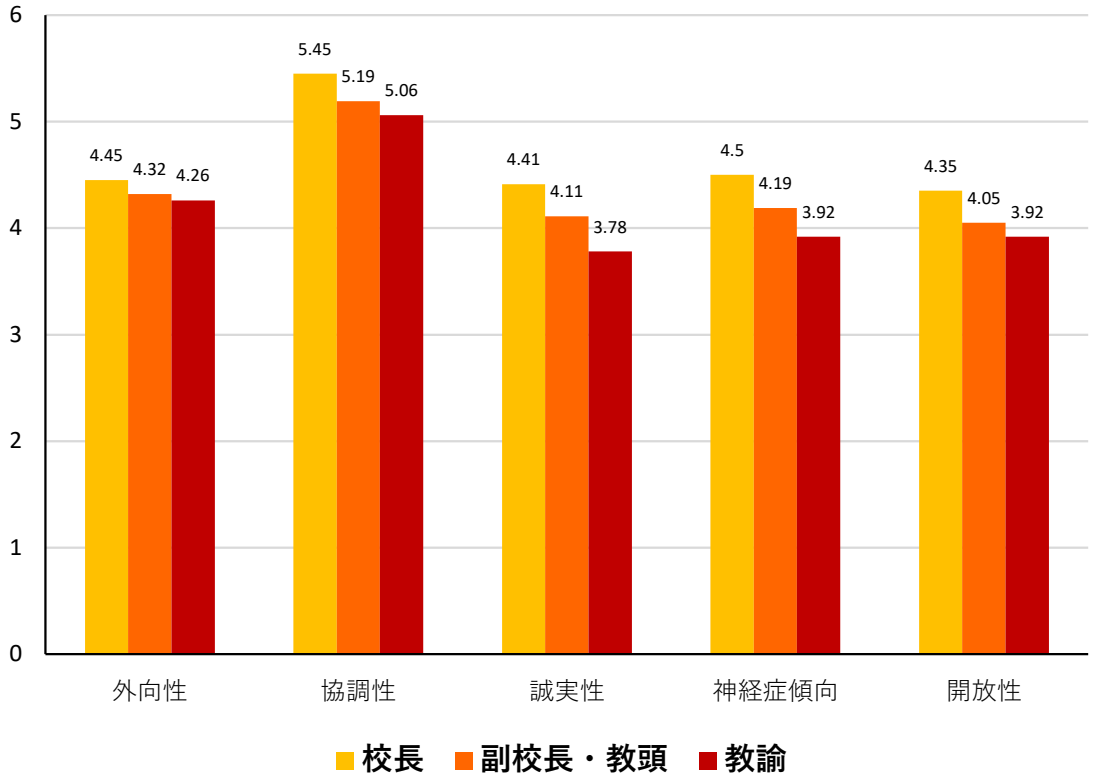


図 16-8　職階別の性格特性（ビッグ 5）の分布（小学校）

中学校教員の職階別に見たときの傾向も、小学校教員のものとほとんど共通している。5 つの次元いずれについても、職階が上がるにつれて当てはまる度合いが強くなっていることが分かる。職階内で 5 つの次元の平均値を比較したときには、いずれの職階においても、全体の傾向と同様に、協調性の水準が相対的に高いことが分かる。

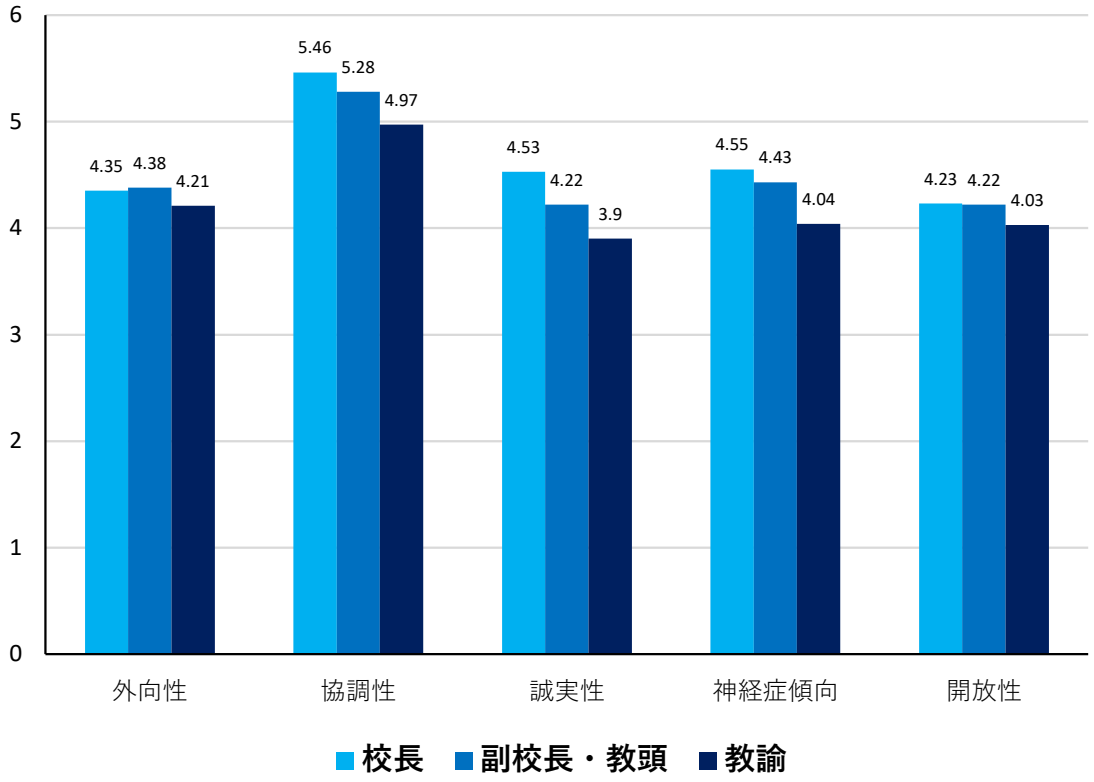


図 16-9　職階別の性格特性（ビッグ 5）の分布（中学校）

(4)時間割引率と在校等時間・メンタルヘルスの関係

①小学校教員

ここでは、時間割引率の大小と在校等時間や K6 がどう関係しているのかを検証する。調査からは、平日の在校等時間（分）と土日の在校等時間（分）を区別して在校等時間を把握できる。時間割引率は、最大の時間割引率である 40%に相当する回答をしたグループとそれ以外の時間割引率の低いグループに分割した。

表 16-1　時間割引率と在校等時間・メンタルヘルスの関係（小学校）

小学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	時間割引率・高い	620.35	49.17	4.65
	時間割引率・低い	624.15	48.65	3.92
	差分	-3.76	-0.98	0.71*
副校長・教頭	時間割引率・高い	704.49	61.97	5.99
	時間割引率・低い	706.07	58.49	5.11
	差分	-1.90	3.31	0.88**
教諭	時間割引率・高い	645.72	38.71	6.74
	時間割引率・低い	645.96	34.70	5.78
	差分	-0.22	4.17**	0.96***

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、小学校教員の職階別に、時間割引率の大小と平日在校等時間・土日在校等時間・K6 の関係を整理したものである。ここから、校長や副校長・教頭の在校等時間については、時間割引率との間に特徴的な関係は観察されない。一方、教諭については、高い時間割引率を持つグループの土日在校等時間が、低い時間割引率を持つグループの土日在校等時間に比べて 4 分程長くなっている傾向が観察される。

K6 は、どの職階においても、高い時間割引率を持つグループの K6 が、低い時間割引率を持つグループの K6 よりも高くなっていることが分かる。その傾向は教諭において特に明瞭であり、高い時間割引率を持つ教諭のグループ（6.74）の方が低い時間割引率を持つグループ（5.78）より 0.96 高く、その差は 1%水準で統計的に有意である。一般的に、K6 の点数が 5 点以上の場合に「心理的ストレスあり」と判定される（Sakurai et al., 2011）。5 点以上の人が占める割合もまた、高い時間割引率を持つ教諭のグループ（58.05%）の方が低い時間割引率を持つグループ（52.44%）より 5.61%高く、その差もまた 1%水準で統計的に有意である。

②中学校教員

表 16-2　時間割引率と在校等時間・メンタルヘルスの関係（中学校）

中学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	時間割引率・高い	608.92	62.52	4.46
	時間割引率・低い	609.77	69.46	3.91
	差分	-1.51	-7.07	0.53
副校長・教頭	時間割引率・高い	718.00	74.46	5.16
	時間割引率・低い	694.81	77.08	4.34
	差分	23.07***	-2.65	0.80**
教諭	時間割引率・高い	662.95	140.32	6.66
	時間割引率・低い	659.65	136.17	5.75
	差分	3.24*	3.89	0.90***

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、中学校教員の職階別に、時間割引率の大小と平日在校等時間・土日在校等時間・K6 の関係を整理したものである。ここから、特に副校長・教頭の平日在校等時間において、時間割引率との間に特徴的な関係が観察されていることが分かる。具体的には、高い時間割引率を持つ副校長・教頭のグループの平日在校等時間が、低い時間割引率を持つグループの平日在校等時間に比べて 23 分程長くなっており、その差は 1%水準で統計的に有意である。週当たりでは 115.35 分（1 日 23.07 分×平日 5 日間）程平日在校等時間が長くなっていることになる。

K6 は、副校長・教頭と教諭において、高い時間割引率を持つグループの K6 が、低い時間割引率を持つグループの K6 よりも高くなっている。時間割引率と平日在校等時間に正の相関関係が見られた副校長・教頭においては、高い時間割引率を持つグループ（5.16）の方が低い時間割引率を持つグループ（4.34）よりも 0.80 高く、その差は 5%水準で統計的に有意である。

(５)平等配分傾向と在校等時間・メンタルヘルスの関係

①小学校教員

ここでは、平等配分傾向と在校等時間やK6がどう関係しているのかを検証する。平等配分傾向の有無は、すべてのケースにおいて平等配分を選択する完全平等主義者かどうかで分類した。

表 16-3　平等配分傾向と在校等時間・メンタルヘルスの関係（小学校）

小学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	平等配分傾向・有	622.87	49.27	4.20
	平等配分傾向・無	621.52	51.36	3.79
	差分	1.35	-2.09	0.41
副校長・教頭	平等配分傾向・有	705.85	60.06	5.14
	平等配分傾向・無	703.14	60.48	5.61
	差分	2.71	-0.41	-0.47
教諭	平等配分傾向・有	644.60	36.66	6.00
	平等配分傾向・無	651.86	36.43	6.53
	差分	-7.27***	0.24	-0.54***

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、小学校教員の職階別に、平等配分傾向の有無と平日在校等時間・土日在校等時間・K6の関係を整理したものである。ここから、校長と副校長・教頭においては特徴的な関係は観察されないことが分かる。一方で、教諭においては、平等配分傾向の有る回答者の方が無い回答者に比べて、平日在校等時間が7.27分程短く、K6の水準が0.54程低くなっている。これらの差は、それぞれ1%水準または5%水準で統計的に有意である。より詳細に見ると、平日在校等時間との相関関係は、自分の配分額が他者よりも低いことを好まないEnvyな回答者の間で強く観察されることも分かった。

平等配分傾向の有る回答者の方が在校等時間は短いという結果は、日本国内の民間企業の従業員を対象にした黒川・佐々木・大竹（2017）の結果と正反対である。小学校教諭の間には在校等時間は短い方が良いという規範が存在していて、自分が周囲よりも長時間働くことを避けるために少し早めに帰宅していると解釈できるかもしれない。

②中学校教員

表 16-4　平等配分傾向と在校等時間・メンタルヘルスの関係（中学校）

中学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	平等配分傾向・有	611.42	72.76	4.06
	平等配分傾向・無	600.89	45.74	3.78
	差分	10.53	27.02*	0.27
副校長・教頭	平等配分傾向・有	704.38	78.51	4.76
	平等配分傾向・無	696.93	70.70	3.97
	差分	7.46	7.82	0.79*
教諭	平等配分傾向・有	660.22	132.95	6.03
	平等配分傾向・無	669.42	152.74	6.34
	差分	-9.20***	-19.79***	-0.32***

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、中学校教員の職階別に、平等配分傾向の有無と平日在校等時間・土日在校等時間・K6 の関係を整理したものである。校長において、平等配分傾向の有るグループの土日在校等時間が無いグループの土日在校等時間よりも 27 分程長くなっている。この傾向は、自分の配分額が他者よりも高いことを好まない Prosocial な回答者の間で強く観察されており、例えば、利他性の強さを通じて校長の土日在校等時間が長くなっている可能性がある。副校長・教頭においては、在校等時間との間に特徴的な関係は観察されないものの、平等配分傾向の有るグループの K6 が無いグループの K6 よりも 0.79 程高くなっている。この傾向は、自分の配分額が他者よりも低いことを好まない Envy な回答者の間で強く観察されている。教諭においては、小学校の教諭と同様の傾向がさらに強く観察されている。平等配分傾向の有る回答者の方が無い回答者に比べて、平日在校等時間が 9.20 分程短く、土日在校等時間が 19.79 分短く、K6 の水準が 0.32 程低くなっている。これらの差は、1%水準で統計的に有意である。平日在校等時間・土日在校等時間との相関関係は、小学校の教諭と同様に、自分の配分額が他者よりも低いことを好まない Envy な回答者の間で強く観察されている。

教諭では平等配分傾向の有る回答者ほど K6 の水準が低いが、副校長・教頭では平等配分傾向の有る回答者ほど K6 の水準が高いのは、在校等時間に関する規範が副校長・教頭と教諭の間で異なる内容で存在しているからかもしれない。例えば、中学校教諭の間では在校等時間は短い方が良いという規範が存在するが、副校長・教頭の間ではその規範が強くないことを示唆している可能性がある。

(６)性格特性（ビッグ 5）と在校等時間・メンタルヘルスの関係

①小学校教員

ここでは、性格特性（ビッグ 5）と在校等時間や K6 がどう関係しているのかを検証する。表には、外向性・協調性・誠実性・神経症傾向・開放性を説明変数として行った重回帰分析の係数を掲載した。

表 16-5　性格特性（ビッグ 5）と在校等時間・メンタルヘルスの関係（小学校）

小学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	外向性	2.48	-3.32	-0.42***
	協調性	5.70	4.34	-0.10
	誠実性	3.78	-3.62	-0.21
	神経症傾向	-2.95	-0.60	-1.39***
	開放性	-4.18	-0.90	-0.19
副校長・教頭	外向性	-1.05	-5.39	-0.37**
	協調性	5.74	1.97	-0.44**
	誠実性	-1.45	-2.39	-0.01
	神経症傾向	-3.69	-4.76	-1.95***
	開放性	1.62	8.27**	0.19
教諭	外向性	1.07*	0.16	-0.49***
	協調性	2.44***	1.54*	-0.48***
	誠実性	-3.29***	0.38	-0.07*
	神経症傾向	-4.43***	-2.67***	-1.61***
	開放性	-1.91***	-0.15	0.08*

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、小学校教員の職階別に、性格特性（ビッグ 5）の有無と平日在校等時間・土日在校等時間・K6 の関係を整理したものである。どの職階でも共通に観察されるのは、外向性・神経症傾向が K6 に対して負の係数を示していることである。特に神経症傾向の係数が大きい。（３）節の説明のように、負方向で尋ねた項目は正方向の指標に転換して指標を作成しているので、神経症傾向指標の高さは冷静さや気分の安定性を表している。冷静で気分が安定している人ほど K6 の水準が低いという結果は直感的である。さらに教諭の回答者では、冷静で気分が安定している人ほど平日や土日の在校等時間も短いという傾向が観察されている。他の特性については、協調性の強い人ほど特に平日在校等時間が長くなる傾向も観察されている。

②中学校教員

表 16-6　性格特性（ビッグ 5）と在校等時間・メンタルヘルスの関係（中学校）

中学校		平日在校等時間（分）	土日在校等時間（分）	K6
校長	外向性	1.66	0.88	-0.32**
	協調性	3.89	2.33	-0.20
	誠実性	0.48	2.76	0.17
	神経症傾向	-8.04**	-1.34	-1.53***
	開放性	-3.25	2.29	-0.29*
副校長・教頭	外向性	-1.52	3.10	-0.44***
	協調性	3.66	8.68	-0.40**
	誠実性	0.34	-2.76	0.23
	神経症傾向	-2.77	-10.42**	-1.51***
	開放性	-2.82	1.81	-0.24*
教諭	外向性	1.65**	4.89***	-0.46***
	協調性	5.20***	1.02	-0.51***
	誠実性	-4.56***	-4.18***	-0.06
	神経症傾向	-5.92***	-1.68	-1.86***
	開放性	-1.85**	-1.92	0.06

備考：*** <0.01, ** <0.05, * <0.10

表は、中学校教員の職階別に、性格特性（ビッグ 5）の有無と平日在校等時間・土日在校等時間・K6 の関係を整理したものである。小学校教員と同様、どの職階でも共通に観察されるのは、外向性・神経症傾向が K6 に対して負の係数を示していることである。神経症傾向の係数が大きい点も小学校教員の結果と共通している。神経症傾向の係数より、副校長・教頭の回答者では冷静で気分が安定している人ほど土日在校等時間が短く、教諭の回答者では冷静で気分が安定している人ほど平日在校等時間が短い傾向が示されている。教諭の回答者では、さらに、外向性の強い人ほど土日在校等時間が長く、協調性の強い人ほど平日在校等時間が長い傾向が示されている。

4. 考察（分析結果に基づく対策案）

教員の働き方やメンタルヘルスを規定する要因として、これまでは制度や環境の影響が大きく着目されてきた。一方で本章の分析結果が示すように、個人の気質や性格もまた勤務実態やメンタルヘルスに影響を与えている可能性がある。行動経済学は、個人のどの気質・性格がどのように影響しているかを踏まえて対策の内容や見せ方を工夫することで、人々の行動変容を促すことができる可能性を提示してきた。そのような施策の総称を「ナッジ」と呼ぶ。ナッジの定義は、「選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素」である（セイラー・サンスティーン，2009）。現実のナッジの事例を踏まえれば、「人々の心理的・行動経済学的特性を踏まえて、またはそれを活用して、強制することなく、高額の金銭的インセンティブを用いることもなく、自分自身や社会にとって最適な選択を人々が自発的に実行できるように促すためのメッセージやデザイン・仕組み・制度」と言い換えることができる。制度や環境に関するハードな対策に加えて、ナッジのような対策を教育行政単位または学校現場単位で行うことで、より効果的に働き方改革を進められる可能性がある。

本章の分析結果から、自分と他者の間で平等な配分を好む特性の強い教諭ほど在校等時間が短くなる傾向が観察された。この傾向は、特に他者の配分額が自分より高い選択を避けたがる回答者の間で強く観察された。この結果は、自分が他の教員に比べて長時間勤務することを避けたがる教諭の行動特性を示唆している。この結果を踏まえた長時間勤務を防止するための介入としては、自分の在校等時間と周囲の教員の在校等時間を比較できるような形式で明示する施策が挙げられる。例えば、「あなたは本市の平均的な教員よりも〇〇分多く働いています」というメッセージが勤務時間管理システムに表示されるようにする、各学校の在校等時間を関係者内部で共有するなどである。このような施策を「社会比較ナッジ」と呼ぶ。社会比較ナッジは、さまざまな政策分野で効果が検証され、実装されている。日本で著名なのは、環境省と民間事業者による節電・省エネの実証事業である（日本版ナッジ・ユニット連絡会議，2021）。「ホーム・エナジー・レポート」と呼ばれる文書を各世帯に郵送し、その中で近隣のよく似た家庭や省エネ上手な家庭の電力使用量と自分の家の電力使用量を比較できるようにした。他の家庭よりも使いすぎている場合には、「もうすこし節電や省エネを心がけないと」と意識づけられる仕掛けになっている。実際、ホーム・エナジー・レポートを受け取った家庭は、受け取っていない家庭に比べてエネルギー使用量が減少したと報告されている。

本章の別の分析結果から、時間割引率が大きいせっかちな中学校副校長・教頭ほど平日の在校等時間が 23 分程長くなる傾向が観察された。これは週当たりでは 115.35 分（1 日 23.07 分×平日 5 日間）程平日在校等時間が長くなっていることを意味する。時間割引率が大きいせっかちな中学校副校長・教頭ほどメンタルヘルスの状態も悪化している傾向が観察され、時間割引率の高さに関連する平日在校等時間の長さがメンタルヘルスの悪化につながっている可能性もある。時間割引率の大きい人は一般的に将来の大きな利得よりも目前の小さな利得を優先する傾向があると指摘されており、そのような特性が平日在校等時間の増加につながっているのかもしれない。例えば、細々とした仕事を優先して、時間のかかる仕事に着手するのが遅れているなどの行動特性が考えられる。このような行動特性に有効な施策として、「コミットメント・ナッジ」がある。コ

ミットメント・ナッジの一つに、事前に立てた計画を周囲に宣言することで、心理的に後から計画変更しにくい環境にあえて身を置き、当初の計画どおりに実行するというものがある。学校現場に応用するなら、一週間の仕事の進め方と退勤予定時間を公開して、週初めの会議などでスケジュールどおりに宣言するという方法が考えられる。事後変更された場合には変更事実や履歴もまた職場内で公になるように設定するなど、事後変更に対する心理的プレッシャーが生じるように工夫することが必要である。

ナッジの効果は異質的で、対象者の気質や性格の分布の違いによって変化することが指摘されている。つまり、社会比較ナッジやコミットメント・ナッジが日本全国のどの学校でも同じように効果を発揮することは期待できない。例えば、それぞれの学校現場毎に教員自らが気質や性格を踏まえながらナッジを考案するというように、対策の実施にあたっては学校毎の特徴がナッジに反映されるような仕組みが検討される必要がある。

参考文献

Bartling, B., Fehr, E., Maréchal, M.A., & Schunk, D. (2009). Egalitarianism and competitiveness. *American Economic Review,* 99(2), 93-98.

Gosling, S. D., Rentfrow, P. J., & Swann Jr, W. B. (2003). A very brief measure of the Big-Five personality domains. *Journal of Research in personality,* 37(6), 504-528.

大阪大学社会経済研究所．「くらしの好みと満足度についてアンケート」調査概要．https://www.iser.osaka-u.ac.jp/survey_data/panelsummary.html（閲覧日：2022 年 2 月 20 日）

小塩真司, & 阿部晋吾. (2012). 日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) 作成の試み. *パーソナリティ研究*, *21*(1), 40-52.

黒川博文, 佐々木周作, & 大竹文雄. (2017). 長時間労働者の特性と働き方改革の効果. *行動経済学*, *10*, 50-66.

慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター．日本家計パネル調査（JHPS/KHPS）．https://www.pdrc.keio.ac.jp/paneldata/datasets/jhpskhps/（閲覧日：2022 年 2 月 20 日）

日本版ナッジ・ユニット連絡会議．(2021).ナッジと EBPM～環境省ナッジ事業を題材とした実践から好循環へ～．https://www.env.go.jp/earth/ondanka/nudge/EBPM.pdf（閲覧日：2024 年 1 月 21 日）

リチャード・セイラー，キャス・サンスティーン．実践行動経済学：健康，富，幸福への聡明な選択．日経 BP；2009.

第17章　教員の育児介護負担と勤務実態・ワークライフバランス満足度の関係

福田亘孝

【本章のポイント】

- 学校での業務時間が長くなるほど仕事を離れて自由に行動できる時間は減少し、生活時間の配分は仕事に偏り、教員のワークライフバランスは崩れる。
- 年齢階層別では、若年層ほど自由に行動できる時間が少ない。また、職位別では、副校長・教頭は自由な時間が短くワークライフバランスが仕事に偏っている。
- 子供の有無や、介護を必要とする人の有無は、ワークライフバランスに影響を与える。子供や、家族に介護を必要とする人がいると、在校等時間が少なく家庭時間が長くなる。また、双方に共通する傾向として、職場からの配慮がある場合は、家庭時間が長い。
- ワークライフバランスに対する満足度は、在校等時間が長いほど低下し、また、若年層の教員で低い傾向がある。
- 子供の有無や、介護を必要とする人の有無は、満足度に影響を与える。子供が小さい場合や、家族に介護を必要する人がいると、満足度が低下する。また、双方に共通する傾向として、職場からの配慮がある場合は、満足度が改善する。

1.　本章の目的

本章では、小学校・中学校教員のワークライフバランスについて検討する。教員の多忙化は従事する学校関連の業務の長時間化をもたらすと同時に他の活動を行う時間配分にも影響を与える。一日のうち多くの時間を仕事に割くことは、家事や子育ての時間や個人の余暇時間を減少させ、仕事に偏った時間配分をもたらす。こうしたワークライフバランスに偏りのある「働き方」や生活スタイルは仕事と家庭生活の調和を喪失させることで、教員のメンタルヘルスや労働意欲に負の影響を与えることになる。反対に、ワークライフバランスのとれた働き方は仕事と家庭生活を調和させ、教員の Well-being を改善し仕事に対する意欲を高める（山口 2009）。従って、ワークライフバランスは仕事の効率やメンタルヘルスに影響を与える重要な要素であり、できるだけバランスのとれた「働き方」が望ましいことは言うまでもない。こうした点をふまえて、本章では小学校・中学校教員のワークライフバランスの特徴を明らかにすることを主な目的とする。

2.　分析方法

本章では 2 つの点からワークライフバランスを分析する。まず第一の視点は、学校業務と業務以外の時間配分から見た教員の客観的なワークライフバランスを明らかにする。生活時間の研究はこれまで数多く行われており、個人が特定の行動に費やす時間を計測し、その量から生活スタイルの特徴を明らかにしている。例えば、NHK 放送文化研究所が継続的に実施している「国民生活時間調査」では 1 日 24 時間の生活行動を（1）拘束行動：社会や家庭を維持させるための行動

（仕事や学業など）(2) 自由行動 : 人間性を向上させるために行う自由裁量性の高い行動（趣味、行楽など）(3) 必需行動 : 個体を維持向上させるために必要不可欠性の高い行動（睡眠、食事など）の 3 つに分類し、それぞれの行動を行う時間を測定し生活行動のパターンを分析している（NHK 放送文化研究所 2011）。しかし、本調査では 1 日の行動時間を生活時間調査ほど詳細に調べてはいない。したがって、本章では 24 時間から（持ち帰り業務の時間を除く）在校業務時間、通勤時間、睡眠時間の合計を引いた残りの時間を教員が業務から離れて行動できる「家庭時間（あるいは、自由時間）」と定義する。そして、家庭時間（自由時間）の量によって教員のワークライフバランスの状態を検討する。具体的には、「家庭時間（あるいは、自由時間）」が短くなるほど生活時間が仕事に偏りワークライフバランスが崩れているとみなす。第二の視点として、実際の業務時間と家庭時間の配分に対する個人の意識から教員のワークライフバランスを分析する。本調査では現在の「仕事と仕事以外の生活とのバランス」についての満足度を回答者が 0 点から 10 点で評価しており、得点が高いほど「バランスがとれている」と考えている。本章では、この得点を用いて主観的な意識面からも教員のワークライフバランスを検討する。これらの 2 つのワークライフバランスの指標が、学校での業務時間や職階、子供の数や年齢、介護の有無、職場環境によって異なるかどうかを吟味することで教員のワークライフバランスの特徴を明らかにする。

3. 分析結果

（1）1 日当たりの家庭時間の全体的傾向

平日一日の家庭時間の平均は小学校教員では 396 分、中学校教員では 385 分であり後者は前者より 10 分ほど短い。性別ごとに見ると、小学校でも中学校でも男性よりも女性の方が業務から離れる時間が長く、小学校では約 15 分、中学校では約 25 分家庭時間が長く統計的にも有意な差となっている。他方、土曜日は家庭時間の平均が 10 時間以上に達しており平日の 2 倍以上の長さになっている（同様に、日曜日の家庭時間も平均して 10 時間以上であった）。興味深いのは、土曜日の家庭時間が小学校では男女で有意差が無いのに対して、中学校では女性が男性よりも有意に長くなっている。週末は業務から離れて余暇や家族と過ごす生活スタイルになっている。

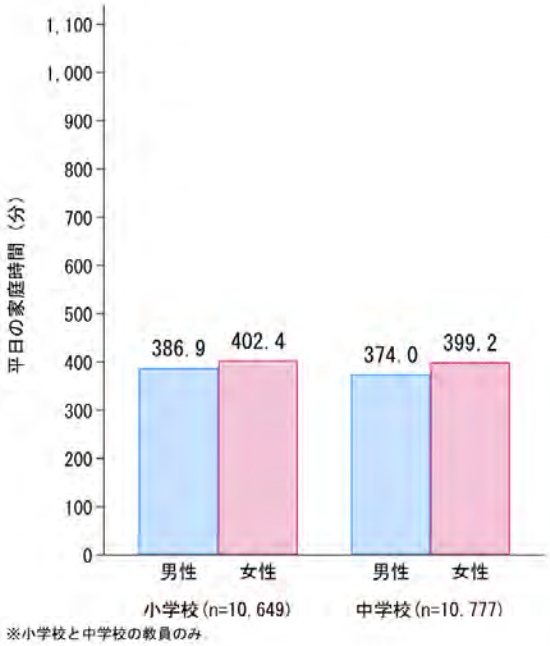


図 17-1　平日の平均家庭時間

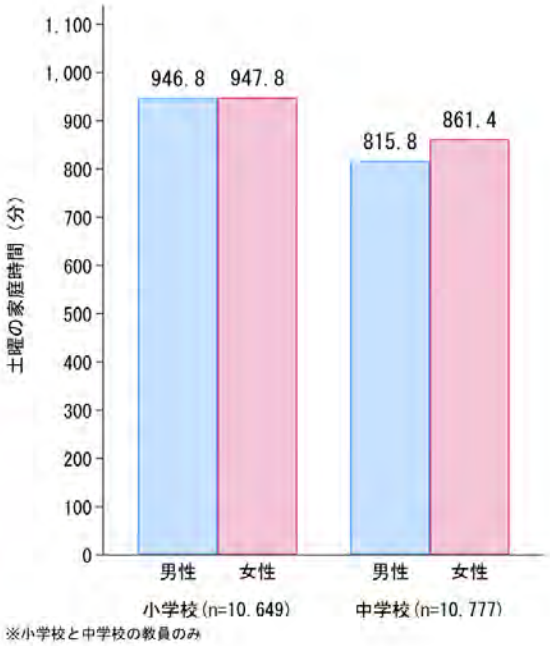


図 17-2　土曜の平均家庭時間

（2）学校での在校等時間との関係

平日でも土曜でも在校等時間が増えるにつれて家庭時間は減少している。小学校でも中学校でも平日の在校等時間が 8 時間以下の場合は家庭時間を 500 分以上確保しているが、11 時間を超えると家庭時間は 300 分前後にまで減少しており、1 日のうち大半の時間を仕事に費やす教員はワークライフバランスに大きな偏りが見られる。週末でも生活時間の特徴は同じで、土曜日に業務に 9 時間以上従事した場合、小学校教員の家庭時間は 443 分、中学校教員では 430 分であり、在校等時間の増大がワークライフバランスの偏りに繋がっている。

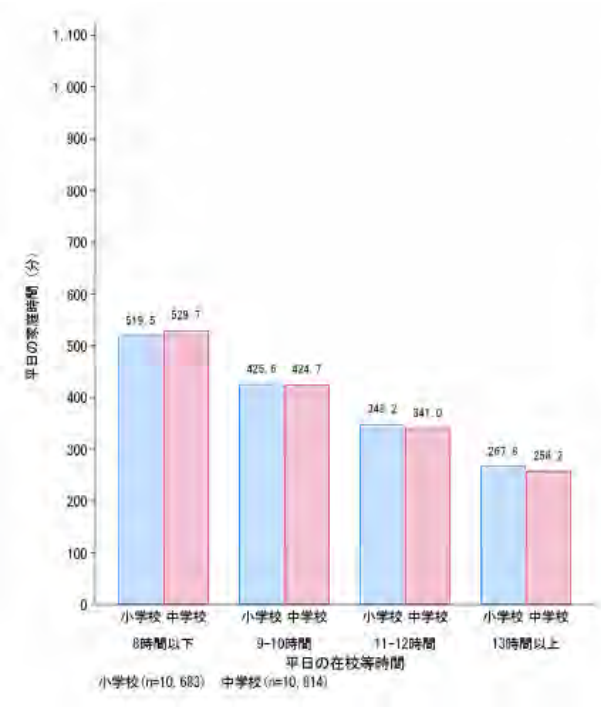


図 17-3　平日在校等時間ごとの平均家庭時間

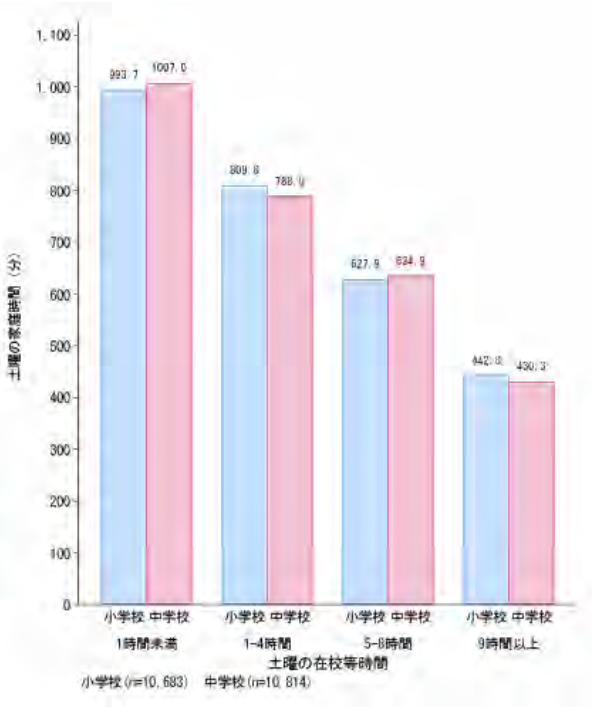


図 17-4　土曜在校等時間ごとの平均家庭時間

（3）年齢・職階との関係

まず、年齢ごとに見てみると、家庭時間は、男性、女性共に若年層で少なく、中・高齢層で多くなっている。特に、30 歳以下の教員の平日の家庭時間の平均は、男性で 350 分、女性で 367 分であり、6 時間を下回っている。令和 2（2020）年に実施された『NHK 国民生活時間調査』のデータを使って、本章と同じ定義の平日の家庭時間を計算すると、男性では約 385 分、女性では約 392 分である。言い換えるならば、他の仕事と同様に教員においても働き始めてから最初の数年間は業務時間が長くなる傾向にあり、仕事から離れて自分の自由になる時間がそれほど多くはなく、ワークライフバランスが十分に維持されていない働き方になっている。また、多重比較の結果を見ると、全体として、年齢が上昇するほど家庭時間が長くなるが、家庭時間について、男性では 31-40 歳と 41-50 歳の年齢層の間には有意な差がなく、女性では 41-50 歳と 51-60 歳の年齢層の間で有意差がない。すなわち、年齢の上昇にともなって家庭時間が増大するのは男性でも女性でも共通した特徴であるが、家庭時間が増えるペースは性別によって異なっている。

次に、職階ごとに見てみると、男性、女性共通の傾向として、校長の家庭時間が最も長く、副校長・教頭の時間が最も短い。副校長・教頭は、本報告書においてこれまで分析されているとおり、最も在校等時間が長く多忙である職であるため、こうした特徴が見られたと考えられる。したがって、副校長・教頭は働き方を見直すことでワークライフバランスが改善される可能性がある。また、校長の家庭時間にはジェンダー差が見られないのに対して、副校長・教頭や教諭の家庭時間は、女性よりも男性が短いことから、性別によってワークライフバランスの状態が異なっている。

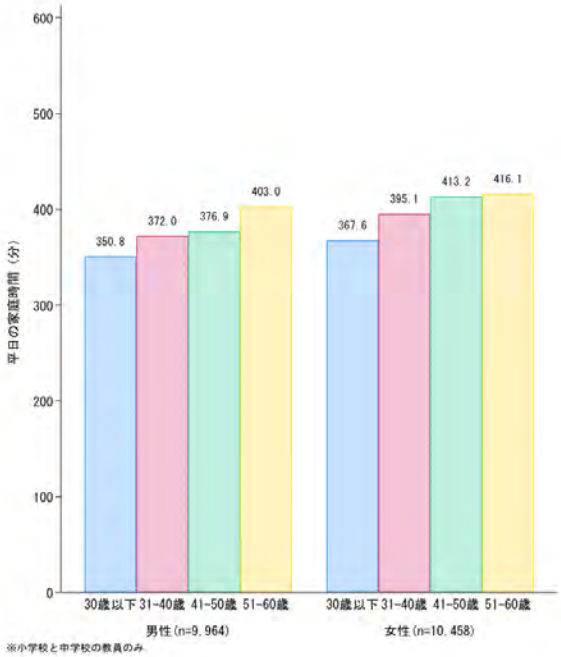


図 17-5　年齢ごとの平均家庭時間

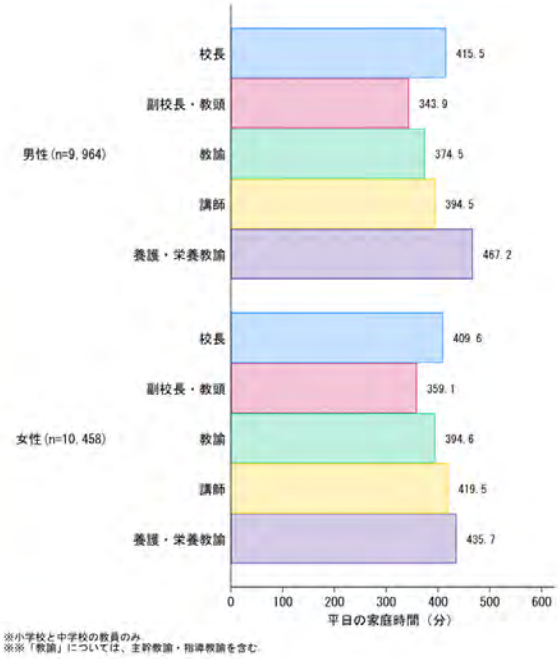


図 17-6　職階ごとの平均家庭時間

（4）子供数・末子年齢との関係

最初に子供の有無と平日の在校等時間の関係を見ると、男性も女性も子供がいないと働く時間が長く、前者では平均 663 分、後者では 649 分になっている。しかし、子供がいる場合は人数が変化しても業務時間は明確に変化せず、平日の在校等時間は子供が 2 人と 3 人以上の間でほとんど差がない。他方、末子の年齢が低いほど業務時間は少なく、子供が成長するにつれて業務時間は次第に増加している。特に、末子年齢 6-12 歳と比べて、小学校就学前（5 歳以下）の子供を持つ親は平日の在校等時間が父親では 13 分前後、母親では 30 分前後短く、子育てに忙しいと在校等が短くなる傾向が見られる。

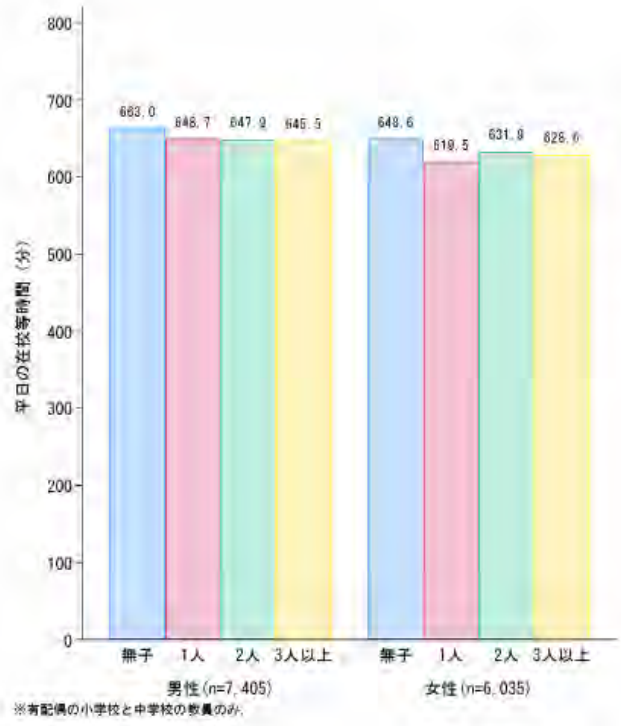


図 17-7　子供数と平均在校等時間

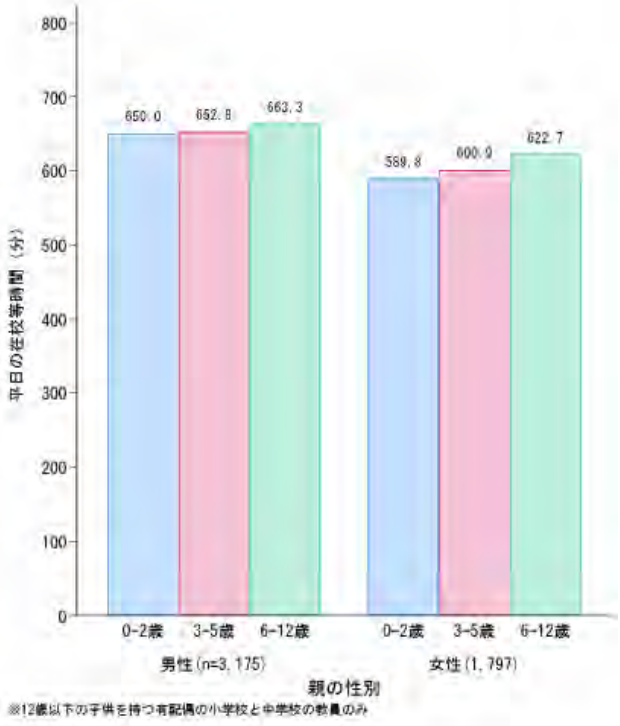


図 17-8　末子年齢と平均在校等時間

在校等時間と対照的に、子供がいないと家庭時間は短くなる傾向が見られる。例えば、子供が2人の父親の場合は388分であるが、無子になると369分であり、約20分減少する。同様に、女性でも子供2人と比べ、無子では約40分減少する。こうした特徴から見る限り、子供のいない教員は、相対的に学校業務に時間を多く使う仕事中心の生活行動を取る一方で、子供がいる教員は、一定の時間を家庭時間に費やし仕事時間と家庭時間をバランスさせようとしている。さらに、末子の年齢との関係を見てみると、子供が小さいほど家庭時間が増加する。この傾向は父親よりも母親で顕著であり、例えば、2歳以下の末子を持つ母親の家庭時間の平均値は437分であるが、子供が成長するにつれて次第に減少し、末子が小学校への就学年齢である6歳以上になると、母親の家庭時間は421分にまで減少する。

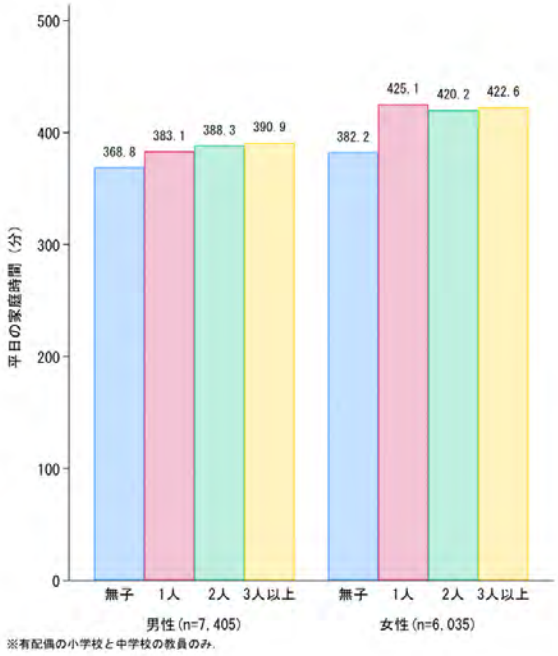


図 17-9　子供数と平均家庭時間

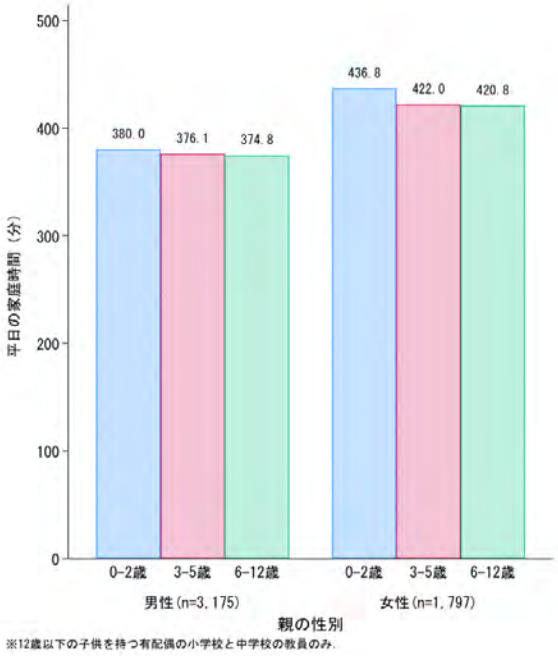


図 17-10　末子年齢と平均家庭時間

夫婦の就業状態別に家庭時間を整理すると、妻が就業していると夫の家庭時間が長くなるが、非就業だと夫の在校等時間が増え家庭時間が少なくなる傾向が見られる。また、「夫教員−妻教員以外のフルタイム就業」の夫婦よりも「夫教員−妻教員」の夫婦の方が、家庭時間が長い。

また、職場で子育てへの配慮がある場合、男性、女性共に「家庭時間」が増える傾向が見られる。この傾向は、男性よりも女性の方が強く、特に女性で末子が小学校就学前の場合において顕著である。例えば、配慮のある場合の家庭時間は、ない場合と比べ、末子年齢 0-2 歳では 24 分長く、3-5 歳では 34 分ほど長い。仕事と子育ての両立を可能にする職場環境によって、ワークライフバランスが改善される傾向がみられる。

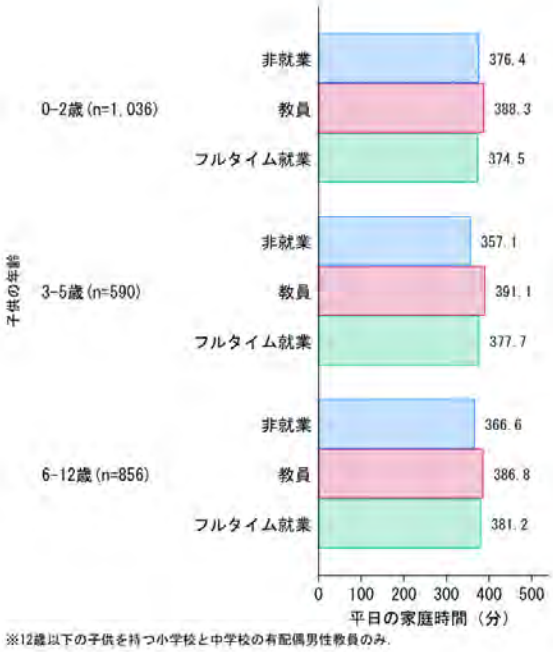


図 17-11　妻の就業状態と平均家庭時間

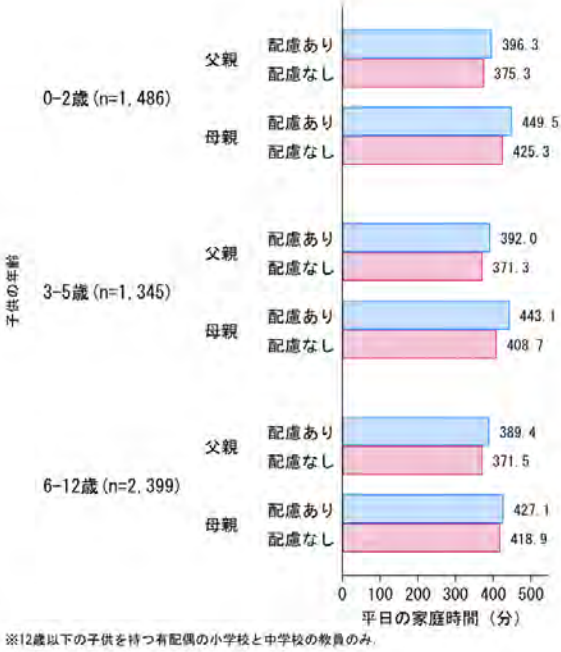


図 17-12　子育てへの配慮と平均家庭時間

（5)介護との関係

平日の在校等時間の関係については、男性、女性共に自宅で介護を行っている教員が最も短く、次いで自宅外のケア・サービスを利用している場合が短い。対照的に、介護を必要とする人がいない教員の在校等時間は相対的に長い。この傾向は女性よりも男性で顕著であり「要介護者あり（自宅)」の平均在校等時間は 631 分であるのに対して、「要介護者なし」は 652 分であり、約 20 分長い。反対に、家庭時間は自宅に介護者がいる場合で最も長く、介護を必要としている人がいない場合で最も短くなっている。これらの結果から、介護を必要とする人が家族にいる場合、在校等時間を減らし介護に費やす時間を増やしていることが伺われる。

他方、在校等時間、家庭時間共に、「要介護者あり（自宅)」と「要介護者あり（自宅外)」の間には有意な差がなく、介護形態よりも、介護の有無がワークライフバランスに明確な影響を与えている。

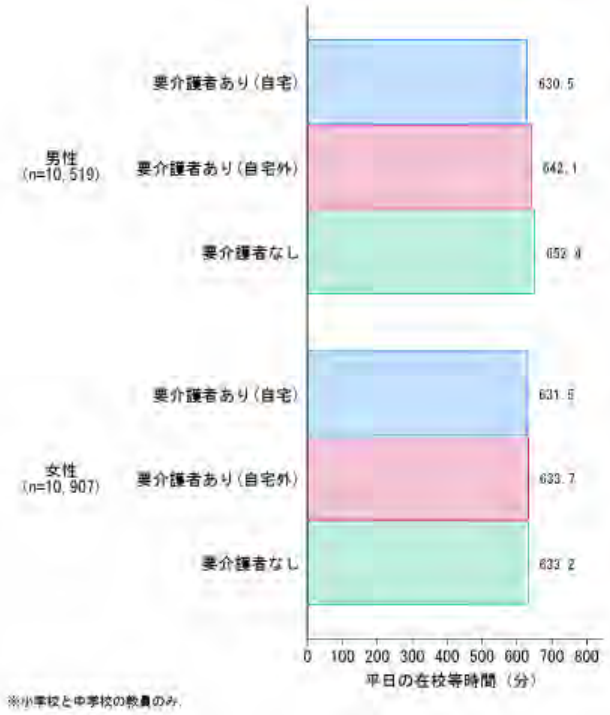
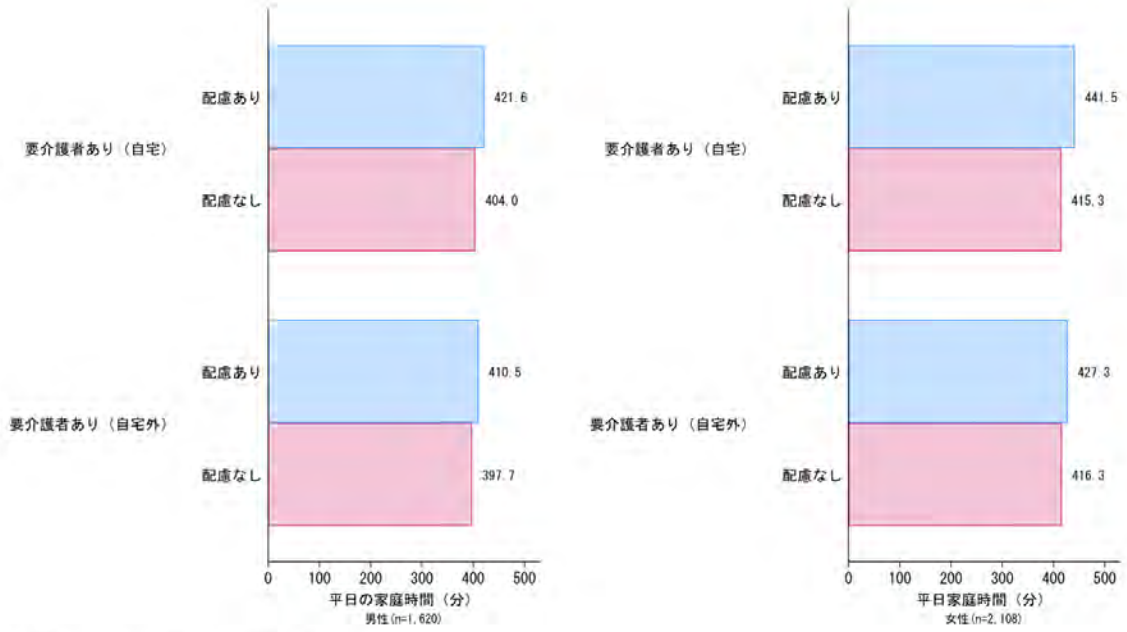


図 17-13　要介護者の有無と平均在校等時間

図 17-14　要介護者の有無と平均家庭時間

介護のため在校等時間や業務内容に配慮がある学校とない学校の家庭時間を比べると、配慮がある学校に勤務している場合、家庭時間が増える傾向がある。

男性は、自宅介護、自宅外の介護共に、職場からの配慮がある場合には、家庭時間が約 15 分増加する。また、女性は、自宅で介護をしている場合において、職場からの配慮の有無が家庭時間に大きな差をもたらしており、配慮のある学校に勤務していると、配慮がない場合と比べ、家庭時間は約 20 分増加する。さらに、多重比較の結果でも両者には 1%水準で有意差が認められた。こうした結果は、職場からの介護に対する配慮によってワークライフバランスが改善されることを示唆している。



※要介護者のいる小学校と中学校の教員のみ.

図 17-15　介護への配慮と平均家庭時間

（6）世帯構造との関係

全体としては、男性でも女性でも単身世帯や夫婦のみ世帯で在校等時間が長く、家庭時間が短い。反対に、夫婦と子供世帯や 3 世代世帯では在校等時間が短く、家庭時間が長い。こうした特徴は、家事や育児の総量が多い世帯では、在校等時間を少なくし家庭時間を増やす傾向があることを示唆している。また、女性の場合、夫婦と子供世帯よりも 3 世代世帯の方が、在校等時間が長く、家庭時間が短い。例えば、在校等時間の平均は、夫婦と子供世帯では 625 分、3 世代世帯では 639 分になっている。3 世代世帯の多くは「親−子ども−祖父母」から構成されていることから、祖父母が家事や子供の世話をある程度担うことで、親の在校等時間が長くなっている可能性がある。

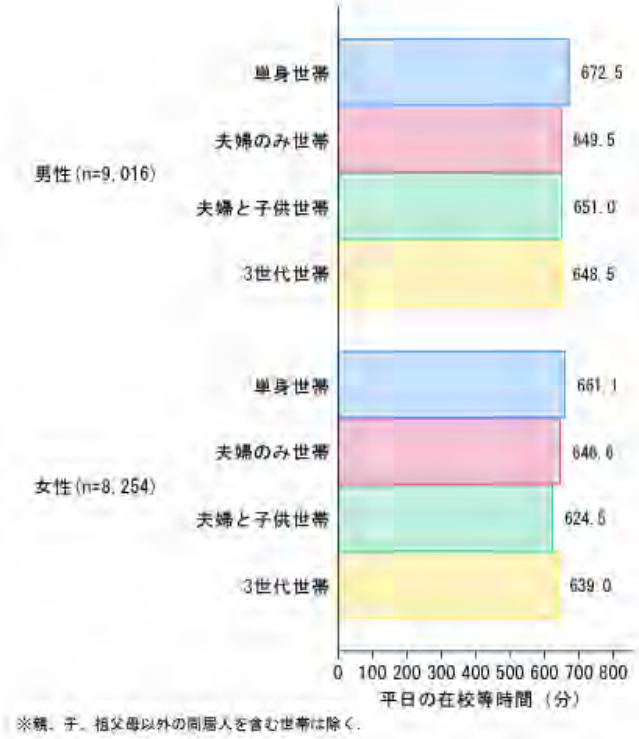


図 17-16　世帯構造と平均在校等時間

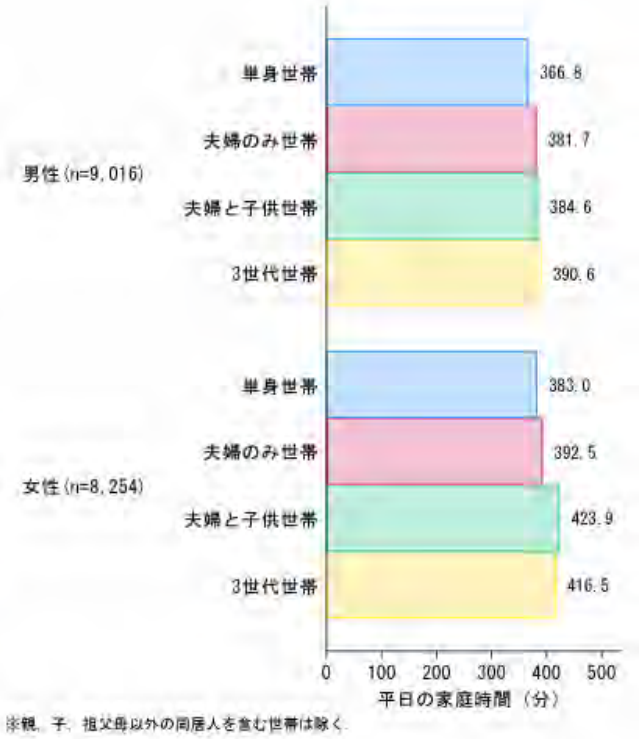


図 17-17　世帯構造と平均家庭時間

（7)在校等時間・職階とワークライフバランスに対する満足度

本調査の回答者は現状のワークライフバランスを「全く満足していない（0 点)」から「非常に満足している（10 点)」までの間で評価している。この得点を見てみると、満足度は平日の在校等時間が長くなるにつれて低下し、仕事と生活のバランスが十分にとれていないと考える教員が多くなる。

職階ごとに見てみると、校長の満足度が最も高く、男性で 6.2、女性で 5.5 になっている。最も満足度が低いのは教諭であり、男性が 4.1、女性が 3.8 である。他の職と比較して在校等時間の長い教諭は、心理的にもワークライフバランスが崩れていると感じながら働いていることがわかる。

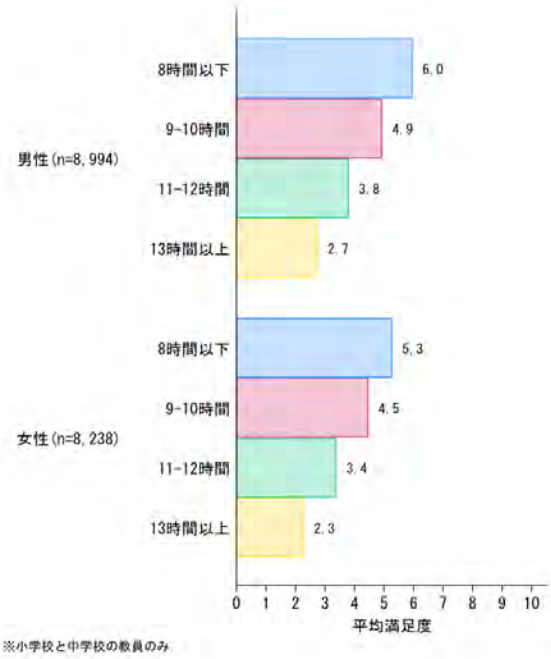


図 17-18
平日在校等時間とワークライフバランス
満足度

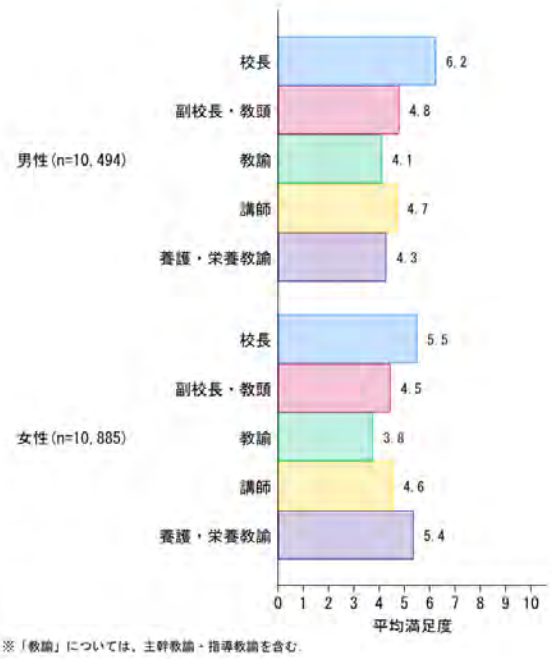


図 17-19
職階ごとのワークライフバランス
満足度

職階に見られた特徴は年齢と満足度の関係とも整合的である。教員の年齢ごとのワークライフバランスに対する意識を見ると高年齢層で満足度が高く、30 歳以下と 31-40 歳の間では満足度に有意な差はないが、41 歳以上では有意に高くなっている。特に、51 歳以上で満足度が著しく高く、男性では小学校で 5.5、中学校で 5.1 である。同様に 51 歳以上の女性教員では小学校で 4.7、中学校で 4.3 である。校長や教頭は、相対的に年齢が高く、教諭は相対的に年齢が低い。また、これまでの分析のとおり、若年者は在校等時間が長くなる傾向がある。したがって、ワークライフバランスに対する満足度は、若年者の多い教諭は低く、高齢である者の多い校長や教頭は高いという関係になっている。

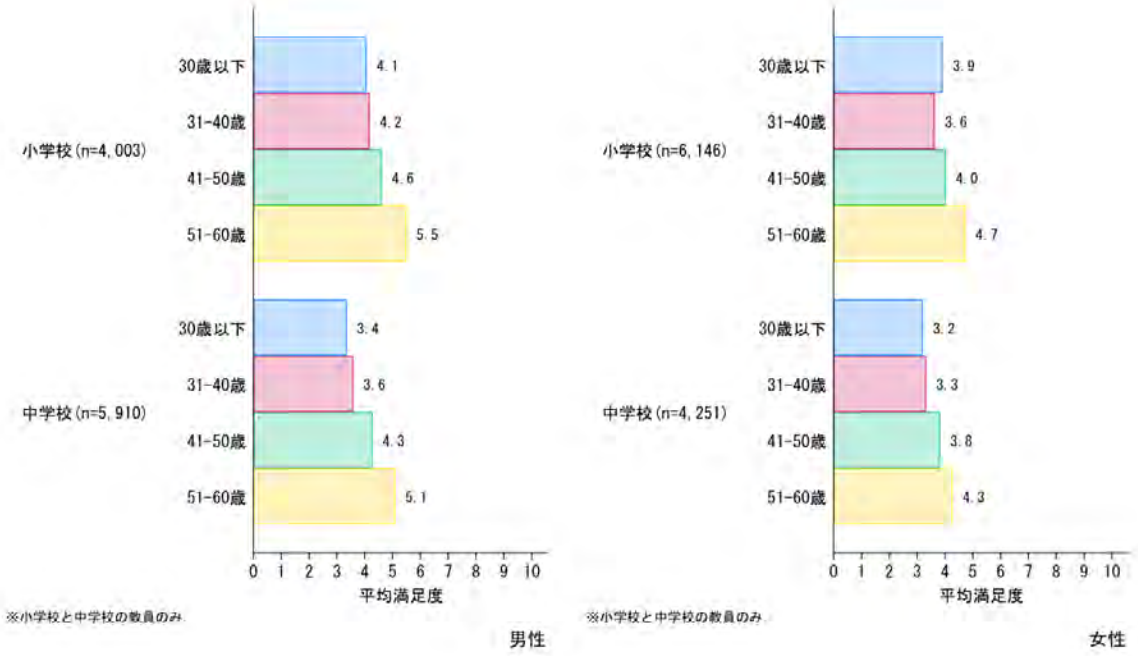


図 17-20　教員の年齢とワークライフバランス満足度

（8)子育て・介護とワークライフバランスに対する満足度

ワークライフバランスの満足度と子供の年齢との関係には性別によって違いがみられる。父親では子供が小さいと満足度が低くなっており、仕事と家庭の両立が難しいと感じる人が多い。特に、小学校就学前の 5 歳以下の子供を持つ父親の満足度が低い。末子年齢が 0-2 歳では 3.9、3-5 歳では 4.0 であるのに対して、6-12 歳では 4.6 になっている。対照的に、母親では末子年齢によって満足度に有意な差が見られなかった。しかし、職場からの配慮がある場合、父親、母親共にも満足度が高い。父親では、職場からの配慮がない場合は 3.9 であるが、配慮がある場合は 5.0 になっている。母親も同様に、配慮がない場合は 3.3、配慮がある場合は 4.2 になっている。こうした傾向を見る限り、 子育てへの配慮のある職場環境を作ることがワークライフバランスの満足度の向上に不可欠であることが分かる。

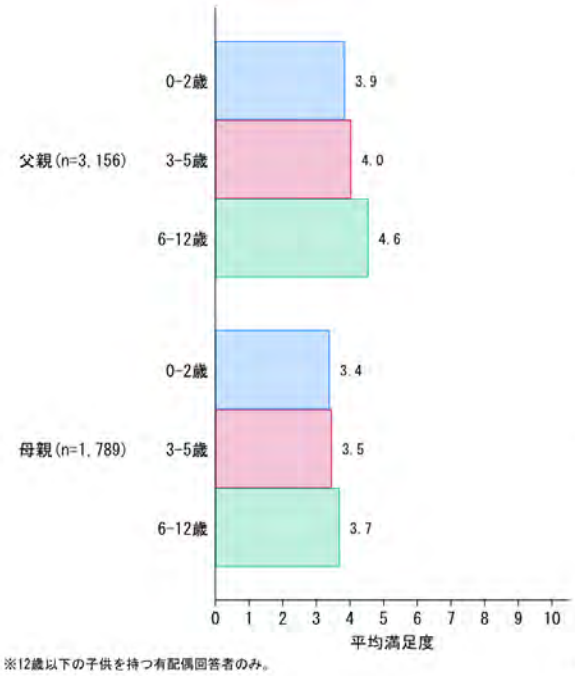


図 17-21
末子年齢とワークライフバランス満足度

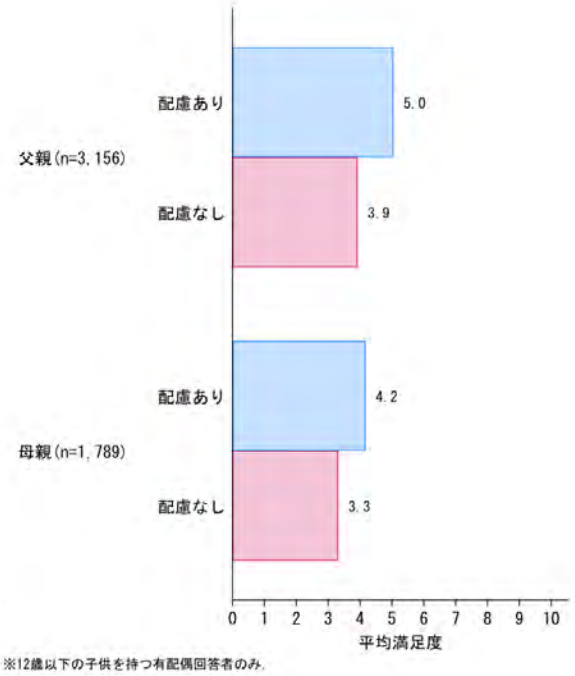


図 17-22
子育てへの配慮とワークライフバランス満足度

介護を必要とする人がいる場合もワークライフバランスに対する満足度が低くなる傾向が見られる。要介護者がいる場合は、それぞれの年齢階層で 0.5 ポイント程度満足度が低い。この傾向は、介護を必要とする人が自宅にいるか否かにかかわらず同様である。このことは、介護形態にかかわらず、介護が一定程度負担となっている状況を示唆している。さらに、教員の年齢階層ごとに比較すると、若年層でより満足度が低い傾向がみられる。既に述べた様に、教員の在校等時間は若年層で長時間傾向にあり、これに介護の必要性が加わるとワークライフバランスに対する満足度は一層低下する。また、子育ての場合と同様に、介護についても職場からの配慮があると、満足度はかなり改善する。例えば、自宅に介護する人がいる教員の場合、職場からの配慮がある教員の満足度は 4.8 であるが、特別な配慮がない場合には 3.9 であり、両者には有意な差が見られる。したがって、ワークライフバランス対する満足度の高い生活を実現させるためには、各教員の家族状況にも配慮した学校運営が必要と言えよう。

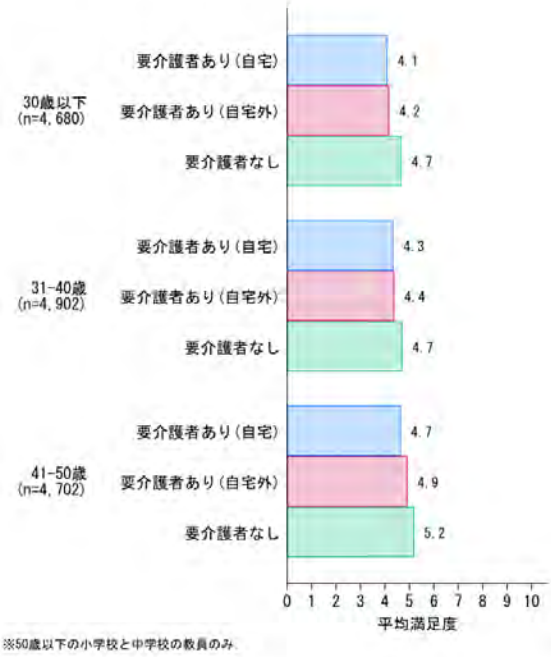


図 17-23
要介護者の有無とワークライフバランス
満足度（年代別）

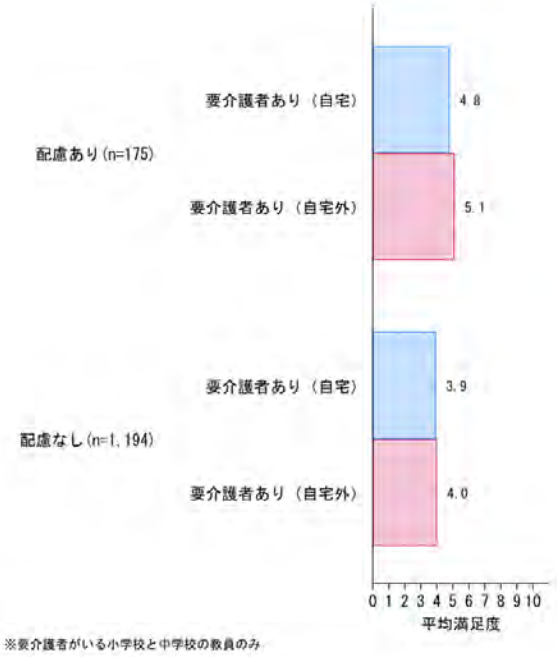


図 17-24
要介護者の有無とワークライフバランス
満足度（介護への配慮別）

4. 考察

本章の分析から明らかになった教員のワークライフバランスの特徴は、次のとおりである。第一に学校での在校等時間が長くなるほど仕事を離れ自由に行動できる時間は減少し、仕事に偏った生活スタイルになりワークライフバランスは崩れる。第二に、若年層ほど在校等時間が長く、家庭時間は少ない。また、職位別では、副校長・教頭は相対的に自由な時間が短く、校長は長い。第三に、子供がいる教員は、在校等時間が短く、家庭時間が長い。これは、子供が小さく手間のかかる時期は子育てに費やす時間を増やす傾向があることを示唆している。同様に、介護を必要とする人がいる教員も、在校等時間が短く、家庭時間が長い。また、職場から勤務時間や業務内容に関する配慮がある場合には、子供がいる場合も介護を要する方がいる場合も共通して、家庭時間が長くなる傾向が見られた。

ワークライフバランスに対する満足度については、次のとおりである。第一に、在校等時間が長いほど満足度が低く仕事に偏った生活をしていると考える傾向が強い。第二に、子供が小さいとワークライフバランスに対する満足度が低くなるが、子育てに配慮した職場環境があると満足度は大きくなる。同様に、家族に介護を必要とする人がいるとワークライフバランスの満足度が低いが、介護に配慮した働き方ができる学校では満足度が高くなる。

こうした結果を踏まえると、在校等時間が長くワークライフバランスに偏りがある層に対しては、業務の効率化や勤務形態の改善を行い、ワークライフバランスの取れた生活スタイルの達成を目指すべきである。また、ワークライフバランスの満足度を高めるために、家族の状況に応じた働き方を選択できる制度を積極的に導入するべきと言えよう。

引用文献

NHK 放送文化研究所（編）（2011）『日本人の生活時間・2010』 東京：NHK 出版.
山口一男（2009）『ワークライフバランス』 東京：日本経済新聞出版社.

第７部　勤務実態に関わる教員の特性の分析

第18章 校務分掌と在校等時間に関する基礎分析

濱本真一

【本章のポイント】

- 学校内の校務分掌に着目し、教務主任業務及び学級担任の担当有無によって平日・土日の在校等時間がどの程度異なるかを検討する。
- 小学校・中学校共に教務主任担当は平日在校等時間に正の効果を持っている。小学校では教務主任業務によって休日在校等時間が増加するが、中学校においては教務主任の有無で土日の在校時間には影響しなかった。
- 単式学級担任によって平日、土日共に在校等時間が増加し、土日在校等時間も長い傾向にある。
- 複式学級・特別支援学級の担任は、平日在校等時間が短くなる傾向にある。これらの学級がある学校は比較的小さめの学校であることが推測されるが、学校規模を統制してもなお負の効果は出ている。
- 小学校の平日在校等時間は担任無し＜複式・特別支援学級担任＜単式学級担任
- 中学校の平日在校等時間は複式・特別支援学級担任＜担任無し＜単式学級担任
- 個別の在校等時間についてみると、小学校では、担任であることの主たる在校等時間の増は授業時間、生徒指導、学年・学級経営である。これに加えて、単式学級担任は成績処理、複式・特別支援学級担任は授業の補助的な業務の時間が長い傾向にある。
- 小学校の担任は一部の生徒指導、学校経営、事務作業全般の従事時間が短い傾向にあり、担任による授業負担増を補っている。
- 教科担任制の中学校では、担任であることの効果は全体として小学校より小さい。担任による授業時間増は30～40分程度。
- 中学校ではクラスサイズの効果が大きい傾向にあり、特に、授業時数、成績処理、個別の生徒指導が大きく影響を受ける。
- 一方で、クラスサイズは学習指導に対してはマイナスの効果を持っており、上の在校等時間増加によって学習指導に充てる時間が圧迫されている様子がうかがえる。

1. 本章の目的

本章では学校内の校務分掌に着目し、教務主任業務、及び学級担任の担当有無によって平日・土日の在校等時間がどの程度異なるかを検討する。また、在校等時間の中でもどの業務が大きい傾向にあるのか、個別の業務内容に対する担任業務及びクラスサイズの影響力を検討する。

2. 分析方法

① 平日在校等時間に対する担任、クラスサイズ、校務分掌の影響力を検証する。平日在校等時間（h）を被説明変数とし、担任業務の有無、学級規模、及び教務主任の担当をメインの説明変数とした階層線形モデル（ランダム切片）を適用する。統制変数として性別、学校規模、教員の年齢、勤務年数、及び職位 3 分類（校長等・教諭・講師等）を用いる。

② 土日在校等時間に対する担任、クラスサイズ、校務分掌の影響力を検証する。①と同じく土日在校等時間を被説明変数、担任業務の有無、学級規模、及び教務主任の担当をメインの説明変数、性別、学校規模、教員の年齢、勤務年数、及び職位 3 分類（校長等・教諭・講師等）を統制変数とする。土日在校等時間はサンプル内に 0 の値をとるケースが多数含まれるため、下限打ち切りデータを被説明変数にした解析方法の一つであるトービットモデルを用いる。

③ 平日の個別在校等時間に対する担任、クラスサイズ、校務分掌の影響力を検証する。①のモデルを、被説明変数のみ各業務の従事時間とする。

3. 分析結果

(1)担任の有無と在校等時間

表 18-1 は学校種の担任担当業務の分布である。今後の分析では、複式学級担任と特別支援学級担任をまとめて「複式・特別支援学級担任」とし、教科担当・通級指導・日本語指導及びどれもないを「他」とまとめ、3 分類にした担任変数とする。

表 18-1 担任業務の分布

	小学校				中学校			
	Freq.	(prop.)	Freq.	(prop.)	Freq.	(prop.)	Freq.	(prop.)
単式学級担任	5896	(.557)	5896	(.557)	4509	(.426)	4509	(.426)
複式学級担任	90	(.009)	1522	(.144)	26	(.002)	1015	(.096)
特別支援学級担任	1432	(.135)			989	(.093)		
教科担当	970	(.092)	3168	(.299)	2793	(.264)	5251	(.496)
通級指導・日本語指導	319	(.030)			135	(.013)		
どれもない	1879	(.177)			2323	(.219)		
Total	10586	(1.000)	10586	(1.000)	10775	(1.018)	10586	(1.000)

担任の有無による平日・土日の在校等時間を比較したものが表 18-2　である。小学校・中学校共に担任を持っている教諭の在校等務時間が有意に長いことがわかる。

表 18-2　担任の有無による在校等時間

		小学校		中学校	
		Mean	SD	Mean	SD
担任なし	平日在校等時間	10.444	1.428	10.698	1.450
	土日在校等時間	0.616	1.399	1.739	2.368
学級担任	平日在校等時間	10.938	1.178	11.306	1.375
	土日在校等時間	0.634	1.358	2.568	2.672
複式・特別	平日在校等時間	10.522	1.110	10.540	1.289
	土日在校等時間	0.464	1.174	1.857	2.438
Total	平日在校等時間	10.731	1.271	10.937	1.439
	土日在校等時間	0.604	1.347	2.097	2.538

(2)学級規模と在校等時間

図 18-1～2 は単式学級担任にサンプルを絞り、学級規模と平日・土日在校等時間を散布図にしたものである。平日・土日共に担任を持っている教員の方が長い傾向にある。特に中学校の土日在校時間はその傾向が顕著にみられる。

赤線は散布図に対して線形回帰モデルを当てはめた際の予測直線である。土日在校等時間は、多くのケースで 0 となっているが平日在校等時間と同様に学級規模と正の相関がみられる[18]。

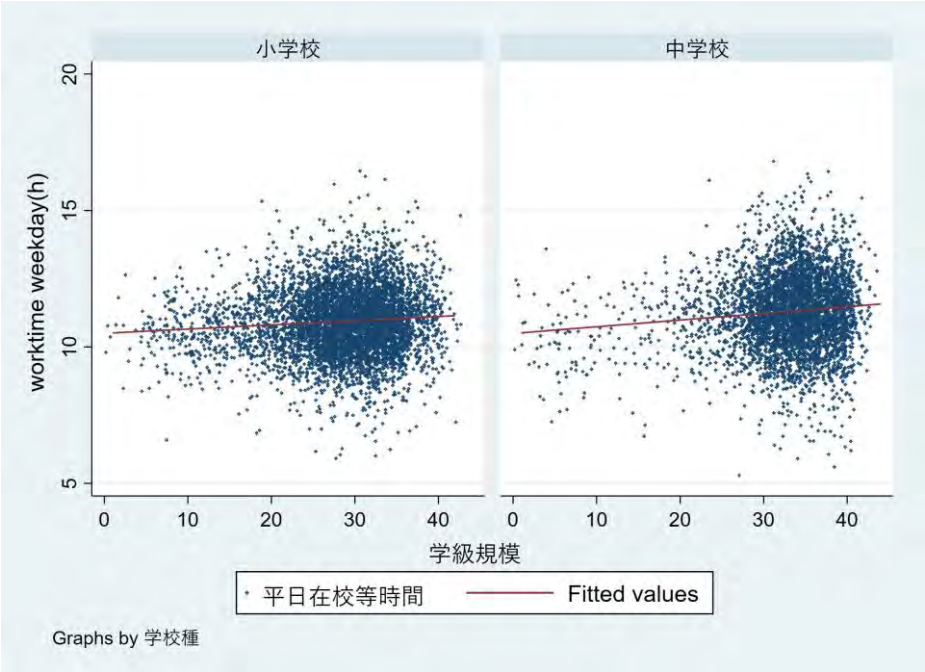


図 18-1　学級規模と平日在校等時間

[18] 下限 0 で打ち切られているデータにおいては、線形回帰モデルの誤差分散が満たすべき均一性の仮定や漸近正規性の仮定が満たされないことが知られている（Breen 2006）。このため、休日労働時間に対しては、単純な線形回帰モデルではなく、打ち切りデータに対する分析手法である Tobit モデルを適用する。

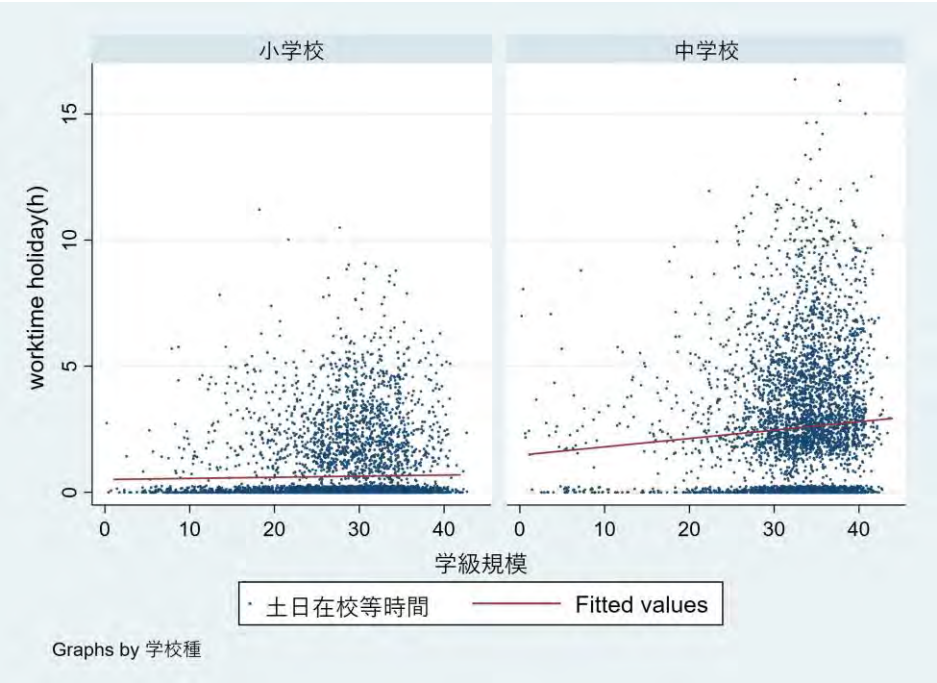


図 18-2　学級規模と土日在校等時間

(3)平日在校等時間の分析

ここから、学級担任、学級規模及び校務分掌の有無に着目し、これらの業務によって平日在校等時間がどの程度変わるのかを検証していく。

分析に利用する変数は以下の表 18-3 のとおりである。校務分掌に関する変数として、今回は教務主任の担当の有無を用いる。担任は（1）で示したように単式学級担任／複式・特別支援学級担任／担任無しの 3 分類を用いる。複式・特別支援学級担任は、受け持っているクラスの規模は小さいものの、単式学級よりも質的に異なる児童・生徒を受け持っている場合が多く、異なるカテゴリとして在校等時間への影響力を個別に推定する。

学級規模は受け持っているクラスの生徒数合計を用いている。担任を持っていない教員の学級規模は 0 を挿入している。このため、単式学級ダミー、複式・特別支援教育学級ダミーの係数は、「0 人の学級を持っている」という架空のケースに対する係数となる。担任の効果をより実質的に検討するため、学校×担任種ごとに担当児童生徒数の平均からの偏差をとった学級規模（中心化）変数も用いる。これによって、その学校の平均的な学級規模の担任を任された場合に生じる在校等時間の増分を推定できる。

学級規模の効果は複式・特別支援学級の担任ダミーとの交互作用も投入する。これによって、学級規模が大きくなった際の在校等時間への影響力が一般的な単式学級と複式・特別支援学級（＝同質的な教育が困難な学級）では異なるかを合わせて検証できる。学級規模変数の主効果は、単式学級の担任における受け持ち児童生徒数増加に対する効果と解釈できる。

表 18-3　分析に用いる変数の記述統計

Variable	小学校 N=10586					中学校 N=10775				
	Mean	SD	Min	Median	Max	Mean	SD	Min	Median	Max
平日在校等時間	10.73	1.27	5	10.7	16.6	10.94	1.44	0	10.9	17
休日在校等時間	0.60	1.35	0	0	11.25	2.10	2.54	0	1.5	17.25
学級規模	16.84	14.31	0	21	43	14.36	16.41	0	2	44
（担任のみ）	24.04	10.93	1	28	43	28.01	11.94	1	33	44
年齢	42.00	12.00	20	42	72	43.00	12.00	20	43	72
勤続年数	2.00	2.00	0	2	29	3.00	3.00	0	2	29
学校規模(100 人)	4.91	2.58	0.05	4.84	12.23	4.58	2.30	0.01	4.39	12.7

	freq.	(prop.)	freq.	(prop.)
男性	4229	(.400)	6341	(.589)
女性	6357	(.601)	4434	(.412)
教務主任なし	10085	(.953)	10260	(.952)
教務主任あり	501	(.047)	515	(.048)
担任なし	3168	(.299)	5251	(.487)
単式学級担任	5896	(.557)	4509	(.419)
複式・特別支援学級担任	1522	(.144)	1015	(.094)
校長・副校長・教頭	1117	(.106)	1047	(.097)
教諭・主幹教諭・指導教諭	8172	(.772)	8465	(.786)
講師・養護教諭・栄養教諭	1297	(.123)	1263	(.117)

表 18-4　平日在校等時間の分析結果

	小学 M1		小学 M2		小学 M3		中学 M1		中学 M2		中学 M3	
学校規模（100 人）			0.026	***	0.035	***			0.040	***	0.050	***
			(0.008)		(0.008)				(0.010)		(0.010)	
男性			-0.061	**	-0.060	**			0.062	**	0.062	**
			(0.024)		(0.024)				(0.027)		(0.027)	
年齢			-0.010	***	-0.010	***			-0.020	***	-0.021	***
			(0.001)		(0.001)				(0.001)		(0.001)	
現在校の勤務年数			-0.001		-0.001				0.007		0.008	
			(0.005)		(0.005)				(0.005)		(0.005)	
教務主任			0.707	***	0.711	***			0.377	***	0.378	***
			(0.056)		(0.056)				(0.062)		(0.061)	
職位 3 分類(ref. 教諭・主幹教諭・指導教諭)												
校長・副校長・教頭			1.229	***	1.237	***			0.565	***	0.572	***
			(0.048)		(0.048)				(0.049)		(0.049)	
講師・養護教諭・栄養教諭			-0.232	***	-0.231	***			-0.561	***	-0.560	***
			(0.038)		(0.038)				(0.042)		(0.042)	
担任等職務												
単式学級担任			0.608	***	0.831	***			-0.012		0.437	***
			(0.085)		(0.033)				(0.125)		(0.032)	
複式・特別支援学級担任			0.384	***	0.498	***			-0.181	***	-0.099	**
			(0.051)		(0.040)				(0.064)		(0.046)	
学級規模			0.008	***					0.014	***		
			(0.003)						(0.004)			
×複式・特別支援学級担任			0.009	†					-0.001			
			(0.005)						(0.008)			
学級規模偏差					0.007	†					0.019	***
					(0.004)						(0.006)	
×複式・特別支援学級担任					0.006						0.018	
					(0.008)						(0.013)	
_cons	10.717	***	10.389	***	10.355	***	10.901	***	11.379	***	11.335	***
	(0.021)		(0.071)		(0.070)		(0.023)		(0.079)		(0.078)	
σ_u^2	0.204		0.209		0.212		0.240		0.231		0.234	
σ_ε^2	1.419		1.235		1.236		1.833		1.634		1.632	
ICC	0.126		0.145		0.146		0.116		0.124		0.126	
Log-likelihood	-17273.30		-16581.41		-16588.40		-18937.44		-18334.43		-18332.87	
BIC	34574.40		33292.56		33306.55		37902.73		36798.85		36795.74	
N of individual			10586						10775			
N of Groups			774						771			

*** p<.01, ** p<.05, † p<.1

表 18-4　から教務主任担当、学級担任担当及び学級規模の効果を見ていく。まず、教務主任はそれ以外の教員に比べて、小学校では 1 日当たり 0.71 時間（=42.6 分）、中学校では 1 日当たり 0.38 時間（＝22.8 分）ほど在校等時間が多くなることが示されている。

続いて担任の効果を検証していく（表 18-4　）。中学校では M3 において単式学級担任が有意に正の効果を示した。その学校で平均的なサイズのクラス担任を受け持つことが在校等時間を約

0.43 時間（25.8 分）増加させている。小学校では M2、M3 どちらに対しても正の効果がある。前述のとおり、M2 における学級担任の主効果は担当クラスサイズが 0 であるときの在校等時間の予測増加量であるが、これが正であることは、担任を受け持つことによる労働内容の質的な違いが反映されていると読み取れる。

複式・特別支援学級担任はやや複雑な挙動を示している。小学校においてはこれらの学級の担任となることで在校等時間は増加する一方、中学校では在校等時間が減少している。

(4)土日在校等時間の分析

表 18-5　土日在校等時間の分析結果

	小学 M1		小学 M2		小学 M3		中学 M1		中学 M2		中学 M3	
学校規模（100 人）			0.036		0.044				0.005		0.026	
			(0.036)		(0.034)				(0.031)		(0.030)	
男性			-0.409	***	-0.409	***			1.117	***	1.116	***
			(0.094)		(0.094)				(0.082)		(0.082)	
年齢			-0.006		-0.007				-0.045	***	-0.044	***
			(0.004)		(0.004)				(0.004)		(0.004)	
現在校の勤務年数			0.047	***	0.047	**			0.051	***	0.052	***
			(0.018)		(0.018)				(0.016)		(0.016)	
教務主任			1.029	***	1.032	***			0.218		0.220	
			(0.215)		(0.215)				(0.185)		(0.185)	
職位 3 分類(ref. 教諭・主幹教諭・指導教諭)												
校長・副校長・教頭			2.127	***	2.136	***			-1.371	***	-1.357	***
			(0.189)		(0.189)				(0.158)		(0.158)	
講師・養護教諭・栄養教諭			-0.810	***	-0.812	***			-1.537	***	-1.530	***
			(0.164)		(0.164)				(0.137)		(0.137)	
担任等職務(ref. 担任無し)												
単式学級担任			0.687	**	0.816	***			-0.370		0.616	***
			(0.337)		(0.138)				(0.382)		(0.097)	
複式・特別支援学級担任			-0.021		0.227				0.088		0.028	
			(0.213)		(0.168)				(0.198)		(0.143)	
学級規模			0.005						0.030	***		
			(0.011)						(0.011)			
×複式・特別支援学級担任			0.032						-0.040			
			(0.021)						(0.025)			
学級規模偏差					0.017						0.037	†
					(0.016)						(0.019)	
×複式・特別支援学級担任					-0.018						0.020	
					(0.034)						(0.040)	
_cons	-2.540	***	-3.051	***	-3.060	***	0.747	***	1.910	***	1.810	***
	(0.104)		(0.304)		(0.299)		(0.071)		(0.244)		(0.243)	
σ_u^2	3.917		3.905		3.909		2.274		2.268		2.291	
σ_ε^2	10.497		9.995		10.001		14.116		12.724		12.720	
ICC	0.272		0.281		0.281		0.139		0.151		0.153	
Log-likelihood	-9903.33		-9777.08		-9778.34		-20362.72		-19900.40		-19900.97	
BIC	19834.46		19683.91		19686.42		40753.30		39930.79		39931.92	

N of individual	10586	10775
N of Groups	774	771
Censored	8072	4745
Uncensored	2514	6030

*** p<.01, ** p<.05, † p<.1

続いて、表 18-5　から土日在校等時間の増加要因を探っていく[19]。小学校では、分析に用いた 10,586 ケースのうち下限 0 で打ち切られたケースは 8,072 ケース(76.3%)であり、2,514 ケース(23.7%)が土日に学校に出勤して業務に従事している。主任及び学級担任は有意に潜在的な土日労働時間が大きい傾向にある。授業のない土日の勤務であることから、授業外で出勤が必須な業務に従事していることが推測される。一方で、複式・特別支援学級担任であることは土日在校等時間を増加させる効果は持っていない。学級規模も同様に土日在校等時間には影響していない。

中学校では、分析に用いた 10,775 ケースの過半数である 6,030 ケース(56.0%)が土日に何かしらの在校勤務をしている。土日在校勤務が 0 で打ち切られたケースは 4,745 ケース(44.0%)である。中学校のモデル M3 からは、学級担任によって有意に土日在校等時間が増すことがわかる。小学校の結果と同じく、授業ではない業務、特に中学校では部活動指導などの業務を行っていることが予測される。学級規模の効果は M2 と M3 でそれぞれ微妙に異なる結果となっており解釈が難しいが、おおむね正の効果があるとみていいだろう。学級規模×複式・特別支援学級の交互作用が有意でないことから、クラスサイズの効果は学級の形態によらず同程度である。中学校においては教務主任は有意な効果を持たず、教務主任業務が土日在校勤務を増やすことはないといってよい。

[19] ここでの係数は、トービットモデルにおける潜在変数の推定方程式$y^* = \boldsymbol{x\beta} + \varepsilon$における係数$\boldsymbol{\beta}$である。トービットモデルにおける限界効果は説明変数の値に応じて非線形になる。ある説明変数x_kに対する係数がβ_kであるときそのほかの説明変数の組$\tilde{\boldsymbol{x}}$を用いて、観測変数yに対するx_k限界効果は$1 - \Phi(\boldsymbol{\beta}\tilde{\boldsymbol{x}})\beta_k$となる。ただし$\Phi(\cdot)$は正規分布の累積分布関数である。

(5)個別の在校等時間への影響

最後に、平日の在校等時間について、その具体的な業務内容が担任業務とクラスサイズによってどのように変化するのかを検討する。3 節（3）の分析モデルのうち、学校×担任種別の平均値で中心化したクラスサイズを投入したモデル 3 を用いて、被説明変数を「a.朝の活動」から「x.休憩」までを被説明変数にして推定する。

図 18-3　には、クラス担任の係数と学級規模（偏差）の係数を示している。小学校においては、クラス担任の在校等時間増はもっぱら授業時間の増加がメインの要因であるといえる。担任による授業時間増は複式学級・特別支援学級にも共通であり、その学校の平均規模の担任を担当することによって授業時間が 100~120 分程度増加する。

一方で担任を担当することによって減少する業務もある。生徒指導（集団 2）（生活指導、健康・保健指導、全校集会、避難訓練など）、学校経営や事務業務の従事時間が少ない（いずれも 20~30 分程度）傾向にある。小学校においては学級担任が担当するクラスの授業の大部分を担当することから、学校内外の事務負担を少なくするような業務の分担がなされていることがうかがえる。

学級規模の効果は、「a.朝業務」～「g. 生徒指導（個別）」ついて大きな値を示した。これらは直接児童とかかわる業務であるため、この結果は驚くことではない。特に受け持つ生徒が多くなることによって成績処理業務が大きくなるという結果となった。児童一人一人の学習成果と向き合う業務であるため、授業などよりもクラスサイズに影響される部分が大きい。しかし、同じく個々の児童に向き合う必要がある生徒指導に対しては大きな効果がない。受け持つ児童が増えても生徒指導に割く時間は大きくは増えず、児童一人当たりに費やす時間が減じられていることが推測できる。

つづいて図 18-4　から中学校の結果を見ると、小学校と同様の傾向がみられるものの、担任による在校等時間の増減幅は小学校のそれと比べると小さい。教科担当性が一般的である中学校においては、担任の有無による授業時間の増加は小学校ほど大きくない。中学校において特徴的なのは、クラスサイズが一部の在校等時間に大きな影響を与える点である。生徒一人の増加で「e.成績処理」が 30 分弱増加することは小学校と共通であるが、「b1.授業（主）」が 60 分,「g.個別指導」が 35 分程度と大きな在校等時間の増加になっている。一方で、学習指導に充てる時間は減少する傾向にある。一般的な教科はクラスサイズが増えることで授業時間が大きく変わるということは考えにくい。担任が担当する授業は、その担任の担当教科以外に総合的な学習やホームルーム、定期試験など教科担任がいないクラス授業が挙げられる。こちらはクラスの実情に合わせて指導内容が大きく異なることが考えられる。大きな学級を受け持つ担任は、これらの授業に多くの時間を費やしていることが推測される。

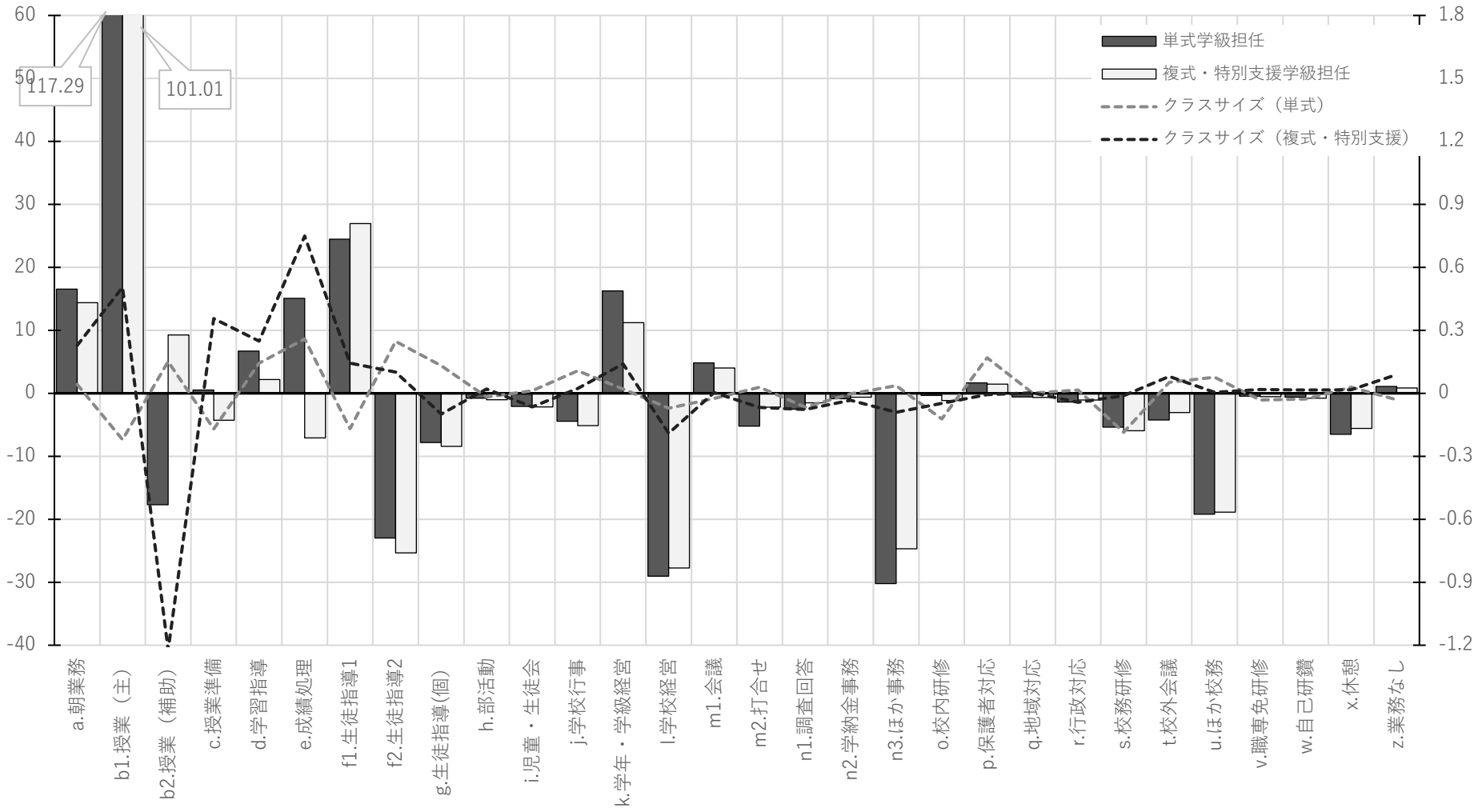


図 18-3　担任とクラスサイズによる各在校等時間の増減（小学校）

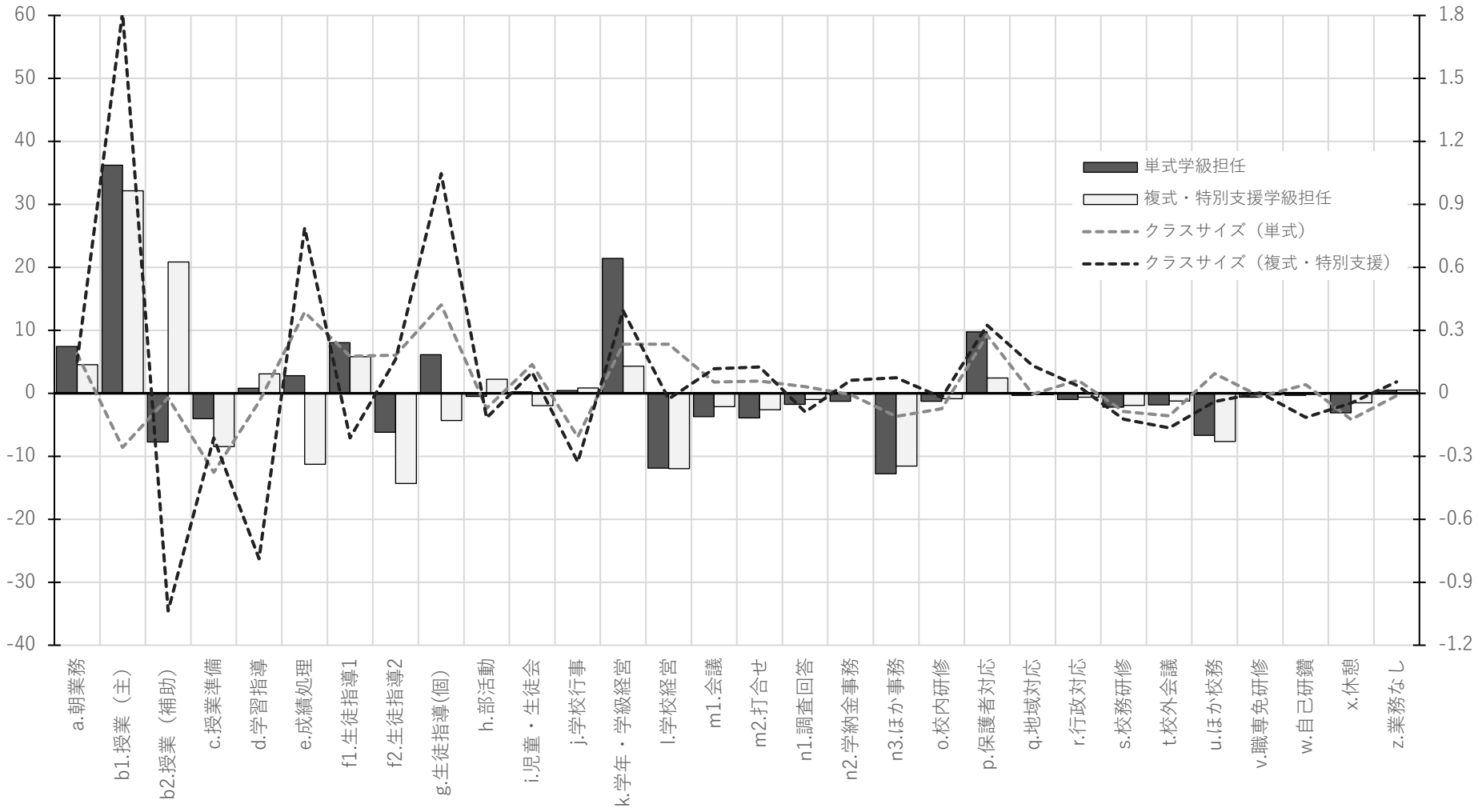


図 18-4　担任とクラスサイズによる各在校等時間の増減（中学校）

4. まとめ

本章では、教務主任担当、学級担任担当及び担当する学級の規模によって平日・土日の在校等時間がどの程度増加するのかを検討した。教務主任の担当は、小中学校共に平日の在校等時間を増加させ、小学校のみ土日労働時間をも増加させる効果を持っていた。学級担任に担当はおおむね平日・土日労働時間を増加させる傾向にあるが、複式学級や特別支援学級など、特別なニーズを伴う学級の担任業務は労働時間に対しては大きな効果はない、または一部の労働時間が少ない傾向にあった。

本調査では在校等時間以外に持ち帰り時間も測定されている。特に土日では特別学校に出勤しなくてもできる業務は、持ち帰りによって賄っている可能性がある。学級担任や校務分掌によって持ち帰り時間がどのように変わるのか、また在校勤務と持ち帰り業務の「割り振り」がどの程度変化するのかを分析し、教員の労働時間及び働き方を総合的に理解することが求められる。

補足：打ち切りデータに対する回帰分析

トービットモデルの説明

潜在変数y^*に対し、

$$y_i^* = \beta_0 + \beta_1 x_i + e_i$$

$$y_i = \begin{cases} y_i & if\ y_i^* > 0 \\ 0 & if\ y_i^* \leq 0 \end{cases}$$

説明変数で条件づけた y の期待値は

$$E(y_i|x_i) = \Pr(y_i^* > 0, x_i) \times E(y_i|y_i^* > 0, x_i)$$

それぞれの項について

$$\begin{aligned} \Pr(y_i^* > 0, x_i) &= \Pr\big(e_i > -(\beta_0 + \beta_1 x_i)\big) \\ &= 1 - F\big(-(\beta_0 + \beta_1 x_i)\big) \\ &= F(\beta_0 + \beta_1 x_i) \end{aligned}$$

続いて

$$\begin{aligned} E(y_i|y_i^* > 0, x_i) &= \beta_0 + \beta_1 x + E\big(e_i|e_i > -(\beta_0 + \beta_1 x_i)\big) \\ &= \beta_0 + \beta_1 x + \sigma \frac{f\left(\frac{\beta_0 + \beta_1 x}{\sigma}\right)}{F\left(\frac{\beta_0 + \beta_1 x}{\sigma}\right)} \end{aligned}$$

第19章　教職の特性と空き時間に対する意識に関する分析

株式会社リベルタス・コンサルティング

【本章のポイント】

- 教職（教員の仕事）に対する教員の特性ついて、教員の空き時間への意識から考察する。教諭の半数近く（小学校 46.6%、中学校 39.3%）は、業務時間が短縮され空いた時間ができると、業務に関係すること（授業準備・教材研究、自己研鑽）に充てようと考える傾向にある。
- 空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、年齢が高い教諭ほど顕著。また、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、仕事が充実、仕事や生活に満足している教諭ほど顕著。
- さらに、時間管理や効率化の意識がある教諭ほど、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向がある。前章まででみられたような働き方改革に関する諸施策の効果がすぐには表れない一因となっている可能性もある。

1.　本章の目的

教員の職務の特殊性として、どこまでが職務であるのか切り分けがたい[20]という点があげられるが、この特殊性が、教員の休み（空き時間）に対する意識にどのような影響を与えているかを考察する。

2.　分析方法

どこまでが職務であるのか切り分けがたい教員の職務の特殊性ついて、教員の空き時間への意識から考察する。

具体的には、教諭（主幹、指導含む）を対象に、教員調査票 45）-5「仮に今よりも業務時間が短縮された場合、空いた時間をどのように使いたいですか」の質問について、どのような回答傾向があるかを分析する。

なお、本質問の選択肢は、以下のとおり。

1.更なる授業準備や教材研究等に充てたい
2.職務としての研修（教育センターでの受講や校内研修）に充てたい
3.自己研鑽に充てたい
4.業務外のプライベートの時間を充実させたい
5.その他

このうち 1～3 を「空いた時間を業務に関係することに充てようとする」として分析を行った。

[20] 文部科学省「質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会（第 2 回）」の議論など。
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/183/giji_list/mext_00006.html　など

3. 分析結果

(1)空き時間ができた場合の意向

小学校教諭の 46.6%、中学校教諭の 39.3%が、業務時間が短縮され空いた時間ができると、業務に関係すること（「更なる授業準備や教材研究」「自己研鑽」「職務としての研修」）に充てたいと回答している。

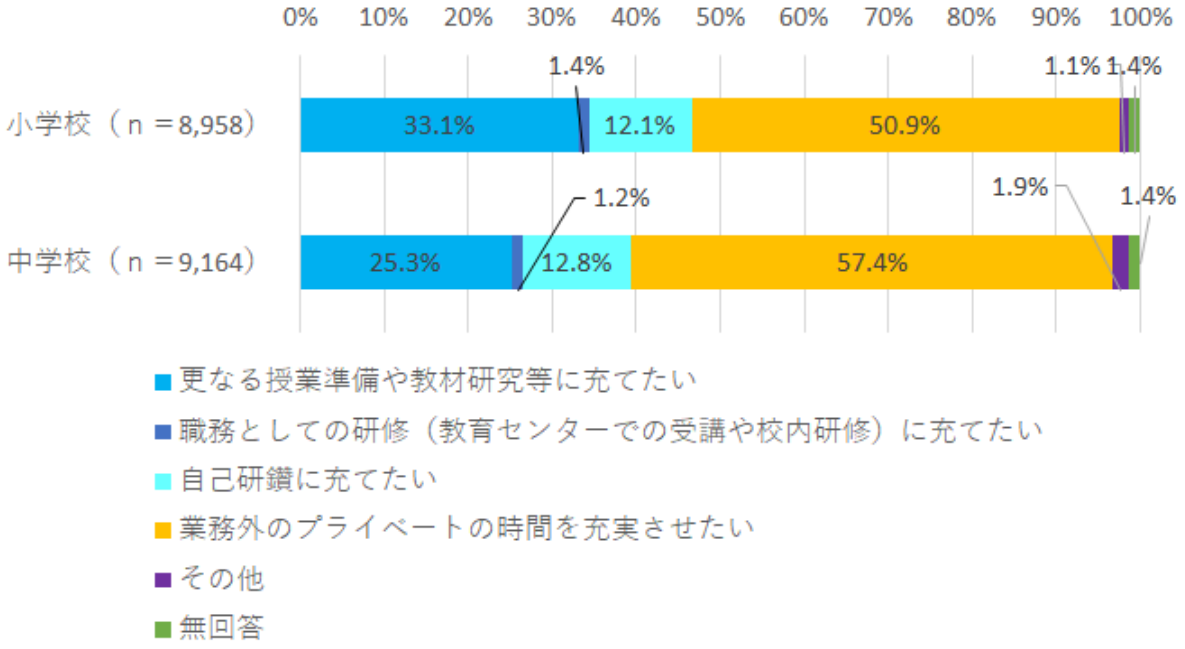


図 19-1　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（2）年齢別

業務時間が短縮された場合の空いた時間の活用意向を年齢別にみると、年齢が高いほど業務に関係すること（「更なる授業準備や教材研究」「自己研鑽」「職務としての研修」）に充てたいと回答した。

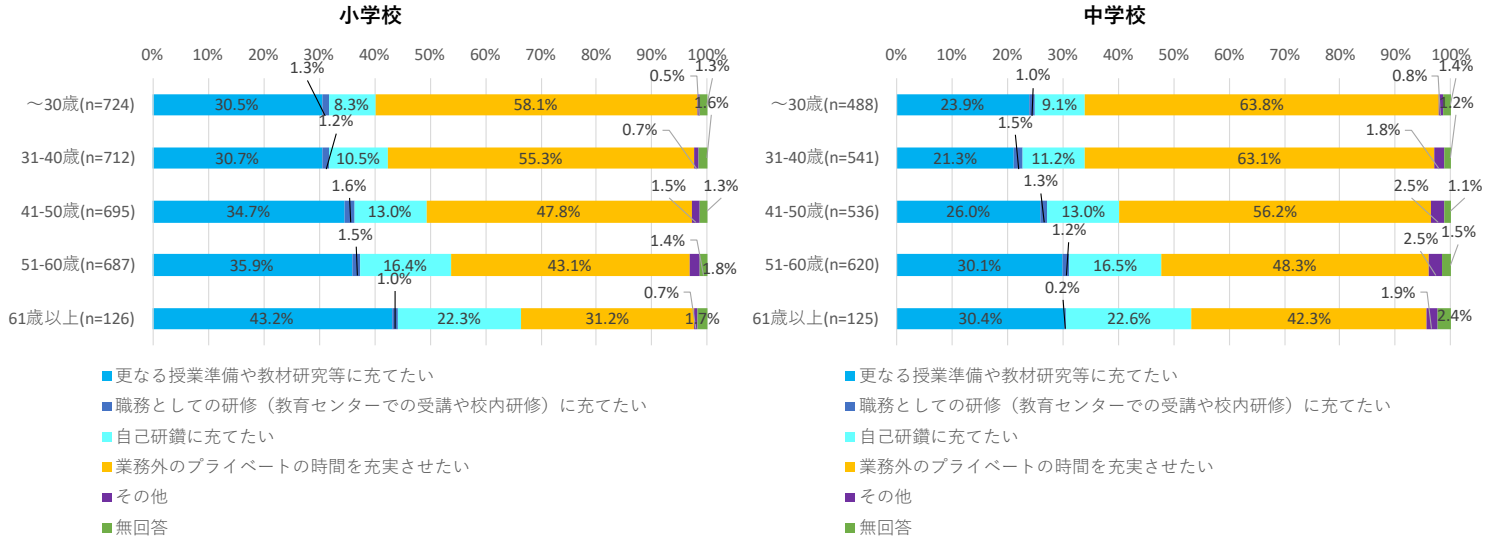


図 19-2　年齢別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（3)在校等時間、抑うつ傾向

在校等時間（平日)、抑うつ傾向（K6 得点）別に、業務時間が短縮された場合の空いた時間の活用意向をみると、在校等時間や抑うつ傾向による大きな違いはみられない。

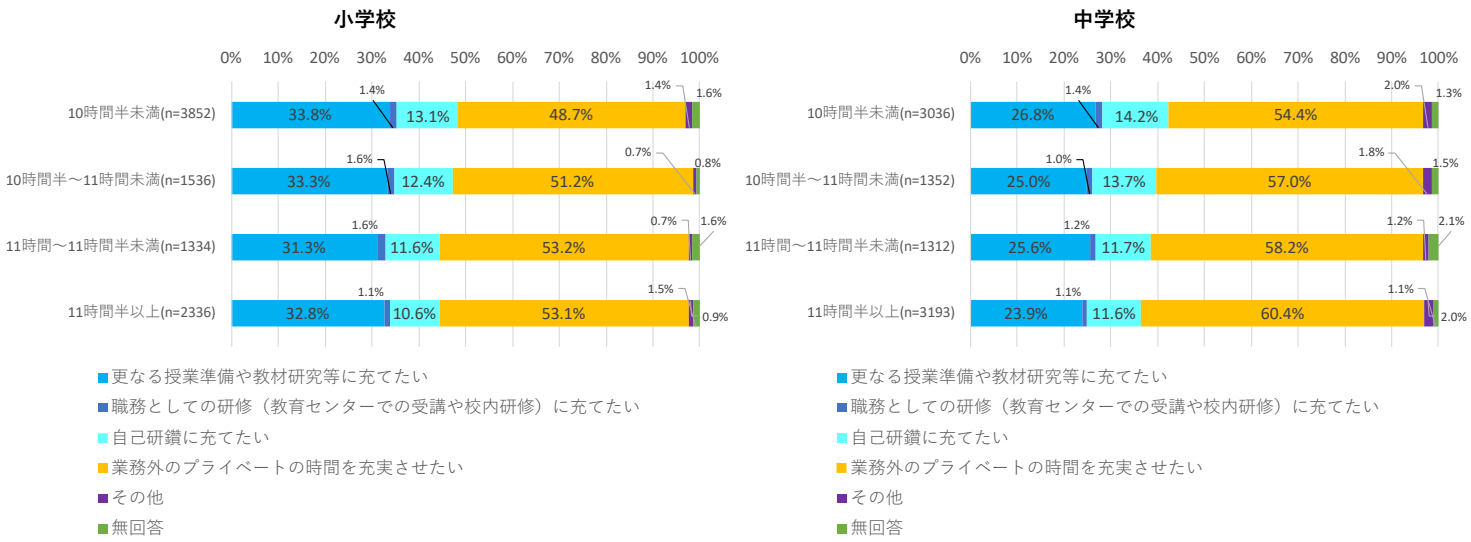


図 19-3　在校等時間（平日）別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

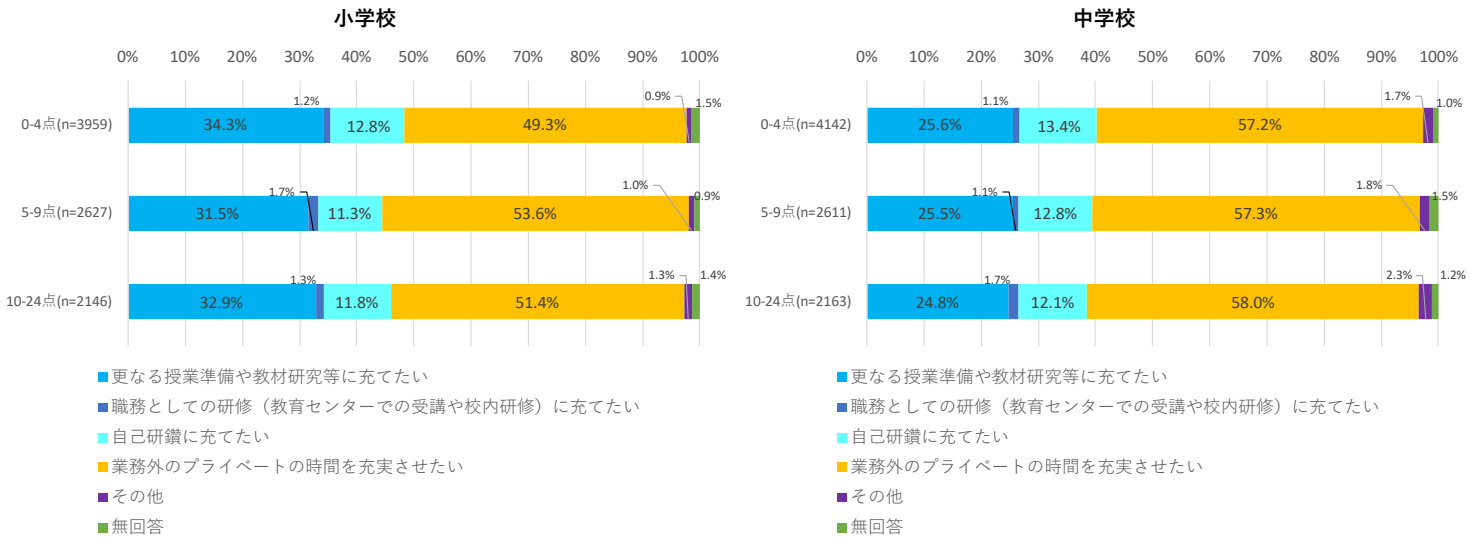


図 19-4　K6 得点別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（4）ワーク・エンゲイジメント

業務時間が短縮された場合の空いた時間の活用意向について、ワーク・エンゲイジメント（仕事に関連するポジティブで充実した心理状態：熱意・没頭・活力）別にみると、仕事にポジティブな心理状態の教員ほど、空き時間を業務に関係すること（「更なる授業準備や教材研究」「自己研鑽」「職務としての研修」）に充てたいと回答。

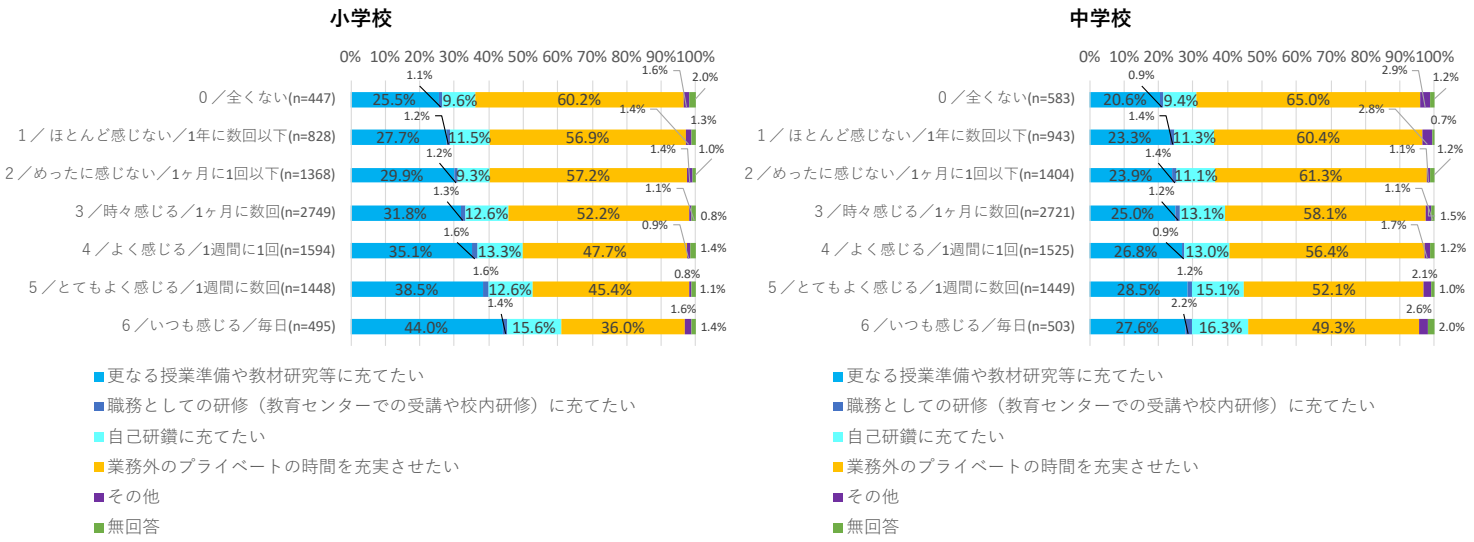


図 19-5　ワーク・エンゲイジメント（活力）別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

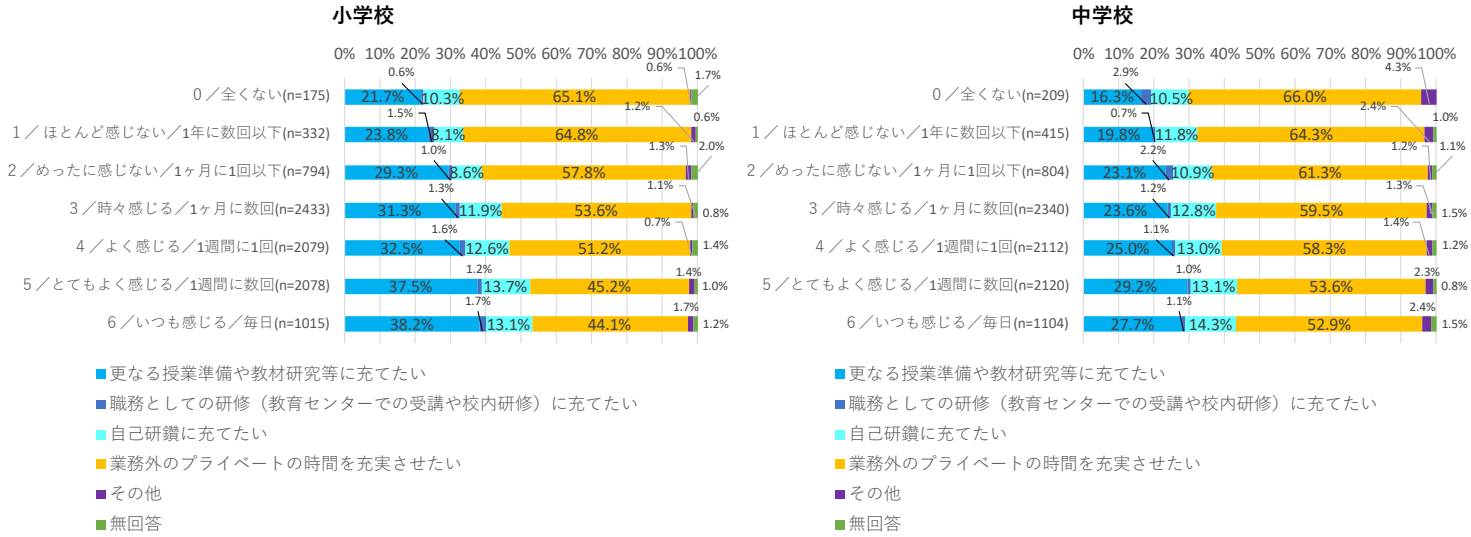


図 19-6　ワーク・エンゲイジメント（熱意）別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

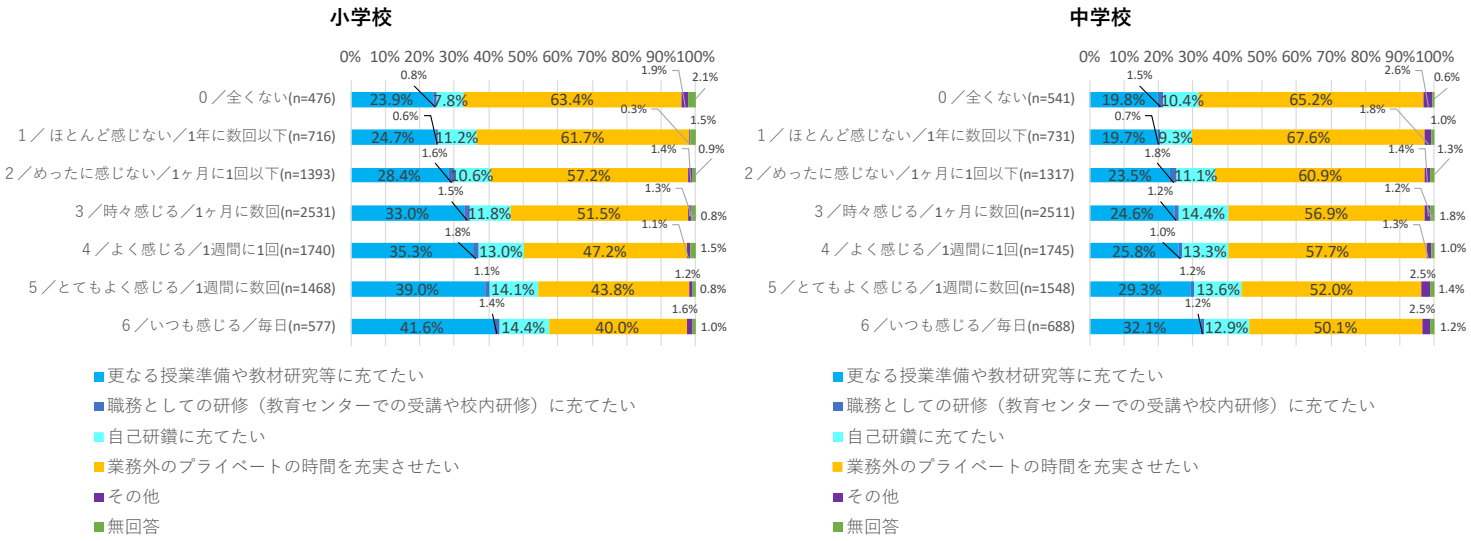


図 19-7　ワーク・エンゲイジメント（没頭）別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（5）満足度

業務時間が短縮された場合の空いた時間の活用意向について、仕事、仕事と生活のバランスに関する満足度別にみると、仕事、仕事と生活のバランスに満足している教員ほど、空き時間を業務に関係すること（「更なる授業準備や教材研究」「自己研鑽」「職務としての研修」）に充てたいと回答。

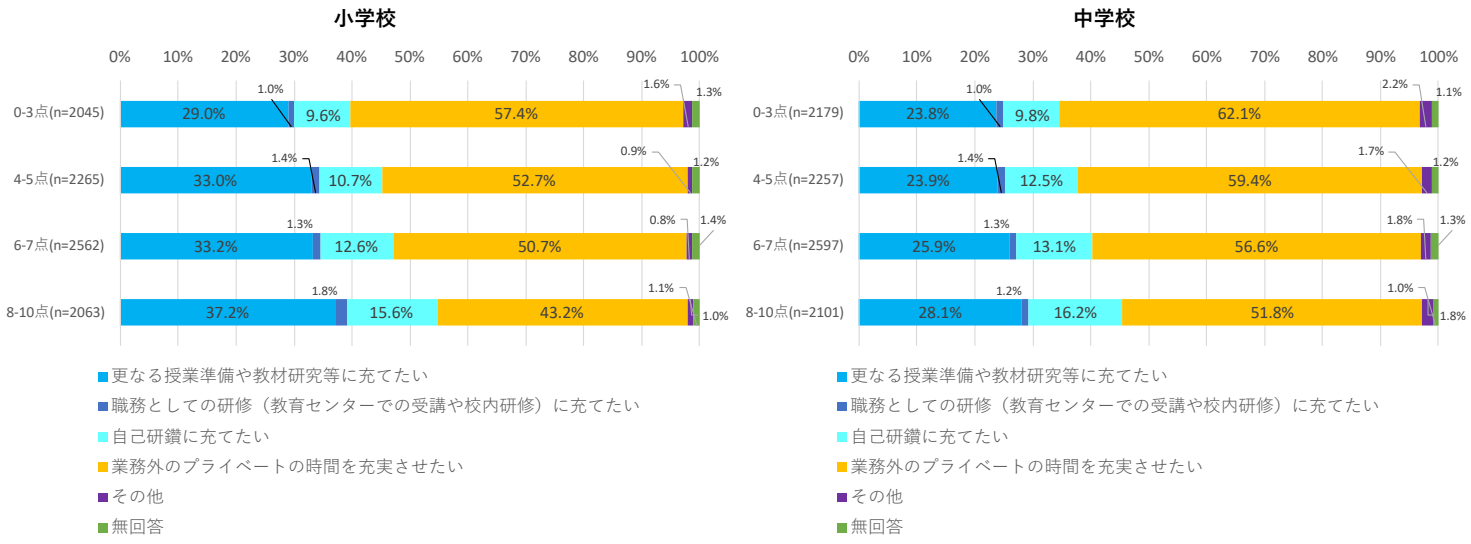


図 19-8　仕事満足度別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

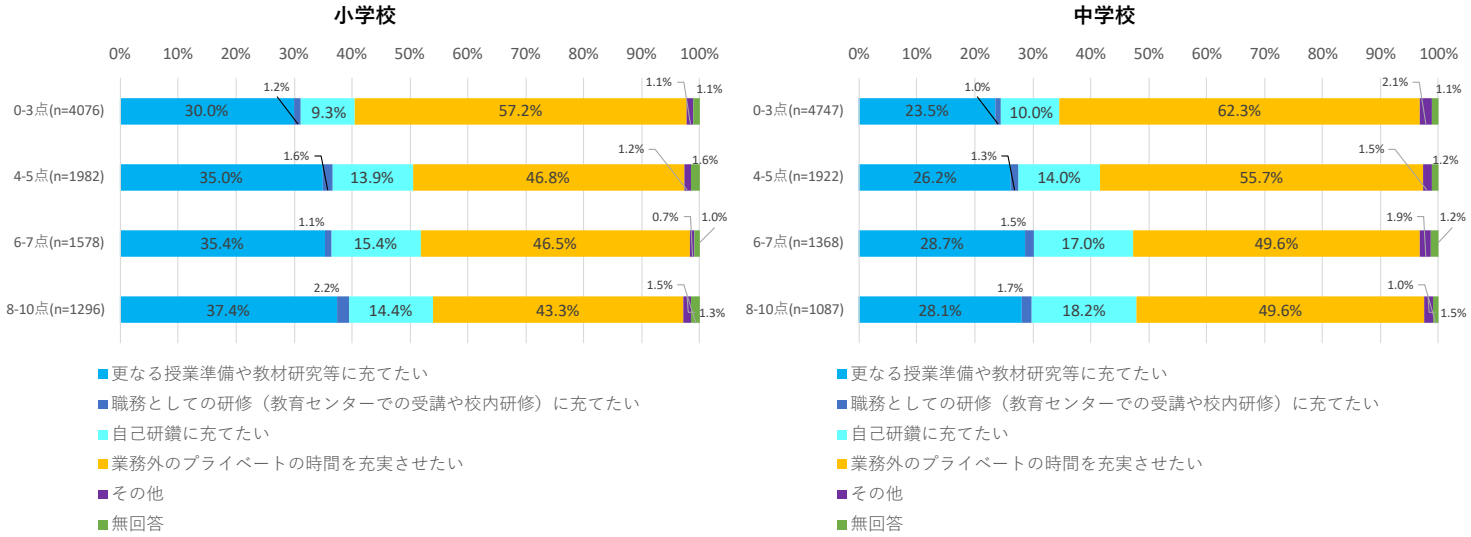


図 19-9　仕事と生活のバランスの満足度別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

（6）時間管理・効率化に関する意識

働き方改革による時間管理意識や優先順位付け・仕事効率化意識の状況別に、業務時間が短縮された場合の空いた時間の活用意向についてみると、時間管理意識や効率化意識がある教員ほど、空き時間を業務に関係すること（「更なる授業準備や教材研究」「自己研鑽」「職務としての研修」）に充てたいと回答。

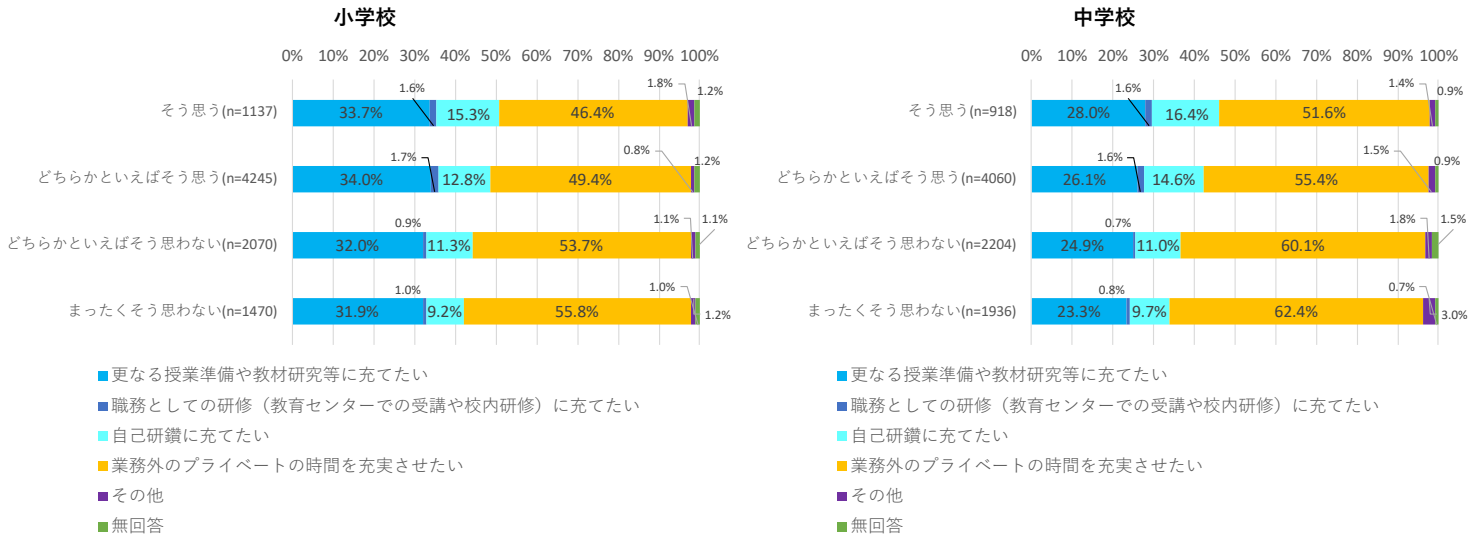


図 19-10　時間管理の意識別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

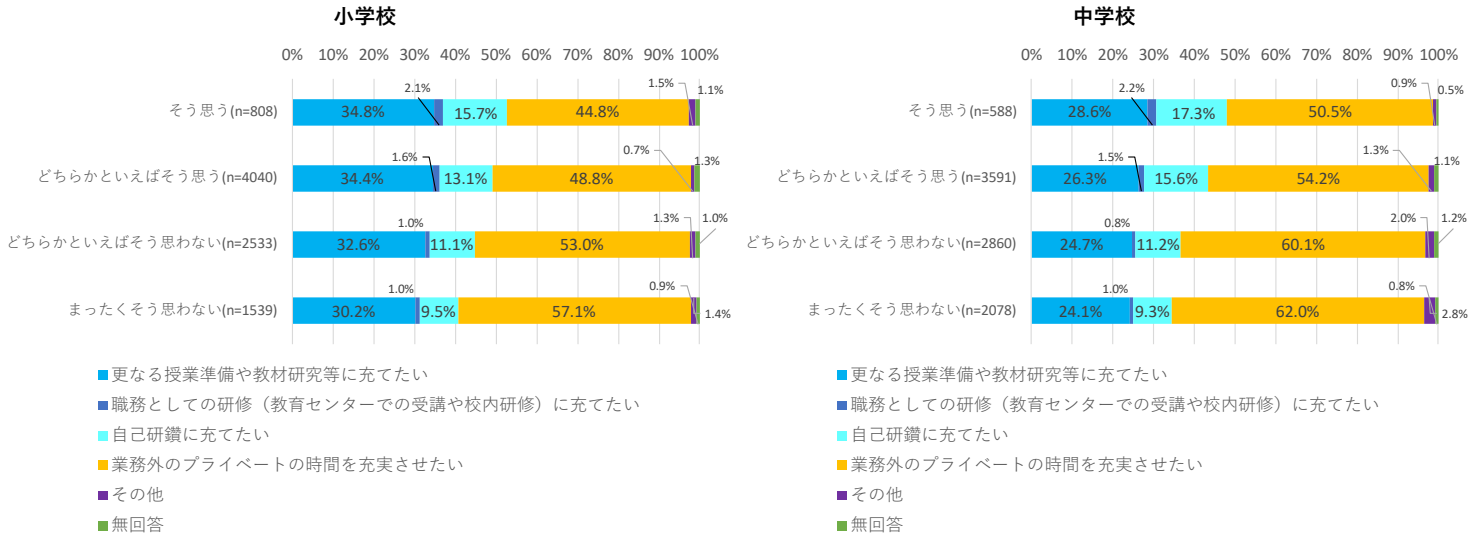


図 19-11　順位付け・効率化の意識別　業務時間が短縮された場合の空き時間の活用意向（教諭（主幹、指導含む）のみ）

4. 考察

教諭の半数近く（小学校 46.6%、中学校 39.4%）は、業務時間が短縮され空いた時間ができると、業務に関係すること（授業準備・教材研究、自己研鑽）に充てようと考える傾向にある。

空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、年齢が高いほど顕著であった。ただし、年齢による意識の差は、世代に起因するものか、加齢や教員経験を積むことによって意識が変化してくるものなのかは、本調査の分析結果だけでは判断はつかない。今後の検討課題といえる。

さらに、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、仕事が充実、仕事や生活に満足している教諭ほど顕著であった。また、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、時間管理や効率化の意識がある教諭ほど顕著であった。一方で、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向は、在校等時間や抑うつ傾向（K6）とは、強い相関関係はみられなかった。

教育公務員特例法[21]では、第 4 章 21 条において「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」と定めているなど、教員の業務の特殊性としてどこまでが職務であるのか切り分けがたい側面があげられる。今回の分析からは、世代が上であるほど、そして仕事が充実している教員ほど、絶えず研究と修養に努める意識が強いことが明らかになった。さらに、時間管理や効率化の意識がある教諭ほど、空いた時間を業務に関係することに充てようとする傾向もあり、これまでみてきたような働き方改革に関する諸施策の効果がすぐには表れない一因となっている可能性もある。今後、更に働き方改革を推進していくためには、教員の業務の特殊性と特殊性に関わる教員の意識も念頭に置いた上で取り組む必要がある。

[21] 教育公務員特例法　第 4 章　研修　https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/012.htm

補足資料

これまで教員勤務実態調査は平成 18 年度と平成 28 年度に 2 回実施された。そして、今回の令和 4 年度調査では、公共サービス動機づけ（Public Service Motivation：以下、PSM）と Body Mass Index（以下、BMI）に関する項目を追加した。教員が働きがいを感じ、健康に働くことのできる環境を整備することが喫緊の課題である。このような状況を踏まえて、令和 4 年度調査では PSM と BMI という労働研究で国際的に使用される項目を新たに調査することにした。ここでは、補足資料として、公立小・中学校教員の PSM と BMI に関する集計結果を示す。

また、令和 4 年度調査と過去 2 回の調査の大きな違いとして、新型コロナウイルス感染症流行の後に実施された調査であることがある。そこで、教諭の業務において新型コロナウイルス感染症対策にどの程度時間を使っているのかについても基礎的な集計結果を記す。

1. 教員の PSM に関する記述的分析

（1）はじめに――PSM とは

モチベーション（motivation）は「やる気」や「意欲」といった動機づけを意味するもの（市川 2001）で、日常生活でも使用される。モチベーションは心理学の中核を成す概念で[22]、「行動にエネルギーを供給し、指令を送っている状態」（Nolen-Hoeksema *et al.* 2014=2015: 497）や「行動を一定の方向に向けて生起させ、持続させる過程や機能全般」（中村 2021：559）と定義される。

何らかの成果を収めたり、何かを成し遂げたりするためには、能力だけでなくモチベーションも必要である[23]。このような背景から、モチベーションの研究は主に教育や経営の領域で発展した（鹿毛 2022）。教育については、学習意欲に関する研究として、主に教育心理学で取り組まれてきた（例：櫻井 1997；市川 2001；鹿毛 2013）。

経営については、ワーク・モチベーション（work motivation）に着目した研究の蓄積がある。ワーク・モチベーションは「‘職務’において目標を達成しようとする気持ちの強さ」と定義され、その構成要素として「方向性」「強度」「持続性」がある（池田 2021：810）[24]。ワーク・モチベーションの研究は、労働者の働く心理を研究する産業・組織心理学で主に取り組まれてきた。所定の業務目標を達成するために、いかにして労働者の仕事へのモチベーションを向上すればよいか。産業・組織心理学はこのような問いを設定し（角山 2019）、ワーク・モチベーションの構造や促進要因を解明してきた（池田 2017）。

しかし、ワーク・モチベーションは仕事の内容や性質により多様である。例えば、公的セクターと民間セクターでワーク・モチベーションの構造は異なる。Rainey (1982) は、管理職の職務への関与について公的セクターと民間セクターを比較し、公的セクターのワーク・モチベーションは利他的な要素に規定されることを明らかにした。そして、このような公的セクターに勤める

---

[22] 心理学の入門書として幅広く読まれている『ヒルガードの心理学［第 16 版］』（Nolen-Hoeksema *et al.* 2014=2015）でも、動機づけ（motivation）に 1 章が割かれている。

[23] Lawller (1971=1972) による「成果=能力×モチベーション」という公式が有名である。

[24] 「方向性」は目標達成の目的や方法に関する次元を、「強度」は「目標達成に向けた努力や意識の高さ」を、「持続性」は「目標を追求・実現するために費やされる時間の長さや継続性を意味する」次元を表す（池田 2021：810）。

労働者のワーク・モチベーションを public service motivation（以下、PSM）と表現した。また、Perry & Porter (1982)は、労働者のモチベーションを規定する個人・環境要因に関する先行研究の知見を整理した。そこで、これまでのワーク・モチベーションの理論が主に企業労働者から構築されてきたことを踏まえて、公的セクター従事者に関する理論構築が必要であると述べた。

そして、PSM の「記念碑的論文」（田井 2017：209）となったのが、Perry & Wise (1990)である。この論文は PSM を「公共部門の組織や制度に本来的かつ独自に内在する動機づけに対応した個人の性向」（Perry & Wise 1990: 368；田井 2017：205）と定義し、PSM が「合理的次元」「規範的次元」「情緒的次元」から構成されることを示した[25]。その後、2000 年代に入ってから、PSM 研究の論文数は増加し、PSM は行政学で注目を集めるテーマの一つとなった（泉澤 2014；Ritz *et al.* 2016；田井 2017）。研究の発展とともに PSM の捉え方も多様になったが、いずれの研究は、他者や社会のための善い行動を志向する公的セクターの労働者が持つ利他志向と PSM を捉える点で共通する（Perry *et al.* 2010: 687）。

日本でも PSM 研究の発展が期待されている（泉澤 2014；田井 2017）。2020 年代に入り、国家公務員（青木ほか 2022；青木ほか 2023）や地方公務員（林ほか 2021）を対象とした PSM に関する調査研究も見られるようになった。さらに、日本独自の PSM 尺度の開発（鳴海・大塚 2023）も進められている。

本調査研究が対象とする公立小・中学校教員は公教育を担う地方公務員である。先行研究の知見を踏まえると、PSM に着目することで、公立小・中学校教員の働きがいをより詳細に解明できる可能性がある[26]。その基礎作業として、本稿は公立小・中学校教員の PSM に関する記述統計量を示す。

（2）本調査での PSM に関する項目

本調査の PSM に関する項目には、林ほか (2021) で使用されたものを用いた。この項目は「(A) から (E) について、あなた自身にどのくらい当てはまりますか。それぞれ『全くあてはまらない』から『非常にあてはまる』までの 7 段階のうち、当てはまるものを 1 つお選びください」という質問から構築される。

- (A)　社会にとって意義のある行政サービスの提供に関わることは、あなたにとって大切ですか
- (B)　日々の出来事の中で、私たちがいかにお互いに支え合っているかを意識することがありますか
- (C)　世の中をよくすることは、あなた自身の目標を達成することと比べて重要ですか
- (D)　世の中のためなら、あなた自身が大きな犠牲を払ってもよいと思いますか
- (E)　人にどう思われても他者の権利をすすんで守ろうと思いますか

---

[25] 「合理的次元」は政策決定に関与する魅力などの公務員自身の利己的な動機づけに関する次元を表し、「規範的次元」は公益に奉仕したいという願望など PSM の中核を構成するもので、「情緒的次元」はコミュニティに所属する人々への愛情を表す（田井 2017: 205-206）。

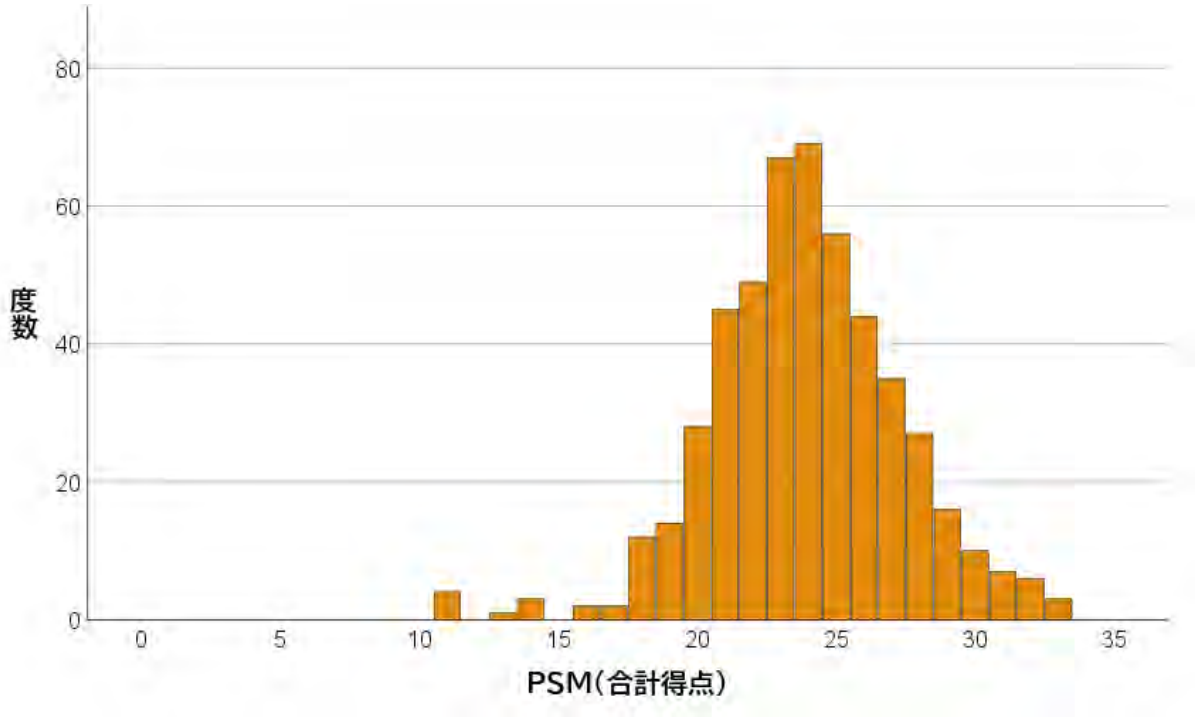
[26] 海外での教員の PSM に着目した研究として、例えば、Anderson *et al.* (2014) が挙げられる。この研究では、PSM が高い教員の指導を受けた生徒は、7 年生から 9 年生の間に、9 教科の試験（デンマーク語、数学、英語、歴史、科学、生物学、地理学、宗教学、社会学）の合計得点が上昇したことが示された。

なお、本分析に使用する PSM の合計得点は、7 件法の 5 つの項目の合計得点である（1=全くあてはまらない、2=ほとんどあてはまらない、3=どちらかというとあてはまらない、4=どちらともいえない、5=どちらかというとあてはまる、6=かなりあてはまる、7=非常にあてはまる）。つまり、PSM の合計得点がとりうる値の範囲は 5 点から 35 点である。

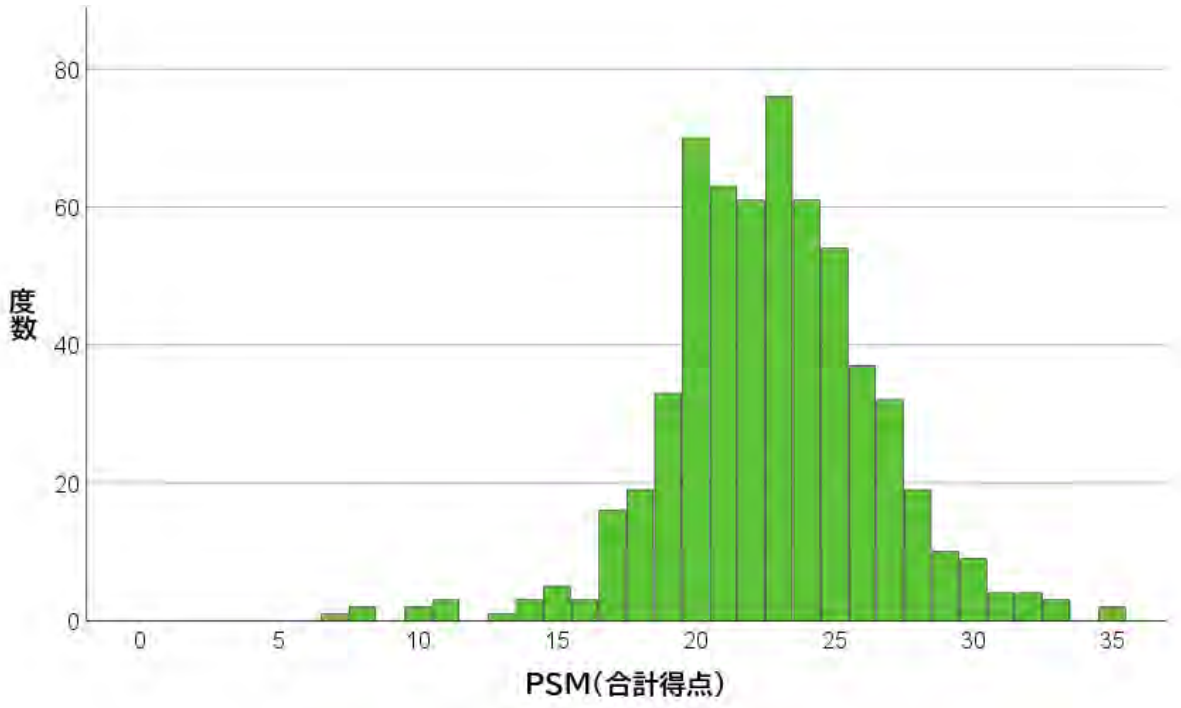
（3）分析結果

校種・職名別の PSM の合計得点に関するヒストグラムは、図補-1 から図補-6 に示すとおりである。また、表補-1 は、校種・職名・性別ごとの教員の PSM の合計得点と下位 5 項目の平均値と標準偏差である。

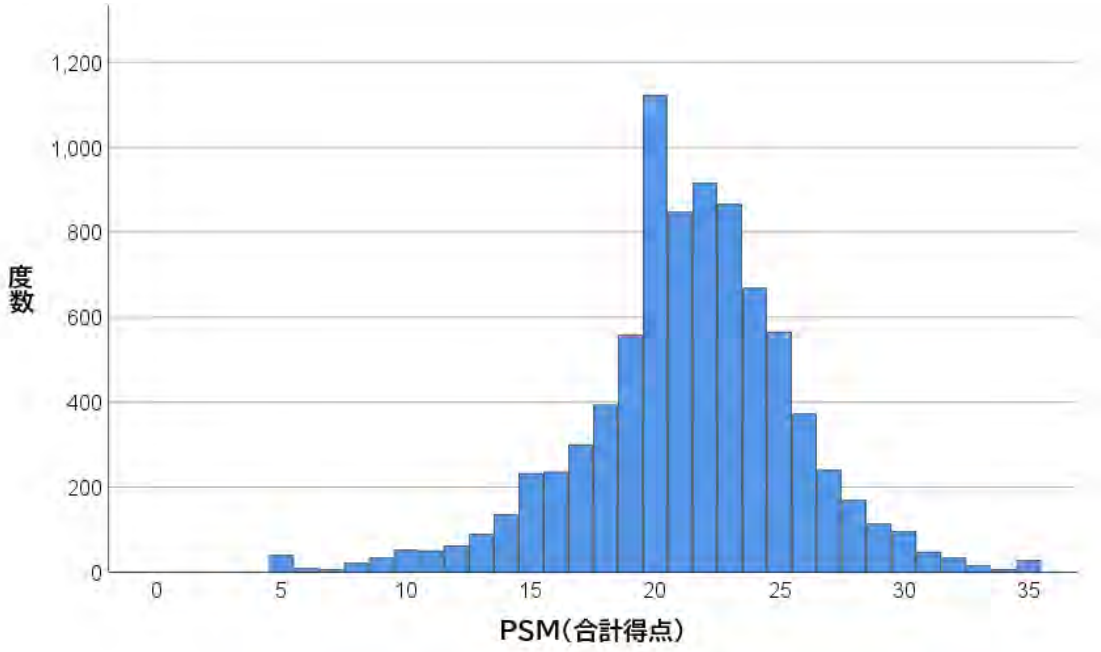
これらの図表が示すように、PSM の平均値については、小・中学校ともに、おおむね校長、副校長・教頭、教諭の順に高かった。標準偏差については、小・中学校ともに、おおむね教諭、副校長・教頭、校長の順に大きかった。



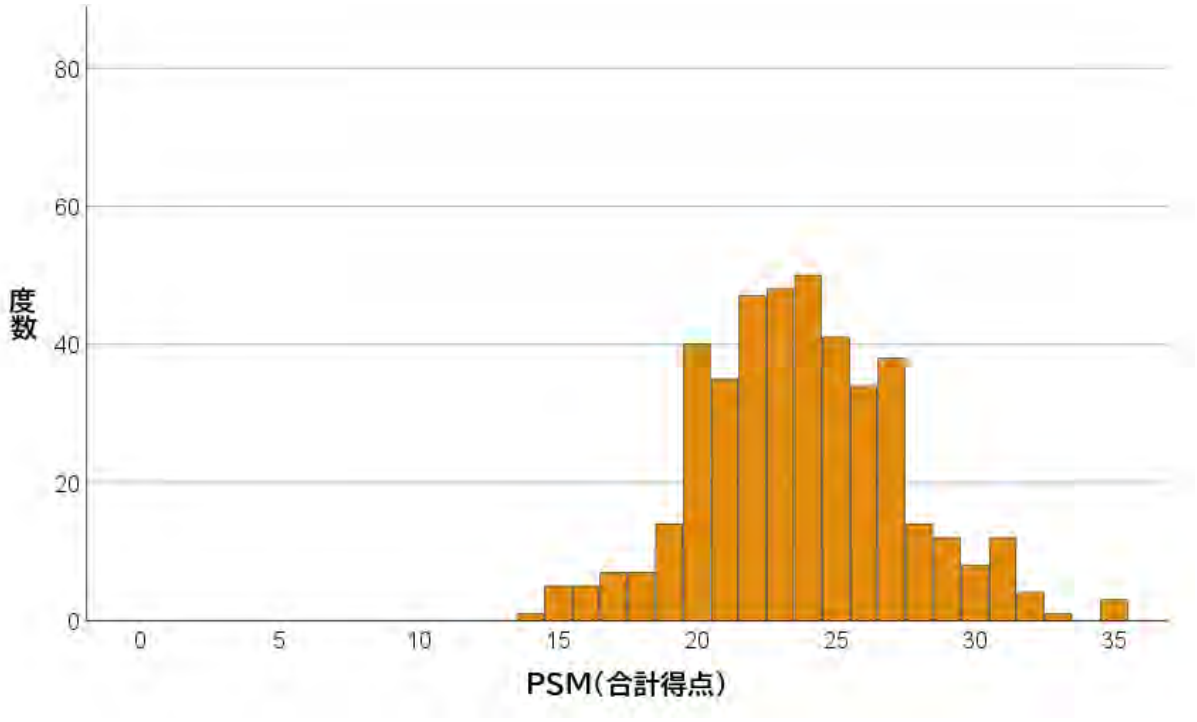
図補－1　PSM 合計得点のヒストグラム（小学校・校長）



図補－2　PSM 合計得点のヒストグラム（小学校・副校長・教頭）

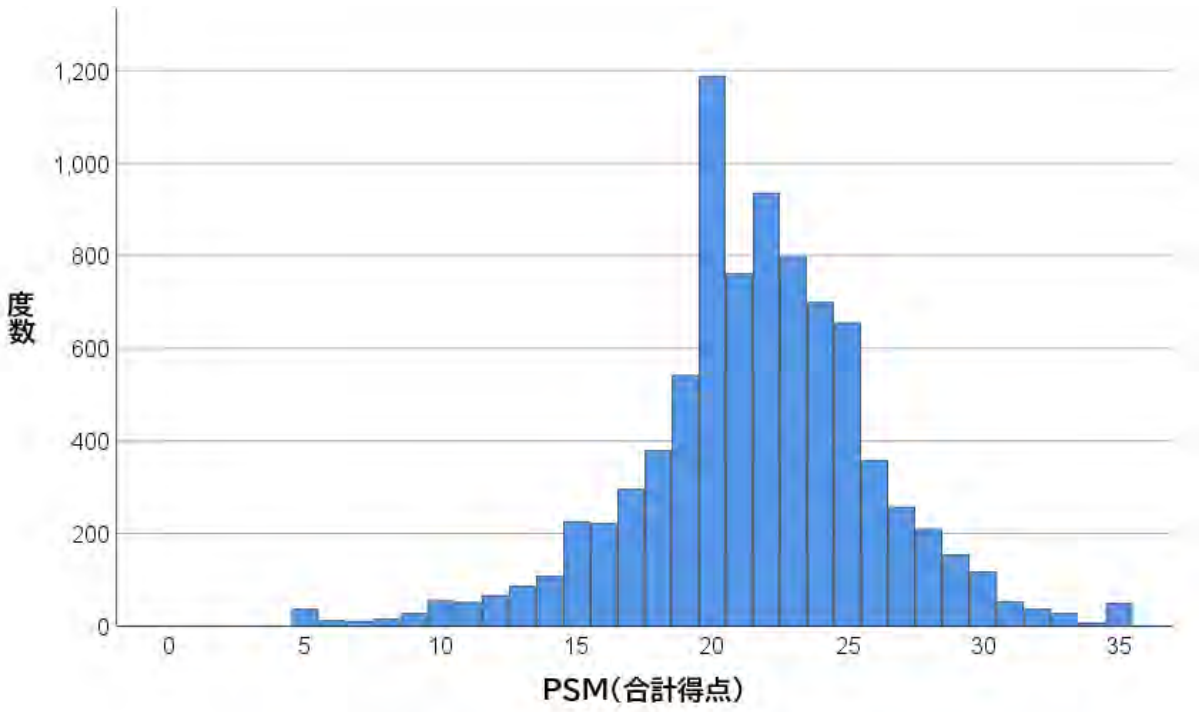


図補－3　PSM 合計得点のヒストグラム（小学校・教諭）



図補－4　PSM 合計得点のヒストグラム（中学校・校長）

図補－5　PSM 合計得点のヒストグラム（中学校・副校長・教頭）



図補－6　PSM 合計得点のヒストグラム（中学校・教諭）

表補－1　教員の PSM に関する記述統計

	職名	性別	小学校			中学校		
			度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
PSM_1 (意義ある行政サービス提供は大切)	校長	男性	378	5.35	.91	379	5.21	1.07
		女性	122	5.29	.86	47	5.19	.88
	副校長･教頭	男性	406	5.02	1.11	505	5.11	.98
		女性	187	5.02	1.06	97	5.08	.91
	教諭	男性	3172	4.78	1.31	4921	4.69	1.32
		女性	5147	4.65	1.14	3504	4.61	1.19
PSM_2 (お互いに支え合っていることを意識)	校長	男性	378	5.65	.87	379	5.58	.90
		女性	122	5.80	.83	47	5.83	.87
	副校長･教頭	男性	406	5.31	1.05	505	5.39	.98
		女性	187	5.60	.92	97	5.58	.91
	教諭	男性	3172	5.03	1.24	4921	5.03	1.20
		女性	5147	5.15	1.08	3504	5.16	1.10
PSM_3 (世の中を良くすることは自身の目標より重要)	校長	男性	378	5.04	.98	379	5.03	1.04
		女性	122	5.09	.96	47	4.96	1.08
	副校長･教頭	男性	406	4.80	1.07	505	4.91	1.10
		女性	187	4.82	1.07	97	4.85	1.17
	教諭	男性	3172	4.56	1.35	4921	4.58	1.29
		女性	5147	4.52	1.13	3504	4.58	1.13
PSM_4 (世の中の為なら大きな犠牲を払ってもよい)	校長	男性	378	3.74	1.17	379	3.85	1.22
		女性	122	3.61	1.07	47	3.23	1.24
	副校長･教頭	男性	406	3.53	1.26	505	3.78	1.24
		女性	187	3.50	1.10	97	3.53	1.14
	教諭	男性	3172	3.19	1.47	4921	3.40	1.48
		女性	5147	3.15	1.24	3504	3.26	1.29
PSM_5 (他者の権利をすすんで守ろうと思う)	校長	男性	378	4.09	1.06	379	4.15	.99
		女性	122	4.13	.94	47	3.70	1.14
	副校長･教頭	男性	406	3.98	1.07	505	4.05	1.06
		女性	187	3.88	.97	97	3.89	1.09
	教諭	男性	3172	3.92	1.29	4921	3.95	1.24
		女性	5147	3.75	1.11	3504	3.84	1.09
PSM(合計)	校長	男性	378	23.88	3.53	379	23.82	3.60
		女性	122	23.92	3.18	47	22.91	3.67
	副校長･教頭	男性	406	22.65	3.85	505	23.24	3.77
		女性	187	22.82	3.54	97	22.92	3.76
	教諭	男性	3172	21.49	4.77	4921	21.64	4.67
		女性	5147	21.22	3.96	3504	21.45	3.98

（4）おわりに――PSM に見る学校の働き方改革の可能性と課題

以上の集計結果が示すとおり、小・中学校で共通して、おおむね校長や副校長・教頭の PSM の平均値が高く、他方で PSM の標準偏差は小さかった。これは校長や副校長・教頭は PSM の分布が高い方に偏っていることを意味する。ただ、今回は 1 時点の調査であるため、校長や副校長・教頭が管理職になってから PSM が高くなったのか、あるいはもともと PSM の高い教員が校長や副校長・教頭になるのかを明らかにできない。

校長や副校長・教頭の PSM が高いことは、働き方改革を進めるうえでのポテンシャルを示唆する。PSM を直接扱ったものではないが、管理職の利他志向に注目した研究の知見によれば、利他的なリーダーシップの発揮によって、職場における幸福度が上昇し（Salas-Vallina & Alegre 2018）、また家庭生活と仕事が充実する（Xie *et al.* 2022）。これらの研究成果から、管理職を中心に利他的なリーダーシップが学校で発揮されることで、教員全体の幸福度が高まり、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりも期待できる。

他方、校長や副校長・教頭の PSM が高いことについて、次の 2 点に留意が必要である。第 1 に、校長や副校長・教頭のメンタルヘルスの悪化である。PSM をはじめとした利他志向の負の側面として、ストレスの抱え込みが指摘されている（泉澤 2014）。校長や副校長・教頭が過剰に他の教員に気を配りすぎて、バーンアウトしないような対策も求められる。第 2 に、校長や副校長・教頭による利他的行動の行き過ぎである。PSM が高い校長や副校長・教頭の利他志向が過剰となり、これによって他の教員の意識や行動とミスマッチが生じる可能性がある。利他的行動が押し付け的なものにならないように管理職は注意する必要があろう。

引用文献

青木栄一・王灝淼・神林寿幸・伊藤正次・河合晃一・北村亘・清水唯一朗・曽我謙悟・手塚洋輔・村上裕一（2022）「2021 年国家公務員ワークライフバランス調査基礎集計」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』71(1)、171-190.

青木栄一・王灝淼・藤井竜哉・神林寿幸・伊藤正次・河合晃一・北村亘・清水唯一朗・曽我謙悟・手塚洋輔・村上裕一（2023）「2022 年国家公務員ワークライフバランス調査基礎集計」『東北大学大学院教育学研究科研究年』71(2)、107-126.

池田浩（2017）「ワークモチベーション研究の現状と課題――課題遂行過程から見たワークモチベーション理論――」『日本労働研究雑誌』59（7）、16-25.

池田浩（2021）「ワーク・モチベーション work motivation」子安増生・丹野義彦・箱田裕司［監修］『現代心理学辞典』有斐閣、810.

市川伸一（2001）『学ぶ意欲の心理学』PHP 研究所.

角山剛（2019）「仕事へのモチベーション」産業・組織心理学会［企画］・金井篤子［編］『産業・組織心理学を学ぶ――心理職のためのエッセンシャルズ――』（産業・組織心理学講座 第 1 巻）北大路書房、94-108.

鹿毛雅治（2013）『学習意欲の理論――動機づけの教育心理学――』金子書房.

鹿毛雅治（2022）『モチベーションの心理学――「やる気」と「意欲」のメカニズム――』中央公論新社.

櫻井茂男（1997）『学習意欲の心理学――自ら学ぶ子どもを育てる――』誠信書房.
田井浩人（2017）「Public Service Motivation 研究の到達点と課題」『九州法学』114、162-212.
中村真（2021）「動機づけ motivation」子安増生・丹野義彦・箱田裕司［監修］『現代心理学辞典』有斐閣、559.
鳴海泰子・大塚泰正（2023）「日本版 Public Service Motivation 尺度の作成と信頼性・妥当性の検討」『産業衛生学雑誌』2023-005-B（早期公開）.
林嶺那・深谷健・箕輪允智・中嶋茂雄・梶原静香（2021）「公共サービス動機づけ（Public Service Motivation）と職務満足度等との関連性に関する実証研究――最小二乗回帰と分位点回帰による特別区職員データの分析――」『年報行政研究』56、165-188.
Andersen, L. B., Heinesen, E., & Pedersen, L. H. (2014). How Does Public Service Motivation Among Teachers Affect Student Performance in Schools? *Journal of Public Administration Research and Theory, 24*(3), 651-671.
Lawller, E. E. Ⅲ (1971). *Pay and Organizational Effectiveness: A Psychological View,* New York：McGraw-Hill（=安藤端夫［訳］（1972）『給与と組織効率』ダイヤモンド社）.
Nolen-Hoeksema, S., Fredrickson, B., Lutz, C., & Loftus, G. R. (2014). *Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology.* Andover：Cengage Learning EMEA（=内田一成［監訳］（2015）『ヒルガードの心理学［第 16 版］』金剛出版）.
Perry, J. L., & Porter, L. W. (1982). Factors Affecting the Context for Motivation in Public Organizations. *The Academy of Management Review, 7*(1), 89-98.
Perry, J. L., Hondeghem, A., & Wise, L. R. (2010). Revisiting the Motivational Bases of Public Service: Twenty Years of Research and an Agenda for the Future. *Public Administration Review, 70*(5), 681-690.
Rainey, H. G. (1982). Reward Preferences among Public and Private Managers: In Search of the Service Ethic. *The American Review of Public Administration, 16*(4), 288-302.
Ritz, A., Brewer, G. A., & Neumann, O. (2016). Public Service Motivation: A Systematic Literature Review and Outlook. *Public Administration Review, 76*(3), 414-426.
Salas-Vallina, A., & Alegre, J. (2018). Unselfish leaders? Understanding the role of altruistic leadership and organizational learning on happiness at work (HAW). *Leadership & Organization Development Journal, 39*(5), 633-649.
Xie, L., Qiu, S., & Biggs, M. J. G. (2022). The influence of altruistic leadership behavior and learning culture on work–family relationship in Chinese SMEs. *Industrial and Commercial Training, 54*(1), 64-78.

（神林寿幸・青木栄一）

2. 教員の Body Mass Index に関する記述的分析

(1)はじめに――健康経営の基礎指標としての Body Mass Index

2010 年代に入り、健康経営への関心が高まっている。生産年齢人口が減少する中、労働者の健康保持増進と労働生産性の向上は企業等にとって重要な経営課題となり、健康経営は労働者の健康と生産性の両方を同時にマネジメントする営みを意味する（高橋ほか 2021：3）。2014 年以降、国は健康経営を政策として推進する。例えば、健康経営優良法人認定制度を導入し、企業等の法人の間で健康経営に向けた取り組みを促している（森 2023：iii）。

そして、健康経営優良法人の認定に際して行われる健康経営度調査の項目に、BMI に基づいた適正体重維持者率（BMI が 18.5-25 未満の者）が含まれる[27]。BMI は体重（単位：kg）を身長（単位：m）の 2 乗で割った値で、過体重や肥満をスクリーニングする指標として用いられる。WHO は BMI の値が 25 以上を「過体重」、BMI の値が 30 以上を「肥満」と定義する[28]。過体重と肥満は糖尿病や胆嚢疾患（Must *et al.* 1999）、心血管疾患（Ortega *et al.* 2016）の有病率を高める。BMI を手がかりに生活習慣を見直し、発症を防ぐことが健康の保持増進の上で重要になる。他方、BMI が 18.5 未満の場合は「やせ」とされ、例えば、やせた状態の妊娠は胎児の体内発育にリスクを与えることが知られている（長澤 2021）。

以上のような問題関心から、令和 4 年度調査では、BMI を通じて教員の健康状態を明らかにすることにした。本稿では、公立小・中学校教員の BMI に関する記述統計量を紹介する。

(2)分析方法

はじめに、厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元年）の対象者と、本調査の対象者である公立小・中学校教員の間で、BMI に関する分布を比較する。公立小・中学校教員の BMI に関する分布は年代・性別・校種別に算定したものを記す。次に、小・中学校それぞれについて、職名・性別ごとの教員の BMI に関する分布を示す。

なお、本稿では、厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元年）の定義に従い、「やせ」（BMI が 18.5 未満）、「普通」（BMI が 18.5 以上、25 未満）、「肥満」（BMI が 25 以上）の分布を記す。

(3)分析結果

①厚生労働省「国民健康・栄養調査」との比較に見る教員の BMI の分布

厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元年）と本調査対象である公立小・中学校教員について、BMI の分布を整理したところ、図補-7 のような結果が得られた。図補-7 のとおり、同一年代・性別と比べて、公立小中学校教員の BMI が極端に高い、あるいは低いわけではなかった。

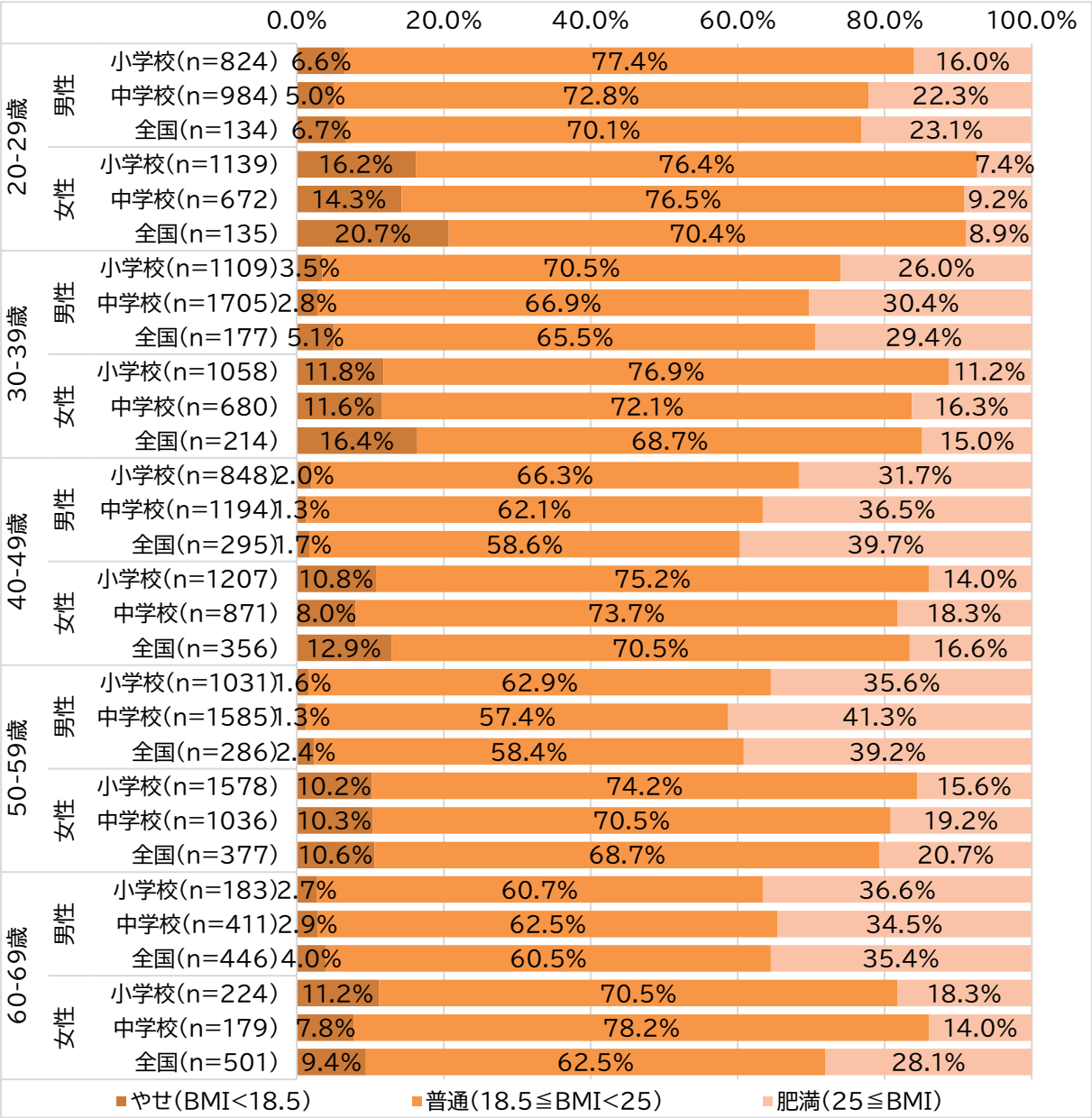
なお、年齢、性別を統制したうえで分散分析によって、小学校と中学校の間で、教員の BMI の平均値を比較したところ、両者の間に 0.1%水準で有意差が確認された（$F(1, 18511) = 77.678$, p

---

[27] 経済産業省「令和 5 年度　健康経営度調査（従業員の健康に関する取り組みについての調査）」（入手先 URL：https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/kenko_iryo/kenko_toshi/pdf/009_s02_00.pdf、最終閲覧日：2024 年 3 月 7 日）。

[28] World Health Organization (2021.6.9) Obesity and overweight, Retrieved from https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/obesity-and-overweight (2024.3.7).

=.000)。BMI の平均値については、中学校教員よりも小学校教員の方が小さかった。

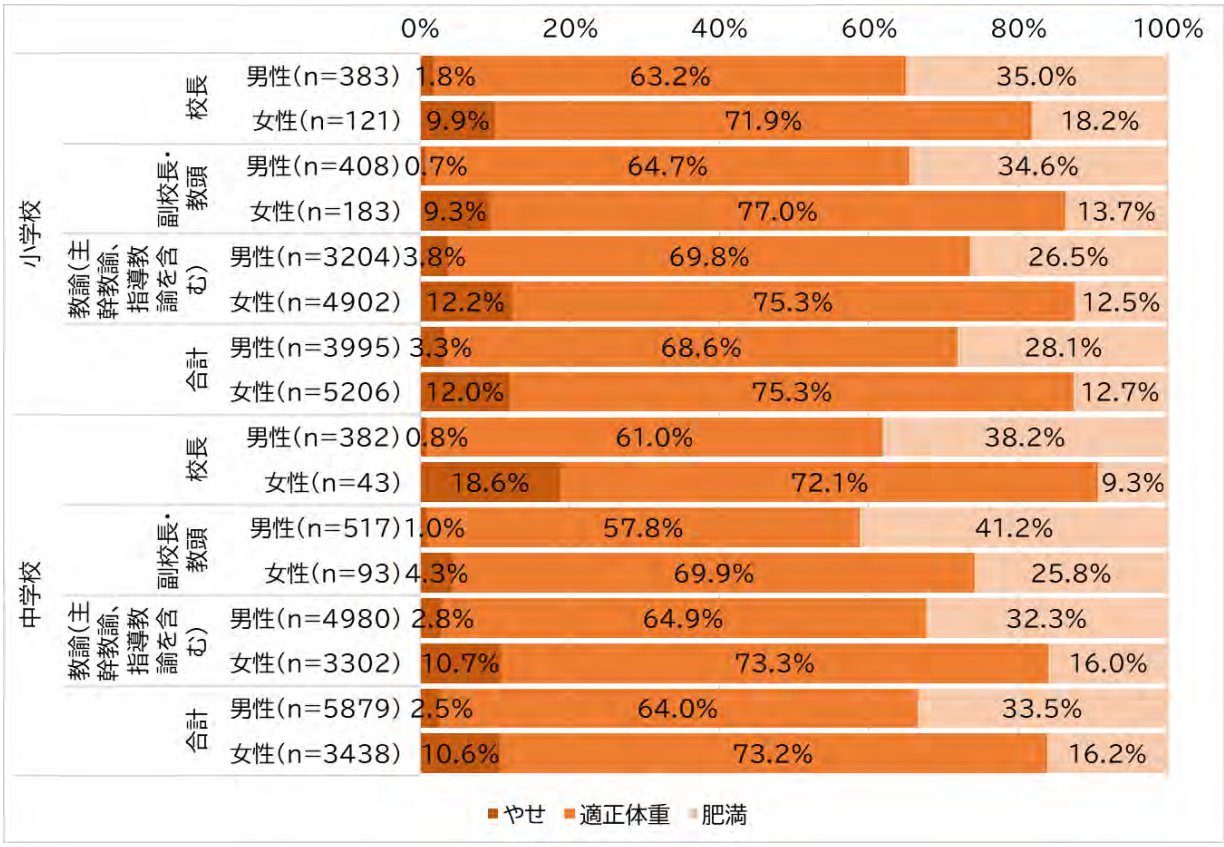


図補－7　教員の BMI に関する分布

（厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元年）との比較）

②職名別・性別に見る教員の BMI の分布

小中学校それぞれについて、職名別・性別ごとの教員の BMI に関する分布を整理したものが、図補-8 である。図補-8 が示すように、男女共に、中学校副校長・教頭の「肥満」の割合が特に大きかった。中学校の男性副校長・教頭の 41.2%、女性副校長・教頭の 25.8%で BMI が 25 以上の「肥満」であった。



図補－8　教員の BMI に関する分布（職名別・性別による区分）

（4）おわりに――BMI を通じて見る教員の健康

教員の BMI に関する分布について、まず、厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元年）の数値と比較を行ったところ、同一の性別・年代と比べて、公立小・中学校教員の BMI が高いわけではなかった。このことから、公立小・中学校教員で「やせ」や「肥満」が多いとは言えない。

次に、公立小・中学校教員の間で BMI を比較した。まず、小学校と中学校で教員の BMI を比べたところ、小学校教員の方が適正体重の割合は高く、BMI の平均値も小学校の方が有意に低かった。この背景として、小学校と中学校で教員の運動量に違いがあることが推察される。小学校の大半は学級担任制を採用しており、担任の教員は日中の間を活発な児童に教育指導を行う。その結果、小学校教員の運動量は大きくなり、BMI の数値が低くなることが考えられる。

さらに、職名別・性別ごとに教員の BMI を算定した。その結果、男女共に中学校の副校長・教頭で、BMI が 25 以上となる「肥満」の割合が高かった。中学校に勤務する副校長・教頭の在校等時間が長いことも踏まえると、この点には留意が必要であろう。

引用文献

高橋由香・津野陽子・大森純子（2021）「健康経営における『健康的な職場文化』の指標化に向けた文献レビューによる概念整理」『日本健康教育学会誌』29(1)、3-15.

長澤伸江（2021）「公衆栄養の概念」吉田勉［監修］・栗原伸公・大瀬良知子［編著］『新公衆栄養学』（食物と栄養学基礎シリーズ 11）学文社、1-20.

森晃爾（2023）「序章　健康経営を科学する！」森晃爾・永田智久・小田上公法［編著］『健康経営を科学する！――実践を成果につなげるためのエビデンス――』大修館書店、ⅲ-ｘ.

Ortega, F. B., Lavie, C. J., & Blair, S. N. (2016). Obesity and Cardiovascular Disease. *Circulation Research, 118*(11), 1752-1770.

Must, A., Spadano, J., Coakley, E. H., Field, A. E., Colditz, G., & Dietz, W. H. (1999). The Disease Burden Associated With Overweight and Obesity. *JAMA, 282*(16), 1523-1529.

（神林寿幸・李政哲）

3. 教員の働き方における新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の流行が、令和 4 年度における教員の働き方にどのような影響を与えているかを明らかにする。

教諭（主幹、指導含む）の新型コロナウイルス感染症関連業務の状況を明らかにする。

（1）調査期間の感染症による休業・学級閉鎖の状況

調査対象期間（令和 4 年 10～11 月のうち特定の 1 週間）に感染症等による休業・学級閉鎖であった回答者（教諭）の割合は、1%未満であった。感染症による休業・学級閉鎖は、調査には、ほとんど影響を及ぼしていないことがわかる。

表補－2　調査日（平日）が感染症による臨時休業日に当たった割合

小学校（44,790日中）	0.7%　（311日）
中学校（45,820日中）	0.8%　（353日）

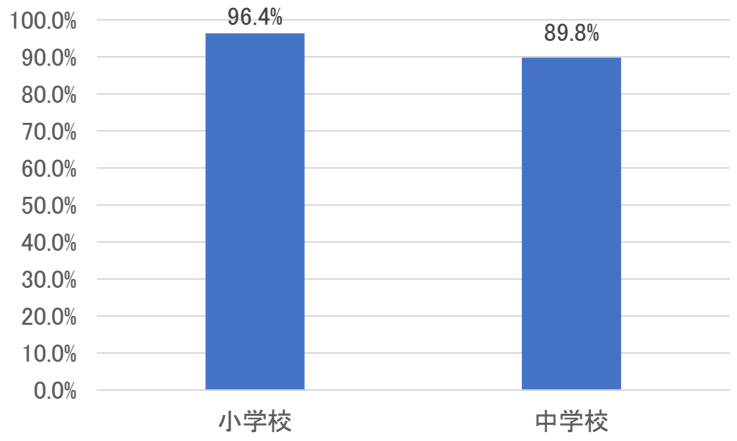
表補－3　調査日（平日）が感染症等により学級閉鎖だった割合（臨時休業日除く）

小学校（44,790日中）	0.4%　（159日）
中学校（45,820日中）	0.3%　（157日）

（2）新型コロナウイルス感染症関連業務の状況

次に、新型コロナウイルス感染症関連業務をどの程度行っているかをみていく。その結果、令和 4 年の時点で、小学校教諭の 96.4%、中学校教諭の 89.8%が、平日勤務日に新型コロナウイルス感染症関連業務に対応していた。

新型コロナウイルス感染症関連業務にかける時間をみると、1 日当たり小学校教諭で平均 20.7 分、中学校教諭で 16.6 分であった。内訳では、「登校時の児童生徒の健康状態の把握」「換気作業」「消毒作業」が、それぞれ 3～6 分と長い。



図補－9　平日勤務日に新型コロナウイルス感染症関連業務に対応した教諭の割合（教諭（主幹、指導含む）のみ）

表補－4　新型コロナウイルス感染症関連業務の時間（分）（平日：教諭（主幹、指導含む）のみ）

分

	1)新型コロナに関する会議等への参加	2)新型コロナに関する調査・報告等への対応	3)登校時の児童生徒の健康状態の把握	4)登校時に発熱等の風邪の症状がみられた児童生徒への対応	5)消毒作業	6)換気作業	7)その他	計
小学校	0.5	0.9	6.2	1.3	4.9	5.9	1.1	20.7
中学校	0.5	0.9	5.2	1.2	3.2	4.8	0.8	16.6

(3)まとめ

新型コロナウイルス感染症の流行が、令和 4 年度における教員の働き方にどのような影響を与えているかをみた。

令和 4 年度の調査実施期間、新型コロナウイルス感染症等による休業・学級閉鎖はほとんどなかった。一方で、ほとんどの教諭が新型コロナウイルス感染症関連業務に対応しており、その時間は、小学校教諭で平均 21 分、中学校教諭で 17 分となっている。

分析においては、調査期間が、新型コロナウイルス感染症の流行期間であったことを加味する必要がある。

参考資料

1. 調査票

2. 基礎集計表（学校調査、教員調査）

3. 業務記録集計表

1.調査票

学校調査①

1） 学校情報

学校名 ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　所在地（都道府県）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿都道府県

学校種 ：1．小学校　2．中学校　3．高等学校　　所在地（市区町村）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2） 設置学科（あてはまるものすべて）（高等学校のみ）

1．普通（学際領域、地域社会等含む）　2．農業　3．工業　4．商業　5．水産
6．家庭　7．看護　8．情報　9．福祉　10．総合学科　11．その他（　　）

3)-1 貴校がある場所はどのような地域ですか。一番近いもの１つを選んでください。

1．農林漁業地域　2．工業地域　3．都市郊外の住宅地域　4．都市中心部の住宅地域　5．都市中心部の商業地域

3)-2 貴校の特徴として次のようなことはあてはまりますか。

		とても あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	教育熱心な親が多い	1	2	3	4
2	PTA 活動がさかんである	1	2	3	4
3	地域との交流がさかんである	1	2	3	4
4	私立中学に進学する小学生が多い地域である（小学校、中学校のみ）	1	2	3	4

3)-3 昨年度の卒業生のうち、約何割の生徒が4年制大学に進学しましたか。あてはまるもの1つを選んでください。（高等学校のみ）

1．約 2 割未満　2．約 2～4 割未満　3．約 4～6 割未満　4．約 6～8 割未満　5．約 8 割以上

4） 貴校の学級数・児童生徒数をお答えください（令和4年5月1日現在）。

単式学級数	＿＿＿＿学級
複式学級数　小中のみ	＿＿＿＿学級
特別支援学級数　小中のみ	＿＿＿＿学級
児童生徒数	＿＿＿＿名
うち特別支援学級在籍者数　小中のみ	＿＿＿＿名
長期欠席者（30 日以上の欠席者）のうち「不登校」を理由とする欠席者数（令和３年度）	＿＿＿＿名
通級指導を受けている児童生徒数	＿＿＿＿名
通常級在籍者のうち、特別な教育的支援が必要な児童生徒数（通級以外）	＿＿＿＿名
日本語指導が必要な児童生徒数　小中のみ	＿＿＿＿名
生活保護、就学援助を受けている児童生徒数　要保護　小中のみ	＿＿＿＿名
生活保護、就学援助を受けている児童生徒数　準要保護　小中のみ	＿＿＿＿名

5） （小学校のみ）貴校の年間総授業時数をお答えください。

※在籍児童がいない場合は「0」と入力。
※学級数が複数の場合は、平均値（小数点以下切り捨て）で入力してください。
※1時間単位は、45 分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下端数については、すべて切り捨てて計算してください。
※年間総授業時数とは、学校教育法施行規則第 50 条に示す各教科、特別の教科である道徳、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動（学級活動のみ）に充てる年間の総授業時数を指します。
※令和3年度計画および令和4年度計画は、「当該年度に最大で何単位時間の授業を実施することが可能か」という考え方に基づいて回答してください。すなわち、回答する年間総授業時数には、標準授業時数を超えて確保している時数（いわゆる「余剰時数」）も含めてください。

【令和3年度計画】

第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間

【令和3年度実績】

第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間	＿＿＿単位時間

【令和4年度計画】

第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
____単位時間	____単位時間	____単位時間	____単位時間	____単位時間	____単位時間

5）（中学校のみ）貴校の年間総授業時数をお答えください。

※在籍生徒がいない場合は「0」と入力。
※学級数が複数の場合は、平均値（小数点以下切り捨て）で入力してください。
※1時間単位は、50 分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下端数については、すべて切り捨てて計算してください。
※年間総授業時数とは、学校教育法施行規則第 72 条に示す各教科、特別の教科である道徳、総合的な学習の時間および特別活動（学級活動のみ）に充てる年間の総授業時数を指します。
※令和3年度計画および令和4年度計画は、「当該年度に最大で何単位時間の授業を実施することが可能か」という考え方に基づいて回答してください。すなわち、回答する年間総授業時数には、標準授業時数を超えて確保している時数（いわゆる「余剰時数」）も含めてください。

【令和3年度計画】

第１学年	第２学年	第３学年
____単位時間	____単位時間	____単位時間

【令和3年度実績】

第１学年	第２学年	第３学年
____単位時間	____単位時間	____単位時間

【令和4年度計画】

第１学年	第２学年	第３学年
____単位時間	____単位時間	____単位時間

5）（高等学校のみ）卒業に必要な修得単位数をお答えください。

※令和4年度入学者に卒業までに修得させる単位数。
※同一学科内において、さらに類型･コース等が設定され、類型やコース等によって単位数が異なる場合は、最も多くの生徒が該当する単位数を計上。
※令和4年度入学者がいない場合は「0」と入力。

普通（学際領域、地域社会等含む）	____単位	農業	____単位	工業	____単位
商業	____単位	水産	____単位	家庭	____単位
看護	____単位	情報	____単位	福祉	____単位
総合学科	____単位	その他			____単位

5）（高等学校のみ）卒業までに履修させる単位数をお答えください。

※令和4年度入学者に卒業までに履修させる単位数。
※同一学科内において、さらに類型･コース等が設定され、類型やコース等によって単位数が異なる場合は、最も多くの生徒が該当する単位数を計上。
※選択する科目によって単位数が異なる場合には、最小の単位数を計上。
※令和4年度入学者がいない場合は「0」と入力。

普通（学際領域、地域社会等含む）	____単位	農業	____単位	工業	____単位
商業	____単位	水産	____単位	家庭	____単位
看護	____単位	情報	____単位	福祉	____単位
総合学科	____単位	その他	回答不要		____単位

5）（高等学校のみ）週当たりの授業時数をお答えください。

※令和4年度入学者の今年度の授業時数。
※同一学科内において、さらに類型･コース等が設定され、類型やコース等によって授業時数が異なる場合は、最も多くの生徒が該当する授業時数を計上。
※長期休業中の集中講座や補習等は含まない。
※1 時間単位は、50 分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下端数については、全て切り捨てて計算してください。
※令和4年度入学者がいない場合は「0」と入力。

普通（学際領域、地域社会等含む）	____単位時間	農業	____単位時間	工業	____単位時間
商業	____単位時間	水産	____単位時間	家庭	____単位時間
看護	____単位時間	情報	____単位時間	福祉	____単位時間
総合学科	____単位時間	その他	回答不要		____単位時間

6)-1　貴校の教員はそれぞれ何名ですか（令和4年5月1日現在）。（※校長・副校長・教頭の人数は含めずご回答ください。）
短時間勤務の教員と非常勤講師については、該当教員 1 週間の合計勤務時間もご回答ください。
※休職の教員数は含めずご回答ください。1 時間未満の時間については 29 分までは切り捨て、30 分以上は切り上げてください。
※複数を担当している教員がいる場合、より従事時間が長い方にカウントしてください。

	合計人数	うち通常学級担当人数	うち特別支援学級担当人数	うち通級指導・日本語指導担当人数	うち養護教諭等左記以外人数
①正規教員（③、⑤除く）（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
②短時間勤務の教員（④、⑥除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
②の１週間の合計勤務時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間
③再任用教員（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
④再任用教員（短時間勤務）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
④の１週間の合計勤務時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間
⑤臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
⑥非常勤講師	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
⑥の１週間の合計勤務時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間	＿＿＿時間

6)-2　貴校では、育児休業を取得している教員は何名いますか。（令和4年5月1日現在）　＿＿＿名

7）貴校の教員のうち、下記の人数はそれぞれ何名ですか（令和4年5月1日現在）。

1	初任者研修対象の教員	＿＿＿名
2	国・県・市町村等の加配措置で追加された教員（フルタイム）	＿＿＿名
3	児童生徒支援に専任※で携わっている教員	＿＿＿名
4	特別支援教育コーディネーターに専任※で携わっている教員	＿＿＿名
5	１年単位の変形労働時間制の適用を受ける者の数	＿＿＿名

※専任とは、授業の持ち時数が 12 コマ程度以下である者をいいます。

8）貴校の職員数はそれぞれ何名ですか（令和4年5月1日現在）。

	学校事務職員	うち市町村費負担	学校栄養職員（小中学校のみ）	うち市町村費負担
①正規職員（③、⑤除く）（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
②短時間勤務の職員（④、⑥を除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
③再任用職員（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
④再任用職員（短時間勤務）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
⑤臨時的任用職員または任期付採用職員（フルタイム）	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名
⑥非常勤職員	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名

9） 貴校の下記の「スタッフの人数」および「スタッフ全員の 1 週間の合計勤務時間」をお答えください（令和4年5月1日現在）。
1 時間未満の時間については 29 分までは切り捨て、30 分以上は切り上げてください。

※1～12及び14について、ボランティアは除く。なおスタッフの財源については問いません（都道府県費、市町村費、その他の公費のいずれも含む）。
※下記の一覧とは異なる名称の場合であっても、同種の業務を行っている者は当該項目に含めて回答してください。
※外部委託で配置している場合も回答してください。
※隔週の出勤など、毎週出勤しない場合の1週間あたりの勤務時間の計算については、1か月を4週と仮定し、1週間あたりの勤務時間を計上してください。例えば、月2回の出勤であれば、2回÷4週＝0.5 回分の勤務時間を計上してください。
なお、1回あたりの勤務時間が日により異なる場合は、最も一般的な1回あたりの勤務時間を用いて1週間あたりの勤務時間を計算してください。

		人数	1 週間あたりの合計勤務時間
1	学校司書	＿＿＿名	＿＿＿時間
2	用務員、技術員	＿＿＿名	＿＿＿時間
3	外国語指導助手（ALT）	＿＿＿名	＿＿＿時間
4	スクールカウンセラー	＿＿＿名	＿＿＿時間
5	スクールソーシャルワーカー	＿＿＿名	＿＿＿時間
6	特別支援教育支援員※1	＿＿＿名	＿＿＿時間
7	日本語支援員・母語支援員	＿＿＿名	＿＿＿時間
8	学習指導員※2	＿＿＿名	＿＿＿時間
9	観察実験スタッフ（理科支援員）	＿＿＿名	＿＿＿時間
10	情報通信技術支援員（ICT 支援員）	＿＿＿名	＿＿＿時間
11	教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）	＿＿＿名	＿＿＿時間
12	医療的ケア看護職員	＿＿＿名	＿＿＿時間
13	1～12 以外で、公費から報酬・謝金を支出していない者（地域のボランティア・企業からの派遣など）	＿＿＿名	＿＿＿時間
14	その他	＿＿＿名	＿＿＿時間

※1･･･校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、担任教師等と連携のうえ、日常生活上の介助（食事、排泄、教室の移動補助等）、発達障害等の児童生徒に対する学習支援、児童生徒の健康・安全確保、周囲の児童生徒の障害理解促進等を行う者。
※2･･･補充学習や発展的な学習など、主として学力向上を目的として学校教育活動のサポートを行う者。

10） 上記の 11.教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）が担っている業務をお答えください。※複数選択可

1. 資料の印刷、配布準備　2. 採点業務の補助　3. 来客対応や電話対応
4. 学校行事や式典等の準備補助　5. 各種データの入力・集計　6. 掲示物の張替
7. 資料の整理　8. 新型コロナウイルス感染症対策のための清掃活動（消毒作業を含む）

11)-1 貴校に設置している部活動の数をお答えください。（中学校・高等学校のみ）

※男女別の部活動はそれぞれ1カウント、男女混合部活動は1カウントとしてください（バレー部など男女別である場合は、男子バレー部1カウント、女子バレー部1カウントの計2カウント、陸上など男女混同である場合は1カウントとします。）　＿＿＿部

11)-2 部活動指導員の人数をお答えください。（中学校・高等学校のみ）（令和4年5月1日現在）

※都道府県費、市町村費、その他の公費のいずれも含む。また、報酬を辞退して従事する部活動指導員も含む。　＿＿＿名

11)-3 すべての部活動指導員の 1 週間の勤務時間を足しあげた合計時間をお答えください（平日・土日それぞれ）。（中学校・高等学校のみ）（令和4年5月1日現在）1 時間未満の時間については 29 分までは切り捨て、30 分以上は切り上げてください。

平日・・・＿＿＿時間　／　土日・・・＿＿＿時間

11)-4 すべての部活動指導員について、11)-3）の合計時間のうち、教員を伴わず単独で指導・引率をしている平均的な 1 週間の時間を足しあげた合計時間をお答えください（平日・土日それぞれ）。（中学校・高等学校のみ）

平日・・・＿＿＿時間　／　土日・・・＿＿＿時間

11)-5 直近1年間で学校が把握している外部指導者の人数をお答えください（中学校・高等学校のみ）

※外部指導者…部活動指導員以外の者で、顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う者。
※謝金等の有無は問わない。
※指導回数や指導時間の頻度は問わない。

＿＿＿名

11)-6 地域クラブと連携して合同で練習を行ったり、地域の指導者に実技指導は任せたりするなど、地域と連携・協力して練習を行っていますか。（中学校・高等学校のみ）

1. はい　2. いいえ

12)-1　貴校には学校運営協議会が設置されていますか。

1．有　　2．無

●設置されている場合は下記のそれぞれについて数字でお答えください。

年間のおおむねの会議開催回数	＿＿＿回	委員の人数	＿＿＿名	委員のうち教職員の人数	＿＿＿名

12)-2　貴校では、地域学校協働活動（地域と学校が連携・協働して行う活動）が実施されていますか。

1．実施されている　　2．実施されていない

13)-1　夏季休業の期間をお答えください（令和4年度）。

※臨時休業の日を除く。

※学校管理規則で定められている夏季休業の開始日または終了日が土曜日、日曜日・祝日と隣接してたまたま夏季休業の開始日が早まったり終了日が遅くなったりした場合は、開始日または終了日には土曜日、日曜日・祝日を含めず、学校管理規則で定められているとおりに回答してください。

※学年ごとに期間が異なる場合は、小学校は第5学年、中学校は第2学年について回答してください。

＿＿＿月＿＿＿日　～　＿＿＿月＿＿＿日

13)-2　夏季休業以外の長期休業期間（冬季休業、春季休業）をお答えください（令和4年度）。

※臨時休業の日を除く。

※学校管理規則で定められている春季休業、冬季休業の開始日または終了日が土曜日、日曜日・祝日と隣接してたまたま春季休業、冬季休業の開始日が早まったり終了日が遅くなったりした場合は、開始日または終了日には土曜日、日曜日・祝日を含めず、学校管理規則で定められているとおりに回答してください。

※学年ごとに期間が異なる場合は、小学校は第5学年、中学校は第2学年について回答してください。

冬季休業：＿＿＿月＿＿＿日　～　＿＿＿月＿＿＿日（令和４年度計画）

春季休業：＿＿＿月＿＿＿日　～　＿＿＿月＿＿＿日（令和４年度計画（学年末休業及び学年始休業と定めている場合は、令和４年度学年末休業開始日から令和５年度学年始休業終了日まで））

14）地域主導の学校・地域交流行事の実施回数（今月（回答月））をお答えください。

今月の行事実施回数（予定を含む）：＿＿＿回　※実施していない場合は、０（ゼロ）とご回答ください。

15）運営に困難をきたしている学級の数をお答えください。

＿＿＿学級　※ない場合は、０（ゼロ）とご回答ください。

16）貴校では今年度、次の取り組みを実施していますか。また実施している場合は回数と時間もお答えください。
（予定も含みます。また、学年や時期によって異なる場合は、学校全体としてのおおよその状況をお書きください。）

A）平日の放課後の補習　　1．実施している　　2．実施していない

●している場合は回数と時間　　週＿＿＿回／1 回＿＿＿分

B）土曜日の学習の指導　　1．実施している（教育課程内）　2．実施している（教育課程外）　3．実施していない

●している場合は回数と時間　　年＿＿＿回／1 回＿＿＿時間

※1 時間未満の時間については 29 分までは切り捨て、30 分以上は切り上げてください。

17)-1　調査時点での貴校における校務支援システム※の導入状況をお答えください。

※**「校務支援システム」**とは、校務分掌に関する業務、教職員間の情報共有、家庭や地域への情報発信、服務管理上の事務、施設管理等を行うことを目的とし、教職員が一律に利用するシステムをいいます。

1．導入している　　2．導入していない

17)-2　貴校では、コンピュータなどの ICT 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。

1．十分ある　　2．少しある　　3．あまりない　　4．全くない

17)-3　貴校では、コンピュータなどの ICT 機器の活用に関して、十分な知識を持った専門スタッフ（教員は除く）がいるなど（ICT 支援員、GIGA スクール運営支援センター、ヘルプデスクなど）、技術的にサポートを受ける体制がありますか。

1．十分ある　　2．少しある　　3．あまりない　　4．全くない

18)-1　貴校における下記の取り組み等の実施回数をお答えください。実施していない場合は 0(ゼロ)とお答えください。

1	職員会議	年間＿＿＿回
2	学校閉庁日※	年間＿＿＿日
3	学校閉庁日の調査週中の日数	＿＿＿日
4	ノー残業デー	月＿＿＿日

5	ノー残業デーの調査週中の日数	＿＿＿日
6	ノー部活デー(中学校・高等学校のみ)	月＿＿＿日
7	ノー部活デーの調査週中の日数(中学校・高等学校のみ)	＿＿＿日

※学校閉庁日…週休日及び休日(祝日及び 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日)以外で、学校施設において、教職員が一斉に年次休暇等を取得するなどして、学校の業務を行わない日をいう。(感染症等による臨時の休業日は含まない。)

18)-2　回答週の学校閉庁日の日にちをお答えください。

＿＿月＿＿日　＿＿月＿＿日　＿＿月＿＿日　＿＿月＿＿日　＿＿月＿＿日

19)　貴校で定められている勤務開始時刻と勤務終了時刻は何時ですか。24 時間制でお答えください。
(定時制課程、通信制課程において、勤務時間のパターンが複数ある場合は、勤務時刻の早い順にお答えください。)

＿＿時＿＿分　～　＿＿時＿＿分	＿＿時＿＿分　～　＿＿時＿＿分	＿＿時＿＿分　～　＿＿時＿＿分

20)-1　貴校では、教員の毎日の出退勤時刻の管理をどのように行っていますか。あてはまるもの 1 つを選んでください。

1. IC カード、タイムカード、パソコンの使用時間等による客観的な方法で把握している　※推奨される方法
2. 校長等の現認により客観的に把握している
3. 庶務事務システムやエクセル等により本人がシステム入力することにより把握している
4. 上記 3. 以外の方法による本人からの自己申告により把握している
5. その他の方法により把握している（　　）
6. 把握していない

20)-2　把握した各教員の勤務時間の電子化の状況について、あてはまるもの 1 つを選んでください。

1. システムで自動的に電子化されている
2. 紙帳簿やシステムで把握した勤務時間を、管理職や勤務時間管理者等が集計や管理用のシステムに手入力して電子化している
3. 電子化していない（紙媒体で管理している等）
4. その他の方法（　　）

21)　貴校における管理職のワークライフバランスマネジメントに関し、下記の各記述について最も当てはまるものを選んでください。

		あてはまる	どちらかというとあてはまる	どちらともいえない	どちらかというとあてはまらない	まったくあてはまらない
1	同僚教員が仕事や仕事以外の悩みも気軽に相談できるようにしている	1	2	3	4	5
2	同僚教員に仕事以外で問題が発生した時に、その教員の業務遂行を支援できるようにしている	1	2	3	4	5
3	同僚教員の利益と学校教育目標をうまく合致させるために、職場をどう組織化すればよいか考えている	1	2	3	4	5
4	仕事だけでなく仕事以外の生活を大切にしていることを同僚教員に示している	1	2	3	4	5

22)　貴校における管理職が自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていますか。

1. 整えている　2. どちらかといえば整えている　3. どちらかといえば整えていない　4. まったく整えていない

23)-1　貴校では、学校の業務に関する諸課題に対応するために、教育委員会や首長部局で配置・契約している弁護士に相談したことがありますか。(令和3年度中)

1. ある　　2. ない

23)-2 「1. ある」と回答した場合、相談した事案件数をお答えください。
(1事案につき複数回相談した場合は、1件とカウントします。)(令和3年度中)※複数選択可

1	学校事故対応に関すること	＿＿＿件
2	保護者対応に関すること	＿＿＿件
3	地域住民対応に関すること	＿＿＿件
4	いじめに関すること	＿＿＿件
5	児童生徒等同士のトラブルに関すること	＿＿＿件

6	児童生徒等による非行・暴力行為に関すること	＿＿＿件
7	虐待に関すること	＿＿＿件
8	教職員に関すること	＿＿＿件
9	学校徴収金に関すること	＿＿＿件
10	その他（　　）	＿＿＿件

学校調査②

※本調査では、学校の働き方改革に関する取組等について、詳細をお伺いします。
※縮減、精選、見直し、簡素化については、貴校においておおむね令和元年度（平成 31 年度）以降に取り組んだ場合に選択してください。

1） 貴校では、職員の勤務時間縮減に向けて以下の取組を行っていますか。（複数回答可）

1. 登下校時の対応は、学校以外の主体（地方公共団体、教育委員会、保護者、スクールガード・リーダー、地域人材等）が中心に対応している
2. 放課後から夜間等における見回り、児童生徒が補導された時の対応は、学校以外の主体（地方公共団体、教育委員会、保護者・地域人材等）が中心に対応している
3. 学校徴収金（給食費を含む）の徴収・管理は、教職員が関与しない方法で徴収・管理又は地方公共団体や教育委員会が徴収・管理等を行っている
4. 地域人材等との連絡調整は、窓口となる学校職員が直接行うのではなく、地域学校協働活動推進員（社会教育法第 9 条の 7）等の学校以外の主体が中心的に行うよう、地方公共団体や教育委員会等において必要な取組を実施している
5. 学校における調査・統計への回答等は、教育課程の編成・実施や生徒指導など教師の専門性に関わるもの以外の調査については、事務職員等が中心となって回答している
6. 児童生徒の休み時間における対応は、地域人材等の協力を得ている
7. 校内清掃は、地域人材の協力を得ることや民間委託等をしている
8. 部活動について、部活動指導員や外部の人材の参画を図っている
9. 給食時は、栄養教諭等と連携するほか、地域人材の協力を得ている
10. 授業準備について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている
11. 学習評価や成績処理の補助的業務について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている
12. 進路指導のうち、就職先の情報収集等について、事務職員や支援スタッフ等の参画・協力を進めている
13. 教師の業務の負担を軽減するために、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）をはじめとした支援スタッフの参画を図っている
14. 教師の業務の負担を軽減するために、TT（Team Teaching）や習熟度別学習、放課後の補習、不登校児童生徒への支援等を行う支援スタッフの参画を図っている
15. 勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせ等に備えた留守番電話の設置やメールによる連絡対応の体制を整備している
16. 学校事務の共同実施をしている
17. 労働安全衛生法に定められているストレスチェックを実施している
18. いずれもあてはまるものはない

2） 貴校では、学校の働き方改革又は業務改善に関して、時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等を策定していますか。（複数選択可）

1. 学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている
2. 業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている
3. 勤務時間数等の定量的な目標を設定している　　4. 定性的な目標を設定している　　5. 策定していない

3） 貴校では、学校における業務改善の取組の促進にかかる定量的なフォローアップを実施し、業務改善のPDCAサイクルを構築していますか。構築している場合は自己点検の頻度を選択してください。

1. 1 年に 2 回以上　　2. 1 年に 1 回　　3. 1 年に 1 回未満　　4. 構築していない

4） 貴校では、学校の働き方改革や業務改善状況の公表等に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）

1. 業務改善状況を公表している　　2. 在校等時間等について公表している
3. 保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している
4. いずれもあてはまるものはない

5） 貴校では、有給休暇の取得促進のため、有給休暇の年間取得目標を設定していますか。

1. はい　　2. いいえ

6） 貴校では、教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しに関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）

1. 教科に係る一コマの時間（単位時間）を工夫している
2. 一日当たりのコマ数を工夫している
3. 教科以外の日課の時間削減（掃除時間等の縮減）を図っている　　4. 定期テストの回数を縮減している
5. 二学期制を採用している　　6. その他（　　）　　7. 実施していない

7） 貴校では、一斉下校日の設定をしていますか。
1．はい　　2．いいえ　　●(設定している場合)一斉下校日の設定の頻度　　一ヵ月に_____日

8） 貴校では、学校経営・学年経営の効率化に関する以下の取組を実施していますか。(複数回答可)
1．校務分掌の見直しを図っている　　2．共有カレンダー（デジタル）を用いてタスクを共有している
3．学校日誌をデジタル化している
4．学級通信の見直し（学級だより・学年だよりを学年だより・学校だより等に整理・統合するなど）を行っている
5．その他（　　）　6．実施していない

9)貴校では、学校行事に関する以下の取組を実施していますか。(複数回答可)
※おおむね令和元年度以降の取組を念頭に回答してください。
1. 精選等(行事や内容を絞る、行事間の関連や統合を図るなど)
●(実施している場合)以下から実施している学校行事を選択(複数選択可)

【儀式的行事】
□入学式　□卒業式　□始業式　□終業式　□修了式　□立志式　□開校記念に関する儀式
□教職員の着任式・離任式　□新入生との対面式　□朝会　□その他

【文化的行事】
□学芸会　□文化祭　□学習発表会　□展覧会　□作品展示・発表会　□音楽会　□読書感想発表会
□クラブ発表会　□音楽鑑賞会　□映画や演劇の鑑賞会　□美術館見学会　□地域の伝統文化等の鑑賞会
□伝統芸能等の鑑賞会　□その他

【健康安全・体育的行事】
□健康診断　□薬物乱用防止指導　□防犯指導　□交通安全指導　□運動会（体育祭）　□競技会　□球技大会
□避難訓練　□健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事　□その他

【遠足（旅行）・宿泊的行事】
□遠足　□修学旅行　□移動教室　□野外活動　□集団宿泊活動　□その他

【勤労生産・奉仕的行事】
□飼育栽培活動　□校内美化活動　□地域社会の清掃活動　□公共施設等の清掃活動　□福祉施設との交流活動
□職場体験活動　□各種の生産活動　□上級学校や職場の訪問・見学　□学校内外のボランティア活動　□その他

2. 準備(練習を含む)の簡素化や縮減
●(実施している場合)以下から実施している行事を選択(複数選択可)

【儀式的行事】
□入学式　□卒業式　□始業式　□終業式　□修了式　□立志式　□開校記念に関する儀式
□教職員の着任式・離任式　□新入生との対面式　□朝会　□その他

【文化的行事】
□学芸会　□文化祭　□学習発表会　□展覧会　□作品展示・発表会　□音楽会　□読書感想発表会
□クラブ発表会　□音楽鑑賞会　□映画や演劇の鑑賞会　□美術館見学会　□地域の伝統文化等の鑑賞会
□伝統芸能等の鑑賞会　□その他

【健康安全・体育的行事】
□健康診断　□薬物乱用防止指導　□防犯指導　□交通安全指導　□運動会（体育祭）　□競技会　□球技大会
□避難訓練　□健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事　□その他

【遠足（旅行）・宿泊的行事】
□遠足　□修学旅行　□移動教室　□野外活動　□集団宿泊活動　□その他

【勤労生産・奉仕的行事】
□飼育栽培活動　□校内美化活動　□地域社会の清掃活動　□公共施設等の清掃活動　□福祉施設との交流活動
□職場体験活動　□各種の生産活動　□上級学校や職場の訪問・見学　□学校内外のボランティア活動　□その他

3. 新たに精選等や準備の簡素化・縮減を実施している行事はない

10） 貴校では、校内の職員会議(朝礼、終礼、打合せ等を含む)の効率化に関する以下の取組を実施していますか。(複数回答可)
1．会議、打合せを精選している　　2．会議、打合せをオンライン化している
3．連絡掲示板、グループウェア等のオンラインでの伝達事項の共有による会議、打合せ回数の縮減を行っている
4．会議、打合せ資料のペーパーレス化を行っている　5．その他（　　）　6．実施していない

11） 貴校では、学習評価や成績処理について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1．校務支援システムを活用した成績処理（名簿の共有化など）　2．指導要録の電子化
3．自動採点システムの活用　4．その他（　　）　5．実施していない

12） 貴校では、授業準備について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1．教材や指導案をクラウド等で共有している　2．授業等でクラウド等を活用した資料配付・課題提出を行っている
3．週案や学校日誌をデジタル化している　4．その他（　　）　5．実施していない

13） 貴校では、個別に支援が必要な児童生徒・家庭への対応について、以下の専門的な人材等の参画を図っていますか。（複数回答可）
1．スクールカウンセラーによる支援　2．スクールソーシャルワーカーによる支援
3．特別支援教育に関する専門人材による支援　4．日本語指導ができる支援員による支援
5．いずれもあてはまるものはない

14） 貴校では、学校と保護者等間における連絡手段について、メールや Web アンケートフォーム等を活用した以下のデジタル化の取組を実施していますか。（複数回答可）
1．欠席・遅刻連絡をデジタル化している　2．保護者向けアンケートをデジタル化している
3．学校からのお便りをデジタル化している　4．その他（　　）
5．実施していない

15） 貴校では、研修に関して以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1．校内研修を精選している　2．教育委員会等による研修がオンラインで行われている
3．実施していない

16） 貴校の校務支援システムに備わっている機能を選択してください。（複数回答可）
1．児童生徒情報管理・児童生徒名簿　2．出欠管理・出席簿　3．通知表　4．指導要録　5．成績管理
6．グループウェア機能（掲示板、メール、予定表・スケジュール、文書共有・文書閲覧等）
7．保健管理機能（健康診断管理、保健室来室管理、保健日誌等）　8．学校日誌
9．週案管理・週案簿/時数管理・時数集計　10．年間計画（年間指導計画）　11．進級先・就職先管理
12．教育委員会向け機能（情報出力・連絡）　13．行事出席管理　14．在学証明書　15．勤怠管理
16．CSV 出力　17．学校徴収金　18．学校備品管理　19．庶務事務（旅費、出張関係等）

17)-1 貴校に設置されている印刷機やコピー機について、ご回答ください。
※輪転機や複合機等、複数種類の機械がある場合、大量印刷する際に使用する機械について回答

設置台数:　1）印刷のみ_____台　2）丁合機能付き_____台　3）丁合、ステープラー機能付き_____台

17)-2 貴校の管理職や事務職員以外の教員等の使用状況について、ご回答ください。
1．いつも使える　2．使えることが多い　3．使えないことが多い（使わないことが多い）
4．使えない（使わない）　5．教員が使う必要がない

17)-3 17)-2で1．2．と答えた場合、その理由をご回答ください。（複数回答可）
1．十分な台数がある　2．早く印刷できる　3．丁合機能がある
4．ステープル機能がある　5．その他（　　）

17)-4 17)-2で3．4．と答えた場合、その理由をご回答ください。（複数回答可）
1．枚数等の使用制限がある　2．台数等が足りない　3．主として事務職員など教員以外の者が使用
4．複合機で対応している　5．その他（　　）

17)-5 17)-2で5．と答えた場合、その理由をご回答ください。（複数回答可）
1．ICT 端末を活用して電子媒体で配布している
2．スクール・サポート・スタッフなどの支援人材が印刷してくれる
3．その他（　　）

18） （印刷機・コピー機が配置されている場合）貴校の印刷室（職員室外に設けられた印刷機器を集めた部屋）の有無についてご回答ください。
1．あり　2．なし　●（ありの場合）職員室と印刷室との往復に要する時間
※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。　_____分
●（ありの場合）印刷室に配置されている印刷機、コピー機の配置台数
印刷機：_____台　コピー機：_____台

19） 貴校の学校種をご回答ください。
1．小学校　　2．中学校　　3．高等学校

＜19)-1～22)は、中学校、高等学校のみ回答＞

19)-1　貴校では、都道府県が策定している「運動部活動の在り方に関する方針」や「文化部活動の在り方に関する方針」、市町村が策定している「活動方針」を踏まえ、各学校における部活動に係る活動方針等を策定していますか。
1．策定している　　2．策定していない

19)-2 （策定している場合）1 日のおおむねの活動上限時間についてご回答ください。
※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。
○学期中（平日）　1．設定している（＿＿＿＿時間）　2．設定していない
○学期中（休日）　1．設定している（＿＿＿＿時間）　2．設定していない
○長期休業中　1．設定している（＿＿＿＿時間）　2．設定していない

19)-3 （策定している場合）週当たりのおおむねの休養日についてご回答ください。
※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。
○学期中（平日）　1．設定している（＿＿＿＿日）　2．設定していない
○学期中（休日）　1．設定している（＿＿＿＿日）　2．設定していない
○長期休業中　1．設定している（＿＿＿＿日）　2．設定していない

19)-4 （策定している場合）大会前などは、ガイドラインを超えて活動することを容認するような例外規定を設けていますか。
1．設けている　　2．設けていない

19)-5 （策定している場合）学校のホームページに掲載する等、活動方針を公表していますか。
1．公表している　　2．公表していない

19)-6 （策定している場合）活動計画（ガイドライン）をどのようにして徹底させていますか。（複数回答可）
1．各部活動の練習計画の確認およびガイドラインに沿った練習計画の作成を行わせた
2．前月のうちに部活動計画書を顧問に提出させ、管理職が点検する
3．年間を通し、効果的な練習方法を取り入れ、ゆとりある部活動を計画的に実施する
4．その他（　　）

20） 貴校では、令和元年度以降、部活動の数は減りましたか。
1．はい　　2．いいえ
●上記で「はい」の場合、令和元年度に貴校に設置されていた部活動の数をお答えください。
※男女別の部活動はそれぞれ1カウント、男女混合部活動は1カウントとしてください（バレー部など男女別である場合は、男子バレー部1カウント、女子バレー部1カウントの計2カウント、陸上など男女混同である場合は1カウントとします。）
＿＿＿部

21） 貴校における部活動の地域移行に関して、以下の問にご回答ください。

1	令和元年度以降に休日の活動の一部について地域移行をした部活動の数	＿＿＿部
2	令和元年度以降に休日の活動の全部について地域移行をした部活動の数	＿＿＿部
3	兼職・兼業の許可を受けて地域部活動に参加している教員の数（令和４年５月１日現在）	＿＿＿名

22） 貴校では、部活動の顧問（教員）の負担軽減に関する以下の取組を実施していますか。（複数回答可）
1．合同トレーニングまたは合同部活動の実施により指導にあたる顧問数を限定している
2．複数の顧問が輪番で部活動指導にあたっている
3．部活動内の連絡においてグループウェア等を活用している
4．その他（　　）
5．実施していない

23）ご回答者様の情報をご入力ください（回答内容等についてのご確認のため、連絡を差し上げることがございます）。

お名前		役職名		あなたの学校の教員調査の回答対象者数（ID 配布数）	名
電話番号		e-mail			

アンケート（教員調査）

1） 性別　　1．男性　　2．女性　　3．回答しない

2） 年齢（令和4年4月1日現在）　　＿＿＿＿歳

3)-1 職名　　1．校長　2．副校長・教頭　3．主幹教諭　4．指導教諭　5．教諭
6．講師　7．養護教諭　8．栄養教諭　9．実習助手　10．その他（　　）

3)-2 どの免許状を用いて教えていますか。（あてはまるものすべて）　1．普通免許状　2．特別免許状　3．臨時免許状

3)-3 あなたの所持している普通免許状を選択してください。（あてはまるものすべて）
1．幼稚園教諭免許状　2．小学校教諭免許状　3．中学校教諭免許状
4．高等学校教諭免許状　5．特別支援学校教諭免許状　6．養護教諭免許状　7．栄養教諭免許状

3)-4 3)-3で中学校教諭免許状を選択した場合、教科も選択してください。（あてはまるものすべて）
1．国語　2．社会　3．数学　4．理科　5．音楽　6．美術　7．保健体育　8．保健　9．技術　10．家庭
11．職業（職業指導、職業実習含む）12．外国語（英語、その他の言語）　13．宗教

3)-5 あなたが担当している学科を選んでください。（あてはまるものすべて）（高等学校のみ）
1．普通（学際領域、地域社会等含む）　2．農業　3．工業　4．商業　5．水産
6．家庭　7．看護　8．情報　9．福祉　10．総合学科　11．その他（　　）

3)-6 あなたは1年単位の変形労働時間制の適用を受けていますか。　1．受けている　2．受けていない

3)-7 雇用形態　1．正規任用（再任用除く）　2．再任用　3．臨時的任用または任期付採用（常勤）

3)-8 3)-7 で「2. 再任用」を選択した場合、定年退職前の職名
1．校長　2．副校長・教頭　3．主幹教諭　4．指導教諭　5．教諭
6．講師　7．養護教諭　8．栄養教諭　9．実習助手　10．その他（　　）

4)-1 教職歴・行政職歴　教員通算：＿＿＿＿年＿＿＿＿か月（令和４年４月１日現在）
（うち正規　：＿＿＿＿年＿＿＿＿か月、うち再任用　：＿＿＿＿年＿＿＿＿か月、
うち臨時的任用：＿＿＿＿年＿＿＿＿か月、うち非常勤講師：＿＿＿＿年＿＿＿＿か月）
行　政：　通算＿＿＿＿年＿＿＿＿か月　※行政歴には、教育委員会本庁、教育センター、首長部局のいずれも含みます（令和４年４月１日現在）

4)-2 現在校の勤務期間（回答時点の前月現在）　＿＿＿＿年＿＿＿＿か月

4)-3 民間企業等で正規雇用されていた期間：　通算＿＿＿＿年＿＿＿＿か月　※NPO、独立行政法人などでの勤務歴も含みます（令和４年４月１日現在）

＜５）-１～５）-６は小学校の先生にお伺いします（中学校・高等学校の先生は６）にお進みください）。＞

5)-1 あなたは学級担任をしていますか。あてはまる番号1つを選んでください。
1．学級担任（単式）をしている・・・＿＿＿＿年生　2．複式学級の担任をしている
3．特別支援学級の担任をしている
4．学級担任をしておらず主に専科指導（各教科等の授業を学級担任に代わって単独で担当するもの。少人数で行う場合も含む。）を担当している
5．学級担任をしておらず通級指導または日本語指導を担当している　6．1～5 のいずれにも当てはまらない

※5)-1 で「1. 学級担任（単式）をしている」「2. 複式学級の担任をしている」「3. 特別支援学級の担任をしている」と答えた先生に伺います。

5)-2 あなたが担任をしている学級の児童数は何名ですか。

担任をしている学級の全児童数	うち長期欠席者（不登校）の児童数	うち生活保護や就学援助を受けている児童数	うち日本語指導を受けている児童数	うち通級による指導を受けている児童数 ※「1.学級担任（単式）」「2.複式学級の担任」の先生のみ、ご回答ください
＿＿＿＿名	＿＿＿＿名	＿＿＿＿名	＿＿＿＿名	＿＿＿＿名

※交流及び共同学習として、特別支援学級の児童を受け持っている場合、その児童は担任している学級の児童数に含めてください。

※5)-1 で「1. 学級担任（単式）をしている」「2. 複式学級の担任をしている」「3. 特別支援学級の担任をしている」と答えた先生に伺います。

5)-3 あなたは他の学級担任と授業交換を行っていますか。　1．行っている　2．行っていない

※5)-1 で「1. 学級担任（単式）をしている」「2. 複式学級の担任をしている」「3. 特別支援学級の担任をしている」と答えた先生に伺います。

5)-4 他の学級担任と授業交換を行っている場合、1週間のうち授業交換を行っているおおむねのコマ数について、小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。　週＿＿＿コマ　※小学校では 1 コマ 45 分相当で換算

※5)-1 で「4. 学級担任をしておらず主に専科指導を担当している」と答えた先生に伺います。

5)-5 あなたの専科指導の教科・領域は何ですか。 ※主なもの1つを選んでください。

1. 国語（書写を除く） 2. 書写 3. 社会 4. 算数 5. 理科 6. 生活
7. 音楽 8. 図画工作 9. 家庭 10. 体育 11. 外国語活動・外国語 12. その他（ ）

※5)-1 で「4. 学級担任をしておらず主に専科指導を担当している」と答えた先生に伺います。

5)-6 授業を担当している学級（特別支援学級は除く）の、1 学級当たりの平均児童数は何名ですか。

＿＿＿名 ※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。

＜6）-1～9）-4 は中学校・高等学校にお伺いします（小学校の先生は 10）にお進みください）。＞

6)-1 あなたは学級担任をしていますか。あてはまる番号1つを選んでください。（中学校のみ）

1. 学級担任（単式）をしている・・・＿＿＿＿年生
2. 複式学級の担任をしている 3. 特別支援学級の担任をしている
4. 学級担任をしておらず特定の教科（少人数指導※を含む）を主に担当している
5. 学級担任をしておらず、通級指導または日本語指導を担当している
6. 1～5 のいずれにも当てはまらない

※各教科等の授業において、1 つの学級を習熟度別に 2 つのグループに分けたり、2 つの学級を 3 つのグループに分けたりするなどして少人数で授業を行う授業形態・方法のこと。

6)-1 あなたは学級担任をしていますか。あてはまる番号1つを選んでください。（高等学校のみ）

1. 学級担任（単式）をしている・・・＿＿＿＿年生
2. 学級担任をしておらず特定の教科（少人数指導※を含む）を主に担当している
3. 学級担任をしておらず、通級指導または日本語指導を担当している
4. 1～3 のいずれにも当てはまらない

※各教科等の授業において、1 つの学級を習熟度別に 2 つのグループに分けたり、2 つの学級を 3 つのグループに分けたりするなどして少人数で授業を行う授業形態・方法のこと。

※6)-1 で「1. 学級担任（単式）をしている」「2. 複式学級の担任をしている」「3. 特別支援学級の担任をしている」と答えた方に伺います。

6)-2 担任をしている学級の生徒数は何人ですか。

担任をしている学級の全生徒数	うち長期欠席者（不登校）の生徒数	うち生活保護や就学援助を受けている生徒数	うち日本語指導を受けている生徒数	うち通級による指導を受けている生徒数 ※中学校の「1.学級担任（単式）」「2.複式学級の担任」の先生のみご回答ください
＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名	＿＿＿名

※中学校においては、交流及び共同学習として、特別支援学級の生徒を受け持っている場合、その生徒は担任している学級の生徒数に含めてください。

7)-1 あなたが担当している教科は何ですか。※主なもの1つを選んでください。（中学校のみ）

1. 国語 2. 社会 3. 数学 4. 理科 5. 音楽 6. 美術
7. 保健体育 8. 技術・家庭 9. 外国語 10. その他（ ） 11. 教科を担当していない

7)-1 あなたが担当している教科は何ですか。※主なもの1つを選んでください。（高等学校のみ）

1. 国語 2. 地理歴史 3. 公民 4. 数学 5. 理科 6. 保健体育 7. 芸術
8. 外国語 9. 家庭 10. 情報 11. 農業 12. 工業 13. 商業 14. 水産
15. 看護 16. 福祉 17. その他（ ） 18. 教科を担当していない

7)-2 あなたが授業を担当している学級の 1 学級当たりの平均生徒数は何人ですか。

＿＿＿名 ※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。

8)-1 あなたは部活動の顧問をしていますか。（ 8）～9）は、中学校、高等学校のみ） 1. 顧問をしている 2. 顧問をしていない

※以下、9）の最後まで、顧問をしている方のみお答えください。

※8)-2～9)-4 については、顧問を兼任している場合は、最も負担が重いものについてお答えください。

8)-2 8)-1で「1. 顧問をしている」と答えた場合、あなたが担当している部活動は週平均〇日（うち土日〇日）、週計〇時間（うち土日計〇時間）程度活動していますか。

週平均： ＿＿＿＿日 （うち土日 ：＿＿＿日） 週計 ： ＿＿＿＿時間（うち土日計：＿＿＿時間）

8)-3 8)-1で「1. 顧問をしている」と答えた場合、あなたは担当部活動について指導可能な知識や技術を備えていると思いますか。

1. 十分備えている 2. ある程度備えている 3. どちらともいえない 4. あまり備えていない 5. 全く備えていない

8)-4 8)-1で「1. 顧問をしている」と答えた場合、あなたが担当している部活動は何ですか。※主なもの1つを選んでください。

1. 野球部 2. サッカー部 3. バレーボール部 4. バスケットボール部 5. 陸上部
6. 卓球部 7. テニス部（硬式・軟式） 8. 柔道部 9. 剣道部 10. バドミントン部
11. ソフトボール部 12. 水泳部 13. 吹奏楽部 14. 美術部 15. 合唱部
16. その他運動部（ ） 17. その他文化系部（ ）

9)-1　8)-1で「1. 顧問をしている」と答えた場合、あなたの学校における部活動に係る活動方針等の内容を把握していますか。

1. 全て把握している　2. 一部把握している　3. 方針等は策定されているが、内容は全く把握していない
4. 方針等は策定されていない　5. 方針等が策定されているかどうか把握していない

9)-2　9)-1で「1. 全て把握している」、「2. 一部把握している」と答えた場合、あなたは、あなたが顧問をしている部活動において、学校における部活動に係る活動方針等を踏まえた活動を行っていますか。

1. 全て行っている　2. 一部行っている　3. 全く行っていない

9)-3　あなたが顧問をしている部活動において、活用している部活動指導員の人数をお答えください。活用していない場合は「0」と入力してください。（回答日現在）

※部活動指導員…学校教育法施行規則に規定された校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行う者。
※都道府県費、市町村費、その他の公費のいずれも含む。また、報酬を辞退して従事する部活動指導員も含む。　＿＿＿名

9)-4　あなたが顧問をしている部活動において、指導に参加している外部指導者の人数をお答えください。参加していない場合は「0」と入力してください。（回答日現在）

※外部指導者…部活動指導員以外の者で、顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う者。
※謝金等の有無は問わない。
※指導回数や指導時間の頻度は問わない。　＿＿＿名

＜全ての先生がお答えください。＞

10)　あなたは主任（主事）を担当していますか。※当てはまるもの全てを選んでください。

1. 教務主任　2. 生徒指導主事（生徒指導主任）　3. 進路指導主事（進路指導主任）
4. 保健主事（保健主任）　5. 研究主事（研究主任）　6. 研修主事（研修主任）　7. 庶務主任
8. 学年主任　9. 教科主任　10. その他主任（　　）　11. 担当していない

11)　あなたはどのような校務分掌を担当していますか。 ※当てはまるもの全てを選んでください。
※校務分掌が主担当と副担当とに分かれている場合は、主担当となっている校務分掌について全て選んでください。

1. 教務　2. 生活・生徒指導（教育相談含む）　3. 進路指導　4. 保健・環境
5. 研修・研究　6. 庶務・会計　7. 特別支援教育コーディネーター　8. 児童会・生徒会
9. 広報　10. 渉外・地域連携　11. 道徳教育推進教師　12. 防災を含む安全教育・安全管理
13. 情報教育・環境整備　14. その他（　　）　15. 担当していない

12)-1 あなたは 1 週間に何コマの授業を担当していますか。小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。

週＿＿＿＿コマ（令和４年度）　※小学校では 1 コマ 45 分、中高では 1 コマ 50 分相当で換算
うちティームティーチングの補助的な役割の指導
週＿＿＿＿コマ（令和４年度）　※小学校では 1 コマ 45 分、中高では 1 コマ 50 分相当で換算

12)-2（兼務発令がある方のみ）あなたの兼務先の学校種をお答えください。（あてはまるものすべて）

1. 小学校（義務教育学校前期課程含む）　2. 中学校（義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を含む）
3. 高等学校（中等教育学校後期課程含む）　4. 特別支援学校

12)-3 あなたは兼務校で 1 週間におおむね何コマの授業を担当していますか。小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。

週＿＿＿＿コマ（令和４年度）　※小学校では 1 コマ 45 分、中高では 1 コマ 50 分相当で換算
※複数の学校種を兼務している場合は、合算してお答えください。

13)　あなたが令和3年度の1年間で職務の専門性向上や能力開発等の自己研鑽に投じた費用の総額についてお答えください。※大学院への修学費用、各種の専門書購入費用、通信講座費等の私費負担額。ただし、免許状更新講習の受講にかかる費用は除く。
※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。　＿＿＿＿万円（令和３年度）

14)　昨年（令和 3 年 1 月～12 月）にあなたに付与された有給休暇の日数（前年からの繰越分も含む）と、あなたが取得した有給休暇は何日程度でしたか。

※昨年の教員としての勤務が 1 年に満たない場合は 99 を入力してください。
※小数点未満の数は四捨五入して整数でお答えください。　付与日数：＿＿＿＿日　取得日数：＿＿＿＿日

15)　あなたのご自宅から学校への通勤時間はどれくらいですか。1 分単位でお答えください。

通勤時間：＿＿＿＿分　※1 分未満の数は四捨五入してお答えください。

16)-1　あなたにはお子様がいらっしゃいますか（調査時点）。　1. いる　2. いない

●お子様がいらっしゃる場合は全部で何人ですか。　＿＿＿＿人
●お子様がいらっしゃる場合は一番年下のお子様の年齢（満年齢）はおいくつですか。　満＿＿＿＿歳

16)-2　お子様がいることで職場から勤務時間や業務内容に配慮がありますか。　1. 配慮がある　2. 特別な配慮はない

16)-3　これまでに育児休業をどのぐらい取得したことがありますか。最も期間が長かったお子様についてお答えください。

1. ない　2. ある（1 ヶ月未満）　3. ある（1 ヶ月以上 6 ヶ月未満）　4. ある（6 ヶ月以上 1 年未満）　5. ある（1 年以上）

17)-1　あなたには現在介護を要する方がいらっしゃいますか。

1. 自宅に介護が必要な人がいる　2. 自宅外に介護が必要な人がいる　3. 介護を要する人はいない

17)-2 介護が必要な方がいることで、職場から勤務時間や業務内容に配慮がありますか。 1. 配慮がある 2. 特別な配慮はない

18)-1 現在、あなたと同居している方をすべて選んでください。

1. 単身で住んでいる 2. 配偶者（パートナーを含む） 3. 子 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 孫の配偶者
7. 親 8. 配偶者の親 9. 祖父母 10. 配偶者の祖父母 11. 兄弟姉妹 12. その他（ ）

18)-2 **【配偶者（パートナーを含む）がいらっしゃる方にお聞きします】**あなたの配偶者（パートナーを含む）の現在のお仕事について。以下の a)～b)について、あてはまる番号1つずつに〇をつけて下さい。

a) 現在、仕事についていますか

1. 働いていない 2. 教員（フルタイム） 3. 教員（短時間勤務） 4. 教員以外の勤め人（正規雇用）
5. 教員以外の勤め人（パート・アルバイト） 6. 教員以外の勤め人（派遣・契約） 7. 自営業 8. 家族従業者※
9. その他（ ） ※自営業主の家族で、その自営業主の営む事業に従事している者。

b) 通常の一週間の平均勤労時間 1. ゼロ（働いていない） 2. 15 時間以下 3. 16～34 時間 4. 35～41 時間
5. 42～48 時間 6. 49～59 時間 7. 60 時間以上

※19)～27)の質問については、定型文での質問をしています。回答者ご自身の解釈でお答えください。

19) 仕事についての各々の記述について、現在の状況に最も当てはまると感じる番号を選んでください。

		全くそうではない	少しそうである	まあそうである	非常にそうである
1	あまりに仕事が多すぎる	1	2	3	4
2	仕事量が多くてこなしきれない	1	2	3	4
3	猛烈に働くことが必要だ	1	2	3	4
4	期限に追われて仕事をすることがよくある	1	2	3	4
5	仕事に行き詰まることがよくある	1	2	3	4
6	複雑で困難な仕事が多い	1	2	3	4
7	これまでの経験だけでは対処できない仕事をすることがよくある	1	2	3	4
8	自分の仕事について、自分の意見を反映することができる	1	2	3	4
9	仕事の進め方を自分で決めることができる	1	2	3	4
10	仕事のペースを自分で決めることができる	1	2	3	4
11	職場で人間関係のトラブルがよくある	1	2	3	4
12	職場のメンバー間の意思疎通がよくいっていない	1	2	3	4
13	職場や仕事先に苦手な人がいる	1	2	3	4
14	職場の人たちは、自分の仕事がスムーズにいくように配慮してくれる	1	2	3	4
15	職場の人たちと気軽に話ができる	1	2	3	4
16	仕事で困難なことが起きた場合、職場の人たちの援助・助言がえられる	1	2	3	4
17	職場の人たちは自分の個人的な問題の相談にものってくれる	1	2	3	4
18	やりがい・誇りをもてる仕事をしている	1	2	3	4
19	自分の能力が発揮できる仕事である	1	2	3	4
20	達成感や満足感を得られる仕事をしている	1	2	3	4

20) 以下の人生についての質問で、あなたの感じ方を最もよく表している段階を、1から7までの数字のいずれかでお答えください。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
①あなたは、自分のまわりで起こっていることがどうでもいい、という気持ちになることがありますか。	（まったくない）	1	2	3	4	5	6	7	（とてもよくある）
②あなたは、これまでによく知っていると思っていた人の、思わぬ行動に驚かされたことがありますか。	（まったくなかった）	1	2	3	4	5	6	7	（いつもそうだった）
③あなたは、あてにしていた人にがっかりさせられたことがありますか。	（まったくなかった）	1	2	3	4	5	6	7	（いつもそうだった）
④今まで、あなたの人生は、	（明確な目標や目的はまったくなかった）	1	2	3	4	5	6	7	（とても明確な目標や目的があった）
⑤あなたは、不当な扱いを受けているという気持ちになることがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）
⑥あなたは、不慣れな状況にいると感じ、どうすればよいかわからないと感じることがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）
⑦あなたが毎日していることは	（喜びと満足を与えてくれる）	1	2	3	4	5	6	7	（つらく退屈である）
⑧あなたは、気持ちや考えが非常に混乱することがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）
⑨あなたは、本当なら感じたくないような感情をいだいてしまうことがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）
⑩どんな強い人でさえ、ときには「自分はダメな人間だ」と感じることがあるものです。あなたはこれまで「自分はダメな人間だ」と感じたことがありますか。	（まったくなかった）	1	2	3	4	5	6	7	（よくあった）
⑪何かが起きたとき、ふつう、あなたは	（そのことを過大に評価したり、過少に評価してきた）	1	2	3	4	5	6	7	（適切な見方をしてきた）
⑫あなたは、日々の生活で行っていることにほとんど意味がない、と感じることがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）
⑬あなたは、自制心を保つ自信がなくなることがありますか。	（とてもよくある）	1	2	3	4	5	6	7	（まったくない）

21） あなたは過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

		全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
1	神経過敏に感じましたか。	1	2	3	4	5
2	絶望的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
3	そわそわ落ち着かなく感じましたか。	1	2	3	4	5
4	気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。	1	2	3	4	5
5	何をするのも骨折りだと感じましたか。	1	2	3	4	5
6	自分は価値のない人間だと感じましたか。	1	2	3	4	5

22） あなたが、過去 1 か月間に少なくとも週 3 回以上経験したものを選んでください（1～8それぞれ 1 つ）。

1．寝床についてから実際に眠るまで、時間がかかりましたか。
1．いつも寝つきはよい　2．いつもより少し時間がかかった
3．いつもよりかなり時間がかかった　4．いつもより非常に時間がかかった、あるいは全く眠れなかった

2．夜間、睡眠の途中で目が覚めましたか。
1．問題になるほどのことはなかった　2．少し困ることがある　3．かなり困っている
4．深刻な状態、あるいは全く眠れなかった

3．希望する起床時間より早く目覚めて、それ以降、眠れないことはありましたか。
1．そのようなことはなかった　2．少し早かった　3．かなり早かった　4．非常に早かった、あるいは全く眠れなかった

4．夜の眠りや昼寝も合わせて、睡眠時間は足りていましたか。
1．十分である　2．少し足りない　3．かなり足りない　4．全く足りない、あるいは全く眠れなかった

5．全体的な睡眠の質について、どう感じていますか。
1．満足している　2．少し不満である　3．かなり不満である　4．非常に不満、あるいは全く眠れなかった

6．日中の気分は、いかがでしたか。　1．いつもどおり　2．少し滅入った　3．かなり滅入った　4．非常に滅入った

7．日中の身体的および精神的な活動の状態は、いかがでしたか。
1．いつもどおり　2．少し低下した　3．かなり低下した　4．非常に低下した

8．日中の眠気はありましたか。　1．全くなかった　2．少しあった　3．かなりあった　4．激しかった

23） あなたは、どのくらいの頻度で、現在の仕事を辞めようと真剣に考えたことがありますか。
1．全くない　2．ほとんどない　3．ときどきある　4．やや頻繁にある　5．かなり頻繁にある　6．非常に頻繁にある

24） 次の3つの質問文は、仕事に関してどう感じているかを記述したものです。各文をよく読んで、あなたが仕事に関してそのように感じているかどうかを判断してください。そのように感じたことが一度もない場合は、0（ゼロ）を、感じたことがある場合はその頻度に当てはまる数字（1から6）を 1 つ選んでください。

		0／全くない	1／ほとんど感じない／1 年に数回以下	2／めったに感じない／1 ヶ月に 1 回以下	3／時々感じる／1 ヶ月に数回	4／よく感じる／1 週間に 1 回	5／とてもよく感じる／1 週間に数回	6／いつも感じる／毎日
1	仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	0	1	2	3	4	5	6
2	仕事に熱心である	0	1	2	3	4	5	6
3	私は仕事にのめり込んでいる	0	1	2	3	4	5	6

25） 次の事柄について、「全く満足していない」状態を0点、「非常に満足している」状態を 10 点として、あなたの現在の状態は何点にあたりますか。1つを選んでください。

		←（全く満足していない）										（非常に満足している）→
		⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	生活（様々な面から総合的に判断して）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	仕事（様々な面から総合的に判断して）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	雇用の安定性	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	給料以外の待遇や処遇（福利厚生など）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	仕事と仕事以外の生活とのバランス	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	教師としての仕事そのもの	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

26） あなたは、現在の年収についてあなたが暮らす地域の他の職と比較して、どう感じていますか。
1．満足している　2．どちらかといえば満足している　3．どちらともいえない　4．どちらかといえば不満　5．不満

27） コロナ禍において、医療従事者が本来提供するべき医療が提供出来ないのではないかとのモラル・ジレンマ（道徳的葛藤）を抱えることが報告されています。あなたもコロナ禍以降、本来提供すべき教育が提供出来ないのではないかとのモラル・ジレンマを感じたことはありましたか。
1．いつもあった　2．ときどきあった　3．ほとんどなかった　4．全くなかった

次の 28)～31)の4問では、働き方の実態を個人の側面から整理するために、あなた自身のことや将来や周囲の人に対するあなたの考えについてお伺いします。

28) (A)から(J)までのことばがあなた自身にどのくらい当てはまるかについて、文章全体を総合的にみて、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。それぞれ「全く違うと思う」から「強くそう思う」までの7段階のうち、当てはまるものを1つお選びください。

		全く違うと思う	おおよそ違うと思う	少し違うと思う	どちらでもない	少しそう思う	まあまあそう思う	強くそう思う
(A)	活発で、外向的だと思う	1	2	3	4	5	6	7
(B)	他人に不満を持ち、もめごとを起こしやすいと思う	1	2	3	4	5	6	7
(C)	しっかりしていて、自分に厳しいと思う	1	2	3	4	5	6	7
(D)	心配性で、うろたえやすいと思う	1	2	3	4	5	6	7
(E)	新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う	1	2	3	4	5	6	7
(F)	ひかえめで、おとなしいと思う	1	2	3	4	5	6	7
(G)	人に気をつかう、やさしい人間だと思う	1	2	3	4	5	6	7
(H)	だらしなく、うっかりしていると思う	1	2	3	4	5	6	7
(I)	冷静で、気分が安定していると思う	1	2	3	4	5	6	7
(J)	発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	1	2	3	4	5	6	7

29) あなたは 1 ヶ月後に 1 万円もらう代わりに、13 カ月後に最低いくらもらえれば満足できますか。次の 1～8 に指定した金額から1つ選んでください。

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8
金額	9,500 円	10,000 円	10,200 円	10,400 円	10,600 円	11,000 円	12,000 円	14,000 円
金利（年表示）	-5%	0%	2%	4%	6%	10%	20%	40%

30) あなたと見ず知らずの他人が、お金をもらえることになりました。ただし、もらえるお金の金額には、A と B の2つのパターンがあります。どちらの配分のパターンを選ぶかは、あなたが決定でき、かつその配分を相手は知らないとします。この時、あなたは A と B のどちらを選びますか。それぞれのケースについて選んでください。

	選択肢 A	A	B	選択肢 B
(1)	あなたも他人も 1 万円	A	B	あなたは 1 万円で、他人は 6 千円
(2)	あなたも他人も 1 万円	A	B	あなたは 1 万 6 千円で、他人は 4 千円
(3)	あなたも他人も 1 万円	A	B	あなたは 1 万円で、他人は 1 万 8 千円
(4)	あなたも他人も 1 万円	A	B	あなたは 1 万 1 千円で、他人は 1 万 9 千円

31) (A)から(E)について、あなた自身にどのくらい当てはまりますか。それぞれ「全くあてはまらない」から「非常にあてはまる」までの7段階のうち、当てはまるものを1つお選びください。

		全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	どちらかというとあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというとあてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
(A)	社会にとって意義のある行政サービスの提供に関わることは、あなたにとって大切ですか	1	2	3	4	5	6	7
(B)	日々の出来事の中で、私たちがいかにお互いに支え合っているかを意識することがありますか	1	2	3	4	5	6	7
(C)	世の中をよくすることは、あなた自身の目標を達成することと比べて重要ですか	1	2	3	4	5	6	7
(D)	世の中のためなら、あなた自身が大きな犠牲を払ってもよいと思いますか	1	2	3	4	5	6	7
(E)	人にどう思われても他者の権利をすすんで守ろうと思いますか	1	2	3	4	5	6	7

32) あなたはご自分が朝型と夜型のどちらに当てはまると思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

1. 午前中はとても元気／活発で、夕方になると眠くなる（明らかに朝型の人）
2. 朝はある程度元気で、夕方になると眠くなる（どちらかというと朝型の人）
3. 朝型でも夜型でもない
4. 夕方にはある程度元気で、朝は眠気がある（どちらかというと夜型の人）
5. 夕方になると非常に注意力・活動力が高まり、朝は眠気が強い（明らかに夜型の人）

以下の質問は、勤務の実態と身体疾患のリスクの関係性を把握するためお伺いします。

33) あなたの身長と体重をお答えください。

身長：_____cm ・ 体重：_____kg ※身長は 1 センチ、体重は1キロ刻みのプルダウン回答。「分からない/答えたくない」あり。

ここからは、学校の働き方改革についてお伺いします。

34)-1 あなたは学校の働き方改革又は業務改善に関して、所属する学校の時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の内容を把握していますか。

1. 全て把握している　2. 一部把握している　3. 方針や計画等は策定されているが、内容は全く把握していない
4. 方針や計画等は策定されていない　5. 方針や計画等が策定されているかどうか把握していない

34)-2　34)-1で「1. 全て把握している」「2.一部把握している」と答えた場合、所属する学校の業務改善方針等の効果検証状況を把握していますか。

1. 全て把握している　2. 一部把握している　3. 効果検証はされているが、内容は全く把握していない
4. 効果検証されていない　5. 効果検証されているかどうか把握していない

35) あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか。

1. そう思う　2. どちらかといえばそう思う　3. どちらかといえばそう思わない　4. まったくそう思わない

36) 労働安全衛生法等に基づき、ICT 等の客観的な方法によって労働時間を把握することが求められています。また、働き方改革に向けて、令和元年に給特法の一部改正が行われ、在校等時間の上限などを定める指針が策定されました。これを踏まえたあなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか。

1. そう思う　2. どちらかといえばそう思う　3. どちらかといえばそう思わない　4. まったくそう思わない

37) あなたの学校における勤務時間の管理方法により、あなたの仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まりましたか。

1. そう思う　2. どちらかといえばそう思う　3. どちらかといえばそう思わない　4. まったくそう思わない

38) 授業に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組を選択してください。 ※複数選択可
※精選、転換、見直しについては、おおむね令和元年度以降に現在校において取り組んだ場合に選択してください。

【授業】	1. モジュールの活用 例)　朝の学習 15 分を週に 3 回行い、それをモジュールとしてカウントし、授業時数に加えた。	
	2. 授業での紙ではなくデータによる資料配付(児童生徒への教材の共有を含む)・課題提出 例)　プリント配布していたものをクラウドへのアップロードへ変更した。	
	3. 上記以外での授業中での ICT の活用 例)　児童生徒が、調べる場面、考えをまとめ、発表・表現する場面、教職員と児童生徒同士がやりとりする場面、児童生徒同士がやりとりする場面等において、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用し、机間指導や協働学習等を効果的・効率的に実施した。	
	4. いずれもあてはまるものはない	
【授業準備】	1. 教員間での教材の共有 例)　作成した教材や指導案を校内の共有フォルダや、クラウド上の共有フォルダに残していくこととした。	
	2. 自作の教材・指導案の精選 例)　指導案について、業務改善の観点から、自作のものを精選した。	
	3. いずれもあてはまるものはない	
【家庭学習】	1. 家庭学習の内容の見直し 例)　・家庭学習の内容を見直し、量より質を重視する出し方に改善した。 ・家庭学習について、自主的な取組を中心とし、目的にあった最小限の量とした。 ・夏休みの作文や絵画などは、自由課題として任意で取り組むものとした。	
	2. 家庭学習のオンライン提出 例)　・児童生徒にタブレットを持ち帰らせ、自宅から家庭学習の提出を行えるようにした。　・家庭学習の提出をクラウド経由で行った。	
	3. いずれもあてはまるものはない	

39) 成績処理に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組を選択してください。 ※複数選択可

1. 採点システムの活用 例)　・採点システムを導入し、選択式や簡単な記述回答は自動採点とした。　・マークシートでテストを実施し、採点を自動化した。 ・Web アンケートの点数設定、画像送信などの機能を活用した。　・小テストをオンラインで実施した。	
2. 採点する時間や採点する範囲の工夫 例)　・テスト中の教室を回り、解き終わっている問題から丸をつけていった。　・採点を行う問題を絞り、残りは自己採点とした。	
3. 採点期間の確保 例)　テスト返却日を翌週の木曜日以降とし、採点時間を確保した。	
4. いずれもあてはまるものはない	

40) 学年・学級運営に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組を選択してください。 ※複数選択可
※精選、見直し、簡素化については、おおむね令和元年度以降に現在校において取り組んだ場合に選択してください。

1. 掲示の精選 例)　・掲示物の一部廃止や、張り替えるタイミングを見直した(月ごとや行事ごとの張り替えの廃止)。・児童生徒自身が作品の掲示を行うようにした。	
2. 学級日誌の見直し 例)　学級日誌の点検・記入を簡素化した。	
3. 学級通信や会議資料等の文書の簡素化 例)　・学級通信等へ記載する内容を精選し、削減した。　・学級通信等の紙のサイズを小さくした(B4→A4など)。	
4. 学級通信等のオンライン配布 例)　学級通信等の紙での配布を廃止し、ホームページやメールなどでの配布に変更した。	
5. 学級通信等の発行回数の見直し 例)　学級通信等の発行頻度を減らした。	
6. 児童生徒の出欠・遅刻に関する連絡等のオンライン化 例)　Web アンケートフォームを活用し、職員室の PC を通して保護者からの欠席・遅刻連絡を確認できるようにした。	
7. 家庭への連絡や家庭を対象とするアンケート調査等に関する事務のオンライン化 例)　個人面談等の日程調整や学校評価アンケートをオンラインで実施した。	
8. いずれもあてはまるものはない	

41)-1　あなたは印刷機やコピー機を使いたいときにいつでも使えますか。
※輪転機、複合機等、学校に複数種類の機械がある場合、学年全体に配布、授業でクラスに配布する等、大量に印刷する際に使用する機械について回答ください。

1．いつも使える　2．使えることが多い　3．使えないことが多い　4．使えない　5．自分で使う必要がない

41)-2　41)-1で「3．使えないことが多い」「4．使えない」と答えた場合、その理由として当てはまるものをお選びください。
※複数選択可

1．台数が少ない　2．印刷速度が遅い　3．その他（　　）

41)-3　41)-1で「5．自分で使う必要がない」と答えた場合、その理由として当てはまるものをお選びください。 ※複数選択可

1．ICT 端末を活用して電子媒体で配布している
2．教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）などの支援人材が印刷してくれる
3．その他（　　）

42)-1　大型提示装置（電子黒板やプロジェクター等を含む）について、授業での利用状況について当てはまるものを1つお選びください。

1．よく使う　2．時々使う　3．あまり使わない　4．使わない　5．そもそも該当する機器が配置されていない

42)-2　42)-1で「1．よく使う」「2．時々使う」と答えた場合、使いたいときにいつでも使えますか。

1．いつも使える　2．使えることが多い　3．使えないことが多い

42)-3　42)-1で「3．あまり使わない」「4．使わない」と答えた場合、その理由として当てはまるものをお選びください。
※複数選択可

1．台数等が足りない　2．使用するための手続きが煩雑　3．その他（　　）

43）　学校外からの教員用端末の利用状況について当てはまるものを1つ選んでください。

1．教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスし活用している
2．教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスできる環境は整っているが、活用していない
3．教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスできる環境は整っていない

44）　あなたは校務等に ICT を活用する能力が身についていると思いますか。

1．十分身についている　2．ある程度身についている　3．どちらともいえない
4．あまり身についていない　5．全く身についていない

45)-1　学校における働き方改革の推進に向け、中央教育審議会の答申等において以下の3分類（1．基本的には学校以外が担うべき業務、2．学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務、3．教師の業務だが、負担軽減が可能な業務）14の業務が示されているところです。
各業務に要する時間について、削減すべきと考えますか。削減すべきと考える場合、組織的な取組等によりさらに削減可能かと考えるか、それとも組織的な取組等でもさらに削減は難しいと考えるか、お答えください。
（⑫学校行事の準備・運営については、45）－3でお伺いします。）

	1．削減すべきで削減可能	2．削減すべきだが削減は難しい
【基本的には学校以外が担うべき業務】		
① 登下校に関する対応	1	2
② 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応	1	2
③ 学校徴収金の徴収・管理	1	2
④ 地域ボランティアとの連絡調整	1	2
【学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務】		
⑤ 調査・統計等への回答等	1	2
⑥ 児童生徒の休み時間における対応	1	2
⑦ 校内清掃	1	2
⑧ 部活動（中学校、高等学校のみ）	1	2
【教師の業務だが、負担軽減が可能な業務】		
⑨ 給食時の対応	1	2
⑩ 授業準備	1	2
⑪ 学習評価や成績処理	1	2
⑫ 学校行事の準備・運営	1	2
⑬ 進路指導	1	2
⑭ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	1	2

45)-1の①～⑭のうち、「2. 削減すべきだが削減は難しい」と回答した方のみお答えください。

45)-2　削減すべきと考えているものの、削減できないと考えるのはなぜですか。
※それぞれの回答ごとに理由を選択　※複数選択可

1．既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため
2．いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため
3．地域の理解が必要となるため　　4．保護者の理解が必要となるため　　5．児童生徒の理解が必要となるため
6．1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため　7．その他（　　）

【基本的には学校以外が担うべき業務】								▼7 その他記述
① 登下校に関する対応	1	2	3	4	5	6	7	
② 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応	1	2	3	4	5	6	7	
③ 学校徴収金の徴収・管理	1	2	3	4	5	6	7	
④ 地域ボランティアとの連絡調整	1	2	3	4	5	6	7	
【学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務】								▼7 その他記述
⑤ 調査・統計等への回答等	1	2	3	4	5	6	7	
⑥ 児童生徒の休み時間における対応	1	2	3	4	5	6	7	
⑦ 校内清掃	1	2	3	4	5	6	7	
⑧ 部活動（中学校、高等学校のみ）	1	2	3	4	5	6	7	
【教師の業務だが、負担軽減が可能な業務】								▼7 その他記述
⑨ 給食時の対応	1	2	3	4	5	6	7	
⑩ 授業準備	1	2	3	4	5	6	7	
⑪ 学習評価や成績処理	1	2	3	4	5	6	7	
⑫ 学校行事の準備・運営	1	2	3	4	5	6	7	
⑬ 進路指導	1	2	3	4	5	6	7	
⑭ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	1	2	3	4	5	6	7	

45)-3　学校行事について、以下の問にお答えください。

1．組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる精選等（行事や内容を絞る、行事間の関連や統合を図るなど。以下同じ。）をすべきであり、それが可能と考える学校行事はありますか。
　1．はい　　2．いいえ　　●1．はいの場合、以下から選択してください。※複数選択可

2．組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる精選等をすべきだが、それが困難であると考える学校行事はありますか。
　1．はい　　2．いいえ　　●1．はいの場合、以下から選択してください。※複数選択可

3．組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきであり、それが可能と考える学校行事はありますか。
　1．はい　　2．いいえ　　●1．はいの場合、以下から選択してください。※複数選択可

4．組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきだが、それが困難であると考える学校行事はありますか。
　1．はい　　2．いいえ　　●1．はいの場合、以下から選択してください。※複数選択可

【儀式的行事】　□入学式　□卒業式　□始業式　□終業式　□修了式　□立志式　□開校記念に関する儀式
□教職員の着任式・離任式　□新入生との対面式　□朝会　□その他
【文化的行事】　□学芸会　□文化祭　□学習発表会　□展覧会　□作品展示・発表会　□音楽会　□読書感想発表会
□クラブ発表会　□音楽鑑賞会　□映画や演劇の鑑賞会　□美術館見学会
□地域の伝統文化等の鑑賞会　□伝統芸能等の鑑賞会　□その他
【健康安全・体育的行事】　□健康診断　□薬物乱用防止指導　□防犯指導　□交通安全指導　□運動会（体育祭）
□競技会　□球技大会　□避難訓練
□健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事　□その他
【遠足（旅行）・宿泊的行事】　□遠足　□修学旅行　□移動教室　□野外活動　□集団宿泊活動　□その他
【勤労生産・奉仕的行事】　□飼育栽培活動　□校内美化活動　□地域社会の清掃活動　□公共施設等の清掃活動
□福祉施設との交流活動　□職場体験活動　□各種の生産活動
□上級学校や職場の訪問・見学　□学校内外のボランティア活動　□その他

45-3の質問のうち、2で「はい」又は4で「はい」と回答した方のみお答えください。

45)-4　さらなる学校行事の精選等、準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきと考えているものの、それが困難であると考えるのはなぜですか。
1．既に学校行事の精選等、準備（練習を含む）の簡素化や縮減に向けた十分な取組を実施しているため
2．いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため
3．地域の理解が必要となるため　　4．保護者の理解が必要となるため
5．児童生徒の理解が必要となるため　6．その他（　　）

45)-5　仮に今よりも業務時間が短縮された場合、空いた時間をどのように使いたいですか。
※いずれか1つをお選びください。
1．更なる授業準備や教材研究等に充てたい　2．職務としての研修（教育センターでの受講や校内研修）に充てたい
3．自己研鑽に充てたい　4．業務外のプライベートの時間を充実させたい　5．その他（　　）

以下の質問は、教員調査（アンケート）の回答が全て終わってから回答してください。

46）教員調査（アンケート）に要した合計時間　　約＿＿＿＿分

業務調査（業務記録）

____日目（____曜日）

①日付　　令和４年_____月_____日（月曜日）

②今日の勤務は、1～4のどれに当たりますか。当てはまる番号1つを選んでください。
①勤務日　②年休（終日）　③年休（部分）　④週休日・休日

③今日は、感染症等による臨時休業日に当たりますか。　①はい　②いいえ

④学級担任の教員のみ）今日は、感染症等により学級閉鎖となりましたか。　①はい　②いいえ

⑤あなたが昨晩寝床についた時刻と、今朝起床した時刻を 24 時間制でお答えください。
寝床についてから眠るまでに要したおよその時間（分）もあわせてお答えください。

（昨晩の）就寝時刻	_____時_____分　ころ
（今朝の）起床時刻	_____時_____分　ころ

眠るまでに要した時間	約　　分

⑥あなたの疲労度についてお尋ねします。「全く感じない」状態を0点、「これまでに経験した中で最も強く感じる」状態を 10 点として、今日の状態は何点にあたりますか。当てはまる番号1つを選んでください。
全く感じない　⓪　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　これまでに経験した中で最も強く感じる

⑦今日、あなたが学校に出勤した時刻と学校から退勤した時刻を、24 時間制でお答えください。（分割されている場合は全てお答えください）

出勤時刻	_____時_____分	退勤時刻	_____時_____分
出勤時刻	_____時_____分	退勤時刻	_____時_____分
出勤時刻	_____時_____分	退勤時刻	_____時_____分
出勤時刻	_____時_____分	退勤時刻	_____時_____分
出勤時刻	_____時_____分	退勤時刻	_____時_____分

（例）退勤時刻が午後６時５分の場合→１８時５分とお答えください。

※各地方公共団体等が定める方法に基づき学校以外の場所で行う勤務（以下「テレワーク等」という。）を実施する場合も、出勤時刻等に相当する時間をお答えください。
※テレワーク等の開始・終了時刻が業務の開始・終了時刻に当たる場合は、テレワーク等により業務を開始した時刻を「出勤時刻」、テレワーク等により業務を終了した時刻を「退勤時刻」としてお答えください。

⑧－１　今日のあなたの所定の勤務時間は、学校で定められた通常の勤務時間ですか。　①はい　②いいえ（変形労働時間制など）

⑧－２（高校（定時制課程、通信制課程）の教員で、かつ、⑧－１で①はいの場合のみ）今日の所定の勤務時間

_____時_____分　～　_____時_____分

⑧－３（⑧－１で②いいえの場合のみ）今日のあなたに割り振られている所定の勤務時間をお答えください。（分割されている場合は全てお答えください）

_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	

⑨－１　今日のテレワーク等の実施の有無をお答えください　①有　②無

⑨－２　⑨－１で「①有」の場合、テレワーク等の実施時間をお答えください。
a）⑦の出勤時刻から退勤時刻までの全ての時間
b）a 以外（分割されている場合は全てお答えください）

_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	

⑩今日のあなたの所定の休憩時間をお答えください。（分割されている場合は全てお答えください）

_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	_____時_____分　～　_____時_____分
_____時_____分　～　_____時_____分	

⑪今日、あなたが出勤時刻から退勤時刻内（⑦）及び所定の休憩時間内（⑩）にとった休憩時間（休憩・休息、校務と関係のない雑談等）の合計を1分単位でお答えください。

休憩時間＿＿＿分　　うち所定の休憩時間内（⑩）にとった休憩時間＿＿＿分

例）所定の休憩時間が 12 時～13 時で、12 時 30 分～13 時と、19 時～19 時 30 分に休憩した場合
・休憩時間　60 分　　・うち所定の休憩時間内（⑩）にとった休憩時間　30 分

⑫今日、あなたが出勤時刻から退勤時刻内（⑦）に行った新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）関連業務で対応した時間をお答えください。

1）新型コロナに関する会議等※への参加	＿＿分
2）新型コロナに関する調査・報告等への対応	＿＿分
3）登校時の児童生徒の健康状態の把握	＿＿分
4）登校時に発熱等の風邪の症状がみられた児童生徒への対応	＿＿分
5）消毒作業	＿＿分
6）換気作業	＿＿分
7）その他（　　）	＿＿分

※会議等で取り扱った内容が、新型コロナに関する事項とそれ以外の事項が混在する場合は、新型コロナに関する事項に要したおおむねの時間をお答えください。

⑬今日の業務記録をお答えください。正規の勤務時間外の業務や、自宅等の学校外で行った業務もお答えください。

			5時00分↓	5時30分↓	6時00分↓	6時30分↓	7時00分↓	7時30分↓	8時00分↓	8時30分↓	9時00分↓	9時30分↓	10時00分↓	10時30分↓	11時00分↓	11時30分↓	12時00分↓	12時30分↓	13時00分↓	13時30分↓	14時00分↓	14時30分↓	15時00分↓	15時30分↓	16時00分↓	16時30分↓	17時00分↓	17時30分↓	18時00分↓	18時30分↓	19時00分↓	19時30分↓	20時00分↓	20時30分↓	21時00分↓	21時30分↓	22時00分↓	22時30分↓	23時00分↓	23時30分↓	24時00分↓	0時30分↓	1時00分↓	1時30分↓	2時00分↓	2時30分↓	3時00分↓	3時30分↓	4時00分↓	4時30分↓
児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務																																																
	b1	授業（主担当）																																																
	b2	授業（補助）																																																
	c	授業準備																																																
	d	学習指導																																																
	e	成績処理																																																
	f1	生徒指導（集団 1）																																																
	f2	生徒指導（集団 2）																																																
	g	生徒指導（個別）																																																
	h	部活動・クラブ活動																																																
	i	児童会・生徒会指導																																																
	j	学校行事																																																
	k	学年・学級経営																																																
学校の運営にかかわる業務	l	学校経営																																																
	m1	職員会議・学年会などの会議																																																
	m2	個別の打ち合わせ																																																
	n1	事務（調査への回答）																																																
	n2	事務（学納金関連）																																																
	n3	事務（その他）																																																
	o	校内研修																																																
外部対応	p	保護者・PTA対応																																																
	q	地域対応																																																
	r	行政・関係団体対応																																																
校外	s	校務としての研修																																																
	t	会議																																																
その他	u	その他の校務																																																
	v	職専免研修																																																
	w	自己研鑽																																																
	x	休憩・休息等																																																
	y	業務はしなかった																																																

※以下は7日目にお答えください。

⑭下記の a から u（※業務記録の項目）までのそれぞれの業務について、現在の状況に最も当てはまると感じるものを選んでください。

1)そうである　2)どちらかといえばそうである
3)どちらかといえばそうでない　4)全くそうでない

				A この業務は負担である				B この業務にはやりがいがある				C この業務は重要である			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
児童生徒の指導にかかわる業務	a	朝の業務	朝打合せ、朝学習・朝読書の指導、朝の会、出欠確認など（朝学習・朝読書のうち教育課程の一環として行うものは、b授業に含める） ※定時制の夜間部などに勤務している場合は、始業時に行われる同様の業務を指す。												
	b1	授業（主担当）	主担当として行う授業、実験・実習、試験監督など												
	b2	授業（補助）	ティーム・ティーチングの補助的役割を担う授業												
	c	授業準備	指導案作成、教材研究・教材作成、授業打合せ、実験・実習の準備、総合的な学習の時間・体験学習の準備など												
	d	学習指導	正規の授業時間以外に行われる学習指導（課外指導、補習指導、個別指導、実験・実習など）、質問への対応、水泳指導、宿題への対応など												
	e	成績処理	成績処理にかかわる事務、試験問題作成、採点、評価、提出物の確認・コメント記入、通知表記入、調査書作成、指導要録作成など												
	f1	生徒指導（集団1）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：給食・栄養指導、清掃指導、登下校指導・安全指導、遊び指導（児童生徒とのふれ合いの時間）、児童生徒の休み時間における指導												
	f2	生徒指導（集団2）	正規の授業時間以外に行われる次のような指導：生活指導、健康・保健指導（健康診断、身体測定、けが・病気の対応を含む）、全校集会、避難訓練など上記 f1 以外の指導												
	g	生徒指導（個別）	個別の面談、進路指導・相談、生活相談、カウンセリング、課題を抱えた児童生徒の支援など												
	h	部活動・クラブ活動	授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導、対外試合引率（引率の移動時間を含む）など												
	i	児童会・生徒会指導	児童会・生徒会指導、委員会活動の指導など												
	j	学校行事	修学旅行、遠足、体育祭、文化祭、発表会、入学式・卒業式、始業式・終業式などの学校行事、学校行事の準備など												
	k	学年・学級経営	学級活動（学活・ホームルーム）、連絡帳の記入、学年・学級通信作成、名簿作成、掲示物作成、動植物の世話、教室環境管理、備品整理など												
学校の運営にかかわる業務	l	学校経営	校務分掌にかかわる業務、部下職員・初任者・教育実習生などの指導・面談、安全点検・校内巡視、機器点検、点検立会い、校舎環境整理、日直など												
	m1	職員会議・学年会などの会議	職員会議、学年会、教科会、成績会議、学校評議会など校内の会議												
	m2	個別の打ち合わせ	生徒指導等に関する校内の個別の打ち合わせ・情報交換など												
	n1	事務（調査への回答）	国、教育委員会等からの調査・統計への回答 （※今回の調査の回答時間は n3 に含めてください）												
	n2	事務（学納金関連）	給食費や部活動費等に関する処理や徴収などの事務												
	n3	事務（その他）	業務日誌作成、資料・文書（調査統計、校長・教育委員会等への報告書、学校運営にかかわる書類、予算・費用処理にかかわる書類など）の作成など上記 n1、n2 以外の事務（※今回の調査の回答時間はここに含めてください）												
	o	校内研修	校内研修、校内の勉強会・研究会、授業見学、学年研究会、校内で行う校務としての研修など（v 及び w を除く）												
外部対応	p	保護者・PTA対応	学級懇談会、保護者会、保護者との面談や電話連絡、保護者対応、家庭訪問、PTA関連活動、ボランティア対応など												
	q	地域対応	町内会・地域住民への対応・会議、地域安全活動（巡回・見回りなど）、地域への協力活動、コミュニティ・スクール対応など												
	r	行政・関係団体対応	教育委員会関係者などの行政・関係団体、保護者・地域住民以外の学校関係者、来校者（業者、校医など）の対応など												
校外	s	校務としての研修	初任者研修、校務としての研修、出張を伴う研修など												
	t	会議	校外での会議・打合せ、出張を伴う会議など												
	u	その他の校務	上記に分類できないその他の校務、勤務時間内に生じた移動時間など												

⑮以下の質問は、業務記録の回答が1週間分終わってから回答してください。

業務記録に要した1週間分の合計時間　約＿＿＿分

2.基礎集計表（学校調査、教員調査）

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q2	設置学科	普通（学際領域、地域社会等含む）					214	(71.6%)
		農業					20	(6.7%)
		工業					47	(15.7%)
		商業					38	(12.7%)
		水産					5	(1.7%)
		家庭					13	(4.3%)
		看護					4	(1.3%)
		情報					1	(0.3%)
		福祉					5	(1.7%)
		総合学科					22	(7.4%)
		その他					31	(10.4%)
		無回答					1	(0.3%)
		合計					299	(134.1%)
Q3-1	学校がある場所の地域	農林漁業地域	243	(20.4%)	271	(22.8%)	42	(14.0%)
		工業地域	16	(1.3%)	11	(0.9%)	11	(3.7%)
		都市郊外の住宅地域	588	(49.4%)	591	(49.8%)	131	(43.8%)
		都市中心部の住宅地域	270	(22.7%)	254	(21.4%)	92	(30.8%)
		都市中心部の商業地域	66	(5.5%)	51	(4.3%)	20	(6.7%)
		無回答	8	(0.7%)	8	(0.7%)	3	(1.0%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
Q3-2	学校の特徴／教育熱心な親が多い	とてもあてはまる	147	(12.3%)	187	(15.8%)	56	(18.7%)
		まああてはまる	712	(59.8%)	728	(61.4%)	149	(49.8%)
		あまりあてはまらない	318	(26.7%)	256	(21.6%)	86	(28.8%)
		まったくあてはまらない	11	(0.9%)	9	(0.8%)	7	(2.3%)
		無回答	3	(0.3%)	6	(0.5%)	1	(0.3%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
Q3-2	学校の特徴／PTA活動がさかんである	とてもあてはまる	157	(13.2%)	90	(7.6%)	34	(11.4%)
		まああてはまる	643	(54.0%)	675	(56.9%)	156	(52.2%)
		あまりあてはまらない	358	(30.1%)	400	(33.7%)	91	(30.4%)
		まったくあてはまらない	28	(2.4%)	15	(1.3%)	16	(5.4%)
		無回答	5	(0.4%)	6	(0.5%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	学校の特徴／地域との交流がさかんである	とてもあてはまる	271	(22.8%)	206	(17.4%)	65	(21.7%)
		まああてはまる	676	(56.8%)	644	(54.3%)	159	(53.2%)
		あまりあてはまらない	235	(19.7%)	320	(27.0%)	71	(23.7%)
		まったくあてはまらない	2	(0.2%)	7	(0.6%)	3	(1.0%)
		無回答	7	(0.6%)	9	(0.8%)	1	(0.3%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	学校の特徴／私立中学に進学する小学生が多い地域である	とてもあてはまる	37	(3.1%)	61	(5.1%)		
		まああてはまる	171	(14.4%)	230	(19.4%)		
		あまりあてはまらない	656	(55.1%)	614	(51.8%)		
		まったくあてはまらない	321	(27.0%)	273	(23.0%)		
		無回答	6	(0.5%)	8	(0.7%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		
Q3-3	昨年度（R3年度）の卒業生のうち、4年制大学に進学した割合	約2割未満					100	(33.4%)
		約2～4割未満					53	(17.7%)
		約4～6割未満					34	(11.4%)
		約6～8割未満					34	(11.4%)
		約8割以上					74	(24.7%)
		無回答					4	(1.3%)
		合計					299	(100.0%)
Q4	単式学級数	1～5学級	48	(4.0%)	187	(15.8%)	22	(7.4%)
		6～10学級	310	(26.0%)	335	(28.2%)	31	(10.4%)
		11～15学級	334	(28.0%)	353	(29.8%)	80	(26.8%)
		16～20学級	259	(21.7%)	200	(16.9%)	62	(20.7%)
		21～25学級	137	(11.5%)	77	(6.5%)	69	(23.1%)
		26学級以上	87	(7.3%)	20	(1.7%)	33	(11.0%)
		無し（0学級）	15	(1.3%)	11	(0.9%)	0	(0.0%)
		無回答	1	(0.1%)	3	(0.3%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	複式学級数	1学級	20	(1.7%)	10	(0.8%)		
		2学級	24	(2.0%)	3	(0.3%)		
		3学級	5	(0.4%)	0	(0.0%)		
		4学級以上	1	(0.1%)	0	(0.0%)		
		無し（0学級）	1,140	(95.7%)	1,170	(98.7%)		
		無回答	1	(0.1%)	3	(0.3%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		
	特別支援学級数	1学級	78	(6.5%)	91	(7.7%)		
		2学級	312	(26.2%)	424	(35.8%)		
		3学級	230	(19.3%)	245	(20.7%)		
		3学級	197	(16.5%)	152	(12.8%)		
		5学級	113	(9.5%)	83	(7.0%)		
		6学級以上	173	(14.5%)	86	(7.3%)		
		無し（0学級）	87	(7.3%)	102	(8.6%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q5	年間総授業時数 計画（令和3年度） （学校平均）	1015単位時間以下	499	(41.9%)	356	(30.0%)		
		1016～1085単位時間	470	(39.5%)	482	(40.6%)		
		1086単位時間以上	192	(16.1%)	316	(26.6%)		
		無回答	30	(2.5%)	32	(2.7%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		
	年間総授業時数 実績（令和3年度） （学校平均）	1015単位時間以下	459	(38.5%)	215	(18.1%)		
		1016～1085単位時間	578	(48.5%)	690	(58.2%)		
		1086単位時間以上	120	(10.1%)	243	(20.5%)		
		無回答	34	(2.9%)	38	(3.2%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		
	年間総授業時数 計画（令和4年度） （学校平均）	1015単位時間以下	529	(44.4%)	353	(29.8%)		
		1016～1085単位時間	470	(39.5%)	518	(43.7%)		
		1086単位時間以上	165	(13.9%)	284	(23.9%)		
		無回答	27	(2.3%)	31	(2.6%)		
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)		
	卒業に必要な修得単位数【平均値（単位：単位）】	普通					83	－
		農業					82	－
		工業地域					79	－
		商業					80	－
		水産					87	－
		家庭					84	－
		看護					88	－
		情報					81	－
		福祉					82	－
		総合学科					73	－
		その他					86	－
	卒業までに履修させる単位数【平均値（単位：単位）】	普通					90	－
		農業					91	－
		工業地域					85	－
		商業					88	－
		水産					90	－
		家庭					88	－
		看護					96	－
		情報					81	－
		福祉					95	－
		総合学科					84	－
		その他					91	－
	週当たりの授業時数【平均値】（単位：単位時間）	普通					30	－
		農業					30	－
		工業地域					28	－
		商業					29	－
		水産					31	－
		家庭					30	－
		看護					32	－
		情報					30	－
		福祉					31	－
		総合学科					28	－
		その他					31	－
Q6-1①	正規教員（フルタイム）合計の数	1～5人	25	(2.1%)	12	(1.0%)	4	(1.3%)
		6～10人	206	(17.3%)	142	(12.0%)	11	(3.7%)
		11～15人	183	(15.4%)	161	(13.6%)	20	(6.7%)
		16～20人	252	(21.2%)	226	(19.1%)	11	(3.7%)
		21～25人	206	(17.3%)	242	(20.4%)	12	(4.0%)
		26～30人	156	(13.1%)	155	(13.1%)	23	(7.7%)
		31～35人	78	(6.5%)	113	(9.5%)	37	(12.4%)
		36～40人	36	(3.0%)	59	(5.0%)	34	(11.4%)
		41人以上	26	(2.2%)	39	(3.3%)	138	(46.2%)
		無回答	23	(1.9%)	37	(3.1%)	9	(3.0%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	正規教員（フルタイム）のうち、通常学級担当人数	0人	6	(0.5%)	17	(1.4%)	44	(14.7%)
		1～5人	129	(10.8%)	117	(9.9%)	12	(4.0%)
		6～10人	290	(24.3%)	242	(20.4%)	18	(6.0%)
		11～15人	327	(27.5%)	237	(20.0%)	24	(8.0%)
		16～20人	244	(20.5%)	256	(21.6%)	14	(4.7%)
		21～25人	113	(9.5%)	136	(11.5%)	15	(5.0%)
		26～30人	38	(3.2%)	65	(5.5%)	16	(5.4%)
		31人以上	13	(1.1%)	66	(5.6%)	124	(41.5%)
		無回答	31	(2.6%)	50	(4.2%)	32	(10.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	正規教員（フルタイム）のうち、特別支援学級担当人数	0人	138	(11.6%)	158	(13.3%)	267	(89.3%)
		1人	216	(18.1%)	246	(20.7%)	0	(0.0%)
		2人	307	(25.8%)	334	(28.2%)	0	(0.0%)
		3人	201	(16.9%)	198	(16.7%)	0	(0.0%)
		4人	135	(11.3%)	101	(8.5%)	0	(0.0%)
		5人以上	163	(13.7%)	99	(8.3%)	0	(0.0%)
		無回答	31	(2.6%)	50	(4.2%)	32	(10.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	正規教員（フルタイム）のうち、通級指導・日本語指導担当人数	0人	820	(68.8%)	943	(79.5%)	255	(85.3%)
		1人	212	(17.8%)	151	(12.7%)	6	(2.0%)
		2人以上	128	(10.7%)	43	(3.6%)	6	(2.0%)
		無回答	31	(2.6%)	49	(4.1%)	32	(10.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	正規教員（フルタイム）のうち、養護教諭等上記以外の人数	0人	99	(8.3%)	163	(13.7%)	56	(18.7%)
		1人	295	(24.8%)	591	(49.8%)	133	(44.5%)
		2人	234	(19.6%)	145	(12.2%)	46	(15.4%)
		3人	183	(15.4%)	36	(3.0%)	10	(3.3%)
		4人	123	(10.3%)	32	(2.7%)	8	(2.7%)
		5人以上	227	(19.1%)	170	(14.3%)	14	(4.7%)
		無回答	30	(2.5%)	49	(4.1%)	32	(10.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q6-1②	短時間勤務の+F168+G260	0人	948	79.6%	953	80.4%	208	69.6%
		1人	152	12.8%	152	12.8%	57	19.1%
		2人以上	83	7.0%	65	5.5%	32	10.7%
		無回答	8	0.7%	16	1.3%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、通常学級担当人数	0人	1,081	90.8%	1,021	86.1%	216	72.2%
		1人	50	4.2%	75	6.3%	31	10.4%
		2人以上	11	0.9%	28	2.4%	21	7.0%
		無回答	49	4.1%	62	5.2%	31	10.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、特別支援学級担当人数	0人	1,085	91.1%	1,090	91.9%	268	89.6%
		1人以上	57	4.8%	34	2.9%	0	0.0%
		無回答	49	4.1%	62	5.2%	31	10.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、通級指導・日本語指導担当人数	0人	1,115	93.6%	1,117	94.2%	268	89.6%
		1人	27	2.3%	7	0.6%	0	0.0%
		無回答	49	4.1%	62	5.2%	31	10.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、養護教諭等上記以外の人数	0人	1,052	88.3%	1,070	90.2%	256	85.6%
		1人以上	90	7.6%	54	4.6%	12	4.0%
		無回答	49	4.1%	62	5.2%	31	10.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等） 1週間の合計勤務時間	0時間	948	79.6%	952	80.3%	208	69.6%
		0時間超～15時間未満	14	1.2%	11	0.9%	4	1.3%
		15時間～30時間未満	88	7.4%	58	4.9%	28	9.4%
		30時間以上	119	10.0%	139	11.7%	53	17.7%
		無回答	22	1.8%	26	2.2%	6	2.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、通常学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,099	92.3%	1,045	88.1%	231	77.3%
		0時間超～15時間未満	6	0.5%	9	0.8%	3	1.0%
		15時間～30時間未満	20	1.7%	26	2.2%	16	5.4%
		30時間以上	34	2.9%	66	5.6%	31	10.4%
		無回答	32	2.7%	40	3.4%	18	6.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のうち、特別支援学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,105	92.8%	1,113	93.8%	282	94.3%
		0時間超～15時間未満	1	0.1%	5	0.4%	0	0.0%
		15時間～30時間未満	23	1.9%	11	0.9%	0	0.0%
		30時間以上	28	2.4%	14	1.2%	0	0.0%
		無回答	34	2.9%	43	3.6%	17	5.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）のち、通級指導・日本語指導を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,135	95.3%	1,142	96.3%	282	94.3%
		0時間超～15時間未満	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
		15時間～30時間未満	11	0.9%	3	0.3%	0	0.0%
		30時間以上	10	0.8%	4	0.3%	0	0.0%
		無回答	31	2.6%	37	3.1%	17	5.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の教員（育児短時間勤務者、部分休業者等）養護教諭等上記以外を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,071	89.9%	1,095	92.3%	271	90.6%
		0時間超～15時間未満	10	0.8%	2	0.2%	0	0.0%
		15時間～30時間未満	42	3.5%	18	1.5%	5	1.7%
		30時間以上	34	2.9%	30	2.5%	6	2.0%
		無回答	34	2.9%	41	3.5%	17	5.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q6-1③	再任用教員（フルタイム）合計の数	0人	560	47.0%	394	33.2%	33	11.0%
		1人	387	32.5%	344	29.0%	39	13.0%
		2人以上	225	18.9%	413	34.8%	218	72.9%
		無回答	19	1.6%	35	3.0%	9	3.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（フルタイム）のうち、通常学級を担当人数	0人	793	66.6%	554	46.7%	42	14.0%
		1人	219	18.4%	220	18.5%	22	7.4%
		2人以上	40	3.4%	173	14.6%	122	40.8%
		無回答	139	11.7%	239	20.2%	113	37.8%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（フルタイム）のうち、特別支援学級を担当人数	0人	864	72.5%	737	62.1%	185	61.9%
		1人以上	188	15.8%	210	17.7%	1	0.3%
		無回答	139	11.7%	239	20.2%	113	37.8%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（フルタイム）のうち、通級指導・日本語指導を担当人数	0人	991	83.2%	913	77.0%	185	61.9%
		1人以上	61	5.1%	34	2.9%	1	0.3%
		無回答	139	11.7%	239	20.2%	113	37.8%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（フルタイム）のうち、養護教諭等上記以外のものの数	0人	830	69.7%	799	67.4%	158	52.8%
		1人	182	15.3%	109	9.2%	17	5.7%
		2人以上	40	3.4%	39	3.3%	11	3.7%
		無回答	139	11.7%	239	20.2%	113	37.8%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q6-1④	再任用教員（短時間勤務のもの）合計の数	0人	841	70.6%	877	73.9%	182	60.9%
		1人	215	18.1%	196	16.5%	43	14.4%
		2人	83	7.0%	77	6.5%	39	13.0%
		3人以上	45	3.8%	20	1.7%	33	11.0%
		無回答	7	0.6%	16	1.3%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、通常学級を担当人数	0人	1,039	87.2%	951	80.2%	190	63.5%
		1人	37	3.1%	84	7.1%	28	9.4%
		2人以上	18	1.5%	33	2.8%	34	11.4%
		無回答	97	8.1%	118	9.9%	47	15.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、特別支援学級を担当人数	0人	1,071	89.9%	1,050	88.5%	252	84.3%
		1人以上	23	1.9%	18	1.5%	0	0.0%
		無回答	97	8.1%	118	9.9%	47	15.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、通級指導・日本語指導を担当人数	0人	1,067	89.6%	1,059	89.3%	251	83.9%
		1人以上	27	2.3%	9	0.8%	1	0.3%
		無回答	97	8.1%	118	9.9%	47	15.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、養護教諭等上記以外のものの数	0人	920	77.2%	1,001	84.4%	245	81.9%
		1人	126	10.6%	52	4.4%	3	1.0%
		2人以上	48	4.0%	15	1.3%	4	1.3%
		無回答	97	8.1%	118	9.9%	47	15.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q6-1④	再任用教員（短時間勤務のもの） 1週間の合計勤務時間	0時間	840	70.5%	877	73.9%	182	60.9%
		0時間超～10時間未満	14	1.2%	13	1.1%	5	1.7%
		10時間～20時間未満	97	8.1%	74	6.2%	22	7.4%
		20時間～30時間未満	89	7.5%	83	7.0%	29	9.7%
		30時間以上	128	10.7%	114	9.6%	57	19.1%
		無回答	23	1.9%	25	2.1%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、通常学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,092	91.7%	1,019	85.9%	213	71.2%
		0時間超～10時間未満	3	0.3%	4	0.3%	4	1.3%
		10時間～20時間未満	18	1.5%	28	2.4%	14	4.7%
		20時間～30時間未満	10	0.8%	36	3.0%	16	5.4%
		30時間以上	23	1.9%	46	3.9%	28	9.4%
		無回答	45	3.8%	53	4.5%	24	8.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、特別支援学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,124	94.4%	1,118	94.3%	276	92.3%
		0時間超～10時間未満	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
		10時間～20時間未満	4	0.3%	7	0.6%	0	0.0%
		20時間～30時間未満	4	0.3%	6	0.5%	0	0.0%
		30時間以上	13	1.1%	3	0.3%	0	0.0%
		無回答	45	3.8%	51	4.3%	23	7.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、通級指導・日本語指導を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,121	94.1%	1,128	95.1%	275	92.0%
		0時間超～10時間未満	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
		10時間～20時間未満	5	0.4%	4	0.3%	0	0.0%
		20時間～30時間未満	6	0.5%	2	0.2%	1	0.3%
		30時間以上	14	1.2%	3	0.3%	0	0.0%
		無回答	44	3.7%	49	4.1%	23	7.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用教員（短時間勤務のもの）のうち、養護教諭等上記以外のもの 1週間の合計勤務時間	0時間	975	81.9%	1,068	90.1%	268	89.6%
		0時間超～10時間未満	7	0.6%	3	0.3%	0	0.0%
		10時間～20時間未満	55	4.6%	20	1.7%	1	0.3%
		20時間～30時間未満	59	5.0%	21	1.8%	0	0.0%
		30時間以上	46	3.9%	20	1.7%	6	2.0%
		無回答	49	4.1%	54	4.6%	24	8.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q6-1⑤	臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）合計の数	0人	195	16.4%	224	18.9%	36	12.0%
		1人	195	16.4%	222	18.7%	33	11.0%
		2人	222	18.6%	179	15.1%	42	14.0%
		3人	189	15.9%	151	12.7%	47	15.7%
		4人	132	11.1%	105	8.9%	26	8.7%
		5人	95	8.0%	85	7.2%	30	10.0%
		6人以上	143	12.0%	185	15.6%	76	25.4%
		無回答	20	1.7%	35	3.0%	9	3.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）のうち、通常学級を担当人数	0人	441	37.0%	426	35.9%	65	21.7%
		1人	288	24.2%	235	19.8%	20	6.7%
		2人	190	16.0%	146	12.3%	26	8.7%
		3人	101	8.5%	86	7.3%	27	9.0%
		4人	60	5.0%	70	5.9%	14	4.7%
		5人以上	39	3.3%	81	6.8%	56	18.7%
		無回答	72	6.0%	142	12.0%	91	30.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）のうち、特別支援学級を担当人数	0人	557	46.8%	580	48.9%	208	69.6%
		1人	341	28.6%	271	22.8%	0	0.0%
		2人以上	414	15.5%	221	18.6%	193	16.3%
		無回答	72	6.0%	142	12.0%	91	30.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）のうち、通級指導・日本語指導を担当人数	0人	1,009	84.7%	1,006	84.8%	206	68.9%
		1人以上	110	9.2%	37	3.1%	2	0.7%
		無回答	72	6.0%	143	12.1%	91	30.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用教員または任期付採用教員（フルタイム）のうち、養護教諭等上記以外のものの数	0人	693	58.2%	794	66.9%	139	46.5%
		1人	298	25.0%	179	15.1%	51	17.1%
		2人	88	7.4%	35	3.0%	11	3.7%
		3人以上	40	3.4%	35	3.0%	6	2.0%
		無回答	72	6.0%	143	12.1%	92	30.8%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q6-1⑥	非常勤講師合計の数	0人	471	39.5%	391	33.0%	9	3.0%
		1人	304	25.5%	278	23.4%	18	6.0%
		2人	172	14.4%	189	15.9%	17	5.7%
		3人	111	9.3%	122	10.3%	21	7.0%
		4人	59	5.0%	70	5.9%	32	10.7%
		5人以上	65	5.5%	120	10.1%	200	66.9%
		無回答	9	0.8%	16	1.3%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤講師のうち、通常学級を担当人数	0人	831	69.8%	542	45.7%	22	7.4%
		1人	68	5.7%	153	12.9%	12	4.0%
		2人	48	4.0%	96	8.1%	10	3.3%
		3人	27	2.3%	63	5.3%	12	4.0%
		4人	14	1.2%	38	3.2%	12	4.0%
		5人以上	17	1.4%	47	4.0%	99	33.1%
		無回答	186	15.6%	247	20.8%	132	44.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤講師のうち、特別支援学級を担当人数	0人	921	77.3%	825	69.6%	167	55.9%
		1人	51	4.3%	62	5.2%	0	0.0%
		2人以上	33	2.8%	52	4.4%	0	0.0%
		無回答	186	15.6%	247	20.8%	132	44.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤講師のうち、通級指導・日本語指導を担当人数	0人	956	80.3%	909	76.6%	164	54.8%
		1人以上	49	4.1%	30	2.5%	3	1.0%
		無回答	186	15.6%	247	20.8%	132	44.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤講師のうち、養護教諭等上記以外のものの数	0人	655	55.0%	792	66.8%	146	48.8%
		1人	186	15.6%	69	5.8%	10	3.3%
		2人以上	164	13.8%	78	6.6%	11	3.7%
		無回答	186	15.6%	247	20.8%	132	44.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q6-1⑥	非常勤講師 1週間の合計勤務時間	0時間	471	(39.5%)	391	(33.0%)	9	(3.0%)
		0時間超～10時間未満	98	(8.2%)	155	(13.1%)	17	(5.7%)
		10時間～20時間未満	156	(13.1%)	159	(13.4%)	31	(10.4%)
		20時間～30時間未満	163	(13.7%)	125	(10.5%)	35	(11.7%)
		30時間～40時間未満	86	(7.2%)	99	(8.3%)	45	(15.1%)
		40時間～50時間未満	50	(4.2%)	72	(6.1%)	25	(8.4%)
		50時間～60時間未満	35	(2.9%)	41	(3.5%)	21	(7.0%)
		60時間～70時間未満	31	(2.6%)	28	(2.4%)	15	(5.0%)
		70時間～80時間未満	9	(0.8%)	24	(2.0%)	18	(6.0%)
		80時間～90時間未満	20	(1.7%)	19	(1.6%)	13	(4.3%)
		90時間～100時間未満	10	(0.8%)	9	(0.8%)	11	(3.7%)
		100時間以上	25	(2.1%)	26	(2.2%)	53	(17.7%)
		無回答	37	(3.1%)	38	(3.2%)	6	(2.0%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	非常勤講師のうち、通常学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	938	(78.8%)	688	(58.0%)	96	(32.1%)
		0時間超～10時間未満	31	(2.6%)	78	(6.6%)	9	(3.0%)
		10時間～20時間未満	32	(2.7%)	92	(7.8%)	21	(7.0%)
		20時間～30時間未満	34	(2.9%)	68	(5.7%)	19	(6.4%)
		30時間～40時間未満	24	(2.0%)	51	(4.3%)	23	(7.7%)
		40時間～50時間未満	12	(1.0%)	33	(2.8%)	11	(3.7%)
		50時間～60時間未満	12	(1.0%)	21	(1.8%)	11	(3.7%)
		60時間～70時間未満	7	(0.6%)	12	(1.0%)	8	(2.7%)
		70時間～80時間未満	2	(0.2%)	18	(1.5%)	9	(3.0%)
		80時間～90時間未満	3	(0.3%)	4	(0.3%)	6	(2.0%)
		90時間～100時間未満	4	(0.3%)	3	(0.3%)	7	(2.3%)
		100時間以上	5	(0.4%)	6	(0.5%)	20	(6.7%)
		無回答	87	(7.3%)	112	(9.4%)	59	(19.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	非常勤講師のうち、特別支援学級を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,028	(86.3%)	969	(81.7%)	244	(81.6%)
		0時間超～10時間未満	15	(1.3%)	25	(2.1%)	0	(0.0%)
		10時間～20時間未満	14	(1.2%)	41	(3.5%)	0	(0.0%)
		20時間～30時間未満	26	(2.2%)	25	(2.1%)	0	(0.0%)
		30時間～40時間未満	12	(1.0%)	7	(0.6%)	0	(0.0%)
		40時間～50時間未満	6	(0.5%)	5	(0.4%)	0	(0.0%)
		50時間～60時間未満	0	(0.0%)	2	(0.2%)	0	(0.0%)
		60時間～70時間未満	2	(0.2%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		70時間～80時間未満	0	(0.0%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		80時間～90時間未満	0	(0.0%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		90時間～100時間未満	2	(0.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		100時間以上	2	(0.2%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		無回答	84	(7.1%)	108	(9.1%)	55	(18.4%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	非常勤講師のうち、通級指導・日本語指導を担当するもの 1週間の合計勤務時間	0時間	1,067	(89.6%)	1,056	(89.0%)	241	(80.6%)
		0時間超～10時間未満	23	(1.9%)	16	(1.3%)	3	(1.0%)
		10時間～20時間未満	11	(0.9%)	10	(0.8%)	0	(0.0%)
		20時間～30時間未満	8	(0.7%)	2	(0.2%)	0	(0.0%)
		30時間～40時間未満	3	(0.3%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		40時間～50時間未満	1	(0.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		50時間～60時間未満	1	(0.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		60時間～70時間未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		70時間～80時間未満	0	(0.0%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		80時間～90時間未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		90時間～100時間未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		100時間以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		無回答	77	(6.5%)	100	(8.4%)	55	(18.4%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	非常勤講師のうち、養護教諭等上記以外のもの 1週間の合計勤務時間	0時間	762	(64.0%)	939	(79.2%)	221	(73.9%)
		0時間超～10時間未満	51	(4.3%)	30	(2.5%)	1	(0.3%)
		10時間～20時間未満	84	(7.1%)	34	(2.9%)	4	(1.3%)
		20時間～30時間未満	96	(8.1%)	32	(2.7%)	6	(2.0%)
		30時間～40時間未満	45	(3.8%)	16	(1.3%)	4	(1.3%)
		40時間～50時間未満	26	(2.2%)	13	(1.1%)	2	(0.7%)
		50時間～60時間未満	10	(0.8%)	9	(0.8%)	0	(0.0%)
		60時間～70時間未満	8	(0.7%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
		70時間～80時間未満	6	(0.5%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
		80時間～90時間未満	8	(0.7%)	1	(0.1%)	1	(0.3%)
		90時間～100時間未満	0	(0.0%)	2	(0.2%)	0	(0.0%)
		100時間以上	4	(0.3%)	4	(0.3%)	0	(0.0%)
		無回答	91	(7.6%)	105	(8.9%)	59	(19.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
Q6-2	育児休業を取得している教員の数	0人	352	(29.6%)	539	(45.4%)	144	(48.2%)
		1人	371	(31.2%)	363	(30.6%)	69	(23.1%)
		2人	238	(20.0%)	172	(14.5%)	51	(17.1%)
		3人	128	(10.7%)	73	(6.2%)	21	(7.0%)
		4人以上	96	(8.1%)	28	(2.4%)	12	(4.0%)
		無回答	6	(0.5%)	11	(0.9%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
Q7	初任者研修対象の教員の数	0人	355	(29.8%)	361	(30.4%)	103	(34.4%)
		1人	470	(39.5%)	421	(35.5%)	74	(24.7%)
		2人	259	(21.7%)	275	(23.2%)	78	(26.1%)
		3人	69	(5.8%)	76	(6.4%)	23	(7.7%)
		4人以上	32	(2.7%)	41	(3.5%)	19	(6.4%)
		無回答	6	(0.5%)	12	(1.0%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	国・県等の加配措置で追加された教員の数（フルタイム）	0人	405	(34.0%)	261	(22.0%)	129	(43.1%)
		1人	350	(29.4%)	223	(18.8%)	74	(24.7%)
		2人	207	(17.4%)	225	(19.0%)	42	(14.0%)
		3人	101	(8.5%)	184	(15.5%)	17	(5.7%)
		4人	46	(3.9%)	106	(8.9%)	7	(2.3%)
		5人以上	76	(6.4%)	175	(14.8%)	28	(9.4%)
		無回答	6	(0.5%)	12	(1.0%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	児童生徒支援に専任で携わっている教員の数	0人	992	(83.3%)	855	(72.1%)	278	(93.0%)
		1人	166	(13.9%)	276	(23.3%)	10	(3.3%)
		2人	16	(1.3%)	30	(2.5%)	6	(2.0%)
		3人以上	11	(0.9%)	13	(1.1%)	3	(1.0%)
		無回答	6	(0.5%)	12	(1.0%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	特別支援教育コーディネーターに専任で携わっている教員の数	0人	1,048	(88.0%)	993	(83.7%)	272	(91.0%)
		1人	121	(10.2%)	171	(14.4%)	22	(7.4%)
		2人	16	(1.3%)	10	(0.8%)	3	(1.0%)
		無回答	6	(0.5%)	12	(1.0%)	2	(0.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q7	1年単位の変形労働時間制の適用を受ける者の数	0人	1,150	96.6%	1,124	94.8%	280	93.6%
		1人以上	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
		無回答	41	3.4%	61	5.1%	19	6.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q8①	正規職員（再任用職員（フルタイム）、臨時的任用職員または任期付採用職員（フルタイム））を除く）の学校事務職員数	0人	164	13.8%	161	13.6%	5	1.7%
		1人	876	73.6%	784	66.1%	16	5.4%
		2人	127	10.7%	196	16.5%	40	13.4%
		3人	14	1.2%	28	2.4%	236	78.9%
		無回答	10	0.8%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	正規職員（再任用職員（フルタイム）、臨時的任用職員または任期付採用職員（フルタイム））を除く）の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	867	72.8%	818	69.0%	211	70.6%
		1人	186	15.6%	205	17.3%	1	0.3%
		2人以上	22	1.8%	28	2.4%	12	4.0%
		無回答	116	9.7%	135	11.4%	75	25.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	正規職員（再任用職員（フルタイム）、臨時的任用職員または任期付採用職員（フルタイム））を除く）の学校栄養職員数	0人	809	67.9%	882	74.4%		
		1人	266	22.3%	151	12.7%		
		2人	15	1.3%	10	0.8%		
		3人以上	4	0.3%	3	0.3%		
		無回答	97	8.1%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	正規（フルタイム）学校栄養職員のうち、市町村費負担者の数	0人	936	78.6%	980	82.6%		
		1人	88	7.4%	34	2.9%		
		2人以上	10	0.8%	8	0.7%		
		無回答	157	13.2%	164	13.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
Q8②	短時間勤務の職員（再任用職員（短時間勤務）、非常勤講師）を除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）の学校事務職員数	0人	1,140	95.7%	1,126	94.9%	280	93.6%
		1人以上	39	3.3%	43	3.6%	17	5.7%
		無回答	12	1.0%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の職員（再任用職員（短時間勤務）、非常勤講師）を除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,029	86.4%	1,006	84.8%	243	81.3%
		1人以上	25	2.1%	31	2.6%	1	0.3%
		無回答	137	11.5%	149	12.6%	55	18.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	短時間勤務の職員（再任用職員（短時間勤務）、非常勤講師）を除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）の学校栄養職員数	0人	1,082	90.8%	1,040	87.7%		
		1人以上	10	0.8%	6	0.5%		
		無回答	99	8.3%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	短時間勤務の職員（再任用職員（短時間勤務）、非常勤講師）を除く）（育児短時間勤務者、部分休業者等）の学校栄養職員のうち市町村費負担者の数	0人	1,024	86.0%	1,008	85.0%		
		1人以上	7	0.6%	3	0.3%		
		無回答	160	13.4%	175	14.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
Q8③	再任用（フルタイム）の学校事務職員数	0人	1,100	92.4%	1,069	90.1%	235	78.6%
		1人以上	79	6.6%	100	8.4%	62	20.7%
		無回答	12	1.0%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用（フルタイム）の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,046	87.8%	1,017	85.8%	233	77.9%
		1人以上	18	1.5%	26	2.2%	5	1.7%
		無回答	127	10.7%	143	12.1%	61	20.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用（フルタイム） 学校栄養職員の数	0人	1,079	90.6%	1,041	87.8%		
		1人	13	1.1%	5	0.4%		
		無回答	99	8.3%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	再任用（フルタイム）の学校栄養職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,023	85.9%	1,011	85.2%		
		1人	5	0.4%	2	0.2%		
		無回答	163	13.7%	173	14.6%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
Q8④	再任用職員（短時間勤務）の学校事務職員数	0人	1,166	97.9%	1,152	97.1%	269	90.0%
		1人	9	0.8%	15	1.3%	21	7.0%
		2人以上	4	0.3%	2	0.2%	7	2.3%
		無回答	12	1.0%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用職員（短時間勤務）の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,062	89.2%	1,033	87.1%	242	80.9%
		1人以上	3	0.3%	9	0.8%	3	1.0%
		無回答	126	10.6%	144	12.1%	54	18.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	再任用（短時間勤務のもの） 学校栄養職員の数	0人	1,091	91.6%	1,045	88.1%		
		1人	1	0.1%	1	0.1%		
		無回答	99	8.3%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	再任用職員（短時間勤務）の学校栄養職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,033	86.7%	1,014	85.5%		
		1人	1	0.1%	0	0.0%		
		無回答	157	13.2%	172	14.5%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
Q8⑤	臨時的任用または任期付採用職員（フルタイム）の学校事務職員数	0人	967	81.2%	924	77.9%	175	58.5%
		1人	193	16.2%	213	18.0%	74	24.7%
		2人	11	0.9%	21	1.8%	25	8.4%
		3人以上	8	0.7%	11	0.9%	23	7.7%
		無回答	12	1.0%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用または任期付採用職員（フルタイム）の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	990	83.1%	953	80.4%	229	76.6%
		1人以上	71	6.0%	83	7.0%	8	2.7%
		無回答	130	10.9%	150	12.6%	62	20.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	臨時的任用または任期付採用職員（フルタイム）学校栄養職員数	0人	1,023	85.9%	1,002	84.5%		
		1人	67	5.6%	44	3.7%		
		2人	2	0.2%	0	0.0%		
		無回答	99	8.3%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	臨時的任用または任期付採用職員（フルタイム）の学校栄養職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,007	84.6%	996	84.0%		
		1人以上	20	1.7%	10	0.8%		
		無回答	164	13.8%	180	15.2%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q8⑥	非常勤職員の学校事務職員数	0人	1,102	92.5%	1,082	91.2%	182	60.9%
		1人	59	5.0%	66	5.6%	43	14.4%
		2人	13	1.1%	10	0.8%	38	12.7%
		3人以上	6	0.5%	11	0.9%	34	11.4%
		無回答	11	0.9%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤職員の学校事務職員のうち、市町村費負担者の数	0人	999	83.9%	974	82.1%	229	76.6%
		1人	42	3.5%	47	4.0%	3	1.0%
		2人以上	9	0.8%	13	1.1%	4	1.3%
		無回答	141	11.8%	152	12.8%	63	21.1%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	非常勤職員の学校栄養職員数	0人	1,074	90.2%	1,034	87.2%		
		1人	16	1.3%	11	0.9%		
		2人	2	0.2%	2	0.2%		
		無回答	99	8.3%	140	11.8%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
	非常勤職員 学校栄養職員のうち、市町村費負担者の数	0人	1,006	84.5%	985	83.1%		
		1人以上	14	1.2%	13	1.1%		
		無回答	171	14.4%	188	15.9%		
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%		
Q9-1	学校司書の数	0人	318	26.7%	344	29.0%	113	37.8%
		1人	829	69.6%	814	68.6%	168	56.2%
		2人	27	2.3%	11	0.9%	9	3.0%
		3人	3	0.3%	2	0.2%	5	1.7%
		無回答	14	1.2%	15	1.3%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	学校司書 1週間の合計勤務時間	0時間	320	26.9%	350	29.5%	113	37.8%
		0時間超～10時間未満	217	18.2%	224	18.9%	5	1.7%
		10時間～20時間未満	242	20.3%	184	15.5%	4	1.3%
		20時間～30時間未満	184	15.4%	187	15.8%	9	3.0%
		30時間～40時間未満	181	15.2%	188	15.9%	127	42.5%
		40時間～50時間未満	22	1.8%	20	1.7%	19	6.4%
		50時間以上	5	0.4%	1	0.1%	11	3.7%
		無回答	20	1.7%	32	2.7%	11	3.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-2	用務員、技術員（学校主事）の数	0人	86	7.2%	88	7.4%	67	22.4%
		1人	697	58.5%	678	57.2%	47	15.7%
		2人	306	25.7%	314	26.5%	127	42.5%
		3人	38	3.2%	62	5.2%	34	11.4%
		4人	27	2.3%	16	1.3%	13	4.3%
		5人以上	28	2.4%	14	1.2%	7	2.3%
		無回答	9	0.8%	14	1.2%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	用務員、技術員（学校主事） 1週間の合計勤務時間	0時間	89	7.5%	90	7.6%	67	22.4%
		0時間超～10時間未満	43	3.6%	44	3.7%	5	1.7%
		10時間～20時間未満	33	2.8%	30	2.5%	3	1.0%
		20時間～30時間未満	67	5.6%	68	5.7%	12	4.0%
		30時間～40時間未満	604	50.7%	556	46.9%	63	21.1%
		40時間～50時間未満	144	12.1%	147	12.4%	9	3.0%
		50時間～60時間未満	15	1.3%	20	1.7%	15	5.0%
		60時間～70時間未満	43	3.6%	63	5.3%	25	8.4%
		70時間～80時間未満	65	5.5%	68	5.7%	50	16.7%
		80時間以上	56	4.7%	61	5.1%	40	13.4%
		無回答	32	2.7%	39	3.3%	10	3.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-3	外国語指導助手（ALT）の数	0人	212	17.8%	132	11.1%	59	19.7%
		1人	843	70.8%	954	80.4%	196	65.6%
		2人	116	9.7%	73	6.2%	33	11.0%
		3人以上	9	0.8%	13	1.1%	8	2.7%
		無回答	11	0.9%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	外国語指導助手（ALT） 1週間の合計勤務時間	0時間	223	18.7%	141	11.9%	60	20.1%
		0時間超～5時間未満	105	8.8%	83	7.0%	23	7.7%
		5時間～10時間未満	255	21.4%	170	14.3%	34	11.4%
		10時間～15時間未満	190	16.0%	130	11.0%	21	7.0%
		15時間～20時間未満	131	11.0%	111	9.4%	15	5.0%
		20時間～25時間未満	87	7.3%	117	9.9%	14	4.7%
		25時間～30時間未満	32	2.7%	52	4.4%	5	1.7%
		30時間～35時間未満	33	2.8%	77	6.5%	11	3.7%
		35時間～40時間未満	78	6.5%	210	17.7%	81	27.1%
		40時間～45時間未満	13	1.1%	38	3.2%	1	0.3%
		45時間以上	12	1.0%	16	1.3%	19	6.4%
		無回答	32	2.7%	41	3.5%	15	5.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-4	スクールカウンセラーの数	0人	298	25.0%	62	5.2%	59	19.7%
		1人	803	67.4%	960	80.9%	210	70.2%
		2人	76	6.4%	136	11.5%	21	7.0%
		3人以上	5	0.4%	13	1.1%	6	2.0%
		無回答	9	0.8%	15	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	スクールカウンセラー 1週間の合計勤務時間	0時間	317	26.6%	67	5.6%	63	21.1%
		0時間超～5時間未満	522	43.8%	335	28.2%	139	46.5%
		5時間～10時間未満	262	22.0%	596	50.3%	63	21.1%
		10時間～15時間未満	21	1.8%	53	4.5%	11	3.7%
		15時間～20時間未満	27	2.3%	47	4.0%	4	1.3%
		20時間以上	17	1.4%	54	4.6%	6	2.0%
		無回答	25	2.1%	34	2.9%	13	4.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-5	スクールソーシャルワーカーの数	0人	864	72.5%	773	65.2%	237	79.3%
		1人	310	26.0%	373	31.5%	51	17.1%
		2人以上	8	0.7%	23	1.9%	8	2.7%
		無回答	9	0.8%	17	1.4%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	スクールソーシャルワーカー 1週間の合計勤務時間	0時間	890	74.7%	792	66.8%	242	80.9%
		0時間超～5時間未満	192	16.1%	186	15.7%	29	9.7%
		5時間～10時間未満	64	5.4%	123	10.4%	9	3.0%
		10時間～15時間未満	12	1.0%	24	2.0%	4	1.3%
		15時間～20時間未満	5	0.4%	12	1.0%	7	2.3%
		20時間以上	11	0.9%	25	2.1%	0	0.0%
		無回答	17	1.4%	24	2.0%	8	2.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q9-6	特別支援教育支援員の数	0人	333	28.0%	458	38.6%	258	86.3%
		1人	258	21.7%	345	29.1%	30	10.0%
		2人	200	16.8%	204	17.2%	4	1.3%
		3人	148	12.4%	93	7.8%	2	0.7%
		4人	101	8.5%	41	3.5%	2	0.7%
		5人	61	5.1%	13	1.1%	0	0.0%
		6人以上	80	6.7%	16	1.3%	0	0.0%
		無回答	10	0.8%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	特別支援教育支援員 1週間の合計勤務時間	0時間	341	28.6%	465	39.2%	258	86.3%
		0時間超～10時間未満	49	4.1%	44	3.7%	9	3.0%
		10時間～20時間未満	66	5.5%	74	6.2%	3	1.0%
		20時間～30時間未満	154	12.9%	168	14.2%	12	4.0%
		30時間～40時間未満	236	19.8%	220	18.5%	7	2.3%
		40時間～50時間未満	48	4.0%	41	3.5%	1	0.3%
		50時間～60時間未満	38	3.2%	26	2.2%	0	0.0%
		60時間～70時間未満	48	4.0%	40	3.4%	2	0.7%
		70時間～80時間未満	36	3.0%	17	1.4%	0	0.0%
		80時間～90時間未満	21	1.8%	13	1.1%	0	0.0%
		90時間～100時間未満	19	1.6%	14	1.2%	0	0.0%
		100時間～110時間未満	23	1.9%	11	0.9%	1	0.3%
		110時間～120時間未満	11	0.9%	5	0.4%	1	0.3%
		120時間～130時間未満	12	1.0%	2	0.2%	0	0.0%
		130時間以上	66	5.5%	22	1.9%	0	0.0%
		無回答	23	1.9%	24	2.0%	5	1.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-7	日本語支援員・母語支援員の数	0人	903	75.8%	967	81.5%	275	92.0%
		1人	181	15.2%	154	13.0%	17	5.7%
		2人	53	4.5%	32	2.7%	0	0.0%
		3人	22	1.8%	11	0.9%	2	0.7%
		4人以上	21	1.8%	8	0.7%	2	0.7%
		無回答	11	0.9%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	日本語支援員・母語支援員 1週間の合計勤務時間	0時間	911	76.5%	967	81.5%	276	92.3%
		0時間超～10時間未満	188	15.8%	159	13.4%	15	5.0%
		10時間～20時間未満	38	3.2%	23	1.9%	2	0.7%
		20時間～30時間未満	14	1.2%	8	0.7%	0	0.0%
		30時間～40時間未満	13	1.1%	8	0.7%	1	0.3%
		40時間以上	12	1.0%	4	0.3%	2	0.7%
		無回答	15	1.3%	17	1.4%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-8	学習指導員の数	0人	730	61.3%	785	66.2%	266	89.0%
		1人	235	19.7%	231	19.5%	22	7.4%
		2人	105	8.8%	88	7.4%	3	1.0%
		3人以上	109	9.2%	67	5.6%	5	1.7%
		無回答	12	1.0%	15	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	学習指導員 1週間の合計勤務時間	0時間	736	61.8%	786	66.3%	267	89.3%
		0時間超～10時間未満	66	5.5%	97	8.2%	17	5.7%
		10時間～20時間未満	113	9.5%	82	6.9%	8	2.7%
		20時間～30時間未満	84	7.1%	69	5.8%	0	0.0%
		30時間～40時間未満	86	7.2%	68	5.7%	1	0.3%
		40時間以上	90	7.6%	60	5.1%	0	0.0%
		無回答	16	1.3%	24	2.0%	6	2.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-9	観察実験スタッフ（理科支援員）の数	0人	1,012	85.0%	1,137	95.9%	284	95.0%
		1人	168	14.1%	33	2.8%	8	2.7%
		2人	2	0.2%	2	0.2%	4	1.3%
		3人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		4人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		5人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	9	0.8%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	観察実験スタッフ（理科支援員） 1週間の合計勤務時間	0時間	1,014	85.1%	1,138	96.0%	284	95.0%
		0時間超～10時間未満	118	9.9%	19	1.6%	1	0.3%
		10時間～20時間未満	40	3.4%	5	0.4%	0	0.0%
		20時間～30時間未満	5	0.4%	5	0.4%	0	0.0%
		30時間～40時間未満	1	0.1%	5	0.4%	7	2.3%
		40時間～50時間未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		50時間～60時間未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		60時間～70時間未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		70時間～80時間未満	0	0.0%	0	0.0%	3	1.0%
		80時間以上	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
		無回答	13	1.1%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-10	情報通信技術支援員（ICT支援員）の数	0人	586	49.2%	631	53.2%	217	72.6%
		1人	554	46.5%	508	42.8%	77	25.8%
		2人	39	3.3%	31	2.6%	2	0.7%
		3人以上	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%
		無回答	12	1.0%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	情報通信技術支援員（ICT支援員） 1週間の合計勤務時間	0時間	597	50.1%	639	53.9%	221	73.9%
		0時間超～10時間未満	502	42.1%	445	37.5%	48	16.1%
		10時間～20時間未満	56	4.7%	44	3.7%	8	2.7%
		20時間～30時間未満	7	0.6%	11	0.9%	3	1.0%
		30時間以上	10	0.8%	23	1.9%	14	4.7%
		無回答	19	1.6%	24	2.0%	5	1.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-11	教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の数	0人	356	29.9%	451	38.0%	195	65.2%
		1人	645	54.2%	581	49.0%	75	25.1%
		2人	137	11.5%	109	9.2%	16	5.4%
		3人以上	44	3.7%	29	2.4%	10	3.3%
		無回答	9	0.8%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ 1週間の合計勤務時間	0時間	360	30.2%	453	38.2%	197	65.9%
		0時間超～10時間未満	83	7.0%	69	5.8%	15	5.0%
		10時間～20時間未満	278	23.3%	244	20.6%	17	5.7%
		20時間～30時間未満	260	21.8%	251	21.2%	23	7.7%
		30時間～40時間未満	137	11.5%	102	8.6%	24	8.0%
		40時間以上	52	4.4%	41	3.5%	15	5.0%
		無回答	21	1.8%	26	2.2%	8	2.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q9-12	医療的ケア看護職員の数	0人	1,106	92.9%	1,138	96.0%	295	98.7%
		1人	48	4.0%	23	1.9%	1	0.3%
		2人以上	28	2.4%	9	0.8%	0	0.0%
		無回答	9	0.8%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	医療的ケア看護職員 1週間の合計勤務時間	0時間	1,106	92.9%	1,140	96.1%	295	98.7%
		0時間超～10時間未満	16	1.3%	8	0.7%	0	0.0%
		10時間～20時間未満	10	0.8%	1	0.1%	1	0.3%
		20時間～30時間未満	16	1.3%	6	0.5%	0	0.0%
		30時間以上	34	2.9%	17	1.4%	0	0.0%
		無回答	9	0.8%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-13	Q9-1～Q9-12以外で、公費から報酬・謝金を支出していない者（地域のボランティア。企業からの派遣など）の数	0人	1,051	88.2%	1,096	92.4%	278	93.0%
		1人	43	3.6%	37	3.1%	7	2.3%
		2人	31	2.6%	14	1.2%	5	1.7%
		3人以上	57	4.8%	25	2.1%	6	2.0%
		無回答	9	0.8%	14	1.2%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	Q9-1～Q9-12以外で、公費から報酬・謝金を支出していない者（地域のボランティア・企業からの派遣など） 1週間の合計勤務時間	0時間	1,056	88.7%	1,096	92.4%	279	93.3%
		0時間超～10時間未満	72	6.0%	37	3.1%	5	1.7%
		10時間～20時間未満	30	2.5%	19	1.6%	2	0.7%
		20時間～30時間未満	8	0.7%	4	0.3%	2	0.7%
		30時間～40時間未満	4	0.3%	8	0.7%	2	0.7%
		40時間以上	8	0.7%	5	0.4%	6	2.0%
		無回答	13	1.1%	17	1.4%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q9-14	その他の数	0人	1,013	85.1%	983	82.9%	248	82.9%
		1人	70	5.9%	95	8.0%	18	6.0%
		2人	40	3.4%	36	3.0%	9	3.0%
		3人	18	1.5%	14	1.2%	3	1.0%
		4人	7	0.6%	9	0.8%	3	1.0%
		5人	5	0.4%	2	0.2%	1	0.3%
		6人以上	3	0.3%	2	0.2%	0	0.0%
		無回答	35	2.9%	45	3.8%	17	5.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	その他 1週間の合計勤務時間	0時間	1,014	85.1%	986	83.1%	248	82.9%
		0時間超～10時間未満	25	2.1%	19	1.6%	2	0.7%
		10時間～20時間未満	38	3.2%	36	3.0%	2	0.7%
		20時間～30時間未満	28	2.4%	39	3.3%	6	2.0%
		30時間～40時間未満	17	1.4%	31	2.6%	9	3.0%
		40時間～50時間未満	11	0.9%	5	0.4%	5	1.7%
		50時間～60時間未満	4	0.3%	11	0.9%	3	1.0%
		60時間～70時間未満	5	0.4%	7	0.6%	5	1.7%
		70時間～80時間未満	3	0.3%	3	0.3%	0	0.0%
		80時間～90時間未満	5	0.4%	2	0.2%	0	0.0%
		90時間以上	5	0.4%	3	0.3%	1	0.3%
		無回答	36	3.0%	44	3.7%	18	6.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q10	Q9-11の教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）が担っている業務（複数回答）	資料の印刷、配布準備	716	86.7%	618	86.0%	73	72.3%
		採点業務の補助	268	32.4%	137	19.1%	8	7.9%
		来客対応や電話対応	369	44.7%	284	39.5%	40	39.6%
		学校行事や式典等の準備補助	540	65.4%	431	59.9%	39	38.6%
		各種データの入力・集計	350	42.4%	322	44.8%	62	61.4%
		掲示物の張替	456	55.2%	389	54.1%	34	33.7%
		資料の整理	479	58.0%	443	61.6%	75	74.3%
		新型コロナウイルス感染症対策のための清掃活動（消毒作業を含む）	536	64.9%	475	66.1%	52	51.5%
		無回答	8	1.0%	4	0.6%	2	2.0%
		回答件数	826	－	719	－	101	－
Q11-1	部活動の設置数	1～5部			104	8.8%	13	4.3%
		6～10部			275	23.2%	18	6.0%
		11～15部			462	39.0%	18	6.0%
		16～20部			267	22.5%	35	11.7%
		21部以上			59	5.0%	204	68.2%
		無回答			19	1.6%	11	3.7%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q11-2	部活動指導員の人数	0人			489	41.2%	128	42.8%
		1人			259	21.8%	65	21.7%
		2人			143	12.1%	30	10.0%
		3人			85	7.2%	13	4.3%
		4人			54	4.6%	17	5.7%
		5人			45	3.8%	8	2.7%
		6人以上			85	7.2%	31	10.4%
		無回答			26	2.2%	7	2.3%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q11-3	すべての部活動指導員の1週間の勤務時間を足しあげた合計時間（平日）	0時間			422	35.6%	116	38.8%
		0時間超～10時間未満			372	31.4%	79	26.4%
		10時間～20時間未満			127	10.7%	29	9.7%
		20時間～30時間未満			34	2.9%	14	4.7%
		30時間～40時間未満			17	1.4%	3	1.0%
		40時間～50時間未満			9	0.8%	2	0.7%
		50時間～60時間未満			4	0.3%	0	0.0%
		60時間～70時間未満			6	0.5%	0	0.0%
		70時間～80時間未満			1	0.1%	0	0.0%
		80時間以上			13	1.1%	4	1.3%
		無回答			181	15.3%	52	17.4%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
	すべての部活動指導員の1週間の勤務時間を足しあげた合計時間（土日）	0時間			398	33.6%	127	42.5%
		0時間超～10時間未満			456	38.4%	82	27.4%
		10時間～20時間未満			99	8.3%	27	9.0%
		20時間～30時間未満			22	1.9%	3	1.0%
		30時間～40時間未満			9	0.8%	1	0.3%
		40時間～50時間未満			5	0.4%	3	1.0%
		50時間～60時間未満			2	0.2%	2	0.7%
		60時間～70時間未満			1	0.1%	0	0.0%
		70時間～80時間未満			2	0.2%	1	0.3%
		80時間以上			9	0.8%	2	0.7%
		無回答			183	15.4%	51	17.1%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q11-4	すべての部活動指導員について、Q11-3の合計時間のうち、教員を伴わず単独で指導・引率をしている平均的な1週間の時間を足しあげた合計時間（平日）	0時間			734	61.9%	199	66.6%
		0時間超～10時間未満			214	18.0%	40	13.4%
		10時間～20時間未満			31	2.6%	14	4.7%
		20時間以上			21	1.8%	8	2.7%
		無回答			193	16.3%	46	15.4%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
	すべての部活動指導員について、Q11-3の合計時間のうち、教員を伴わず単独で指導・引率をしている平均的な1週間の時間を足しあげた合計時間（土日）	0時間			790	66.6%	211	70.6%
		0時間超～10時間未満			187	15.8%	35	11.7%
		10時間～20時間未満			9	0.8%	4	1.3%
		20時間以上			5	0.4%	0	0.0%
		無回答			195	16.4%	49	16.4%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q11-5	直近1年間で学校が把握している外部指導者の人数	0人			231	19.5%	96	32.1%
		1人			201	16.9%	36	12.0%
		2人			166	14.0%	27	9.0%
		3人			134	11.3%	22	7.4%
		4人			109	9.2%	21	7.0%
		5人			66	5.6%	21	7.0%
		6人			53	4.5%	11	3.7%
		7人			38	3.2%	12	4.0%
		8人			48	4.0%	9	3.0%
		9人			16	1.3%	5	1.7%
		10人			21	1.8%	7	2.3%
		11人以上			77	6.5%	25	8.4%
		無回答			26	2.2%	7	2.3%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q11-6	地域クラブと連携して合同練習を行ったり、地域の指導者に実技指導は任せたりするなど、地域と連携・協力して練習を行っているか	はい			212	17.9%	40	13.4%
		いいえ			955	80.5%	253	84.6%
		無回答			19	1.6%	6	2.0%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q12-1	学校運営協議会が設置されているか	有	807	67.8%	756	63.7%	148	49.5%
		無	376	31.6%	413	34.8%	149	49.8%
		無回答	8	0.7%	17	1.4%	2	0.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	学校運営協議会が設置されている場合の年間のおおむねの会議開催回数	1回	9	1.1%	11	1.5%	1	0.7%
		2回	128	15.9%	130	17.2%	46	31.1%
		3回	396	49.1%	357	47.2%	85	57.4%
		4回	121	15.0%	106	14.0%	8	5.4%
		5回	63	7.8%	51	6.7%	1	0.7%
		6回以上	38	4.7%	47	6.2%	5	3.4%
		無回答	52	6.4%	54	7.1%	2	1.4%
		合計	807	100.0%	756	100.0%	148	100.0%
	学校運営協議会が設置されている場合の委員の人数	1～5人	62	7.7%	41	5.4%	12	8.1%
		6～10人	310	38.4%	286	37.8%	66	44.6%
		11～15人	282	34.9%	245	32.4%	49	33.1%
		16～20人	69	8.6%	100	13.2%	11	7.4%
		21人以上	33	4.1%	30	4.0%	8	5.4%
		無回答	51	6.3%	54	7.1%	2	1.4%
		合計	807	100.0%	756	100.0%	148	100.0%
	学校運営協議会が設置されている場合の委員のうち教職員の人数	0人	109	13.5%	75	9.9%	20	13.5%
		1人	95	11.8%	67	8.9%	39	26.4%
		2人	195	24.2%	167	22.1%	10	6.8%
		3人	210	26.0%	182	24.1%	12	8.1%
		4人	81	10.0%	100	13.2%	10	6.8%
		5人	22	2.7%	47	6.2%	9	6.1%
		6人以上	42	5.2%	62	8.2%	42	28.4%
		無回答	53	6.6%	56	7.4%	6	4.1%
		合計	807	100.0%	756	100.0%	148	100.0%
Q12-2	地域学校協働活動（地域と学校が連携・協働して行う活動）の実施	実施されている	828	69.5%	731	61.6%	149	49.8%
		実施されていない	351	29.5%	440	37.1%	146	48.8%
		無回答	12	1.0%	15	1.3%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q14	地域主導の学校・地域交流行事の実施回数	0回	919	77.2%	939	79.2%	232	77.6%
		1回	185	15.5%	156	13.2%	42	14.0%
		2回	48	4.0%	43	3.6%	12	4.0%
		3回	15	1.3%	17	1.4%	7	2.3%
		4回	8	0.7%	1	0.1%	0	0.0%
		5回	4	0.3%	5	0.4%	0	0.0%
		6回	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
		7回以上	3	0.3%	1	0.1%	2	0.7%
		無回答	8	0.7%	23	1.9%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q15	運営に困難をきたしている学級数	0学級	971	81.5%	1,122	94.6%	288	96.3%
		1学級	117	9.8%	31	2.6%	3	1.0%
		2学級	58	4.9%	7	0.6%	1	0.3%
		3学級	28	2.4%	1	0.1%	2	0.7%
		4学級以上	8	0.7%	1	0.1%	1	0.3%
		無回答	9	0.8%	24	2.0%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q16-A	平日放課後の補習を実施していますか	実施している	254	21.3%	368	31.0%	148	49.5%
		実施していない	929	78.0%	799	67.4%	147	49.2%
		無回答	8	0.7%	19	1.6%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	実施している場合の回数（週）	1回	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
		2回	32	12.6%	28	7.6%	3	2.0%
		3回	10	3.9%	23	6.3%	9	6.1%
		4回	4	1.6%	9	2.4%	6	4.1%
		5回	5	2.0%	9	2.4%	17	11.5%
		無回答	203	79.9%	298	81.0%	113	76.4%
		合計	254	100.0%	368	100.0%	148	100.0%
	実施している場合の時間（1回当たり）	20分未満	2	0.8%	1	0.3%	1	0.7%
		20分～30分未満	1	0.4%	3	0.8%	1	0.7%
		30分～40分未満	13	5.1%	10	2.7%	1	0.7%
		40分～50分未満	18	7.1%	7	1.9%	2	1.4%
		50分～60分未満	2	0.8%	15	4.1%	15	10.1%
		60分～70分未満	13	5.1%	25	6.8%	10	6.8%
		70分～80分未満	1	0.4%	1	0.3%	0	0.0%
		80分～90分未満	0	0.0%	1	0.3%	2	1.4%
		90分～100分未満	3	1.2%	8	2.2%	5	3.4%
		100分以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	201	79.1%	297	80.7%	111	75.0%
		合計	254	100.0%	368	100.0%	148	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q16-B	土曜日の学習の指導を実施していますか（複数回答）	実施している（教育課程内）	126	（ 10.6%）	105	（ 8.9%）	23	（ 7.7%）
		実施している（教育課程外）	27	（ 2.3%）	53	（ 4.5%）	68	（ 22.7%）
		実施していない	1,026	（ 86.1%）	1,002	（ 84.5%）	203	（ 67.9%）
		無回答	12	（ 1.0%）	26	（ 2.2%）	5	（ 1.7%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
	土曜日の学習の指導を「実施している（教育課程内）」場合のみ回答　実施している場合の回数（年）（教育課程内）	1回	14	（ 11.1%）	12	（ 11.4%）	0	（ 0.0%）
		2回	12	（ 9.5%）	11	（ 10.5%）	0	（ 0.0%）
		3回	17	（ 13.5%）	11	（ 10.5%）	1	（ 4.3%）
		4回	15	（ 11.9%）	15	（ 14.3%）	1	（ 4.3%）
		5回	3	（ 2.4%）	4	（ 3.8%）	2	（ 8.7%）
		6回	2	（ 1.6%）	3	（ 2.9%）	0	（ 0.0%）
		7回	6	（ 4.8%）	1	（ 1.0%）	0	（ 0.0%）
		8回	9	（ 7.1%）	5	（ 4.8%）	2	（ 8.7%）
		9回	16	（ 12.7%）	12	（ 11.4%）	1	（ 4.3%）
		10回	10	（ 7.9%）	12	（ 11.4%）	3	（ 13.0%）
		11回	8	（ 6.3%）	6	（ 5.7%）	1	（ 4.3%）
		12回以上	2	（ 1.6%）	6	（ 5.7%）	10	（ 43.5%）
		無回答	12	（ 9.5%）	7	（ 6.7%）	2	（ 8.7%）
		合計	126	（ 100.0%）	105	（ 100.0%）	23	（ 100.0%）
Q16-B	土曜日の学習の指導を「実施している（教育課程内）」場合のみ回答　実施している場合の時間（1日当たり）（教育課程内）	1時間	2	（ 1.6%）	1	（ 1.0%）	0	（ 0.0%）
		2時間	4	（ 3.2%）	5	（ 4.8%）	0	（ 0.0%）
		3時間	63	（ 50.0%）	45	（ 42.9%）	5	（ 21.7%）
		4時間	33	（ 26.2%）	37	（ 35.2%）	12	（ 52.2%）
		5時間	2	（ 1.6%）	5	（ 4.8%）	0	（ 0.0%）
		6時間	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）
		7時間	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）
		8時間以上	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）
		無回答	22	（ 17.5%）	12	（ 11.4%）	6	（ 26.1%）
		合計	126	（ 100.0%）	105	（ 100.0%）	23	（ 100.0%）
	土曜日の学習の指導を「実施している（教育課程外）」場合のみ回答　実施している場合の回数（年）（教育課程外）	1～5回	8	（ 29.6%）	9	（ 17.0%）	13	（ 19.1%）
		6～10回	5	（ 18.5%）	8	（ 15.1%）	21	（ 30.9%）
		11～15回	3	（ 11.1%）	7	（ 13.2%）	9	（ 13.2%）
		16～20回	1	（ 3.7%）	3	（ 5.7%）	10	（ 14.7%）
		21回以上	1	（ 3.7%）	5	（ 9.4%）	8	（ 11.8%）
		無回答	8	（ 29.6%）	21	（ 39.6%）	7	（ 10.3%）
		合計	27	（ 100.0%）	53	（ 100.0%）	68	（ 100.0%）
	土曜日の学習の指導を「実施している（教育課程外）」場合のみ回答　実施している場合の時間（1日当たり）（教育課程外）	1時間	3	（ 11.1%）	0	（ 0.0%）	4	（ 5.9%）
		2時間	8	（ 29.6%）	17	（ 32.1%）	5	（ 7.4%）
		3時間	5	（ 18.5%）	10	（ 18.9%）	27	（ 39.7%）
		4時間	1	（ 3.7%）	4	（ 7.5%）	15	（ 22.1%）
		5時間	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	2	（ 2.9%）
		無回答	10	（ 37.0%）	22	（ 41.5%）	15	（ 22.1%）
		合計	27	（ 100.0%）	53	（ 100.0%）	68	（ 100.0%）
Q17-1	校務支援システムの導入状況	導入している	1,069	（ 89.8%）	1,047	（ 88.3%）	274	（ 91.6%）
		導入していない	113	（ 9.5%）	117	（ 9.9%）	21	（ 7.0%）
		無回答	9	（ 0.8%）	22	（ 1.9%）	4	（ 1.3%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
Q17-2	コンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会	十分ある	377	（ 31.7%）	274	（ 23.1%）	79	（ 26.4%）
		少しある	751	（ 63.1%）	743	（ 62.6%）	181	（ 60.5%）
		あまりない	55	（ 4.6%）	146	（ 12.3%）	34	（ 11.4%）
		全くない	1	（ 0.1%）	4	（ 0.3%）	1	（ 0.3%）
		無回答	7	（ 0.6%）	19	（ 1.6%）	4	（ 1.3%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
Q17-3	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、十分な知識を持った専門スタッフ（教員は除く）がいるなど（ICT支援員、GIGAスクール運営支援センター、ヘルプデスクなど）、技術的にサポートを受ける体制	十分ある	398	（ 33.4%）	334	（ 28.2%）	77	（ 25.8%）
		少しある	620	（ 52.1%）	606	（ 51.1%）	123	（ 41.1%）
		あまりない	114	（ 9.6%）	155	（ 13.1%）	55	（ 18.4%）
		全くない	51	（ 4.3%）	71	（ 6.0%）	41	（ 13.7%）
		無回答	8	（ 0.7%）	20	（ 1.7%）	3	（ 1.0%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q18-1	職員会議の実施回数（年間）	1～9回	170	14.3%	104	8.8%	9	3.0%
		10回	86	7.2%	75	6.3%	21	7.0%
		11回	81	6.8%	65	5.5%	9	3.0%
		12回	222	18.6%	234	19.7%	56	18.7%
		13回	114	9.6%	115	9.7%	41	13.7%
		14回	147	12.3%	129	10.9%	37	12.4%
		15回	157	13.2%	173	14.6%	27	9.0%
		16回	64	5.4%	80	6.7%	18	6.0%
		17回	39	3.3%	30	2.5%	12	4.0%
		18回	25	2.1%	35	3.0%	10	3.3%
		19回	5	0.4%	18	1.5%	2	0.7%
		20回	19	1.6%	28	2.4%	10	3.3%
		21回以上	42	3.5%	77	6.5%	40	13.4%
		実施していない	10	0.8%	1	0.1%	0	0.0%
		無回答	10	0.8%	22	1.9%	7	2.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	学校閉庁日の実施日数（年間）	1日	21	1.8%	26	2.2%	22	7.4%
		2日	48	4.0%	55	4.6%	45	15.1%
		3日	194	16.3%	232	19.6%	68	22.7%
		4日	219	18.4%	202	17.0%	36	12.0%
		5日	269	22.6%	254	21.4%	73	24.4%
		6日	121	10.2%	95	8.0%	12	4.0%
		7～10日	233	19.6%	207	17.5%	17	5.7%
		11日以上	57	4.8%	80	6.7%	9	3.0%
		実施していない	18	1.5%	15	1.3%	13	4.3%
		無回答	11	0.9%	20	1.7%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	学校閉庁日の調査週中の日数	1日	42	3.5%	50	4.2%	16	5.4%
		2日	78	6.5%	71	6.0%	14	4.7%
		3日	31	2.6%	24	2.0%	12	4.0%
		4日	24	2.0%	31	2.6%	2	0.7%
		5日	21	1.8%	11	0.9%	1	0.3%
		6日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		7～10日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		11日以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		実施していない	942	79.1%	946	79.8%	238	79.6%
		無回答	53	4.5%	53	4.5%	16	5.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	ノー残業デーの実施日数（月）	1日	151	12.7%	216	18.2%	46	15.4%
		2日	121	10.2%	77	6.5%	17	5.7%
		3日	12	1.0%	16	1.3%	7	2.3%
		4日	446	37.4%	364	30.7%	59	19.7%
		5日以上	82	6.9%	52	4.4%	17	5.7%
		実施していない	334	28.0%	423	35.7%	145	48.5%
		無回答	45	3.8%	38	3.2%	8	2.7%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	ノー残業デーの調査週中の日数	1日	439	36.9%	372	31.4%	70	23.4%
		2日	31	2.6%	17	1.4%	2	0.7%
		3日	3	0.3%	2	0.2%	0	0.0%
		4日	8	0.7%	5	0.4%	1	0.3%
		5日以上	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
		実施していない	654	54.9%	735	62.0%	210	70.2%
		無回答	56	4.7%	54	4.6%	16	5.4%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	ノー部活デーの実施日数（月）	1日			111	9.4%	16	5.4%
		2日			42	3.5%	7	2.3%
		3日			12	1.0%	1	0.3%
		4日			377	31.8%	53	17.7%
		5日以上			389	32.8%	34	11.4%
		実施していない			203	17.1%	179	59.9%
		無回答			52	4.4%	9	3.0%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
	ノー部活デーの調査週中の日数	1日			323	27.2%	46	15.4%
		2日			258	21.8%	26	8.7%
		3日			49	4.1%	0	0.0%
		4日			36	3.0%	4	1.3%
		5日以上			19	1.6%	0	0.0%
		実施していない			413	34.8%	206	68.9%
		無回答			88	7.4%	17	5.7%
		合計			1,186	100.0%	299	100.0%
Q18-2	回答週（件数（8月））	8月1日～8月7日	98	24.6%	100	25.2%	25	25.3%
		8月8日～8月14日	99	24.9%	98	24.7%	24	24.2%
		8月15日～8月21日	100	25.1%	100	25.2%	25	25.3%
		8月22日～8月28日	101	25.4%	99	24.9%	25	25.3%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		合計	398	100.0%	397	100.0%	99	100.0%
	回答週の学校閉庁日の日にち（回答週に学校閉庁日があると回答した学校件数（8月））	8月1日～8月7日	5	1.3%	1	0.3%	0	0.0%
		8月8日～8月14日	80	20.1%	83	20.9%	17	17.2%
		8月15日～8月21日	92	23.1%	91	22.9%	22	22.2%
		8月22日～8月28日	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	219	55.0%	222	55.9%	60	60.6%
		合計	398	100.0%	397	100.0%	99	100.0%
Q19	定められている勤務開始時刻	8時以前	206	17.3%	243	20.5%	16	5.4%
		8時01分～10分	207	17.4%	305	25.7%	20	6.7%
		8時11分～20分	552	46.3%	488	41.1%	106	35.5%
		8時21分～30分	218	18.3%	130	11.0%	124	41.5%
		8時31分以降	2	0.2%	3	0.3%	30	10.0%
		無回答	6	0.5%	17	1.4%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	定められている勤務終了時刻	16時30分以前	196	16.5%	232	19.6%	17	5.7%
		16時31分～40分	205	17.2%	300	25.3%	19	6.4%
		16時41分～50分	538	45.2%	488	41.1%	107	35.8%
		16時51分～17時	234	19.6%	142	12.0%	119	39.8%
		17時01分以降	11	0.9%	7	0.6%	34	11.4%
		無回答	7	0.6%	17	1.4%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q20-1	教員の毎日の出退勤時刻の管理	1.ICカード、タイムカード、パソコンの使用時間等による客観的な方法で把握している	943	79.2%	902	76.1%	231	77.3%
		2.校長等の現認により客観的に把握	6	0.5%	11	0.9%	6	2.0%
		3.庶務事務システムやエクセル等により本人がシステム入力することにより把握している	218	18.3%	243	20.5%	54	18.1%
		4.上記3.以外の方法による本人からの自己申告により把握している	9	0.8%	10	0.8%	1	0.3%
		5.その他の方法により把握している	9	0.8%	2	0.2%	1	0.3%
		6.把握していない	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%
		無回答	6	0.5%	18	1.5%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%

学校調査票①

			小学校		中学校		高等学校	
Q20-2	把握した各教員の勤務時間の電子化の状況	システムで自動的に電子化されている	949	79.7%	898	75.7%	229	76.6%
		紙帳簿やシステムで把握した勤務時間を、管理職や勤務時間管理者等が集計や管理用のシステムに手入力して電子化	208	17.5%	236	19.9%	59	19.7%
		電子化していない（紙媒体で管理している等）	27	2.3%	30	2.5%	6	2.0%
		その他の方法	0	0.0%	4	0.3%	1	0.3%
		無回答	7	0.6%	18	1.5%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q21	管理職のワークライフバランスマネジメント「同僚教員が仕事や仕事以外の悩みも気軽に相談できるようにしている」	あてはまる	511	42.9%	416	35.1%	121	40.5%
		どちらかというとあてはまる	587	49.3%	657	55.4%	151	50.5%
		どちらともいえない	83	7.0%	94	7.9%	23	7.7%
		どちらかというとあてはまらない	3	0.3%	3	0.3%	1	0.3%
		まったくあてはまらない	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	6	0.5%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	管理職のワークライフバランスマネジメント「同僚教員に仕事以外で問題が発生したときに、その教員の業務遂行を支援できるようにしている」	あてはまる	661	55.5%	546	46.0%	123	41.1%
		どちらかというとあてはまる	478	40.1%	552	46.5%	147	49.2%
		どちらともいえない	40	3.4%	63	5.3%	24	8.0%
		どちらかというとあてはまらない	5	0.4%	8	0.7%	1	0.3%
		まったくあてはまらない	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	6	0.5%	17	1.4%	4	1.3%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	管理職のワークライフバランスマネジメント「同僚教員の利益と学校教育目標をうまく合致させるために、職場をどう組織化すればよいか考えている」	あてはまる	507	42.6%	436	36.8%	104	34.8%
		どちらかというとあてはまる	572	48.0%	596	50.3%	162	54.2%
		どちらともいえない	97	8.1%	126	10.6%	25	8.4%
		どちらかというとあてはまらない	8	0.7%	11	0.9%	4	1.3%
		まったくあてはまらない	1	0.1%	1	0.1%	1	0.3%
		無回答	6	0.5%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
	管理職のワークライフバランスマネジメント「仕事だけでなく仕事以外の生活を大切にしていることを同僚教員に示している」	あてはまる	505	42.4%	401	33.8%	100	33.4%
		どちらかというとあてはまる	501	42.1%	546	46.0%	140	46.8%
		どちらともいえない	154	12.9%	175	14.8%	43	14.4%
		どちらかというとあてはまらない	22	1.8%	44	3.7%	11	3.7%
		まったくあてはまらない	3	0.3%	4	0.3%	2	0.7%
		無回答	6	0.5%	16	1.3%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q22	管理職が自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることの内容に校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えているか	整えている	388	32.6%	296	25.0%	88	29.4%
		どちらかといえば整えている	769	64.6%	796	67.1%	193	64.5%
		どちらかといえば整えていない	27	2.3%	75	6.3%	15	5.0%
		まったく整えていない	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	6	0.5%	19	1.6%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q23-1	学校の業務に関する諸課題に対応するために、教育委員会や首長部局で配置・契約している弁護士に相談したことがあるか	ある	132	11.1%	146	12.3%	38	12.7%
		ない	1,052	88.3%	1,022	86.2%	258	86.3%
		無回答	7	0.6%	18	1.5%	3	1.0%
		合計	1,191	100.0%	1,186	100.0%	299	100.0%
Q23-2	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「学校事故対応に関すること」（複数回答）	0件	112	84.8%	125	85.6%	32	84.2%
		1件以上	13	9.8%	18	12.3%	6	15.8%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「保護者対応に関すること」	0件	40	30.3%	53	36.3%	24	63.2%
		1件以上	85	64.4%	90	61.6%	14	36.8%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「地域住民対応に関すること」	0件	117	88.6%	134	91.8%	36	94.7%
		1件以上	8	6.1%	9	6.2%	2	5.3%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「いじめに関すること」	0件	96	72.7%	113	77.4%	32	84.2%
		1件以上	29	22.0%	30	20.5%	6	15.8%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「児童生徒等同士のトラブルに関すること」	0件	108	81.8%	118	80.8%	34	89.5%
		1件以上	17	12.9%	25	17.1%	4	10.5%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「児童生徒等による非行・暴力行為に関すること」	0件	117	88.6%	127	87.0%	31	81.6%
		1件以上	8	6.1%	16	11.0%	7	18.4%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「虐待に関すること」	0件	110	83.3%	130	89.0%	37	97.4%
		1件以上	15	11.4%	13	8.9%	1	2.6%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「教職員に関すること」	0件	108	81.8%	121	82.9%	31	81.6%
		1件以上	17	12.9%	22	15.1%	7	18.4%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「学校徴収金に関すること」	0件	125	94.7%	137	93.8%	36	94.7%
		1件以上	0	0.0%	6	4.1%	2	5.3%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%
	Q23-1で「ある」と回答した場合の相談した事案件数「その他」	0件	114	86.4%	132	90.4%	34	89.5%
		1件以上	11	8.3%	11	7.5%	4	10.5%
		無回答	7	5.3%	3	2.1%	0	0.0%
		合計	132	0.0%	146	0.0%	38	0.0%

学校調査①Q13-1（夏季休業の期間）

小学校

終了日 開始日	～8月22日	8月23日～24日	8月25日～26日	8月27日～28日	8月29日～30日	8月31日～
～7月19日	0	1	6	6	2	3
7月20日～21日	25	186	140	86	38	371
7月22日～23日	39	32	28	33	16	22
7月24日～25日	13	25	29	4	4	13
7月26日～27日	30	9	1	2	4	1
7月28日～	8	2	1	2	0	8

中学校

終了日 開始日	～8月22日	8月23日～24日	8月25日～26日	8月27日～28日	8月29日～30日	8月31日～
～7月19日	1	1	7	10	0	1
7月20日～21日	35	210	145	97	40	331
7月22日～23日	49	50	27	18	2	21
7月24日～25日	14	15	23	4	6	9
7月26日～27日	22	19	1	0	0	0
7月28日～	9	6	1	0	0	9

学校調査①Q13-2（冬季休業の期間）

小学校

終了日 開始日	～1月5日	1月6日～7日	1月8日～9日	1月10日～11日	1月12日～13日	1月14日～
～12月17日	0	1	0	1	0	0
12月18日～19日	0	0	0	0	0	0
12月20日～21日	0	0	0	0	0	0
12月22日～23日	10	14	18	5	2	4
12月24日～25日	92	348	236	10	13	46
12月26日～	72	244	45	11	7	10

中学校

終了日 開始日	～1月5日	1月6日～7日	1月8日～9日	1月10日～11日	1月12日～13日	1月14日～
～12月17日	0	0	0	0	0	0
12月18日～19日	0	0	0	0	0	0
12月20日～21日	1	1	1	0	0	1
12月22日～23日	5	5	17	4	3	7
12月24日～25日	114	348	211	24	22	26
12月26日～	72	248	25	16	23	6

学校調査①Q13-2（春季休業の期間）

小学校

終了日 開始日	～3月31日	4月1日～2日	4月3日～4日	4月5日～6日	4月7日～8日	4月9日～
～3月17日	5	0	0	23	0	2
3月18日～19日	0	0	1	29	2	0
3月20日～21日	1	0	2	24	2	0
3月22日～23日	2	0	3	12	1	1
3月24日～25日	21	0	20	405	169	71
3月26日～	8	0	9	260	111	6

中学校

終了日 開始日	～3月31日	4月1日～2日	4月3日～4日	4月5日～6日	4月7日～8日	4月9日～
～3月17日	2	0	2	38	7	0
3月18日～19日	4	0	1	17	2	0
3月20日～21日	1	0	1	22	2	2
3月22日～23日	1	0	8	23	1	0
3月24日～25日	31	1	16	385	141	58
3月26日～	15	1	9	275	111	6

学校調査票②

			小学校		中学校		高等学校	
Q1	職員の勤務時間縮減に向けて以下の取組を行っていますか（複数回答）	登下校時の対応は、学校以外の主体（地方公共団体、教育委員会、保護者、スクールガード・リーダー、地域人材等）が中心に対応している	562	（ 47.2%）	100	（ 8.4%）	3	（ 1.0%）
		放課後から夜間等における見回り、児童生徒が補導された時の対応は、学校以外の主体（地方公共団体、教育委員会、保護者・地域人材等）が中心に対応している	123	（ 10.3%）	103	（ 8.7%）	8	（ 2.7%）
		学校徴収金（給食費を含む）の徴収・管理は、教職員が関与しない方法で徴収・管理又は地方公共団体や教育委員会が徴収・管理等を行っている	201	（ 16.9%）	203	（ 17.1%）	43	（ 14.4%）
		地域人材等との連絡調整は、窓口となる学校職員が直接行うのではなく、地域学校協働活動推進員（社会教育法第9条の7）等の学校以外の主体が中心的に行うよう、地方公共団体や教育委員会等において必要な取組を実施している	196	（ 16.5%）	179	（ 15.1%）	3	（ 1.0%）
		学校における調査・統計への回答等は、教育課程の編成・実施や生徒指導など教師の専門性に関わるもの以外の調査については、事務職員等が中心となって回答している	162	（ 13.6%）	178	（ 15.0%）	72	（ 24.1%）
		児童生徒の休み時間における対応は、地域人材等の協力を得ている	10	（ 0.8%）	3	（ 0.3%）		（ 0.0%）
		校内清掃は、地域人材の協力を得ることや民間委託等をしている	47	（ 3.9%）	41	（ 3.5%）	39	（ 13.0%）
		部活動について、部活動指導員や外部の人材の参画を図っている	65	（ 5.5%）	718	（ 60.5%）	168	（ 56.2%）
		給食時は、栄養教諭等と連携するほか、地域人材の協力を得ている	24	（ 2.0%）	40	（ 3.4%）	3	（ 1.0%）
		授業準備について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている	361	（ 30.3%）	270	（ 22.8%）	28	（ 9.4%）
		学習評価や成績処理の補助的業務について、教師をサポートする支援スタッフの参画を図っている	93	（ 7.8%）	61	（ 5.1%）	10	（ 3.3%）
		進路指導のうち、就職先の情報収集等について、事務職員や支援スタッフ等の参画・協力を進めている	0	（ 0.0%）	8	（ 0.7%）	80	（ 26.8%）
		教師の業務の負担を軽減するために、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）をはじめとした支援スタッフの参画を図っている	815	（ 68.4%）	730	（ 61.6%）	102	（ 34.1%）
		教師の業務の負担を軽減するために、TT（Team Teaching）や習熟度別学習、放課後の補習、不登校児童生徒への支援等を行う支援スタッフの参画を図っている	395	（ 33.2%）	440	（ 37.1%）	40	（ 13.4%）
		勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせ等に備えた留守番電話の設置やメールによる連絡対応の体制を整備している	744	（ 62.5%）	691	（ 58.3%）	178	（ 59.5%）
		学校事務の共同実施をしている	754	（ 63.3%）	740	（ 62.4%）	9	（ 3.0%）
		労働安全衛生法に定められているストレスチェックを実施している	1,036	（ 87.0%）	1,018	（ 85.8%）	270	（ 90.3%）
		いずれもあてはまるものはない	8	（ 0.7%）	10	（ 0.8%）	5	（ 1.7%）
		無回答	14	（ 1.2%）	14	（ 1.2%）	6	（ 2.0%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q2	学校の働き方改革又は業務改善に関して、時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等を策定していますか（複数回答）	学校の重点目標や経営方針に、教職員の働き方に関する視点を取り入れている	839	（ 70.4%）	801	（ 67.5%）	204	（ 68.2%）
		業務改善や教師等の働き方に関する項目を学校評価に位置付けている	610	（ 51.2%）	537	（ 45.3%）	168	（ 56.2%）
		勤務時間数等の定量的な目標を設定している	703	（ 59.0%）	601	（ 50.7%）	129	（ 43.1%）
		定性的な目標を設定している	243	（ 20.4%）	227	（ 19.1%）	54	（ 18.1%）
		策定していない	48	（ 4.0%）	89	（ 7.5%）	24	（ 8.0%）
		無回答	14	（ 1.2%）	13	（ 1.1%）	8	（ 2.7%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q3	学校における業務改善の取組の促進にかかる定量的なフォローアップを実施し、業務改善のPDCAサイクルを構築していますか（複数回答）	1年に2回以上	497	（ 41.7%）	374	（ 31.5%）	75	（ 25.1%）
		1年に1回	416	（ 34.9%）	455	（ 38.4%）	108	（ 36.1%）
		1年に1回未満	61	（ 5.1%）	99	（ 8.3%）	19	（ 6.4%）
		構築していない	197	（ 16.5%）	242	（ 20.4%）	90	（ 30.1%）
		無回答	20	（ 1.7%）	16	（ 1.3%）	7	（ 2.3%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q4	学校の働き方改革や業務改善状況の公表等に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	業務改善状況を公表している	124	（ 10.4%）	98	（ 8.3%）	40	（ 13.4%）
		在校等時間等について公表している	152	（ 12.8%）	149	（ 12.6%）	24	（ 8.0%）
		保護者や地域・社会に対して、働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している	815	（ 68.4%）	747	（ 63.0%）	139	（ 46.5%）
		いずれもあてはまるものはない	277	（ 23.3%）	319	（ 26.9%）	115	（ 38.5%）
		無回答	18	（ 1.5%）	23	（ 1.9%）	8	（ 2.7%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q5	有給休暇の取得促進のため、有給休暇の年間取得目標を設定していますか	はい	377	（ 31.7%）	374	（ 31.5%）	99	（ 33.1%）
		いいえ	800	（ 67.2%）	798	（ 67.3%）	192	（ 64.2%）
		無回答	14	（ 1.2%）	14	（ 1.2%）	8	（ 2.7%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
Q6	教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しに関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	教科に係る一コマの時間（単位時間）を工夫している	106	（ 8.9%）	155	（ 13.1%）	41	（ 13.7%）
		一日当たりのコマ数を工夫している	232	（ 19.5%）	395	（ 33.3%）	102	（ 34.1%）
		教科以外の日課の時間削減（掃除時間等の縮減）を図っている	457	（ 38.4%）	408	（ 34.4%）	26	（ 8.7%）
		定期テストの回数を縮減している	7	（ 0.6%）	324	（ 27.3%）	31	（ 10.4%）
		二学期制を採用している	322	（ 27.0%）	270	（ 22.8%）	73	（ 24.4%）
		その他	95	（ 8.0%）	41	（ 3.5%）	7	（ 2.3%）
		実施していない	307	（ 25.8%）	212	（ 17.9%）	104	（ 34.8%）
		無回答	19	（ 1.6%）	16	（ 1.3%）	8	（ 2.7%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q7	一斉下校日の設定をしていますか	はい	692	（ 58.1%）	765	（ 64.5%）	36	（ 12.0%）
		いいえ	480	（ 40.3%）	407	（ 34.3%）	255	（ 85.3%）
		無回答	19	（ 1.6%）	14	（ 1.2%）	8	（ 2.7%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
	（設定している場合）一斉下校日の頻度 ※月当たり	1日	195	（ 28.2%）	158	（ 20.7%）	17	（ 47.2%）
		2日	57	（ 8.2%）	79	（ 10.3%）	2	（ 5.6%）
		3日	12	（ 1.7%）	21	（ 2.7%）	1	（ 2.8%）
		4日	308	（ 44.5%）	433	（ 56.6%）	16	（ 44.4%）
		5日以上	83	（ 12.0%）	66	（ 8.6%）	0	（ 0.0%）
		無回答	37	（ 5.3%）	8	（ 1.0%）	0	（ 0.0%）
		合計	692	（ 100.0%）	765	（ 100.0%）	36	（ 100.0%）
Q8	学校経営・学年経営の効率化に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	校務分掌の見直しを図っている	947	（ 79.5%）	863	（ 72.8%）	203	（ 67.9%）
		共有カレンダー（デジタル）を用いてタスクを共有している	275	（ 23.1%）	213	（ 18.0%）	61	（ 20.4%）
		学校日誌をデジタル化している	741	（ 62.2%）	693	（ 58.4%）	111	（ 37.1%）
		学級通信の見直し（学級だより・学年だよりを学年だより・学校だより等に整理・統合するなど）を行っている	361	（ 30.3%）	166	（ 14.0%）	22	（ 7.4%）
		その他	30	（ 2.5%）	30	（ 2.5%）	8	（ 2.7%）
		実施していない	32	（ 2.7%）	56	（ 4.7%）	26	（ 8.7%）
		無回答	14	（ 1.2%）	11	（ 0.9%）	7	（ 2.3%）
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-

学校調査票②

			小学校		中学校		高等学校	
Q9	学校行事に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	精選等（行事や内容を絞る、行事間の関連や統合を図るなど）	1,091	(91.6%)	1,006	(84.8%)	193	(64.5%)
		準備（練習を含む）の簡素化や縮減	1,051	(88.2%)	922	(77.7%)	160	(53.5%)
		新たに精選等や準備の簡素化・縮減を実施している行事はない	18	(1.5%)	73	(6.2%)	56	(18.7%)
		無回答	14	(1.2%)	14	(1.2%)	9	(3.0%)
		回答件数	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	精選等を行っている行事（複数回答）	儀式的行事(入学式)	616	(56.5%)	507	(50.4%)	89	(55.6%)
		儀式的行事(卒業式)	631	(57.8%)	525	(52.2%)	90	(56.3%)
		儀式的行事(始業式)	518	(47.5%)	426	(42.3%)	93	(58.1%)
		儀式的行事(終業式)	489	(44.8%)	426	(42.3%)	82	(51.3%)
		儀式的行事(修了式)	398	(36.5%)	329	(32.7%)	34	(21.3%)
		儀式的行事(立志式)	24	(2.2%)	97	(9.6%)	5	(3.1%)
		儀式的行事(開校記念に関する儀式)	121	(11.1%)	106	(10.5%)	28	(17.5%)
		儀式的行事(教職員の着任式・離任式)	480	(44.0%)	421	(41.8%)	83	(51.9%)
		儀式的行事(新入生との対面式)	294	(26.9%)	315	(31.3%)	66	(41.3%)
		儀式的行事(朝会)	428	(39.2%)	287	(28.5%)	60	(37.5%)
		儀式的行事(その他)	8	(0.7%)	15	(1.5%)	5	(3.1%)
Q9	精選等を行っている行事（複数回答）	文化的行事(学芸会)	102	(9.3%)	35	(3.5%)	4	(2.5%)
		文化的行事(文化祭)	38	(3.5%)	556	(55.3%)	111	(69.4%)
		文化的行事(学習発表会)	411	(37.7%)	131	(13.0%)	24	(15.0%)
		文化的行事(展覧会)	66	(6.0%)	36	(3.6%)	3	(1.9%)
		文化的行事(作品展示・発表会)	241	(22.1%)	138	(13.7%)	15	(9.4%)
		文化的行事(音楽会)	261	(23.9%)	260	(25.8%)	8	(5.0%)
		文化的行事(読書感想発表会)	19	(1.7%)	35	(3.5%)	6	(3.8%)
		文化的行事(クラブ発表会)	94	(8.6%)	47	(4.7%)	8	(5.0%)
		文化的行事(音楽鑑賞会)	128	(11.7%)	80	(8.0%)	17	(10.6%)
		文化的行事(映画や演劇の鑑賞会)	104	(9.5%)	69	(6.9%)	35	(21.9%)
		文化的行事(美術館見学会)	18	(1.6%)	32	(3.2%)	4	(2.5%)
		文化的行事(地域の伝統文化等の鑑賞会)	27	(2.5%)	38	(3.8%)	10	(6.3%)
		文化的行事(伝統芸能等の鑑賞会)	39	(3.6%)	51	(5.1%)	16	(10.0%)
		文化的行事(その他)	12	(1.1%)	23	(2.3%)	9	(5.6%)
		健康安全・体育的行事(健康診断)	204	(18.7%)	178	(17.7%)	45	(28.1%)
		健康安全・体育的行事(薬物乱用防止指導)	151	(13.8%)	206	(20.5%)	51	(31.9%)
		健康安全・体育的行事(防犯指導)	137	(12.6%)	119	(11.8%)	27	(16.9%)
		健康安全・体育的行事(交通安全指導)	241	(22.1%)	173	(17.2%)	47	(29.4%)
		健康安全・体育的行事(運動会（体育祭）)	901	(82.6%)	778	(77.3%)	105	(65.6%)
		健康安全・体育的行事(競技会)	70	(6.4%)	53	(5.3%)	19	(11.9%)
		健康安全・体育的行事(球技大会)	44	(4.0%)	152	(15.1%)	72	(45.0%)
		健康安全・体育的行事(避難訓練)	260	(23.8%)	250	(24.9%)	62	(38.8%)
		健康安全・体育的行事(健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事)	94	(8.6%)	96	(9.5%)	15	(9.4%)
		健康安全・体育的行事(その他)	9	(0.8%)	12	(1.2%)	7	(4.4%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(遠足)	378	(34.6%)	186	(18.5%)	56	(35.0%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(修学旅行)	264	(24.2%)	316	(31.4%)	63	(39.4%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(移動教室)	67	(6.1%)	48	(4.8%)	6	(3.8%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(野外活動)	123	(11.3%)	133	(13.2%)	16	(10.0%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(集団宿泊活動)	308	(28.2%)	221	(22.0%)	37	(23.1%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(その他)	5	(0.5%)	18	(1.8%)	2	(1.3%)
		勤労生産・奉仕的行事(飼育栽培活動)	187	(17.1%)	61	(6.1%)	9	(5.6%)
		勤労生産・奉仕的行事(校内美化活動)	214	(19.6%)	198	(19.7%)	34	(21.3%)
		勤労生産・奉仕的行事(地域社会の清掃活動)	116	(10.6%)	167	(16.6%)	32	(20.0%)
		勤労生産・奉仕的行事(公共施設等の清掃活動)	26	(2.4%)	45	(4.5%)	15	(9.4%)
		勤労生産・奉仕的行事(福祉施設との交流活動)	103	(9.4%)	98	(9.7%)	16	(10.0%)
		勤労生産・奉仕的行事(職場体験活動)	32	(2.9%)	399	(39.7%)	36	(22.5%)
		勤労生産・奉仕的行事(各種の生産活動)	30	(2.7%)	31	(3.1%)	8	(5.0%)
		勤労生産・奉仕的行事(上級学校や職場の訪問・見学)	50	(4.6%)	147	(14.6%)	34	(21.3%)
		勤労生産・奉仕的行事(学校内外のボランティア活動)	87	(8.0%)	151	(15.0%)	35	(21.9%)
		勤労生産・奉仕的行事(その他)	3	(0.3%)	4	(0.4%)	4	(2.5%)
		無回答	4	(0.4%)	6	(0.6%)	98	(61.3%)
		回答件数	1,091	-	1,006	-	193	-

学校調査票②

			小学校		中学校		高等学校	
Q9	準備（練習を含む）の簡素化や縮減を行っている行事（複数回答）	儀式的行事(入学式)	582	(55.4%)	422	(45.8%)	63	(39.4%)
		儀式的行事(卒業式)	740	(70.4%)	518	(56.2%)	68	(42.5%)
		儀式的行事(始業式)	384	(36.5%)	298	(32.3%)	70	(43.8%)
		儀式的行事(終業式)	379	(36.1%)	293	(31.8%)	65	(40.6%)
		儀式的行事(修了式)	300	(28.5%)	220	(23.9%)	17	(10.6%)
		儀式的行事(立志式)	9	(0.9%)	48	(5.2%)	1	(0.6%)
		儀式的行事(開校記念に関する儀式)	70	(6.7%)	44	(4.8%)	19	(11.9%)
		儀式的行事(教職員の着任式・離任式)	348	(33.1%)	252	(27.3%)	55	(34.4%)
		儀式的行事(新入生との対面式)	220	(20.9%)	193	(20.9%)	34	(21.3%)
		儀式的行事(朝会)	224	(21.3%)	131	(14.2%)	35	(21.9%)
		儀式的行事(その他)	2	(0.2%)	5	(0.5%)	2	(1.3%)
		文化的行事(学芸会)	68	(6.5%)	16	(1.7%)	1	(0.6%)
		文化的行事(文化祭)	27	(2.6%)	490	(53.1%)	96	(60.0%)
		文化的行事(学習発表会)	353	(33.6%)	91	(9.9%)	11	(6.9%)
		文化的行事(展覧会)	50	(4.8%)	13	(1.4%)	1	(0.6%)
		文化的行事(作品展示・発表会)	162	(15.4%)	84	(9.1%)	4	(2.5%)
		文化的行事(音楽会)	210	(20.0%)	225	(24.4%)	3	(1.9%)
		文化的行事(読書感想発表会)	9	(0.9%)	14	(1.5%)	2	(1.3%)
		文化的行事(クラブ発表会)	57	(5.4%)	17	(1.8%)	4	(2.5%)
		文化的行事(音楽鑑賞会)	59	(5.6%)	25	(2.7%)	9	(5.6%)
		文化的行事(映画や演劇の鑑賞会)	46	(4.4%)	23	(2.5%)	21	(13.1%)
		文化的行事(美術館見学会)	6	(0.6%)	11	(1.2%)	2	(1.3%)
		文化的行事(地域の伝統文化等の鑑賞会)	12	(1.1%)	9	(1.0%)	3	(1.9%)
		文化的行事(伝統芸能等の鑑賞会)	16	(1.5%)	11	(1.2%)	5	(3.1%)
		文化的行事(その他)	5	(0.5%)	8	(0.9%)	5	(3.1%)
	準備（練習を含む）の簡素化や縮減を行っている行事（複数回答）	健康安全・体育的行事(健康診断)	73	(6.9%)	62	(6.7%)	11	(6.9%)
		健康安全・体育的行事(薬物乱用防止指導)	48	(4.6%)	75	(8.1%)	14	(8.8%)
		健康安全・体育的行事(防犯指導)	44	(4.2%)	43	(4.7%)	9	(5.6%)
		健康安全・体育的行事(交通安全指導)	109	(10.4%)	69	(7.5%)	18	(11.3%)
		健康安全・体育的行事(運動会（体育祭）)	915	(87.1%)	755	(81.9%)	93	(58.1%)
		健康安全・体育的行事(競技会)	47	(4.5%)	28	(3.0%)	6	(3.8%)
		健康安全・体育的行事(球技大会)	26	(2.5%)	86	(9.3%)	41	(25.6%)
		健康安全・体育的行事(避難訓練)	106	(10.1%)	99	(10.7%)	30	(18.8%)
		健康安全・体育的行事(健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事)	36	(3.4%)	27	(2.9%)	3	(1.9%)
		健康安全・体育的行事(その他)	8	(0.8%)	0	(0.0%)	3	(1.9%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(遠足)	177	(16.8%)	111	(12.0%)	22	(13.8%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(修学旅行)	166	(15.8%)	238	(25.8%)	34	(21.3%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(移動教室)	37	(3.5%)	27	(2.9%)	2	(1.3%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(野外活動)	89	(8.5%)	77	(8.4%)	6	(3.8%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(集団宿泊活動)	216	(20.6%)	153	(16.6%)	15	(9.4%)
		遠足（旅行）・宿泊的行事(その他)	2	(0.2%)	3	(0.3%)	1	(0.6%)
		勤労生産・奉仕的行事(飼育栽培活動)	103	(9.8%)	29	(3.1%)	2	(1.3%)
		勤労生産・奉仕的行事(校内美化活動)	109	(10.4%)	105	(11.4%)	15	(9.4%)
		勤労生産・奉仕的行事(地域社会の清掃活動)	67	(6.4%)	95	(10.3%)	16	(10.0%)
		勤労生産・奉仕的行事(公共施設等の清掃活動)	15	(1.4%)	16	(1.7%)	5	(3.1%)
		勤労生産・奉仕的行事(福祉施設との交流活動)	53	(5.0%)	56	(6.1%)	7	(4.4%)
		勤労生産・奉仕的行事(職場体験活動)	16	(1.5%)	253	(27.4%)	17	(10.6%)
		勤労生産・奉仕的行事(各種の生産活動)	17	(1.6%)	13	(1.4%)	4	(2.5%)
		勤労生産・奉仕的行事(上級学校や職場の訪問・見学)	26	(2.5%)	80	(8.7%)	15	(9.4%)
		勤労生産・奉仕的行事(学校内外のボランティア活動)	45	(4.3%)	71	(7.7%)	11	(6.9%)
		勤労生産・奉仕的行事(その他)	2	(0.2%)	1	(0.1%)	1	(0.6%)
		無回答	14	(1.3%)	14	(1.5%)	57	(35.6%)
		回答件数	1,051	-	922	-	160	-
Q10	校内の職員会議（朝礼、終礼、打合せ等を含む）の効率化に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	会議、打合せを精選している	962	(80.8%)	804	(67.8%)	172	(57.5%)
		会議、打合せをオンライン化している	163	(13.7%)	101	(8.5%)	29	(9.7%)
		連絡掲示板、グループウェア等のオンラインでの伝達事項の共有による会議、打合せ回数の縮減を行っている	717	(60.2%)	583	(49.2%)	157	(52.5%)
		会議、打合せ資料のペーパーレス化を行っている	839	(70.4%)	807	(68.0%)	179	(59.9%)
		その他	10	(0.8%)	19	(1.6%)	1	(0.3%)
		実施していない	12	(1.0%)	34	(2.9%)	12	(4.0%)
		無回答	12	(1.0%)	12	(1.0%)	7	(2.3%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q11	学習評価や成績処理について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	校務支援システムを活用した成績処理（名簿の共有化など）	1,028	(86.3%)	1,000	(84.3%)	280	(93.6%)
		指導要録の電子化	1,001	(84.0%)	930	(78.4%)	235	(78.6%)
		自動採点システムの活用	123	(10.3%)	197	(16.6%)	75	(25.1%)
		その他	8	(0.7%)	13	(1.1%)	1	(0.3%)
		実施していない	19	(1.6%)	32	(2.7%)	2	(0.7%)
		無回答	16	(1.3%)	10	(0.8%)	6	(2.0%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q12	授業等について、ICTを活用した負担軽減に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	教材や指導案をクラウド等で共有している	609	(51.1%)	437	(36.8%)	122	(40.8%)
		授業等でクラウド等を活用した資料配付・課題提出を行っている	678	(56.9%)	719	(60.6%)	213	(71.2%)
		週案や学校日誌をデジタル化している	748	(62.8%)	587	(49.5%)	80	(26.8%)
		その他	12	(1.0%)	9	(0.8%)	2	(0.7%)
		実施していない	76	(6.4%)	134	(11.3%)	42	(14.0%)
		無回答	18	(1.5%)	14	(1.2%)	7	(2.3%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-

学校調査票②

			小学校		中学校		高等学校	
Q13	個別に支援が必要な児童生徒・家庭への対応について、以下の専門的な人材等の参画を図っていますか（複数回答）	スクールカウンセラーによる支援	1,103	(92.6%)	1,128	(95.1%)	276	(92.3%)
		スクールソーシャルワーカーによる支援	693	(58.2%)	786	(66.3%)	134	(44.8%)
		特別支援教育に関する専門人材による支援	517	(43.4%)	408	(34.4%)	75	(25.1%)
		日本語指導ができる支援員による支援	408	(34.3%)	320	(27.0%)	29	(9.7%)
		いずれもあてはまるものはない	25	(2.1%)	19	(1.6%)	6	(2.0%)
		無回答	15	(1.3%)	12	(1.0%)	7	(2.3%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q14	学校と保護者等間における連絡手段について、メールやWebアンケートフォーム等を活用した以下のデジタル化の取組を実施していますか（複数回答）	欠席・遅刻連絡をデジタル化している	585	(49.1%)	454	(38.3%)	123	(41.1%)
		保護者向けアンケートをデジタル化している	791	(66.4%)	784	(66.1%)	178	(59.5%)
		学校からのお便りをデジタル化している	412	(34.6%)	428	(36.1%)	141	(47.2%)
		その他	93	(7.8%)	100	(8.4%)	15	(5.0%)
		実施していない	123	(10.3%)	142	(12.0%)	42	(14.0%)
		無回答	17	(1.4%)	15	(1.3%)	7	(2.3%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q15	研修に関して以下の取組を実施していますか（複数回答）	校内研修を精選している	977	(82.0%)	900	(75.9%)	208	(69.6%)
		教育委員会等による研修がオンラインで行われている	820	(68.8%)	749	(63.2%)	204	(68.2%)
		実施していない	35	(2.9%)	66	(5.6%)	14	(4.7%)
		無回答	18	(1.5%)	20	(1.7%)	6	(2.0%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q16	校務支援システムに備わっている機能（複数回答）	児童生徒情報管理・児童生徒名簿	1,031	(86.6%)	1,016	(85.7%)	250	(83.6%)
		出欠管理・出席簿	1,044	(87.7%)	1,003	(84.6%)	242	(80.9%)
		通知表	1,053	(88.4%)	1,040	(87.7%)	277	(92.6%)
		指導要録	1,074	(90.2%)	1,056	(89.0%)	284	(95.0%)
		成績管理	927	(77.8%)	982	(82.8%)	280	(93.6%)
		グループウェア機能（掲示板、メール、予定表・スケジュール、文書共有・文書閲覧等）	884	(74.2%)	853	(71.9%)	150	(50.2%)
		保健管理機能（健康診断管理、保健室来室管理、保健日誌等）	805	(67.6%)	744	(62.7%)	126	(42.1%)
		学校日誌	696	(58.4%)	646	(54.5%)	76	(25.4%)
		週案管理・週案簿/時数管理・時数集計	515	(43.2%)	346	(29.2%)	69	(23.1%)
		年間計画（年間指導計画）	345	(29.0%)	266	(22.4%)	39	(13.0%)
		進級先・就職先管理	341	(28.6%)	364	(30.7%)	99	(33.1%)
		教育委員会向け機能（情報出力・連絡）	535	(44.9%)	530	(44.7%)	51	(17.1%)
		行事出席管理	62	(5.2%)	89	(7.5%)	64	(21.4%)
		在学証明書	170	(14.3%)	153	(12.9%)	105	(35.1%)
		勤怠管理	420	(35.3%)	430	(36.3%)	90	(30.1%)
		CSV出力	361	(30.3%)	353	(29.8%)	123	(41.1%)
		学校徴収金	162	(13.6%)	146	(12.3%)	19	(6.4%)
		学校備品管理	207	(17.4%)	180	(15.2%)	33	(11.0%)
		庶務事務（旅費、出張関係等）	299	(25.1%)	296	(25.0%)	79	(26.4%)
		無回答	64	(5.4%)	74	(6.2%)	10	(3.3%)
		回答件数	1,191	-	1,186	-	299	-
Q17-1	貴校に設置されている印刷機やコピー機の台数（印刷のみ）	0台	16	(1.3%)	10	(0.8%)	5	(1.7%)
		1台	214	(18.0%)	139	(11.7%)	11	(3.7%)
		2台	465	(39.0%)	433	(36.5%)	66	(22.1%)
		3台	228	(19.1%)	258	(21.8%)	84	(28.1%)
		4台	96	(8.1%)	145	(12.2%)	46	(15.4%)
		5台以上	133	(11.2%)	170	(14.3%)	71	(23.7%)
		平均台数	2.7	-	3.0	-	3.9	-
		無回答	39	(3.3%)	31	(2.6%)	16	(5.4%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	貴校に設置されている印刷機やコピー機の台数（丁合機能付き）	0台	654	(54.9%)	600	(50.6%)	134	(44.8%)
		1台	216	(18.1%)	237	(20.0%)	45	(15.1%)
		2台	76	(6.4%)	75	(6.3%)	22	(7.4%)
		3台	17	(1.4%)	15	(1.3%)	11	(3.7%)
		4台	8	(0.7%)	13	(1.1%)	6	(2.0%)
		5台以上	4	(0.3%)	7	(0.6%)	7	(2.3%)
		平均台数	0.5	-	0.5	-	0.8	-
		無回答	216	(18.1%)	239	(20.2%)	74	(24.7%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	貴校に設置されている印刷機やコピー機の台数（丁合、ステープラー機能付き）	0台	761	(63.9%)	705	(59.4%)	145	(48.5%)
		1台	163	(13.7%)	172	(14.5%)	52	(17.4%)
		2台	13	(1.1%)	28	(2.4%)	22	(7.4%)
		3台	3	(0.3%)	5	(0.4%)	10	(3.3%)
		4台	0	(0.0%)	4	(0.3%)	7	(2.3%)
		5台以上	0	(0.0%)		(0.0%)	3	(1.0%)
		平均台数	0.2	-	0.3	-	0.7	-
		無回答	251	(21.1%)	272	(22.9%)	60	(20.1%)
		合計	1,191	(100.0%)	1,186	(100.0%)	299	(100.0%)

学校調査票②

			小学校		中学校		高等学校	
Q17-2	（貴校に設置されている印刷機やコピー機について）管理職や事務職員以外の教員等の使用状況	いつも使える	792	（ 66.5%）	842	（ 71.0%）	235	（ 78.6%）
		使えることが多い	337	（ 28.3%）	303	（ 25.5%）	50	（ 16.7%）
		使えないことが多い（使わないことが多い）	36	（ 3.0%）	19	（ 1.6%）	3	（ 1.0%）
		使えない（使わない）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	1	（ 0.3%）
		教員が使う必要がない	4	（ 0.3%）	2	（ 0.2%）	0	（ 0.0%）
		無回答	22	（ 1.8%）	20	（ 1.7%）	10	（ 3.3%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
Q17-3	（Q17-2で「いつも使える」、「使えることが多い」と答えた場合）その理由（複数回答）	十分な台数がある	667	（ 59.1%）	723	（ 63.1%）	204	（ 71.6%）
		早く印刷できる	591	（ 52.3%）	591	（ 51.6%）	133	（ 46.7%）
		丁合機能がある	99	（ 8.8%）	112	（ 9.8%）	47	（ 16.5%）
		ステープル機能がある	58	（ 5.1%）	68	（ 5.9%）	41	（ 14.4%）
		その他	70	（ 6.2%）	49	（ 4.3%）	8	（ 2.8%）
		無回答	12	（ 1.1%）	13	（ 1.1%）	3	（ 1.1%）
		回答件数	1,129	－	1,145	－	285	－
Q17-4	（Q17-2で「使えないことが多い（使わないことが多い）」、「使えない（使わない）」と答えた場合）その理由（複数回答）	枚数等の使用制限がある	4	（ 11.1%）	1	（ 5.3%）	1	（ 25.0%）
		台数等が足りない	23	（ 63.9%）	15	（ 78.9%）	3	（ 75.0%）
		主として事務職員など教員以外の者が使用	4	（ 11.1%）	3	（ 15.8%）	0	（ 0.0%）
		複合機で対応している	5	（ 13.9%）	1	（ 5.3%）	0	（ 0.0%）
		その他	5	（ 13.9%）	1	（ 5.3%）	0	（ 0.0%）
		無回答	0	（ 0.0%）	1	（ 5.3%）	0	（ 0.0%）
		回答件数	36	－	19	－	4	－
Q17-5	（Q17-2で「教員が使う必要がない」と答えた場合）その理由（複数回答）	ICT端末を活用して電子媒体で配布している	1	（ 25.0%）	1	（ 50.0%）	0	（ 0.0%）
		スクール・サポート・スタッフなどの支援人材が印刷してくれる	4	（ 100.0%）	1	（ 50.0%）	0	（ 0.0%）
		その他	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）
		無回答	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）	0	（ 0.0%）
		回答件数	4	－	2	－	0	－
Q18	（印刷機・コピー機が配置されている場合）印刷室（職員室外に設けられた印刷機器を集めた部屋）の有無	あり	895	（ 75.1%）	1,007	（ 84.9%）	263	（ 88.0%）
		なし	277	（ 23.3%）	163	（ 13.7%）	30	（ 10.0%）
		無回答	19	（ 1.6%）	16	（ 1.3%）	6	（ 2.0%）
		合計	1,191	（ 100.0%）	1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）
	（「あり」の場合）職員室と印刷室との往復に要する時間	0分	268	（ 29.9%）	343	（ 34.1%）	90	（ 34.2%）
		1分	580	（ 64.8%）	604	（ 60.0%）	144	（ 54.8%）
		2分	28	（ 3.1%）	32	（ 3.2%）	15	（ 5.7%）
		3分以上	12	（ 1.3%）	20	（ 2.0%）	14	（ 5.3%）
		平均分数	1	－	1	－	1	－
		無回答	7	（ 0.8%）	8	（ 0.8%）	0	（ 0.0%）
		合計	895	（ 100.0%）	1,007	（ 100.0%）	263	（ 100.0%）
Q18	（「あり」の場合）印刷室に配置されている印刷機の台数	0台	10	（ 1.1%）	10	（ 1.0%）	4	（ 1.5%）
		1台	298	（ 33.3%）	206	（ 20.5%）	22	（ 8.4%）
		2台	501	（ 56.0%）	580	（ 57.6%）	99	（ 37.6%）
		3台	64	（ 7.2%）	166	（ 16.5%）	89	（ 33.8%）
		4台	6	（ 0.7%）	23	（ 2.3%）	34	（ 12.9%）
		5台以上	2	（ 0.2%）	12	（ 1.2%）	11	（ 4.2%）
		平均台数	2	－	2	－	3	－
		無回答	14	（ 1.6%）	10	（ 1.0%）	4	（ 1.5%）
		合計	895	（ 100.0%）	1,007	（ 100.0%）	263	（ 100.0%）
	（「あり」の場合）印刷室に配置されているコピー機の台数	0台	439	（ 49.1%）	499	（ 49.6%）	94	（ 35.7%）
		1台	319	（ 35.6%）	357	（ 35.5%）	121	（ 46.0%）
		2台	30	（ 3.4%）	60	（ 6.0%）	20	（ 7.6%）
		3台	6	（ 0.7%）	9	（ 0.9%）	2	（ 0.8%）
		4台	1	（ 0.1%）	3	（ 0.3%）		（ 0.0%）
		5台以上	1	（ 0.1%）	0	（ 0.0%）	2	（ 0.8%）
		平均台数	1	－	1	－	1	－
		無回答	99	（ 11.1%）	79	（ 7.8%）	24	（ 9.1%）
		合計	895	（ 100.0%）	1,007	（ 100.0%）	263	（ 100.0%）
Q19-1	都道府県が策定している「運動部活動の在り方に関する方針」や「文化部活動の在り方に関する方針」、市町村が策定している「活動方針」を踏まえ、各学校における部活動に係る活動方針等を策定していますか	策定している			1,121	（ 94.5%）	252	（ 84.3%）
		策定していない			51	（ 4.3%）	40	（ 13.4%）
		無回答			14	（ 1.2%）	7	（ 2.3%）
		合計			1,186	（ 100.0%）	299	（ 100.0%）

			小学校	中学校		高等学校	
Q19-2	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）活動上限の設定状況（学期中・平日）	設定している		1,104	(98.5%)	234	(92.9%)
		設定していない		17	(1.5%)	18	(7.1%)
		無回答		0	(0.0%)	0	(0.0%)
		合計		1,121	(100.0%)	252	(100.0%)
	上記おおむねの活動上限時間※学期中・平日・1日当たり	1時間		28	(2.5%)	12	(5.1%)
		2時間		1,014	(91.8%)	169	(72.2%)
		3時間以上		43	(3.9%)	46	(19.7%)
		無回答		19	(1.7%)	7	(3.0%)
		合計		1,104	(100.0%)	234	(100.0%)
	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）活動上限の設定状況（学期中・休日）	設定している		1,093	(99.0%)	206	(81.7%)
		設定していない		26	(2.4%)	44	(17.5%)
		無回答		2	(0.2%)	2	(0.8%)
		合計		1,121	(100.0%)	252	(100.0%)
	上記おおむねの活動上限時間※学期中・休日・1日当たり	1時間		1	(0.1%)	1	(0.5%)
		2時間		23	(2.1%)	7	(3.4%)
		3時間		948	(86.7%)	133	(64.6%)
		4時間以上		108	(9.9%)	61	(29.6%)
		無回答		13	(1.2%)	4	(1.9%)
		合計		1,093	(100.0%)	206	(100.0%)
	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）活動上限の設定状況（長期休業中）	設定している		1,032	(93.5%)	172	(68.3%)
		設定していない		88	(8.0%)	77	(30.6%)
		無回答		1	(0.1%)	3	(1.2%)
		合計		1,121	(100.0%)	252	(100.0%)
	上記おおむねの活動上限時間※長期休業中・1日当たり	1時間		0	(0.0%)	0	(0.0%)
		2時間		62	(6.0%)	13	(7.6%)
		3時間		851	(82.5%)	102	(59.3%)
		4時間以上		105	(10.2%)	55	(32.0%)
		無回答		14	(1.4%)	2	(1.2%)
		合計		1,032	(100.0%)	172	(100.0%)
Q19-3	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）おおむねの休養日の設定状況（学期中・平日）	設定している		1,105	(100.1%)	218	(86.5%)
		設定していない		14	(1.3%)	32	(12.7%)
		無回答		2	(0.2%)	2	(0.8%)
		合計		1,121	(101.5%)	252	(100.0%)
	上記日数※学期中・平日・1週当たり	1日		960	(86.9%)	196	(89.9%)
		2日		118	(10.7%)	16	(7.3%)
		3日以上		15	(1.4%)	3	(1.4%)
		無回答		12	(1.1%)	3	(1.4%)
		合計		1,105	(100.0%)	218	(100.0%)
	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）おおむねの休養日の設定状況（学期中・休日）	設定している		1,094	(99.1%)	204	(81.0%)
		設定していない		22	(2.0%)	45	(17.9%)
		無回答		5	(0.5%)	3	(1.2%)
		合計		1,121	(101.5%)	252	(100.0%)
	上記日数※学期中・休日・1週当たり	1日		1,034	(94.5%)	195	(95.6%)
		2日		38	(3.5%)	5	(2.5%)
		無回答		22	(2.0%)	4	(2.0%)
		合計		1,094	(100.0%)	204	(100.0%)
	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）おおむねの休養日の設定状況（長期休業中）	設定している		906	(82.1%)	150	(59.5%)
		設定していない		205	(18.6%)	99	(39.3%)
		無回答		10	(0.9%)	3	(1.2%)
		合計		1,121	(101.5%)	252	(100.0%)
	上記日数※長期休業中・1週当たり	1日		100	(11.0%)	48	(32.0%)
		2日		607	(67.0%)	79	(52.7%)
		3日		35	(3.9%)	2	(1.3%)
		4日		14	(1.5%)	3	(2.0%)
		5日		25	(2.8%)	2	(1.3%)
		6日		3	(0.3%)	0	(0.0%)
		7日		20	(2.2%)	4	(2.7%)
		無回答		102	(11.3%)	12	(8.0%)
		合計		906	(100.0%)	150	(100.0%)
Q19-4	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）大会前などは、ガイドラインを超えて活動することを容認するような例外規定を設けていますか	設けている		826	(74.8%)	203	(80.6%)
		設けていない		286	(25.9%)	45	(17.9%)
		無回答		9	(0.8%)	4	(1.6%)
		合計		1,121	(101.5%)	252	(100.0%)
Q19-5	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）学校のホームページに掲載する等、活動方針を公表していますか	公表している		706	(63.9%)	155	(61.5%)
		公表していない		400	(36.2%)	90	(35.7%)
		無回答		15	(1.4%)	7	(2.8%)
		合計		1,121	(101.5%)	252	(100.0%)
Q19-6	（Q19-1で「策定している」と回答した場合）活動計画（ガイドライン）をどのようにして徹底させていますか（複数回答）可	各部活動の練習計画の確認およびガイドラインに沿った練習計画の作成を行わせた		793	(70.7%)	169	(67.1%)
		前月のうちに部活動計画書を顧問に提出させ、管理職が点検する		537	(47.9%)	58	(23.0%)
		年間を通し、効果的な練習方法を取り入れ、ゆとりある部活動を計画的に実施する		343	(30.6%)	112	(44.4%)
		その他		25	(2.2%)	10	(4.0%)
		無回答		22	(2.0%)	5	(2.0%)
		回答件数		1,121	-	252	-

学校調査票②

			小学校	中学校		高等学校	
Q20	令和元年度以降、部活動の数は減りましたか	はい		277	(23.4%)	101	(33.8%)
		いいえ		894	(75.4%)	190	(63.5%)
		無回答		15	(1.3%)	8	(2.7%)
		合計		1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	（「はい」の場合）令和元年度に貴校に設置されていた部活動の数をお答えください	1～5部		12	(4.3%)	3	(3.0%)
		6～10部		34	(12.3%)	2	(2.0%)
		11～15部		57	(20.6%)	4	(4.0%)
		16～20部		34	(12.3%)	10	(9.9%)
		21部以上		14	(5.1%)	48	(47.5%)
		無回答		126	(45.5%)	34	(33.7%)
		合計		277	(100.0%)	101	(100.0%)
Q21	令和元年度以降に休日の活動の一部について地域移行した部活動の数	0部		1,064	(89.7%)	271	(90.6%)
		1部		30	(2.5%)	4	(1.3%)
		2部		7	(0.6%)	1	(0.3%)
		3部		2	(0.2%)	0	(0.0%)
		4部		4	(0.3%)	0	(0.0%)
		5部以上		14	(1.2%)	1	(0.3%)
		無回答		65	(5.5%)	22	(7.4%)
		合計		1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	令和元年度以降に休日の活動の全部について地域移行した部活動の数	0部		1,096	(92.4%)	277	(92.6%)
		1部		16	(1.3%)	0	(0.0%)
		2部		4	(0.3%)	0	(0.0%)
		3部		0	(0.0%)	0	(0.0%)
		4部		1	(0.1%)	0	(0.0%)
		5部以上		4	(0.3%)	0	(0.0%)
		無回答		65	(5.5%)	22	(7.4%)
		合計		1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
	兼職・兼業の許可を受けて地域部活動に参加している教員の数（令和4年5月1日現在）	0人		1,089	(91.8%)	268	(89.6%)
		1人		20	(1.7%)	1	(0.3%)
		2人		6	(0.5%)	4	(1.3%)
		3人		3	(0.3%)	1	(0.3%)
		4人		0	(0.0%)	0	(0.0%)
		5人以上		5	(0.4%)	2	(0.7%)
		無回答		63	(5.3%)	23	(7.7%)
		合計		1,186	(100.0%)	299	(100.0%)
Q22	部活動の顧問（教員）の負担軽減に関する以下の取組を実施していますか（複数回答）	合同トレーニングまたは合同部活動の実施により指導にあたる顧問数を限定している		65	(5.5%)	14	(4.7%)
		複数の顧問が輪番で部活動指導にあたっている		586	(49.4%)	173	(57.9%)
		部活動内の連絡においてグループウェア等を活用している		246	(20.7%)	73	(24.4%)
		その他		95	(8.0%)	11	(3.7%)
		実施していない		350	(29.5%)	74	(24.7%)
		無回答		16	(1.3%)	8	(2.7%)
		回答件数		1,186	-	299	-

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q1	性別	男性	6,944	(39.1%)	9,873	(56.5%)	4,468	(64.4%)
		女性	10,574	(59.5%)	7,321	(41.9%)	2,310	(33.3%)
		回答しない	180	(1.0%)	217	(1.2%)	133	(1.9%)
		無回答	64	(0.4%)	64	(0.4%)	28	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q2	年齢	30歳以下	4,214	(23.7%)	3,879	(22.2%)	1,013	(14.6%)
		31～40歳	4,005	(22.5%)	4,129	(23.6%)	1,301	(18.7%)
		41歳～50歳	3,929	(22.1%)	3,811	(21.8%)	1,784	(25.7%)
		51歳～60歳	4,765	(26.8%)	4,706	(26.9%)	2,362	(34.0%)
		60歳以上	734	(4.1%)	859	(4.9%)	436	(6.3%)
		無回答	115	(0.6%)	91	(0.5%)	43	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q3-1	職名	校長	830	(4.7%)	709	(4.1%)	158	(2.3%)
		副校長・教頭	965	(5.4%)	968	(5.5%)	294	(4.2%)
		主幹教諭	441	(2.5%)	532	(3.0%)	135	(1.9%)
		指導教諭	101	(0.6%)	92	(0.5%)	39	(0.6%)
		教諭	13,196	(74.3%)	13,026	(74.5%)	5,383	(77.6%)
		講師	1,400	(7.9%)	1,397	(8.0%)	387	(5.6%)
		養護教諭	681	(3.8%)	672	(3.8%)	172	(2.5%)
		栄養教諭	148	(0.8%)	79	(0.5%)	2	(0.0%)
		実習助手	0	(0.0%)	0	(0.0%)	369	(5.3%)
		その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		無回答	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q3-2	どの免許状を用いて教えていますか（あてはまるものすべて）	普通免許状	17,546	(98.8%)	17,364	(99.4%)	6,662	(96.0%)
		特別免許状	70	(0.4%)	57	(0.3%)	35	(0.5%)
		臨時免許状	234	(1.3%)	184	(1.1%)	67	(1.0%)
		無回答	54	(0.3%)	62	(0.4%)	237	(3.4%)
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q3-3	あなたの所持している普通免許状を選択してください（あてはまるものすべて）	幼稚園教諭免許状	4,364	(24.6%)	399	(2.3%)	53	(0.8%)
		小学校教諭免許状	16,457	(92.7%)	4,777	(27.3%)	630	(9.1%)
		中学校教諭免許状	10,112	(56.9%)	16,888	(96.6%)	4,372	(63.0%)
		高等学校教諭免許状	7,764	(43.7%)	14,087	(80.6%)	6,579	(94.8%)
		特別支援学校教諭免許状	2,446	(13.8%)	1,204	(6.9%)	261	(3.8%)
		養護教諭免許状	779	(4.4%)	732	(4.2%)	194	(2.8%)
		栄養教諭免許状	154	(0.9%)	95	(0.5%)	13	(0.2%)
		無回答	17	(0.1%)	20	(0.1%)	191	(2.8%)
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q3-4	Q3-3で中学校教諭免許状を選択した場合、教科も選択してください（あてはまるものすべて）	国語	1,791	(17.7%)	2,280	(13.5%)	701	(16.0%)
		社会	2,372	(23.5%)	2,389	(14.1%)	633	(14.5%)
		数学	917	(9.1%)	2,838	(16.8%)	749	(17.1%)
		理科	902	(8.9%)	2,326	(13.8%)	539	(12.3%)
		音楽	729	(7.2%)	732	(4.3%)	85	(1.9%)
		美術	264	(2.6%)	599	(3.5%)	101	(2.3%)
		保健体育	1,281	(12.7%)	2,196	(13.0%)	533	(12.2%)
		保健	230	(2.3%)	278	(1.6%)	88	(2.0%)
		技術	120	(1.2%)	618	(3.7%)	51	(1.2%)
		家庭	433	(4.3%)	588	(3.5%)	237	(5.4%)
		職業（職業指導、職業実習含む）	22	(0.2%)	40	(0.2%)	23	(0.5%)
		外国語（英語、その他の言語）	1,083	(10.7%)	2,392	(14.2%)	750	(17.2%)
		宗教	1	(0.0%)	3	(0.0%)	1	(0.0%)
		無回答	513	(5.1%)	863	(5.1%)	124	(2.8%)
		回答件数	10,112	—	16,888	—	4,372	—
Q3-5	あなたが担当している学科を選んでください（あてはまるものすべて）（高等学校のみ）	普通（学際領域、地域社会等含む）					4,530	(65.3%)
		農業					337	(4.9%)
		工業					911	(13.1%)
		商業					552	(8.0%)
		水産					66	(1.0%)
		家庭					259	(3.7%)
		看護					51	(0.7%)
		情報					137	(2.0%)
		福祉					65	(0.9%)
		総合学科					323	(4.7%)
		その他					296	(4.3%)
		無回答					281	(4.0%)
		回答件数					6,939	(100.0%)
Q3-6	あなたは1年単位の変形労働時間制の適用を受けていますか	受けている	0	(0.0%)	1	(0.0%)	0	(0.0%)
		受けていない	17,739	(99.9%)	17,449	(99.9%)	6,898	(99.4%)
		無回答	23	(0.1%)	25	(0.1%)	41	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q3-7	雇用形態	正規任用（再任用を除く）	15,067	84.8%	14,714	84.2%	5,864	84.5%
		再任用	559	3.1%	783	4.5%	483	7.0%
		臨時的任用または任期付き採用（常勤）	2,102	11.8%	1,956	11.2%	581	8.4%
		無回答	34	0.2%	22	0.1%	11	0.2%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q3-8	Q3-7で「再任用」を選択した場合、定年退職前の職名	校長	73	13.1%	99	12.6%	34	7.0%
		副校長・教頭	33	5.9%	43	5.5%	27	5.6%
		主幹教諭	19	3.4%	55	7.0%	30	6.2%
		指導教諭	7	1.3%	7	0.9%	10	2.1%
		教諭	352	63.0%	481	61.4%	331	68.5%
		講師	1	0.2%	1	0.1%	1	0.2%
		養護教諭	20	3.6%	22	2.8%	9	1.9%
		栄養教諭	5	0.9%	3	0.4%	0	0.0%
		実習助手	0	0.0%	0	0.0%	19	3.9%
		その他	2	0.4%	6	0.8%	5	1.0%
		無回答	47	8.4%	66	8.4%	17	3.5%
		合計	559	100.0%	783	100.0%	483	100.0%
Q4-1	教職歴・行政職歴	1年未満	671	3.8%	611	3.5%	144	2.1%
		1年～2年未満	602	3.4%	531	3.0%	126	1.8%
		2年～6年未満	2,347	13.2%	2,065	11.8%	605	8.7%
		6年～11年未満	2,548	14.3%	2,592	14.8%	818	11.8%
		11年～16年未満	2,351	13.2%	2,337	13.4%	697	10.0%
		16年～21年未満	2,218	12.5%	1,907	10.9%	751	10.8%
		21年～26年未満	1,468	8.3%	1,519	8.7%	794	11.4%
		26年～31年未満	1,704	9.6%	1,782	10.2%	883	12.7%
		31年～36年未満	2,231	12.6%	2,212	12.7%	1,126	16.2%
		36年～41年未満	1,207	6.8%	1,513	8.7%	721	10.4%
		41年以上	171	1.0%	178	1.0%	87	1.3%
		無回答	244	1.4%	228	1.3%	187	2.7%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q4-2	現在校の勤務期間	1年未満	4,209	23.7%	4,164	23.8%	1,320	19.0%
		1年～2年未満	3,501	19.7%	3,338	19.1%	1,054	15.2%
		2年～3年未満	2,883	16.2%	2,776	15.9%	865	12.5%
		3年～4年未満	2,067	11.6%	1,925	11.0%	694	10.0%
		4年～5年未満	1,643	9.3%	1,638	9.4%	592	8.5%
		5年～6年未満	1,235	7.0%	1,259	7.2%	457	6.6%
		6年～11年未満	1,680	9.5%	1,845	10.6%	1,387	20.0%
		11年以上	132	0.7%	157	0.9%	468	6.7%
		無回答	412	2.3%	373	2.1%	102	1.5%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q4-3	民間企業等で正規雇用されていた期間	1年未満	15,658	88.2%	15,378	88.0%	5,797	83.5%
		1年～2年未満	364	2.0%	478	2.7%	200	2.9%
		2年～6年未満	989	5.6%	972	5.6%	488	7.0%
		6年～11年未満	375	2.1%	326	1.9%	179	2.6%
		11年～16年未満	106	0.6%	75	0.4%	52	0.7%
		16年～21年未満	48	0.3%	46	0.3%	25	0.4%
		21年～26年未満	16	0.1%	14	0.1%	8	0.1%
		26年～31年未満	6	0.0%	3	0.0%	9	0.1%
		31年～36年未満	2	0.0%	3	0.0%	4	0.1%
		36年～41年未満	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%
		41年以上	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
		無回答	198	1.1%	180	1.0%	172	2.5%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q5-1	あなたは学級担任をしていますか	学級担任（単式）をしている	9,938	56.0%				
		複式学級の担任をしている	151	0.9%				
		特別支援学級の担任をしている	2,460	13.8%				
		学級担任をしておらず主に専科指導を担当している	1,634	9.2%				
		学級担任をしておらず通級指導または日本語指導を担当している	517	2.9%				
		上記のいずれにも当てはまらない	3,017	17.0%				
		無回答	45	0.3%				
		合計	17,762	100.0%				
	（「学級担任（単式）をしている」と回答した場合） 担任の学年はどれですか	小1	1,694	17.0%				
		小2	1,617	16.3%				
		小3	1,542	15.5%				
		小4	1,515	15.2%				
		小5	1,479	14.9%				
		小6	1,570	15.8%				
		無回答	521	5.2%				
		合計	9,938	100.0%				
Q5-2	（Q5-1で「学級担任（単式）をしている」「複式学級の担任をしている」「特別支援学級の担任をしている」と回答した場合のみ回答。以下、Q5-3、Q5-4について同じ） 担任をしている学級の児童数は何人ですか	1～5人	1,291	10.3%				
		6～10人	1,175	9.4%				
		11～15人	261	2.1%				
		16～20人	519	4.1%				
		21～25人	1,329	10.6%				
		26～30人	3,343	26.6%				
		31～35人	3,151	25.1%				
		36～40人	843	6.7%				
		41人以上	34	0.3%				
		無回答	603	4.8%				
		合計	12,549	100.0%				
Q5-3	あなたは他の学級担任と授業交換を行っていますか	行っている	3,452	27.5%				
		行っていない	8,470	67.5%				
		無回答	627	5.0%				
		合計	12,549	100.0%				
Q5-4	他の学級担任と授業交換を行っている場合、1週間のうち授業交換を行っているおおむねのコマ数	1～15コマ	3,182	92.2%				
		16～20コマ	54	1.6%				
		21～25コマ	42	1.2%				
		26コマ以上	46	1.3%				
		0コマ	77	2.2%				
		無回答	51	1.5%				
		合計	3,452	100.0%				
		教諭（主幹教諭及び指導教諭含む）平均（単位：コマ）	4.8	—				

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q5-5	(Q5-1で「学級担任をしておらず主に専科指導を担当している」と回答した場合のみ回答。以下、Q5-6について同じ) あなたの専科指導の教科・領域は何ですか	国語(書写を除く)	16	(1.0%)				
		書写	84	(5.1%)				
		社会	57	(3.5%)				
		算数	248	(15.2%)				
		理科	413	(25.3%)				
		生活	1	(0.1%)				
		音楽	312	(19.1%)				
		図画工作	106	(6.5%)				
		家庭	64	(3.9%)				
		体育	41	(2.5%)				
		外国語活動・外国語	181	(11.1%)				
		その他	17	(1.0%)				
		無回答	94	(5.8%)				
		合計	1,634	(100.0%)				
Q5-6	授業を担当している学級の、1学級当たりの平均児童数は何人ですか	1～5人	16	(1.0%)				
		6～10人	48	(2.9%)				
		11～15人	58	(3.5%)				
		16～20人	77	(4.7%)				
		21～25人	165	(10.1%)				
		26～30人	528	(32.3%)				
		31～35人	480	(29.4%)				
		36～40人	148	(9.1%)				
		41人以上	2	(0.1%)				
		無回答	112	(6.9%)				
		合計	1,634	(100.0%)				
Q6-1	あなたは学級担任をしていますか(中学校)	学級担任(単式)をしている			7,318	(41.9%)		
		複式学級の担任をしている			47	(0.3%)		
		特別支援学級の担任をしている			1,715	(9.8%)		
		学級担任をしておらず特定の教科を主に担当している			4,473	(25.6%)		
		学級担任をしておらず、通級指導または日本語指導を担当している			212	(1.2%)		
		上記のいずれにも当てはまらない			3,642	(20.8%)		
		無回答			68	(0.4%)		
		合計			17,475	(100.0%)		
	(「学級担任(単式)をしている」と回答した場合) 担任の学年はどれですか	中1			2,317	(31.7%)		
		中2			2,309	(31.6%)		
		中3			2,310	(31.6%)		
		無回答			382	(5.2%)		
		合計			7,318	(100.0%)		
Q6-1	あなたは学級担任をしていますか(高等学校)	学級担任(単式)をしている					2,584	(37.2%)
		学級担任をしておらず、特定の教科(少人数指導を含む)を主に担当している					2,610	(37.6%)
		学級担任をしておらず、通級指導またあは日本語指導を担当している					33	(0.5%)
		上記のいずれにも当てはまらない					1,664	(24.0%)
		無回答					48	(0.7%)
		合計					6,939	(100.0%)
Q6-2	(Q6-1で「学級担任(単式)をしている」「複式学級の担任をしている」「特別支援学級の担任をしている」場合のみ回答) 担任をしている学級の生徒数は何人ですか	1～5人			975	(10.7%)	36	(1.4%)
		6～10人			616	(6.8%)	71	(2.7%)
		11～15人			92	(1.0%)	95	(3.7%)
		16～20人			131	(1.4%)	121	(4.7%)
		21～25人			286	(3.1%)	142	(5.5%)
		26～30人			1,134	(12.5%)	210	(8.1%)
		31～35人			2,988	(32.9%)	361	(14.0%)
		36～40人			2,217	(24.4%)	1,186	(45.9%)
		41人以上			154	(1.7%)	279	(10.8%)
		無回答			487	(5.4%)	83	(3.2%)
		合計			9,080	(100.0%)	2,584	(100.0%)
Q7-1	あなたが担当している教科は何ですか(中学校)	国語			2,127	(12.2%)		
		社会			1,866	(10.7%)		
		数学			2,573	(14.7%)		
		理科			2,062	(11.8%)		
		音楽			660	(3.8%)		
		美術			581	(3.3%)		
		保健体育			1,736	(9.9%)		
		技術・家庭			992	(5.7%)		
		外国語			2,255	(12.9%)		
		その他			203	(1.2%)		
		教科を担当していない			2,314	(13.2%)		
		無回答			106	(0.6%)		
		合計			17,475	(100.0%)		
Q7-1	あなたが担当している教科は何ですか(高等学校)	国語					766	(11.0%)
		地理歴史					540	(7.8%)
		公民					148	(2.1%)
		数学					887	(12.8%)
		理科					801	(11.5%)
		保健体育					583	(8.4%)
		芸術					207	(3.0%)
		外国語					850	(12.2%)
		家庭					259	(3.7%)
		情報					86	(1.2%)
		農業					180	(2.6%)
		工業					623	(9.0%)
		商業					305	(4.4%)
		水産					38	(0.5%)
		看護					21	(0.3%)
		福祉					27	(0.4%)
		その他					25	(0.4%)
		教科を担当していない					552	(8.0%)
		無回答					41	(0.6%)
		合計					6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校	中学校		高等学校	
Q7-2	あなたが授業を担当している学級の1学級当たりの平均生徒数は何人ですか	1～5人		645	(4.3%)	85	(1.3%)
		6～10人		468	(3.1%)	197	(3.1%)
		11～15人		265	(1.8%)	309	(4.9%)
		16～20人		487	(3.2%)	548	(8.6%)
		21～25人		717	(4.8%)	536	(8.4%)
		26～30人		2,660	(17.7%)	988	(15.6%)
		31～35人		5,394	(35.9%)	868	(13.7%)
		36～40人		4,164	(27.7%)	2,606	(41.1%)
		41人以上		130	(0.9%)	114	(1.8%)
		無回答		81	(0.5%)	95	(1.5%)
		合計		15,055	(100.0%)	6,346	(100.0%)
Q8-1	あなたは部活動の顧問をしていますか	顧問をしている		14,027	(80.3%)	5,957	(85.8%)
		顧問はしていない		3,359	(19.2%)	939	(13.5%)
		無回答		89	(0.5%)	43	(0.6%)
		合計		17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q8-2	(Q8-1で「顧問をしている」と答えた場合。以下、Q8-3、Q8-4、Q9-1について同じ) 担当している部活動の週平均活動日数	0日		107	(0.8%)	215	(3.6%)
		1日		341	(2.4%)	664	(11.1%)
		2日		465	(3.3%)	496	(8.3%)
		3日		824	(5.9%)	453	(7.6%)
		4日		2,736	(19.5%)	591	(9.9%)
		5日		7,873	(56.1%)	1,821	(30.6%)
		6日		899	(6.4%)	1,460	(24.5%)
		7日		36	(0.3%)	79	(1.3%)
		無回答		746	(5.3%)	178	(3.0%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
	担当している部活動の週平均活動日数(うち、土日)	0日		2,014	(14.4%)	1,857	(31.2%)
		1日		10,659	(76.0%)	2,781	(46.7%)
		2日		483	(3.4%)	993	(16.7%)
		無回答		871	(6.2%)	326	(5.5%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
	担当している部活動の週当たり活動時間	0時間		116	(0.8%)	217	(3.6%)
		1～5時間		1,971	(14.1%)	1,444	(24.2%)
		6～10時間		4,631	(33.0%)	1,246	(20.9%)
		11～15時間		5,613	(40.0%)	1,696	(28.5%)
		16～20時間		751	(5.4%)	808	(13.6%)
		21時間以上		114	(0.8%)	321	(5.4%)
		無回答		831	(5.9%)	225	(3.8%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
	担当している部活動の週当たり活動時間(うち、土日)	0時間		1,967	(14.0%)	1,803	(30.3%)
		1～3時間		7,508	(53.5%)	1,612	(27.1%)
		4～6時間		3,017	(21.5%)	1,380	(23.2%)
		7～9時間		339	(2.4%)	453	(7.6%)
		10時間以上		191	(1.4%)	292	(4.9%)
		無回答		1,005	(7.2%)	417	(7.0%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q8-3	担当の部活動について、あなたは指導可能な知識や技術を備えていると思いますか	十分備えている		2,083	(14.8%)	1,088	(18.3%)
		ある程度備えている		4,771	(34.0%)	1,897	(31.8%)
		どちらともいえない		1,448	(10.3%)	611	(10.3%)
		あまり備えていない		2,578	(18.4%)	966	(16.2%)
		全く備えていない		2,407	(17.2%)	1,249	(21.0%)
		無回答		740	(5.3%)	146	(2.5%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q8-4	あなたが担当している部活動は何ですか	野球部		961	(6.9%)	307	(5.2%)
		サッカー部		859	(6.1%)	260	(4.4%)
		バレーボール部		1,226	(8.7%)	347	(5.8%)
		バスケットボール部		1,529	(10.9%)	352	(5.9%)
		陸上部		844	(6.0%)	255	(4.3%)
		卓球部		1,162	(8.3%)	282	(4.7%)
		テニス部(硬式・軟式)		1,556	(11.1%)	428	(7.2%)
		柔道部		237	(1.7%)	77	(1.3%)
		剣道部		559	(4.0%)	150	(2.5%)
		バドミントン部		538	(3.8%)	271	(4.5%)
		ソフトボール部		248	(1.8%)	79	(1.3%)
		水泳部		228	(1.6%)	97	(1.6%)
		吹奏楽部		1,010	(7.2%)	224	(3.8%)
		美術部		672	(4.8%)	171	(2.9%)
		合唱部		122	(0.9%)	59	(1.0%)
		その他運動部		373	(2.7%)	718	(12.1%)
		その他文化系部		1,175	(8.4%)	1,742	(29.2%)
		無回答		728	(5.2%)	138	(2.3%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q9-1	あなたの学校における部活動に係る活動方針等の内容を把握していますか	全て把握している		5,937	(42.3%)	2,099	(35.2%)
		一部把握している		6,117	(43.6%)	2,652	(44.5%)
		方針等は策定されているが、内容は全く把握していない		539	(3.8%)	341	(5.7%)
		方針等は策定されていない		67	(0.5%)	88	(1.5%)
		方針等が策定されているかどうか把握していない		625	(4.5%)	631	(10.6%)
		無回答		742	(5.3%)	146	(2.5%)
		合計		14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q9-2	(Q9-1で「全て把握している」、「一部把握している」と答えた場合) あなたは、あなたが顧問をしている部活動において、学校における部活動に係る活動方針等を踏まえた活動を行っていますか	全て行っている		8,619	(71.5%)	3,120	(65.7%)
		一部行っている		3,373	(28.0%)	1,593	(33.5%)
		全く行っていない		42	(0.3%)	32	(0.7%)
		無回答		20	(0.2%)	6	(0.1%)
		合計		12,054	(100.0%)	4,751	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q9-3	あなたが顧問をしている部活動において、活用している部活動指導員の人数をお答えください	0人			8,704	(62.1%)	3,609	(60.6%)
		1人			913	(6.5%)	310	(5.2%)
		2人			403	(2.9%)	180	(3.0%)
		3人			188	(1.3%)	149	(2.5%)
		無回答			3,819	(27.2%)	1,709	(28.7%)
		合計			14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q9-4	あなたが顧問をしている部活動において、指導に参加している外部指導者の人数をお答えください	0人			9,246	(65.9%)	4,331	(72.7%)
		1人			2,840	(20.2%)	1,047	(17.6%)
		2人			656	(4.7%)	243	(4.1%)
		3人			211	(1.5%)	88	(1.5%)
		4人以上			235	(1.7%)	59	(1.0%)
		無回答			839	(6.0%)	189	(3.2%)
		合計			14,027	(100.0%)	5,957	(100.0%)
Q10	あなたは主任(主事)を担当していますか(複数回答)	教務主任	801	(4.5%)	779	(4.5%)	187	(2.7%)
		生徒指導主事(生徒指導主任)	718	(4.0%)	651	(3.7%)	147	(2.1%)
		進路指導主事(進路指導主任)	20	(0.1%)	654	(3.7%)	158	(2.3%)
		保健主事(保健主任)	661	(3.7%)	593	(3.4%)	134	(1.9%)
		研究主事(研究主任)	614	(3.5%)	484	(2.8%)	19	(0.3%)
		研修主事(研修主任)	241	(1.4%)	227	(1.3%)	19	(0.3%)
		庶務主任	47	(0.3%)	46	(0.3%)	41	(0.6%)
		学年主任	3,928	(22.1%)	2,054	(11.8%)	468	(6.7%)
		教科主任	4,769	(26.8%)	4,200	(24.0%)	959	(13.8%)
		その他の主任	2,234	(12.6%)	1,752	(10.0%)	486	(7.0%)
		担当していない	7,402	(41.7%)	8,200	(46.9%)	4,477	(64.5%)
		無回答	277	(1.6%)	252	(1.4%)	85	(1.2%)
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q11	あなたはどのような校務分掌を担当していますか(複数回答)	教務	1,637	(9.2%)	2,234	(12.8%)	1,519	(21.9%)
		生活・生徒指導(教育相談含む)	2,337	(13.2%)	3,418	(19.6%)	1,431	(20.6%)
		進路指導	107	(0.6%)	1,305	(7.5%)	1,375	(19.8%)
		保健・環境	1,938	(10.9%)	1,950	(11.2%)	708	(10.2%)
		研修・研究	2,112	(11.9%)	1,633	(9.3%)	284	(4.1%)
		庶務・会計	1,152	(6.5%)	1,398	(8.0%)	367	(5.3%)
		特別支援教育コーディネーター	1,256	(7.1%)	877	(5.0%)	182	(2.6%)
		児童会・生徒会	1,512	(8.5%)	2,081	(11.9%)	449	(6.5%)
		広報	459	(2.6%)	673	(3.9%)	389	(5.6%)
		渉外・地域連携	1,007	(5.7%)	1,114	(6.4%)	465	(6.7%)
		道徳教育推進教師	715	(4.0%)	827	(4.7%)	100	(1.4%)
		防災を含む安全教育・安全管理	1,497	(8.4%)	1,374	(7.9%)	282	(4.1%)
		情報教育・環境整備	1,985	(11.2%)	2,059	(11.8%)	502	(7.2%)
		その他	4,748	(26.7%)	3,528	(20.2%)	1,002	(14.4%)
		担当していない	2,614	(14.7%)	2,068	(11.8%)	715	(10.3%)
		無回答	211	(1.2%)	174	(1.0%)	52	(0.7%)
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q12-1	あなたは1週間に何コマの授業を担当していますか	1～15コマ	1,260	(7.1%)	3,331	(19.1%)	2,602	(37.5%)
		16～20コマ	1,090	(6.1%)	8,483	(48.5%)	3,548	(51.1%)
		21～25コマ	7,286	(41.0%)	3,070	(17.6%)	128	(1.8%)
		26コマ以上	5,712	(32.2%)	340	(1.9%)	5	(0.1%)
		0コマ	1,748	(9.8%)	1,131	(6.5%)	297	(4.3%)
		無回答	666	(3.7%)	1,120	(6.4%)	359	(5.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
		教諭(主幹教諭及び指導教諭含む)平均(単位:コマ)	23.9	—	18.1	—	15.5	—
	うち、ティームティーチングの補助的な役割の指導に係るコマ数	1～15コマ	3,553	(20.0%)	4,103	(23.5%)	1,356	(19.5%)
		16～20コマ	102	(0.6%)	126	(0.7%)	80	(1.2%)
		21～25コマ	91	(0.5%)	34	(0.2%)	14	(0.2%)
		26コマ以上	46	(0.3%)	12	(0.1%)	2	(0.0%)
		0コマ	10,390	(58.5%)	10,244	(58.6%)	4,373	(63.0%)
		無回答	3,580	(20.2%)	2,956	(16.9%)	1,114	(16.1%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
		教諭(主幹教諭及び指導教諭含む)平均(単位:コマ)	1.5	—	1.5	—	0.8	—
Q12-2	(兼務発令がある方のみ)あなたの兼務先の学校種をお答えください (複数回答)	小学校(義務教育学校前期課程含む)	2,033	(11.4%)	317	(1.8%)	29	(0.4%)
		中学校(義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を含む)	180	(1.0%)	1,594	(9.1%)	121	(1.7%)
		高等学校(中等教育学校後期課程含む)	6	(0.0%)	75	(0.4%)	692	(10.0%)
		特別支援学校	39	(0.2%)	39	(0.2%)	17	(0.2%)
		無回答	15,565	(87.6%)	15,521	(88.8%)	6,118	(88.2%)
		回答件数	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q12-3	あなたは兼務校で1 週間におおむね何コマの授業を担当していますか	1～15コマ	234	(10.7%)	351	(18.0%)	172	(21.0%)
		16～20コマ	71	(3.2%)	316	(16.2%)	97	(11.8%)
		21～25コマ	409	(18.6%)	124	(6.3%)	4	(0.5%)
		26コマ以上	316	(14.4%)	11	(0.6%)	1	(0.1%)
		0コマ	625	(28.4%)	655	(33.5%)	295	(35.9%)
		無回答	542	(24.7%)	497	(25.4%)	252	(30.7%)
		合計	2,197	(100.0%)	1,954	(100.0%)	821	(100.0%)
		教諭(主幹教諭及び指導教諭含む)平均(単位:コマ)	14.7	—	8.3	—	5.4	—

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q13	あなたが令和3年度の1年間で職務の専門性向上や能力開発等の自己研鑽に投じた費用（免許状更新講習にかかる費用は除く）の総額についてお答えください	1～5万円	10,196	57.4%	9,012	51.6%	3,436	49.5%
		6～10万円	1,118	6.3%	1,062	6.1%	546	7.9%
		11～15万円	232	1.3%	222	1.3%	113	1.6%
		16～20万円	192	1.1%	165	0.9%	119	1.7%
		21万円以上	292	1.6%	253	1.4%	175	2.5%
		0円	3,609	20.3%	4,637	26.5%	1,806	26.0%
		無回答	2,123	12.0%	2,124	12.2%	744	10.7%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q14	昨年（令和3 年1 月～12 月）にあなたに付与された有給休暇の日数	0～19日	788	4.4%	807	4.6%	250	3.6%
		20～29日	3,686	20.8%	3,628	20.8%	1,653	23.8%
		30～39日	1,214	6.8%	1,007	5.8%	427	6.2%
		40日	10,605	59.7%	10,728	61.4%	4,247	61.2%
		昨年の勤務が1年未満	680	3.8%	533	3.1%	141	2.0%
		無回答	789	4.4%	772	4.4%	221	3.2%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q14	昨年にあなたが取得した有給休暇は何日程度でしたか	0～2日	536	3.0%	1,034	5.9%	350	5.0%
		3～5日	1,193	6.7%	3,035	17.4%	1,184	17.1%
		6～10日	4,398	24.8%	5,911	33.8%	2,214	31.9%
		11～15日	4,420	24.9%	3,271	18.7%	1,306	18.8%
		16～20日	4,736	26.7%	2,471	14.1%	1,345	19.4%
		21日以上	1,126	6.3%	593	3.4%	236	3.4%
		昨年の勤務が1年未満	609	3.4%	473	2.7%	127	1.8%
		無回答	744	4.2%	687	3.9%	177	2.6%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q15	自宅から学校への通勤時間はどれくらいですか	0～15分以内	5,974	33.6%	5,207	29.8%	1,807	26.0%
		16～30分以内	7,052	39.7%	6,681	38.2%	2,069	29.8%
		31～45分以内	2,633	14.8%	2,822	16.1%	1,193	17.2%
		46分～1時間以内	1,478	8.3%	1,897	10.9%	1,195	17.2%
		1時間1分～1時間30分以内	504	2.8%	724	4.1%	550	7.9%
		1時間31分～2時間以内	61	0.3%	72	0.4%	91	1.3%
		2時間1分以上	7	0.0%	8	0.0%	10	0.1%
		無回答	53	0.3%	64	0.4%	24	0.3%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q16-1	あなたには子どもがいますか	子どもがいる	9,952	56.0%	9,263	53.0%	4,051	58.4%
		子どもはいない	7,776	43.8%	8,145	46.6%	2,868	41.3%
		無回答	34	0.2%	67	0.4%	20	0.3%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
	（「子どもがいる」と回答した場合のみ回答）全部で何人ですか	1人	2,131	21.4%	2,169	23.4%	917	22.6%
		2人	5,056	50.8%	4,494	48.5%	2,139	52.8%
		3人	1,980	19.9%	1,810	19.5%	776	19.2%
		4人	236	2.4%	227	2.5%	93	2.3%
		5人以上	29	0.3%	35	0.4%	15	0.4%
		0人	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		無回答	519	5.2%	528	5.7%	111	2.7%
		合計	9,952	100.0%	9,263	100.0%	4,051	100.0%
	（「子どもがいる」と回答した場合のみ回答）一番年下の子どもの年齢はいくつですか	0～3歳	1,635	16.4%	1,572	17.0%	527	13.0%
		4～6歳	1,083	10.9%	956	10.3%	385	9.5%
		7～12歳	1,739	17.5%	1,521	16.4%	680	16.8%
		13～18歳	1,616	16.2%	1,565	16.9%	765	18.9%
		19歳以上	3,352	33.7%	3,101	33.5%	1,580	39.0%
		無回答	527	5.3%	548	5.9%	114	2.8%
		合計	9,952	100.0%	9,263	100.0%	4,051	100.0%
Q16-2	Q16-1で「子どもがいる」場合のみ回答　子どもがいることで、職場から勤務時間や業務内容に配慮がありますか	配慮がある	1,505	15.1%	1,341	14.5%	400	9.9%
		特別な配慮はない	7,943	79.8%	7,410	80.0%	3,547	87.6%
		無回答	504	5.1%	512	5.5%	104	2.6%
		合計	9,952	100.0%	9,263	100.0%	4,051	100.0%
Q16-3	これまでに育児休業をどのぐらい取得したことがありますか最も期間が長かったお子様についてお答えください	ない	4,704	47.3%	5,652	61.0%	2,720	67.1%
		ある（1 ヶ月未満）	487	4.9%	507	5.5%	257	6.3%
		ある（1 ヶ月以上6 ヶ月未満）	143	1.4%	101	1.1%	42	1.0%
		ある（6 ヶ月以上1 年未満）	1,380	13.9%	942	10.2%	345	8.5%
		ある（1 年以上）	2,743	27.6%	1,560	16.8%	593	14.6%
		無回答	495	5.0%	501	5.4%	94	2.3%
		合計	9,952	100.0%	9,263	100.0%	4,051	100.0%
Q17-1	あなたには現在介護を要する人がいますか	自宅に介護が必要な人がいる	740	4.2%	818	4.7%	340	4.9%
		自宅外に介護が必要な人がいる	2,339	13.2%	2,302	13.2%	1,065	15.3%
		介護を要する人はいない	14,625	82.3%	14,286	81.8%	5,518	79.5%
		無回答	58	0.3%	69	0.4%	16	0.2%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q17-2	Q17-1で「自宅に介護が必要な人がいる」「自宅外に介護が必要な人がいる」場合のみ回答　介護が必要な人がいることで、職場から勤務時間や業務内容に配慮がありますか	配慮がある	441	14.3%	428	13.7%	158	11.2%
		特別な配慮はない	2,437	79.1%	2,490	79.8%	1,202	85.6%
		無回答	201	6.5%	202	6.5%	45	3.2%
		合計	3,079	100.0%	3,120	100.0%	1,405	100.0%
Q18-1	現在、あなたと同居している方をすべて選んでください	単身で住んでいる	3,257	18.3%	3,508	20.1%	1,422	20.5%
		配偶者（パートナーを含む）	11,174	62.9%	10,677	61.1%	4,539	65.4%
		子	8,110	45.7%	7,461	42.7%	3,129	45.1%
		子の配偶者	51	0.3%	54	0.3%	30	0.4%
		孫	52	0.3%	43	0.2%	15	0.2%
		孫の配偶者	1	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
		親	3,361	18.9%	3,557	20.4%	1,173	16.9%
		配偶者の親	699	3.9%	623	3.6%	240	3.5%
		祖父母	399	2.2%	380	2.2%	116	1.7%
		配偶者の祖父母	33	0.2%	45	0.3%	12	0.2%
		兄弟姉妹	1,094	6.2%	1,036	5.9%	286	4.1%
		その他	108	0.6%	107	0.6%	30	0.4%
		無回答	53	0.3%	79	0.5%	28	0.4%
		合計	17,762	100.0%	17,475	100.0%	6,939	100.0%
Q18-2 a	【配偶者（パートナーを含む）がいらっしゃる方にお聞きします】あなたの配偶者（パートナーを含む）の現在のお仕事	働いていない	1,307	11.7%	1,675	15.7%	868	19.1%
		教員（フルタイム）	4,271	38.2%	3,912	36.6%	1,520	33.5%
		教員（短時間勤務）	305	2.7%	360	3.4%	135	3.0%
		教員以外の勤め人（正規雇用）	3,538	31.7%	2,557	23.9%	967	21.3%
		教員以外の勤め人（パート・アルバイト）	927	8.3%	1,360	12.7%	742	16.3%
		教員以外の勤め人（派遣・契約）	256	2.3%	291	2.7%	105	2.3%
		自営業	393	3.5%	328	3.1%	118	2.6%
		家族従業者	31	0.3%	41	0.4%	19	0.4%
		その他	144	1.3%	146	1.4%	64	1.4%
		無回答	2	0.0%	7	0.1%	1	0.0%
		合計	11,174	100.0%	10,677	100.0%	4,539	100.0%

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q18-2 a	上記のうち、通常の一週間の平均勤労時間	ゼロ(働いていない)	1,145	(10.2%)	1,546	(14.5%)	776	(17.1%)
		15 時間以下	420	(3.8%)	542	(5.1%)	286	(6.3%)
		16～34 時間	865	(7.7%)	1,185	(11.1%)	562	(12.4%)
		35～41 時間	1,151	(10.3%)	1,141	(10.7%)	550	(12.1%)
		42～48 時間	2,113	(18.9%)	1,660	(15.5%)	740	(16.3%)
		49～59 時間	2,602	(23.3%)	1,920	(18.0%)	693	(15.3%)
		60 時間以上	1,864	(16.7%)	1,843	(17.3%)	574	(12.6%)
		無回答	1,014	(9.1%)	840	(7.9%)	358	(7.9%)
		合計	11,174	(100.0%)	10,677	(100.0%)	4,539	(100.0%)
Q19-1	あまりに仕事が多すぎる	全くそうではない	872	(4.9%)	971	(5.6%)	719	(10.4%)
		少しそうである	4,434	(25.0%)	4,581	(26.2%)	2,273	(32.8%)
		まあそうである	6,368	(35.9%)	6,174	(35.3%)	2,347	(33.8%)
		非常にそうである	6,066	(34.2%)	5,715	(32.7%)	1,591	(22.9%)
		無回答	22	(0.1%)	34	(0.2%)	9	(0.1%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-2	仕事量が多くて、仕事がこなしきれない	全くそうではない	2,280	(12.8%)	2,685	(15.4%)	1,568	(22.6%)
		少しそうである	6,047	(34.0%)	6,011	(34.4%)	2,602	(37.5%)
		まあそうである	5,479	(30.8%)	5,201	(29.8%)	1,756	(25.3%)
		非常にそうである	3,907	(22.0%)	3,517	(20.1%)	996	(14.4%)
		無回答	49	(0.3%)	61	(0.3%)	17	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-3	猛烈に働くことが必要だ	全くそうではない	2,372	(13.4%)	2,579	(14.8%)	1,469	(21.2%)
		少しそうである	5,083	(28.6%)	5,049	(28.9%)	2,274	(32.8%)
		まあそうである	6,052	(34.1%)	5,853	(33.5%)	2,037	(29.4%)
		非常にそうである	4,203	(23.7%)	3,912	(22.4%)	1,130	(16.3%)
		無回答	52	(0.3%)	82	(0.5%)	29	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-4	期限に追われて仕事をすることがよくある	全くそうではない	1,081	(6.1%)	1,150	(6.6%)	681	(9.8%)
		少しそうである	4,621	(26.0%)	4,582	(26.2%)	2,223	(32.0%)
		まあそうである	6,092	(34.3%)	5,754	(32.9%)	2,276	(32.8%)
		非常にそうである	5,894	(33.2%)	5,908	(33.8%)	1,729	(24.9%)
		無回答	74	(0.4%)	81	(0.5%)	30	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-5	仕事に行き詰ることがよくある	全くそうではない	2,535	(14.3%)	2,919	(16.7%)	1,700	(24.5%)
		少しそうである	7,064	(39.8%)	7,047	(40.3%)	2,920	(42.1%)
		まあそうである	5,295	(29.8%)	4,776	(27.3%)	1,582	(22.8%)
		非常にそうである	2,803	(15.8%)	2,644	(15.1%)	703	(10.1%)
		無回答	65	(0.4%)	89	(0.5%)	34	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-6	複雑で困難な仕事が多い	全くそうではない	1,741	(9.8%)	1,970	(11.3%)	1,224	(17.6%)
		少しそうである	6,797	(38.3%)	6,946	(39.7%)	2,887	(41.6%)
		まあそうである	6,239	(35.1%)	5,828	(33.4%)	2,006	(28.9%)
		非常にそうである	2,903	(16.3%)	2,624	(15.0%)	789	(11.4%)
		無回答	82	(0.5%)	107	(0.6%)	33	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-7	これまでの経験だけでは対処できない仕事をすることがよくある	全くそうではない	2,147	(12.1%)	2,418	(13.8%)	1,303	(18.8%)
		少しそうである	7,281	(41.0%)	7,279	(41.7%)	2,951	(42.5%)
		まあそうである	5,453	(30.7%)	5,068	(29.0%)	1,798	(25.9%)
		非常にそうである	2,805	(15.8%)	2,608	(14.9%)	851	(12.3%)
		無回答	76	(0.4%)	102	(0.6%)	36	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-8	自分の仕事について、自分の意見を反映することができる	全くそうではない	703	(4.0%)	870	(5.0%)	507	(7.3%)
		少しそうである	5,150	(29.0%)	5,498	(31.5%)	2,408	(34.7%)
		まあそうである	9,887	(55.7%)	9,269	(53.0%)	3,427	(49.4%)
		非常にそうである	1,974	(11.1%)	1,775	(10.2%)	575	(8.3%)
		無回答	48	(0.3%)	63	(0.4%)	22	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-9	仕事の進め方を、自分で決めることができる	全くそうではない	1,141	(6.4%)	1,363	(7.8%)	563	(8.1%)
		少しそうである	5,713	(32.2%)	5,811	(33.3%)	2,482	(35.8%)
		まあそうである	9,087	(51.2%)	8,530	(48.8%)	3,280	(47.3%)
		非常にそうである	1,763	(9.9%)	1,704	(9.8%)	593	(8.5%)
		無回答	58	(0.3%)	67	(0.4%)	21	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-10	仕事のペースを自分で決めることができる	全くそうではない	1,792	(10.1%)	2,119	(12.1%)	773	(11.1%)
		少しそうである	6,380	(35.9%)	6,429	(36.8%)	2,654	(38.2%)
		まあそうである	7,924	(44.6%)	7,311	(41.8%)	2,925	(42.2%)
		非常にそうである	1,560	(8.8%)	1,499	(8.6%)	549	(7.9%)
		無回答	106	(0.6%)	117	(0.7%)	38	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-11	職場で人間関係のトラブルがよくある	全くそうではない	8,774	(49.4%)	8,063	(46.1%)	3,191	(46.0%)
		少しそうである	6,696	(37.7%)	6,733	(38.5%)	2,733	(39.4%)
		まあそうである	1,598	(9.0%)	1,822	(10.4%)	687	(9.9%)
		非常にそうである	632	(3.6%)	769	(4.4%)	307	(4.4%)
		無回答	62	(0.3%)	88	(0.5%)	21	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-12	職場のメンバー間の意思疎通がよくいっていない	全くそうではない	6,593	(37.1%)	5,380	(30.8%)	2,194	(31.6%)
		少しそうである	8,083	(45.5%)	8,250	(47.2%)	3,149	(45.4%)
		まあそうである	2,259	(12.7%)	2,755	(15.8%)	1,083	(15.6%)
		非常にそうである	766	(4.3%)	1,015	(5.8%)	481	(6.9%)
		無回答	61	(0.3%)	75	(0.4%)	32	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-13	職場や仕事先に苦手な人がいる	全くそうではない	6,121	(34.5%)	5,568	(31.9%)	2,023	(29.2%)
		少しそうである	7,294	(41.1%)	7,101	(40.6%)	2,952	(42.5%)
		まあそうである	2,650	(14.9%)	2,865	(16.4%)	1,144	(16.5%)
		非常にそうである	1,594	(9.0%)	1,805	(10.3%)	756	(10.9%)
		無回答	103	(0.6%)	136	(0.8%)	64	(0.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q19-14	職場の人たちは、自分の仕事がスムーズにいくように配慮してくれる	全くそうではない	974	(5.5%)	1,118	(6.4%)	565	(8.1%)
		少しそうである	5,272	(29.7%)	5,556	(31.8%)	2,465	(35.5%)
		まあそうである	8,431	(47.5%)	8,180	(46.8%)	3,080	(44.4%)
		非常にそうである	3,027	(17.0%)	2,556	(14.6%)	808	(11.6%)
		無回答	58	(0.3%)	65	(0.4%)	21	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-15	職場の人たちと気軽に話ができる	全くそうではない	603	(3.4%)	637	(3.6%)	296	(4.3%)
		少しそうである	2,992	(16.8%)	3,164	(18.1%)	1,604	(23.1%)
		まあそうである	8,917	(50.2%)	8,714	(49.9%)	3,479	(50.1%)
		非常にそうである	5,173	(29.1%)	4,880	(27.9%)	1,525	(22.0%)
		無回答	77	(0.4%)	80	(0.5%)	35	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-16	仕事で困難なことが起きた場合、職場の人たちの援助・助言が得られる	全くそうではない	535	(3.0%)	582	(3.3%)	303	(4.4%)
		少しそうである	3,255	(18.3%)	3,579	(20.5%)	1,831	(26.4%)
		まあそうである	8,796	(49.5%)	8,757	(50.1%)	3,467	(50.0%)
		非常にそうである	5,076	(28.6%)	4,444	(25.4%)	1,303	(18.8%)
		無回答	100	(0.6%)	113	(0.6%)	35	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-17	職場の人たちは、自分の個人的な問題にも相談にのってくれる	全くそうではない	1,687	(9.5%)	2,128	(12.2%)	1,043	(15.0%)
		少しそうである	5,933	(33.4%)	6,137	(35.1%)	2,730	(39.3%)
		まあそうである	7,035	(39.6%)	6,603	(37.8%)	2,421	(34.9%)
		非常にそうである	3,045	(17.1%)	2,503	(14.3%)	717	(10.3%)
		無回答	62	(0.3%)	104	(0.6%)	28	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-18	やりがい、誇りをもてる仕事をしている	全くそうではない	669	(3.8%)	730	(4.2%)	381	(5.5%)
		少しそうである	3,193	(18.0%)	3,272	(18.7%)	1,563	(22.5%)
		まあそうである	8,633	(48.6%)	8,196	(46.9%)	3,265	(47.1%)
		非常にそうである	5,204	(29.3%)	5,181	(29.6%)	1,703	(24.5%)
		無回答	63	(0.4%)	96	(0.5%)	27	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-19	自分の能力が発揮できる仕事である	全くそうではない	629	(3.5%)	626	(3.6%)	319	(4.6%)
		少しそうである	4,654	(26.2%)	4,514	(25.8%)	1,987	(28.6%)
		まあそうである	9,315	(52.4%)	9,110	(52.1%)	3,401	(49.0%)
		非常にそうである	3,081	(17.3%)	3,129	(17.9%)	1,198	(17.3%)
		無回答	83	(0.5%)	96	(0.5%)	34	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q19-20	達成感や満足感を得られる仕事をしている	全くそうではない	811	(4.6%)	860	(4.9%)	465	(6.7%)
		少しそうである	4,416	(24.9%)	4,413	(25.3%)	2,005	(28.9%)
		まあそうである	8,932	(50.3%)	8,383	(48.0%)	3,170	(45.7%)
		非常にそうである	3,489	(19.6%)	3,664	(21.0%)	1,235	(17.8%)
		無回答	114	(0.6%)	155	(0.9%)	64	(0.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-1	あなたは、自分の周りで起こっていることがどうでもいい、という気持ちになることがありますか （感じ方をよく表している番号を選択。最小の数字は1、最大の数字は7。以下Q20-13まで同様）	1（まったくない）	2,306	(13.0%)	2,204	(12.6%)	865	(12.5%)
		2	4,254	(24.0%)	3,908	(22.4%)	1,539	(22.2%)
		3	2,928	(16.5%)	2,706	(15.5%)	1,006	(14.5%)
		4	3,404	(19.2%)	3,375	(19.3%)	1,392	(20.1%)
		5	2,789	(15.7%)	2,866	(16.4%)	1,080	(15.6%)
		6	1,377	(7.8%)	1,530	(8.8%)	626	(9.0%)
		7（とてもよくある）	672	(3.8%)	843	(4.8%)	419	(6.0%)
		無回答	32	(0.2%)	43	(0.2%)	12	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-2	あなたは、これまでに、よく知っていると思っていた人の、思わぬ行動に驚かされたことがありますか	1（まったくなかった）	924	(5.2%)	1,023	(5.9%)	491	(7.1%)
		2	3,824	(21.5%)	3,839	(22.0%)	1,529	(22.0%)
		3	3,506	(19.7%)	3,402	(19.5%)	1,309	(18.9%)
		4	4,468	(25.2%)	4,295	(24.6%)	1,726	(24.9%)
		5	3,484	(19.6%)	3,321	(19.0%)	1,217	(17.5%)
		6	1,242	(7.0%)	1,212	(6.9%)	503	(7.2%)
		7（いつもそうだった）	281	(1.6%)	338	(1.9%)	152	(2.2%)
		無回答	33	(0.2%)	45	(0.3%)	12	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-3	あなたは、あてにしていた人にがっかりさせられたことがありますか	1（まったくなかった）	1,078	(6.1%)	1,058	(6.1%)	460	(6.6%)
		2	4,050	(22.8%)	3,814	(21.8%)	1,410	(20.3%)
		3	3,420	(19.3%)	3,131	(17.9%)	1,135	(16.4%)
		4	3,926	(22.1%)	3,927	(22.5%)	1,613	(23.2%)
		5	3,463	(19.5%)	3,465	(19.8%)	1,404	(20.2%)
		6	1,484	(8.4%)	1,638	(9.4%)	723	(10.4%)
		7（いつもそうだった）	288	(1.6%)	391	(2.2%)	180	(2.6%)
		無回答	53	(0.3%)	51	(0.3%)	14	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-4	今まで、あなたの人生には	1（明確な目標や目的はまったくなかった）	250	(1.4%)	291	(1.7%)	134	(1.9%)
		2	839	(4.7%)	822	(4.7%)	332	(4.8%)
		3	1,602	(9.0%)	1,423	(8.1%)	583	(8.4%)
		4	3,687	(20.8%)	3,531	(20.2%)	1,504	(21.7%)
		5	5,018	(28.3%)	4,655	(26.6%)	1,793	(25.8%)
		6	4,397	(24.8%)	4,465	(25.6%)	1,676	(24.2%)
		7（とても明確な目標や目的があった）	1,917	(10.8%)	2,210	(12.6%)	899	(13.0%)
		無回答	52	(0.3%)	78	(0.4%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-5	あなたは、不当な扱いを受けているという気持ちになることがありますか	1（とてもよくある）	765	(4.3%)	901	(5.2%)	389	(5.6%)
		2	1,825	(10.3%)	1,962	(11.2%)	815	(11.7%)
		3	2,804	(15.8%)	2,938	(16.8%)	1,117	(16.1%)
		4	3,256	(18.3%)	3,312	(19.0%)	1,294	(18.6%)
		5	2,529	(14.2%)	2,381	(13.6%)	888	(12.8%)
		6	4,326	(24.4%)	3,883	(22.2%)	1,559	(22.5%)
		7（まったくない）	2,186	(12.3%)	1,999	(11.4%)	837	(12.1%)
		無回答	71	(0.4%)	99	(0.6%)	40	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q20-6	あなたは、不慣れな状況にいると感じ、どうすればよいかわからない、と感じることがありますか	1（とてもよくある）	1,068	(6.0%)	986	(5.6%)	339	(4.9%)
		2	2,295	(12.9%)	2,140	(12.2%)	837	(12.1%)
		3	3,500	(19.7%)	3,328	(19.0%)	1,286	(18.5%)
		4	3,511	(19.8%)	3,479	(19.9%)	1,464	(21.1%)
		5	2,817	(15.9%)	2,846	(16.3%)	1,032	(14.9%)
		6	3,459	(19.5%)	3,448	(19.7%)	1,431	(20.6%)
		7（まったくない）	1,043	(5.9%)	1,169	(6.7%)	526	(7.6%)
		無回答	69	(0.4%)	79	(0.5%)	24	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-7	あなたが毎日していることは	1（喜びと満足を与えてくれる）	1,219	(6.9%)	1,175	(6.7%)	476	(6.9%)
		2	3,982	(22.4%)	3,727	(21.3%)	1,384	(19.9%)
		3	4,810	(27.1%)	4,523	(25.9%)	1,708	(24.6%)
		4	4,819	(27.1%)	4,922	(28.2%)	1,981	(28.5%)
		5	1,728	(9.7%)	1,844	(10.6%)	785	(11.3%)
		6	889	(5.0%)	866	(5.0%)	425	(6.1%)
		7（つらく退屈である）	245	(1.4%)	309	(1.8%)	147	(2.1%)
		無回答	70	(0.4%)	109	(0.6%)	33	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-8	あなたは、気持ちや考えが非常に混乱することがありますか	1（とてもよくある）	670	(3.8%)	627	(3.6%)	241	(3.5%)
		2	1,584	(8.9%)	1,499	(8.6%)	469	(6.8%)
		3	3,113	(17.5%)	2,822	(16.1%)	1,057	(15.2%)
		4	3,537	(19.9%)	3,384	(19.4%)	1,402	(20.2%)
		5	2,783	(15.7%)	2,670	(15.3%)	995	(14.3%)
		6	4,591	(25.8%)	4,636	(26.5%)	1,944	(28.0%)
		7（まったくない）	1,381	(7.8%)	1,704	(9.8%)	784	(11.3%)
		無回答	103	(0.6%)	133	(0.8%)	47	(0.7%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-9	あなたは、本当なら感じたくないような感情を抱いてしまうことがありますか	1（とてもよくある）	1,163	(6.5%)	1,142	(6.5%)	472	(6.8%)
		2	2,338	(13.2%)	2,196	(12.6%)	808	(11.6%)
		3	3,827	(21.5%)	3,740	(21.4%)	1,372	(19.8%)
		4	3,387	(19.1%)	3,383	(19.4%)	1,337	(19.3%)
		5	2,105	(11.9%)	2,049	(11.7%)	805	(11.6%)
		6	3,581	(20.2%)	3,507	(20.1%)	1,473	(21.2%)
		7（まったくない）	1,292	(7.3%)	1,370	(7.8%)	634	(9.1%)
		無回答	69	(0.4%)	88	(0.5%)	38	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-10	どんなに強い人でさえ、ときには「自分はダメな人間だ」と感じることがあるものです あなたは、これまで、「自分はダメな人間だ」と感じたことがありますか	1（まったくなかった）	544	(3.1%)	704	(4.0%)	336	(4.8%)
		2	2,044	(11.5%)	2,109	(12.1%)	949	(13.7%)
		3	1,733	(9.8%)	1,771	(10.1%)	717	(10.3%)
		4	2,680	(15.1%)	2,711	(15.5%)	1,203	(17.3%)
		5	3,800	(21.4%)	3,647	(20.9%)	1,359	(19.6%)
		6	4,113	(23.2%)	3,804	(21.8%)	1,427	(20.6%)
		7（よくあった）	2,806	(15.8%)	2,679	(15.3%)	933	(13.4%)
		無回答	42	(0.2%)	50	(0.3%)	15	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-11	何かが起きたとき、ふつう、あなたは	1（そのことを過大に評価したり、過小に評価してきた）	332	(1.9%)	338	(1.9%)	132	(1.9%)
		2	1,273	(7.2%)	1,089	(6.2%)	437	(6.3%)
		3	2,776	(15.6%)	2,530	(14.5%)	920	(13.3%)
		4	6,123	(34.5%)	5,995	(34.3%)	2,325	(33.5%)
		5	3,733	(21.0%)	3,648	(20.9%)	1,361	(19.6%)
		6	2,767	(15.6%)	2,960	(16.9%)	1,315	(19.0%)
		7（適切な見方をしてきた）	657	(3.7%)	805	(4.6%)	404	(5.8%)
		無回答	101	(0.6%)	110	(0.6%)	45	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-12	あなたは、日々の生活で行なっていることにほとんど意味がないと感じることがありますか	1（とてもよくある）	333	(1.9%)	428	(2.4%)	216	(3.1%)
		2	781	(4.4%)	899	(5.1%)	405	(5.8%)
		3	1,933	(10.9%)	2,081	(11.9%)	867	(12.5%)
		4	3,124	(17.6%)	3,142	(18.0%)	1,383	(19.9%)
		5	3,050	(17.2%)	2,928	(16.8%)	1,040	(15.0%)
		6	5,459	(30.7%)	5,114	(29.3%)	1,913	(27.6%)
		7（まったくない）	3,016	(17.0%)	2,814	(16.1%)	1,089	(15.7%)
		無回答	66	(0.4%)	69	(0.4%)	26	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q20-13	あなたは、自制心を保つ自信がなくなることがありますか	1（とてもよくある）	319	(1.8%)	355	(2.0%)	122	(1.8%)
		2	861	(4.8%)	804	(4.6%)	285	(4.1%)
		3	2,309	(13.0%)	2,069	(11.8%)	721	(10.4%)
		4	3,210	(18.1%)	3,020	(17.3%)	1,253	(18.1%)
		5	2,804	(15.8%)	2,689	(15.4%)	1,006	(14.5%)
		6	5,817	(32.7%)	5,773	(33.0%)	2,405	(34.7%)
		7（まったくない）	2,387	(13.4%)	2,696	(15.4%)	1,129	(16.3%)
		無回答	55	(0.3%)	69	(0.4%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q21-1	神経過敏に感じましたか	全くない	7,047	(39.7%)	7,539	(43.1%)	2,913	(42.0%)
		少しだけ	5,465	(30.8%)	4,978	(28.5%)	2,111	(30.4%)
		ときどき	3,548	(20.0%)	3,238	(18.5%)	1,285	(18.5%)
		たいてい	1,205	(6.8%)	1,133	(6.5%)	428	(6.2%)
		いつも	453	(2.6%)	515	(2.9%)	180	(2.6%)
		無回答	44	(0.2%)	72	(0.4%)	22	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q21-2	絶望的だと感じましたか	全くない	10,299	(58.0%)	10,119	(57.9%)	4,129	(59.5%)
		少しだけ	3,966	(22.3%)	3,799	(21.7%)	1,464	(21.1%)
		ときどき	2,378	(13.4%)	2,309	(13.2%)	872	(12.6%)
		たいてい	757	(4.3%)	822	(4.7%)	305	(4.4%)
		いつも	289	(1.6%)	320	(1.8%)	133	(1.9%)
		無回答	73	(0.4%)	106	(0.6%)	36	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q21-3	そわそわ落ち着かなく感じましたか	全くない	5,826	(32.8%)	6,012	(34.4%)	2,558	(36.9%)
		少しだけ	6,253	(35.2%)	6,009	(34.4%)	2,369	(34.1%)
		ときどき	3,862	(21.7%)	3,535	(20.2%)	1,330	(19.2%)
		たいてい	1,288	(7.3%)	1,321	(7.6%)	459	(6.6%)
		いつも	419	(2.4%)	461	(2.6%)	170	(2.4%)
		無回答	114	(0.6%)	137	(0.8%)	53	(0.8%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q21-4	気分が沈みこんで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	全くない	5,726	(32.2%)	5,791	(33.1%)	2,427	(35.0%)
		少しだけ	6,003	(33.8%)	5,707	(32.7%)	2,262	(32.6%)
		ときどき	3,870	(21.8%)	3,716	(21.3%)	1,427	(20.6%)
		たいてい	1,534	(8.6%)	1,577	(9.0%)	544	(7.8%)
		いつも	527	(3.0%)	565	(3.2%)	237	(3.4%)
		無回答	102	(0.6%)	119	(0.7%)	42	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q21-5	何をするのも骨折りだと感じましたか	全くない	6,245	(35.2%)	5,984	(34.2%)	2,387	(34.4%)
		少しだけ	5,795	(32.6%)	5,627	(32.2%)	2,257	(32.5%)
		ときどき	3,665	(20.6%)	3,638	(20.8%)	1,385	(20.0%)
		たいてい	1,441	(8.1%)	1,548	(8.9%)	603	(8.7%)
		いつも	483	(2.7%)	525	(3.0%)	243	(3.5%)
		無回答	133	(0.7%)	153	(0.9%)	64	(0.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q21-6	自分は価値のない人間だと感じましたか	全くない	9,809	(55.2%)	9,698	(55.5%)	3,908	(56.3%)
		少しだけ	4,315	(24.3%)	4,025	(23.0%)	1,576	(22.7%)
		ときどき	2,285	(12.9%)	2,303	(13.2%)	902	(13.0%)
		たいてい	801	(4.5%)	808	(4.6%)	338	(4.9%)
		いつも	417	(2.3%)	481	(2.8%)	168	(2.4%)
		無回答	135	(0.8%)	160	(0.9%)	47	(0.7%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-A	寝つき（布団に入ってから眠るまで要する時間）	いつも寝つきはよい	10,523	(59.2%)	10,901	(62.4%)	4,362	(62.9%)
		いつもより少し時間がかかった	5,461	(30.7%)	4,924	(28.2%)	1,906	(27.5%)
		いつもよりかなり時間がかかった	1,370	(7.7%)	1,269	(7.3%)	515	(7.4%)
		いつもより非常に時間がかかったか、全く眠れなかった	382	(2.2%)	336	(1.9%)	143	(2.1%)
		無回答	26	(0.1%)	45	(0.3%)	13	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-B	夜間、睡眠途中に目が覚める	問題になるほどではなかった	10,752	(60.5%)	10,789	(61.7%)	4,226	(60.9%)
		少し困ることがあった	5,532	(31.1%)	5,275	(30.2%)	2,108	(30.4%)
		かなり困っている	1,307	(7.4%)	1,237	(7.1%)	537	(7.7%)
		深刻な状態か、全く眠れなかった	140	(0.8%)	125	(0.7%)	50	(0.7%)
		無回答	31	(0.2%)	49	(0.3%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-C	希望する起床時間より早く目覚め、それ以上眠れない	そのようなことはなかった	9,709	(54.7%)	9,611	(55.0%)	3,614	(52.1%)
		少し早かった	6,131	(34.5%)	5,974	(34.2%)	2,521	(36.3%)
		かなり早かった	1,591	(9.0%)	1,529	(8.7%)	675	(9.7%)
		非常に早かったか、全く眠れなかった	293	(1.6%)	302	(1.7%)	106	(1.5%)
		無回答	38	(0.2%)	59	(0.3%)	23	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-D	総睡眠時間	十分である	4,002	(22.5%)	3,807	(21.8%)	1,757	(25.3%)
		少し足りない	9,313	(52.4%)	8,985	(51.4%)	3,581	(51.6%)
		かなり足りない	3,886	(21.9%)	4,008	(22.9%)	1,369	(19.7%)
		全く足りないか、全く眠れなかった	523	(2.9%)	627	(3.6%)	214	(3.1%)
		無回答	38	(0.2%)	48	(0.3%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-E	全体的な睡眠の質	満足している	4,156	(23.4%)	4,214	(24.1%)	1,854	(26.7%)
		少し不満	9,289	(52.3%)	8,917	(51.0%)	3,512	(50.6%)
		かなり不満	3,738	(21.0%)	3,740	(21.4%)	1,374	(19.8%)
		非常に不満か、全く眠れなかった	535	(3.0%)	554	(3.2%)	185	(2.7%)
		無回答	44	(0.2%)	50	(0.3%)	14	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-F	日中の気分	いつも通り	10,438	(58.8%)	10,186	(58.3%)	4,216	(60.8%)
		少しめいった	5,759	(32.4%)	5,651	(32.3%)	2,115	(30.5%)
		かなりめいった	1,242	(7.0%)	1,264	(7.2%)	485	(7.0%)
		非常にめいった	271	(1.5%)	304	(1.7%)	105	(1.5%)
		無回答	52	(0.3%)	70	(0.4%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-G	日中の活動について（身体的及び精神的）	いつも通り	9,744	(54.9%)	9,595	(54.9%)	3,989	(57.5%)
		少し低下	6,114	(34.4%)	5,862	(33.5%)	2,184	(31.5%)
		かなり低下	1,516	(8.5%)	1,584	(9.1%)	596	(8.6%)
		非常に低下	344	(1.9%)	375	(2.1%)	151	(2.2%)
		無回答	44	(0.2%)	59	(0.3%)	19	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q22-H	日中の眠気	全くない	4,150	(23.4%)	3,370	(19.3%)	1,487	(21.4%)
		少しある	11,041	(62.2%)	10,932	(62.6%)	4,348	(62.7%)
		かなりある	2,227	(12.5%)	2,670	(15.3%)	951	(13.7%)
		激しい	312	(1.8%)	445	(2.5%)	134	(1.9%)
		無回答	32	(0.2%)	58	(0.3%)	19	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q23	あなたは、どのくらいの頻度で、現在の仕事を辞めようと真剣に考えたことがありますか	全くない	2,974	(16.7%)	3,438	(19.7%)	1,658	(23.9%)
		ほとんどない	1,521	(8.6%)	1,352	(7.7%)	448	(6.5%)
		ときどきある	5,478	(30.8%)	5,517	(31.6%)	2,253	(32.5%)
		やや頻繁にある	1,245	(7.0%)	1,151	(6.6%)	407	(5.9%)
		かなり頻繁にある	5,662	(31.9%)	5,191	(29.7%)	1,894	(27.3%)
		非常に頻繁にある	854	(4.8%)	786	(4.5%)	266	(3.8%)
		無回答	28	(0.2%)	40	(0.2%)	13	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q24-1	仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	全くない	811	(4.6%)	1,005	(5.8%)	483	(7.0%)
		ほとんど感じない／1 年に数回	1,526	(8.6%)	1,710	(9.8%)	719	(10.4%)
		めったに感じない／1 ヶ月に1回以下	2,687	(15.1%)	2,695	(15.4%)	1,150	(16.6%)
		時々感じる／1ヶ月に数回	5,337	(30.0%)	5,217	(29.9%)	1,976	(28.5%)
		よく感じる／1週間に1回	3,244	(18.3%)	2,946	(16.9%)	1,066	(15.4%)
		とてもよく感じる／1週間に数回	3,108	(17.5%)	2,916	(16.7%)	1,169	(16.8%)
		いつも感じる／毎日	1,001	(5.6%)	931	(5.3%)	361	(5.2%)
		無回答	48	(0.3%)	55	(0.3%)	15	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q24-2	仕事に熱心である	全くない	300	(1.7%)	363	(2.1%)	155	(2.2%)
		ほとんど感じない／1 年に数回	601	(3.4%)	708	(4.1%)	291	(4.2%)
		めったに感じない／1 ヶ月に1回以下	1,492	(8.4%)	1,459	(8.3%)	634	(9.1%)
		時々感じる／1ヶ月に数回	4,742	(26.7%)	4,558	(26.1%)	1,745	(25.1%)
		よく感じる／1週間に1回	4,149	(23.4%)	4,080	(23.3%)	1,500	(21.6%)
		とてもよく感じる／1週間に数回	4,338	(24.4%)	4,205	(24.1%)	1,716	(24.7%)
		いつも感じる／毎日	2,055	(11.6%)	1,998	(11.4%)	865	(12.5%)
		無回答	85	(0.5%)	104	(0.6%)	33	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q24-3	私は仕事にのめり込んでいる	全くない	901	(5.1%)	983	(5.6%)	415	(6.0%)
		ほとんど感じない／1 年に数回	1,372	(7.7%)	1,361	(7.8%)	625	(9.0%)
		めったに感じない／1 ヶ月に1回以下	2,744	(15.4%)	2,584	(14.8%)	1,108	(16.0%)
		時々感じる／1ヶ月に数回	4,878	(27.5%)	4,808	(27.5%)	1,771	(25.5%)
		よく感じる／1週間に1回	3,483	(19.6%)	3,399	(19.5%)	1,283	(18.5%)
		とてもよく感じる／1週間に数回	3,130	(17.6%)	2,990	(17.1%)	1,195	(17.2%)
		いつも感じる／毎日	1,158	(6.5%)	1,203	(6.9%)	496	(7.1%)
		無回答	96	(0.5%)	147	(0.8%)	46	(0.7%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-1	生活（様々な面から総合的に判断して）	0. 全く満足していない	345	(1.9%)	480	(2.7%)	185	(2.7%)
		1	390	(2.2%)	448	(2.6%)	152	(2.2%)
		2	792	(4.5%)	1,000	(5.7%)	317	(4.6%)
		3	1,289	(7.3%)	1,370	(7.8%)	467	(6.7%)
		4	976	(5.5%)	1,114	(6.4%)	381	(5.5%)
		5	2,439	(13.7%)	2,358	(13.5%)	984	(14.2%)
		6	1,825	(10.3%)	1,835	(10.5%)	730	(10.5%)
		7	3,005	(16.9%)	2,807	(16.1%)	1,142	(16.5%)
		8	3,854	(21.7%)	3,385	(19.4%)	1,382	(19.9%)
		9	1,860	(10.5%)	1,701	(9.7%)	743	(10.7%)
		10. 非常に満足している	950	(5.3%)	928	(5.3%)	444	(6.4%)
		無回答	37	(0.2%)	49	(0.3%)	12	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-2	仕事（様々な面から総合的に判断して）	0. 全く満足していない	475	(2.7%)	526	(3.0%)	212	(3.1%)
		1	528	(3.0%)	532	(3.0%)	219	(3.2%)
		2	1,042	(5.9%)	1,083	(6.2%)	393	(5.7%)
		3	1,572	(8.9%)	1,577	(9.0%)	577	(8.3%)
		4	1,384	(7.8%)	1,384	(7.9%)	512	(7.4%)
		5	2,881	(16.2%)	2,734	(15.6%)	1,101	(15.9%)
		6	2,257	(12.7%)	2,190	(12.5%)	844	(12.2%)
		7	2,933	(16.5%)	2,885	(16.5%)	1,120	(16.1%)
		8	2,907	(16.4%)	2,766	(15.8%)	1,122	(16.2%)
		9	1,232	(6.9%)	1,201	(6.9%)	551	(7.9%)
		10. 非常に満足している	523	(2.9%)	555	(3.2%)	272	(3.9%)
		無回答	28	(0.2%)	42	(0.2%)	16	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-3	雇用の安定性	0. 全く満足していない	392	(2.2%)	513	(2.9%)	173	(2.5%)
		1	280	(1.6%)	249	(1.4%)	104	(1.5%)
		2	401	(2.3%)	434	(2.5%)	146	(2.1%)
		3	534	(3.0%)	596	(3.4%)	192	(2.8%)
		4	549	(3.1%)	496	(2.8%)	185	(2.7%)
		5	1,688	(9.5%)	1,738	(9.9%)	644	(9.3%)
		6	1,167	(6.6%)	1,145	(6.6%)	380	(5.5%)
		7	1,982	(11.2%)	2,009	(11.5%)	739	(10.6%)
		8	3,618	(20.4%)	3,398	(19.4%)	1,316	(19.0%)
		9	3,107	(17.5%)	2,994	(17.1%)	1,183	(17.0%)
		10. 非常に満足している	4,000	(22.5%)	3,838	(22.0%)	1,856	(26.7%)
		無回答	44	(0.2%)	65	(0.4%)	21	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-4	給料以外の待遇や処遇（福利厚生など）	0. 全く満足していない	747	(4.2%)	928	(5.3%)	339	(4.9%)
		1	541	(3.0%)	563	(3.2%)	213	(3.1%)
		2	997	(5.6%)	1,016	(5.8%)	404	(5.8%)
		3	1,191	(6.7%)	1,358	(7.8%)	494	(7.1%)
		4	966	(5.4%)	1,133	(6.5%)	376	(5.4%)
		5	2,493	(14.0%)	2,558	(14.6%)	1,010	(14.6%)
		6	1,714	(9.6%)	1,602	(9.2%)	621	(8.9%)
		7	2,377	(13.4%)	2,268	(13.0%)	859	(12.4%)
		8	3,351	(18.9%)	2,964	(17.0%)	1,170	(16.9%)
		9	1,919	(10.8%)	1,786	(10.2%)	787	(11.3%)
		10. 非常に満足している	1,416	(8.0%)	1,224	(7.0%)	644	(9.3%)
		無回答	50	(0.3%)	75	(0.4%)	22	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-5	仕事と仕事以外の生活とのバランス	0. 全く満足していない	1,864	(10.5%)	2,361	(13.5%)	665	(9.6%)
		1	1,248	(7.0%)	1,362	(7.8%)	445	(6.4%)
		2	1,940	(10.9%)	2,074	(11.9%)	660	(9.5%)
		3	2,311	(13.0%)	2,252	(12.9%)	859	(12.4%)
		4	1,519	(8.6%)	1,502	(8.6%)	581	(8.4%)
		5	2,467	(13.9%)	2,297	(13.1%)	1,001	(14.4%)
		6	1,619	(9.1%)	1,434	(8.2%)	551	(7.9%)
		7	1,713	(9.6%)	1,513	(8.7%)	747	(10.8%)
		8	1,778	(10.0%)	1,486	(8.5%)	745	(10.7%)
		9	757	(4.3%)	680	(3.9%)	397	(5.7%)
		10. 非常に満足している	501	(2.8%)	450	(2.6%)	270	(3.9%)
		無回答	45	(0.3%)	64	(0.4%)	18	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q25-6	教師としての仕事そのもの	0. 全く満足していない	495	(2.8%)	493	(2.8%)	172	(2.5%)
		1	436	(2.5%)	396	(2.3%)	185	(2.7%)
		2	858	(4.8%)	777	(4.4%)	265	(3.8%)
		3	1,200	(6.8%)	1,125	(6.4%)	430	(6.2%)
		4	1,104	(6.2%)	1,008	(5.8%)	362	(5.2%)
		5	2,513	(14.1%)	2,309	(13.2%)	1,006	(14.5%)
		6	1,912	(10.8%)	1,866	(10.7%)	654	(9.4%)
		7	2,820	(15.9%)	2,629	(15.0%)	1,035	(14.9%)
		8	3,207	(18.1%)	3,374	(19.3%)	1,261	(18.2%)
		9	1,857	(10.5%)	1,961	(11.2%)	862	(12.4%)
		10. 非常に満足している	1,315	(7.4%)	1,478	(8.5%)	684	(9.9%)
		無回答	45	(0.3%)	59	(0.3%)	23	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q26	あなたは、現在の年収についてあなたが暮らす地域の他の職と比較して、どう感じていますか	満足している	1,822	(10.3%)	1,723	(9.9%)	823	(11.9%)
		どちらかといえば満足している	5,610	(31.6%)	5,378	(30.8%)	2,248	(32.4%)
		どちらともいえない	5,131	(28.9%)	4,985	(28.5%)	1,883	(27.1%)
		どちらかといえば不満	3,215	(18.1%)	3,224	(18.4%)	1,211	(17.5%)
		不満	1,952	(11.0%)	2,114	(12.1%)	754	(10.9%)
		無回答	32	(0.2%)	51	(0.3%)	20	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q27	コロナ禍において、医療従事者が本来提供するべき医療が提供出来ないのではないかとのモラル・ジレンマ（道徳的葛藤）を抱えることが報告されています。あなたもコロナ禍以降、本来提供すべき教育が提供出来ないのではないかとのモラル・ジレンマを感じたことはありましたか	いつもあった	3,894	(21.9%)	2,990	(17.1%)	1,002	(14.4%)
		ときどきあった	10,699	(60.2%)	10,270	(58.8%)	4,043	(58.3%)
		ほとんどなかった	2,409	(13.6%)	3,087	(17.7%)	1,415	(20.4%)
		全くなかった	726	(4.1%)	1,075	(6.2%)	466	(6.7%)
		無回答	34	(0.2%)	53	(0.3%)	13	(0.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-1	活発で、外向的だと思う	全く違うと思う	879	(4.9%)	979	(5.6%)	441	(6.4%)
		おおよそ違うと思う	2,235	(12.6%)	2,374	(13.6%)	987	(14.2%)
		少し違うと思う	3,013	(17.0%)	2,977	(17.0%)	1,167	(16.8%)
		どちらでもない	3,223	(18.1%)	3,274	(18.7%)	1,388	(20.0%)
		少しそう思う	3,606	(20.3%)	3,341	(19.1%)	1,241	(17.9%)
		まあまあそう思う	4,077	(23.0%)	3,737	(21.4%)	1,422	(20.5%)
		強くそう思う	641	(3.6%)	672	(3.8%)	256	(3.7%)
		無回答	88	(0.5%)	121	(0.7%)	37	(0.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-2	他人に不満を持ち、もめごとを起こしやすいと思う	全く違うと思う	3,404	(19.2%)	3,140	(18.0%)	1,440	(20.8%)
		おおよそ違うと思う	7,158	(40.3%)	6,500	(37.2%)	2,617	(37.7%)
		少し違うと思う	2,655	(14.9%)	2,670	(15.3%)	950	(13.7%)
		どちらでもない	2,704	(15.2%)	2,845	(16.3%)	1,138	(16.4%)
		少しそう思う	1,352	(7.6%)	1,644	(9.4%)	571	(8.2%)
		まあまあそう思う	326	(1.8%)	443	(2.5%)	143	(2.1%)
		強くそう思う	85	(0.5%)	143	(0.8%)	50	(0.7%)
		無回答	78	(0.4%)	90	(0.5%)	30	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-3	しっかりしていて、自分に厳しいと思う	全く違うと思う	777	(4.4%)	807	(4.6%)	228	(3.3%)
		おおよそ違うと思う	2,149	(12.1%)	1,931	(11.1%)	635	(9.2%)
		少し違うと思う	3,693	(20.8%)	3,490	(20.0%)	1,147	(16.5%)
		どちらでもない	4,831	(27.2%)	4,685	(26.8%)	1,995	(28.8%)
		少しそう思う	3,939	(22.2%)	3,999	(22.9%)	1,666	(24.0%)
		まあまあそう思う	1,950	(11.0%)	2,045	(11.7%)	1,007	(14.5%)
		強くそう思う	350	(2.0%)	421	(2.4%)	218	(3.1%)
		無回答	73	(0.4%)	97	(0.6%)	43	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-4	心配性で、うろたえやすいと思う	全く違うと思う	920	(5.2%)	1,081	(6.2%)	474	(6.8%)
		おおよそ違うと思う	2,516	(14.2%)	2,623	(15.0%)	1,046	(15.1%)
		3. 少し違うと思う	2,340	(13.2%)	2,393	(13.7%)	928	(13.4%)
		どちらでもない	2,763	(15.6%)	2,994	(17.1%)	1,211	(17.5%)
		少しそう思う	5,068	(28.5%)	4,717	(27.0%)	1,921	(27.7%)
		まあまあそう思う	2,827	(15.9%)	2,448	(14.0%)	922	(13.3%)
		強くそう思う	1,204	(6.8%)	1,066	(6.1%)	380	(5.5%)
		無回答	124	(0.7%)	153	(0.9%)	57	(0.8%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-5	新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う	全く違うと思う	848	(4.8%)	779	(4.5%)	302	(4.4%)
		おおよそ違うと思う	2,479	(14.0%)	2,183	(12.5%)	866	(12.5%)
		少し違うと思う	2,849	(16.0%)	2,546	(14.6%)	988	(14.2%)
		どちらでもない	4,119	(23.2%)	4,218	(24.1%)	1,674	(24.1%)
		少しそう思う	4,174	(23.5%)	4,073	(23.3%)	1,653	(23.8%)
		まあまあそう思う	2,372	(13.4%)	2,562	(14.7%)	1,014	(14.6%)
		強くそう思う	834	(4.7%)	1,005	(5.8%)	412	(5.9%)
		無回答	87	(0.5%)	109	(0.6%)	30	(0.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-6	ひかえめで、おとなしいと思う	全く違うと思う	1,694	(9.5%)	1,703	(9.7%)	533	(7.7%)
		おおよそ違うと思う	2,906	(16.4%)	2,792	(16.0%)	931	(13.4%)
		少し違うと思う	3,294	(18.5%)	3,202	(18.3%)	1,249	(18.0%)
		どちらでもない	4,003	(22.5%)	3,950	(22.6%)	1,624	(23.4%)
		少しそう思う	3,403	(19.2%)	3,287	(18.8%)	1,485	(21.4%)
		まあまあそう思う	1,862	(10.5%)	1,917	(11.0%)	845	(12.2%)
		強くそう思う	529	(3.0%)	532	(3.0%)	232	(3.3%)
		無回答	71	(0.4%)	92	(0.5%)	40	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-7	人に気をつかう、やさしい人間だと思う	全く違うと思う	212	(1.2%)	241	(1.4%)	83	(1.2%)
		おおよそ違うと思う	620	(3.5%)	626	(3.6%)	178	(2.6%)
		少し違うと思う	1,298	(7.3%)	1,354	(7.7%)	437	(6.3%)
		どちらでもない	4,059	(22.9%)	3,863	(22.1%)	1,490	(21.5%)
		少しそう思う	6,507	(36.6%)	6,201	(35.5%)	2,405	(34.7%)
		まあまあそう思う	4,012	(22.6%)	4,055	(23.2%)	1,820	(26.2%)
		強くそう思う	967	(5.4%)	1,045	(6.0%)	485	(7.0%)
		無回答	87	(0.5%)	90	(0.5%)	41	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-8	だらしなく、うっかりしていると思う	全く違うと思う	740	(4.2%)	900	(5.2%)	513	(7.4%)
		おおよそ違うと思う	2,298	(12.9%)	2,624	(15.0%)	1,217	(17.5%)
		少し違うと思う	2,462	(13.9%)	2,561	(14.7%)	1,076	(15.5%)
		どちらでもない	3,202	(18.0%)	3,278	(18.8%)	1,417	(20.4%)
		少しそう思う	5,198	(29.3%)	4,683	(26.8%)	1,698	(24.5%)
		まあまあそう思う	2,596	(14.6%)	2,265	(13.0%)	717	(10.3%)
		強くそう思う	1,153	(6.5%)	1,041	(6.0%)	258	(3.7%)
		無回答	113	(0.6%)	123	(0.7%)	43	(0.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q28-9	冷静で、気分が安定していると思う	全く違うと思う	598	(3.4%)	544	(3.1%)	157	(2.3%)
		おおよそ違うと思う	1,666	(9.4%)	1,503	(8.6%)	418	(6.0%)
		少し違うと思う	3,236	(18.2%)	2,933	(16.8%)	943	(13.6%)
		どちらでもない	4,548	(25.6%)	4,382	(25.1%)	1,636	(23.6%)
		少しそう思う	4,393	(24.7%)	4,299	(24.6%)	1,873	(27.0%)
		まあまあそう思う	2,728	(15.4%)	3,029	(17.3%)	1,531	(22.1%)
		強くそう思う	438	(2.5%)	596	(3.4%)	315	(4.5%)
		無回答	155	(0.9%)	189	(1.1%)	66	(1.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q28-10	発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	全く違うと思う	595	(3.3%)	750	(4.3%)	370	(5.3%)
		おおよそ違うと思う	1,837	(10.3%)	2,012	(11.5%)	847	(12.2%)
		少し違うと思う	3,286	(18.5%)	3,233	(18.5%)	1,316	(19.0%)
		どちらでもない	4,581	(25.8%)	4,594	(26.3%)	1,805	(26.0%)
		少しそう思う	3,610	(20.3%)	3,377	(19.3%)	1,278	(18.4%)
		まあまあそう思う	2,582	(14.5%)	2,296	(13.1%)	874	(12.6%)
		強くそう思う	1,170	(6.6%)	1,103	(6.3%)	398	(5.7%)
		無回答	101	(0.6%)	110	(0.6%)	51	(0.7%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q29	あなたは1 ヶ月後に1 万円もらう代わりに、13 カ月後に最低いくらもらえれば満足できますか	9,500 円	35	(0.2%)	42	(0.2%)	28	(0.4%)
		10,000 円	2,725	(15.3%)	2,654	(15.2%)	1,076	(15.5%)
		10,200 円	561	(3.2%)	554	(3.2%)	275	(4.0%)
		10,400 円	792	(4.5%)	700	(4.0%)	315	(4.5%)
		10,600 円	858	(4.8%)	724	(4.1%)	362	(5.2%)
		11,000 円	3,833	(21.6%)	3,532	(20.2%)	1,563	(22.5%)
		12,000 円	2,422	(13.6%)	2,329	(13.3%)	947	(13.6%)
		14,000円	6,386	(36.0%)	6,781	(38.8%)	2,305	(33.2%)
		無回答	150	(0.8%)	159	(0.9%)	68	(1.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q30-1	あなたと見ず知らずの他人が、お金をもらえることになった。ただし、もらえる金額には2パターンある。このとき、どちらを選ぶか。	あなたも他人も1 万円	15,591	(87.8%)	15,102	(86.4%)	6,084	(87.7%)
		あなたは1 万円で、他人は6 千円	1,742	(9.8%)	1,858	(10.6%)	652	(9.4%)
		無回答	429	(2.4%)	515	(2.9%)	203	(2.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q30-2	どちらを選ぶか	あなたも他人も1 万円	14,330	(80.7%)	13,641	(78.1%)	5,524	(79.6%)
		あなたは1 万6 千円で、他人は4 千円	2,755	(15.5%)	3,078	(17.6%)	1,105	(15.9%)
		無回答	677	(3.8%)	756	(4.3%)	310	(4.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q30-3	どちらを選ぶか	あなたも他人も1 万円	15,395	(86.7%)	14,607	(83.6%)	5,722	(82.5%)
		あなたは1 万円で、他人は1 万8 千円	1,582	(8.9%)	2,010	(11.5%)	872	(12.6%)
		無回答	785	(4.4%)	858	(4.9%)	345	(5.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q30-4	どちらを選ぶか	あなたも他人も1 万円	14,607	(82.2%)	13,760	(78.7%)	5,399	(77.8%)
		あなたは1 万1 千円で、他人は1 万9 千円	2,316	(13.0%)	2,791	(16.0%)	1,178	(17.0%)
		無回答	839	(4.7%)	924	(5.3%)	362	(5.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q31-1	社会にとって意義のある行政サービスの提供に関わることは、あなたにとって大切ですか	全くあてはまらない	256	(1.4%)	327	(1.9%)	141	(2.0%)
		ほとんどあてはまらない	543	(3.1%)	625	(3.6%)	224	(3.2%)
		どちらかというとあてはまらない	972	(5.5%)	1,057	(6.0%)	358	(5.2%)
		どちらともいえない	4,800	(27.0%)	4,666	(26.7%)	1,757	(25.3%)
		どちらかというとあてはまる	7,003	(39.4%)	6,637	(38.0%)	2,677	(38.6%)
		かなりあてはまる	2,693	(15.2%)	2,720	(15.6%)	1,224	(17.6%)
		非常にあてはまる	1,428	(8.0%)	1,359	(7.8%)	535	(7.7%)
		無回答	67	(0.4%)	84	(0.5%)	23	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q31-2	日々の出来事の中で、私たちがいかにお互いに支え合っているかを意識することがありますか	全くあてはまらない	131	(0.7%)	158	(0.9%)	80	(1.2%)
		ほとんどあてはまらない	327	(1.8%)	352	(2.0%)	187	(2.7%)
		どちらかというとあてはまらない	772	(4.3%)	796	(4.6%)	355	(5.1%)
		どちらともいえない	2,411	(13.6%)	2,467	(14.1%)	1,150	(16.6%)
		どちらかというとあてはまる	7,386	(41.6%)	7,254	(41.5%)	2,895	(41.7%)
		かなりあてはまる	4,657	(26.2%)	4,506	(25.8%)	1,627	(23.4%)
		非常にあてはまる	1,937	(10.9%)	1,788	(10.2%)	588	(8.5%)
		無回答	141	(0.8%)	154	(0.9%)	57	(0.8%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q31-3	世の中をよくすることは、あなた自身の目標を達成することと比べて重要ですか	全くあてはまらない	264	(1.5%)	304	(1.7%)	134	(1.9%)
		ほとんどあてはまらない	571	(3.2%)	557	(3.2%)	186	(2.7%)
		どちらかというとあてはまらない	1,399	(7.9%)	1,356	(7.8%)	495	(7.1%)
		どちらともいえない	5,961	(33.6%)	5,712	(32.7%)	2,333	(33.6%)
		どちらかというとあてはまる	5,875	(33.1%)	5,732	(32.8%)	2,244	(32.3%)
		かなりあてはまる	2,438	(13.7%)	2,508	(14.4%)	1,025	(14.8%)
		非常にあてはまる	1,082	(6.1%)	1,106	(6.3%)	458	(6.6%)
		無回答	172	(1.0%)	200	(1.1%)	64	(0.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q31-4	世の中のためなら、あなた自身が大きな犠牲を払ってもよいと思いますか	全くあてはまらない	2,399	(13.5%)	2,179	(12.5%)	828	(11.9%)
		ほとんどあてはまらない	2,620	(14.8%)	2,421	(13.9%)	798	(11.5%)
		どちらかというとあてはまらない	3,930	(22.1%)	3,485	(19.9%)	1,394	(20.1%)
		どちらともいえない	6,202	(34.9%)	6,069	(34.7%)	2,520	(36.3%)
		どちらかというとあてはまる	1,964	(11.1%)	2,407	(13.8%)	992	(14.3%)
		かなりあてはまる	378	(2.1%)	527	(3.0%)	258	(3.7%)
		非常にあてはまる	167	(0.9%)	250	(1.4%)	95	(1.4%)
		無回答	102	(0.6%)	137	(0.8%)	54	(0.8%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q31-5	人にどう思われても他者の権利をすすんで守ろうと思いますか	全くあてはまらない	772	(4.3%)	649	(3.7%)	319	(4.6%)
		ほとんどあてはまらない	1,376	(7.7%)	1,278	(7.3%)	493	(7.1%)
		どちらかというとあてはまらない	3,035	(17.1%)	2,823	(16.2%)	1,052	(15.2%)
		どちらともいえない	8,074	(45.5%)	7,764	(44.4%)	3,225	(46.5%)
		どちらかというとあてはまる	3,384	(19.1%)	3,664	(21.0%)	1,344	(19.4%)
		かなりあてはまる	717	(4.0%)	842	(4.8%)	324	(4.7%)
		非常にあてはまる	279	(1.6%)	319	(1.8%)	117	(1.7%)
		無回答	125	(0.7%)	136	(0.8%)	65	(0.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q32	あなたはご自分が朝型と夜型のどちらに当てはまると思いますか	午前中はとても元気／活発で、夕方になると眠くなる（明らかに朝型の人）	2,674	(15.1%)	2,282	(13.1%)	870	(12.5%)
		朝はある程度元気で、夕方になると眠くなる（どちらかというと朝型の人）	5,328	(30.0%)	4,616	(26.4%)	1,691	(24.4%)
		朝型でも夜型でもない	5,618	(31.6%)	6,480	(37.1%)	2,895	(41.7%)
		夕方にはある程度元気で、朝は眠気がある（どちらかというと夜型の人）	3,514	(19.8%)	3,507	(20.1%)	1,247	(18.0%)
		夕方になると非常に注意力・活動力が高まり、朝は眠気が強い（明らかに夜型の人）	577	(3.2%)	515	(2.9%)	215	(3.1%)
		無回答	51	(0.3%)	75	(0.4%)	21	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
Q33	あなたの身長と体重をお答えください	平均身長（男性）	171		172		172	
		平均身長（女性）	159		159		159	
		身長未回答（人数）	116		139		54	
		平均体重（男性）	69		71		71	
		平均体重（女性）	54		56		55	
		体重未回答（人数）	183		188		67	
Q34-1	あなたは学校の働き方改革又は業務改善に関して、所属する学校の時間外勤務の縮減に向けた業務改善方針や計画等の内容を把握していますか	全て把握している	2,316	（ 13.0%）	2,394	（ 13.7%）	709	（ 10.2%）
		一部把握している	9,767	（ 55.0%）	9,694	（ 55.5%）	3,681	（ 53.0%）
		方針や計画等は策定されているが、内容は全く把握していない	2,508	（ 14.1%）	2,393	（ 13.7%）	1,000	（ 14.4%）
		方針や計画等は策定されていない	720	（ 4.1%）	696	（ 4.0%）	297	（ 4.3%）
		方針や計画等が策定されているかどうか把握していない	2,405	（ 13.5%）	2,221	（ 12.7%）	1,237	（ 17.8%）
		無回答	46	（ 0.3%）	77	（ 0.4%）	15	（ 0.2%）
		合計	17,762	（ 100.0%）	17,475	（ 100.0%）	6,939	（ 100.0%）
Q34-2	Q34-1で「全て把握している」「一部把握している」と答えた場合、所属する学校の業務改善方針等の効果検証状況を把握していますか	全て把握している	1,281	（ 10.6%）	1,359	（ 11.2%）	383	（ 8.7%）
		一部把握している	5,408	（ 44.8%）	6,015	（ 49.8%）	2,288	（ 52.1%）
		効果検証はされているが、内容は全く把握していない	1,217	（ 10.1%）	1,084	（ 9.0%）	387	（ 8.8%）
		効果検証されていない	850	（ 7.0%）	816	（ 6.8%）	348	（ 7.9%）
		効果検証されているかどうか把握していない	2,694	（ 22.3%）	2,195	（ 18.2%）	884	（ 20.1%）
		無回答	633	（ 5.2%）	619	（ 5.1%）	100	（ 2.3%）
		合計	12,083	（ 100.0%）	12,088	（ 100.0%）	4,390	（ 100.0%）
Q35	あなたの学校の管理職は、自らの権限と責任においてリーダーシップを発揮し、一部の教職員に業務が偏ることのないように校内の業務分担を見直すことや、業務を削減するなど、働き方改革を進め教員の勤務環境を整えていると思いますか	そう思う	3,001	（ 16.9%）	2,572	（ 14.7%）	761	（ 11.0%）
		どちらかといえばそう思う	8,921	（ 50.2%）	8,133	（ 46.5%）	2,883	（ 41.5%）
		どちらかといえばそう思わない	4,139	（ 23.3%）	4,510	（ 25.8%）	2,146	（ 30.9%）
		まったくそう思わない	1,607	（ 9.0%）	2,142	（ 12.3%）	1,119	（ 16.1%）
		無回答	94	（ 0.5%）	118	（ 0.7%）	30	（ 0.4%）
		合計	17,762	（ 100.0%）	17,475	（ 100.0%）	6,939	（ 100.0%）
Q36	労働安全衛生法等に基づき、ICT 等の客観的な方法によって労働時間を把握することが求められています。また、働き方改革に向けて、令和元年に給特法の一部改正が行われ、在校等時間の上限などを定める指針が策定されました。これを踏まえたあなたの学校における勤務時間の管理方法により、出勤時間と退勤時間を意識するなど、あなたの時間管理の意識が高まりましたか	そう思う	2,975	（ 16.7%）	2,404	（ 13.8%）	711	（ 10.2%）
		どちらかといえばそう思う	8,680	（ 48.9%）	8,109	（ 46.4%）	2,889	（ 41.6%）
		どちらかといえばそう思わない	3,657	（ 20.6%）	3,774	（ 21.6%）	1,716	（ 24.7%）
		まったくそう思わない	2,400	（ 13.5%）	3,114	（ 17.8%）	1,604	（ 23.1%）
		無回答	50	（ 0.3%）	74	（ 0.4%）	19	（ 0.3%）
		合計	17,762	（ 100.0%）	17,475	（ 100.0%）	6,939	（ 100.0%）
Q37	あなたの学校における勤務時間の管理方法により、あなたの仕事の優先順付けや効率化などの意識が高まりましたか	そう思う	2,052	（ 11.6%）	1,530	（ 8.8%）	466	（ 6.7%）
		どちらかといえばそう思う	8,472	（ 47.7%）	7,563	（ 43.3%）	2,529	（ 36.4%）
		どちらかといえばそう思わない	4,663	（ 26.3%）	4,979	（ 28.5%）	2,150	（ 31.0%）
		まったくそう思わない	2,526	（ 14.2%）	3,328	（ 19.0%）	1,765	（ 25.4%）
		無回答	49	（ 0.3%）	75	（ 0.4%）	29	（ 0.4%）
		合計	17,762	（ 100.0%）	17,475	（ 100.0%）	6,939	（ 100.0%）
Q38-1	授業に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組 【授業】（複数回答）	モジュールの活用	4,233	（ 23.8%）	906	（ 5.2%）	85	（ 1.2%）
		授業での紙ではなくデータによる資料配付（児童生徒への教材の共有を含む）・課題提出	6,254	（ 35.2%）	5,247	（ 30.0%）	2,282	（ 32.9%）
		上記以外での授業中でのICT の活用	12,092	（ 68.1%）	11,153	（ 63.8%）	3,778	（ 54.4%）
		いずれもあてはまるものはない	3,330	（ 18.7%）	4,368	（ 25.0%）	2,180	（ 31.4%）
		無回答	566	（ 3.2%）	801	（ 4.6%）	301	（ 4.3%）
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q38-2	【授業準備】（複数回答）	教員間での教材の共有	12,156	（ 68.4%）	7,776	（ 44.5%）	3,359	（ 48.4%）
		自作の教材・指導案の精選	7,619	（ 42.9%）	8,596	（ 49.2%）	3,480	（ 50.2%）
		いずれもあてはまるものはない	2,655	（ 14.9%）	3,735	（ 21.4%）	1,342	（ 19.3%）
		無回答	642	（ 3.6%）	915	（ 5.2%）	330	（ 4.8%）
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q38-3	【家庭学習】（複数回答）	家庭学習の内容の見直し	7,731	（ 43.5%）	6,044	（ 34.6%）	1,808	（ 26.1%）
		家庭学習のオンライン提出	4,136	（ 23.3%）	2,808	（ 16.1%）	1,346	（ 19.4%）
		いずれもあてはまるものはない	7,024	（ 39.5%）	8,525	（ 48.8%）	3,744	（ 54.0%）
		無回答	1,019	（ 5.7%）	1,149	（ 6.6%）	423	（ 6.1%）
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q39	成績処理に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組（複数回答）	採点システムの活用	3,074	（ 17.3%）	2,704	（ 15.5%）	1,551	（ 22.4%）
		採点する時間や採点する範囲の工夫	4,510	（ 25.4%）	2,649	（ 15.2%）	1,026	（ 14.8%）
		採点期間の確保	2,700	（ 15.2%）	3,633	（ 20.8%）	956	（ 13.8%）
		いずれもあてはまるものはない	9,023	（ 50.8%）	9,495	（ 54.3%）	3,757	（ 54.1%）
		無回答	780	（ 4.4%）	868	（ 5.0%）	314	（ 4.5%）
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q40	学年・学級運営に関する業務改善に関する以下の取組のうち、あなたが行っている取組（複数回答）	掲示の精選	7,170	(40.4%)	4,955	(28.4%)	1,502	(21.6%)
		学級日誌の見直し	1,107	(6.2%)	2,045	(11.7%)	531	(7.7%)
		学級通信や会議資料等の文書の簡素化	5,181	(29.2%)	3,847	(22.0%)	835	(12.0%)
		学級通信等のオンライン配布	1,208	(6.8%)	744	(4.3%)	522	(7.5%)
		学級通信等の発行回数の見直し	2,795	(15.7%)	2,990	(17.1%)	549	(7.9%)
		児童生徒の出欠・遅刻に関する連絡等のオンライン化	6,544	(36.8%)	4,854	(27.8%)	1,451	(20.9%)
		家庭への連絡や家庭を対象とするアンケート調査等に関する事務のオンライン化	3,772	(21.2%)	3,263	(18.7%)	1,052	(15.2%)
		いずれもあてはまるものはない	4,210	(23.7%)	5,494	(31.4%)	3,160	(45.5%)
		無回答	609	(3.4%)	793	(4.5%)	380	(5.5%)
		回答件数	17,762	—	17,475	—	6,939	—
Q41-1	印刷機やコピー機を使いたいときにいつでも使えますか	いつも使える	8,738	(49.2%)	9,413	(53.9%)	3,703	(53.4%)
		使えることが多い	8,189	(46.1%)	7,440	(42.6%)	3,002	(43.3%)
		使えないことが多い	674	(3.8%)	466	(2.7%)	181	(2.6%)
		使えない	59	(0.3%)	34	(0.2%)	21	(0.3%)
		自分で使う必要がない	41	(0.2%)	43	(0.2%)	10	(0.1%)
		無回答	61	(0.3%)	79	(0.5%)	22	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q41-2	Q41-1で「使えないことが多い」「使えない」と答えた場合、その理由として当てはまるもの（複数回答）	台数が少ない	626	(85.4%)	415	(83.0%)	166	(82.2%)
		印刷速度が遅い	158	(21.6%)	138	(27.6%)	47	(23.3%)
		その他	95	(13.0%)	85	(17.0%)	44	(21.8%)
		無回答	36	(4.9%)	21	(4.2%)	8	(4.0%)
		回答件数	733	—	500	—	202	—
Q41-3	Q41-1で「自分で使う必要がない」と答えた場合、その理由として当てはまるもの（複数回答）	ICT 端末を活用して電子媒体で配布している	8	(19.5%)	3	(7.0%)	2	(20.0%)
		教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）などの支援人材が印刷してくれる	32	(78.0%)	34	(79.1%)	4	(40.0%)
		その他	2	(4.9%)	4	(9.3%)	3	(30.0%)
		無回答	4	(9.8%)	2	(4.7%)	1	(10.0%)
		回答件数	41	—	43	—	10	—
Q42-1	大型提示装置（電子黒板やプロジェクター等を含む）について、授業での利用状況について当てはまるもの	よく使う	9,171	(51.6%)	7,703	(44.1%)	3,264	(47.0%)
		時々使う	4,158	(23.4%)	4,811	(27.5%)	1,840	(26.5%)
		あまり使わない	1,760	(9.9%)	1,978	(11.3%)	730	(10.5%)
		使わない	1,361	(7.7%)	1,854	(10.6%)	759	(10.9%)
		そもそも該当する機器が配置されていない	914	(5.1%)	550	(3.1%)	114	(1.6%)
		無回答	398	(2.2%)	579	(3.3%)	232	(3.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q42-2	Q42-1で「よく使う」「時々使う」と答えた場合、使いたいときにいつでも使えますか	いつも使える	10,272	(77.1%)	9,063	(72.4%)	3,848	(75.4%)
		使えることが多い	2,345	(17.6%)	2,777	(22.2%)	1,123	(22.0%)
		使えないことが多い	93	(0.7%)	95	(0.8%)	32	(0.6%)
		無回答	619	(4.6%)	579	(4.6%)	101	(2.0%)
		合計	13,329	(100.0%)	12,514	(100.0%)	5,104	(100.0%)
Q42-3	Q42-1で「あまり使わない」「使わない」と答えた場合、その理由として当てはまるもの（複数回答）	台数等が足りない	760	(24.4%)	775	(20.2%)	167	(11.2%)
		使用するための手続きが煩雑	928	(29.7%)	1,140	(29.7%)	440	(29.6%)
		その他	1,301	(41.7%)	1,703	(44.4%)	847	(56.9%)
		無回答	280	(9.0%)	351	(9.2%)	85	(5.7%)
		回答件数	3,121	—	3,832	—	1,489	—
Q43	学校外からの教員用端末の利用状況について当てはまるものを1つ選んでください	教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスし活用している	2,209	(12.4%)	1,794	(10.3%)	478	(6.9%)
		教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスできる環境は整っているが、活用していない	4,302	(24.2%)	4,174	(23.9%)	1,550	(22.3%)
		教員用の端末を自宅等に持ち帰り、校務データにアクセスできる環境は整っていない	10,816	(60.9%)	11,012	(63.0%)	4,637	(66.8%)
		無回答	435	(2.4%)	495	(2.8%)	274	(3.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q44	あなたは校務等にICT を活用する能力が身についていると思いますか	十分身についている	1,241	(7.0%)	1,341	(7.7%)	673	(9.7%)
		ある程度身についている	7,720	(43.5%)	7,329	(41.9%)	3,094	(44.6%)
		どちらともいえない	4,430	(24.9%)	4,363	(25.0%)	1,664	(24.0%)
		あまり身についていない	3,852	(21.7%)	3,686	(21.1%)	1,224	(17.6%)
		全く身についていない	460	(2.6%)	678	(3.9%)	264	(3.8%)
		無回答	59	(0.3%)	78	(0.4%)	20	(0.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q45-1	各業務に要する時間について、削減すべきと考えますか ① 登下校に関する対応	削減すべきで削減可能	7,962	(44.8%)	7,736	(44.3%)	3,694	(53.2%)
		削減すべきだが削減は難しい	8,026	(45.2%)	7,213	(41.3%)	2,141	(30.9%)
		無回答	1,774	(10.0%)	2,526	(14.5%)	1,104	(15.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応	削減すべきで削減可能	10,546	(59.4%)	10,285	(58.9%)	3,973	(57.3%)
		削減すべきだが削減は難しい	5,650	(31.8%)	5,677	(32.5%)	2,062	(29.7%)
		無回答	1,566	(8.8%)	1,513	(8.7%)	904	(13.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	③ 学校徴収金の徴収・管理	削減すべきで削減可能	11,793	(66.4%)	11,575	(66.2%)	4,227	(60.9%)
		削減すべきだが削減は難しい	4,621	(26.0%)	4,492	(25.7%)	1,860	(26.8%)
		無回答	1,348	(7.6%)	1,408	(8.1%)	852	(12.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	④ 地域ボランティアとの連絡調整	削減すべきで削減可能	7,059	(39.7%)	8,659	(49.6%)	3,405	(49.1%)
		削減すべきだが削減は難しい	8,028	(45.2%)	6,309	(36.1%)	2,204	(31.8%)
		無回答	2,675	(15.1%)	2,507	(14.3%)	1,330	(19.2%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑤ 調査・統計等への回答等	削減すべきで削減可能	12,463	(70.2%)	12,153	(69.5%)	4,536	(65.4%)
		削減すべきだが削減は難しい	4,203	(23.7%)	4,118	(23.6%)	1,702	(24.5%)
		無回答	1,096	(6.2%)	1,204	(6.9%)	701	(10.1%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑥ 児童生徒の休み時間における対応	削減すべきで削減可能	2,530	(14.2%)	2,374	(13.6%)	1,573	(22.7%)
		削減すべきだが削減は難しい	11,071	(62.3%)	10,457	(59.8%)	3,571	(51.5%)
		無回答	4,161	(23.4%)	4,644	(26.6%)	1,795	(25.9%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑦ 校内清掃	削減すべきで削減可能	5,912	(33.3%)	4,904	(28.1%)	2,126	(30.6%)
		削減すべきだが削減は難しい	8,154	(45.9%)	8,176	(46.8%)	2,983	(43.0%)
		無回答	3,696	(20.8%)	4,395	(25.2%)	1,830	(26.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q45-1	⑧ 部活動（中学校、高等学校のみ）	削減すべきで削減可能			7,080	(40.5%)	2,675	(38.6%)
		削減すべきだが削減は難しい			7,856	(45.0%)	3,071	(44.3%)
		無回答			2,539	(14.5%)	1,193	(17.2%)
		合計			17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑨ 給食時の対応	削減すべきで削減可能	2,709	(15.3%)	2,932	(16.8%)	2,151	(31.0%)
		削減すべきだが削減は難しい	10,676	(60.1%)	9,987	(57.2%)	2,478	(35.7%)
		無回答	4,377	(24.6%)	4,556	(26.1%)	2,310	(33.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑩ 授業準備	削減すべきで削減可能	1,754	(9.9%)	1,334	(7.6%)	581	(8.4%)
		削減すべきだが削減は難しい	10,305	(58.0%)	9,672	(55.3%)	3,516	(50.7%)
		無回答	5,703	(32.1%)	6,469	(37.0%)	2,842	(41.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑪ 学習評価や成績処理	削減すべきで削減可能	2,486	(14.0%)	1,998	(11.4%)	819	(11.8%)
		削減すべきだが削減は難しい	10,108	(56.9%)	9,531	(54.5%)	3,522	(50.8%)
		無回答	5,168	(29.1%)	5,946	(34.0%)	2,598	(37.4%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑬ 進路指導	削減すべきで削減可能	2,355	(13.3%)	1,759	(10.1%)	729	(10.5%)
		削減すべきだが削減は難しい	9,697	(54.6%)	9,603	(55.0%)	3,534	(50.9%)
		無回答	5,710	(32.1%)	6,113	(35.0%)	2,676	(38.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	⑭ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	削減すべきで削減可能	2,010	(11.3%)	2,391	(13.7%)	1,053	(15.2%)
		削減すべきだが削減は難しい	10,586	(59.6%)	9,775	(55.9%)	3,597	(51.8%)
		無回答	5,166	(29.1%)	5,309	(30.4%)	2,289	(33.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q45-2	削減すべきと考えているものの、削減できないと考えるのはなぜですか（複数回答）① 登下校に関する対応	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	456	(5.7%)	415	(5.8%)	156	(7.3%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	2,399	(29.9%)	2,449	(34.0%)	768	(35.9%)
		3.地域の理解が必要となるため	3,676	(45.8%)	2,932	(40.6%)	830	(38.8%)
		4.保護者の理解が必要となるため	5,055	(63.0%)	3,411	(47.3%)	846	(39.5%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	1,928	(24.0%)	1,562	(21.7%)	413	(19.3%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	2,912	(36.3%)	2,331	(32.3%)	564	(26.3%)
		7.その他	204	(2.5%)	289	(4.0%)	76	(3.5%)
		無回答	462	(5.8%)	504	(7.0%)	91	(4.3%)
		回答件数	8,026	(100.0%)	7,213	(100.0%)	2,141	(100.0%)
	②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	272	(4.8%)	270	(4.8%)	113	(5.5%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	1,545	(27.3%)	1,896	(33.4%)	697	(33.8%)
		3.地域の理解が必要となるため	1,842	(32.6%)	1,866	(32.9%)	607	(29.4%)
		4.保護者の理解が必要となるため	3,252	(57.6%)	2,967	(52.3%)	989	(48.0%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	1,749	(31.0%)	1,508	(26.6%)	523	(25.4%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	1,659	(29.4%)	1,492	(26.3%)	539	(26.1%)
		7.その他	157	(2.8%)	206	(3.6%)	75	(3.6%)
		無回答	354	(6.3%)	424	(7.5%)	96	(4.7%)
		回答件数	5,650	(100.0%)	5,677	(100.0%)	2,062	(100.0%)
	③ 学校徴収金の徴収・管理	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	593	(12.8%)	414	(9.2%)	197	(10.6%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	1,697	(36.7%)	1,838	(40.9%)	859	(46.2%)
		3.地域の理解が必要となるため	345	(7.5%)	460	(10.2%)	104	(5.6%)
		4.保護者の理解が必要となるため	1,750	(37.9%)	1,703	(37.9%)	658	(35.4%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	227	(4.9%)	279	(6.2%)	141	(7.6%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	1,319	(28.5%)	1,177	(26.2%)	383	(20.6%)
		7.その他	206	(4.5%)	197	(4.4%)	97	(5.2%)
		無回答	344	(7.4%)	337	(7.5%)	93	(5.0%)
		回答件数	4,621	(100.0%)	4,492	(100.0%)	1,860	(100.0%)
	④地域ボランティアとの連絡調整	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	399	(5.0%)	276	(4.4%)	117	(5.3%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	2,842	(35.4%)	2,208	(35.0%)	747	(33.9%)
		3.地域の理解が必要となるため	4,561	(56.8%)	3,389	(53.7%)	1,133	(51.4%)
		4.保護者の理解が必要となるため	1,649	(20.5%)	1,330	(21.1%)	375	(17.0%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	517	(6.4%)	492	(7.8%)	212	(9.6%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	2,916	(36.3%)	2,152	(34.1%)	764	(34.7%)
		7.その他	196	(2.4%)	129	(2.0%)	50	(2.3%)
		無回答	527	(6.6%)	446	(7.1%)	104	(4.7%)
		回答件数	8,028	(100.0%)	6,309	(100.0%)	2,204	(100.0%)

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
Q45-2	⑤ 調査・統計等への回答等	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	471	(11.2%)	409	(9.9%)	174	(10.2%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	1,855	(44.1%)	1,903	(46.2%)	906	(53.2%)
		3.地域の理解が必要となるため	304	(7.2%)	360	(8.7%)	99	(5.8%)
		4.保護者の理解が必要となるため	532	(12.7%)	538	(13.1%)	179	(10.5%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	345	(8.2%)	378	(9.2%)	146	(8.6%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	1,143	(27.2%)	989	(24.0%)	329	(19.3%)
		7.その他	574	(13.7%)	553	(13.4%)	227	(13.3%)
		無回答	271	(6.4%)	303	(7.4%)	82	(4.8%)
		回答件数	4,203	(100.0%)	4,118	(100.0%)	1,702	(100.0%)
	⑥ 児童生徒の休み時間における対応	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	491	(4.4%)	495	(4.7%)	205	(5.7%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,463	(31.3%)	4,002	(38.3%)	1,491	(41.8%)
		3.地域の理解が必要となるため	893	(8.1%)	811	(7.8%)	172	(4.8%)
		4.保護者の理解が必要となるため	4,303	(38.9%)	3,149	(30.1%)	1,040	(29.1%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	5,636	(50.9%)	4,336	(41.5%)	1,503	(42.1%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	3,616	(32.7%)	2,955	(28.3%)	668	(18.7%)
		7.その他	695	(6.3%)	785	(7.5%)	230	(6.4%)
		無回答	701	(6.3%)	701	(6.7%)	158	(4.4%)
		回答件数	11,071	(100.0%)	10,457	(100.0%)	3,571	(100.0%)
	⑦ 校内清掃	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	523	(6.4%)	569	(7.0%)	211	(7.1%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,647	(44.7%)	4,107	(50.2%)	1,679	(56.3%)
		3.地域の理解が必要となるため	565	(6.9%)	585	(7.2%)	131	(4.4%)
		4.保護者の理解が必要となるため	1,637	(20.1%)	1,264	(15.5%)	335	(11.2%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	2,116	(26.0%)	1,744	(21.3%)	541	(18.1%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	3,267	(40.1%)	2,711	(33.2%)	736	(24.7%)
		7.その他	547	(6.7%)	612	(7.5%)	267	(9.0%)
		無回答	519	(6.4%)	554	(6.8%)	124	(4.2%)
		回答件数	8,154	(100.0%)	8,176	(100.0%)	2,983	(100.0%)
	⑧ 部活動（中学校、高等学校のみ）	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため			510	(6.5%)	187	(6.1%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため			3,302	(42.0%)	1,457	(47.4%)
		3.地域の理解が必要となるため			2,685	(34.2%)	660	(21.5%)
		4.保護者の理解が必要となるため			3,760	(47.9%)	1,215	(39.6%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため			3,382	(43.0%)	1,219	(39.7%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため			4,135	(52.6%)	1,443	(47.0%)
		7.その他			473	(6.0%)	210	(6.8%)
		無回答			494	(6.3%)	112	(3.6%)
		回答件数			7,856	(100.0%)	3,071	(100.0%)
	⑨ 給食時の対応	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	566	(5.3%)	586	(5.9%)	171	(6.9%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	4,003	(37.5%)	4,450	(44.6%)	1,091	(44.0%)
		3.地域の理解が必要となるため	686	(6.4%)	729	(7.3%)	132	(5.3%)
		4.保護者の理解が必要となるため	3,874	(36.3%)	2,934	(29.4%)	814	(32.8%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	4,494	(42.1%)	3,390	(33.9%)	828	(33.4%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	4,003	(37.5%)	3,207	(32.1%)	618	(24.9%)
		7.その他	709	(6.6%)	675	(6.8%)	153	(6.2%)
		無回答	657	(6.2%)	648	(6.5%)	114	(4.6%)
		回答件数	10,676	(100.0%)	9,987	(100.0%)	2,478	(100.0%)
	⑩ 授業準備	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	1,672	(16.2%)	1,797	(18.6%)	790	(22.5%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,779	(36.7%)	3,940	(40.7%)	1,595	(45.4%)
		3.地域の理解が必要となるため	427	(4.1%)	410	(4.2%)	96	(2.7%)
		4.保護者の理解が必要となるため	1,705	(16.5%)	1,221	(12.6%)	360	(10.2%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	2,680	(26.0%)	1,794	(18.5%)	601	(17.1%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	3,016	(29.3%)	2,228	(23.0%)	560	(15.9%)
		7.その他	1,146	(11.1%)	1,264	(13.1%)	468	(13.3%)
		無回答	665	(6.5%)	640	(6.6%)	154	(4.4%)
		回答件数	10,305	(100.0%)	9,672	(100.0%)	3,516	(100.0%)

教員調査

			小学校		中学校		高等学校	
Q45-2	⑪ 学習評価や成績処理	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	1,619	(16.0%)	1,641	(17.2%)	735	(20.9%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,897	(38.6%)	4,125	(43.3%)	1,726	(49.0%)
		3.地域の理解が必要となるため	580	(5.7%)	527	(5.5%)	80	(2.3%)
		4.保護者の理解が必要となるため	3,289	(32.5%)	2,462	(25.8%)	637	(18.1%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	2,977	(29.5%)	2,380	(25.0%)	704	(20.0%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	2,663	(26.3%)	2,180	(22.9%)	603	(17.1%)
		7.その他	707	(7.0%)	817	(8.6%)	333	(9.5%)
		無回答	643	(6.4%)	637	(6.7%)	154	(4.4%)
		回答件数	10,108	(100.0%)	9,531	(100.0%)	3,522	(100.0%)
	⑬ 進路指導	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	856	(8.8%)	1,147	(11.9%)	511	(14.5%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,123	(32.2%)	4,162	(43.3%)	1,716	(48.6%)
		3.地域の理解が必要となるため	657	(6.8%)	708	(7.4%)	254	(7.2%)
		4.保護者の理解が必要となるため	4,785	(49.3%)	4,197	(43.7%)	1,373	(38.9%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	4,080	(42.1%)	3,736	(38.9%)	1,312	(37.1%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	2,350	(24.2%)	2,088	(21.7%)	699	(19.8%)
		7.その他	381	(3.9%)	612	(6.4%)	213	(6.0%)
		無回答	663	(6.8%)	614	(6.4%)	152	(4.3%)
		回答件数	9,697	(100.0%)	9,603	(100.0%)	3,534	(100.0%)
	⑭ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応	1.既に業務削減に向けた十分な取組を実施しているため	727	(6.9%)	788	(8.1%)	344	(9.6%)
		2.いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	3,162	(29.9%)	3,490	(35.7%)	1,312	(36.5%)
		3.地域の理解が必要となるため	1,233	(11.6%)	1,318	(13.5%)	369	(10.3%)
		4.保護者の理解が必要となるため	6,563	(62.0%)	5,399	(55.2%)	1,989	(55.3%)
		5.児童生徒の理解が必要となるため	4,934	(46.6%)	4,183	(42.8%)	1,497	(41.6%)
		6.1～5の要因に加えて地域ボランティア、支援人材、教員等の追加的な協力が必要なため	3,567	(33.7%)	3,306	(33.8%)	1,099	(30.6%)
		7.その他	518	(4.9%)	503	(5.1%)	170	(4.7%)
		無回答	649	(6.1%)	614	(6.3%)	128	(3.6%)
		回答件数	10,586	(100.0%)	9,775	(100.0%)	3,597	(100.0%)
Q45-3 1.	組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる精選等（行事や内容を絞る、行事間の関連や統合を図るなど。以下同じ。）をすべきであり、それが可能と考える学校行事はありますか	はい	11,147	(62.8%)	10,065	(57.6%)	3,598	(51.9%)
		いいえ	6,502	(36.6%)	7,279	(41.7%)	3,294	(47.5%)
		無回答	113	(0.6%)	131	(0.7%)	47	(0.7%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	（Q45-3 1.で「はい」と答えた場合）その行事を選択してください（複数回答）	【儀式的行事】入学式	1,922	(17.2%)	1,587	(15.8%)	396	(11.0%)
		【儀式的行事】卒業式	2,088	(18.7%)	1,615	(16.0%)	391	(10.9%)
		【儀式的行事】始業式	2,183	(19.6%)	1,997	(19.8%)	889	(24.7%)
		【儀式的行事】終業式	2,237	(20.1%)	2,048	(20.3%)	926	(25.7%)
		【儀式的行事】修了式	1,517	(13.6%)	1,444	(14.3%)	536	(14.9%)
		【儀式的行事】立志式	2,206	(19.8%)	3,420	(34.0%)	784	(21.8%)
		【儀式的行事】開校記念に関する儀式	4,127	(37.0%)	3,881	(38.6%)	1,436	(39.9%)
		【儀式的行事】教職員の着任式・離任式	3,632	(32.6%)	3,410	(33.9%)	1,132	(31.5%)
		【儀式的行事】新入生との対面式	2,385	(21.4%)	2,755	(27.4%)	1,137	(31.6%)
		【儀式的行事】朝会	3,623	(32.5%)	2,783	(27.7%)	1,032	(28.7%)
		【儀式的行事】その他	940	(8.4%)	906	(9.0%)	375	(10.4%)
		【文化的行事】学芸会	3,270	(29.3%)	2,029	(20.2%)	493	(13.7%)
		【文化的行事】文化祭	2,136	(19.2%)	3,991	(39.7%)	999	(27.8%)
		【文化的行事】学習発表会	4,777	(42.9%)	2,606	(25.9%)	651	(18.1%)
		【文化的行事】展覧会	2,990	(26.8%)	2,401	(23.9%)	579	(16.1%)
		【文化的行事】作品展示・発表会	3,837	(34.4%)	2,505	(24.9%)	578	(16.1%)
		【文化的行事】音楽会	3,542	(31.8%)	2,465	(24.5%)	557	(15.5%)
		【文化的行事】読書感想発表会	3,037	(27.2%)	2,676	(26.6%)	803	(22.3%)
		【文化的行事】クラブ発表会	2,975	(26.7%)	2,403	(23.9%)	636	(17.7%)
		【文化的行事】音楽鑑賞会	1,928	(17.3%)	2,124	(21.1%)	613	(17.0%)
		【文化的行事】映画や演劇の鑑賞会	1,914	(17.2%)	2,187	(21.7%)	728	(20.2%)
		【文化的行事】美術館見学会	1,821	(16.3%)	2,134	(21.2%)	558	(15.5%)
		【文化的行事】地域の伝統文化等の鑑賞会	1,605	(14.4%)	1,952	(19.4%)	530	(14.7%)
		【文化的行事】伝統芸能等の鑑賞会	1,496	(13.4%)	1,860	(18.5%)	565	(15.7%)
		【文化的行事】その他	485	(4.4%)	665	(6.6%)	289	(8.0%)
		【健康安全・体育的行事】健康診断	1,308	(11.7%)	1,297	(12.9%)	429	(11.9%)
		【健康安全・体育的行事】薬物乱用防止指導	1,316	(11.8%)	1,918	(19.1%)	719	(20.0%)
		【健康安全・体育的行事】防犯指導	1,200	(10.8%)	1,597	(15.9%)	605	(16.8%)
		【健康安全・体育的行事】交通安全指導	1,529	(13.7%)	1,777	(17.7%)	746	(20.7%)
		【健康安全・体育的行事】運動会(体育祭)	4,572	(41.0%)	3,614	(35.9%)	859	(23.9%)
		【健康安全・体育的行事】競技会	3,237	(29.0%)	2,497	(24.8%)	689	(19.1%)
		【健康安全・体育的行事】球技大会	3,018	(27.1%)	2,849	(28.3%)	976	(27.1%)
		【健康安全・体育的行事】避難訓練	872	(7.8%)	1,002	(10.0%)	378	(10.5%)
		【健康安全・体育的行事】健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事	1,449	(13.0%)	1,806	(17.9%)	589	(16.4%)
		【健康安全・体育的行事】その他	385	(3.5%)	408	(4.1%)	178	(4.9%)

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
	(Q45-3 1.で「はい」と答えた場合)その行事を選択してください (複数回答)	【遠足(旅行)・宿泊的行事】遠足	2,487	(22.3%)	2,402	(23.9%)	758	(21.1%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】修学旅行	1,610	(14.4%)	2,593	(25.8%)	916	(25.5%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】移動教室	1,893	(17.0%)	1,982	(19.7%)	601	(16.7%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】野外活動	2,076	(18.6%)	2,698	(26.8%)	729	(20.3%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】集団宿泊活動	2,867	(25.7%)	3,525	(35.0%)	1,100	(30.6%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】その他	247	(2.2%)	374	(3.7%)	146	(4.1%)
		【勤労生産・奉仕的行事】飼育栽培活動	2,632	(23.6%)	2,230	(22.2%)	631	(17.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】校内美化活動	1,971	(17.7%)	1,894	(18.8%)	602	(16.7%)
		【勤労生産・奉仕的行事】地域社会の清掃活動	2,450	(22.0%)	2,640	(26.2%)	729	(20.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】公共施設等の清掃活動	2,469	(22.1%)	2,509	(24.9%)	704	(19.6%)
		【勤労生産・奉仕的行事】福祉施設との交流活動	1,615	(14.5%)	1,956	(19.4%)	523	(14.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】職場体験活動	1,391	(12.5%)	3,120	(31.0%)	649	(18.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】各種の生産活動	1,511	(13.6%)	1,941	(19.3%)	523	(14.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】上級学校や職場の訪問・見学	1,448	(13.0%)	1,777	(17.7%)	557	(15.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】学校内外のボランティア活動	1,812	(16.3%)	2,369	(23.5%)	740	(20.6%)
		【勤労生産・奉仕的行事】その他	280	(2.5%)	380	(3.8%)	165	(4.6%)
		無回答	716	(6.4%)	675	(6.7%)	116	(3.2%)
		回答件数	11,147	—	10,065	—	3,598	—
Q45-3 2.	組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる精選等をすべきだが、それが困難であると考える学校行事はありますか	はい	6,686	(37.6%)	6,359	(36.4%)	2,332	(33.6%)
		いいえ	10,857	(61.1%)	10,884	(62.3%)	4,518	(65.1%)
		無回答	219	(1.2%)	232	(1.3%)	89	(1.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	(Q45-3 2.で「はい」と答えた場合)その学校行事を選択してください(複数選択)	【儀式的行事】入学式	3,177	(47.5%)	3,190	(50.2%)	1,210	(51.9%)
		【儀式的行事】卒業式	3,354	(50.2%)	3,269	(51.4%)	1,232	(52.8%)
		【儀式的行事】始業式	1,879	(28.1%)	2,089	(32.9%)	819	(35.1%)
		【儀式的行事】終業式	1,879	(28.1%)	2,084	(32.8%)	814	(34.9%)
		【儀式的行事】修了式	1,744	(26.1%)	1,920	(30.2%)	448	(19.2%)
		【儀式的行事】立志式	318	(4.8%)	503	(7.9%)	117	(5.0%)
		【儀式的行事】開校記念に関する儀式	984	(14.7%)	779	(12.3%)	451	(19.3%)
		【儀式的行事】教職員の着任式・離任式	1,454	(21.7%)	1,546	(24.3%)	622	(26.7%)
		【儀式的行事】新入生との対面式	815	(12.2%)	1,128	(17.7%)	487	(20.9%)
		【儀式的行事】朝会	801	(12.0%)	892	(14.0%)	359	(15.4%)
		【儀式的行事】その他	159	(2.4%)	182	(2.9%)	105	(4.5%)
		【文化的行事】学芸会	756	(11.3%)	446	(7.0%)	132	(5.7%)
		【文化的行事】文化祭	686	(10.3%)	2,499	(39.3%)	1,204	(51.6%)
		【文化的行事】学習発表会	1,693	(25.3%)	822	(12.9%)	263	(11.3%)
		【文化的行事】展覧会	564	(8.4%)	372	(5.8%)	101	(4.3%)
		【文化的行事】作品展示・発表会	840	(12.6%)	565	(8.9%)	172	(7.4%)
		【文化的行事】音楽会	1,097	(16.4%)	1,070	(16.8%)	133	(5.7%)
		【文化的行事】読書感想発表会	335	(5.0%)	313	(4.9%)	110	(4.7%)
		【文化的行事】クラブ発表会	393	(5.9%)	335	(5.3%)	134	(5.7%)
		【文化的行事】音楽鑑賞会	467	(7.0%)	401	(6.3%)	177	(7.6%)
		【文化的行事】映画や演劇の鑑賞会	412	(6.2%)	361	(5.7%)	222	(9.5%)
		【文化的行事】美術館見学会	245	(3.7%)	262	(4.1%)	102	(4.4%)
		【文化的行事】地域の伝統文化等の鑑賞会	380	(5.7%)	393	(6.2%)	153	(6.6%)
		【文化的行事】伝統芸能等の鑑賞会	327	(4.9%)	360	(5.7%)	166	(7.1%)
		【文化的行事】その他	150	(2.2%)	196	(3.1%)	92	(3.9%)
	(Q45-3 2.で「はい」と答えた場合)その学校行事を選択してください(複数選択)	【健康安全・体育的行事】健康診断	2,031	(30.4%)	2,125	(33.4%)	894	(38.3%)
		【健康安全・体育的行事】薬物乱用防止指導	1,029	(15.4%)	1,403	(22.1%)	676	(29.0%)
		【健康安全・体育的行事】防犯指導	1,131	(16.9%)	1,181	(18.6%)	496	(21.3%)
		【健康安全・体育的行事】交通安全指導	1,461	(21.9%)	1,400	(22.0%)	660	(28.3%)
		【健康安全・体育的行事】運動会(体育祭)	2,831	(42.3%)	2,776	(43.7%)	1,000	(42.9%)
		【健康安全・体育的行事】競技会	602	(9.0%)	522	(8.2%)	219	(9.4%)
		【健康安全・体育的行事】球技大会	492	(7.4%)	747	(11.7%)	623	(26.7%)
		【健康安全・体育的行事】避難訓練	1,872	(28.0%)	2,014	(31.7%)	782	(33.5%)
		【健康安全・体育的行事】健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事	694	(10.4%)	761	(12.0%)	260	(11.1%)
		【健康安全・体育的行事】その他	129	(1.9%)	111	(1.7%)	68	(2.9%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】遠足	1,771	(26.5%)	1,261	(19.8%)	637	(27.3%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】修学旅行	2,559	(38.3%)	3,120	(49.1%)	1,140	(48.9%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】移動教室	774	(11.6%)	651	(10.2%)	161	(6.9%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】野外活動	1,059	(15.8%)	1,000	(15.7%)	210	(9.0%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】集団宿泊活動	1,880	(28.1%)	1,502	(23.6%)	286	(12.3%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】その他	87	(1.3%)	117	(1.8%)	62	(2.7%)
		【勤労生産・奉仕的行事】飼育栽培活動	958	(14.3%)	387	(6.1%)	121	(5.2%)
		【勤労生産・奉仕的行事】校内美化活動	1,069	(16.0%)	1,079	(17.0%)	403	(17.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】地域社会の清掃活動	604	(9.0%)	689	(10.8%)	275	(11.8%)
		【勤労生産・奉仕的行事】公共施設等の清掃活動	448	(6.7%)	425	(6.7%)	141	(6.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】福祉施設との交流活動	480	(7.2%)	480	(7.5%)	154	(6.6%)
		【勤労生産・奉仕的行事】職場体験活動	593	(8.9%)	1,728	(27.2%)	466	(20.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】各種の生産活動	327	(4.9%)	310	(4.9%)	106	(4.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】上級学校や職場の訪問・見学	447	(6.7%)	864	(13.6%)	381	(16.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】学校内外のボランティア活動	533	(8.0%)	761	(12.0%)	306	(13.1%)
		【勤労生産・奉仕的行事】その他	113	(1.7%)	131	(2.1%)	71	(3.0%)
		無回答	660	(9.9%)	683	(10.7%)	113	(4.8%)
		回答件数	6,686	—	6,359	—	2,332	—

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
Q45-3 3.	組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきであり、それが可能と考える学校行事はありますか	はい	9,039	(50.9%)	7,847	(44.9%)	2,451	(35.3%)
		いいえ	8,432	(47.5%)	9,332	(53.4%)	4,386	(63.2%)
		無回答	291	(1.6%)	296	(1.7%)	102	(1.5%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
	（Q45-3 3.で「はい」と答えた場合）その学校行事を選択してください（複数選択）	【儀式的行事】入学式	2,984	(33.0%)	2,671	(34.0%)	756	(30.8%)
		【儀式的行事】卒業式	4,216	(46.6%)	3,263	(41.6%)	834	(34.0%)
		【儀式的行事】始業式	2,127	(23.5%)	2,136	(27.2%)	815	(33.3%)
		【儀式的行事】終業式	2,148	(23.8%)	2,150	(27.4%)	812	(33.1%)
		【儀式的行事】修了式	1,789	(19.8%)	1,780	(22.7%)	484	(19.7%)
		【儀式的行事】立志式	1,042	(11.5%)	1,523	(19.4%)	346	(14.1%)
		【儀式的行事】開校記念に関する儀式	2,008	(22.2%)	1,768	(22.5%)	715	(29.2%)
		【儀式的行事】教職員の着任式・離任式	2,327	(25.7%)	2,235	(28.5%)	777	(31.7%)
		【儀式的行事】新入生との対面式	1,611	(17.8%)	1,891	(24.1%)	609	(24.8%)
		【儀式的行事】朝会	1,678	(18.6%)	1,482	(18.9%)	503	(20.5%)
		【儀式的行事】その他	243	(2.7%)	286	(3.6%)	102	(4.2%)
		【文化的行事】学芸会	2,100	(23.2%)	1,240	(15.8%)	298	(12.2%)
		【文化的行事】文化祭	1,644	(18.2%)	3,855	(49.1%)	1,121	(45.7%)
		【文化的行事】学習発表会	3,788	(41.9%)	1,756	(22.4%)	414	(16.9%)
		【文化的行事】展覧会	1,613	(17.8%)	1,181	(15.1%)	311	(12.7%)
		【文化的行事】作品展示・発表会	2,019	(22.3%)	1,370	(17.5%)	352	(14.4%)
		【文化的行事】音楽会	2,530	(28.0%)	1,983	(25.3%)	310	(12.6%)
		【文化的行事】読書感想発表会	1,272	(14.1%)	1,136	(14.5%)	341	(13.9%)
		【文化的行事】クラブ発表会	1,414	(15.6%)	1,158	(14.8%)	338	(13.8%)
		【文化的行事】音楽鑑賞会	1,117	(12.4%)	1,155	(14.7%)	324	(13.2%)
		【文化的行事】映画や演劇の鑑賞会	1,037	(11.5%)	1,085	(13.8%)	347	(14.2%)
		【文化的行事】美術館見学会	934	(10.3%)	1,039	(13.2%)	283	(11.5%)
		【文化的行事】地域の伝統文化等の鑑賞会	950	(10.5%)	1,058	(13.5%)	291	(11.9%)
		【文化的行事】伝統芸能等の鑑賞会	935	(10.3%)	1,023	(13.0%)	300	(12.2%)
		【文化的行事】その他	226	(2.5%)	284	(3.6%)	94	(3.8%)
	（Q45-3 3.で「はい」と答えた場合）その学校行事を選択してください（複数選択）	【健康安全・体育的行事】健康診断	1,017	(11.3%)	1,033	(13.2%)	342	(14.0%)
		【健康安全・体育的行事】薬物乱用防止指導	927	(10.3%)	1,327	(16.9%)	433	(17.7%)
		【健康安全・体育的行事】防犯指導	941	(10.4%)	1,198	(15.3%)	399	(16.3%)
		【健康安全・体育的行事】交通安全指導	1,148	(12.7%)	1,245	(15.9%)	430	(17.5%)
		【健康安全・体育的行事】運動会(体育祭)	5,641	(62.4%)	4,282	(54.6%)	997	(40.7%)
		【健康安全・体育的行事】競技会	1,698	(18.8%)	1,453	(18.5%)	446	(18.2%)
		【健康安全・体育的行事】球技大会	1,484	(16.4%)	1,705	(21.7%)	688	(28.1%)
		【健康安全・体育的行事】避難訓練	819	(9.1%)	992	(12.6%)	315	(12.9%)
		【健康安全・体育的行事】健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事	849	(9.4%)	1,081	(13.8%)	309	(12.6%)
		【健康安全・体育的行事】その他	209	(2.3%)	210	(2.7%)	68	(2.8%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】遠足	1,762	(19.5%)	1,691	(21.5%)	528	(21.5%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】修学旅行	1,866	(20.6%)	2,642	(33.7%)	728	(29.7%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】移動教室	1,190	(13.2%)	1,217	(15.5%)	332	(13.5%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】野外活動	1,510	(16.7%)	1,684	(21.5%)	373	(15.2%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】集団宿泊活動	2,225	(24.6%)	2,163	(27.6%)	496	(20.2%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】その他	164	(1.8%)	214	(2.7%)	79	(3.2%)
		【勤労生産・奉仕的行事】飼育栽培活動	1,536	(17.0%)	1,161	(14.8%)	307	(12.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】校内美化活動	1,398	(15.5%)	1,354	(17.3%)	399	(16.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】地域社会の清掃活動	1,325	(14.7%)	1,426	(18.2%)	404	(16.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】公共施設等の清掃活動	1,187	(13.1%)	1,246	(15.9%)	344	(14.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】福祉施設との交流活動	1,079	(11.9%)	1,190	(15.2%)	319	(13.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】職場体験活動	1,034	(11.4%)	2,199	(28.0%)	417	(17.0%)
		【勤労生産・奉仕的行事】各種の生産活動	986	(10.9%)	1,050	(13.4%)	288	(11.8%)
		【勤労生産・奉仕的行事】上級学校や職場の訪問・見学	980	(10.8%)	1,252	(16.0%)	351	(14.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】学校内外のボランティア活動	1,128	(12.5%)	1,372	(17.5%)	418	(17.1%)
		【勤労生産・奉仕的行事】その他	204	(2.3%)	239	(3.0%)	85	(3.5%)
		無回答	749	(8.3%)	715	(9.1%)	123	(5.0%)
		回答件数	9,039	—	7,847	—	2,451	—
Q45-3 4.	組織的な取組等により、働き方改革等の観点からさらなる準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきだが、それが困難であると考える学校行事はありますか	はい	4,678	(26.3%)	4,381	(25.1%)	1,437	(20.7%)
		いいえ	12,676	(71.4%)	12,686	(72.6%)	5,322	(76.7%)
		無回答	408	(2.3%)	408	(2.3%)	180	(2.6%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
	(Q45-3 4.で「はい」と答えた場合)その学校行事を選択してください(複数選択)	【儀式的行事】入学式	1,801	(38.5%)	1,836	(41.9%)	686	(47.7%)
		【儀式的行事】卒業式	2,256	(48.2%)	2,063	(47.1%)	736	(51.2%)
		【儀式的行事】始業式	792	(16.9%)	885	(20.2%)	373	(26.0%)
		【儀式的行事】終業式	789	(16.9%)	873	(19.9%)	369	(25.7%)
		【儀式的行事】修了式	716	(15.3%)	772	(17.6%)	189	(13.2%)
		【儀式的行事】立志式	171	(3.7%)	311	(7.1%)	66	(4.6%)
		【儀式的行事】開校記念に関する儀式	447	(9.6%)	389	(8.9%)	219	(15.2%)
		【儀式的行事】教職員の着任式・離任式	578	(12.4%)	662	(15.1%)	272	(18.9%)
		【儀式的行事】新入生との対面式	346	(7.4%)	531	(12.1%)	209	(14.5%)
		【儀式的行事】朝会	324	(6.9%)	367	(8.4%)	133	(9.3%)
		【儀式的行事】その他	93	(2.0%)	102	(2.3%)	44	(3.1%)
		【文化的行事】学芸会	552	(11.8%)	293	(6.7%)	88	(6.1%)
		【文化的行事】文化祭	440	(9.4%)	1,650	(37.7%)	713	(49.6%)
		【文化的行事】学習発表会	1,151	(24.6%)	517	(11.8%)	142	(9.9%)
		【文化的行事】展覧会	340	(7.3%)	232	(5.3%)	69	(4.8%)
		【文化的行事】作品展示・発表会	466	(10.0%)	309	(7.1%)	102	(7.1%)
		【文化的行事】音楽会	794	(17.0%)	673	(15.4%)	82	(5.7%)
		【文化的行事】読書感想発表会	189	(4.0%)	199	(4.5%)	58	(4.0%)
		【文化的行事】クラブ発表会	215	(4.6%)	212	(4.8%)	70	(4.9%)
		【文化的行事】音楽鑑賞会	207	(4.4%)	227	(5.2%)	86	(6.0%)
		【文化的行事】映画や演劇の鑑賞会	184	(3.9%)	204	(4.7%)	106	(7.4%)
		【文化的行事】美術館見学会	135	(2.9%)	178	(4.1%)	50	(3.5%)
		【文化的行事】地域の伝統文化等の鑑賞会	185	(4.0%)	224	(5.1%)	74	(5.1%)
		【文化的行事】伝統芸能等の鑑賞会	163	(3.5%)	206	(4.7%)	78	(5.4%)
		【文化的行事】その他	98	(2.1%)	123	(2.8%)	43	(3.0%)
	(Q45-3 4.で「はい」と答えた場合)その学校行事を選択してください(複数選択)	【健康安全・体育的行事】健康診断	958	(20.5%)	1,010	(23.1%)	408	(28.4%)
		【健康安全・体育的行事】薬物乱用防止指導	416	(8.9%)	604	(13.8%)	275	(19.1%)
		【健康安全・体育的行事】防犯指導	454	(9.7%)	514	(11.7%)	214	(14.9%)
		【健康安全・体育的行事】交通安全指導	577	(12.3%)	583	(13.3%)	275	(19.1%)
		【健康安全・体育的行事】運動会(体育祭)	1,980	(42.3%)	1,843	(42.1%)	585	(40.7%)
		【健康安全・体育的行事】競技会	359	(7.7%)	314	(7.2%)	153	(10.6%)
		【健康安全・体育的行事】球技大会	284	(6.1%)	404	(9.2%)	315	(21.9%)
		【健康安全・体育的行事】避難訓練	826	(17.7%)	870	(19.9%)	336	(23.4%)
		【健康安全・体育的行事】健康・安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事	285	(6.1%)	349	(8.0%)	139	(9.7%)
		【健康安全・体育的行事】その他	78	(1.7%)	83	(1.9%)	36	(2.5%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】遠足	928	(19.8%)	676	(15.4%)	332	(23.1%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】修学旅行	1,594	(34.1%)	1,930	(44.1%)	622	(43.3%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】移動教室	471	(10.1%)	391	(8.9%)	100	(7.0%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】野外活動	610	(13.0%)	590	(13.5%)	123	(8.6%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】集団宿泊活動	1,118	(23.9%)	902	(20.6%)	175	(12.2%)
		【遠足(旅行)・宿泊的行事】その他	64	(1.4%)	81	(1.8%)	36	(2.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】飼育栽培活動	465	(9.9%)	215	(4.9%)	75	(5.2%)
		【勤労生産・奉仕的行事】校内美化活動	483	(10.3%)	510	(11.6%)	191	(13.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】地域社会の清掃活動	280	(6.0%)	357	(8.1%)	137	(9.5%)
		【勤労生産・奉仕的行事】公共施設等の清掃活動	226	(4.8%)	248	(5.7%)	85	(5.9%)
		【勤労生産・奉仕的行事】福祉施設との交流活動	230	(4.9%)	273	(6.2%)	91	(6.3%)
		【勤労生産・奉仕的行事】職場体験活動	263	(5.6%)	984	(22.5%)	232	(16.1%)
		【勤労生産・奉仕的行事】各種の生産活動	176	(3.8%)	197	(4.5%)	71	(4.9%)
		【勤労生産・奉仕的行事】上級学校や職場の訪問・見学	211	(4.5%)	442	(10.1%)	181	(12.6%)
		【勤労生産・奉仕的行事】学校内外のボランティア活動	251	(5.4%)	348	(7.9%)	146	(10.2%)
		【勤労生産・奉仕的行事】その他	82	(1.8%)	95	(2.2%)	39	(2.7%)
		無回答	672	(14.4%)	671	(15.3%)	121	(8.4%)
		回答件数	4,678	—	4,381	—	1,437	—

教員調査			小学校		中学校		高等学校	
Q45-4	Q45-3 2.で「はい」又はQ45-3 4.で「はい」と回答した場合、さらなる学校行事の精選等、準備（練習を含む）の簡素化や縮減をすべきと考えているものの、それが困難であると考えるのはなぜですか	既に学校行事の精選等、準備（練習を含む）の簡素化や縮減に向けた十分な取組を実施しているため	1,180	(15.2%)	1,170	(16.2%)	356	(13.6%)
		いままで実施してきた取組・慣行はなかなか見直しづらい等、所属する学校の文化等により難しいため	2,984	(38.3%)	3,265	(45.1%)	1,389	(53.2%)
		地域の理解が必要となるため	346	(4.4%)	217	(3.0%)	43	(1.6%)
		保護者の理解が必要となるため	1,586	(20.4%)	781	(10.8%)	196	(7.5%)
		児童生徒の理解が必要となるため	174	(2.2%)	325	(4.5%)	203	(7.8%)
		その他	227	(2.9%)	263	(3.6%)	111	(4.2%)
		無回答	1,285	(16.5%)	1,215	(16.8%)	315	(12.1%)
		合計	7,782	(100.0%)	7,236	(100.0%)	2,613	(100.0%)
Q45-5	仮に今よりも業務時間が短縮された場合、空いた時間をどのように使いたいですか	更なる授業準備や教材研究等に充てたい	5,603	(31.5%)	4,140	(23.7%)	1,940	(28.0%)
		職務としての研修（教育センターでの受講や校内研修）に充てたい	349	(2.0%)	317	(1.8%)	127	(1.8%)
		自己研鑽に充てたい	2,642	(14.9%)	2,761	(15.8%)	1,524	(22.0%)
		業務外のプライベートの時間を充実させたい	8,715	(49.1%)	9,731	(55.7%)	3,129	(45.1%)
		その他	229	(1.3%)	304	(1.7%)	128	(1.8%)
		無回答	224	(1.3%)	222	(1.3%)	91	(1.3%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
Q46	今回の調査の回答に要した1週間分の合計時間はどれくらいですか	30分以下	46	(0.3%)	17	(0.1%)	0	(0.0%)
		31～60分	855	(4.8%)	676	(3.9%)	294	(4.2%)
		61～90分	2,152	(12.1%)	2,148	(12.3%)	982	(14.2%)
		91～120分	2,094	(11.8%)	2,181	(12.5%)	945	(13.6%)
		121～150分	1,475	(8.3%)	1,517	(8.7%)	621	(8.9%)
		151～180分	1,060	(6.0%)	1,064	(6.1%)	432	(6.2%)
		181～210分	504	(2.8%)	571	(3.3%)	212	(3.1%)
		211～240分	441	(2.5%)	493	(2.8%)	117	(1.7%)
		241～270分	254	(1.4%)	284	(1.6%)	8	(0.1%)
		271～300分	8	(0.0%)	20	(0.1%)	0	(0.0%)
		無回答	8,873	(50.0%)	8,504	(48.7%)	3,328	(48.0%)
		合計	17,762	(100.0%)	17,475	(100.0%)	6,939	(100.0%)
		（参考1）8月の教諭（主幹教諭及び指導教諭含む）平均 （単位：分）	97	—	103	—	105	—
		（参考2）10・11月の教諭（主幹教諭及び指導教諭含む）平均 （単位：分）	134	—	137	—	125	—

3.業務記録集計表

平日・出退勤時刻・休憩時間の平均　学校種・職名別

学校種	職名	出勤時刻	退勤時刻	休憩時間※
小学校	校長	7時23分	18時13分	18分
	副校長・教頭	7時05分	19時09分	12分
	主幹教諭	7時29分	18時41分	7分
	指導教諭	7時35分	18時34分	8分
	教諭	7時32分	18時28分	5分
	教諭・計	7時32分	18時28分	5分
	講師	7時37分	18時12分	7分
	養護教諭	7時45分	17時51分	10分
	栄養教諭	7時50分	18時10分	9分
中学校	校長	7時26分	18時15分	22分
	副校長・教頭	7時05分	19時09分	15分
	主幹教諭	7時29分	18時52分	8分
	指導教諭	7時28分	18時46分	10分
	教諭	7時33分	18時51分	7分
	教諭・計	7時33分	18時51分	7分
	講師	7時40分	18時34分	11分
	養護教諭	7時45分	18時02分	11分
	栄養教諭	7時50分	18時09分	9分
高等学校	校長	7時43分	18時04分	30分
	副校長・教頭	7時51分	19時18分	23分
	主幹教諭	8時00分	18時50分	22分
	指導教諭	7時37分	18時20分	23分
	教諭	8時00分	18時41分	24分
	教諭・計	7時37分	18時40分	9分
	講師	8時15分	18時47分	26分
	養護教諭	8時17分	18時00分	12分
	栄養教諭	7時56分	19時13分	41分
	実習助手	8時02分	18時05分	28分

※出勤時刻から退勤時刻内及び所定の休憩時間内にとった休憩時間（休憩・休息、校務と関係のない雑談等）の合計（1分単位）

①教員全体

時間:分

小学校 （n=11,569）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:39	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:37	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:19	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:06	0:14	0:09	0:15
d 学習指導	0:18	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:22	0:03	0:03	0:04
f1 生徒指導（集団１）	0:51	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:08	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:00	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:16	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:17	0:01	0:01	0:01
l 学校経営	0:36	0:01	0:02	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:08	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:06	0:01	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:30	0:04	0:03	0:03
o 校内研修	0:09	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:08	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:10	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:04	0:02	0:00	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:43	0:33	0:36	0:31

中学校 （n=11,675）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:43	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:50	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:21	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:14	0:10	0:09	0:11
d 学習指導	0:12	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:31	0:04	0:10	0:10
f1 生徒指導（集団１）	0:44	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:10	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:15	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:32	0:00	1:18	0:12
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:14	0:00	0:03	0:00
k 学年・学級経営	0:23	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	0:32	0:01	0:02	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:08	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:07	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:33	0:03	0:04	0:02
o 校内研修	0:05	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:03	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:07	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:12	0:01	0:02	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:04
x 休憩・休息等	0:06	0:02	0:01	0:01
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	10:55	0:29	2:05	0:44

高等学校 （n=4,538）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:33	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:33	0:00	0:03	0:00
b2 授業（補助）	0:20	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:56	0:11	0:07	0:11
d 学習指導	0:20	0:00	0:04	0:00
e 成績処理	0:27	0:02	0:04	0:05
f1 生徒指導（集団１）	0:10	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:20	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:03	1:16	0:14
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:10	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:13	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:35	0:01	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:08	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:27	0:02	0:03	0:02
o 校内研修	0:02	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:06	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:11	0:01	0:06	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:20	0:02	0:02	0:02
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	10:03	0:27	2:05	0:41

②校長

時間:分

小学校 (n=532)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:22	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:02	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:05	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:01	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:03	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:01	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:21	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:02	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:21	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	3:54	0:04	0:07	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:27	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:14	0:00	0:01	0:01
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:18	0:03	0:08	0:03
o 校内研修	0:19	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:13	0:00	0:04	0:00
q 地域対応	0:10	0:00	0:09	0:02
r 行政・関係団体対応	0:17	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:22	0:01	0:00	0:00
t 会議	0:34	0:01	0:01	0:00
u その他の校務	0:34	0:01	0:04	0:03
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:04	0:00	0:06
x 休憩・休息等	0:17	0:00	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:23	0:16	0:49	0:15

中学校 (n=458)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:25	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:00	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:00	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:10	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:07	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:00	0:11	0:02
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:13	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:04	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	3:23	0:03	0:07	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:29	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:34	0:00	0:01	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:15	0:00	0:01	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:32	0:03	0:09	0:03
o 校内研修	0:14	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:00	0:03	0:00
q 地域対応	0:08	0:00	0:11	0:02
r 行政・関係団体対応	0:24	0:00	0:03	0:00
s 校務としての研修	0:21	0:01	0:02	0:00
t 会議	0:49	0:02	0:01	0:00
u その他の校務	0:34	0:02	0:07	0:02
v 職専免研修	0:02	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:03	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:20	0:01	0:01	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:09	0:17	1:07	0:16

高等学校 （n=95）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:23	0:00	0:01	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:01	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:02	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:01	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:03	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:01	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:07	0:04
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:01	0:00
j 学校行事	0:11	0:00	0:08	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	2:35	0:01	0:08	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:29	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:39	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:14	0:00	0:01	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:02	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:40	0:02	0:12	0:02
o 校内研修	0:14	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:00	0:06	0:00
q 地域対応	0:03	0:00	0:05	0:00
r 行政・関係団体対応	0:26	0:00	0:03	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:03	0:00
t 会議	0:57	0:02	0:13	0:06
u その他の校務	0:59	0:06	0:21	0:06
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:26	0:00	0:03	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	9:37	0:16	1:37	0:24

③副校長・教頭

時間：分

小学校（n=628）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:29	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:33	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:12	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:06	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:07	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:01	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:17	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:16	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:16	0:00	0:05	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	2:55	0:04	0:07	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:21	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:25	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:33	0:01	0:02	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:05	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	2:45	0:07	0:18	0:07
o 校内研修	0:13	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:35	0:00	0:05	0:00
q 地域対応	0:10	0:00	0:08	0:00
r 行政・関係団体対応	0:14	0:00	0:01	0:00
s 校務としての研修	0:14	0:00	0:01	0:00
t 会議	0:10	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:29	0:01	0:01	0:00
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:11	0:00	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	11:45	0:20	0:59	0:16

中学校（n=642）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:33	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:26	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:05	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:08	0:00	0:01	0:00
d 学習指導	0:04	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:04	0:00	0:01	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:09	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:00	0:11	0:03
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:08	0:00	0:01	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	2:41	0:03	0:09	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:26	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:27	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:40	0:01	0:01	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:05	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	3:19	0:06	0:21	0:04
o 校内研修	0:10	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:23	0:00	0:06	0:01
q 地域対応	0:07	0:00	0:08	0:01
r 行政・関係団体対応	0:18	0:00	0:03	0:00
s 校務としての研修	0:14	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:16	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:31	0:01	0:04	0:02
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:04
x 休憩・休息等	0:15	0:01	0:01	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	11:42	0:17	1:16	0:18

高等学校 （n=187）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:40	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:16	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:02	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:09	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:02	0:00	0:02	0:00
e 成績処理	0:01	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:02	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:07	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:07	0:04
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:07	0:00	0:02	0:00
k 学年・学級経営	0:04	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	3:02	0:05	0:07	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:31	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:34	0:00	0:02	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:40	0:01	0:03	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	2:52	0:07	0:24	0:11
o 校内研修	0:11	0:00	0:01	0:01
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:11	0:00	0:04	0:00
q 地域対応	0:03	0:00	0:02	0:01
r 行政・関係団体対応	0:11	0:00	0:04	0:00
s 校務としての研修	0:11	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:18	0:01	0:01	0:00
u その他の校務	0:24	0:02	0:09	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:03	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:20	0:00	0:02	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:56	0:21	1:18	0:25

④教諭(主幹教諭、指導教諭を含む。以下、教諭(合計)と記す。)

時間:分

小学校 (n=8,958)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:41	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	4:13	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:20	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:16	0:17	0:10	0:17
d 学習指導	0:21	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:25	0:04	0:04	0:05
f1 生徒指導（集団１）	0:56	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:04	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:00	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:00	0:04	0:01
k 学年・学級経営	0:19	0:02	0:01	0:01
l 学校経営	0:17	0:01	0:02	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:01	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:15	0:03	0:02	0:03
o 校内研修	0:09	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:08	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:03	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:05	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:03	0:02	0:00	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:45	0:37	0:36	0:36

中学校 (n=9,164)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:44	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:16	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:23	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:23	0:12	0:11	0:12
d 学習指導	0:13	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:36	0:05	0:12	0:12
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:14	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:00	1:29	0:13
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:00	0:03	0:00
k 学年・学級経営	0:27	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	0:17	0:01	0:02	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:03	0:03	0:02
o 校内研修	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:07	0:01	0:02	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:04
x 休憩・休息等	0:04	0:02	0:01	0:01
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	11:01	0:32	2:18	0:49

高等学校 （n=3,656）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:34	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:54	0:00	0:04	0:00
b2 授業（補助）	0:18	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:04	0:12	0:08	0:14
d 学習指導	0:22	0:01	0:05	0:00
e 成績処理	0:31	0:02	0:05	0:06
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:20	0:00	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:40	0:03	1:23	0:15
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:10	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:15	0:00	0:01	0:00
l 学校経営	0:24	0:01	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:01	0:02	0:01
o 校内研修	0:02	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:08	0:01	0:06	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:19	0:02	0:02	0:02
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	10:06	0:29	2:14	0:46

⑤主幹教諭

時間:分

小学校（n=307）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:38	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:56	0:00	0:03	0:00
b2 授業（補助）	0:24	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:56	0:16	0:05	0:18
d 学習指導	0:23	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:21	0:03	0:04	0:07
f1 生徒指導（集団１）	0:46	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:06	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:07	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:00	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:22	0:00	0:04	0:01
k 学年・学級経営	0:15	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	1:14	0:03	0:09	0:04
m1 職員会議・学年会などの会議	0:25	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:12	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:06	0:01	0:00	0:01
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:44	0:06	0:03	0:05
o 校内研修	0:09	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:02	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:11	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:11	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:04	0:00	0:11
x 休憩・休息等	0:03	0:00	0:00	0:00
y その他	0:01	0:01	0:00	0:01
合計	11:00	0:40	0:44	0:46

中学校（n=373）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:42	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:46	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:24	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:12	0:08	0:09	0:11
d 学習指導	0:12	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:41	0:05	0:12	0:15
f1 生徒指導（集団１）	0:41	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:06	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:10	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:36	0:00	1:37	0:11
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:12	0:00	0:00	0:00
k 学年・学級経営	0:17	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	0:51	0:03	0:07	0:05
m1 職員会議・学年会などの会議	0:26	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:10	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:06	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:34	0:04	0:05	0:03
o 校内研修	0:05	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:07	0:00	0:02	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:01	0:00
t 会議	0:07	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:11	0:01	0:01	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:03	0:00	0:07
x 休憩・休息等	0:06	0:00	0:01	0:01
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	11:05	0:30	2:31	0:53

高等学校 （n=97）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:28	0:00	0:01	0:00
b1 授業（主担当）	2:19	0:00	0:06	0:00
b2 授業（補助）	0:14	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:47	0:14	0:11	0:21
d 学習指導	0:11	0:00	0:03	0:00
e 成績処理	0:24	0:02	0:05	0:01
f1 生徒指導（集団１）	0:07	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:01	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:16	0:00	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:34	0:01	1:28	0:12
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:00	0:01	0:00
j 学校行事	0:17	0:03	0:08	0:03
k 学年・学級経営	0:06	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	1:07	0:03	0:08	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:34	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:12	0:00	0:01	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:51	0:03	0:07	0:04
o 校内研修	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:04	0:00	0:04	0:00
q 地域対応	0:02	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:01	0:00
s 校務としての研修	0:02	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:08	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:10	0:02	0:11	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:03	0:00	0:06
x 休憩・休息等	0:21	0:04	0:03	0:11
y その他	0:01	0:01	0:00	0:01
合計	10:21	0:37	2:45	0:53

⑥指導教諭

時間:分

小学校（n=67）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:37	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:07	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:29	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:01	0:12	0:03	0:16
d 学習指導	0:22	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:22	0:02	0:02	0:03
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:00	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:13	0:00	0:10	0:00
k 学年・学級経営	0:13	0:01	0:02	0:02
l 学校経営	0:37	0:01	0:04	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:10	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:38	0:04	0:08	0:03
o 校内研修	0:19	0:00	0:01	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:10	0:00	0:02	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:22	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:12	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:11	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:05	0:00	0:09
x 休憩・休息等	0:05	0:01	0:00	0:00
y その他	0:01	0:00	0:00	0:00
合計	10:44	0:28	0:40	0:27

中学校（n=62）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:40	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:50	0:00	0:03	0:00
b2 授業（補助）	0:13	0:00	0:01	0:00
c 授業準備	1:24	0:14	0:11	0:16
d 学習指導	0:14	0:00	0:01	0:00
e 成績処理	0:28	0:01	0:09	0:14
f1 生徒指導（集団１）	0:44	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:07	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:08	0:00	0:00	0:02
h 部活動・クラブ活動	0:32	0:02	1:14	0:17
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:01	0:00	0:00
j 学校行事	0:07	0:00	0:00	0:03
k 学年・学級経営	0:21	0:01	0:00	0:03
l 学校経営	0:49	0:01	0:09	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:23	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:15	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:01	0:01	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:29	0:02	0:00	0:02
o 校内研修	0:06	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:18	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:11	0:00	0:04	0:00
u その他の校務	0:11	0:03	0:05	0:02
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01	0:10
x 休憩・休息等	0:06	0:00	0:00	0:00
y その他	0:01	0:00	0:00	0:00
合計	10:56	0:35	2:07	1:08

高等学校 （n=21）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:30	0:00	0:02	0:00
b1 授業（主担当）	3:08	0:00	0:22	0:00
b2 授業（補助）	0:18	0:00	0:02	0:00
c 授業準備	1:22	0:18	0:08	0:11
d 学習指導	0:23	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:49	0:30	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:06	0:01	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:16	0:02	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:32	0:04	1:18	0:30
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:00	0:08	0:00
k 学年・学級経営	0:04	0:00	0:03	0:00
l 学校経営	1:14	0:07	0:00	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:05	0:00	0:00	0:00
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:04	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:04	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:29	0:03	0:05	0:20
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:00	0:00	0:12
x 休憩・休息等	0:16	0:05	0:04	0:00
y その他	0:01	0:01	0:02	0:00
合計	10:17	1:10	2:14	1:02

⑦教諭

時間:分

小学校（n=8584）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:41	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	4:16	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:20	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:17	0:17	0:11	0:17
d 学習指導	0:20	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:26	0:04	0:04	0:05
f1 生徒指導（集団１）	0:57	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:04	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:00	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:00	0:04	0:01
k 学年・学級経営	0:20	0:02	0:01	0:01
l 学校経営	0:14	0:01	0:01	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:01	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:14	0:03	0:02	0:03
o 校内研修	0:09	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:08	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:05	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:03	0:02	0:00	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:45	0:37	0:35	0:35

中学校（n=8729）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:44	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:18	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:23	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:24	0:12	0:11	0:12
d 学習指導	0:13	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:36	0:05	0:12	0:12
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:15	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:00	1:29	0:13
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:00	0:03	0:00
k 学年・学級経営	0:27	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	0:16	0:01	0:02	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:16	0:03	0:03	0:02
o 校内研修	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:07	0:01	0:02	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:04
x 休憩・休息等	0:04	0:02	0:01	0:01
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	11:00	0:32	2:17	0:49

高等学校 （n=3,538）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:34	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:55	0:00	0:04	0:00
b2 授業（補助）	0:18	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:05	0:12	0:08	0:13
d 学習指導	0:22	0:01	0:05	0:00
e 成績処理	0:31	0:02	0:05	0:06
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:20	0:00	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:40	0:03	1:23	0:15
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:09	0:00	0:04	0:00
k 学年・学級経営	0:15	0:00	0:01	0:00
l 学校経営	0:23	0:00	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:17	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:16	0:01	0:02	0:01
o 校内研修	0:02	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:08	0:01	0:05	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:19	0:02	0:02	0:02
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	10:05	0:29	2:13	0:46

⑧講師

時間:分

小学校 (n=920)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:38	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	4:06	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:34	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:23	0:14	0:06	0:14
d 学習指導	0:20	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:25	0:03	0:03	0:03
f1 生徒指導（集団１）	0:54	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:04	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:00	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:12	0:00	0:01	0:00
k 学年・学級経営	0:14	0:01	0:01	0:00
l 学校経営	0:07	0:00	0:00	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:15	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:04	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:01	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:11	0:02	0:00	0:02
o 校内研修	0:07	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:04	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:03	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:04	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:01	0:00	0:03
x 休憩・休息等	0:04	0:03	0:00	0:02
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:18	0:27	0:20	0:23

中学校 (n=915)	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:43	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:06	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:37	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:38	0:11	0:06	0:11
d 学習指導	0:14	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:33	0:03	0:07	0:07
f1 生徒指導（集団１）	0:47	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:06	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:10	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:39	0:01	1:22	0:14
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:16	0:00	0:02	0:00
k 学年・学級経営	0:17	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:06	0:00	0:00	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:14	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:03	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:13	0:02	0:01	0:02
o 校内研修	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:04	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:06	0:00	0:01	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:02
x 休憩・休息等	0:06	0:02	0:01	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:27	0:26	1:53	0:39

高等学校 （n=268）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:30	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:44	0:00	0:02	0:00
b2 授業（補助）	0:25	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:21	0:10	0:09	0:06
d 学習指導	0:19	0:00	0:05	0:00
e 成績処理	0:35	0:01	0:03	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:14	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:09	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:51	0:04	1:30	0:17
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:11	0:00	0:05	0:00
k 学年・学級経営	0:07	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:20	0:01	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:12	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:02	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:16	0:01	0:01	0:00
o 校内研修	0:02	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00	0:02
s 校務としての研修	0:01	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:03	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:08	0:01	0:05	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:04	0:02	0:01	0:05
x 休憩・休息等	0:26	0:03	0:02	0:00
y その他	0:01	0:00	0:00	0:00
合計	9:53	0:25	2:10	0:29

⑨養護教諭

時間:分

小学校（n=442）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:47	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:02	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:01	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:08	0:00	0:01	0:00
d 学習指導	0:01	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:32	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	2:33	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:43	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:07	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:24	0:00	0:04	0:01
k 学年・学級経営	0:12	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:46	0:01	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:14	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:13	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:11	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:02	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:32	0:06	0:05	0:03
o 校内研修	0:05	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:04	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:11	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:45	0:02	0:01	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:02	0:00	0:05
x 休憩・休息等	0:08	0:01	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	9:53	0:16	0:22	0:08

中学校（n=440）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:47	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:01	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:06	0:00	0:00	0:02
d 学習指導	0:01	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:29	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	2:23	0:00	0:01	0:00
g 生徒指導（個別）	1:12	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:09	0:00	0:16	0:02
i 児童会・生徒会指導	0:07	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:13	0:00	0:01	0:00
k 学年・学級経営	0:09	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:35	0:01	0:00	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:19	0:01	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:12	0:01	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:03	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:37	0:06	0:02	0:02
o 校内研修	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:03	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:10	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:07	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:32	0:01	0:02	0:01
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:01	0:01	0:03
x 休憩・休息等	0:11	0:00	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	9:53	0:17	0:29	0:12

高等学校 （n=106）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:30	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:00	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:01	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:13	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	1:46	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	2:04	0:00	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:09	0:01	0:17	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:16	0:00	0:05	0:00
k 学年・学級経営	0:04	0:00	0:02	0:00
l 学校経営	0:41	0:00	0:02	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:13	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:31	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:15	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	1:31	0:04	0:01	0:02
o 校内研修	0:03	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:04	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:03	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:28	0:01	0:00	0:00
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:00	0:00	0:01
x 休憩・休息等	0:24	0:00	0:01	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	9:19	0:11	0:34	0:05

⑩栄養教諭

時間:分

小学校（n=89）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:12	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:12	0:00	0:01	0:00
b2 授業（補助）	0:11	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:40	0:04	0:04	0:06
d 学習指導	0:01	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:02	0:00	0:00	0:01
f1 生徒指導（集団１）	1:04	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:01	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:03	0:00	0:02	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:01
l 学校経営	1:36	0:02	0:02	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:10	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:01	0:02	0:02
n2 事務（学納金関連）	0:06	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	2:02	0:07	0:03	0:07
o 校内研修	0:06	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:02	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:15	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:20	0:01	0:00	0:00
u その他の校務	2:31	0:08	0:01	0:09
v 職専免研修	0:03	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:02	0:05
x 休憩・休息等	0:09	0:00	0:00	0:00
y その他	0:01	0:00	0:00	0:00
合計	10:06	0:27	0:19	0:31

中学校（n=56）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:21	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:04	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	0:08	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:16	0:05	0:00	0:13
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:48	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:01	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:00	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:04	0:00	0:00	0:00
k 学年・学級経営	0:02	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:47	0:01	0:00	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:07	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:03	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:07	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:10	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	2:16	0:08	0:04	0:03
o 校内研修	0:01	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:02	0:00
r 行政・関係団体対応	0:04	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:01	0:06	0:00
t 会議	0:16	0:01	0:00	0:00
u その他の校務	4:05	0:09	0:03	0:06
v 職専免研修	0:03	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:12	0:00	0:03	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:09	0:29	0:16	0:28

高等学校 （n=1）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:00	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	1:30	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:00	0:00	0:00	0:00
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:24	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:06	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	3:00	0:12	4:15	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	1:12	0:00	0:00	0:00
k 学年・学級経営	0:00	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:00	0:00	0:00	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:18	0:00	0:00	0:00
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:00	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	3:45
x 休憩・休息等	0:36	0:00	0:15	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:30	0:12	4:15	0:00

⑪実習助手

時間：分

高等学校（n=225）	平日		土日	
	在校等時間	持ち帰り時間	在校等時間	持ち帰り時間
a 朝の業務	0:27	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	1:00	0:00	0:00	0:00
b2 授業（補助）	1:17	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:22	0:03	0:02	0:00
d 学習指導	0:21	0:00	0:01	0:00
e 成績処理	0:03	0:00	0:00	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:06	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:44	0:04	0:55	0:14
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:10	0:00	0:03	0:00
k 学年・学級経営	0:03	0:00	0:00	0:00
l 学校経営	0:48	0:00	0:03	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:10	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:02	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:06	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:27	0:01	0:00	0:02
o 校内研修	0:01	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:00	0:02	0:00
s 校務としての研修	0:03	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:27	0:01	0:03	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:08	0:03	0:00	0:04
x 休憩・休息等	0:29	0:02	0:01	0:00
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	9:14	0:16	1:17	0:19

⑫特別支援学級の担任教諭（合計）・在校等時間

時間：分

小学校	平日		土日	
	教諭（合計）	特別支援学級の担任教諭	教諭（合計）	特別支援学級の担任教諭
回答数	**8,958**	**1,331**	**8,958**	**1,331**
a 朝の業務	0:41	0:42	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	4:13	4:11	0:02	0:01
b2 授業（補助）	0:20	0:38	0:00	0:00
c 授業準備	1:16	1:04	0:10	0:07
d 学習指導	0:21	0:18	0:00	0:00
e 成績処理	0:25	0:09	0:04	0:01
f1 生徒指導（集団１）	0:56	1:04	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:02	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:04	0:04	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:02	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:02	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:13	0:04	0:03
k 学年・学級経営	0:19	0:18	0:01	0:01
l 学校経営	0:17	0:12	0:02	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:19	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:07	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:05	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:15	0:18	0:02	0:03
o 校内研修	0:09	0:08	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:06	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:08	0:06	0:00	0:00
t 会議	0:03	0:03	0:00	0:00
u その他の校務	0:05	0:05	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:03	0:03	0:00	0:00
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:45	10:31	0:36	0:28

中学校	平日		土日	
	教諭（合計）	特別支援学級の担任教諭	教諭（合計）	特別支援学級の担任教諭
回答数	**9,164**	**921**	**9,164**	**921**
a 朝の業務	0:44	0:45	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:16	3:14	0:01	0:01
b2 授業（補助）	0:23	0:45	0:00	0:00
c 授業準備	1:23	1:12	0:11	0:07
d 学習指導	0:13	0:15	0:00	0:00
e 成績処理	0:36	0:20	0:12	0:05
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:52	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:04	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:14	0:11	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:34	1:29	1:13
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:03	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:14	0:03	0:04
k 学年・学級経営	0:27	0:19	0:02	0:01
l 学校経営	0:17	0:09	0:02	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:18	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:06	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:05	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:02	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:18	0:03	0:03
o 校内研修	0:04	0:04	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:06	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:08	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:05	0:00	0:00
u その他の校務	0:07	0:07	0:02	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:04	0:05	0:01	0:00
y その他	0:01	0:01	0:00	0:00
合計	11:01	10:32	2:18	1:49

⑬教諭（合計）・学級担任の有無別・在校等時間

時間：分

小学校	平日		土日	
	学級担任をしている	学級担任をしていない	学級担任をしている	学級担任をしていない
回答数	**7508**	**1430**	**7508**	**1430**
a 朝の業務	0:44	0:25	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	4:29	2:51	0:03	0:01
b2 授業（補助）	0:17	0:36	0:00	0:00
c 授業準備	1:15	1:17	0:11	0:06
d 学習指導	0:21	0:20	0:00	0:00
e 成績処理	0:26	0:21	0:04	0:02
f1 生徒指導（集団１）	1:00	0:34	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:03	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:03	0:07	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:03	0:01	0:01
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:03	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:18	0:04	0:04
k 学年・学級経営	0:22	0:06	0:02	0:00
l 学校経営	0:10	0:52	0:01	0:05
m1 職員会議・学年会などの会議	0:20	0:17	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:09	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:06	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:11	0:36	0:02	0:03
o 校内研修	0:09	0:11	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:06	0:00	0:01
q 地域対応	0:00	0:01	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:00	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:07	0:11	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:06	0:00	0:00
u その他の校務	0:04	0:15	0:00	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:02	0:08	0:00	0:00
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:52	10:10	0:37	0:31

中学校	平日		土日	
	学級担任をしている	学級担任をしていない	学級担任をしている	学級担任をしていない
回答数	**5669**	**3461**	**5669**	**3461**
a 朝の業務	0:47	0:40	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	3:28	2:56	0:01	0:01
b2 授業（補助）	0:21	0:25	0:00	0:00
c 授業準備	1:22	1:25	0:12	0:09
d 学習指導	0:13	0:14	0:00	0:00
e 成績処理	0:36	0:36	0:12	0:11
f1 生徒指導（集団１）	0:52	0:44	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:05	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:18	0:09	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:35	1:36	1:19
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:04	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:14	0:03	0:03
k 学年・学級経営	0:34	0:16	0:03	0:02
l 学校経営	0:09	0:31	0:01	0:04
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:21	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:08	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:05	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:13	0:23	0:03	0:03
o 校内研修	0:04	0:05	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:13	0:04	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:09	0:00	0:00
t 会議	0:04	0:06	0:00	0:00
u その他の校務	0:05	0:10	0:02	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:03	0:07	0:01	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	11:11	10:44	2:25	2:05

高等学校	平日		土日	
	学級担任をしている	学級担任をしていない	学級担任をしている	学級担任をしていない
回答数	**1679**	**1956**	**1679**	**1956**
a 朝の業務	0:40	0:28	0:01	0:00
b1 授業（主担当）	3:05	2:45	0:05	0:03
b2 授業（補助）	0:15	0:20	0:00	0:00
c 授業準備	2:00	2:07	0:09	0:08
d 学習指導	0:22	0:22	0:06	0:03
e 成績処理	0:34	0:28	0:06	0:04
f1 生徒指導（集団１）	0:10	0:11	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:03	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:26	0:14	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:40	0:39	1:31	1:17
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:00	0:00
j 学校行事	0:10	0:09	0:05	0:04
k 学年・学級経営	0:26	0:05	0:01	0:00
l 学校経営	0:13	0:34	0:02	0:04
m1 職員会議・学年会などの会議	0:17	0:18	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:06	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:04	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:13	0:21	0:02	0:02
o 校内研修	0:01	0:02	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:01	0:01	0:00
q 地域対応	0:00	0:01	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:00	0:02	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:04	0:06	0:00	0:01
t 会議	0:04	0:06	0:00	0:01
u その他の校務	0:06	0:09	0:06	0:05
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:18	0:20	0:03	0:02
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:18	9:55	2:24	2:05

⑭教諭（合計）・クラス人数別（担任のみ）・在校等時間

時間：分

小学校	平日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**680**	**672**	**171**	**305**	**805**	**2006**	**1964**	**537**	**22**
a 朝の業務	0:42	0:42	0:40	0:43	0:44	0:45	0:45	0:45	0:50
b1 授業（主担当）	4:05	4:20	4:27	4:16	4:31	4:33	4:35	4:30	4:47
b2 授業（補助）	0:44	0:27	0:14	0:14	0:12	0:12	0:12	0:13	0:23
c 授業準備	1:01	1:09	1:17	1:18	1:21	1:15	1:17	1:19	1:09
d 学習指導	0:17	0:19	0:17	0:26	0:22	0:20	0:21	0:23	0:14
e 成績処理	0:09	0:09	0:17	0:26	0:27	0:31	0:32	0:31	0:41
f1 生徒指導（集団１）	1:02	1:05	1:06	1:05	1:02	1:00	0:58	0:58	0:51
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:03	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02	0:03	0:00
g 生徒指導（個別）	0:04	0:03	0:02	0:03	0:03	0:03	0:04	0:04	0:02
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:02	0:02	0:04	0:03	0:03	0:02	0:02	0:01
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:02	0:02	0:03	0:03	0:02	0:02	0:02	0:01
j 学校行事	0:12	0:12	0:14	0:18	0:14	0:15	0:15	0:21	0:04
k 学年・学級経営	0:17	0:20	0:24	0:24	0:23	0:23	0:23	0:23	0:27
l 学校経営	0:13	0:12	0:12	0:12	0:10	0:10	0:09	0:08	0:14
m1 職員会議・学年会などの会議	0:17	0:20	0:12	0:13	0:17	0:21	0:22	0:23	0:22
m2 個別の打ち合わせ	0:07	0:07	0:04	0:04	0:05	0:04	0:05	0:04	0:03
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:05	0:04	0:05	0:04	0:03	0:03	0:03	0:02
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:01	0:01	0:01	0:00	0:01	0:01
n3 事務（その他）	0:19	0:16	0:15	0:14	0:11	0:10	0:09	0:09	0:04
o 校内研修	0:08	0:08	0:11	0:09	0:09	0:09	0:10	0:07	0:11
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:06	0:05	0:06	0:05	0:06	0:07	0:07	0:07
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:02
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:07	0:06	0:11	0:11	0:08	0:08	0:07	0:08	0:09
t 会議	0:03	0:03	0:02	0:01	0:01	0:02	0:02	0:02	0:01
u その他の校務	0:06	0:04	0:04	0:04	0:03	0:03	0:03	0:03	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:03	0:02	0:03	0:02	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02
y その他	0:02	0:01	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02	0:01
合計	10:24	10:35	10:39	10:55	10:56	10:56	10:59	11:04	10:59

中学校	平日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**517**	**354**	**56**	**85**	**194**	**733**	**1924**	**1431**	**93**
a 朝の業務	0:44	0:44	0:44	0:52	0:47	0:48	0:48	0:49	0:42
b1 授業（主担当）	3:12	3:15	2:38	2:59	3:10	3:29	3:34	3:35	3:22
b2 授業（補助）	0:41	0:42	1:01	0:35	0:19	0:17	0:16	0:16	0:17
c 授業準備	1:18	1:11	1:28	1:26	1:34	1:24	1:21	1:23	1:28
d 学習指導	0:15	0:16	0:10	0:14	0:13	0:14	0:13	0:12	0:13
e 成績処理	0:18	0:20	0:19	0:26	0:29	0:33	0:42	0:41	0:41
f1 生徒指導（集団１）	0:52	0:52	0:49	0:51	0:50	0:56	0:53	0:50	0:47
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:04	0:03	0:05	0:04	0:06	0:05	0:05	0:05
g 生徒指導（個別）	0:09	0:13	0:15	0:20	0:19	0:15	0:20	0:21	0:17
h 部活動・クラブ活動	0:35	0:33	0:28	0:31	0:40	0:38	0:37	0:40	0:49
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:03	0:11	0:06	0:07	0:05	0:05	0:06	0:07
j 学校行事	0:13	0:18	0:15	0:18	0:15	0:18	0:14	0:16	0:20
k 学年・学級経営	0:18	0:22	0:30	0:34	0:40	0:36	0:38	0:36	0:38
l 学校経営	0:10	0:08	0:13	0:08	0:09	0:08	0:09	0:08	0:10
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:19	0:13	0:20	0:14	0:15	0:17	0:17	0:18
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:07	0:09	0:06	0:05	0:05	0:04	0:05	0:05
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:05	0:03	0:04	0:04	0:03	0:03	0:03	0:04
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:18	0:18	0:16	0:15	0:15	0:14	0:13	0:11	0:10
o 校内研修	0:05	0:03	0:06	0:04	0:04	0:05	0:04	0:03	0:06
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:07	0:08	0:08	0:12	0:15	0:15	0:15	0:17
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:02	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:07	0:09	0:09	0:12	0:09	0:10	0:07	0:05
t 会議	0:05	0:06	0:06	0:06	0:05	0:05	0:04	0:03	0:04
u その他の校務	0:09	0:05	0:06	0:07	0:05	0:05	0:06	0:04	0:07
v 職専免研修	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:01	0:01	0:01	0:00
x 休憩・休息等	0:05	0:06	0:04	0:02	0:03	0:02	0:02	0:02	0:01
y その他	0:01	0:01	0:01	0:01	0:02	0:01	0:02	0:01	0:01
合計	10:28	10:32	10:32	11:00	11:04	11:16	11:24	11:19	11:27

高等学校	平日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**25**	**50**	**59**	**63**	**87**	**124**	**255**	**802**	**172**
a 朝の業務	0:24	0:23	0:33	0:30	0:36	0:41	0:43	0:42	0:44
b1 授業（主担当）	2:02	2:12	2:25	2:39	2:44	3:02	3:11	3:14	3:10
b2 授業（補助）	0:18	0:12	0:20	0:19	0:13	0:15	0:17	0:14	0:15
c 授業準備	2:19	2:07	1:58	1:55	2:02	1:52	1:55	2:02	2:02
d 学習指導	0:18	0:14	0:12	0:14	0:16	0:25	0:22	0:23	0:27
e 成績処理	0:10	0:16	0:20	0:19	0:26	0:22	0:41	0:38	0:35
f1 生徒指導（集団１）	0:14	0:11	0:10	0:09	0:11	0:12	0:11	0:10	0:11
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:03	0:11	0:03	0:02	0:04	0:03	0:03	0:02
g 生徒指導（個別）	0:08	0:14	0:26	0:24	0:24	0:27	0:31	0:26	0:28
h 部活動・クラブ活動	0:08	0:29	0:32	0:24	0:30	0:47	0:41	0:43	0:43
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:00	0:03	0:00	0:01	0:01	0:00	0:01	0:02
j 学校行事	0:12	0:21	0:21	0:15	0:25	0:11	0:09	0:08	0:08
k 学年・学級経営	0:18	0:24	0:25	0:28	0:24	0:30	0:24	0:27	0:26
l 学校経営	0:38	0:27	0:18	0:20	0:13	0:15	0:13	0:11	0:10
m1 職員会議・学年会などの会議	0:17	0:15	0:14	0:20	0:18	0:19	0:18	0:17	0:16
m2 個別の打ち合わせ	0:13	0:04	0:10	0:09	0:07	0:05	0:05	0:04	0:04
n1 事務（調査への回答）	0:07	0:03	0:04	0:06	0:03	0:02	0:02	0:02	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:03	0:01	0:00	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:01
n3 事務（その他）	0:17	0:20	0:15	0:18	0:12	0:12	0:11	0:11	0:16
o 校内研修	0:01	0:01	0:02	0:02	0:03	0:00	0:01	0:01	0:01
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:01	0:02	0:04	0:08	0:09	0:04	0:05	0:05	0:05
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:04	0:00	0:03	0:09	0:02	0:03	0:04	0:05
t 会議	0:00	0:02	0:00	0:02	0:06	0:03	0:03	0:04	0:04
u その他の校務	0:09	0:15	0:02	0:05	0:06	0:06	0:05	0:06	0:06
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:01	0:00
w 自己研鑽	0:15	0:08	0:00	0:02	0:02	0:04	0:02	0:01	0:01
x 休憩・休息等	0:15	0:26	0:16	0:18	0:18	0:21	0:19	0:18	0:15
y その他	0:00	0:00	0:00	0:01	0:02	0:00	0:02	0:02	0:04
合計	8:34	8:50	9:20	9:28	9:55	10:10	10:30	10:31	10:39

時間：分

小学校	土日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**680**	**672**	**171**	**305**	**805**	**2006**	**1964**	**537**	**22**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:01	0:02	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:01	0:02	0:05	0:02	0:03	0:04	0:03	0:00
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:05	0:10	0:11	0:17	0:12	0:12	0:11	0:13	0:10
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
e 成績処理	0:00	0:01	0:03	0:03	0:03	0:05	0:06	0:05	0:08
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:01	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:02	0:03	0:06	0:05	0:02	0:04	0:05	0:05	0:00
k 学年・学級経営	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02	0:02	0:01	0:02	0:00
l 学校経営	0:02	0:02	0:01	0:03	0:01	0:01	0:01	0:00	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:01	0:03	0:01	0:03	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00
o 校内研修	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	0:21	0:31	0:38	0:53	0:33	0:38	0:39	0:41	0:22

中学校	土日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**517**	**354**	**56**	**85**	**194**	**733**	**1924**	**1431**	**93**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:00	0:02	0:01	0:01	0:02	0:01	0:01	0:02
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:07	0:08	0:13	0:12	0:13	0:13	0:11	0:13	0:23
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:06	0:06	0:05	0:04	0:09	0:11	0:15	0:15	0:11
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	1:12	1:09	1:22	1:16	1:36	1:39	1:39	1:48	2:14
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
j 学校行事	0:05	0:05	0:01	0:09	0:05	0:03	0:03	0:03	0:01
k 学年・学級経営	0:01	0:01	0:01	0:01	0:02	0:03	0:03	0:03	0:05
l 学校経営	0:01	0:01	0:04	0:00	0:00	0:01	0:02	0:01	0:03
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:03	0:01	0:05	0:06	0:02	0:03	0:03	0:02	0:02
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:01	0:01
q 地域対応	0:00	0:01	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:03
t 会議	0:01	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:01	0:01	0:01	0:04	0:01	0:03	0:03	0:01	0:04
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:01	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	1:50	1:44	2:06	2:05	2:18	2:30	2:32	2:41	3:19

高等学校	土日								
	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	41～45人
回答数	**25**	**50**	**59**	**63**	**87**	**124**	**255**	**802**	**172**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01
b1 授業（主担当）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:02	0:02	0:03	0:07	0:02
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:00	0:02	0:07	0:01	0:04	0:06	0:08	0:12	0:08
d 学習指導	0:00	0:03	0:00	0:04	0:06	0:02	0:10	0:06	0:11
e 成績処理	0:00	0:00	0:00	0:01	0:04	0:02	0:08	0:07	0:08
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:01	0:02
h 部活動・クラブ活動	0:13	0:33	0:55	0:32	1:13	1:41	1:33	1:37	1:58
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00	0:01	0:01
j 学校行事	0:10	0:03	0:01	0:11	0:05	0:00	0:01	0:06	0:05
k 学年・学級経営	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00	0:01	0:02	0:02	0:01
l 学校経営	0:00	0:00	0:06	0:08	0:00	0:00	0:04	0:01	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02	0:03
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:01
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
u その他の校務	0:00	0:13	0:02	0:00	0:03	0:04	0:07	0:06	0:05
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:00	0:02	0:01	0:02	0:02	0:01	0:03	0:03	0:03
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	0:24	0:57	1:16	1:04	1:46	2:07	2:31	2:40	2:57

⑮教諭（合計）・学年別（担任のみ）・在校等時間

時間：分

小学校	平日					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
回答数	**1023**	**965**	**922**	**916**	**936**	**1007**
a 朝の業務	0:46	0:44	0:44	0:45	0:44	0:44
b1 授業（主担当）	4:23	4:28	4:36	4:41	4:32	4:31
b2 授業（補助）	0:10	0:09	0:13	0:12	0:15	0:14
c 授業準備	1:14	1:14	1:16	1:17	1:20	1:21
d 学習指導	0:21	0:21	0:21	0:21	0:23	0:22
e 成績処理	0:36	0:31	0:29	0:29	0:28	0:27
f1 生徒指導（集団１）	1:06	1:01	1:00	0:57	0:59	0:57
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02
g 生徒指導（個別）	0:02	0:03	0:03	0:04	0:04	0:05
h 部活動・クラブ活動	0:02	0:02	0:02	0:02	0:04	0:04
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:02	0:02	0:02	0:02	0:03
j 学校行事	0:15	0:14	0:12	0:11	0:15	0:24
k 学年・学級経営	0:27	0:24	0:21	0:21	0:20	0:25
l 学校経営	0:09	0:10	0:09	0:08	0:09	0:11
m1 職員会議・学年会などの会議	0:21	0:20	0:19	0:18	0:21	0:21
m2 個別の打ち合わせ	0:03	0:04	0:04	0:04	0:05	0:05
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:03	0:03	0:04	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:01	0:01	0:01	0:01
n3 事務（その他）	0:09	0:10	0:09	0:11	0:11	0:11
o 校内研修	0:09	0:09	0:10	0:10	0:08	0:09
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:07	0:06	0:06	0:06	0:07	0:06
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:07	0:08	0:10	0:09	0:08	0:06
t 会議	0:02	0:02	0:01	0:02	0:02	0:02
u その他の校務	0:03	0:03	0:03	0:03	0:04	0:03
v 職専免研修	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00	0:01
x 休憩・休息等	0:01	0:01	0:01	0:02	0:01	0:02
y その他	0:02	0:02	0:02	0:03	0:02	0:02
合計	10:54	10:48	10:51	10:54	11:03	11:11

中学校	平日		
	1年生	2年生	3年生
回答数	**1479**	**1500**	**1507**
a 朝の業務	0:48	0:48	0:48
b1 授業（主担当）	3:30	3:31	3:33
b2 授業（補助）	0:16	0:17	0:16
c 授業準備	1:28	1:26	1:17
d 学習指導	0:13	0:12	0:13
e 成績処理	0:35	0:36	0:45
f1 生徒指導（集団１）	0:54	0:53	0:50
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:05	0:05
g 生徒指導（個別）	0:15	0:16	0:26
h 部活動・クラブ活動	0:39	0:40	0:36
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:07	0:06
j 学校行事	0:16	0:18	0:14
k 学年・学級経営	0:38	0:35	0:37
l 学校経営	0:08	0:09	0:09
m1 職員会議・学年会などの会議	0:15	0:16	0:18
m2 個別の打ち合わせ	0:04	0:05	0:05
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:03	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:12	0:12	0:13
o 校内研修	0:04	0:04	0:04
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:12	0:13	0:18
q 地域対応	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:01
s 校務としての研修	0:10	0:09	0:08
t 会議	0:03	0:04	0:04
u その他の校務	0:04	0:05	0:06
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01
x 休憩・休息等	0:02	0:02	0:03
y その他	0:02	0:02	0:01
合計	11:13	11:18	11:26

高等学校	平日		
	1年生	2年生	3年生
回答数	**535**	**516**	**532**
a 朝の業務	0:42	0:40	0:41
b1 授業（主担当）	3:02	3:08	3:08
b2 授業（補助）	0:16	0:15	0:14
c 授業準備	2:04	1:59	1:57
d 学習指導	0:20	0:18	0:28
e 成績処理	0:31	0:34	0:39
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:11	0:10
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:02	0:03
g 生徒指導（個別）	0:22	0:19	0:37
h 部活動・クラブ活動	0:46	0:41	0:36
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:00
j 学校行事	0:09	0:16	0:06
k 学年・学級経営	0:26	0:25	0:27
l 学校経営	0:16	0:14	0:10
m1 職員会議・学年会などの会議	0:16	0:19	0:17
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:05	0:04
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:02	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:01
n3 事務（その他）	0:12	0:12	0:13
o 校内研修	0:01	0:01	0:01
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:06	0:03
q 地域対応	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:03	0:03
t 会議	0:04	0:04	0:03
u その他の校務	0:06	0:06	0:06
v 職専免研修	0:00	0:01	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:01
x 休憩・休息等	0:18	0:18	0:17
y その他	0:02	0:02	0:02
合計	10:24	10:15	10:25

時間:分

小学校	土日					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
回答数	**1023**	**965**	**922**	**916**	**936**	**1007**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
b1 授業（主担当）	0:03	0:03	0:03	0:03	0:03	0:02
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:12	0:12	0:11	0:13	0:14	0:11
d 学習指導	0:01	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
e 成績処理	0:05	0:06	0:04	0:04	0:04	0:04
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:00	0:00	0:01	0:00	0:02	0:02
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:03	0:03	0:03	0:04	0:04	0:08
k 学年・学級経営	0:02	0:02	0:01	0:01	0:02	0:02
l 学校経営	0:01	0:01	0:01	0:00	0:01	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02	0:01
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01
x 休憩・休息等	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	0:35	0:37	0:34	0:39	0:42	0:40

中学校	土日		
	1年生	2年生	3年生
回答数	**1479**	**1500**	**1507**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:01	0:01
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:13	0:13	0:12
d 学習指導	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:14	0:12	0:16
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	1:40	1:38	1:46
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:01
j 学校行事	0:03	0:04	0:02
k 学年・学級経営	0:02	0:03	0:04
l 学校経営	0:00	0:02	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:02	0:02	0:03
o 校内研修	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:01
u その他の校務	0:02	0:02	0:03
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:01	0:01	0:01
y その他	0:00	0:00	0:00
合計	2:29	2:30	2:43

高等学校	土日		
	1年生	2年生	3年生
回答数	**535**	**516**	**532**
a 朝の業務	0:00	0:01	0:00
b1 授業（主担当）	0:04	0:03	0:07
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:09	0:09	0:09
d 学習指導	0:05	0:06	0:09
e 成績処理	0:06	0:03	0:09
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:01	0:00	0:02
h 部活動・クラブ活動	1:41	1:29	1:28
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:00
j 学校行事	0:02	0:08	0:03
k 学年・学級経営	0:02	0:01	0:01
l 学校経営	0:02	0:01	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:01	0:02	0:02
o 校内研修	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:04	0:04	0:09
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:02	0:03	0:03
y その他	0:00	0:00	0:00
合計	2:29	2:19	2:31

⑯中学校・高等学校教諭（合計）・部活顧問の有無別・在校等時間

時間：分

中学校	平日			土日		
	運動部顧問	文化部顧問	顧問をしていない	運動部顧問	文化部顧問	顧問をしていない
回答数	**6262**	**1752**	**727**	**6262**	**1752**	**727**
a 朝の業務	0:45	0:43	0:43	0:00	0:00	0:01
b1 授業（主担当）	3:19	3:14	2:56	0:01	0:01	0:01
b2 授業（補助）	0:21	0:25	0:30	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:24	1:18	1:24	0:11	0:12	0:07
d 学習指導	0:13	0:13	0:17	0:00	0:00	0:01
e 成績処理	0:35	0:39	0:36	0:12	0:15	0:07
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:50	0:46	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:05	0:05	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:14	0:14	0:16	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:41	0:34	0:04	1:50	0:47	0:12
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:05	0:04	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:17	0:11	0:03	0:03	0:03
k 学年・学級経営	0:28	0:24	0:21	0:02	0:02	0:01
l 学校経営	0:17	0:15	0:26	0:02	0:02	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:18	0:18	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:06	0:07	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:05	0:04	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:02	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:19	0:19	0:03	0:02	0:03
o 校内研修	0:04	0:04	0:04	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:10	0:09	0:07	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:08	0:10	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:05	0:05	0:05	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:07	0:07	0:08	0:02	0:01	0:01
v 職専免研修	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:04	0:04	0:07	0:01	0:00	0:00
y その他	0:01	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00
合計	11:08	10:54	10:18	2:40	1:39	0:48

高等学校	平日			土日		
	運動部顧問	文化部顧問	顧問をしていない	運動部顧問	文化部顧問	顧問をしていない
回答数	**2124**	**1255**	**203**	**2124**	**1255**	**203**
a 朝の業務	0:34	0:33	0:32	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:55	2:53	2:42	0:04	0:04	0:05
b2 授業（補助）	0:17	0:18	0:18	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:06	1:59	2:14	0:09	0:08	0:03
d 学習指導	0:20	0:25	0:23	0:05	0:05	0:02
e 成績処理	0:30	0:32	0:31	0:05	0:04	0:08
f1 生徒指導（集団１）	0:10	0:11	0:13	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:03	0:04	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:20	0:20	0:18	0:01	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:49	0:29	0:03	1:57	0:38	0:12
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00
j 学校行事	0:09	0:11	0:06	0:03	0:06	0:01
k 学年・学級経営	0:15	0:15	0:09	0:01	0:00	0:00
l 学校経営	0:24	0:24	0:29	0:03	0:03	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:18	0:17	0:00	0:00	0:01
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:06	0:06	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:04	0:03	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:16	0:19	0:17	0:02	0:02	0:00
o 校内研修	0:02	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:03	0:02	0:01	0:00	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:05	0:04	0:03	0:00	0:00	0:02
t 会議	0:05	0:05	0:03	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:07	0:08	0:12	0:06	0:06	0:01
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:19	0:18	0:20	0:03	0:02	0:00
y その他	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00
合計	10:14	10:00	9:24	2:47	1:31	0:44

⑰教諭（合計）・主任（主事）別・在校等時間

時間：分

小学校	平日				
	教諭（合計）	教務主任	生徒指導主事（生徒指導主任）	学年主任	研究主事（研究主任）
回答数	**8958**	**519**	**465**	**2539**	**410**
a 朝の業務	0:41	0:36	0:41	0:43	0:42
b1 授業（主担当）	4:13	2:42	4:13	4:27	4:13
b2 授業（補助）	0:20	0:29	0:17	0:14	0:17
c 授業準備	1:16	0:49	1:10	1:13	1:16
d 学習指導	0:21	0:18	0:20	0:22	0:20
e 成績処理	0:25	0:15	0:23	0:29	0:25
f1 生徒指導（集団１）	0:56	0:43	0:58	1:02	0:57
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:04	0:04	0:02	0:03
g 生徒指導（個別）	0:04	0:07	0:06	0:04	0:04
h 部活動・クラブ活動	0:03	0:02	0:02	0:03	0:03
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:01	0:02	0:02	0:02
j 学校行事	0:15	0:18	0:15	0:16	0:17
k 学年・学級経営	0:19	0:11	0:17	0:25	0:22
l 学校経営	0:17	1:44	0:19	0:10	0:22
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:19	0:19	0:21	0:19
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:07	0:09	0:05	0:05
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:07	0:05	0:04	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:15	0:58	0:15	0:11	0:14
o 校内研修	0:09	0:11	0:08	0:09	0:13
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:06	0:08	0:06	0:07	0:06
q 地域対応	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:08	0:10	0:09	0:07	0:10
t 会議	0:03	0:04	0:04	0:02	0:04
u その他の校務	0:05	0:11	0:05	0:03	0:05
v 職専免研修	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:03	0:07	0:03	0:01	0:02
y その他	0:02	0:01	0:02	0:02	0:01
合計	10:45	10:51	10:44	10:56	10:55

中学校	平日				
	教諭（合計）	教務主任	生徒指導主事（生徒指導主任）	学年主任	研究主事（研究主任）
回答数	**9164**	**531**	**449**	**1392**	**330**
a 朝の業務	0:44	0:40	0:40	0:44	0:43
b1 授業（主担当）	3:16	2:35	2:48	3:06	3:13
b2 授業（補助）	0:23	0:23	0:18	0:23	0:19
c 授業準備	1:23	1:05	1:15	1:22	1:24
d 学習指導	0:13	0:11	0:11	0:15	0:15
e 成績処理	0:36	0:29	0:27	0:35	0:30
f1 生徒指導（集団１）	0:49	0:32	0:56	0:50	0:49
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:04	0:10	0:06	0:05
g 生徒指導（個別）	0:14	0:05	0:16	0:13	0:15
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:35	0:48	0:38	0:34
i 児童会・生徒会指導	0:05	0:02	0:04	0:03	0:04
j 学校行事	0:15	0:13	0:14	0:17	0:15
k 学年・学級経営	0:27	0:08	0:20	0:36	0:29
l 学校経営	0:17	1:47	0:27	0:12	0:23
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:25	0:23	0:24	0:21
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:05	0:12	0:09	0:06
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:06	0:07	0:04	0:03
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:00	0:01	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:42	0:24	0:17	0:20
o 校内研修	0:04	0:05	0:03	0:04	0:07
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:05	0:07	0:07	0:08
q 地域対応	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:02	0:02	0:01
s 校務としての研修	0:09	0:10	0:09	0:06	0:12
t 会議	0:05	0:07	0:11	0:05	0:05
u その他の校務	0:07	0:12	0:08	0:07	0:07
v 職専免研修	0:00	0:00	0:01	0:00	0:01
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:00	0:00	0:02
x 休憩・休息等	0:04	0:10	0:05	0:05	0:04
y その他	0:01	0:01	0:01	0:01	0:01
合計	11:01	11:02	10:53	11:03	11:03

高等学校	平日				
	教諭(合計)	教務主任	生徒指導主事 (生徒指導主任)	学年主任	研究主事 (研究主任)
回答数	**3656**	**120**	**101**	**301**	**13**
a 朝の業務	0:34	0:29	0:22	0:38	0:28
b1 授業（主担当）	2:54	2:18	2:22	2:48	3:12
b2 授業（補助）	0:18	0:13	0:22	0:17	0:15
c 授業準備	2:04	1:25	1:50	1:57	1:49
d 学習指導	0:22	0:13	0:17	0:21	0:18
e 成績処理	0:31	0:20	0:19	0:30	0:06
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:05	0:24	0:10	0:15
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:00	0:10	0:04	0:01
g 生徒指導（個別）	0:20	0:08	0:19	0:24	0:25
h 部活動・クラブ活動	0:40	0:17	1:00	0:33	0:48
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:00	0:05	0:00	0:02
j 学校行事	0:10	0:09	0:13	0:13	0:21
k 学年・学級経営	0:15	0:07	0:02	0:29	0:06
l 学校経営	0:24	2:16	0:30	0:11	1:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:18	0:30	0:21	0:27	0:30
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:08	0:14	0:11	0:02
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:07	0:04	0:03	0:01
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:00	0:00	0:00	0:03
n3 事務（その他）	0:17	0:49	0:15	0:18	0:14
o 校内研修	0:02	0:03	0:01	0:01	0:02
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:02	0:02	0:04	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00	0:02
r 行政・関係団体対応	0:01	0:03	0:01	0:01	0:06
s 校務としての研修	0:05	0:04	0:09	0:04	0:00
t 会議	0:05	0:06	0:10	0:05	0:01
u その他の校務	0:08	0:09	0:15	0:07	0:00
v 職専免研修	0:00	0:02	0:01	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:01	0:04	0:01	0:00
x 休憩・休息等	0:19	0:21	0:20	0:17	0:08
y その他	0:01	0:01	0:00	0:01	0:01
合計	10:06	10:15	10:00	10:12	10:23

時間：分

小学校	土日				
	教諭（合計）	教務主任	生徒指導主事（生徒指導主任）	学年主任	研究主事（研究主任）
回答数	**8958**	**519**	**465**	**2539**	**410**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:02	0:01	0:04	0:02	0:03
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:10	0:05	0:07	0:11	0:12
d 学習指導	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
e 成績処理	0:04	0:02	0:02	0:05	0:04
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:04	0:03	0:02	0:04	0:03
k 学年・学級経営	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02
l 学校経営	0:02	0:12	0:02	0:01	0:05
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:02	0:05	0:01	0:02	0:02
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:02	0:01	0:00	0:01
q 地域対応	0:00	0:02	0:02	0:00	0:01
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	0:36	0:44	0:33	0:37	0:44

中学校	土日				
	教諭（合計）	教務主任	生徒指導主事（生徒指導主任）	学年主任	研究主事（研究主任）
回答数	**9164**	**531**	**449**	**1392**	**330**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	0:01	0:01	0:01	0:01	0:01
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:11	0:08	0:07	0:09	0:15
d 学習指導	0:00	0:01	0:00	0:00	0:01
e 成績処理	0:12	0:08	0:09	0:11	0:10
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	1:29	1:15	1:59	1:36	1:38
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:01	0:00	0:01	0:01
j 学校行事	0:03	0:02	0:02	0:04	0:01
k 学年・学級経営	0:02	0:01	0:01	0:06	0:03
l 学校経営	0:02	0:12	0:01	0:02	0:07
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:03	0:05	0:02	0:03	0:05
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:01	0:00	0:00	0:01
q 地域対応	0:00	0:01	0:01	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:02
t 会議	0:00	0:01	0:00	0:01	0:00
u その他の校務	0:02	0:03	0:02	0:02	0:06
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:01	0:01	0:01	0:01	0:01
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	2:18	2:10	2:35	2:28	2:40

高等学校	土日				
	教諭(合計)	教務主任	生徒指導主事 (生徒指導主任)	学年主任	研究主事 (研究主任)
回答数	**3656**	**120**	**101**	**301**	**13**
a 朝の業務	0:00	0:00	0:00	0:01	0:01
b1 授業（主担当）	0:04	0:00	0:04	0:04	0:00
b2 授業（補助）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:08	0:07	0:09	0:07	0:06
d 学習指導	0:05	0:01	0:02	0:04	0:01
e 成績処理	0:05	0:02	0:02	0:04	0:24
f1 生徒指導（集団１）	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:01	0:00	0:00	0:01	0:00
h 部活動・クラブ活動	1:23	0:45	1:50	1:14	1:01
i 児童会・生徒会指導	0:00	0:00	0:03	0:00	0:00
j 学校行事	0:04	0:07	0:02	0:08	0:32
k 学年・学級経営	0:01	0:00	0:00	0:02	0:00
l 学校経営	0:03	0:10	0:00	0:01	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:00	0:00	0:01	0:01	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:02	0:06	0:01	0:01	0:02
o 校内研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:00	0:00	0:11
r 行政・関係団体対応	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
t 会議	0:01	0:00	0:06	0:00	0:15
u その他の校務	0:06	0:08	0:13	0:02	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:02	0:02	0:02	0:02	0:01
y その他	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	2:14	1:37	2:40	2:01	2:35

⑱教諭（合計）・授業担当コマ数別・在校等時間

時間：分

小学校	平日				土日			
	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上
回答数	**464**	**658**	**4404**	**3297**	**464**	**658**	**4404**	**3297**
a 朝の業務	0:32	0:35	0:42	0:43	0:00	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:12	3:35	4:20	4:34	0:01	0:02	0:03	0:03
b2 授業（補助）	0:38	0:28	0:16	0:20	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	0:52	1:31	1:19	1:12	0:03	0:06	0:12	0:11
d 学習指導	0:18	0:24	0:21	0:20	0:00	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:17	0:26	0:29	0:22	0:02	0:03	0:04	0:03
f1 生徒指導（集団１）	0:39	0:44	0:59	0:58	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:05	0:03	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:13	0:04	0:03	0:03	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:01	0:03	0:03	0:03	0:00	0:00	0:01	0:01
i 児童会・生徒会指導	0:02	0:03	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:16	0:15	0:16	0:14	0:04	0:03	0:05	0:04
k 学年・学級経営	0:08	0:12	0:21	0:20	0:00	0:01	0:02	0:01
l 学校経営	1:37	0:23	0:10	0:10	0:12	0:01	0:01	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:19	0:20	0:19	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:11	0:05	0:05	0:05	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:07	0:04	0:04	0:04	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:56	0:17	0:12	0:13	0:04	0:01	0:01	0:02
o 校内研修	0:11	0:09	0:09	0:08	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:05	0:06	0:06	0:01	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:12	0:12	0:08	0:06	0:00	0:00	0:00	0:00
t 会議	0:06	0:04	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:17	0:07	0:04	0:04	0:00	0:00	0:00	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:08	0:05	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
y その他	0:01	0:02	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:36	10:25	10:50	10:46	0:37	0:25	0:38	0:35

中学校	平日				土日			
	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上
回答数	**1792**	**5174**	**1879**	**198**	**1792**	**5174**	**1879**	**198**
a 朝の業務	0:42	0:45	0:45	0:48	0:01	0:00	0:00	0:00
b1 授業（主担当）	2:35	3:22	3:45	3:51	0:02	0:01	0:01	0:03
b2 授業（補助）	0:23	0:21	0:24	0:58	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	1:29	1:26	1:17	1:03	0:09	0:11	0:11	0:08
d 学習指導	0:14	0:13	0:13	0:12	0:01	0:00	0:00	0:00
e 成績処理	0:34	0:38	0:37	0:14	0:11	0:12	0:14	0:02
f1 生徒指導（集団１）	0:44	0:50	0:51	0:46	0:00	0:00	0:00	0:01
f2 生徒指導（集団２）	0:06	0:05	0:05	0:04	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:13	0:15	0:13	0:10	0:00	0:00	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:36	0:38	0:30	1:28	1:31	1:29	1:06
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:05	0:05	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
j 学校行事	0:15	0:15	0:16	0:13	0:04	0:03	0:03	0:04
k 学年・学級経営	0:22	0:29	0:26	0:17	0:02	0:02	0:03	0:02
l 学校経営	0:36	0:13	0:08	0:05	0:04	0:02	0:01	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:21	0:18	0:17	0:17	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:08	0:05	0:05	0:08	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:05	0:04	0:04	0:04	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:26	0:15	0:13	0:18	0:04	0:03	0:02	0:02
o 校内研修	0:05	0:04	0:03	0:05	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:08	0:10	0:10	0:08	0:00	0:00	0:00	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:10	0:08	0:07	0:05	0:01	0:00	0:00	0:02
t 会議	0:07	0:04	0:04	0:04	0:00	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:10	0:06	0:07	0:07	0:02	0:02	0:03	0:00
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:07	0:04	0:03	0:04	0:01	0:01	0:01	0:00
y その他	0:01	0:01	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	10:50	11:03	11:09	10:45	2:21	2:19	2:19	1:41

高等学校	平日				土日			
	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上	15コマ以下	16～20コマ	21～25コマ	26コマ以上
回答数	**1504**	**2089**	**51**	**2**	**1504**	**2089**	**51**	**2**
a 朝の業務	0:31	0:35	0:36	0:39	0:00	0:01	0:01	0:15
b1 授業（主担当）	2:28	3:12	3:24	4:36	0:03	0:05	0:10	0:45
b2 授業（補助）	0:16	0:19	0:20	0:36	0:00	0:00	0:00	0:00
c 授業準備	2:06	2:03	1:44	0:48	0:08	0:09	0:06	0:00
d 学習指導	0:20	0:23	0:28	0:09	0:04	0:05	0:10	0:00
e 成績処理	0:30	0:31	0:32	0:00	0:03	0:06	0:05	0:00
f1 生徒指導（集団１）	0:11	0:10	0:10	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:03	0:03	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:19	0:20	0:22	0:00	0:00	0:01	0:02	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:37	0:41	1:05	0:00	1:15	1:28	1:34	0:00
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00	0:00
j 学校行事	0:10	0:09	0:08	0:00	0:03	0:05	0:01	0:00
k 学年・学級経営	0:13	0:15	0:26	0:24	0:01	0:01	0:00	0:00
l 学校経営	0:33	0:18	0:15	1:00	0:04	0:02	0:10	0:00
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:17	0:18	0:24	0:00	0:00	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:05	0:03	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:03	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:01	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00	0:01	0:00
n3 事務（その他）	0:21	0:14	0:13	0:00	0:02	0:02	0:02	0:00
o 校内研修	0:02	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:03	0:03	0:02	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:01	0:05	0:00
r 行政・関係団体対応	0:02	0:01	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:06	0:04	0:03	0:00	0:00	0:00	0:02	0:00
t 会議	0:06	0:04	0:02	0:00	0:01	0:00	0:00	0:00
u その他の校務	0:08	0:07	0:08	0:00	0:05	0:06	0:04	0:22
v 職専免研修	0:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:02	0:01	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:19	0:19	0:16	0:09	0:02	0:02	0:06	0:00
y その他	0:01	0:02	0:02	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
合計	9:51	10:16	10:40	8:36	2:01	2:22	2:43	1:22

⑲教諭（合計）・土日勤務有無別・在校等時間

時間：分

小学校	平日		土日	
	土日のいずれか勤務日	土日勤務日ではない	土日のいずれか勤務日	土日勤務日ではない
回答数	**390**	**8568**	**390**	**8568**
a 朝の業務	0:38	0:41	0:16	0:00
b1 授業（主担当）	4:17	4:13	0:57	0:00
b2 授業（補助）	0:17	0:20	0:04	0:00
c 授業準備	1:16	1:16	0:33	0:09
d 学習指導	0:25	0:20	0:05	0:00
e 成績処理	0:24	0:26	0:09	0:03
f1 生徒指導（集団１）	0:51	0:56	0:05	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:02	0:02	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:03	0:04	0:00	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:01	0:03	0:01	0:01
i 児童会・生徒会指導	0:03	0:02	0:02	0:00
j 学校行事	0:27	0:15	1:06	0:01
k 学年・学級経営	0:19	0:19	0:07	0:01
l 学校経営	0:14	0:17	0:06	0:01
m1 職員会議・学年会などの会議	0:21	0:19	0:03	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:05	0:06	0:01	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:02	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:13	0:15	0:07	0:01
o 校内研修	0:07	0:09	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:05	0:06	0:03	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:00	0:00
r 行政・関係団体対応	0:00	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:08	0:00	0:00
t 会議	0:02	0:03	0:00	0:00
u その他の校務	0:03	0:05	0:02	0:00
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:00	0:00	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:03	0:03	0:05	0:00
y その他	0:02	0:02	0:00	0:00
合計	10:43	10:45	3:59	0:26

中学校	平日		土日	
	土日のいずれか勤務日	土日勤務日ではない	土日のいずれか勤務日	土日勤務日ではない
回答数	**267**	**8897**	**267**	**8897**
a 朝の業務	0:43	0:44	0:19	0:00
b1 授業（主担当）	3:14	3:16	0:44	0:00
b2 授業（補助）	0:19	0:23	0:07	0:00
c 授業準備	1:26	1:23	0:34	0:10
d 学習指導	0:17	0:13	0:03	0:00
e 成績処理	0:24	0:36	0:19	0:12
f1 生徒指導（集団１）	0:48	0:49	0:07	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:07	0:05	0:00	0:00
g 生徒指導（個別）	0:13	0:15	0:02	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:35	0:37	0:59	1:30
i 児童会・生徒会指導	0:04	0:05	0:03	0:00
j 学校行事	0:23	0:15	0:54	0:02
k 学年・学級経営	0:29	0:27	0:10	0:02
l 学校経営	0:19	0:17	0:06	0:02
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:18	0:02	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:06	0:06	0:02	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:04	0:04	0:02	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:21	0:17	0:08	0:03
o 校内研修	0:05	0:04	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:09	0:09	0:04	0:00
q 地域対応	0:00	0:00	0:01	0:00
r 行政・関係団体対応	0:01	0:01	0:00	0:00
s 校務としての研修	0:09	0:09	0:00	0:00
t 会議	0:04	0:05	0:00	0:00
u その他の校務	0:05	0:07	0:03	0:02
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:01	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:07	0:04	0:04	0:01
y その他	0:02	0:01	0:00	0:00
合計	10:58	11:01	5:03	2:13

高等学校	平日		土日	
	土日のいずれか 勤務日	土日 勤務日ではない	土日のいずれか 勤務日	土日 勤務日ではない
回答数	**144**	**3512**	**144**	**3512**
a 朝の業務	0:30	0:34	0:12	0:00
b1 授業（主担当）	3:09	2:53	0:42	0:02
b2 授業（補助）	0:17	0:18	0:03	0:00
c 授業準備	2:11	2:04	0:41	0:07
d 学習指導	0:22	0:22	0:08	0:04
e 成績処理	0:28	0:31	0:10	0:05
f1 生徒指導（集団１）	0:12	0:11	0:03	0:00
f2 生徒指導（集団２）	0:04	0:03	0:01	0:00
g 生徒指導（個別）	0:22	0:20	0:03	0:00
h 部活動・クラブ活動	0:33	0:40	0:56	1:24
i 児童会・生徒会指導	0:01	0:01	0:01	0:00
j 学校行事	0:08	0:10	1:07	0:02
k 学年・学級経営	0:19	0:14	0:06	0:00
l 学校経営	0:25	0:24	0:10	0:03
m1 職員会議・学年会などの会議	0:19	0:18	0:00	0:00
m2 個別の打ち合わせ	0:07	0:06	0:02	0:00
n1 事務（調査への回答）	0:03	0:03	0:01	0:00
n2 事務（学納金関連）	0:00	0:01	0:00	0:00
n3 事務（その他）	0:17	0:17	0:05	0:02
o 校内研修	0:03	0:02	0:00	0:00
p 保護者・ＰＴＡ対応	0:04	0:03	0:01	0:00
q 地域対応	0:01	0:00	0:01	0:01
r 行政・関係団体対応	0:00	0:01	0:03	0:00
s 校務としての研修	0:07	0:05	0:00	0:00
t 会議	0:03	0:05	0:00	0:01
u その他の校務	0:08	0:08	0:19	0:05
v 職専免研修	0:00	0:00	0:00	0:00
w 自己研鑽	0:01	0:02	0:00	0:00
x 休憩・休息等	0:14	0:19	0:07	0:02
y その他	0:03	0:01	0:00	0:00
合計	10:27	10:05	5:06	2:07